H28-31 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務
民間競争入札実施要項

平成２７年７月

国土交通省関東地方整備局

目　次

１．対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項 1
1.1. 対象施設及び対象業務の概要 1
1.1.1 対象施設の概要 1
1.1.2 開園期間及び時間 3
1.1.3 入園料 3
1.1.4 施設目的 4
1.1.5 対象業務の概要 5
1.2. 業務内容 8
1.2.1 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務 8
1.2.2 施設・設備維持管理業務 8
1.2.3 植物管理業務 8
1.2.4 収益施設等管理運営業務 9
1.3. サービスの質の設定 10
1.3.1 包括的な質の設定 10
1.3.2 個別業務の質の設定 15
1.3.3 創意工夫の発揮可能性 16
1.3.4 モニタリング方法 17
1.3.5 委託費の支払い方法 18
1.3.6 費用負担等に関するその他の留意事項 19
２．実施期間に関する事項 23
３．入札参加資格に関する事項 24
3.1. 入札参加資格について 24
3.2. 企業の業務実績に関する要件 25
3.3. 配置予定者の業務実績に関する要件 27
3.4. 共同体での入札について 31
４．入札に参加する者の募集に関する事項 32
4.1. 入札の実施手続及びスケジュール（予定） 32
4.2. 入札実施手続 34
4.2.1 提出書類 34
4.2.2 申請書類の内容 34
4.2.3 企画書の内容 35
4.2.4 収益施設運営計画書 35
4.2.5 ヒアリングの実施 35
4.2.6 その他 36
５．対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サー

ビスを実施する者の決定に関する事項 37
5.1. 事業者決定にあたっての質の評価項目の設定 37
5.1.1 基本項目審査 37
5.1.2 提案項目審査 37
5.2. 事業者決定にあたっての評価方法 40
5.2.1 事業者の決定方法 40
5.2.2 総合評価の方法 40
5.2.3 留意事項 42
5.3. 初回の入札で事業者が決定しなかった場合の取り扱いについて 42
６．対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項 43
７．事業者に使用させることができる国有財産に関する事項 44
7.1. 施設 44
7.2. 設備 44
８．事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の対象公共サービスの適正かつ確実な実施の確保のために契約により事業者が講ずべき措置に関する事項 45
8.1. 報告について 45
8.1.1 業務計画書の協議と承諾 45
8.1.2 業務責任者及び業務の関係者 45
8.1.3 業務報告書 45
8.1.4 検査・監督体制 45
8.2. 調査への協力 46
8.3. 指示について 46
8.4. 秘密の保持 46
8.5. 個人情報の取り扱い 46
8.6. 契約に基づき落札業者が講ずべき措置 46
8.6.1 業務の開始及び中止 46
8.6.2 公正な取り扱い 46
8.6.3 金品等の授受の禁止 47
8.6.4 法令の遵守 47
8.6.5 安全衛生 47
8.6.6 記録・帳簿書類等 47
8.6.7 権利の譲渡 47
8.6.8 権利義務の帰属等 47
8.6.9 一般的損害 47
8.6.10 再委託または下請負の取り扱い 48
8.6.11 契約解除 48
8.6.12 契約解除時の取り扱い 49
8.6.13 契約内容の変更 49

8.6.14 契約の解釈 49
8.6.15 業務計画書の提出 49
8.6.16 業務計画書の変更 49
8.6.17 業務の引き継ぎへの対応 49
8.6.18 業務評定について 50
９．事業者が対象公共サービスを実施するに当たり第三者に損害を与えた場合において、その損害の賠償に関し契約により事業者が負うべき責任（国家賠償法の規定により国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に応ずる責任を含む。）に関する事項 51
１０．対象公共サービスに係る法第７条第８項に規定する評価に関する事項 52
10.1. 調査方法 52
10.2. 実施状況に関する調査の時期 52
10.3. 調査方法及び項目 52
10.4. 関東地方整備局国営公園運営維持管理業務有識者委員会への報告 52
11.1. 対象公共サービスの実施状況等の監理委員会への報告及び公表 53
11.2. 関東地方整備局の監督体制 53
11.3. 事業者が負う可能性のある主な責務等 53
11.3.1 罰則等 53
11.3.2 会計検査について 53

H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号。以下「法」という。）に基づく競争の導入による公共サービスの改革については、公共サービスによる利益を享受する国民の立場に立って、公共サービスの全般について不断の見直しを行い、その実施について、透明かつ公正な競争のもとで事業者の創意と工夫を適切に反映させることにより、国民のため、より良質かつ低廉な公共サービスを実現することを目指すものである。

上記を踏まえ、国土交通省関東地方整備局（以下「関東地方整備局」という。）は、公共サービス改革基本方針（平成 27 年 7 月 10 日閣議決定）別表（新プロセス移行事業一覧）において民間競争入札の対象として選定された H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務（以下「本業務」という。）について、公共サービス改革基本方針に従って、本実施要項を定めるものとする。

１．対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項

1.1. 対象施設及び対象業務の概要

1.1.1 対象施設の概要

(1) 対象施設

施設名称　　国営アルプスあづみの公園
所在地　　（堀金・穂高地区）　長野県安曇野市堀金烏川 33-4
　　（大町・松川地区）　長野県大町市常盤 7791-4
敷地面積　　（堀金・穂高地区）　93ha　注）
　　（大町・松川地区）　246ha　注）
　　合計　339ha

注）　本業務の対象敷地は国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）の供用区域であり、その面積は、平成 27 年 6 月現在 148ha である。
　平成 28 年度に、堀金・穂高地区の里山文化ゾーン 49ha、大町・松川地区の自然体験ゾーン 142ha を追加供用する予定である。

(2) 施設概要

対象となる施設は、本公園の供用区域に位置する各公園施設であり、本実施要項表 1 に示すとおりである。

詳細は、別紙－1「主要公園施設一覧」、別紙－2「主要建築物一覧」、別紙－3「収益施設一覧」を参照のこと。

表１　主な対象施設一覧

【堀金・穂高地区】

ゾーン名	面積(ha)	名　　称	主　　要　　施　　設
田園文化ゾーン	44	中央口	ガイドセンター（情報コーナー、売店）、レストラン、公園管理センター、第１駐車場、第２駐車場
		あづみの学校	映像施設、理科教室、社会科教室、芸術教室、多目的ホール
		須砂渡口（通常閉鎖）	須砂渡口
		段々花畑	段々花畑、烏川展望デッキ、矢原沢の小径、川音のサークル
		池	展望テラス、水辺の休憩所、池
		段々原っぱ	野の休憩所、芝生広場
		野原	野原
		河畔の広場	マシュマロドーム、調整池
		烏川沿い	烏川吊橋、渓流連絡橋、吊橋下広場、吊橋前広場、渓流広場、竜の広場
		穂高口	穂高口、第３駐車場、第４駐車場、臨時駐車場、見晴らしの丘、古墳の森、こどもの森、冒険の森、疎林広場、円形ステージ、こども広場、体験の森
里山文化ゾーン	49	懐かしの風景エリア	懐かしの風景園、ビオトープ、農家風四阿、水車小屋
		棚田エリア	棚田、イベント広場、展望スペース
		里山文化再生エリア	管理棟、体験学習農園、サンクチュアリ、臨時駐車場
		里山の森づくりエリア	里山の森
計	93		

【大町・松川地区】

ゾーン名	面積(ha)	名　　称	主　　要　　施　　設
センターゾーン	32	入口広場	インフォメーションセンター（管理センター、展示施設、売店）、入口広場、休憩棟レストラン、駐車場
		デイキャンプ場	レンタル棟、デイキャンプ場、炊事棟、駐車場
		あづみの苑地	あづみの苑地
林間レクリエーションゾーン	22	そまびとの森	森の体験舎、そまびとの家、空中回廊、くもの巣遊具
		アルプス大草原	大草原の家（多目的ホール、ネット遊具）、探検トンネル、レキ原
		アルプス広場周辺	アルプス広場、彩りの森、林間アスレチック
保全ゾーン	36	いきものの森	森のゲート
渓流レクリエーションゾーン	14	渓流ピクニック広場	渓流ピクニック広場、散策路、横溝堰、菅の沢橋、渡河施設
		河畔広場	河畔広場、散策路
自然体験ゾーン	142	川遊び・乳川河原エリア	乳川・川遊び広場
		河畔探勝エリア	河畔探勝の森、南口臨時駐車場
		スポーツと遊びの森エリア	管理棟、チャレンジルートA、B、オフロード周回コース、トレーニングエリア
		ﾘﾌﾚｯｼｭの森・渓流ｴﾘｱ	リフレッシュの森、清流の森、臨時駐車場
		みんなの森づくりｴﾘｱ	みんなの森
計	246		

※下線は利用料金を徴収する施設や飲食・物販施設（以下「収益施設」という。）を示す。

※このほかに自動販売機を設置する。

1.1.2 開園期間及び時間

本公園の開園期間及び時間は、本実施要項表 2 に示すとおりである。

表 2　開園期間及び時間

期間	開園時間
3 月　1 日～　6 月　30 日	9:30～17:00
7 月　1 日～　8 月　31 日	9:30～18:00
9 月　1 日～　10 月　31 日	9:30～17:00
11 月　1 日～　2 月　末日	9:30～16:00

※休園日は 12 月 31 日、1 月 1 日及び毎週月曜日（月曜日が休日の場合は直後の平日）とする。但し、月曜日のうち、4 月 27 日から 5 月 6 日及び 7 月 20 日から 8 月 31 日の各期間、休日の場合並びに日曜日と休日にはさまれている場合は開園日とする。

※繁忙期、行催事開催時等においては、本業務の受託者（以下「事業者」という。）が関東地方整備局に協議し、承諾を得た上で、開園時間の変更を行うことができる。

※開園期間においても、定期点検等の実施により休園が必要な場合は、事業者が関東地方整備局に協議し、承諾を得た上で休園とすることができる。

1.1.3 入園料

本公園の入園料は、本実施要項表 3 に示すとおりである。

表 3　入園料

区分	大人（15 歳以上 65 歳未満の者）	シルバー（65 歳以上の者）	小人（小・中学生）
個人（１回）	410 円	210 円	80 円
団体（１回）	290 円	210 円	50 円
年間パスポート（１年間）	4,100 円	2,100 円	800 円

※物価上昇等を勘案して変更する場合がある。

※未就学児は無料。

※身障者・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を提示された方とその付添の方１名は無料。

※団体は、小学生以上の有料入園者２０名以上（上記手帳及び年間パスポートを提示した方を含む）を対象とする。

※無料入園日：原則として、以下のとおり無料入園日を設けることとし、各年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

・春の都市緑化推進運動：　4 月 1 日～6 月 30 日【期間中１日】
・秋の都市緑化月間　　：10 月 1 日～10 月 31 日【期間中２日】
・みどりの日　　：5 月 4 日【１日】
・児童福祉週間　　：5 月 5 日【１日】
　※小学生若しくは中学生又はこれらに相当する者のみ無料
・敬老の日　　：9 月第３月曜日【１日】
　※満 65 歳以上の者のみ無料

1.1.4 施設目的

本公園は、長野県をはじめ首都圏、中京圏等に居住する人々の多様な観光・レクリエーション需要に対応するとともに、北アルプス山麓の自然的環境や景観を保全・活用するために国が設置・管理している国営公園である。

本公園は長野県北西部の安曇野市に位置する「堀金・穂高地区」と、大町市及び松川村に位置する「大町・松川地区」の 2 地区からなり、日本でも有数の北アルプスの自然環境・山岳景観を背景とし、人里と奥山の中間に位置している公園である。

「堀金・穂高地区」は、失われつつある安曇野の田園風景を保全・復元するとともに、安曇野地域の自然・文化を短時間で体験することができる、安曇野地域の玄関口としての公園として計画されている。

一方、「大町・松川地区」は北アルプスの山岳景観につながる良好な自然環境を保全しながら、時間をかけてその自然環境を学び、体験できる公園として計画されている。

本公園は「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間活動の実現－自然の中で感性を育む遊・創・空間－」を基本理念とし、以下の６つの基本方針のもとに整備及び運営維持管理を進めている。

① 自然環境の保全:生物多様性に富んだ自然環境との共存を目指した保全活動や啓発活動の推進
② 広域レクリエーション:日本を代表する自然環境の中で、安らぎ創出や健康づくりにつながる楽しみを各種体験・学習プログラムを通じて提供
③ 景･文化の保全と創出：第一級の山岳景観と雄大な田園景観が一体となった安曇野地域の景観及びこれをはぐくむ豊かな風土･文化の保全と創出への貢献
④ 交流・地域活性化：公園が地域滞在型観光の拠点となるとともに、園内資源を活用し、地域と連携した地域活性化への貢献
⑤ 情報発信:安曇野地域を舞台にして、豊かな自然のなかで育まれてきた風土・文化とこれからの暮らし方についての新たな発見を導く情報を発信
⑥ 参加：公園の整備・管理運営において、地域、企業、利用者など、様々な立場、多様な世代からの参加を促進

本公園では、基本理念と基本方針の下、運営維持管理の基本的な考え方として、以下の 6 つの管理方針を設定している。

① 公園及び周辺の環境を踏まえ､生物多様性の保全に配慮した維持管理を行うとともに、自然的環境に関する普及啓発を推進する。
② 公園及び周辺が有する環境や景観、文化を活用し、広域的な誘客が期待できる行催事や体験プログラムの構築と提供を行う。
③ 昔ながらの里山を守り育てる文化･技術を継承する場として、各種体験プログラムの提供とともに､適切な植生管理等を通じ周辺地域と一体となった良好な景観の形成を図る。
④ 地域と連携した各種行催事の展開など、周辺地域への回遊･滞在を誘発するような取り組みを通じ、地域活性化に貢献する。

⑤ 地域の観光情報発信拠点としての役割を果たすとともに、地域の自然や文化、暮らし等に関する情報発信に努める。
⑥ 多様な立場や世代からの知見や参加を、公園周辺地域を中心に幅広く取り入れ、運営維持管理体制の充実を図る。

平成 16 年 7 月の開園時から平成 27 年 3 月までの入園者数累計は、約 384 万人（堀金・穂高地区約 293 万人、大町・松川地区約 91 万人：大町・松川地区は平成 21 年 7 月に開園）であり、平成 26 年度の入園者数は約 37 万人（堀金・穂高地区：約 24.6 万人、大町・松川地区：約 12.8 万人）である。また、1.1.1 に示すとおり、平成 28 年度に堀金・穂高地区、大町・松川地区において概成開園となる予定であり、６つの基本方針に沿ってこれまで以上に多様なサービスを提供していくことで、入園者数の増加と公園整備効果の波及を期待している。

事業にあたっては、上記の基本方針と管理方針を踏まえ、広域的な圏域からの誘客、来園者に対するサービス向上、地域活性化への貢献、自然環境の保全と活用を目指し、一元的に運営維持管理を進めるものである。

（詳細は、別紙－4「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理基本方針」（以下「基本方針」という。）を参照のこと。）

1.1.5 対象業務の概要

(1) 対象業務の構成

本業務は、委託契約により、本公園において、国営公園設置の意義を踏まえ、その効用を最大限発揮させるべく、公園の運営維持管理全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針のもとで、利用促進のための行催事や広報宣伝の企画・立案・実施、入園料徴収、巡視・保安警備、公園利用者に対するサービスの提供、利用指導、救急、公園利用者の安全・安心の確保、地域貢献や市民等との協働、他の施設管理者との連携、建物や工作物等公園施設の維持管理、清掃、植物の育成・維持管理、収益施設の運営など多岐にわたる業務を総合的な調整のもと、相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施するものである。

このうち、飲食・物販施設等、公園利用者へのサービス向上に資する収益施設については、関東地方整備局からの委託費で運営維持管理を行うものではなく、事業者が独立採算で運営維持管理を行うものである。収益施設におけるサービス提供が、委託費による公園の運営維持管理と両輪をなす事業として、互いに相乗効果を発揮し、公園利用者にとって利便性が高く魅力のある公園管理が展開されるよう、事業者の創意工夫を期待するものである。

さらに、委託費で行う業務に加え、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、関東地方整備局の許可を受けた上で、事業者の提案により土地使用料等を納めて独立採算により臨時の飲食・物販施設等の運営や行催事を行う事業（以下「自主事業」という。）について、効果的に行われることを期待する。

本業務は、委託費により行う「本業務全体のマネジメント及び企画立案業務」、「施

設・設備維持管理業務」及び「植物管理業務」と、事業者の提案により独立採算で行う収益施設の運営及び自主事業（以下「収益施設等管理運営業務」という。）により構成される。

なお、会計上の注意として、事業者は、委託費を収益施設等管理運営業務の実施に用いてはならない。ただし、「本業務全体のマネジメント及び企画立案業務」、「施設・設備維持管理業務」及び「植栽管理業務」を実施する上で、収益施設等管理運営業務と調整する業務については、委託費を充当して差し支えない。

また、委託費で行う事業と独立採算で行う収益施設等管理運営業務の経理状況に関する帳簿類は分けて整理し、年度終了毎に決算書類を提出することとする。

さらに本業務は、利用指導の一環として、都市公園法の許認可に係る前段階の調整、関東地方整備局が行う各種行事への対応を実施するなど、行政と連携を行うものである。

これら多岐にわたる業務は相互に密接に関連するものであり、公園の円滑な運営維持管理のため、総合的な調整のもとに実施されるものである。

なお、建設業法上の改築工事、施設保全業務（建物設備等の法定点検業務）、光熱水費の支払い等は本業務には含まれず、関東地方整備局が別途行う。

本業務の実施にあたっては、都市公園関係法令等を踏まえた公園管理のための専門的知識を有し、また一定のサービス水準の維持及び公園利用者の安全確保のため、上記業務を安定的に行うとともに、事故・災害等緊急事案にも迅速な対応が可能となる管理体制を整えることが必要である。

(2) 対象業務項目

本業務に含まれる対象業務は下記のとおりである。

1) 公園運営維持管理業務（委託費により行う業務）

① 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

・本業務全体のマネジメント及び企画立案業務
・入園料徴収、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務
・企画広報（行催事企画運営、広報、公園ボランティア活動の支援・調整）
・公園利用者への利用指導、公園利用者へのサービス、園内巡視　等

② 施設・設備維持管理業務

・維持修繕・保守点検等（建物、建物設備、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設、給水施設、水景施設、その他設備）
・清掃（園内清掃、園内建物清掃）　等

③ 植物管理業務

・高木管理、中低木管理、林地管理、草地管理、草花管理等（草刈り、施肥、

灌水、剪定等）

2）収益施設等管理運営業務（土地使用料等を納めた上で独立採算により行う業務）

① 収益施設運営業務

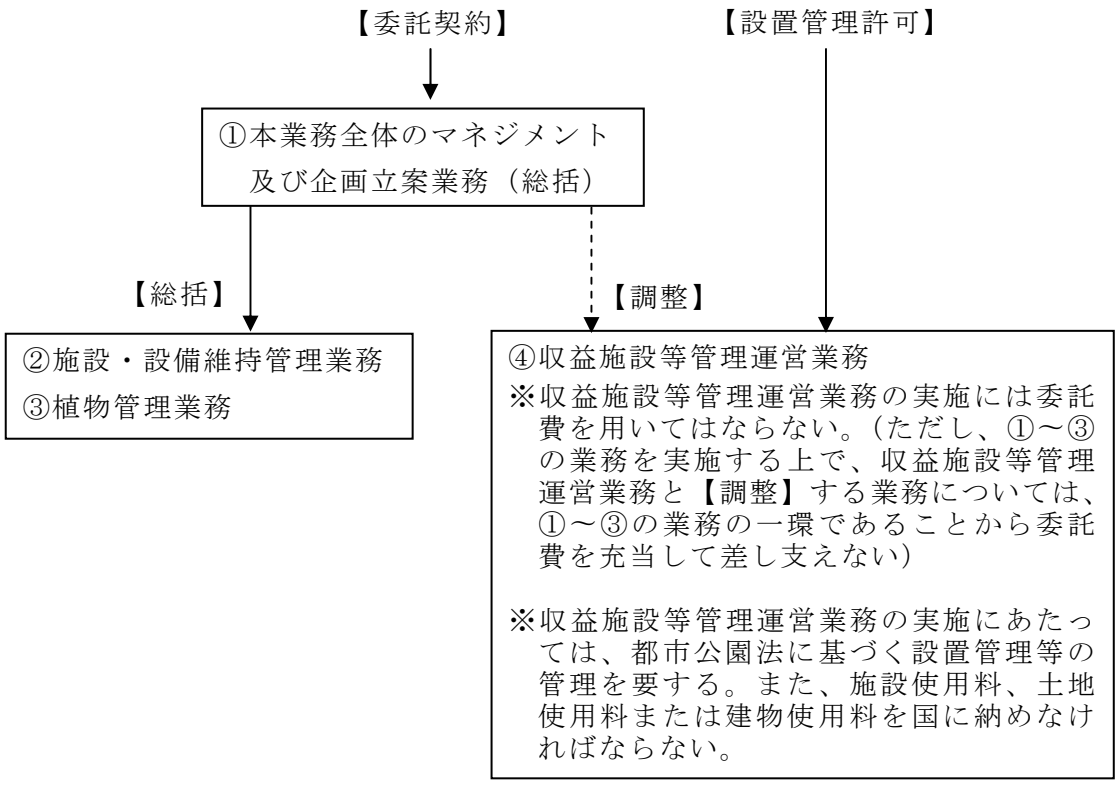
・飲食・物販施設等の運営

② 自主事業

・臨時飲食・物販施設等の運営

（詳細は、別紙－5「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）、別紙－6～8（「28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務個別仕様書（本業務全体のマネジメント及び企画立案）」（以下「個別仕様書（企画立案）」という。）等）、別紙－9「28-31 国営アルプスあづみの公園収益施設等管理運営規定書」（以下「管理運営規定書」という。）を参照のこと。）

(3) 業務全体像



1.2. 業務内容

1.2.1 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

(1) マネジメント

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、施設・設備維持管理業務、植物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整のもと相互連携を保ち、適切な進捗管理を行うとともに、入園料の徴収事務、関東地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。(詳細は、別紙－5「共通仕様書」及び別紙－6「個別仕様書（企画立案)」を参照のこと。)

(2) 企画運営管理

利用促進のための行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収するもの等を含む）や広報宣伝の企画・立案・実施・参加者受付及び公園ボランティアに対する支援・調整を行う業務である。また、公園利用者の安心・安全を確保し、円滑に利用してもらうために、利用指導及び利用案内等の公園利用者に対するサービスの提供、公園利用者の施設予約等の受付、園内巡視、本業務に関わる自動車維持等を行う。さらに、本公園及び周辺地域に生息する野生動物の動向の把握に努め、公園利用者の安全確保を図る。(詳細は、別紙－5「共通仕様書」及び別紙－6「個別仕様書（企画立案)」を参照のこと。)

1.2.2 施設・設備維持管理業務

(1) 維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損個所の軽微な補修又は補充を適切に行う。また、給水施設や電気設備の使用量を計測し記録を確実に行うとともに、水景施設に関しては、衛生面の安全を確保するよう、水質管理を確実に行う。(詳細は、別紙－5「共通仕様書」及び別紙－7「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務個別仕様書（施設・設備維持管理)」(以下「個別仕様書（施設・設備)」という。）を参照のこと。)

(2) 清掃

公園利用の動向、塵芥及び汚水等の発生量に即応して適切な措置をとり、園内や建物の清掃を行い、常時公園内を清潔にする。また、園内に塵芥が散乱した場合は、速やかに園内の清掃を行い、利用に支障が生じないよう適切な措置をとる。なお、塵芥は種類ごとに定められた処理方法に従って、適切に処理する。(詳細は、別紙－5「共通仕様書」及び別紙－7「個別仕様書（施設・設備)」を参照のこと。)

1.2.3 植物管理業務

来園者が当地域の自然環境の豊かさを実感できる四季折々の景観形成を図るため、利用状況、景観等に応じた除草、外来種の除去、芝刈り、施肥、潅水、樹木の剪定等を行うことにより、園内の植物が常に良好な状態にあるように植物管理を行うととも

に、公園利用者に怪我等がないよう適切な管理を行う。さらに、公園内及び周辺に生息する大型哺乳類、猛禽類及び昆虫類の生息環境保全に配慮した植物管理に努める。（詳細は、別紙－5「共通仕様書」及び別紙－8「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務個別仕様書（植物管理)」（以下「個別仕様書（植物)」という。）を参照のこと。）

1.2.4 収益施設等管理運営業務

本実施要項 1.2.1～1.2.3 の業務と連携して公園利用者サービスの向上を図るため、飲食・物販施設などの収益施設の運営管理を行わなければならない。また、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算により行う行催事や繁忙期における臨時物販施設等の自主事業を行うことができる。

具体的には、都市公園法第 5 条、第 6 条または第 12 条の手続きを行った上で、各施設の施設使用料、土地使用料または建物使用料を関東地方整備局に支払い、別紙－3「収益施設一覧」で示す施設の運営管理や、繁忙期における臨時飲食・物販施設等の運営管理を行い、収益施設等の運営において得た利益は事業者の収入とする。また、収益施設のうち、必須施設は公園の開園日時に常時営業する施設、裁量施設は公園の開園日時内で運営日時を事業者が設定し営業する施設である。

なお、収益施設における販売料金等については、関東地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。（収益施設の詳細は、別紙－3「収益施設一覧」及び別紙－9「管理運営規定書」を参照のこと。）。

1.3. サービスの質の設定

本業務の実施にあたり、達成すべき包括的な質（本実施要項 1.3.1 参照）及び個別業務の質（本実施要項 1.3.2 参照）は以下のとおりとする。

1.3.1 包括的な質の設定

本業務に関する包括的な質は本実施要項表 4 のとおりとする。

表 4　包括的な質

【平成 28 年度～平成 30 年度】

基本的な方針	主要事項	達成すべき質
本業務を通して、公園の理念を多くの公園利用者が実感できるような公園利用を可能とする	公園利用者数の確保	・地区別の年間の有料区域の公園利用者数※1 堀金・穂高地区（平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値及び新規開園区域予測値以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：225 千人】、【新規開園区域予測値:11 千人】※2） 大町・松川地区（平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値及び新規開園区域予測値以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：147 千人】、【新規開園区域予測値：6 千人】※2） ・2 地区合計の四半期ごとの有料区域の公園利用者数※1 平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上及び新規開園区域予測利用者数以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：第 1 四半期 96 千人、第 2 四半期 109 千人、第 3 四半期 123 千人、第 4 四半期 44 千人】、【新規開園区域予測利用者数：第 1 四半期 5 千人、第 2 四半期 5 千人、第 3 四半期 5 千人、第 4 四半期 1 千人】※2
	利用者満足度の確保	・地区別の年間及び四半期ごとの公園の運営に関する「満足」の回答比率※3 堀金･穂高地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値：年間 64%、第 1 四半期 61%、第 2 四半期 66%、第 3 四半期 63%、第 4 四半期 65%】） 大町･松川地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値：年間 63%、第 1 四半期 62%、第 2 四半期 64%、第 3 四半期 69%、第 4 四半期 56%】）
	公園特性を生かした植物管理	・地区別の安曇野地方の地域特性を生かした植物管理に関する「満足」の回答比率※4 堀金・穂高地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績値：年間 67%】 大町・松川地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績値：年間 70%】
	多様な利用プログラムの提供	・地区別の体験プログラムの開催種類、延べ参加人数※5 堀金・穂高地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値と同程度以上及び新規開園区域予測値と同程度以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：開催種類 65 種類、延べ参加人数 24 千人】【新規開園区域予測値: 開催種類 30 種類、延べ参加人数 0.4 千人】※6） 大町・松川地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値と同程度以上及び新規開園区域予測値と同程度以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：開催種類 83 種類、延べ参加人数 27 千人】、【新規開園区域予測値：開催種類 7 種類、延べ参加人数 2 千人】※6）
	情報受発信	・マスコミによる報道件数※7（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値:年間 1,494 件】） ・ホームページの総アクセス件数（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値：年間 598 千件】）

※１：公園利用者数の集計方法は別紙－12 による。
平成 24 年度から平成 26 年度の実績値は、クマの出没や地震等の外的要因を含んだ数値である。
※２：新規開園区域の予測値の考え方は以下のとおりである。
なお、平成 28 年度第１四半期の利用者数には、新規開園区域予測値は含めない。
①堀金・穂高地区：新規開園区域では、花修景と体験プログラムによる集客を想定している。
年間：当公園とほぼ同条件（立地条件及び新規開園により全面開園となった国営公園）である、「国営備北丘陵公園」「国営滝野すずらん丘陵公園」での全面開園後の増加来園者数の平均値を予測値とする。
国営備北丘陵公園（H24.4 開園）追加開園による利用者増加数　6,100 人
国営滝野すずらん丘陵公園（H22.5 開園）17,349 人
平均：11,725 人
四半期:年間利用者数を 1/3 とした値を、第 1～第 3 四半期の利用者数(3,908 人)とする。
※上記で算出した予測値(11,725 人)には、体験プログラム参加者数も含んだ数値となっているため、体験プログラムの参加人数(390 人)は加算しない。
②大町・松川地区：新規開園区域では、スポーツと遊びの森(BMX、ランニングバイク)と体験プログラムによる集客を想定している。
・スポーツと遊びの森
年間:周辺地域で、スポーツと遊びの森エリアと類似規模の MTB コースのある施設の中で、①有料施設であること、②利用者数が把握できること、③本公園の施設規模と同等もしくは類似している２つの施設の平成 25、平成 26 年度利用者数 2 カ年平均値から算出。
平成 25 年度:平均 2,837 人(山梨県類似施設 3,400 人、埼玉県類似施設 2,273 人)
平成 26 年度:平均 5,330 人(山梨県類似施設 6,200 人、埼玉県類似施設 4,459 人)
平均：4,084 人
四半期：年間利用者数を 1/3 とした値を、第 1～第 3 四半期の利用者数(1,361 人)とする。
・体験プログラム
年間：体験プログラムは※６を参照
四半期：年間参加人数（2,317 人）を 1/4 とした値を、第 1～第 4 四半期の利用者数(579 人)とする。
・年間利用者数予測値：6,401 人（ｽﾎﾟｰﾂと遊びの森（4,084 人）+体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（2,317 人））
※３：年間及び四半期毎の「公園の利用に関するアンケート調査」（別紙－13）の Q6「公園には満足されましたか？」における「満足」の回答比率の平均値。ただし、平成 24 年度～平成 26 年度実績値は、公園周辺施設で発生する臭気等の外的要因による影響を含んだ数値である。
※４：春季、夏季、秋季の「公園利用者アンケート」（別紙－13）の Q7「②花や樹木の手入れの良さ」における「満足」の回答比率。
※５：体験プログラムとは、以下に示すプログラムとする。
①事業者職員又は公園ボランティアが直接運営するもの
堀金・穂高地区：あづみの学校の「理科教室」「芸術教室」「社会科教室」で行うプログラム、里山文化ゾーンにおける農体験プログラム
大町・松川地区：森の体験舎において食、工芸等の体験を行うプログラム及び園内の自然観察プログラム
②事業者職員又は公園ボランティアが地域の団体等と連携して運営するもの
両地区共通：大北又は安曇野地域の自然、歴史、文化に関連したプログラム
※６：新規開園区域の予測値の考え方は以下のとおりである。
なお、平成 28 年度の第 1 四半期は、新規開園区域予測値は含めないため、予測値を 3/4 した値を使用する。
堀金・穂高地区の新規開園区域の体験プログラムは、1 種 1 回の開催が多いため、1 回当りの参加人数、大町・松川地区の新規開園区域の体験プログラムは、1 種複数回の開催が多いため、1 種あたりの参加人数で算出する。
①堀金・穂高地区：開催種類 30 種(出典：H25 堀金・穂高地区 3 期区域実施設計業務)
延べ参加人数 30 種×13 人/回(平成 24 年度～平成 26 年度プログラムの平均参加人数)=390 人
※2①の利用者数は、体験プログラム参加者数も含んだ数値となっているため延べ参加人数(390 人)は加算しない。
②大町・松川地区：開催種類 7 種(出典：H24 大町・松川地区自然体験ゾーン運営管理検討務)
延べ参加人数 7 種×331 人/種(平成 24 年度～平成 26 年度プログラムの平均参加人数）=2,317 人

※７：マスコミ報道件数の目標とは、以下のそれぞれの件数と合計件数。
委託費による有料広告等についてはカウントできないが、委託費によらない自主事業等による有料広告等はカウントできるものとする。
・テレビ（NHK・民放）・ラジオ（AM、FM）の放送件数で、１番組につき１カウントとする。
・一般社団法人日本新聞協会加盟の新聞・大糸タイムス、販売や配布エリアが安曇野市、大町市域を超える範囲の雑誌・情報誌への紙面掲載件数で、新聞については１紙／回につき１カウントとし、雑誌・情報誌については、１冊／回につき１カウントとする。但しホームページ等インターネット記事掲載は除く。
・事件、事故等の報道件数は除く。

【平成 31 年度分（平成 31 年 4 月から平成 31 年 12 月まで)】※1

基本的な方針	主要事項	達成すべき質
本業務を通して、公園の理念を多くの公園利用者が実感できるような公園利用を可能とする	公園利用者数の確保※2	・地区別の年間の有料区域の公園利用者数※2 堀金・穂高地区（平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値及び新規開園区域予測値以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：203 千人】、【新規開園区域予測値:11 千人】※3） 大町・松川地区（平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値及び新規開園区域予測値以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：125 千人】、【新規開園区域予測値：5 千人】※3） ・2 地区合計の四半期ごとの有料区域の公園利用者数※2 平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上及び新規開園区域予測利用者数以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：第 1 四半期 96 千人、第 2 四半期 109 千人、第 3 四半期 123 千人】、【新規開園区域予測利用者数：第 1 四半期 5 千人、第 2 四半期 5 千人、第 3 四半期 5 千人】※3
	利用者満足度の確保	・地区別の年間及び四半期ごとの公園の運営に関する「満足」の回答比率※4 堀金・穂高地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値：第 1 四半期 61%、第 2 四半期 66%、第 3 四半期 63%】） 大町・松川地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値：第 1 四半期 62%、第 2 四半期 64%、第 3 四半期 69%】）
	公園特性を生かした植物管理	・地区別の安曇野地方の地域特性を生かした植物管理に関する「満足」の回答比率※5 堀金・穂高地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績値：第 1 四半期 66%、第 2 四半期 68%、第 3 四半期 67%】 大町・松川地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績値：第 1 四半期 70%、第 2 四半期 70%、第 3 四半期 70%】）
	多様な利用プログラムの提供	・地区別の体験プログラムの開催種類、延べ参加人数※6 堀金・穂高地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値と同程度以上及び新規開園区域予測値と同程度以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：第１～第３四半期までの開催種類 54 種類、延べ参加人数 20 千人】、【新規開園区域予測値: 開催種類 23 種類、延べ参加人数 0.3 千人】※7） 大町・松川地区（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値と同程度以上及び新規開園区域予測値と同程度以上【平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均値：第１～第３四半期までの開催種類 66 種類、延べ参加人数 22 千人】、【新規開園区域予測値: 開催種類 5 種類、延べ参加人数 1 千人】※7）
	情報受発信	・マスコミによる報道件数※8（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値：第１～第３四半期までの回数 1,185 件】） ・ホームページの総アクセス件数（平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値以上【平成 24 年度～平成 26 年度実績平均値：第１～第３四半期までの回数 492 千件】）

※１：平成 32 年 1 月は、達成すべき包括的な質は設定しない。平成 31 年度の達成すべき包括的な質は、第 3 四半期までの実施状況を確認するものとする。

※２：公園利用者数の集計方法は別紙－12 による。
平成 24 年度から平成 26 年度の実績値は、クマの出没や地震等の外的要因を含んだ数値である。

※３：新規開園区域の予測値の考え方は以下のとおりである。
①堀金・穂高地区：新規開園区域では、花修景と体験プログラムによる集客を想定している。
年間：当公園とほぼ同条件（立地条件及び新規開園により全面開園となった公園）である、「国営備北丘陵公園」「国営滝野すずらん丘陵公園」での全面開園後の増加来園者数の平均値を予測値とする。

国営備北丘陵公園（H24.4 開園）追加開園による利用者増加数　6,100 人
国営滝野すずらん丘陵公園（H22.5 開園）17,349 人
平均：11,725 人
四半期:年間利用者数を 1/3 とした値を、第 1～第 3 四半期の利用者数(3,908 人)とする。
※上記で算出した予測値(11,725 人)には、体験プログラム参加者数も含んだ数値となっているため、体験プログラムの参加人数(390 人)は加算しない。

②大町・松川地区：新規開園区域では、スポーツと遊びの森(BMX、ランニングバイク)と体験プログラムによる集客を想定している。

・スポーツと遊びの森
年間:周辺地域で、スポーツと遊びの森エリアと類似規模の MTB コースのある施設の中で、①有料施設であること、②利用者数が把握できること、③本公園の施設規模と同等もしくは類似している 2 つの民間施設の平成 25、平成 26 年度利用者数 2 カ年平均値から算出。
平成 25 年度:平均 2,837 人(山梨県類似施設 3,400 人、埼玉県類似施設 2,273 人)
平成 26 年度:平均 5,330 人(山梨県類似施設 6,200 人、埼玉県類似施設 4,459 人)
平均値：4,084 人
四半期：年間利用者数を 1/3 とした値を第 1～第 3 四半期の利用者数(1,361 人)とする。

・体験プログラム
年間：体験プログラムは※７を参照
四半期：年間参加人数（1,655 人）を 1/3 とした値を、第 1～第 3 四半期の利用者数(552 人)とする。

・年間利用者数予測値（ｽﾎﾟｰﾂと遊びの森（4,084 人）+体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（1,655 人））：5,739 人

※４：年間及び四半期毎の「公園の利用に関するアンケート調査」（別紙－13）の Q6「公園には満足されましたか？」における「満足」の回答比率の平均値。ただし、平成 24 年度～平成 26 年度実績値は、公園周辺施設で発生する臭気等の外的要因による影響を含んだ数値である。

※５：春季、夏季、秋季の「公園利用者アンケート」（別紙－13）の Q7「②花や樹木の手入れの良さ」における「満足」の回答比率。

※６：体験プログラムとは、以下に示すプログラムとする。

①事業者職員又は公園ボランティアが直接運営するもの
堀金・穂高地区：あづみの学校の「理科教室」「芸術教室」「社会科教室」で行うプログラム、里山文化ゾーンにおける農体験プログラム
大町・松川地区：森の体験舎において食、工芸等の体験を行うプログラム及び園内の自然観察プログラム

②事業者職員又は公園ボランティアが地域の団体等と連携して運営するもの
両地区共通：大北又は安曇野地域の自然、歴史、文化に関連したプログラム

※７：新規開園区域の予測値の考え方は以下のとおりである。
堀金・穂高地区の新規開園区域の体験プログラムは、1 種 1 回の開催が多いため、1 回当りの参加人数、大町・松川地区の新規開園区域の体験プログラムは、1 種複数回の開催が多いため、1 種あたりの参加人数で算出する。
堀金・穂高地区：開催種類 23 種（年間の開催種類 30 種に 0.75 を掛け算出）
延べ参加人数　(23 種×13 人/回(平成 24 年度～平成 26 年度プログラムの平均参加人数))=299 人
※３①の利用者数は、体験プログラム参加者数も含んだ数値となっているため延べ参加人数(299 人)は加算しない。
大町・松川地区：開催種類 5 種（年間の開催種 7 種に 0.75 を掛け算出）
延べ参加人数（5 種×331 人/種(平成 24 年度～平成 26 年度プログラムの平均参加人数))=1,655 人

※８：マスコミ報道件数の目標とは、以下のそれぞれの件数と合計件数。
委託費による有料広告等についてはカウントできないが、委託費によらない自主事業等による有料広告等はカウントできるものとする。
・テレビ（NHK・民放）・ラジオ（AM、FM）の放送件数で、１番組につき１カウントとする。
・一般社団法人日本新聞協会加盟の新聞・大糸タイムス、販売や配布エリアが安曇野市、大町市域を超える範囲の雑誌・情報誌への紙面掲載件数で、新聞については１紙／回につき１カウントとし、雑誌・情報誌については、１冊／回につき１カウントとする。但しホームページ等インターネット記事掲載は除く。
・事件、事故等の報道件数は除く。

1.3.2 個別業務の質の設定

次に示す個別業務の質を確保すること。なお、個別業務の質、および最低水準は、別紙－5「共通仕様書」及び別紙－6～9（「個別仕様書（企画立案)」等）による。

ただし、個別業務の質の最低水準は、企画書（本実施要項 4.2.3 参照）において改善提案を行うことができる。

個別業務の質の最低水準と異なる提案を行う場合は理由を示すこと。

また、設計数量が変更となる提案をする場合は、当該工種と変更数量、変更が可能な理由を示すこと。

(1) 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

1) マネジメント

多岐にわたる業務について適切な目標を定め、総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、実施の方法が決定され、さらに、これらの業務を総括し、適切な進捗管理が行われていること。

また、入園料の徴収、国庫への納入などを行うことその他本業務が円滑に行われるための諸業務を実施すること。(詳細は、別紙－6「個別仕様書（企画立案)」を参照のこと。)

2) 企画運営管理

公園利用者の満足度が高いレベルで保たれていることを目的とし、多種多様な公園利用者のニーズを適切に把握したうえで、指定された業務内容を実施し、公園利用者への適切な指導・サービス、利用促進のための行催事、公園ボランティアとの良好な連携に向けた支援・調整を行うとともに、常時適切な広報、情報発信を行い認知度を向上すること。(詳細は、別紙－6「個別仕様書（企画立案)」を参照のこと。)

(2) 施設・設備維持管理業務

1) 維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等の性能が常時適切な状態で保たれているとともに、公園利用者の安全が確保されていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、建物、園路広場、遊具等の機能及び劣化の状態を調査するとともに、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置が判断・実行されていること。(詳細は、別紙－7「個別仕様書（施設・設備)」を参照のこと。)

2) 清掃

快適な公園環境が保たれていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防すること。(詳細は、別紙－7「個別仕様書（施設・設備)」を参照のこと。)

(3) 植物管理業務

本公園の意義や役割、機能を踏まえた演出を目的とし、公園全体の利用状況、景観、

季節、及び生物の生育環境等に応じ、自生植物や園芸植物等の特性にあった年間管理計画を作成し、植物が常に良好な状態にあること。(詳細は、別紙－8「個別仕様書（植物)」を参照のこと。)

(4) 収益施設等管理運営業務

公園利用者へのサービス向上を目的とし､公園管理の包括的･統一的な管理のもと、公園運営維持管理業務との連携調整を図りながら、公園利用者の利便性が高まり、安全・快適かつ清潔な環境が保たれていること。また、自主事業を行う場合は、公園の利便性や魅力をより一層高めるよう適切に行うこと。(詳細は、別紙－9「管理運営規定書」を参照のこと。)

1.3.3 創意工夫の発揮可能性

本業務を実施するにあたっては、事業者の創意工夫を反映し、本公園が国民に提供する空間・サービスの質の向上（包括的な質の向上、効率の向上、経費削減等）に努めるものとする。

(1) 企画提案

事業者は、別途定める様式に従い、本公園が国民に提供する空間・サービスの包括的な質（本実施要項 1.3.1 参照）の向上の観点から、以下の事項を提案し企画書（本実施要項 4.2.3 参照）を提出すること。なお、企画書に記載した提案については、履行の義務を負うものとする。また、業務計画書の承諾にあたり、関東地方整備局が実施を認めない提案がある場合は、その実施前までに代替案を検討するよう指示することがある。この場合でも、原則として、企画書に記載した目標の変更は認めない。

① 目標とする公園利用者数の確保に関する提案
② 利用者満足度の確保に関する提案
③ 公園特性を生かした植物管理に関する提案
④ 公園特性及び資源、施設を生かした運営管理に関する提案
⑤ 多様な利用プログラムの提供に関する提案
⑥ 情報受発信に関する提案
⑦ 地域との連携活動・市民との協働活動に関する提案
⑧ 公園利用者等の安全を確保する管理手法に関する提案
⑨ 緊急時及び非常時の対応に関する提案
⑩ 自主事業に関する提案
⑪ 収益施設の運営に関する提案

(2) 各業務の最低水準として示された仕様書に対する改善提案

事業者は、下記に示す業務の最低の水準（本実施要項 1.3.2 参照）として示された仕様書に対し、改善すべき提案がある場合は、別途定める様式に従い、具体的な方法等を示すとともに、最低水準が確保できる根拠等を提示し企画書（本実施要項 4.2.3 参照）を提出すること。なお、企画書に記載した提案については、履行の義務を負う

ものとする。

① 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

② 施設・設備維持管理業務

③ 植物管理業務

④ 収益施設等管理運営業務

また、設計数量が変更となる提案をする場合は、当該工種と変更数量、変更が可能な理由、企画提案との関連がある場合は該当箇所を示すとともに、改善提案で変更を提案した数量以外は、公示している数量に基づき入札を行うこと。ただし、業務計画書の承諾にあたり、関東地方整備局が提案の実施を認めない場合がある。

(3) 収益施設運営実績書及び計画書

事業者は、各収益施設の運営実績および運営計画を具体的に記述し「収益施設運営実績書」（様式 1－9-1～1-9-3）及び「収益施設運営計画書」（様式 3-1～3-4-3）を提出すること。

1.3.4 モニタリング方法

関東地方整備局は、包括的な質及び個別業務の質について、その実施状況を確認するため、業務実施前に事業者が作成した業務計画書をもとに、その達成状況について本実施要項表 5 に示すモニタリング調査を実施する。なお、モニタリング調査の結果は、関東地方整備局により公表されることがある。

表 5　モニタリング調査

【平成 28 年度～平成 30 年度】

主要事項	達成すべき質	モニタリング方法	実施者
公園利用者数の確保	・地区別の年間の有料区域の公園利用者数 ・2 地区合計の四半期ごとの有料区域の公園利用者数	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整備局
利用者満足度の確保	・地区別の年間及び四半期ごとの公園の運営に関する「満足」の回答比率	・アンケート調査（４回以上／年）	関東地方整備局
公園特性を生かした植物管理	・地区別の安曇野地方の地域特性を生かした植物管理に関する「満足」の回答比率	・アンケート調査（３回以上／第１四半期から第３四半期）	関東地方整備局
多様な利用プログラムの提供	・地区別の年間の体験プログラムの開催種類､延べ参加人数	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整備局
情報受発信	・マスコミによる報道件数	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整備局
	・ホームページの総アクセス件数	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整備局
個別業務の	・「1.3.2 個別業務の質の設定」	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整

質	に記載した内容の確保		備局

関東地方整備局は、公園利用者を対象として、別紙－13「公園利用者アンケート」にある調査票によりアンケート調査を年間 4 回以上（実施月の平日・休日各 1 日）実施する。サンプル数は年間で堀金・穂高地区 800 件程度、大町・松川地区 800 件程度とし、アンケート調査は、堀金・穂高地区：ガイドセンター及び大町・松川地区：インフォメーションセンターにおいて、対面式で行う予定である。

【平成 31 年度分（平成 31 年 4 月から平成 32 年 1 月まで)】

主要事項	達成すべき質	モニタリング方法	実施者
公園利用者数の確保	・地区別の年間の有料区域の公園利用者数 ・2 地区合計の四半期ごとの有料区域の公園利用者数料区域の公園利用者数	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整備局
利用者満足度の確保	・地区別の年間及び四半期ごとの公園の運営に関する「満足」の回答比率	・アンケート調査（3回以上／第３四半期まで）	関東地方整備局
公園特性を生かした植物管理	・地区別の安曇野地方の地域特性を生かした植物管理に関する「満足」の回答比率	・アンケート調査（3回以上／第３四半期まで）	関東地方整備局
多様な利用プログラムの提供	・地区別の年間の体験プログラムの開催種類､延べ参加人数	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整備局
情報受発信	・マスコミによる報道件数	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整備局
	・ホームページの総アクセス件数	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整備局
個別業務の質	・「1.3.2 個別業務の質の設定」に記載した内容の確保	・管理月報の確認（毎月実施）	関東地方整備局

関東地方整備局は、公園利用者を対象として、別紙－13「公園利用者アンケート」にある調査票によりアンケート調査を年間 3 回以上（実施月の平日・休日各 1 日）実施する。サンプル数は年間で堀金・穂高地区 600 件程度、大町・松川地区 600 件程度とし、アンケート調査は、堀金・穂高地区：ガイドセンター及び大町・松川地区：インフォメーションセンターにおいて、対面式で行う予定である。

1.3.5 委託費の支払い方法

(1) 公園運営維持管理業務

a) 事業者は、提出した業務計画書に基づいて、公園運営維持管理業務を実施することにより、包括的な質（本実施要項 1.3.1 参照）の確保に努めるとともに、個別業務の質（本実施要項 1.3.2 参照）の最低水準を確保しなければならない。

b)関東地方整備局は、上記の履行内容を確認し、検査したうえで、会計年度（4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで）を基準とし、委託費を支払うものとし、その支払いは適

正な請求書を受理した日から起算して３０日以内とする。ただし、検査の結果、包括的な質及び個別業務の質の最低水準が確保されていない場合は、災害等による長期閉園その他の事業者の責に帰すことが出来ない事由によると関東地方整備局が判断したものを除き、適切に業務を行うよう改善の指示（業務の履行中を含む。）を行うこととし、事業者は要因分析を行い、業務改善計画書を提出し、承諾を得ない限り、委託費の請求はできないものとする。

c）各年度の委託費の確定額は、業務に要した経費の実支出額と各年度の委託費の支払の限度額のいずれか低い額とする。

d）会計法第 22 条、予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号。以下「予決令」という。）第 58 条に基づく協議が整った場合において、事業者は委託費の使用状況について調査職員等の確認を受けた上で、業務計画書及び各年度別四半期別必要経費内訳書に基づいて、各年度の四半期における所要額として委託費の概算払を四半期毎に請求できる。ただし、業務の改善の指示があった場合には、事業者は要因分析を行い、業務改善計画書を提出し、承諾を得ない限り、次の四半期の概算払いに係る委託費の請求はできないものとする。

e）事業者の運営維持管理の責任に拠らないと関東地方整備局が判断した、災害等による長期閉園その他の事由により、業務実施前に事業者が作成した業務計画書をもとに設定した包括的な質及び個別業務の質の最低水準が未達成の場合には、委託費の減額は行わない。

(2) 収益施設等管理運営業務

収益施設や自主事業の運営において得た利益は事業者の収入とし、各施設の施設使用料、土地使用料または建物使用料（詳細は、別紙－9「管理運営規定書」を参照のこと。）を関東地方整備局に支払うものとする。施設使用料、土地使用料または建物使用料については、許可後、歳入徴収官関東地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、納入告知から２０日以内に納入しなければならない。（別紙－9「管理運営規定書」を参照のこと。）

なお、関東地方整備局は、経済情勢の変動その他特に必要があると認める場合には、施設使用料、土地使用料または建物使用料を改定することができる。

1.3.6 費用負担等に関するその他の留意事項

(1) 消耗品等

本業務を実施するにあたり、別紙－5「共通仕様書」及び別紙－6～9（「個別仕様書（企画立案）」等）に記載のあるものを除き、公園利用者が使用する消耗品、本業務を行ううえで事業者が使用する消耗品や付属品については支給しない。また、関東地方整備局から貸与する物品（詳細は、別紙－21「提供物品一覧（機械器具等）」を参照のこと。）については、事業者の責めに帰すべき事由により損害した場合は原状復旧を事業者の負担により行った上で、契約期間終了後は関東地方整備局へ返却するものとする。この場合、原状復旧に要する費用に委託費を充当することはできない。

(2) 光熱水費

関東地方整備局は、事業者が本業務を実施するのに必要な光熱水費を無償で提供するものとする（ストーブ用木質系燃料及びイベント等に使用する発動発電機の燃料並びに収益施設等管理運営業務の実施に係るものを除く。）。

光熱水費については、基本的に園内に係わる全ての使用について、一括して供給会社より請求されるため、事業者は調査職員（本実施要項 8.1.4 参照）の指示に従い、以下の作業を行うものとする。

① 個別にメーターを設置するなど、収益施設等管理運営業務の実施にかかるものの使用量が切り分けられるようにし、調査職員の指示する日に各メーターを確認し、毎月の使用量の集計表を作成するものとする。

② 関東地方整備局、事業者、その他の光熱水費を負担すべきものの詳細な負担金額計算を行ない、その明らかにした算定表を、集計表とともに調査職員に指示された期日までに提出するものとする。

③ その他、光熱水費の使用から支払に至る諸般の事務処理について、調査職員の指示に従い、また協力するものとする。

(3) 法令等変更による増加費用及び損害の負担

法令等の変更により事業者に生じた合理的な増加費用及び損害は、以下の①から②のいずれかに該当する場合には関東地方整備局が負担し、それ以外の法令変更等による増加費用及び損害については事業者が負担する。

① 本業務に類型的又は特別に影響を及ぼす法令、行政基準等の制定又は改廃

② 消費税（地方消費税を含む）その他の税制度（法人税その他事業者の利益に課される税に関するものを除く。）の税率及び課税対象の変更並びに税制度（事業者の利益に課される税に関するものを除く。）の新設

(4) 収益施設等管理運営業務に関する留意事項

収益施設等管理運営業務に関し、企画書において提案された内容については、当該事業が公園利用にふさわしくない場合等、その実施を許可しない場合があるため、本業務の契約段階で関東地方整備局に協議するものとする。

事業者が関東地方整備局との協議の後に、自主事業を実施する場合には、あらためて関東地方整備局から必要な許可を得なければならない。その際、事業者は関東地方整備局に対して土地使用料または建物使用料を納める必要がある場合がある。

(5) 事業者と関東地方整備局の責任分担

事業者と関東地方整備局の役割分担は、実施要項表 6 に示すとおりである。

表 6　事業者と関東地方整備局の責任分担

項目		関東地方整備局	事業者	
			運営維持管理	収益施設
	内　　容			
料金徴収業務	入園料（収益施設運営に係るものを除く）の徴収業務（徴収料金は、関東地方整備局に納付）		○	
公園施設の管理	公園施設の管理（都市公園法第 5 条に基づき設置・管理している施設は除く。）		○	
収益施設の管理	収益施設の管理			◎
物品の管理	関東地方整備局より提供のあった物品の管理		○	◎
	本業務において取得した物品及び消耗品の管理		○	
苦情・要望対応	施設管理、運営業務内容に対する住民及び公園利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○	◎
	上記以外の場合	○		
事故・災害時対応	本仕様書等に記載された業務内容による対応		○	◎
	上記以外の場合	○		
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○	◎
	但し、30/1000 以上の物価変動が見込まれる場合	○		
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○	◎
運営日時の変更	開園日時の変更（事業者による提案）に伴う経費の増減		○	
	収益施設の運営日時の変更に伴う経費の増減			◎
許認可	都市公園法に基づく許認可	○		
	公園利用者の受付及び書類交付手続きの補助		○	
施設・物品等の修繕	事業者の責めに帰すべき事由による場合（事業者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）（以下この表において「①」という。）		◎	◎
	修繕にかかる費用が 1 件あたり 100 万円を超えない場合かつ年間修繕費用 1,300 万円（税抜き）【平成 28～30 年度】、1,100 万円（税抜き）【平成 31 年度分】※を超えない場合（上記①を除く。）。		○	
	収益施設の建物の構造に関わる部分を除く修繕にかかる費用（上記①を除く。）。			◎
	上記３項目以外の場合 ※予算の状況により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、年間業務計画の変更を協議するものとする。	○		
不可抗力	大規模な自然災害等（災害対策本部運営計画に基づく警戒体制以上の体制をとるような事態）の不可抗力（以下この表において「②」という。）により公園施設に著しい損害を受けた場合に、公園を一時閉園するなどして行わなければならない施設、設備等の復旧等 ※上記②により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、対応を協議するものとする。	○		
公園利用者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、公園利用者に損害を与えた場合（事業者の不適切な運営又は、施設管理による公園利用者の怪我等）		◎	◎
	共通仕様書第 27 条の保険の付保及び事故の補償に係る場合		○	◎
	上記２項目以外の場合	○		
第三者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、第三者に損害を与えた場合		◎	◎
	上記以外の場合	○		

※年間修繕費用は、軽微な維持管理修繕に要した費用の平成 24 年度～平成 26 年度の実績平均と現在の状況を踏まえた額であり、本業務において事業者によるこれと同程度の修繕を見込んでいる。実績は、別紙－34「建物・工作物に係る修繕履歴（修繕箇所、費用等)」を参照のこと。
※事業者の責任分担に係る項目のうち◎の項目については、委託費を充当することはできない。

(6) 資料等の作成・提出の指示

本業務の遂行上、必要に応じて関東地方整備局は事業者から業務状況を把握するための資料及び資料に付随するデータの作成及び提出を指示することがある。事業者が関東地方整備局に対して提供した資料及び資料に付随するデータの著作権（本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じたもの並びに事業者に権利が帰属しないものを除く。）はすべて、事業者に属する。ただし、事業者は、関東地方整備局に対して、本業務の目的を達成するために必要な限度で、当該成果物を無償で使用させる。

(7) 広報・行催事経費について

広報・行催事経費への委託費の支出にあたっては、本公園の設置趣旨を踏まえ、公園の広報・行催事としてふさわしいものであるとともに、公共性が高く、利用者全体に係わるもので､社会通念上理解の得られる範囲内での必要な経費に限るものとする。

２．実施期間に関する事項

本業務の実施期間は、以下のとおり予定している。

平成 28 年 4 月 1 日～平成 32 年 1 月 31 日

但し、以下の場合、実施期間中であっても、契約を打ち切る場合がある。

a）関東地方整備局の検査の結果､包括的な質及び個別業務の質の最低水準が確保されておらず､適切に業務を行うよう改善の指示（業務の履行中を含む｡）を行ったにもかかわらず､事業者が業務改善計画書の提出を怠る､あるいは､承諾に足り得ない、または改善内容の履行が十分に図られないなど、本業務の履行が著しく困難と判断されるとき。

b）法第 22 条第 1 項第 1 号イからチ又は同項第 2 号に該当するとき。

c）繰り返し法令違反を行ったとき。

d）暴力団員を業務を統括する者又は従業員として雇用していることが明らかになったとき。

e）暴力団又は暴力団関係者との社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき。

３．入札参加資格に関する事項

3.1. 入札参加資格について

入札参加者に要求される資格は以下のとおりである。

a) 法第 15 条において準用する法第 10 条各号に該当する者でないこと。
b)予決令第 70 条の規定に該当しない者であること。
c) 予決令第 71 条の規定に該当しない者であること。
d) 国土交通省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」の関東・甲信越地域の競争参加資格を有する者であること（本実施要項 4.2.2 に示す申請書類（以下「申請書類」という。）の提出期限において、現に競争参加資格を有するか、競争参加資格申請書が受理されていることが確認できること。なお、本実施要項 4.1.に示す「企画書・収益施設運営計画書の受付期限」に競争参加資格の認定がなされない場合は、競争に参加する資格を有しない者のした入札に該当し、入札は無効となる。）
e)会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（競争参加資格に関する公示に基づき e)の競争参加資格を継続する為に必要な手続きをおこなった者を除く。）でないこと。
f) 申請書類の提出期限の日から開札の時までの期間に、関東地方整備局から指名停止を受けていないこと。
g) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省公共事業等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
h) 他の入札参加者又は所属する共同体以外の共同体の構成員との間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
① 資本関係
以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。
ｱ)親会社と子会社の関係にある場合
ｲ)親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
② 人的関係
以下のいずれかに該当する二者の場合。ただしｲ)については、会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。
ｱ)一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
ｲ)一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合
i) 競争の公正性を害すると判断される場合には、当該対象公共サービスに係る業務に関与する者でないこと。
j) 関東地方整備局国営公園運営維持管理業務有識者委員会の委員構成員又は委員構成員が属する事業者でないこと。
k) 守秘義務の遵守などについて社内の規則で明記していること。

1) 国営アルプスあづみの公園事務所で平成 26 年度に実施の「H26 国営アルプスあづみの公園運営維持管理手法改善検討他業務」、平成 27 年度に実施の「H27 あづみの公園運営維持管理履行確認業務」、「H27 あづみの公園満足度調査業務」、「H27 あづみの公園運営維持管理方針策定業務」に参加している者及び当該業務の監理技術・担当技術者の出向・派遣元並びにこれらの者と資本面・人事面で関係がある者でないこと。

なお、「業務に参加」とは、当該業務の下請け（測量、地質調査業務も含む）をしていることをいい、「資本面・人事面で関係がある」とは本実施要項 3.1.h)①、②に該当することをいう。

3.2. 企業の業務実績に関する要件

本実施要項 1.2.に掲げる業務を担当する企業等は、業務内容に応じて次頁に示す「表 7　企業の業務実績等に関する要件」を満たすこと。なお、参加資格要件の確認は、申請書類の提出期限の日をもって行うものとする。

表 7　企業の業務実績等に関する要件

	①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務	②施設・設備維持管理業務	③植物管理業務	④収益施設等管理運営業務
	・本業務全体のマネジメント及び企画立案業務に必要な要件	・施設・設備維持管理業務に必要な要件	・植物管理業務に必要な要件	・収益施設等管理運営業務に必要な要件
業務実績※1	下記に示す業務（平成 12 年度以降に完了した履行期間が概ね 12 ヶ月以上の業務に限る）において１件以上の実績を有していること（申請書類提出時において実施中の業務にあっては、平成 28 年 3 月 31 日までに完了するもの）			
	下記の1)～2)のいずれかを対象とした業務全体のマネジメント及び企画立案業務（本実施要項1.2.1参照）の実績を１件以上有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.2参照）の実績を１件以上有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした植物管理業務（本実施要項1.2.3参照）の実績を１件以上有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.4参照）の実績（収益施設のうち、いずれか１種類以上の運営を行った実績）を１件以上有すること
	1)都市公園の種別として、地区公園、特殊公園、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園） 2)レクリエーション施設※2 又は観光・商業施設※3 で、園地管理※4 を行っている施設			
注意事項	共同体等の代表者等の中心的役割を担った業務のみを実績とする	共同体等の一員（代表者以外）としての実績も認める		
保有資格者			１級造園施工管理技士を１名以上有する法人であること	

※1：業務実績は、契約書等により実績が確認できるものに限る。（共同体での実績の場合は、当該企業が実施した業務分のみが実績となる。）
※2:レクリエーション施設：主に屋外において、都市公園法の公園施設と同様な施設の構成により不特定多数の利用者へ有料でサービスを提供しているもの(例：遊園地、動物園、植物園、水族館、牧場、テーマパーク、ゴルフ場等)
※3:観光・商業施設：宿泊、ツアーガイド、物品販売など多様なサービスを一元的に不特定多数の利用者へ有料で提供しているもの(例：大規模ホテル、複合ショッピングセンター等)
※4：園地：屋外において年間を通して植物と空地が一体となり、それらの利用・鑑賞を目的として広く一般に周知されているとともに、適切かつ計画的な維持管理がなされている現存する園地。（移動可能なプランター等の植物管理は含まない。）

3.3. 配置予定者の業務実績に関する要件

本実施要項 1.2.に掲げる業務を担当する配置予定者は、業務内容に応じて次頁に示す「表 8　配置予定者の業務実績等に関する要件」を満たすこと。なお、参加資格要件の確認は、申請書類の提出期限の日をもって行うものとする。

表８　配置予定者の業務実績等に関する要件

<table>
<tr><td colspan="2"></td><td>①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務の業務責任者（総括責任者）</td><td>②施設・設備維持管理業務の業務責任者</td><td>③植物管理業務の業務責任者</td><td>④収益施設等管理運営業務の業務責任者</td></tr>
<tr><td rowspan="5">業務の経験※1</td><td colspan="5">下記に示す同種又は類似業務（平成 12 年度以降に完了した履行期間が概ね 12 ヶ月以上の業務に限る）の経験を有すること（申請書類提出時において実施中の業務にあっては、平成 28 年 3 月 31 日までに完了するもの）</td></tr>
<tr><td>同種業務の経験</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした業務全体のマネジメント及び企画立案業務（本実施要項1.2.1参照）の実績を有し、かつ、下記のｱ)～ｳ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.2参照）に関する業務の実績を有し、かつ、施設・設備維持管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした植物管理業務（本実施要項1.2.3参照）に関する業務の実績を有し、かつ、植物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.4参照）に関する業務の実績（収益施設のうち、いずれか１種類以上の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等管理運営業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">1)都市公園の種別として、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園）
2)レクリエーション施設※4 又は観光・商業施設※5 で、2ha以上の園地管理※6を行っている施設</td></tr>
<tr><td></td><td>ｱ)延べ２年以上の総括責任者※2の経験
ｲ)延べ３年以上の業務責任者※3の経験
ｳ)総括責任者※2または業務責任者※3の経験を有し、かつ技術士（建設部門：都市及び地方計画）または技術士（総合技術監理部門：建設）の資格を有する者</td><td colspan="3">ｴ)延べ２年以上の業務責任者※3 の経験
ｵ)延べ３年以上の業務経験</td></tr>
<tr><td></td><td>類似業務の経験</td><td>下記の4)～5)のいずれかを対象とした業務全体のマネジメント及び企画立案業務（本実施要項1.2.1参照）の実績を有し、かつ、下記のｱ)～ｳ)のいずれかの経験を有すること
又は、下記の3)～5)のいずれかを対象としたマネジメント、企画運営管理、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、収益施設等管理運</td><td>下記の4)～5)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.2参照）に関する業務の実績を有し、かつ、施設・設備維持管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の4)～5)のいずれかを対象とした植物管理業務に関する業務（本実施要項1.2.3参照）の実績を有し、かつ、植物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の4)～5)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.4参照）に関する業務の実績（収益施設のうち、いずれか１種類以上の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等運営業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td>営業務（本実施要項1.2.1(1)、(2)、1.2.2～1.2.4参照）のいずれかに関する業務の実績を有し、かつマネジメント、企画運営管理、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、収益施設等管理運営業務のいずれかに関する下記のｲ)又はｳ)のいずれかの経験を有すること</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">3)都市公園の種別として、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園）
4)都市公園の種別として、地区公園又は特殊公園
5)レクリエーション施設※4 又は観光・商業施設※5 で、園地管理※6を行っている施設</td></tr>
<tr><td>ｱ)延べ３年以上の総括責任者※2 の経験
ｲ)延べ４年以上の業務責任者※3 の経験
ｳ)延べ１年以上の総括責任者※2または延べ２年以上の業務責任者※3の経験を有し、かつ技術士（建設部門：都市及び地方計画）または技術士（総合技術監理部門：建設）の資格を有する者</td><td colspan="3">ｴ)延べ３年以上の業務責任者※3 の経験
ｵ)延べ４年以上の業務経験</td></tr>
<tr><td colspan="2">資格</td><td>－</td><td>－</td><td>１級造園施工管理技士</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施体制</td><td colspan="4">・業務責任者※3 は、平成28年４月１日時点において、単体企業又は共同体の構成員との直接的な雇用関係があるものであること。企画書の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用関係にあること（雇用関係にあることを約束する念書等（任意書式）で確認する）。なお、単体企業又は共同体の構成員との直接的な雇用関係がないことが判明した場合、「虚偽の記載」として取り扱う。
・上記①の業務責任者※3 を総括責任者※2 とすること。
・共同体にあっては、上記①の総括責任者※2 は代表企業に所属する者とすること。
・総括責任者及び総括責任者以外の業務責任者は、原則、実施期間中専任※7とする。なお、病気・死亡等の事情によりやむを得ず総括責任者又は総括責任者以外の業務責任者を変更する場合は、上記に掲げる基準を満たし、かつ、当初の者と同等以上の者を配置するものとし、予め関東地方整備局の承諾を得るものとする。
・総括責任者※2 は各業務の業務責任者を兼務することができる。また、業務責任者※3 は他業務の業務責任者※3 を兼務することができる。
・開園期間中は、上記①～④の業務責任者のうち、少なくとも２名以上が勤務する体制とすること。さらに業務責任者が勤務しない業務については、その業務に精通した者を勤務させるものとし、緊急対応を含め上記①～④が円滑かつ迅速に行われる勤務体制をとること。なお、やむを得ず業務責任者を２名以上勤務する体制をとることが一時的に困難となる場合には、緊急対応を含め、上記①～④の業務が迅速かつ円滑に行われる勤務体制を確保した上で、事前に総括調査員の承諾を得ること。（ただし、事故などやむを得ない事由により事前に承認を得られない場合を除く。）
・主な業務従事（勤務）場所は、国営アルプスあづみの公園管理センターとすることを想定している。</td></tr>
</table>

※1：業務実績は、契約書等により実施が確認できるものに限る。（共同体での実績の場合は、当該配置予定者が実施した業務のみが実績となる。）

※2:総括責任者とは、複数の業務分野について全体的に総括する立場の者をいう。収益施設等管理運営業務を行う場合及び収益施設等管理運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分し、収益施設等管理運営業務への委託費の支出は認めない。
※3:業務責任者とは、個別業務の責任者をいう。収益施設等管理運営業務を行う場合及び収益施設等管理運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分し、収益施設等管理運営業務への委託費の支出は認めない。なお、複数の業務分野について全体的に総括する立場の者を補佐する業務の経験は、業務責任者の経験とみなす。
※4:レクリエーション施設：主に屋外において、都市公園法の公園施設と同様な施設の構成により不特定多数の利用者へ有料でサービスを提供しているもの(例：遊園地、動物園、植物園、水族館、牧場、テーマパーク、ゴルフ場等)
※5:観光・商業施設：宿泊、ツアーガイド、物品販売など多様なサービスを一元的に不特定多数の利用者へ有料で提供しているもの(例：大規模ホテル、複合ショッピングセンター等)
※6：園地：屋外において年間を通して植物と空地が一体となり、それらの利用・鑑賞を目的として広く一般に周知されているとともに、適切かつ計画的な維持管理がなされている現存する園地。(移動可能なプランター等の植物管理は含まない。)
※7:専任とは、他の工事及び業務等に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該業務に係る職務にのみ従事していることをいう。ただし、契約の締結後、業務を開始するまでの期間（準備期間）は専任を要しない。

3.4. 共同体での入札について

本業務は、本実施要項 3.2.で定める要件を満たす単体企業で構成される共同体により実施することも可能とする。

共同体で本業務を実施する場合、代表企業は、本業務全体のマネジメント及び企画立案業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、収益施設等管理運営業務を包括的に管理すること。

a) 入札参加者は、共同体として参加する場合、下記の業務を担当する企業を明らかにするものとする。
   ｱ) 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務
   ｲ) 施設・設備維持管理業務
   ｳ) 植物管理業務
   ｴ) 収益施設等管理運営業務

b) 入札参加者は、共同体として参加する場合、代表企業を定め、当該代表企業が入札・契約手続きを行うこととする。代表企業は、上記 a) ｱ) 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務を担当する企業とする。

c) 入札参加者は、共同体として参加する場合、申請書類の提出期限の日以降は、共同体を構成する者の変更を認めない。ただし、共同体の構成員の一部が指名停止を受けた場合の取扱いについては、被指名停止会社に変わる構成員を補充した上で、新たに共同体を結成し、共同体としての認定及び競争参加資格の確認の申請を行うことができるものとし、その期限は実施要項４．１に定める企画提案書の提出期限とする。やむを得ない事情が生じた場合は、関東地方整備局はその事情を検討のうえ、可否の決定をするものとする。

d) 共同体の代表企業及び構成員は、本実施要項 3.1.a)から 1)の全ての要件を満たすこと。

e) 参加に際しては、代表企業及びその他の構成員の役割及び責任の分担ならびに代表企業の役割を他の構成員が代替・保証する旨を明記した協定書を作成し、申請書類と併せて提出すること。

４．入札に参加する者の募集に関する事項

4.1. 入札の実施手続及びスケジュール（予定）

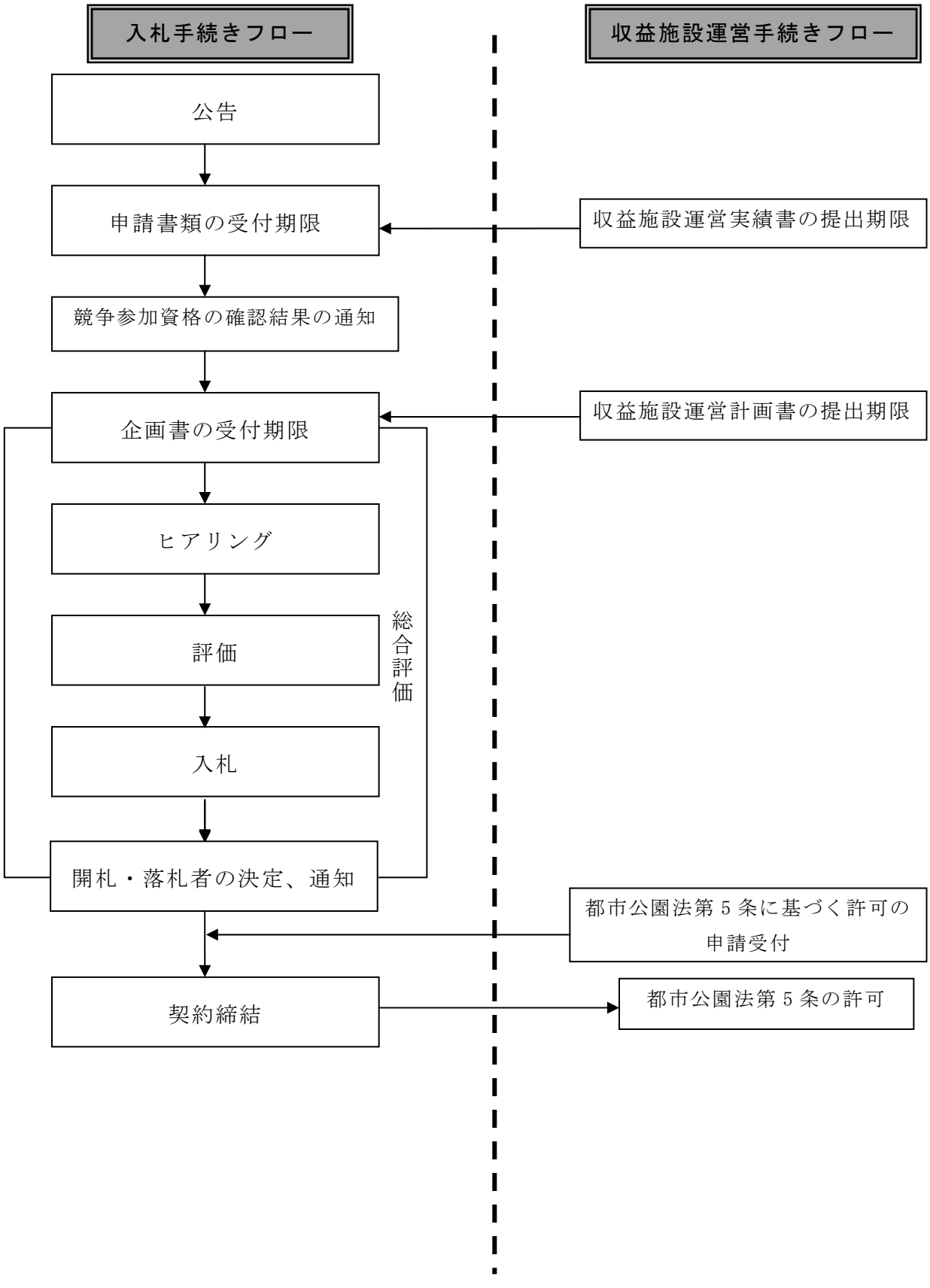
① 公告	：平成 27 年 7 月 21 日
② 現場見学可能期間	：平成 27 年 7 月 21 日～平成 27 年 11 月 26 日
③ 入札等に関する質疑応答	：平成 27 年 7 月 21 日～平成 27 年 11 月 11 日
④ 申請書類の受付期限	：平成 27 年 8 月 25 日
⑤ 競争参加資格の確認結果の通知	：平成 27 年 9 月 9 日
⑥ 企画書・収益施設運営計画書の受付期限	：平成 27 年 10 月 5 日
⑦ ヒアリング	：平成 27 年 10 月 26 日（予備日 27 日）
⑧ 評価	：平成 27 年 10 月中旬～平成 27 年 11 月中旬
⑨ 入札	：平成 27 年 11 月 26 日
⑩ 開札	：平成 27 年 11 月 27 日
⑪ 落札予定者の決定	：平成 27 年 11 月下旬
⑫ 契約締結	：平成 28 年 1 月上旬

※ 現場見学とあわせて関連資料を閲覧することができる。ただし、閲覧資料は検討過程のものであり、本業務の実施条件として提示するものではない。

※ 現場見学は予約制とする。公平性を保つため質問については後日文書により対応する。

H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務　一般競争（総合評価落札方式）

手続きフロー



4.2. 入札実施手続

4.2.1 提出書類

民間競争入札に参加する者（以下「入札参加者」という。）は、本件業務に係る入札金額（ただし、収益施設等管理運営業務に要する費用は含まない。）を記載した書類（以下「入札書」という。）、申請書類並びに、企画書及び収益施設運営計画書（以下、「企画書等」という。）を提出する。

上記の入札金額には、本業務に要する一切の諸経費（収益施設等管理運営業務に要する費用は含まない）の 108 分の 100 に相当する金額を記載すること。

なお、提出された申請書類及び企画書等は、競争参加資格の確認、企画書等の評価以外に提出者に無断で使用しない。

4.2.2 申請書類の内容

① 競争参加資格確認申請書（様式 1－1）

② 企業の業務実績（様式 1－2）

※面積、植栽地、遊具を管理していたことが証明できる資料（契約書の写し、施工図面、空中写真、地形図等）

※図面等で植栽地、遊具を管理していたことが証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付すること。

※実績として記載した業務に係る契約書の写しを提出すること。

③ 業務責任者の業務実績（様式 1－3）

※面積、植栽地、遊具を管理していたことが証明できる資料（契約書の写し、施工図面、空中写真、地形図等）を添付すること。

※図面等で植栽地、遊具を管理していたことが証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付すること。

※企画書の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用される念書等（任意書式）を添付すること。

※必要とされる資格を証明する書類の写しを添付すること。

④ 守秘性に関する要件（様式 1－4）

※守秘義務に関する規程を定めた社則等を添付すること。

⑤ 業務実施体制（様式 1－5-1～1-5-3）

※組織図（業務実施のための管理機構）を添付すること。（任意書式）

⑥ 実施方針（様式 1－6）

※年間業務計画書を添付すること。（任意書式）

⑦ 再委託または下請負の予定（様式 1－7）

⑧ 必要とされる資格を証明する書類の写し（様式 1－3 に添付のこと）

⑨ 申請書類提出時に雇用関係が無い場合の念書等（任意書式）

⑩ 業務経験証明書（様式 1－8）

⑪ 収益施設運営実績書（様式 1－9-1～1-9-3）

⑫ 共同体で参加する場合の協定書の写し

⑬誓約書（様式 1-10）

4.2.3 企画書の内容

入札参加者が提出する企画書には､本実施要項５.で示す総合評価を受けるために、次の事項を記載する。なお、標準評価項目等の詳細については本実施要項表 9 を参照のこと。

① 表紙（様式 2－1）

② 企画提案

ｱ) 目標とする公園利用者数の確保に関する提案（様式 2－2－1）

ｲ) 利用者満足度の確保に関する提案（様式 2－2－2）

ｳ) 公園特性を生かした植物管理に関する提案（様式 2－2－3）

ｴ) 公園特性及び資源、施設を生かした運営管理に関する提案（様式 2－2－4）

ｵ) 多様な利用プログラムの提供に関する提案（様式 2－2－5）

ｶ) 情報受発信の充実に関する提案（様式 2－2－6）

ｷ) 地域との連携活動・市民との協働活動に関する提案（様式 2－2－7）

ｸ) 公園利用者等の安全を確保する管理手法に関する提案（様式 2－2－8）

ｹ) 緊急時及び非常時の対応に関する提案（様式 2－2－9）

ｺ) 自主事業に関する提案（様式 2－2－10）

ｻ) 収益施設の運営に関する提案（様式 2－2－11）

なお、本業務開始初年度から実施しない提案事項については、開始年月を記載すること。開始年月の記載のない提案は初年度から実施するものとする。また、企画提案によって設計数量を変更する場合には、必ず③の改善提案も行うこと。

③ 改善提案（様式 2－2－12）

業務の最低水準として示された仕様書に対する改善提案を行う場合、提案を行う内容を明確にし、提案を行う理由、提案の内容・数量、提案による質の維持向上効果又は経費の削減効果（あるいはその両方）を具体的に示すこと。

また、設計数量が変更となる提案をする場合には、該当工種と変更数量、変更が可能な理由、企画提案との関連がある場合は該当箇所をそれぞれ示すこと。改善提案で変更を提案した数量以外は､公示している数量に基づき入札を行うこと。

4.2.4 収益施設運営計画書

様式３「収益施設運営計画書」を提出する。

4.2.5 ヒアリングの実施

a) 企画書に関するヒアリング

ヒアリングでは、実施方針および企画書等に記載された事項について質疑応答を行う。また、ヒアリングにより、提案が実現可能な内容であるかを確認し、評価項目の得点に反映させる。

ア　実施場所：関東地方整備局

イ　実施期間：別途通知

ウ　ヒアリング時間：別途通知

エ　出席者：総括責任者の出席を必須とし、業務責任者の出席も認める。

4.2.6 その他

a) 競争参加資格の確認及び企画書等の評価は、申請書類及び企画書等の資料提出期限の日をもって行うものとする。

b) 申請書類及び企画書等の資料作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

c) 関東地方整備局は、提出された申請書類及び企画書等の資料を、競争参加資格の確認、企画書等の評価以外に提出者に無断で使用しない。

d) 提出された申請書類及び企画書等の資料は、返却しない。

e) 提出期限以降における申請書類及び企画書等の資料差し替え及び再提出は認めない。

f) 落札者は、様式 1-10（第２面）及び電磁記録媒体（CD-R 等）を提出すること。詳細は様式 1-10 を参照すること。

５．対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サービスを実施する者の決定に関する事項

事業者の決定は、総合評価方式によるものとする。なお、本業務に係る企画書及び業務実施内容の審査・評価は、関東地方整備局が行うが、客観性を確保するため、第三者の有識者で構成される関東地方整備局国営公園運営維持管理業務有識者委員会の意見を聴取し、評価を行うものとする。

なお、入札参加者は企画書と同時に、収益施設運営計画書を提出し、落札後、都市公園法第 5 条第 1 項に基づく公園施設の設置管理許可申請を行わなければならない。

5.1. 事業者決定にあたっての質の評価項目の設定

事業者を決定するための評価は、提出された企画書等の内容が本業務の目的・趣旨に沿って実行可能なものであるか（基本項目審査)、また、効果的なものであるか等（提案項目審査）について行うものとする。(本実施要項表 9 を参照のこと。)

5.1.1 基本項目審査

基本項目審査においては、入札参加者に対して、本実施要項表 9 の基本項目について審査を行う。各項目ごとに業務が可能な最低水準を満たしている場合には基礎点を与える（基礎点計 50 点)。さらに、実施体制に係る項目においては、最低水準を超える部分についてその内容に応じ得点を与える（加算点計 10 点)。なお、最低水準を 1 つでも満たしていない項目がある場合は失格とする。

5.1.2 提案項目審査

提案項目審査においては、基本項目審査の全ての項目で業務が可能な最低水準を満たした入札参加者に対して、本実施要項表 9 の提案項目について審査を行う（加算点計 145 点)。

様々な公園施設の維持管理と収益施設等の運営を一元的に行うことが必要であり、サービス水準(質)の向上や公園利用者の安心安全を確認することを目的としている。

なお、提案内容については、具体性、実現性があり、当該公園において適切かつ効果的なものであるか等、妥当性について総合的な観点から審査し得点を与える。各加算点の数値はサービスの質の向上の観点から重要度に応じて配点している。

表９　標準評価項目及び得点配分

項目	区分	項番	評価項目	得点配分 基礎点	得点配分 加算点	様式
①基本項目	業務共通					
	１）実施体制	1	各業務の業務水準が維持される体制であるか （共同体で参加する場合、代表企業又は代表者と構成員の連携が可能な体制であるか）	0/10	0～5	様式 1-2～ 1-8
		2	提案された内容が実現可能な体制であるか	0/10	0/5	
	２）業務に対する認識	3	本業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか	0/10	—	
		4	本業務を確実に実施するための基本的な方針が明確となっているか	0/10	—	
	３）現行基準レベルの質の確保の実態	5	各業務の提案内容は、関東地方整備局の要求水準（実施要項1.3.1 及び1.3.2）が確保されているものとなっているか	0/10	—	様式 2-2-1 ～ 2-2-12
②提案項目	企画提案					
	１）目標とする公園利用者数の確保	6	地区別の年間の有料区域の公園利用者数と2地区合計の四半期ごとの有料区域の公園利用者数の目標を各年度設定の上、その公園利用者数確保に向け、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～15	様式 2-2-1
	２）利用者満足度の確保	7	地区別の年間及び四半期ごとの公園の運営に関する満足度の目標を各年度設定の上、その満足度の確保に向け、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～15	様式 2-2-2
	３）公園特性を生かした植物管理	8	地区別の植生、生態系、景観等を踏まえ、周辺環境と調和しつつ公園内の自然資源等を活用した魅力のある花修景や風景の演出に関する満足度の目標を各年度設定の上、その満足度の確保に向け、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～10	様式 2-2-3
	４）公園特性及び資源、施設を生かした運営管理	9	本公園の設置目的を踏まえ、2地区分散型公園としての機能を発揮させるための維持管理方法について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	—	0～10	様式 2-2-4
	５）多様な利用プログラムの提供	10	本公園の意義や役割、機能を踏まえ、本公園の様々な資源等を活用した体験プログラムの地区別の開催種類と延べ参加人数の目標を各年度設定の上、多くの公園利用者が参加、体験、交流できる多様な利用プログラム（イベント、体験プログラム、展示等の行催事）の実施について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～10	様式 2-2-5
	６）情報受発信	11	マスコミ報道件数やホームページアクセス件数の目標を各年度設定の上、本公園が提供するサービス内容や公園の魅力等に関する広報宣伝・情報の受発信について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～10	様式 2-2-6
	７）地域との連携活動・市民との協働活動	12	現在までに培われた周辺自治体や学校、地域住民等関係機関や関係者との連携体制、協力体制の継承及び新たな構築について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。また、ボランティアやNPO団体との連携方策及びボランティア活動の充実・継続について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	—	0～15	様式 2-2-7
	８）公園利用者等の安全を確保する管理手法	13	本公園の特性を踏まえた上で、公園利用者の安全・安心を確保する施設管理及び運営管理について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。また、既存地形や本公園の特性を踏まえた上で、ハード面、ソフト面でのユニバーサルデザイン対応について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。さらに、公園スタッフ（職員、臨時職員、アルバイト、その他関係従事者）に関する事故を未然に防ぐ取組について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	—	0～15	様式 2-2-8

		9）緊急時及び非常時の対応	14	具体的な緊急事態を想定し、現実的かつ効果的な対策が提案されているか。また、トラブル時や緊急時に円滑に対応し、かつ被害を拡大させないためのハード面、ソフト面での対応策について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。さらに、繁忙期において、混乱回避のための対応策について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	―	0～15	様式 2-2-9
		10）自主事業の提案	15	自主事業の実施内容について公園の目的・魅力の向上の観点から、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある自主事業の方法が示されているか。	―	0～10	様式 2-2-10
		11）収益施設の運営に関する提案	16	公園利用者ｻｰﾋﾞｽの質的な向上に向けた運営について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	―	0～10	様式 2-2-11 様式 3
	従来の実施方法に対する改善提案						
		1）各業務の最低水準（現行基準）として示された仕様書に対する、改善提案	17	質の維持・向上に関する提案があり、実施について具体的な方法が明記されているか。また、それらを実施可能な体制であるか。	―	0～10	様式 2-2-12
合計得点					0～50	0～155	

5.2. 事業者決定にあたっての評価方法

5.2.1 事業者の決定方法

a) 入札参加者は、「価格」及び「企画書」をもって入札をし、予決令第 79 条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で入札したもののうち、下記 5.2.2 総合評価の方法によって得られた数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって、著しく不適当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、評価値の最も高い者を落札者とすることがある。

b) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第 85 条に基づく調査基準価格（予定価格に 10 分の 6 を乗じて得た額）を下回る場合は、予決令第 86 条の調査を行うものとする。

c) 上記において、評価値の最も高い者が２人以上あるときは、該当者にくじを引かせて落札者を決める。また、入札者又はその代理人が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き事業者を決定するものとする。

5.2.2 総合評価の方法

(1) 評価値の算出方法

評価値の算出方法は以下のとおりとする。

提出された書類に係る本実施要項表 9 により得られた技術評価点と当該入札者から求められる価格評価点の合計値（評価値）をもって行う。

（評価値）＝（価格評価点）＋（技術評価点）

(2) 価格評価点の算出方法

価格点の評価方法は以下のとおりとする。

（価格評価点）＝（価格点）×（１－（入札価格）／（予定価格））

なお、価格点は 30 点とする。

(3) 技術評価点の算出方法

企画書の内容に応じ、本実施要項表 9 の評価項目毎に評価を行い、技術点を与える。

なお、技術評価点の最高点数は 60 点とする。

（技術評価点）＝60×（技術点）／（技術点の満点）

なお、本業務における技術点の満点は 205 点(基礎点 50 点＋加算点 155 点)とする。

(4) 基本項目審査の評価方法

基本項目審査については、本実施要項表 10 の評価基準を満たしているかによって評価する。

表 10 実施体制の様式 1-5-2 の加算点は、提案内容に対する具体性、実現性等を総合的に勘案して、原則として本実施要項表 11 の３段階評価に基づいて評価をする。

表 10　基本項目審査の評価基準

区分	評価項目	評価基準
実施体制	各業務の業務水準が維持される体制であるか。 （共同体で参加する場合、代表企業又は代表者と構成員の連携が可能な体制であるか）	提案する運営内容に対して提案する職務区分・人数が適切に明示されている。（様式１－５－１） なお、上記の水準を満たした上で、以下に示す体制が確保されている場合は、加算点を与える。（様式１－５－２） ・迅速かつ円滑な意志決定及び臨機の対応等の体制に関し、緊急時等においても混乱なく対応できる水準を超えた優れた提案がなされている。（組織面、費用面の対応が適切に明示されている。）
	提案された内容が実施可能な体制であるか。	提案する職務区分ごとに休憩時間、休日を考慮した労働時間の設定が行われている。 現地体制及び繁忙期の現地を支援する本社等の体制（責任体制、現地体制）を含め適切に明示されている。（様式１－５－１） なお、上記の水準を満たした上で、以下に示す体制が確保されている場合は、加算点を与える。（様式１－５－３） ・緊急時における代替性等の確保の観点から、申請書類の提出期限の日時点で、申請した総括責任者以外に同一企業内に表8に示す総括責任者の業務実績を有している者（代替総括責任者）が1名以上在籍し、申請した総括責任者に事故等があった場合、速やかに配置できる体制が確保されている。申請書類の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始までに雇用される念書(任意様式)を提出すること。なお、代替総括責任者は、本業務の実施期間中、専任規定のある工事又は業務には従事することはできない。（本業務は除く）
業務に対する認識	本業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか。	年間業務計画（様式１－６添付）に記載された業務内容が、仕様書に定める業務内容と適合している。
	本業務を確実に実施するための基本的な方針が明確となっているか。	企画書に記載された実施方針が仕様書に定める基本方針と適合している。
現行基準レベルの質の確保の実態	各業務の提案内容は、要求水準（本実施要項1.3.1及び1.3.2）が確保されているものとなっているか。	仕様書に定める管理水準を満足させる企業の業務実績、配置予定者の業務経験の明示があり、これらを踏まえた様式２－２－1～２－２－１２の提案内容について実現性が高いものとなっている。

(5) 提案項目審査の評価方法

提案項目審査は以下のとおりとする。

提案項目審査の企画提案のうち、包括的な質に関する提案項目については、提案した数値（目標値）とその実現性について、それぞれ評価を行い、その合計点を評価点とする。ただし、実現性が乏しい場合は目標値が高くても加算しない（０点）ものとする。

上記以外の提案項目審査は、提案内容に対する具体性、実現性、実施体制との整合等を総合的に勘案して原則として本実施要項表 11 の３段階評価に基づいて評価する。なお、①関係法令に違反する提案、②入園料、使用料等を増減させる提案、③開園日時を変更させる提案（主催イベントなど仕様書で明示してあるものは除く）については、内容の如何に問わず評価しないものとする。

表 11　基礎項目審査（様式 1-5-2）及び提案項目審査における評価基準と評価係数

評価基準		評価係数
優	全体的に優れた提案となっている。又は特に高く評価すべき提案がなされている。	配点×1.00
良	一定の評価ができる提案がなされているが、特に優れた提案はなされていない。	配点×0.50
可	特に評価すべき提案が見られない。	配点×0.00

5.2.3 留意事項

関東地方整備局は、事業者が決定したときは、遅滞なく、事業者の氏名若しくは名称、落札金額、事業者の決定の理由並びに提案された内容のうち具体的な実施体制及び実施方法の概要について公表するものとする。

5.3. 初回の入札で事業者が決定しなかった場合の取り扱いについて

初回の入札で予定価格の制限の範囲内で入札した者がいないときは、直ちに再度の入札を行うこととし、これによってもなお落札者となるべき者が決定しない場合は、入札条件を見直し、再度公告入札に付することとする。

再度の公告によっても落札者となるべき者が決定しない場合、または業務の実施に必要な期間が確保できない等、やむを得ない場合は、別途、当該業務の実施方法を検討・実施することとし、その検討結果及び理由を公表するとともに、官民競争入札等監理委員会（以下「監理委員会」という。）に報告するものとする。

６．対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項

従来の実施状況に関する情報は、別紙－10～43 のとおりである。

７．事業者に使用させることができる国有財産に関する事項

7.1. 施設

別紙－1「主要公園施設一覧」、別紙－2「主要建築物一覧」、別紙－3「収益施設一覧」による。

7.2. 設備

a) 使用できる設備については、本業務に関係する建物・設備全てとする（別紙－20「提供施設一覧（建築物）」を参照のこと）。
b) 本業務に支障を来さない範囲において、事業者は施設内に本業務に必要な機器・設備等を持ち込むことができるものとするが、持ち込んだ機器・設備については適切な管理を行うこと。

８．事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の対象公共サービスの適正かつ確実な実施の確保のために契約により事業者が講ずべき措置に関する事項

8.1. 報告について

8.1.1 業務計画書の協議と承諾

別紙－5「共通仕様書」による。

8.1.2 業務責任者及び業務の関係者

別紙－5「共通仕様書」による。

8.1.3 業務報告書

別紙－5「共通仕様書」による。

8.1.4 検査・監督体制

事業者からの報告を受けるにあたり、調査職員の検査・監督体制は次のとおりとする。

(1) 調査職員

① 総括調査員

国営アルプスあづみの公園事務所長（予定）

② 主任調査員

国営アルプスあづみの公園事務所調査設計課長（代表）（予定）

国営アルプスあづみの公園事務所工務課長（予定）

国営アルプスあづみの公園事務所総務課長（予定）

③ 調査員

国営アルプスあづみの公園事務所工務課工務係長（予定）

国営アルプスあづみの公園事務所調査設計課調査設計係長（予定）

国営アルプスあづみの公園事務所建設専門官（予定）

国営アルプスあづみの公園事務所建設監督官（予定）

国営アルプスあづみの公園事務所工務課建築設備係長（予定）

国営アルプスあづみの公園事務所調査設計課調整係長（予定）

(2) 検査・監督体制

a) 事業者は、各年度ごとの業務を完了したときは、遅延なく、当該年度の完了報告書、清算報告書及び委託費経費内訳報告書、残存物件報告書（以下「完了報告書等」という）に成果物を添えて、関東地方整備局に提出すること。

b) 関東地方整備局は、事業者からの成果物、完了報告書等を受理したときは、その日から 10 日以内に支出負担行為担当官関東地方整備局長が指定した職員により検査を行うものとする。

8.2. 調査への協力

a）調査職員は、事業者による業務の適正かつ確実な実施を確保する必要があると認める時は、事業者に対し、当該管理業務の状況に関し必要な報告を求め、又は事業者の事務所等に立ち入り、業務の実施状況又は帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

b）立ち入り検査をする調査職員は、検査等を行う際には、当該検査等が法第 26 条第 1 項に基づくものであることを事業者に明示するとともに、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示するものとする。

8.3. 指示について

関東地方整備局長は、事業者による業務の適切かつ確実な実施を確保するために必要があると認めるときは、法第 27 条第 1 項に基づき、事業者に対し、必要な措置をとるべきことを指示できるものとする。

8.4. 秘密の保持

事業者は、本業務に関して調査職員が開示した情報等（公知の事実等を除く）及び業務遂行過程で作成した提出物等に関する情報を漏洩してはならないものとし、そのための必要な措置を講ずること。事業者（その者が法人である場合にあっては、その役員）若しくはその職員その他本業務に従事していた者は業務上知り得た秘密を洩らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を洩らし、又は盗用した場合には、法第 54 条により罰則の適用がある。

8.5. 個人情報の取り扱い

別紙－5「共通仕様書」第８章による。

8.6. 契約に基づき落札業者が講ずべき措置

8.6.1 業務の開始及び中止

a）事業者は、締結された本契約に定められた業務開始日に、確実に本業務を開始しなければならない。

b）事業者は、やむを得ない事由により、本業務を中止しようとするときは、予め関東地方整備局の承諾を受けなければならない。

8.6.2 公正な取り扱い

a）事業者は、本業務の実施にあたって、公園利用者を合理的な理由なく区別してはならない。

b）事業者は、公園利用者の取り扱いについて、自らが行う他の事業における利用の有無等により区別してはならない。

8.6.3 金品等の授受の禁止

事業者は、本業務において、金品等を受け取ること又は与えることをしてはならない。ただし、収益施設等管理運営業務として行う場合など、関東地方整備局から許可等を受けた業務を行う上で必要な場合を除く。

8.6.4 法令の遵守

事業者は、本業務を実施するにあたり適用を受ける関係法令等を遵守しなければならない。

8.6.5 安全衛生

事業者は、本業務に従事する者の労働安全衛生に関する労務管理については、責任者を定め、関係法令に従って行わなければならない。

8.6.6 記録・帳簿書類等

事業者は、実施年度毎に本業務に関して作成した記録や会計に関する帳簿書類を、本業務を終了し、又は中止した日の属する年度の翌年度から起算して５年間保管しなければならない。

なお、行政機関の保有する情報の公開に関する法律の第 4 条に基づく行政文書の開示請求がなされた場合、同法第 5 条に基づく不開示情報の確認を行った上で、第 6 条による部分開示や第 7 条による公益上の理由による裁量的開示を確認し、開示方法を明らかにし、第 9 条に基づき事務処理上の困難その他正当な理由があるときを除き、開示請求のあった日から 30 日以内に情報を開示する必要がある。そのため、開示請求の対象が事業者の保有する記録・帳簿書類等の場合、事業者は、情報公開に速やかに対応しなければならない。

8.6.7 権利の譲渡

本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権等の無体財産権については、関東地方整備局が承継するものとする。また、事業者は、原則として本契約に基づいて生じた権利の全部または一部を第三者に譲渡してはならない。

8.6.8 権利義務の帰属等

本業務の実施が第三者の特許権､著作権その他の権利に抵触するときは､事業者は、その責任において、必要な措置を講じなければならない。

8.6.9 一般的損害

本業務を行うにつき生じた損害（本実施要項９．に記載した損害を除く。）について

は、事業者がその費用を負担する。ただし、その損害のうち、関東地方整備局の責に帰すべき事由により生じたものについては、関東地方整備局が負担する。

8.6.10 再委託または下請負の取り扱い

a) 事業者（共同体を含む。）は、本業務の実施に当たり、その全部を一括して再委託してはならない。

b) 事業者は、本業務の実施に当たり、その一部について再委託を行う場合は、原則として予め企画書において、再委託に関する事項（再委託先の住所・名称、再委託する業務の範囲、再委託または下請負を行うことの合理性及び必要性、再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他業務管理の方法）について記載しなければならない。

なお、本業務における主たる部分を再委託することはできない。本業務における主たる部分は、次のとおりとする。

・業務における総合的計画立案、業務遂行管理、入園料の収受及び納入、救急・災害時の統括管理、各業務手法の決定及び本業務履行者としての最終的な意思決定を行うための技術的判断等

c) 事業者は、本契約締結後やむを得ない事情により再委託を行う場合には、再委託に関する事項を明らかにしたうえで関東地方整備局の承諾を受けなければならない。なお、再委託の内容を変更しようとするときも同様とする。

d) 事業者は、上記 b)及び c)により再委託を行う場合には、事業者が関東地方整備局に対して負う義務を適切に履行するため、再委託先の事業者に対し、本実施要項 8.4.及び 8.6.に規定する事項その他の事項について必要な措置を講じさせるとともに、再委託先から必要な報告を徴収することとする。

e) 上記 b)から d)までに基づき、事業者が再委託先の事業者に業務を実施させる場合は、すべて事業者の責任において行うものとし、再委託先の事業者の責めに帰すべき事由については、事業者の責めに帰すべき事由とみなして、事業者が責任を負うものとする。

8.6.11 契約解除

関東地方整備局は、事業者が次のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

a) 法第 22 条第 1 項第 1 号イからチ又は同項第 2 号に該当するとき。

b) 繰り返し法令違反を行ったとき。

c) 暴力団員を業務を統括する者又は従業員として雇用していることが明らかになったとき。

d) 暴力団又は暴力団関係者との社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき。

8.6.12 契約解除時の取り扱い

a) 上記 8.6.11 に該当し、契約を解除した場合には、関東地方整備局は事業者に対し、当該解除の日までに当該サービスを契約に基づき実施した期間にかかる委託費を支給する。

b) この場合、事業者は、契約金額から上記 a)の委託費を控除した金額の 100 分の 10 に相当する金額を違約金として関東地方整備局の指定する期間に納付しなければならない。

c) 関東地方整備局は、事業者が前項の規定による金額を関東地方整備局の指定する期日までに支払わないときは、その支払い期限の翌日から起算して支払いのあった日までの日数に応じて、年 100 分の 5 の割合で計算した金額を延滞金として納付させることができる。

d) 関東地方整備局は、契約の解除及び違約金の徴収をしてもなお損害賠償の請求をすることができる。

8.6.13 契約内容の変更

関東地方整備局は、必要がある場合には、業務の内容を変更することができる。この場合において委託費又は実施期間を変更する必要があるときは、関東地方整備局及び事業者は協議し、書面によりこれを定めるものとする。

8.6.14 契約の解釈

本契約に関して疑義が生じた事項については、その都度、事業者と関東地方整備局が協議するものとする。

8.6.15 業務計画書の提出

事業者は、契約締結日の 14 日前までに業務計画書を提出し、その内容について関東地方整備局と協議の上、承諾を得なければならない。

8.6.16 業務計画書の変更

業務計画書を変更しようとするときは、変更後の業務計画書について関東地方整備局と協議を行い、関東地方整備局の承諾を得なければならない。この場合、委託費等の契約内容の変更の必要がある場合は、関東地方整備局と協議し書面にてこれを定めるものとする。

8.6.17 業務の引き継ぎへの対応

契約が完了する場合、又は解除になる場合には、調査職員の立会の下、調査職員が指示する者に対し、誠意を持って、円滑に事務の引き継ぎを行わなければならない。引継ぎにあたっては、共通仕様書 34 条に規定する必要な資料の作成及び提出を行い、必要な説明等を行うものとする。ただし、契約が引き続き締結され、当該業務を継続する場合はこの限りではない。(業務の引継ぎに必要な資料の詳細は、別紙－5「共通仕様書」を参照のこと。)

8.6.18 業務評定について

本業務においては関東地方整備局が、毎年度業務終了後に当該年度の業務評定（以下、「単年度評価」という）を実施するとともに、３年目の業務終了後に３年間を通しての業務評定（以下、「３箇年評定」という）を実施する。評定については、事業者に通知し、関東地方整備局ホームページ等により公表するものとする。（詳細は、別紙-44「業務評定」を参照のこと。）

なお、評定については、本公園の国営公園運営維持管理業務の次回入札時における評価事項の一つとし、単年度評価が２回以上「不可」の実績となり、かつ３箇年評価が「不可」の場合、本公園の次回入札時において、5.1.表 9 評価項目及び得点配分の加算点の合計得点から 15 点を減点する。

９．事業者が対象公共サービスを実施するに当たり第三者に損害を与えた場合において、その損害の賠償に関し契約により事業者が負うべき責任（国家賠償法の規定により国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に応ずる責任を含む。）に関する事項

本契約を履行するにあたり、事業者又はその職員その他の当該公共サービスに従事する者が、故意又は過失により、当該公共サービスの受益者等の第三者に損害を加えた場合には、次に定めるところによる。

a）関東地方整備局が国家賠償法第1条第1項等に基づき当該第三者に対する賠償を行ったときは、関東地方整備局は事業者に対し、当該第三者に支払った損害賠償額（当該損害の発生について関東地方整備局の責めに帰すべき理由が存する場合は、関東地方整備局が自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分に限る。）について求償することができる。

b）事業者が民法第 709 条等に基づき当該第三者に対する賠償を行った場合であって、当該損害の発生について関東地方整備局の責めに帰すべき理由が存するときは、事業者は関東地方整備局に対し、当該第三者に支払った損害賠償額のうち自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分について求償することができる。

１０．対象公共サービスに係る法第 7 条第 8 項に規定する評価に関する事項

10.1. 調査方法

関東地方整備局は、事業者が実施した業務の内容について、その評価が的確に実施されるように、実施状況の調査を行うものとする。

10.2. 実施状況に関する調査の時期

関東地方整備局は、10.3 の調査項目に関する内容について、内閣総理大臣が評価（平成 31 年 1 月を予定）を行うに当たり必要な情報を収集するため、本業務の実施状況について平成 30 年 9 月 30 日時点における状況を調査する。

10.3. 調査方法及び項目

本実施要項「1.3.　サービスの質の設定」により設定した事項。

10.4. 関東地方整備局国営公園運営維持管理業務有識者委員会への報告

関東地方整備局は、上記の調査についてとりまとめた本業務の実施状況等について、上記の評価を行うために、平成 30 年 12 月を目途に内閣総理大臣及び監理委員会に提出するものとする。関東地方整備局は、本業務の実施状況等を提出するに当たり、関東地方整備局国営公園運営維持管理業務有識者委員会に報告を行い、意見を聴くものとする。

１１．その他対象公共サービスの実施に関し必要な事項

11.1. 対象公共サービスの実施状況等の監理委員会への報告及び公表

関東地方整備局は、事業者に対する会計法令に基づく監督・検査の状況について、業務終了後に監理委員会へ報告するとともに、法第 26 条及び法第 27 条に基づく報告聴取、立ち入り検査、指示等を行った場合は、その都度、措置の内容及び理由並びに結果の概要等を監理委員会へ報告することとする。

11.2. 関東地方整備局の監督体制

1）本契約に係る監督は、支出負担行為担当官が、自ら又は補助者に命じて、立ち会い、指示その他の適切な方法によって行うものとする。
2）本業務の実施状況に係る監督は、本実施要項 8.1.4 により行う。

11.3. 事業者が負う可能性のある主な責務等

11.3.1 罰則等

a）本業務における入園料の管理に従事する者は、刑法（明治 40 年法第 45 号）その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなされる。

b）次のいずれかに該当する者は、法第 55 条の規定により 30 万円以下の罰金に処されることとなる。

・本実施要項 8.1.による報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は本実施要項 8.1.4 による検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して答弁をせず、若しくは虚偽の答弁をした者
・正当な理由なく、本実施要項 8.3.による指示に違反した者

c）法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業員が、その法人又は人の業務に関し、上記 b)の違反行為をしたときは、法第 56 条の規定により、行為者を罰するほか、その法人又は人に対して前記 b)の刑を科されることとなる。

11.3.2 会計検査について

事業者は、①公共サービスの内容が会計検査院法第 22 条に該当するとき、又は②同法第 23 条第 1 項第 7 号に規定する「事務若しくは業務の受注者」に該当し、会計検査院が必要と認めるときには、同法第 25 条及び第 26 条により、会計検査院の実施検査を受けたり、同院から直接又は関東地方整備局を通じて、資料・報告書等の提出を求められたり質問を受けたりすることがある。

H28-31 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務

別紙資料

平成 27 年 7 月

国土交通省関東地方整備局

実施要項に関する別紙・様式

【国営アルプスあづみの公園】

分類	資料 No.	資料名	頁番号
業務の内容を示す書類	別紙－1	主要公園施設一覧	別紙 P1
	別紙－2	主要建築物一覧	別紙 P2
	別紙－3	収益施設一覧	別紙 P3
	別紙－4	H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理基本方針	別紙 P4
	別紙－5	H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 共通仕様書	別紙 P17
	別紙－6	H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 個別仕様書【本業務全体のマネジメント及び企画立案業務】	別紙 P50
	別紙－7	H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 個別仕様書【施設・設備維持管理業務】	別紙 P76
	別紙－8	H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 個別仕様書【植物管理業務】	別紙 P100
	別紙－9	H28-31 国営アルプスあづみの公園 収益施設等管理運営規定書	別紙 P120
従来の実施状況に関する情報の開示資料	別紙－10	従来の実施状況に関する情報の開示	別紙 P163
	別紙－11	精算報告書	別紙 P170
	別紙－12	公園利用者数および公園利用者数カウント方法	別紙 P179
	別紙－13	公園利用者アンケート	別紙 P190
	別紙－14	イベント一覧	別紙 P195
	別紙－15	体験プログラム一覧	別紙 P212
	別紙－16	広報・報道実績	別紙 P247
	別紙－17	ホームページアクセス件数	別紙 P252
	別紙－18	開園時間延伸状況	別紙 P253
	別紙－19	混雑時の状況	別紙 P255
	別紙－20	提供施設一覧（建築物）	別紙 P256
	別紙－21	提供物品一覧（機械器具等）	別紙 P258
	別紙－22	備品以外の残存物品一覧	別紙 P266
	別紙－23	貸与車両の使用状況・維持管理状況	別紙 P270
	別紙－24	危機管理対応実績・報告①〈事故対応等〉	別紙 P330
	別紙－25	危機管理対応実績・報告②〈自然災害〉	別紙 P337
	別紙－26	危機管理対応実績・報告③〈野生動物〉	別紙 P338
	別紙－27	職員・臨時職員・アルバイト等の園内配置	別紙 P343
	別紙－28	統括責任者による外部会議への出席	別紙 P346
	別紙－29	苦情、要望等対応処理	別紙 P349
	別紙－30	紙媒体（種類、発行部数）	別紙 P398
	別紙－31	記者投げ込み実績	別紙 P401
	別紙－32	公園利用者に無償で貸与している物品一覧	別紙 P410
	別紙－33	巡視計画書	別紙 P411
	別紙－34	建物・工作物に係る修繕履歴（修繕箇所、費用等）	別紙 P426

分類	資料 No.	資料名	頁番号
従来の実施状況に関する情報の開示資料	別紙－35	清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等	別紙 P437
	別紙－36	産業廃棄物（排出量、経費）	別紙 P464
	別紙－37	肥料、土壌改良材リスト	別紙 P465
	別紙－38	農薬散布（位置、数量、時期、頻度等）	別紙 P468
	別紙－39	樹幹注入	別紙 P470
	別紙－40	植物性廃棄物の取扱（発生・処理・活用量等）	別紙 P471
	別紙－41	収益施設利用者数、売り上げ等	別紙 P474
	別紙－42	臨時物販施設等一覧	別紙 P488
	別紙－43	公衆電話	別紙 P493
その他	別紙-44	業務評定	別紙 P494
様式	様式 1-1	参加表明書	別紙 P495
	様式 1-2	企業の業務実績	別紙 P496
	様式 1-3	業務責任者の業務実績	別紙 P497
	様式 1-4	守秘性に関する要件	別紙 P498
	様式 1-5	業務実施体制	別紙 P499
	様式 1-6	実施方針	別紙 P504
	様式 1-7	再委託または下請負の予定	別紙 P506
	様式 1-8	業務経験証明書	別紙 P508
	様式 1-9	収益施設運営実績書	別紙 P509
	様式 1-10	入札参加事業者等確認書	別紙 P513
	様式 2-1	表紙（企画書）	別紙 P525
	様式 2-2-1 ～11	企画提案	別紙 P526
	様式 2-2-12	改善提案	別紙 P538
	様式 3	収益施設運営計画	別紙 P541

別紙－1

主要公園施設一覧

【堀金・穂高地区】

ゾーン名	面積(ha)	名　　称	主　　要　　施　　設
田園文化ゾーン	44	中央口	ガイドセンター（情報コーナー、売店)、レストラン、公園管理センター、第１駐車場、第２駐車場
		あづみの学校	映像施設、理科教室、社会科教室、芸術教室、多目的ホール
		須砂渡口（通常閉鎖）	須砂渡口
		段々花畑	段々花畑、烏川展望デッキ、矢原沢の小径
		池	展望テラス、水辺の休憩所、池
		段々原っぱ	野の休憩所、芝生広場
		野原	野原
		河畔の広場	マシュマロドーム
		烏川沿い	烏川吊橋、渓流連絡橋、吊橋下前広場、渓流広場、竜の広場
		穂高口	穂高口、第３駐車場、第４駐車場、臨時駐車場、見晴らしの丘、古墳の森、こどもの森、冒険の森、疎林広場、円形ステージ
里山文化ゾーン	49	懐かしの風景エリア	懐かしの風景園、ビオトープ、農家風四阿、水車小屋
		棚田エリア	棚田、イベント広場、展望スペース
		里山文化再生エリア	管理棟、駐車場、体験学習農園、サンクチュアリ
		里山の森づくりエリア	里山の森
計	93		

【大町・松川地区】

ゾーン名	面積(ha)	名　　称	主　　要　　施　　設
センターゾーン	32	入口広場	インフォメーションセンター(管理センター､展示施設､売店)、入口広場、休憩棟レストラン、駐車場
		デイキャンプ場	レンタル棟、デイキャンプ場、炊事棟
		あづみの苑地	あづみの苑地
林間レクリエーションゾーン	22	そまびとの森	森の体験舎、そまびとの家、空中回廊、くもの巣遊具
		アルプス大草原	大草原の家（多目的ホール、ネット遊具)、探検トンネル
		アルプス広場周辺	アルプス広場、彩りの森、林間アスレチック
保全ゾーン	36	いきものの森	森のゲート
渓流レクリエーションゾーン	14	渓流ピクニック広場	渓流ピクニック広場、散策路、横溝堰
		河畔広場	河畔広場、散策路
自然体験ゾーン	142	川遊び・乳川河原エリア	乳川・川遊び広場
		河畔探勝エリア	河畔探勝の森、南口臨時駐車場
		ｽﾎﾟｰﾂと遊びの森ｴﾘｱ	管理棟、チャレンジルートA、B、オフロード周回コース、トレーニングエリア
		ﾘﾌﾚｯｼｭの森・渓流ｴﾘｱ	リフレッシュの森、清流の森、臨時駐車場
		みんなの森づくりｴﾘｱ	みんなの森
計	246		

※下線は利用料金を徴収する施設や飲食・物販施設（以下「収益施設」という。）を示す。

※このほかに自動販売機を設置する。

別紙－2

主要建築物一覧

【堀金・穂高地区】

種類	数	設置場所
管理事務所	2	公園管理センター、里山文化ゾーン
ゲート	3	ガイドセンター、須砂渡口、穂高口、里山文化ゾーン南口、北口
レストハウス・休憩所	4	展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所 烏川展望デッキ
四阿	6	池、野原、烏川展望デッキ、吊橋前広場、竜の広場、里山文化ゾーン
体験学習施設	1	あづみの学校
便所	12	ガイドセンター、レストラン、あづみの学校、須砂渡口ゲート、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、親水広場、疎林広場、穂高口、里山文化ゾーン
その他	9	車庫、倉庫

【大町・松川地区】

種類	数	設置場所
管理事務所	2	インフォメーションセンター、スポーツと遊びの森エリア
ゲート	2	インフォメーションセンター、森のゲート
レストハウス・休憩所	4	レンタル棟、休憩棟レストラン、森の体験舎、 そまびとの家
四阿	4	河畔広場、あづみの苑地、渓流ピクニック広場、スポーツと遊びの森
便所	12	インフォメーションセンター、休憩棟レストラン、森の体験舎、森のゲート、入口広場、彩りの森、渓流ピクニック広場、大草原の家、第一駐車場、炊事棟、スポーツと遊びの森
その他	19	車庫、倉庫

別紙－3

収益施設一覧

【堀金・穂高地区】

公園施設の名称		許可面積（予定）	
飲食施設	ガイドセンター（レストラン）	W造	278㎡
売店	ガイドセンター（売店）	W造	64㎡

【大町・松川地区】

公園施設の名称		許可面積（予定）	
飲食施設	休憩棟レストラン	W+RC造	193㎡
		外構部 W造	20㎡
売店	インフォメーションセンター売店	W+RC造	50㎡

別紙－4

H28-31 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理基本方針

平成 27 年 7 月

目　　次

１．運営維持管理基本方針の目的・位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
１．１ 公園建設の基本理念及び基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
１．２ 運営維持管理基本方針の策定の背景・目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
１．３ 運営維持管理基本方針の位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
１．４ 運営維持管理基本方針の対象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．運営維持管理の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．１ 国営アルプスあづみの公園の公園づくりの基本理念 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．２ 今後の運営維持管理の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

３．運営維持管理の重点事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

１．運営維持管理基本方針の目的・位置づけ

１．１ 公園建設の基本理念及び基本方針

国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）は、長野県をはじめ首都圏、中京圏等に居住する人々の多様な観光・レクリエーション需要に対応するとともに、北アルプス山麓の自然的環境や景観を保全・活用するために国が設置・管理している国営公園である。

本公園は長野県北西部の安曇野市に位置する「堀金・穂高地区」と、大町市及び松川村に位置する「大町・松川地区」の 2 地区からなり、日本でも有数の北アルプスの自然環境・山岳景観を背景とし、人里と奥山の中間に位置している。

【国営アルプスあづみの公園の基本理念】

本公園は、「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間活動の実現－自然の中で感性を育む遊・創・空間－」を基本理念としている。

当該基本理念に基づき、「堀金・穂高地区」は、失われつつある安曇野の田園風景を保全・復元するとともに、安曇野地域の自然・文化を短時間で体験することができる、安曇野地域の玄関口としての公園として計画されている。一方、「大町・松川地区」は北アルプスの山岳景観につながる良好な自然環境を保全しながら、時間をかけてその自然環境を学び、体験できる公園として計画されている。

【国営アルプスあづみの公園の基本方針】

本公園は、以下の６つの基本方針に基づき、整備及び運営維持管理を実施しているところである。

① 自然環境の保全：生物多様性に富んだ自然環境との共存を目指した保全活動や啓発活動の推進

② 広域レクリエーション：日本を代表する自然環境の中で、安らぎ創出や健康づくりにつながる楽しみを各種体験・学習プログラムを通じて提供

③ 景･文化の保全と創出：第一級の山岳景観と雄大な田園景観が一体となった安曇野地域の景観及びこれをはぐくむ豊かな風土･文化の保全と創出への貢献

④ 交流･地域活性化：公園が地域滞在型観光の拠点となるとともに、園内資源を活用し、地域と連携した地域活性化への貢献

⑤ 情報発信：安曇野地域を舞台にして、豊かな自然のなかで育まれてきた風土・文化とこれからの暮らし方についての新たな発見を導く情報を発信

⑥ 参加：公園の整備・管理運営において、地域、企業、利用者など、様々な立場、多様な世代からの参加を促進

１．２ 運営維持管理基本方針の策定の背景・目的

国営アルプスあづみの公園は、長野県北西部の安曇野地域に位置し、堀金・穂高地区と大町・松川地区の２地区からなる国営公園で、平成 25 年度は約 36 万人が来園している。

国営アルプスあづみの公園は、平成 16 年 7 月に堀金・穂高地区の一部約 27ha を第一期開園して以来、順次供用区域を広げ、現在は計画面積 353ha の約 42%にあたる 148ha を開園している。平成 23 年度に策定した「国営アルプスあづみの公園基本計画」や平成 25 年に公表した「国営アルプスあづみの公園整備・管理運営プログラム」に基づき、整備・維持管理を進めているところである。

以上のような背景を踏まえ、今後の国営アルプスあづみの公園における運営維持管理の基本的な考え方を示す「運営維持管理基本方針」を策定した。

１．３ 運営維持管理基本方針の位置づけ

この運営維持管理基本方針は、長野県をはじめ首都圏、中京圏等に居住する人々の多様かつ広域的な観光・レクリエーション需要に対応するとともに、北アルプス山麓の自然的環境や景観の保全・活用、公園を拠点とした地域活性化への貢献等を目的とした本公園が、その使命や役割を果たしていくための運営維持管理のあり方を示したものであり、以下の内容で構成している。

① 運営維持管理の基本方針

② 運営維持管理の重点事項

１．４ 運営維持管理基本方針の対象

基本方針は、既に供用している区域及び今後供用予定の区域を対象としたものであるが、今後追加供用される区域にも適用されるものである。

今後の運営維持管理においては、本公園内に設置されている収益施設（飲食・物販施設）とも互いに連携・調整を図りながら効果的・効率的な業務の執行に努めるものとする。

２．運営維持管理の基本方針

２．１ 国営アルプスあづみの公園の公園づくりの基本理念

本公園では、これまで、上述した基本理念・基本方針に基づく公園づくりを進めてきた。今後も、社会情勢の変化などを考慮しつつ引き続き整備及び運営維持管理を進めていくこととなるが、基本理念・基本方針については共通した考え方として今後も継承していく。

２．２ 今後の運営維持管理の基本方針

本公園は、公園内及び周辺地域に存在する、良好な自然的条件を有効利用し、多様かつ広域的な観光・レクリエーションの需要に対応するとともに、自然的環境の保全活用の場及び地域活性化の拠点としての役割を担うものであり、本業務を通じて本公園の存在価値、利用価値を高めていく必要がある。

公園の存在価値とは、社会資本である公園が公共の福祉の増進等に貢献する機能や施設を有していることであり、公園の存在自体に価値があることである。この存在価値は、市場原理になじみにくく、持続的に維持しなければならない根元的なものである。

一方、利用価値とは、存在価値を維持した上で、公園施設や機能を活用した様々な活動が豊かに展開される公園の利用環境を意味している。この利用価値は、多様な主体の知恵や工夫を活用して、安全、安心、快適な公園環境を創出していかなければならないものである。

この存在価値や利用価値を高めていくためには、本公園を運営維持管理又は利用する多様な主体（国、事業者、地元自治体、公園ボランティア、公園利用者等）が、今後の本公園のあるべき目標・将来像を共有し、本公園のさらなる魅力向上に向けた取組を推進していく必要がある。

そのため、今後の本公園における運営維持管理の基本的な方針として、以下に示す６つの基本方針を設定した。

基本方針１）公園及び周辺の環境を踏まえ、生物多様性の保全に配慮した維持管理を行うとともに、自然的環境に関する普及啓発を推進する。

・貴重生物のモニタリングの継続による自然環境との共存

・地域組織との協働によるオオルリシジミの保護育成の実施

【国営アルプスあづみの公園の実績】

〇園内の貴重生物の保全

開園以来、昆虫類、植物、猛禽類、大型哺乳類の貴重生物のモニタリングを継続し、生物多様性に富んだ自然環境との共存につとめている。

また、近年、里山等の生息環境の消失とともに減少し、現在日本では安曇野市を含む4地域のみに生息するオオルリシジミについて、安曇野オオルリシジミ保護対策会議の協力、指導のもと保護育成を行っている。

●継続的なモニタリング

・昆虫類　（H9～21年）

・植物　（H9～21年）

・猛禽類　（H8～22年）

・大型哺乳類（H9～23年,H25,26年）

園内に生息･生育する貴重種	環境省 レッドリスト	長野県 レッドリスト	安曇野市 レッドデータブック
植物	11 種	26 種	15 種
昆虫類	18 種	30 種	26 種
猛禽類	9 種	11 種	6 種

開園以来の貴重生物のモニタリング調査の状況



オオルリシジミ

環境省レッドリスト：絶滅危惧Ⅰ類

長野県レッドデータブック:絶滅危惧ⅠB類

●オオルリシジミの保全技術の確立

・信州大学が公園内の調査によりオオルリシジミの天敵の１つであるメアカタマゴバチを特定し、その駆除に有効な「野焼き」を安曇野オオルリシジミ保護対策会議の協力・指導のもとで実施

●自然観察会、環境学習等への活用

・体験プログラムや自然観察会を通じオオルリシジミと自然環境との共存を啓発

貴重種のオオルリシジミの保護



アマナ



ヒメギフチョウ



カモシカ

園内で確認された貴重生物

別紙P9

基本方針２） 公園及び周辺が有する環境や景観、文化を活用し、広域的な誘客が期待できる行催事や体験プログラムの構築と提供を行う。

・地域の多彩な自然・文化を学習、体験できる、体験プログラムの提供

・修学旅行、農家民泊等の団体客の利用による、安曇野の自然と文化の伝承・普及

【国営アルプスあづみの公園の実績】

〇地域文化、自然環境を活かした体験プログラムの提供による地域貢献

園内では、地域の多彩な自然・文化を学習、体験できるプログラムを提供している。

長野県外からの修学旅行をはじめ、多くの団体客に利用されており、安曇野の自然と文化の伝承・普及に貢献している。

●多彩な自然・文化体験プログラムを提供。年187種類のプログラムを実施（H26年度実績）



自然体験プログラム

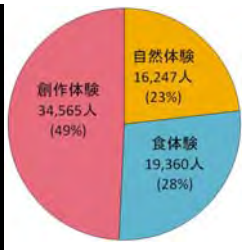


そば打ち体験

・近隣の公園、観光施設では、自然散策、クラフト体験などがメイン
・本公園では、安曇野の自然と文化の両面が、学習・体験できる
・長野県外からの修学旅行をはじめ、多くの団体客にも利用されている

実施プログラムの例

自然	【おもしろ発見塾】 草花、木、昆虫、石、化学等をテーマとした実験や観察を体験
食	【お小昼】 農繁期に小腹を満たしていた「お小昼」の風習を体験
創作	【森のカレンダー】 コルクボードに間伐材の木片を使い、万年カレンダーを製作



合計 70,172人

体験プログラム利用者数
（H26年度）

地域文化、自然環境を活かした体験プログラムの提供

〇地元農家と連携した体験プログラムの提供

地元農家と連携した「農家民泊」を実施。中学・高校の学校団体を対象に、農作業を含む様々な体験プログラムを通じて、大北・安曇野地域の魅力を伝える機会を提供している。



宿泊農家での体験



公園内での食体験

別紙P10

基本方針３）昔ながらの里山を守り育てる文化・技術を継承する場として、各種体験プログラムの提供とともに、適切な植生管理等を通じ周辺地域と一体となった良好な景観の形成を図る。

・体験プログラムをとおした里地里山の文化・技能の継承

・体験プログラムをとおした里地里山の景観の保全

【国営アルプスあづみの公園の実績】

〇市民参加や体験プログラムなどによる里地里山空間の保全・活用

公園資源を活用した体験プログラムや、地域の歳時等に関する体験プログラムを実施する「さとやま楽校」をとおして、里地里山の文化・技能の継承や里地里山の景観の保全に取り組んでいる。



さとやま楽校（やまこの教室）



さとやま楽校（田んぼの教室）



さとやま楽校（さとやま発展講座）



園内の森林を利用した間伐体験



ナノハナでの景観創出



レンゲでの景観創出

基本方針４）地域と連携した各種行催事の展開など、周辺地域への回遊・滞在を誘発するような取り組みを通じ、地域活性化に貢献する。

・2 地区を活用した広域イベントの実施による、地域活性化への貢献

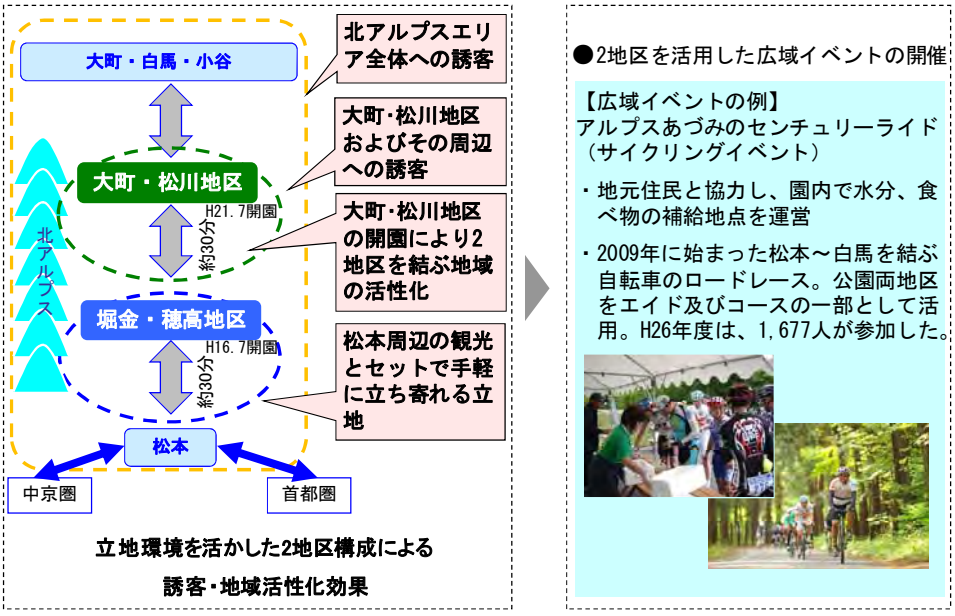
・周辺施設、地方公共団体との連携による、地域の交流拠点としての充

【国営アルプスあづみの公園の実績】

〇２地区及び周辺環境施設との相乗効果による地域活性化

本公園は、北アルプスエリアと松本や首都圏を結ぶルートに位置することから、周辺観光施設との相乗効果により、①北アルプスエリアへの誘客、②公園及び周辺への誘客、③松本周辺の観光施設とのセットでの誘客による、地域活性化が見込まれる。

相乗効果を発揮するため、２地区を活用した「アルプスあづみのセンチュリーライド（サイクリングイベント）」などの広域イベントを開催している。



２地区及び周辺環境施設との相乗効果

〇地域の交流拠点としての充実

各種観光資源・施設が集積する地域の特性を活かすため、本公園の 2 地区と美術館・博物館等周辺施設との連携（ミニ展覧会、サイクリングイベント等）により、安曇野地域のイメージアップを図っている。

地方公共団体との連携により、地域の交流拠点としての充実を図っている。



２地区を結ぶサイクリングイベント



早春賦音楽祭

別紙P12

基本方針５）地域の観光情報発信拠点としての役割を果たすとともに、地域の自然や文化、暮らし等に関する情報発信に努める。

・ボランティアとの協働による地域景観の保全継承

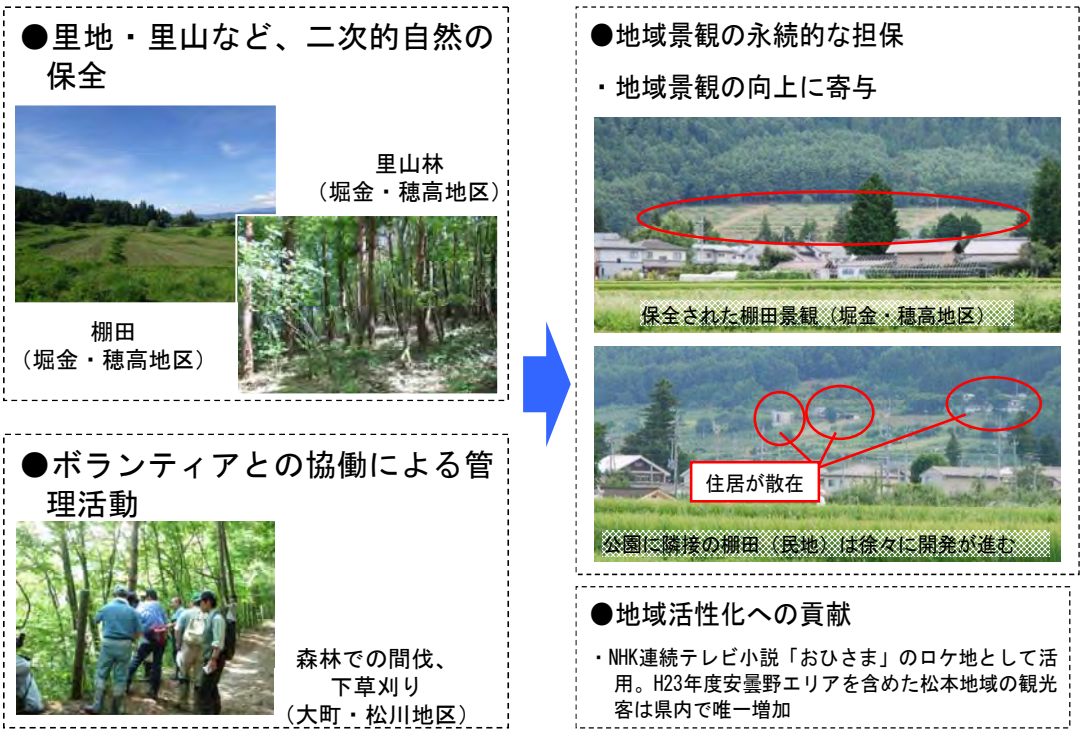
・保全された地域景観を活用した安曇野地域の情報発信

【国営アルプスあづみの公園の実績】

〇地域景観の保全継承

本公園では、「里地・里山など、二次的自然の保全」、ボランティアとの協働による森林等管理」などに取り組んでいる。

このような取り組みは、地域景観の永続的な担保につながり、堀金・穂高地区は、NHK連続テレビ小説「おひさま」のロケ地としても活用された。



地域景観の保全継承への取り組み



ボランティアにより管理された里山



ロケ地として活用された里地景観

基本方針６） 多様な立場や世代からの知見や参加を、公園周辺地域を中心に幅広く取り入れ、運営維持管理体制の充実を図る。

・公園ボランティアとの協働による体験プログラムの企画・運営

・安曇野オオルリシジミ保護対策会議と協力したオオルリシジミの保護活動

【国営アルプスあづみの公園の実績】

〇あづみの公園ボランティアとの協働等による公園の魅力アップ

本公園が地域の自然・歴史・文化の継承を担い、また安曇野に住む人・訪れる人へのＰＲを目指し、公園ボランティアとの協働による体験プログラムの企画・運営により、地域らしさの創出・拡大を図っている。



昔話の講話



あづみの公園サポーターによるイベント運営



自然観察会の実施



体験教室の開催

〇安曇野オオルリシジミ保護対策会議と協力したオオルリシジミの保護活動

地域の保護組織と連携して、堀金・穂高地区 里山文化ゾーンのクララが多く残されているエリアに約 1ha の保護区を設置した。

オオルリシジミの自然発生を阻害するとされるメアカタマゴバチの駆除のため、春期の「野焼き」を実施している。



園内で確認されたオオルリシジミ



オオルリシジミの保護活動（野焼き）

別紙P14

３．運営維持管理の重点事項

２．で定めた運営維持管理の基本方針と併せ本公園の運営維持管理にあたり重点的に取り組む事項を整理した。

（１）広域的な観光需要に対応した来園者の確保に資する運営維持管理

- 広域的な観光・レクリエーション需要に対応した運営維持管理の実施
- 県内及び広域的な圏域からの積極的な誘客
- 積極的な公園情報の発信

（２）国営公園にふさわしいサービス水準の確保と先導的な取り組み

- 国営公園としてあるべきサービス水準の確保を通じた利用者満足度の向上
- 他の公園の運営維持管理の模範となるような先導的な取り組みの導入や、国家的政策への対応

（３）安曇野地域の季節・風土・文化を活かした管理運営

- 積極的な地域との連携と、有用な地域資源や人材の活用
- 豊かな自然に囲まれていることを最大限活用し、自然の中での過ごし方、動植物との付き合い方に対する理解の促進
- 安曇野地域の季節・風土・文化について学ぶことの出来る体験プログラムの提供

（４）安曇野地域の景観に配慮した管理運営

- 周辺の景観との調和、公園内の良好な景観形成への配慮
- 安曇野地域の地域特性に配慮した草花による景観の演出

（５）地域活性化に資する管理運営

- 地域滞在型観光を促進させるため、地元自治体等と協働した安曇野地域のイメージ形成や広報、誘客の実施
- 地域と連携した行催事の実施や国営公園を活用した地域主導の行催事への支援・協力
- 2 地区に分散している意義を踏まえ、来園者の周辺地域における周遊機会の確保

（６）環境の質の確保に資する管理運営

- 生物多様性に富んだ自然的環境の保全を目指し、既存樹林等の適切な管理や、郷土の貴重な動植物の保護増殖、残すべき動植物の生育生息場所の確保への配慮
- 各種野生動物との共存を図るための運営面での工夫、来園者の安全確保への配慮
- 安曇野地域の自然環境を体験し、学ぶことの出来る利用プログラムの提供

別紙P15

（７）安全・安心、地域防災に配慮した管理運営

- 災害時における適切な避難誘導等はもちろん、平常時からの安全・安心な利用機会の確保
- 誰にでも快適な公園を目指し、ユニバーサルデザイン化に対応したホスピタリティのある人的サービスの提供
- 園内施設の防災機能強化と、災害時における復旧活動拠点として、地域防災に貢献

別紙P16

別紙－5

H28-31 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務
共通仕様書

平成２７年７月

第１章 総則

第１条 目的

１．国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）は、長野県をはじめ首都圏、中京圏等に居住する人々の多様な観光・レクリエーション需要に対応するとともに、北アルプス山麓の自然的環境や景観の保全・活用、公園を拠点とした地域活性化を目的に、国が設置・管理している国営公園である。

２．本公園は長野県北西部の安曇野市に位置する「堀金・穂高地区」と、大町市及び松川村に位置する「大町・松川地区」の２地区からなり、日本でも有数の北アルプスの自然環境・山岳景観を背景とし、人里と奥山の中間に位置している公園である。（別添－1「国営アルプスあづみの公園平面図」参照）

３．「堀金・穂高地区」は、失われつつある安曇野の田園風景を保全・復元するとともに、安曇野地域の自然・文化を短時間で体験することができる、安曇野地域の玄関口としての公園として計画されている。一方、「大町・松川地区」は北アルプスの山岳景観につながる良好な自然環境を保全しながら、時間をかけてその自然環境を学び、体験できる公園として計画されている。

４．本公園は、「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間活動の実現－自然の中で感性を育む遊・創・空間－」を基本理念とし、以下の６つの基本方針のもとに総合的に整備、管理・運営を進めている。（別紙－4「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理基本方針」参照）

① 自然環境の保全：生物多様性に富んだ自然環境との共存を目指した保全活動や啓発活動の推進

② 広域レクリエーション：日本を代表する自然環境の中で、安らぎ創出や健康づくりにつながる楽しみを各種体験・学習プログラムを通じて提供

③ 景･文化の保全と創出：第一級の山岳景観と雄大な田園景観が一体となった安曇野地域の景観及びこれをはぐくむ豊かな風土･文化の保全と創出への貢献

④ 交流・地域活性化：公園が地域滞在型観光の拠点となるとともに、園内資源を活用し、地域と連携した地域活性化への貢献

⑤ 情報発信：安曇野地域を舞台にして、豊かな自然のなかで育まれてきた風土・文化とこれからの暮らし方についての新たな発見を導く情報を発信

⑥ 参加：公園の整備・管理運営において、地域、企業、利用者など、様々な立場、多様な世代からの参加を促進

５．本公園では、基本理念と基本方針の下、運営維持管理の基本的な考え方として、以下の６つの管理方針を設定している。（別紙－4「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理基本方針」参照）

① 公園及び周辺の環境を踏まえ、生物多様性の保全に配慮した維持管理を行うともに、自然的環境に関する普及啓発を推進する。

② 公園及び周辺が有する環境や景観、文化を活用し、広域的な誘客が期待できる行催事や体験プログラムの構築と提供を行う。

③ 昔ながらの里山を守り育てる文化・技術を継承する場として、各種体験プログラムの提供とともに、適切な植生管理等を通じ周辺地域と一体となった良好な景観の形成を図る。

④ 地域と連携した各種行催事の展開など、周辺地域への回遊・滞在を誘発するような取り組みを通じ、地域活性化に貢献する。

⑤ 地域の観光情報発信拠点としての役割を果たすとともに、地域の自然や文化、暮らし等に関する情報発信に努める。

⑥ 多様な立場や世代からの知見や参加を、公園周辺地域を中心に幅広く取り入れ、運営維持管理体制の充実を図る。

6．本公園の利用状況は、平成 16 年 7 月の開園時から平成 27 年 3 月までの入園者数累計は、約 384 万人（堀金・穂高地区約 293 万人、大町・松川地区約 91 万人：大町・松川地区は平成 21 年 7 月に開園）であり、平成 26 年度の入園者数は約 37 万人（堀金・穂高地区：約 24.6 万人、大町・松川地区：約 12.8 万人）である。

7．事業にあたっては、上記の基本方針と管理方針を踏まえ、広域的な圏域からの誘客、来園者に対するサービス向上、地域活性化への貢献、自然環境の保全と活用を目指し、一元的に運営維持管理を進めるものである。

8．H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務（以下「本業務」という。）は、本公園において、国の組織である国土交通省関東地方整備局国営アルプスあづみの公園事務所との調整の下で、北アルプス山麓の豊かな自然環境と良好な景観と一体となった公園として、より多くの公園利用者が安全で快適に公園を利用できるよう、公園利用者サービスや利用指導を図るとともに、公園の質的水準を維持、向上させ、本公園全般にわたり、公園資産を保全、増進させることを目的とする。

第２条 適用及び用語の定義

本仕様書は、本業務のうち、「本業務全体のマネジメント及び企画立案業務」、「施設・設備維持管理業務」及び「植物管理業務」に適用する。

なお、本仕様書及び各業務の個別仕様書に用いる用語の定義は、次の各号に掲げるとおりである。

１）「関東地方整備局」とは、本公園の公園管理者であり、本業務の発注者のこと。

２）「調査職員」とは、契約図書に定められた範囲内において、事業者又は事業者の指定する職員に対する指示、承諾又は協議等の職務を行う委託者の指定する職員で、総括調査員、主任調査員及び調査員の総称のこと。

３）「検査担当者」とは、事業者の指定する本業務に関する作業完了の確認を行う職員のこと。

４）「事業者」とは、本公園の運営維持管理者として、本業務を受注した者のこと。

５）「公園利用者」とは、有料区域・無料区域を問わず、本公園を利用する者のこと。

６）「自主事業」とは、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、関東地方整備局と事前に協議し、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条、第６条又は第 12 条に基づく許可を得た上で、事業者の提案により土地使用料又は建物使用料を納めて独立採算により臨時の飲食・物販施設の運営や行催事を行う事業のこと。

７）「収益施設」とは、公園利用者サービスの向上を図るため、事業者が独立採算により運営管理を行う施設であり、その使用に当たっては、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設使用料または建物使用料及び土地使用料を納めることが必要となる場合がある。

８）「入園料」とは、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条第 2 項及び都市公園法施行規則（昭和 31 年建設省令第 30 号）第 11 条第 2 項に基づき、有料区域を利用する者から徴収する料金のこと。

９）「利用料金」とは、収益施設等の使用やそれに伴うサービスの対価として、収益施設等を利用する者から徴収する料金のこと。

10）「施設使用料」とは、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設運

営者が関東地方整備局に納める公園の土地または建物の使用にかかる料金のこと。

11)「建物使用料及び土地使用料」とは、本公園の土地または建物を使用して臨時的な飲食・物販施設等を設置する場合に、「行政財産を使用又は収益させる場合の取り扱いの基準について」（昭和 33 年蔵管第 1 号）に基づき関東地方整備局から金額を通知し、事業者が関東地方整備局に納める料金のこと。

12)「業務責任者」とは、本仕様書の第 13 条に示す業務内容である「本業務全体のマネジメント及び企画立案」、「施設・設備維持管理」及び「植物管理」の個々の業務遂行を監理するもののこと。

13)「総括責任者」とは、本業務全体を監理するものであり、業務責任者のうち、本業務全体の計画立案及びマネジメントの業務責任者をもってそれにあてること。

14)「スタッフ」とは、事業者が本業務を履行するための職員、アルバイト、その他関係従事者のこと。

15)「管理物件」とは、別添－1「国営アルプスあづみの公園平面図」に示す敷地及び附属設備のこと。なお、同敷地内であっても、第三者が持ち込み、または、管理許可を受け、もしくは占用している設備・機器、工作物等については、その対象から除外する。

16)「国事務所」とは、国土交通省関東地方整備局国営アルプスあづみの公園事務所のこと。

17)「管理事務所」とは、別添－3「管理事務所図」に示す建築物のこと。

18)「管理センター」とは、管理事務所を拠点として本業務を遂行する組織のこと。

19)「修繕」とは、施設の劣化した部分又は部材について、性能又は機能を原状あるいは事実上支障のない状態まで回復させること。

20)「改修」とは、性能又は機能を従前より向上させる措置を行うこと。

21)「保守」とは、機器等の必要とする性能または機能を維持する目的で行う消耗品または材料の取り替え、注油、汚れ等の除去及び部品の調整等の軽微な作業を行うこと。

22)「点検」とは、施設の機能及び劣化の状態を一つ一つ調べること。機能に異常又は劣化がある場合、必要に応じて対応処置を判断する事を含む。

23)「指示」とは、関東地方整備局又は調査職員が事業者に対し、業務の遂行上必要な事項について書面をもって示し、実施させること。また、関東地方整備局が事業者に対し、業務の適切かつ確実な実施を確保するために必要があると認めるときには、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号。以下「公共サービス改革法」という。）第 27 条第 1 項に基づき、必要な措置をとらせることをいう。

24)「通知」とは、関東地方整備局又は調査職員が事業者に対し、若しくは事業者が関東地方整備局又は調査職員に対し、業務に関わる事項について、書面をもって知らせること。

25)「報告」とは、事業者が調査職員に対し、業務の遂行に係わる事項について、書面をもって知らせること。

26)「承諾」とは、事業者が調査職員に対し、書面で申し出た業務の遂行上必要な事項について、調査職員が書面により業務上の行為に同意すること。

27)「協議」とは、書面により契約図書の協議事項について、関東地方整備局又は調査職員と事業者が対等の立場で合議すること。

28)「提出」とは、事業者が調査職員に対し、業務に係わる事項について書面又はその他の資料を説明し、差し出すこと。

29)「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、署名又は捺印したものを有効とする。ただし、緊急を要する場合は、ファクシミリまたは電子メールにより伝達できるものとするが、後日有効な書面と差し替えるものとする。電子納品を行う場合は、別途調査職員と協議するものとする。

30)「検査」とは、既済検査あるいは完了検査のこと。

31)「勧告」とは、関東地方整備局長が事業者に対し、業務等に関する事項について、書面をもって、改善等の行動をとるように説きすすめること。

32)「命令」とは、関東地方整備局長が事業者に対し、業務等に関する事項について、書面をもって、改善等の一定の義務を課する具体的な処分のこと。

第３条 総則

１．本仕様書は、本業務を遂行するために必要な事項を定め、もって本公園の適正な運営維持管理を期するものである。

２．本業務の実施は、H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務委託契約書（以下「契約書」という。）によるほか、本仕様書によるものとする。

第４条 準拠規定

本業務の遂行に当たっては、次の各号に掲げる基準等に準拠すること。

１）都市計画法
２）都市公園法
３）道路交通法
４）景観法、屋外広告物
５）建築物における衛生的環境の確保に関する法律
　　建築物環境衛生管理基準（厚生労働省）
６）消防法（消防庁）
７）建築基準法
８）労働基準法、労働安全衛生法
９）下水道法
10）水道法
11）水質汚濁防止法
12）浄化槽法
13）食品衛生法
14）廃棄物の処理及び清掃に関する法律
15）大気汚染防止法
16）騒音規制法
17）振動規制法
18）個人情報の保護に関する法律
19）高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律
20）高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
21）電気事業法及びこれに基づく政令等

22）電気設備に関する技術基準を定める省令
23）建築保全業務共通仕様書　（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
24）建築保全業務報告書作成の手引き（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
25）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
26）公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
27）公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
28）公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
29）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
30）公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
31）プールの安全標準指針（文部科学省、国土交通省）
32）長野県遊泳用プール指導要綱（長野県）
33）人の健康保護に関する環境基準（環境省）
34）遊泳用プールの衛生基準について（厚生労働省）
35）移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令
36）移動等円滑化の促進に関する基本方針（国家公安委員会、総務省、国土交通省）
37）都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン（国土交通省）
38）公園のユニバーサルデザインマニュアル
（財団法人　都市緑化技術開発機構　公園緑地バリアフリー共同研究会編）
39）都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂版）
（国土交通省都市・地域整備局公園緑地・景観課）
40）国土交通本省委託契約取扱要領（別添－2）
41）第４次レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）
（環境省自然環境局）
42）長野県レッドデータブック
43）安曇野市版レッドデータブック
44）絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
45）特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
46）猛禽類保護の進め方（改訂版）（環境庁自然保護局野生生物課編）
47）長野県希少野生動植物保護条例
48）国営アルプスあづみの公園における行為の禁止等に関する取扱要領（別添－4）
49）国営アルプスあづみの公園における猛禽類保護のための配慮指針（抄）（別添－39）
50）土木工事共通仕様書
51）土木工事施工管理基準
52）土木工事写真管理基準

53）電気通信設備工事共通仕様書
54）河川法
55）土地改良法
56）建設業法
57）建設工事に係る資材の再資源化に関する法律
58）国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律
59）遺失物法
60）容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律
61）原状回復をめぐるトラブルとガイドライン（改訂版）
（国土交通省住宅局住宅総合整備課）
62）著作権法
63）農薬取締法
64）長野県暴力団排除条例
65）その他、関係諸法令等

第５条 事業者の義務

１．事業者は、本業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負わなければならない。

２．本公園の設置の意義を踏まえて、その効用を最大限発揮させるよう、努力しなければならない。

３．本業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針のもとで、第２章に示す多岐にわたる業務を総合的な調整のもと、相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施しなければならない。

４．事業者は、本公園の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、公園利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指さなければならない。

５．事業者は、本業務の実施にあたって、関東地方整備局又は調査職員と常に密接な連絡をとり、本業務の目的の達成を図るものとし、その実施状況を記録しておかなければならない。

第６条 関東地方整備局と事業者の責任分担

本業務を実施するにあたり、関東地方整備局と事業者の責任分担を下表「関東地方整備局と事業者の責任分担一覧」（以下「責任分担一覧」という）のとおりとする。ただし、責任分担一覧に定める事項に疑義が生じた場合、又は、責任分担一覧に定めのない事項については、関東地方整備局と事業者の間で十分に協議のうえ決定するものとする。

関東地方整備局と事業者の責任分担一覧

項目		関東地方整備局	事業者
	内容		
料金徴収業務	入園料（収益施設運営に係るものを除く）の徴収業務（徴収料金は、関東地方整備局に納付）		○
公園施設の管理	公園施設の管理（都市公園法第 5 条に基づき設置・管理している施設を除く。）		○
物品の管理	関東地方整備局より提供のあった物品の管理		○
	本業務において取得した物品及び消耗品の管理		○
苦情・要望対応	施設管理、運営業務内容に対する住民及び公園利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○
	上記以外の場合	○	
事故・災害時対応	本仕様書等に記載された業務内容による対応		○
	上記以外の場合	○	
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
	但し、30/1000 以上の物価変動が見込まれる場合	○	
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
運営日時の変更	開園日時の変更（事業者による提案）に伴う経費の増減		○
許認可	都市公園法に基づく許認可	○	
	公園利用者の受付及び書類交付手続きの補助		○
施設・物品等の修繕	事業者の責めに帰すべき事由による場合（事業者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）（以下この表において「①」という。）		◎
	修繕にかかる費用が 1 件あたり 100 万円を超えない場合かつ年間修繕費用 1,300 万円（税抜き）【平成 28～30 年度】、1,100 万円【平成 31 年度分】※を超えない場合（上記①を除く。）。		○
	上記 2 項目以外の場合 ※予算の状況により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、年間業務計画の変更を協議するものとする。	○	
不可抗力	大規模な自然災害等（災害対策部運営計画に基づく警戒体制以上の体制をとるような事態）の不可抗力（以下この表において「②」という。）により公園施設に著しい損害を受けた場合に、公園を一時閉園するなどして行わなければならない施設、設備等の復旧等※上記②により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、対応を協議するものとする。	○	
公園利用者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、公園利用者に損害を与えた場合（事業者の不適切な運営又は、施設管理による公園利用者の怪我等）		◎
	共通仕様書第 27 条の保険の付保及び事故の補償に係る場合		○
	上記２項目以外の場合	○	
第三者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、第三者に損害を与えた場合		◎
	上記以外の場合	○	

※年間修繕費用は、軽微な維持管理修繕（点検を除く）に要した費用の平成 24～26 年度実績と現在

別紙P25

の状況を踏まえた額であり、本業務において事業者によるこれと同程度の修繕を見込んでいる。実績は、別紙－34 建物・工作物に係る修繕履歴（修繕箇所、費用等)」を参照のこと。

※事業者の責任分担中、◎の項目については、委託費を充当することができない。また、それ以外についても事業者の責めに帰すべき事由により損害等が発生した場合も同様である。

第７条 競争の導入による公共サービスの改革に関する法律 27 条第 1 項に基づく指示

関東地方整備局長は、事業者による業務の適切かつ確実な実施を確保するために必要があると認めるときは、公共サービス改革法第 27 条第 1 項に基づき、事業者に対し、必要な措置をとるべきことを指示できる。

第８条 契約の解除

関東地方整備局は、事業者が次のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

１）公共サービス改革法第 22 条第 1 項第 1 号イからチ又は同項第 2 号に該当するとき。

２）繰り返し法令違反を行ったとき。

３）暴力団員を業務を統括する者又は従業員として雇用していることが明らかになったとき。

４）暴力団又は暴力団関係者との社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき。

第２章 業務内容

第９条 運営維持管理基本方針

事業者は、国有財産としての適正な管理を保持しつつ、創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、以下の運営維持管理の重点事項に則り、本業務の遂行に努めること。

１）広域的な観光需要に対応した来園者の確保に資する運営維持管理
２）国営公園にふさわしいサービス水準の確保と先導的な取り組み
３）安曇野地域の季節・風土・文化を活かした管理運営
４）安曇野地域の景観に配慮した管理運営
５）地域活性化に資する管理運営
６）環境の質の確保に資する管理運営
７）安全・安心に配慮した管理運営

第１０条　業務実施の基本的事項

１．事業者は、本業務の実施にあたっては、各業務間の総合調整を十分に図り、次に掲げる項目に留意するものとし、本共通仕様書第１条４．の６つの基本方針に沿った管理運営を行うこと。

１）生物多様性に富んだ自然環境に配慮した運営維持管理の実施及び環境をはじめとする各種体験プログラムの積極的な実施を行うこと。
２）広域的な誘客を図るため、長野県内をはじめ首都圏、中京圏等、広域的な広報展開を図ること。
３）安全で快適な利用がされるように利用指導及び利用者サービスを適切に行うとともに、利用者数の確保を図るために公園利用者ニーズに的確に対応した利用促進策を展開すること。
４）多様な体験プログラム等の充実を図るため、園内のボランティア活動への支援・指導に努めること。
５）乳幼児連れの公園利用者、障害者、高齢者等への適切な対応等を図ること。
６）地元自治体、地域の団体、企業、市民等との連携を積極的に図り、本公園の運営維持管理を通じた地域活性化に寄与すること。
７）様々な管理技術の駆使や、効率的な運営管理等を通じて、常に経費の削減に配慮しながら高品質な維持管理を実施すること。
８）災害や事故等における危機管理を徹底するとともに、発災時には避難地または、災害復旧活動拠点としても機能するよう、適切な対応を行うこと。
９）有機性廃棄物の堆肥化等、園内での資源の有効活用に配慮すること。
10）良好な景観の形成に努めた維持管理を実施すること。
11）利用状況に応じ、適正に本業務を行い、利用に支障をきたさないように配慮すること。

第１１条 履行場所及び履行期限

１．履行場所

施設名称　　国営アルプスあづみの公園
所在地　　（堀金・穂高地区）　長野県安曇野市堀金烏川 33-4
　　（大町・松川地区）　長野県大町市常盤 7791-4
敷地面積　　（堀金・穂高地区）　93ha　注）
　　（大町・松川地区）　246ha　注）

別紙P27

合計　339ha

注）本業務の対象敷地は国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）の供用区域であり、その面積は、平成 27 年 6 月現在 148ha である。

平成 28 年度に、堀金・穂高地区の里山文化ゾーン 49ha、大町・松川地区の自然体験ゾーン 142ha を追加供用する予定である。

※別添－1「国営アルプスあづみの公園平面図」を参照すること。

※兼用工作物については別添－12「兼用工作物について」を参照すること。

２．履行期限

平成 28 年 4 月 1 日から平成 32 年 1 月 31 日までとする。

事業者は、本業務が適正かつ円滑に実施できるよう過年度事業者から契約日以降業務開始日までに必要な引き継ぎを受け、本業務の開始に備えること。

第１２条 開園日時等

本業務の履行期間における本公園の開園日、開園時間、入園料については原則として官報告示に従う。

開園期間及び時間

エリア	開園期間	開園時間
供用区域	3 月　1 日～　6 月　30 日	9:30～17:00
	7 月　1 日～　8 月　31 日	9:30～18:00
	9 月　1 日～　10 月　31 日	9:30～17:00
	11 月 1 日～　2 月　末日	9:30～16:00

※休園日は 12 月 31 日、1 月 1 日及び毎週月曜日（月曜日が休日の場合は直後の平日）とする。但し、月曜日のうち、4 月 27 日から 5 月 6 日及び 7 月 20 日から 8 月 31 日の各期間、休日の場合並びに日曜日と休日にはさまれている場合は開園日とする。

※繁忙期、イベント開催時等においては、本業務の受託者（以下、「事業者」という。）が関東地方整備局長と協議し、同意を得た上で、開園時間の変更を行うことができる。

※開園期間においても、定期点検等の実施により休園が必要な場合は、事業者が関東地方整備局長と協議し、同意を得た上で休園とすることができる。

なお、以下のとおり無料入園日を設けることとし、当該年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

・春の都市緑化推進運動　：　4 月 1 日～6 月 30 日【期間中１日】
・都市緑化月間　：　10 月 1 日～10 月 31 日【期間中 2 日】
・みどりの日　：　5 月 4 日【１日】
・児童福祉週間　：　5 月 5 日【１日】
　※小学生若しくは中学生又はこれらに相当する者のみ無料
・敬老の日　：　9 月第 3 月曜日【１日】
　※満６５歳以上の者のみ無料

第１３条 業務内容及び業務対象

事業者は、本公園の供用区域内に位置する都市公園法第２条第２項で規定された各公園施設を対象として、個別仕様書に記載された管理水準及び業務内容を踏まえ、以下の各業務を行うこと。(別紙－1「主要公園施設一覧」、別紙－2「主要建築物一覧」参照)

＜業務内容＞

公園運営維持管理業務（委託費により行う業務）

(1) 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

本業務全体の計画立案及びマネジメント

入園料徴収、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務　等

企画広報（行催事企画運営、広報、公園ボランティア活動の支援・調整）

公園利用者への利用指導、公園利用者へのサービス、園内巡視　等

(2) 施設・設備維持管理業務

維持修繕・保守点検等（建物、建物設備、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設、給水施設、水景施設、その他設備）

清掃（園内清掃、園内建物清掃）　等

(3) 植物管理業務

高木管理、中低木管理、林地管理、草花管理等（草刈り、施肥、灌水、剪定等）

１）本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

(1) マネジメント

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、企画運営管理業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整のもと相互連携を保ち、適切な進捗管理を行うとともに、入園料の徴収事務、関東地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。また、本業務に付随して実施する収益施設等管理運営業務について、本業務との連携を図り、効率的な事業展開を図るための調整を行うこと。(別紙－6「個別仕様書（企画立案)」参照)

(2) 企画運営管理

利用促進のための行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収するもの等を含む）や広報宣伝の企画・立案・実施・参加者受付及び公園ボランティアに対する支援・調整を行う業務である。また、公園利用者の安心・安全を確保し、円滑に利用してもらうために、利用指導及び利用案内等の公園利用者に対するサービスの提供、園内巡視、本業務に関わる自動車維持等を行う。さらに、本公園及び周辺地域に生息する野生動物の動向の把握に努め、公園利用者の安全確保を図る。(別紙－6「個別仕様書（企画立案)」参照)

２）施設・設備維持管理業務

(1) 維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損個所の軽微な補修又は補充を適切に行う。また、給水施設や電気設備の使

用量を計測し記録を確実に行うとともに、水景施設に関しては、衛生面の安全を確保するよう、水質管理を確実に行う。(別紙－7「個別仕様書（施設・設備)」参照)

(2) 清掃

公園利用の動向、塵芥及び汚水等の発生量に即応して適切な措置をとり、園内や建物の清掃を行い、常時公園内を清潔にする。また、園内に塵芥が散乱した場合は、速やかに園内の清掃を行い、利用に支障が生じないよう適切な措置をとる。なお、塵芥は種類ごとに定められた処理方法に従って、適切に処理する。さらに、積雪時には除雪を行う。（別紙－7「個別仕様書（施設・設備）」参照)

3）植物管理業務

来園者が当地域の自然環境の豊かさを実感できる四季折々の景観形成を図るため、利用状況、景観等に応じた除草、外来種の除去、芝刈り、施肥、潅水、樹木の剪定等を行うことにより、園内の植物が常に良好な状態にあるように植物管理を行うとともに､公園利用者に怪我等がないよう適切な管理を行う。さらに、公園内及び周辺に生息する大型哺乳類、猛禽類及び昆虫類の生息環境保全に配慮した植物管理に努める。（別紙－8「個別仕様書（植物）」参照)

第１４条 業務実施体制

1．国営公園の設置目的を達成し、公園利用者の安全・快適な利用サービスを提供するため、下記の資格要件を備えている職員を配置するなど本業務を実現する業務実施体制を構築すること。なお、資格証明書の写しを調査職員に提出すること。

＜事業者が保有する必要がある資格＞

・１級造園施工管理技士

2．日常管理業務に加え、公園利用者の案内や苦情・要望、事故・災害等非常時における緊急対応が適切に行われるよう、一元的な管理体制を構築すること。

3．本業務全体のマネジメント及び企画立案、企画運営管理、施設・設備維持管理、植物管理について業務別に業務責任者を配置することとする。なお、本業務全体のマネジメント及び企画立案の業務責任者を総括責任者とし、業務責任者による他業務責任者及び担当者の兼務を妨げない。

ただし、収益施設等管理運営業務への委託費の支出は認めない。収益施設等管理運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分しなければならない。

4．本業務全体のマネジメント及び企画立案の業務責任者を総括責任者とし、総括責任者は本業務の全体を監理すること。

5．業務責任者による他の業務責任者及び担当者の兼務を妨げない。ただし、収益施設等管理運営業務への委託費の支出は認めないので､収益施設等管理運営業務の業務責任者がそれ以外の業務責任者を兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区別すること。

6．開園期間中は、本共通仕様書第 13 条１）～3）の業務責任者及び収益施設等管理運営業務の業務責任者のうち、少なくとも２名以上が勤務する体制とすること。さらに業務責任者が勤務していない業務については、当該業務に精通した者を勤務させるものとし、緊急対応を含め本共通仕様書第 13 条１）～3）が円滑かつ迅速に行われる勤務体制をとること。なお主な業務従事（勤務）場所は、管理事務所（別添－3「管理事務所図」）を想定している。

7．この他、国庫に納入する入園料の徴収業務を担当する経理担当者、及び救急対応を担当する者を

配置するものとするが、経理担当者は、刑法（明治 40 年法律第 45 号）、その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす。

８．関東地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は調査職員とする。

第１５条 業務計画書

１．事業者は、契約締結日の 14 日前までに、企画書にもとづく積算根拠となる詳細な工種、数量、月次の工程計画、体制を記載した「業務計画書」を関東地方整備局に提出し、協議の上、承諾を得ること。

２．「業務計画書」の策定にあたっては、運営維持管理の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望を踏まえた業務計画の変更の経緯、記録が確実に残る仕組みを構築し、「業務計画書」に記載すること。

３．運営維持管理の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望に基づく対応について、年度内での変更が求められる場合は、「業務計画書」を随時修正すること。

変更業務計画書の提出の必要の有無は内容に応じて調査職員と協議すること。なお、次年度以降の実施内容に変更がある場合は、次年度の業務開始 14 日前までに変更業務計画書を提出し、承諾を得るものとする。ただし、軽微な変更の場合はこの限りではない。

４．四半期別必要経費内訳書には、「業務計画書」の変更がある場合は、その結果を反映した上で、数量、単価を記載し、積算根拠を明確にすること。

＜業務計画書に記載が必要な項目＞
- 年間管理運営計画（月別）
- 年間行事計画書（月別）
- 年間広報計画（月別）
- 企画提案された実施方針(月別)　（別紙様式 1－6「実施方針」参照）
- 業務実施体制（資格証明書の写しを含む）　（別紙様式 1－5「業務実施体制」により作成）
- 業務実施のための管理機構及び職務分担
- 実施計画（別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
- 四半期別必要経費内訳書（別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
- 再委託承諾申請書（別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
- 施設管理作業（建物管理、工作物管理、清掃、除雪）
- 植物管理作業
- 収益施設運営計画（別紙様式－3「収益施設運営計画」参照）
- 公園内巡視作業
- 入園料徴収及び公園利用者への利用指導
- 安全管理、安全確保、救急救護、防災計画、消防計画、災害時・異常時対策
- 公園利用促進への取り組み（広報、行催事等の開催）
- 市民参加による公園運営（公園ボランティア）
- 地域連携方針
- 環境への配慮

別紙P32

第１６条 業務報告書

１．事業者は、関東地方整備局が運営維持管理の実施状況と包括的な質や管理水準等の達成状況のモニタリング調査が確実に行えるよう、報告書を調査職員に毎月又は、四半期ごとに定期的に提出すること。

２．事業者は、各年度の業務を完了した時は、遅滞なく、当該年度の完了報告書、精算報告書及び委託費経費内訳報告書、残存物件報告書（以上、各正本１通、副本１通）に成果物（年度内に実施した運営維持管理実績を示す実績状況等の記録書一式）を添えて調査職員に提出すること。

３．経理状況に関する帳簿類は常に整理し、関東地方整備局からこれらに関する報告や実施調査を求められた場合には、速やかに調査職員の指示に従い、誠実に対応すること。

４．本業務は電子納品（試行）対象業務とする。電子納品とは、上記業務報告書の最終成果のうち調査職員が指示するものを電子データで納品すること。

＜毎月提出が必要な項目＞
1）「管理運営月報（勤務実績簿を含む）」（提出期限は翌月の 10 日 別添様式 1）
2）「管理運営月報総括表」（翌月の 10 日 別添様式 2）
3）「定例会報告書」（翌月の定例会まで）※定例会は第 26 条参照
4）公園内全施設の電気メーター検針表及び算定表（毎月初め）
5）公園内全施設の水道メーター検針表及び算定表（毎月初め）
6）公園内全施設のガスメーター検針表及び算定表（毎月初め）
7）貸与車両の稼動実績、燃料使用実績報告（翌月の 10 日）
8）上記以外の発注者で指定した報告事項（適宜）

＜四半期ごとに提出が必要な項目＞
1）「管理四半期報」（提出期限は四半期翌月の 15 日 別添様式 3）

＜当該年度の完了報告で提出が必要な項目＞
1）「完了報告書」 （別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
2）「精算報告書」 （別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
3）「委託費経費内訳報告書」 （別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
4）「残存物件報告書」 （別添－2「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）
5）「実施状況等の記録書」

＜実施状況等の記録書に添付が必要な項目＞
1）作業日誌
2）保守点検の記録
3）作業実施数量の記録
4）作業記録写真
5）安全衛生点検の記録
6）修繕等の記録
7）事業者における検査担当者が作業の完了を確認した記録
8）その他関東地方整備局が指定した報告事項の記録

＜電子納品＞
1）電子データとは、「電子納品等運用ガイドライン」、「現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン（案）」（以下「ガイドライン」）及び関東地方整備局の「電子納品に関する手引き（案）」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。
2）最終年度の業務を完了した時には、別に定める様式（電子媒体納品書）に署名・捺印の上、「ガイドライン」に基づいて作成した電子データを CD-R で２部提出する。なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途調査職員と協議するものとする。
3）受発注者相互に CD-R の内容を確認した上で CD-R の受領を行うものとする。
4）「ガイドライン」で特に記載がない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、調査職員と協議の上、電子化の是非を決定する。
5）上記によりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。

別紙P33

第１７条 記録の保存

報告書及び経理状況に関する帳簿類は、調査職員の求めに応じて常に提出できるよう、事業者において、業務終了後から５年間保存すること。

なお、本業務の記録類については以下を最低限とすること。

・作業日誌
・保守点検の記録
・作業実施数量の記録
・作業記録写真
・安全衛生点検の記録
・修繕等の記録
・事業者における検査担当者が作業の完了を確認した記録
・その他関東地方整備局が指定した報告事項の記録

第１８条 モニタリング業務

１．事業者は、公園利用者からの意見要望を積極的に把握、評価し、業務に反映させるため、以下に掲げる調査を行うことができる。調査を行った場合、その結果について関東地方整備局に報告すること。

１）利用実態調査

本公園において提供するサービスに対する公園利用者の評価について、アンケート等を実施するなど事業者の工夫により、確実に把握すること。また、事業者は、利用実態調査を行う場合、その方法について、あらかじめ関東地方整備局に提出した上で、調査を実施し、その結果は、即地的にも確認できるよう記録、集計・分析を実施すること。

第１９条 関東地方整備局が行うモニタリング調査

１．関東地方整備局は、事業者で実施するモニタリング業務（本共通仕様書第 18 条）とは別に、本業務の実績を評価する調査を実施する。（別紙－13「公園利用者アンケート」参照）

２．事業者は、本業務等の実施内容の評価が確実に実施されるよう、前項の調査に協力すること。

別紙P34

第３章 委託費の支払い

第２０条 委託費代金の支払い

１．事業者は、提出した業務計画書に基づいて、本業務を実施することにより、達成すべき包括的な質（「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項（案）」（以下、「実施要項」という。）1.3.1 参照）の確保に努めるとともに、個別業務の質（実施要項 1.3.2 参照）の最低水準を確保すること。

２．関東地方整備局は、上記の履行内容を確認し、検査したうえで、会計年度（４月１日から翌年３月３１日まで）を基準とし、委託費を支払うものとし、その支払いは適正な請求書を受理した日から起算して３０日以内とする。ただし、検査の結果、包括的な質及び個別業務の質の最低水準が確保されていない場合は、風水害その他の事業者の責に帰すことが出来ない事由によるものを除き、関東地方整備局は適切に業務を行うよう改善指示（業務の履行中を含む。）を行うこととする。事業者は要因分析を行い、関東地方整備局に業務改善計画書を提出し、その承諾を得ない限り、委託費の請求はできないものとする。

３．各年度の契約金額の確定額は、業務に要した経費の実支出額と各年度の契約金額の支払の限度額のいずれか低い額とする。

４．会計法第２２条、予算決算及び会計令第５８条に基づく協議が整った場合において、事業者は委託費の使用状況について調査職員の確認を受けた上で、業務計画書及び各年度四半期別必要経費内訳書に基づいて、各年度四半期における所要額として委託費の概算払いを四半期毎に請求できる。ただし、業務の改善指示があった場合には、事業者は要因分析を行い、関東地方整備局に業務改善計画書を提出し、その承諾を得ない限り、次の四半期の概算払いに係る委託費の請求はできないものとする。

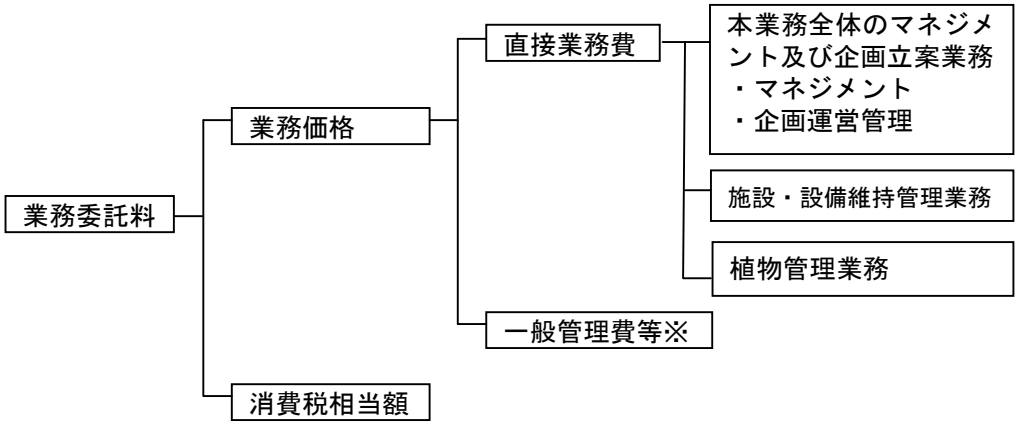
５．事業者の運営維持管理の責任に拠らない事由により、業務実施前に事業者が作成した業務計画書をもとに設定した包括的な質及び個別業務の質の最低水準が未達成の場合には、委託費の減額は行わない。

６．本業務の準備期間における経費は、委託費(一般管理費を含む)にて支出することは出来ない。

７．各業務の積算体系は、以下のとおりである。

別紙P35

＜積算体系＞



※本社人件費（職員基本給、職員諸手当、退職手当等）、本社旅費（職員旅費）、本社庁費（職員厚生経費、備品費、消耗品費、通信運搬費、光熱水費、燃料費、印刷製本費、賃料及び損料、保険料、雑役務費等）、付加利益（法人税、地方税、株主配当金、役員賞与金、内部保留金、支払利息及び割引料、支払保証料その他営業外費用等）

別紙P36

第４章 公園内の安全管理

第２１条 安全管理

１．本公園における公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、本業務の履行にあたり、常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、本公園の利用に関し必要な事項について、適切な措置・対応を行うなど、事業者の責任において常に善良なる管理を行うこと。なお、関東地方整備局が定める別添－4「行為の禁止等に関する取扱要領」に則った対応を図ること。

２．新型インフルエンザや鳥インフルエンザのように、重症化する恐れのある感染症等の蔓延の恐れがある場合については、調査職員と協議の上、消毒液を設置するなど、適切な措置・対応を行うこと。また、園内での緊急時に備え、調査職員と協議の上、自動体外式除細動器（AED）等を設置すること。

３．事業者は、本業務の履行にあたっては消防法に準拠するとともに、関東地方整備局が定める安全管理マニュアル等を遵守すること。

４．事業者は、関東地方整備局と協力し、火災・その他災害による物的・人的被害を軽減することを目的に、別途消防計画を作成すること。なお、消防計画には、防火管理者等の担当者を明記すること。作成した消防計画は調査職員へ提出し、承諾を得ること。（別添－15「建物に係る消防計画」参照）

５．事業者は、施設を運営している期間中は毎月１回、施設の消防用設備等の自主検査を実施し、調査職員に報告すること。

６．事業者は、異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告する。安全管理には十分注意し本業務を履行すること。

第２２条 安全確保

１．本業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故の発生の防止に努めること。

２．本業務を行う場所若しくは、その周辺に第三者が存する場合又は立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を講じた後、調査職員に報告すること。

３．設備に異常を認めた時は、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講ずること。

４．万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上、直ちに調査職員に報告し、臨時に検査を行い、その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとること。

５．その他事故等が発生したとき、又はその恐れがあるときは、関東地方整備局が定める管理マニュアル等に則り、速やかに必要な措置を取り、事業者が作成した緊急連絡体制に基づき、次の各号に掲げる事項について、遅滞なく、事故報告書様式（別添－6「危機管理マニュアル」参照）等により調査職員に報告すること。

１）事故発生日時

２）事故発生場所（図示）

３）事故発生の概要（受傷者の氏名・連絡先・受傷状況・事故原因など）

４）事故の程度

５）人身事故の場合は、医師の診断結果

６）事故処理の概略

別紙P37

7）再発防止策等

第２３条 救急対応

１．事業者は、救急活動及びその報告に関するマニュアルを作成し、調査職員に提出すること。
２．事業者は、調査職員が指定する箇所に救急施設を配置し、救急担当職員を配置する。そのうちの主たる箇所に開園中は看護師または普通救命講習修了者（Ⅰ、Ⅱ）の資格を有した救急担当職員を配属し、救急活動に当たること。救急担当職員については、応急救護講習等の研修を受けた者を配置すること。
３．救急担当職員は、救急活動を要する事態を認めたときは、公園利用者の急病や負傷には応急処置をとるとともに、怪我等の状態によっては救急車両による搬送手配を行うなど、最も適切と思われる措置をとること。
４．事業者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確に記録するとともに、その経過及び結果を速やかに調査職員に報告すること。ただし、軽微なものについては、後日報告とすることができる。様式については別途協議するものとする。
５．重大事故についてはただちに調査職員に電話等にて第一報を入れるとともに、対応を協議し、その指示に従うこと。また、その後の経過についても逐次書面等により調査職員に報告を行うこと。なお、重大事故とは公園管理又は公園施設に起因するか若しくはその恐れのある事故が起こった場合、または３０日以上の治療を要する重傷者若しくは死者の発生する事故が起こった場合、さらに人的被害が発生しなくても、公園施設に起因する３０日以上の治療を要する重傷者又は死者が発生する恐れがあった事故が起こった場合とする。（別添－6「危機管理マニュアル」参照）
６．傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

第２４条 災害時、異常時等の対応

１．事業者は、災害防止等のために必要があると認められるときは、公園利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行うなど臨機の措置をとること。この場合において、「閉園判断基準」（別添－5）等に基づき、閉園等の必要があると認めるときは、事業者はあらかじめ関東地方整備局と協議しなければならない。ただし、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。なお、災害防止には、陸上自衛隊が災害派遣活動拠点として本公園を使用する場合を含む。
２．前項の場合において、事業者は、そのとった措置の内容を調査職員に速やかに報告すること。
３．台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、現場の状況に応じ事前に土のうの設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等必要な措置を講じ、被害の軽減に努めること。
４．台風、豪雨等の災害発生時に調査職員の指示した箇所の巡回を行うとともに、現場の状況に応じて、土のう等の設置等必要な措置を講じること。
５．事業者は、夜間及び休園日において、異常を発見した場合は、必要に応じて警察、消防等の関係機関等に通報し、適切な措置を講ずるとともに、調査職員に速やかに報告すること。
６．調査職員は、災害防止や本業務の履行上特に必要と認めるときは、事業者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。
７．調査職員の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、事業者は、関東地方整備局が定める安全管理マニュアルに則り、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。
８．事業者は、事故や災害発生時等への対応のため、国事務所が定める危機管理マニュアル（別添－

6「危機管理マニュアル」参照）に基づき、事業者の役割・行動・体制等をとりまとめた危機管理マニュアルを作成し、調査職員に提出し、承諾を得るものとする。

９．事業者は、事故や地震等の災害発生時等には、前項において作成したマニュアルに基づき、公園の開園日、開園時間に関わらず速やかに参集し、適切な措置・対応を行うこと。

10．災害時、異常時等は、園内の臨時巡視・点検を速やかに行い、安全を確認し、調査職員に報告する。異常を確認した場合は、前項に基づき適切な措置・対応を行うこと。

第２５条　園内の車両走行

１．園内における業務用車両（バイク、自転車を含む）の運行については、別添－14「公園園内車両運行要領」に従い、公園利用者の安全と快適な利用を妨げないような運転・走行・駐停車・作業態度等に努めること。

別紙P39

第５章 協議・調整等

第２６条 関東地方整備局の要請への協力

１．調査職員から本公園に関する調査、又は作業の指示等があった場合には、迅速、誠実かつ積極的な対応を行うこと。

２．その他、関東地方整備局が実施又は要請する事業（例：緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練、行催事、要人案内、公園に関する会議、監査・検査、視察、式典等）への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

３．事業者（総括責任者、各業務責任者又は総括責任者が指名する者）は、関東地方整備局が開催する国営アルプスあづみの公園定例会（以下、「定例会」という。月１回開催）及び週間工程会議（週１回開催）に参加すること。定例会では、前月分の運営維持管理状況、当該月以降の運営維持管理方針及び公園利用者からの意見要望等について報告すること。また、週間工程会議では、本公園の国事務所発注の工事工程等について協議する。なお、定例会及び週間工程会議で事業者が作成した書類は、電子データとして、調査職員へ提出すること。

４．事業者は、管理業務を円滑に実施するため、必要に応じ調査職員及び管理運営に関係する者との情報交換や業務の調整を図る連絡会議を、定期又は不定期に開催するものとする。なお、連絡会議には、第三者を参加させることができるものとする。

５．関係機関の立会検査又は調査がある場合は、事業者は関東地方整備局の指示により立会等に協力すること。

６．本業務の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望は、即地的にも確認できるよう記録、集計・分析した結果と本業務に反映させるよう努めた事項について、調査職員に報告するよう努めること。

第２７条 別途工事等との調整

１．国事務所の発注する工事又は業務（法定点検業務等）がある場合には、事業者は必要に応じて当該工事又は業務内容及び計画（変更を含む）に対して、本業務に関連する助言ならびに公園利用及び動植物の保護育成に関する調整を行うこと。

２．国事務所が発注する施設保全業務等の実施に当たり、事業者は、点検等の実施時期の調整に協力すること。電気設備の点検に伴う計画停電のときには、その対応については、調査職員と調整すること。

第２８条 関東地方整備局との協議等

１．事業者は、本仕様書又は個別仕様書等において、関東地方整備局又は調査職員との協議が必要とされている事項については、十分な時間的余裕を持って協議を行うこと。協議に必要と思われる時間が確保されていない場合、協議を受け付けないことがある。

２．本仕様書に明記されていない事項又は本仕様書の内容について疑義を生じた場合は、調査職員と協議すること。

３．業務責任者又は業務担当者は、本業務の実施方法等について必要がある場合は、調査職員の指示を求めることができる。

４．施設の運営維持管理に係る各種規程・要項を作成する場合や、追加開園等により契約期間中に業務内容が変更する場合、さらには、その他新業務への対応が必要な場合は、関東地方整備局と事

別紙P40

業者の間で協議を行うこと。

５．不測の事態又は疑問等が生じた場合は、速やかに調査職員と協議すること。

第２９条 その他の協議・報告等

事業者は、本公園の管理・運営等で必要な以下の調整を適切に行い、結果等については、必要に応じて報告する。

１）地元自治体、マスコミ等関係機関等との協議

２）持込みイベント等の利用調整

第３０条 官公署への連絡、届出

事業者は、官公署への連絡、届出手続きは関東地方整備局に協力し、遅滞なくこれを処理すること。また、事業者による作業等の実施にあたり官公署への連絡、届出が必要となるときは事業者において行うこと。

別紙P41

第６章 雑則

第３１条 本業務の再委託

事業者は、本業務の実施に当たり、その全部を一括して、又は本業務における主たる部分を再委託することはできない。本業務における主たる部分とは、次のとおりとする。

＜本業務における主たる部分＞

① 総合的計画立案
② 業務遂行管理
③ 入園料の徴収及び納入
④ 救急・災害時の統括管理
⑤ 各業務手法の決定
⑥ 本業務履行者としての最終的な意志決定を行うための技術的判断等

１）事業者は業務の一部を第三者に委託しようとする場合は、あらかじめ再委託の相手方の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額等について記載した書面を調査職員に提出し、承諾を得なければならない。なお、再委託の内容を変更しようとするときも同様とする。（別紙様式1－7「再委託または下請負の予定」参照）

２）事業者が関東地方整備局に対して負う義務を適切に履行するため、事業者は再委託の相手方に対し、「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務 民間競争入札実施要項」8.4.及び8.6.に規定する事項その他の事項について必要な措置を講じさせるとともに、再委託先から必要な報告を徴収することとする。

３）事業者が再委託の相手方に業務を実施させる場合は、すべて事業者の責任において行うものとし、再委託の相手方の責めに帰すべき事由については、事業者の責めに帰すべき事由とみなして、事業者が責任を負うものとする。

４）再委託等の承諾を行った際は、必要に応じて当該部分（再委託）に該当する経費についての領収書、明細書の写しの提出を求める場合がある。

５）契約書第３条第４項で規定する「軽微な業務」とは、コピー、ワープロ、印刷、製本、トレース、資料整理、計算処理、模型製作、和訳、参考書籍・文献購入、消耗品購入、会場借上等及び小規模な業務をいうものとする。なお、小規模な業務とは、原則として契約金100万円未満のものをいう。

６）なお、再委託の相手方は入札書の受領期限の日から開札の時までの期間に、国土交通省関東地方整備局長から指名停止を受けていないこと。

７）暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有している者に再委託してはならない。

８）再委託にあたっては、複数者から見積もりを徴収するなどにより適正価格での契約に努めるほか、長野県内に本支店営業所を有する企業の活用に配慮することが望ましい。

第３２条 保険の付保及び事故の補償

１．事業者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法及び健康保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

２．事業者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適切な補償をしなければならない。

別紙P42

３．事業者は、自動車任意保険、施設賠償責任保険、動産総合保険の他、必要に応じて各種保険に加入すること。

第３３条 建築物及び機械器具等の無償貸与等

１．建築物及び機械器具等の無償貸与

本業務の遂行に必要な、関東地方整備局が保有する国の施設等を建築物及び機械器具等に限り、事業者に無償で貸与する。提供施設については事業者にて適正に管理すること。なお、その取扱いについて、別添－9「提供施設等の取扱いについて」による。

２．物品の管理及び修繕の取扱

本業務の遂行に必要な物品については適正に管理を行うこととし、損傷・盗難・亡失等が発生した場合は調査職員に報告すること。また、無償貸与された物品、備品（取得価格（消費税込み）が５万円以上のもの）及び運営維持管理業務委託費で取得した備品の取扱については、別添－10「取得した備品の取り扱いについて」による。

３．残存する備品の取扱い

１）事業者は、本業務完了の際、残存する備品は全て関東地方整備局に引き渡すこと。ただし、翌年度において当該業務に継続して使用されるものはこの限りではない。

２）残存する備品とは、関東地方整備局が貸与したあるいは本業務において管理上必要となり委託費で取得した機械器具、その他の物品のうち、原状のまま比較的長期の使用に耐え、取得価格（消費税込み）が５万円以上のものをいう。また、関東地方整備局より貸与された又は委託費で取得した５万円以下の物品等については残数を報告すること。

３）その他、残存する備品の取扱いについては、別添－10「取得した備品の取り扱いについて」による。

４．事業者は、国事務所の事務・事業に支障を来たさない範囲において、管理事務所内の施設の管理運営業務の実施に必要な機器・設備等を持ち込むことができる。

５．事業者が持ち込んだ機器・設備等については、国事務所の事務・事業に支障をきたすことのないよう適切な管理を行うこと。

６．事業者は、管理事務所内に機器・設備等を持ち込む際、電気工事等の措置が必要な場合は、調査職員と協議のうえ承認を得た上で実施することができる。なお、必要な措置をした場合、施設の使用を終了又は中止をした後、直ちに原状回復を行い、調査職員の確認を得ること。

７．機器・設備等を持ち込む費用、電気工事等の措置等に必要な経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費（電気代、コピー代、電話代等）、原状回復に必要な経費は、事業者の負担とする。

８．施設等運営者が機器・設備等を持ち込む場合は、事前にリストを調査職員に提出するとともに、物品表示票を作成し持ち込む全ての機器・設備等に貼付し、常に管理すること。

第３４条 本業務の引継

１．事業者は、契約が完了する場合、又は解除になる場合には、調査職員の立会の下、調査職員が指示する者に対し、誠意をもって、円滑に事務の引き継ぎを行わなければならない。引き継ぎに当たっては、下記に示す必要な資料の作成及び提出を行い、必要な説明等を行うこと。ただし、契約が引き続き締結され、業務を継続する場合はこの限りではない。

１）運営・利用者サービスに関する事項

年間パスポートの登録情報、利用予約の受付、繁忙期対応、救護日誌、利用者の安全確保のための措置事項 等

2）施設・設備維持管理に関する事項

施設・設備の点検情報、設備・機器等の各種マニュアル、施設・設備の使用において留意が必要な事項、清掃記録 等

3）動植物管理に関する事項

芝生、草地等の管理区分図、希少種の生育場所、病虫害防除、老木、記念樹等の記録 等

4）収益施設運営に関する事項

運営に必要な物品等の引き継ぎ、その他運営上の課題事項 等

5）広報宣伝に関する事項

マスコミ等の連絡方法及び連絡先・取材記録、ホームページデータ及び更新方法 等

6）イベントに関する事項

主催、共催イベント、体験プログラム等の実施状況、持ち込みイベントの状況、継続的な地域連携イベント等における主催者や関係団体との連携、協力すべき事項

7）協働活動者、関係機関との連携に関する事項

ボランティアの登録情報、連絡方法及び連絡先、活動記録、ボランティア団体と連携して管理を行う箇所や指導を受けている有識者の情報 等

8）国への提出資料に関する事項

都市公園法第５条、６条、12 条に基づく申請及び許可の記録 等

9）ホームページに係る全てのデータ及びドメインに関する事項

ホームページに掲載されている情報の元データ、ホームページの運営、サーバー保守及びドメイン管理に関する関係情報一式と、個別仕様書（本業務全体のマネジメント及び企画立案）第 33 条に記載している「関東地方整備局に承継すること」と定めている本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権の無体財産権等

１０）その他

救急活動に関するマニュアル、近隣住民への配慮必要事項、苦情処理記録 等

2．不可抗力その他、関東地方整備局や事業者の責めに帰することができない事由により管理の継続が困難となった場合は、関東地方整備局と事業者は管理の継続の可否について協議すること。

3．事業者は、本業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）又は、契約が解除されるまでは、本公園の運営維持管理が円滑に実施されるよう業務実施体制（本共通仕様書第１４条記載）を維持すること。

4．履行期限後において補償すべき事態が発覚し、その原因が事業者の履行期間内の瑕疵等であることが明らかな場合は、その費用は事業者が負担すること。

5．新たな事業者に対し、平成 28 年 1 月から 3 月まで準備室（別添－3「管理事務所図」の引継期間貸与部分参照）を貸与する。準備室では、本業務に関する準備を行うものとし、準備室における光熱水費は関東地方整備局が負担する。

第３５条 情報公開

事業者は、文書の開示等の情報公開については、行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成

21年7月1日法律第66号）の規定に準じて取り扱うものとする。この場合、調査職員と協議すること。

第３６条 調査等への対応

事業者は、関東地方整備局が実施する事業者に対する立ち入り検査、指示等監督・検査に対して、誠意を持って対応すること。

別紙P45

第３７条 会計検査への対応

事業者は、会計検査院法第２２条に該当するとき、または同法第２３条第１項第７号に規定する「事務若しくは業務の受注者」に該当し、会計検査院が必要と認めるときには、同法第２５条及び第２６条により、会計検査院の実施検査を受けたり、同院から直接又は関東地方整備局を通じて、資料・報告書等の提出を求められたり質問を受けたりすることがある。

第３８条 愛称の使用

共同体で本事業を実施する場合、園内看板やチラシ等において、共同体の愛称を設定の上使用することができる。

第３９条 名札の着用

事業者は、役職及び氏名を記載した名札を作成するとともに、スタッフ全員が常時着用することとする。また、本業務に係る作業関係者等については業務入園証を作成し、配布すること。

第４０条 スタッフの服装

事業者は、スタッフの服装及び園内で使用する作業用機械、器具、車両等については、本公園の運営維持管理業務を遂行するにふさわしいものとし、イメージアップに心掛けること。

第４１条 節電等

事業者は、園内での照明、冷暖房等の適正使用に常に心がけ、節電等に配慮した業務の実施に努めること。また、各種機材の更新、修繕にあたっては、省エネルギーに配慮した製品の導入に努めること。

別紙P46

第７章 コンプライアンス

第４２条 守秘

１．事業者は、業務上知りえた秘密については、第三者へ漏らしてはならない。

２．別添－11「情報のセキュリティについて」に沿って、情報管理を適切に行うこと。

３．事業者、又はその職員その他の本業務に従事している者又は従事していた者は、業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、公共サービス改革法第５４条により罰則の適用がある。

別紙P47

第８章 個人情報の取扱いについて

第４３条 基本的事項

事業者は、個人情報の保護の重要性を認識し、本業務における事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 58 号）第６条第２項の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

第４４条 秘密の保持

事業者は、本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第４５条 取得の制限

事業者は、本業務における事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第４６条 利用及び提供の制限

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第４７条 複写等の禁止

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第４８条 再委託の禁止

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取扱いを伴う事務を再委託してはならない。

第４９条 事案発生時における報告

事業者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに調査職員に報告し、調査職員の指示に従うこと。本業務にかかる契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第５０条 資料等の返却等

事業者は、本業務における事務を処理するために発注者から貸与され、又は事業者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、本業務にかかる契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、関東地方整備局又は調査職員が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うこと。

第５１条 管理の確認等

関東地方整備局は、事業者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、関東地方整備局が必要と認めるときは、事業者に対し個人情報の取扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

第５２条 管理体制の整備

事業者は、本業務における事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

第５３条 従事者への周知

事業者は、従事者に対し、在職中及び退職後においても本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第５４条 罰則

事業者は、正当な理由無く、又は、不正な利益を図る目的で個人情報を提供したり、盗用したりした場合は、法律に基づき罰則が科せられる。

別紙P49

別紙－6

H28-31 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務
個別仕様書

【本業務全体のマネジメント及び企画立案業務】

平成２７年７月

第１編 総則

第１条 適用

本仕様書は、H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務（以下「本業務」という。）のうち、本業務全体のマネジメント及び企画立案業務に適用する。

第２条 基本事項

１．本業務は、マネジメント及び企画立案を総括する業務責任者の責任のもと実施すること。

２．事業者は、本仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に運営維持管理を行うこと。なお、本仕様書に記載のない事項又は本仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議すること。

３．事業者は、本公園内を常に良好な状態に保つとともに、他の業務と相互連携を保ち、適切に業務の進捗管理を行い、本業務を適切に実施すること。

４．取材、行催事運営、ボランティア活動、作業、納品等、一般の公園利用と異なる目的で入園する者に対し、公園利用者の安全と快適な利用を確保するよう促すとともに、事故を未然に防止し公園施設の保全を図るように努めること。

５．本業務の円滑な実施及び本公園の機能の効果的な発揮にあたっては、地域（地元自治体、民間団体、地域住民等）との密接な連携が不可欠であることから、総括責任者はそれらとの良好な関係の構築に努めること。

６．事業者は、入園料の徴収に係る事務について、円滑かつ確実に行うこと。

７．本公園の基本方針等に鑑み、広域的な誘客に努めることとし、その実現に有効な行催事の開催、広報展開を図ること。

第３条 その他

この仕様書によるもののほか、本業務全体のマネジメント及び企画立案業務の実施にあたり必要な事項は、調査職員と協議の上定めること。

第２編 業務のマネジメント及び企画立案業務

第４条 管理水準

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、施設・設備維持管理業務、植物管理業務等について総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、適切な進捗管理を行うとともに、入園料の徴収事務、関東地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。

また、公園の入園料は、国の収入となることに留意し、事業者は、これらの徴収事務を別に定める手続き等に沿って責任を持って適切に行うこと。

第５条 業務の計画立案

本公園の業務全般について、公園利用者に対するサービス向上を目指し、多岐にわたる各業務を円滑かつ効率的に実施するため、総合的な視点から運営維持管理全般の目標を定めるとともに計画立案を行うこと。

第６条 マネジメント業務

１．別紙－4「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理基本方針」を踏まえ、統一的な方針のもと、公園利用者に対するサービス水準を維持向上するため、多岐にわたる各業務について業務全般を俯瞰的に監理すること。

業務全般の監理にあたっては、各業務における総合的な連携調整をはじめ、実施方法の決定、及び各業務の適切な進捗管理など、総合的な視点から本公園の運営維持管理全般のマネジメントを行い、本公園の基本理念及び管理方針等の実現に寄与すること。

２．現在までに培われた周辺自治体や学校、地域住民等関係機関や関係者との連携体制・協力体制の継承及び新たな構築に向けて、積極的かつ主体的に取り組むこと。

３．関東地方整備局が実施又は要請する事業（例：緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練、行催事、要人案内、公園に関する会議、監査・検査、視察、式典等）への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

４．本業務が、収益施設等運営業務が、他の維持管理業務と連携しながら創意工夫やノウハウを発揮し、質の高いサービスの提供が行えるよう調整を行うこと。

５．別紙－12「公園利用者数および公園利用者数のカウント方法」に基づき、毎日、公園利用者数を計測し、調査職員等に報告すること。

第７条 入園料の徴収

１．事業者は、堀金・穂高地区の中央口、穂高口、里山文化ゾーン南口、里山文化ゾーン北口、大町・松川地区の入口、スポーツと遊びの森入口及びその他調査職員の指定する場所（以下、「ゲート等」という。）において、自動販売に係る入園券の作成及び販売並びに入園券の手売り、改札を行い、所定の入園料を徴収すること。その際、つり銭、両替金を準備し、補充すること。入園券の発行に必要となる券売機の管理及び必要な消耗品の調達は事業者において行うこと。

２．堀金・穂高地区の須砂渡口については、当面の間は無料開園日と団体利用の際に使用することとしているが、入園料の徴収業務を行う必要がある場合は調査職員と協議すること。

３．事業者は、別添―25「パスポート発行」に基づき、ゲート等において、年間パスポートの作成及

び販売を行い、所定の料金を徴収すること。また、発行に時間を要する場合は、引換券を渡す等、適切な措置を講じること。なお、入園券を購入した公園利用者に対して、年間パスポートの販売を入園当日に行う場合は、ゲート等において差額販売（パスポート料金から当日の入園料を差し引いた額での販売）を行うこと。

4．年間パスポートの作成にあたっては、購入者の氏名、生年月日、性別、連絡先を確認したうえで発行すること。また、年間パスポート本体には、購入者の氏名を記載し、顔写真を貼付すること。

5．年間パスポート購入者の登録情報は、関係法令及び別紙―5「共通仕様書」第８章に定める「個人情報の取扱いについて」に基づき、適切に管理すること。

6．年間パスポート購入者が、年間パスポートを携帯していない場合は、別途入園料の徴収は行わず、氏名等を登録情報と照合し、本人であることを確認した上で入園させる等、適切な措置を講じること。

7．シルバー券の利用者に対しては年齢を確認した上で入園させる等、適切な措置を講じること。

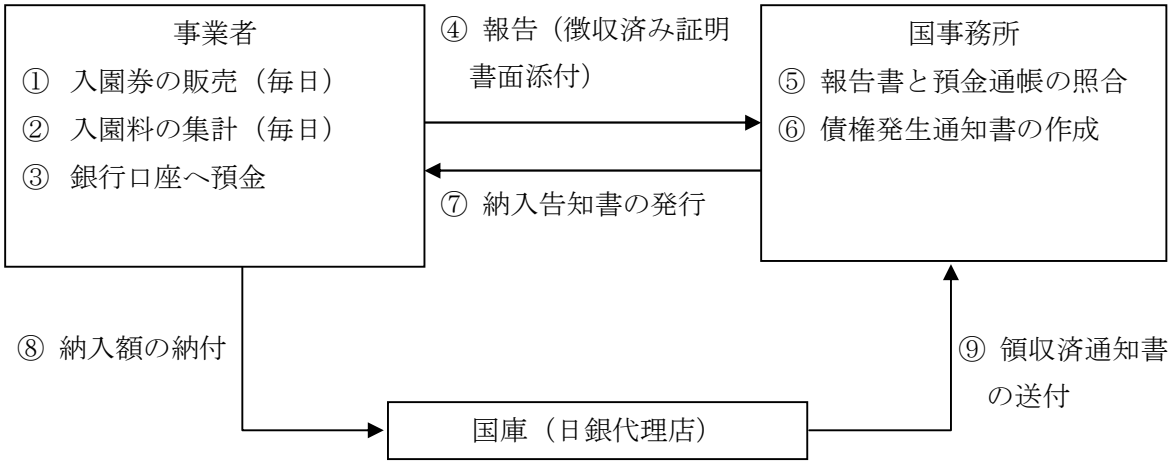
8．身障者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を提示された方とその付添の方１名は無料入園ができるので、必要な書類の確認を行う等、適切な措置を講じること。

9．事業者は、手売り入園券を作成する場合は、関東地方整備局長の承諾を得て作成し、関東地方整備局長の確認を得た上でこれを販売するまでの間厳正に保管すること。

１０．事業者は、毎月 15 日及び月末日までの徴収済みの入園料を集計し、徴収済みであることを証する書類を添えて、15 日及び末日からそれぞれ 1 週間以内に関東地方整備局長に書面により報告するとともにし、関東地方整備局の所属歳入徴収官の発行する納入告知書により国庫に納入すること。

１１．国庫に納入する入園料は、事業者の他の口座とは別の口座（入園料を管理する専用口座）で管理を行うこととし、事業者は当該口座の開設手続きを行うこと。

１２．日々、公園利用者数、売り上げた入園券及び入園料を集計及び集金し、他の経理区分と分けて帳簿等に記入し、厳正に管理すること。なお、入園料を徴収した後、国庫に納入するまでの間の管理責任は事業者にあるものとする。



※事業者の銀行口座で発生する利息については、年２回（8 月、2 月）事業者から国に報告し、⑤～⑨の手続きを行う。（第７条を参照）

第８条 その他国庫に納入する収入

総括責任者は、前条の入園料の徴収に付随して発生する収入が発生したときに、その内容を証する書類を添えて調査職員に書面により報告するとともに、関東地方整備局の所属歳入徴収官の発行する納入告知書により国庫に納入すること。なお、その他の収入が発生した後、国庫に納入するまでの間の管理責任は事業者にあるものとする。

第９条 保険の加入

万一の事故に備えて、動産総合保険（園内における保管・輸送を対象）に加入すること。

第１０条 繁忙日対応

１．繁忙日において、クレーム等の発生がなく、利用者が安全、快適に利用できるよう、事前準備を十分に行い、適切な運営体制や臨時施設等の準備・管理を行うこと。

２．行催事の実施計画や過年度の利用者数の状況を把握し、事前に繁忙日や利用者数を予想し、繁忙日対応のための、調査職員等や関係者との協議・調整も含めた事前準備を行うこと。

３．繁忙日が予想される場合は、巡視・警備や案内・誘導、入園料徴収等が円滑に行われるよう、利用者数を想定し、適切に人員配置を行うこと。

１）入園ゲート周辺及び駐車場の巡回、公園利用者（車輌等含む）への案内・誘導・整理及び利用指導を行う巡視・警備員や入園料徴収等の人材を配置すること。

２）利用者の安全確保に向けて、利用者間のトラブル、迷子等の対応、園内案内放送等に適切かつ迅速に対処するための情報伝達、対応方針決定手続き等の流れを作成し、その体制を整えること。

４．繁忙日が予想される場合には、不足が予想される駐車場等の設置及びその適正運用、清掃等を行う。

１）利用者数等を想定し、既設の駐車場の不足が見込まれる場合、臨時駐車場の開設準備を行うとともに、車両整理、案内・誘導員を増員、配置すること。

２）必要に応じトイレ等の臨時設置を行うとともに、常に美観を保ち、利用者が快適に使えるよう、利用状況に応じて清掃等適切な管理を行うこと。

第３編 企画広報

第１章 行催事企画運営

第１１条 目的

１．事業者は、公園利用の増進に加え、公共施設としての公園の目的・機能を発揮するために行われる行催事（イベント・体験プログラム・展示など）について、企画立案、開催・運営等の一連の作業をノウハウや創意工夫を発揮して行うこと。ただし、本公園の設置趣旨を踏まえ、本公園の行催事としてふさわしいものであるとともに、公共性が高く、利用者全体に係わるもので、社会通念上理解の得られる範囲での必要な経費に限り、委託費の支出を認めるものとする。

２．行催事は、公園の施設を活用し、公園利用者に対するサービス水準の向上の一環として通年的に提供されるサービス（例：あづみの学校や森の体験舎等における体験プログラム）と、公園の周知や利用促進のため、公園利用者の利用のきっかけを提供する定期および不定期のサービスがあり、両者の連携により、より一層のサービスの向上や公園利用促進を図ること。

３．本仕様書が対象とする行催事は関東地方整備局が主催又は共催により行うものである。このほか、関東地方整備局長の許可を受けて独立採算により開催する行催事については自主事業として取り扱う（別紙－9「管理運営規定書」参照)。

第１２条 管理水準

事業者は、別紙－14「イベント一覧」、別紙－15「体験プログラム一覧」を考慮の上、企画書において提案した行催事等を適切に実施し、公園の設置趣旨の達成及び利用の促進に寄与すること。

第１３条 年間行事計画の作成

事業者は、現地及び企画内容を十分に検討し、年間行事計画を作成する（別紙－5「共通仕様書」第１５条参照)。年間行事計画は、調査職員に提出の上、承諾を得るものとする。また、年間行事計画の作成にあたっては必要に応じ地元自治体、関係団体等とも日程等の調整を図ること。

第１４条 行催事等の企画立案

１．行催事を円滑に実施するために、開催目的、手順、内容、工程、実施体制、開催効果、予算書等について企画立案し、その内容について調査職員と密接に連絡調整の上、提出するものとする。（別添－18「行催事実施計画書例」参照）

２．本公園が堀金・穂高地区及び大町・松川地区の 2 地区に分散している設置目的を踏まえ、2 地区の役割分担及び 2 地区の連携について考慮しつつ、行催事の企画立案を行うよう努めること。

３．本公園の基本方針として交流・地域活性化を掲げていることを踏まえ、行催事の開催が地域の活性化に寄与するよう、地元の自治体及び NPO などの団体等とも十分調整の上、地域と連携した行催事の企画立案に努めること。

４．行催事には、「あづみの公園早春賦音楽祭」（堀金・穂高地区)、「北アルプスフェア」（大町・松川地区)、「イルミネーションイベント」（堀金・穂高地区、大町・松川地区)、「（仮称）H28 全体供用のグランドオープニングイベント」（堀金・穂高地区、大町・松川地区)、の実施を含めること。なお、「（仮称）H28 全体供用のグランドオープニングイベント」の際には、イベントに必要な植物(花類)の準備を行うこと。

５．企画立案を行う上では、別添－16「継続必要性の高いイベント対応」を考慮すること。

６．地域と連携した農家民泊及び教育旅行誘致の取り組みを行うこと。
７．堀金・穂高地区里山文化ゾーン及び大町・松川地区自然体験ゾーンにおいて、開園前の期間に開園周知を目的としたイベントを複数回実施すること。

第１５条 行催事の開催・運営

１．行催事の開催・運営は、その目的に沿って、その効果が十分に発揮されるよう、入念な事前準備を行った上で、公園利用者のサービスや満足度の向上に寄与するよう行うこと。
２．行催事の開催にあたっては、次の各号に掲げる事項に留意すること。
１）官公署への連絡、届出
行催事の主催時には、必要に応じ、警察・消防等行政機関との調整のほか、許認可の必要な事項について手続きが欠落しないよう注意すること。
２）事故防止対策
別紙－5「共通仕様書」第４章各条に掲げる園内の安全管理に留意するほか、参加者の誘導整理、救護、緊急連絡など、事故防止対策には特に注意すること。また、大型の行催事の主催時には、必要に応じて、物的措置及び専門の警備員の配置も含めた人的措置を講じ、安全確保に努めること。なお、病傷人などが発生した場合は、適切に対処し、調査職員に速やかに報告すること。
３）災害発生時の対応
台風、豪雨、雷等の災害発生時は、迅速に必要な人員を確保し、行催事の開催の可否の判断を行うとともに、行催事の参加者を安全な場所に誘導する等、適切な措置・対応を行うこと。
４）保険の付保及び事故の補償
参加者の不慮の事故に備え、必要な場合には損害保険に加入すること。
５）地域連携の継承及び構築
別添－16「継続必要性の高いイベント対応」に示す大型イベント、地域連携イベント等について、地方公共団体等との地域連携を継承するものとする。

第１６条 提出書類

事業者は、調査職員が指定する主要な行催事について、第１８条の手続きフローに掲げる書類、その他指示する図書について､開園時間の延長を伴うものは２ヶ月前､伴わないものは１ヶ月前を目安に関係者と調整を行い、準備作業開始の１週間前までに調査職員に提出すること。

１．詳細な実施計画書
２．予算書（支出項目内訳）

第１７条 その他

１．行催事開催の前に、公園施設や樹木等に損傷や支障を与えないように必要に応じて養生を行うこと。また、行催事終了後は、養生材や工具の撤去、床、壁、機器、開催場所周辺を清掃すること。
２.行催事の実施に際しては､園内の施設工作物及び樹木等を損傷しないように注意すること｡また、行催事の実施中、スタッフ及びイベント関係者は服装、言動等に注意し、公園利用者に不快感を与えないよう留意すること。
３．行催事の実施場所については、公園利用者の安全誘導、公園の美観確保の観点から、他の公園利

用者の活動を阻害する恐れのある場所での実施を原則として認めない。

4．常に他の公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うこと。なお、異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその対処について報告する。

5．行催事の実施に必要な仮設物の準備、撤去等に当たっては、安全管理に十分注意し施工することとし、可能な限り開園時間外に作業を行うこと。

6．行催事開催中は、公園利用者に対する案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

7．行催事を開催する関係者については、アルバイト等を含め、当該行催事の関係者であることが明らかになるような措置を講じること。

8．本仕様書に定める行催事の実施に当たり、必要な原材料費等に相当する程度の参加費を参加者より徴収することは妨げない。但し、実施に当たっては、調査職員に事前に了解を得た上で、実施するものとし、その徴収額と経費については、本業務の会計とは別に帳簿等を取りまとめ、記録し保存する（別添－17「行催事について」参照）。

第２章　行為の許可申請の調整等

第１８条 行為の許可申請の調整等

１．主催・共催以外で、都市公園法第 12 条に基づき第三者が本公園内で実施を希望する行催事等（競技会、集会、ロケーション、展示会、その他。以下、「持込イベント」という。）の開催に際しては、別紙－5「共通仕様書」第 27 条に示す調整を行うなど、調査職員の指示に従い、必要な調整を行うこと。

１）事業者は、持込イベントの相談窓口として、日時、規模、内容、繁忙日対策、建物使用料及び土地使用料が発生するかどうか等を確認・調整するものとするとともに、その概要を調査職員に報告すること。（別添－4「行為の禁止等に関する取扱要領」参照）

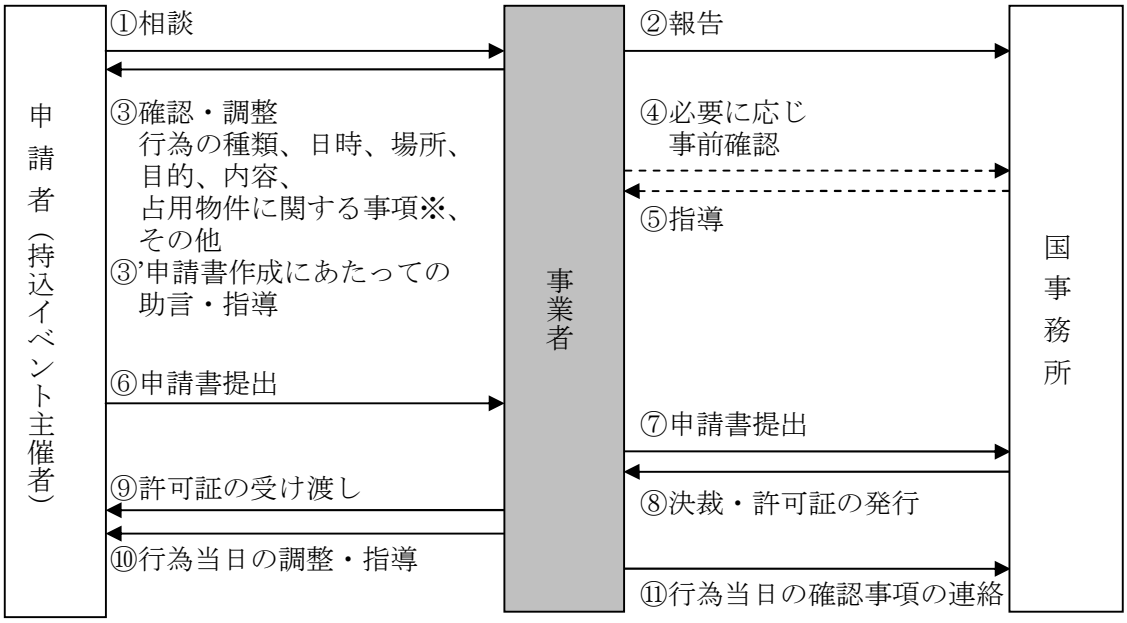
２）他の利用形態等との調整を経て、持込イベントについて事業者と関東地方整備局間で確認・調整するものとする。なお、必要に応じて、国事務所も含めた体制で持込イベント主催者と調整を行うこと。

３）事業者は、持込イベント主催者側から提出があった申請書類（都市公園法第 12 条等関係）について国事務所へ提出すること。また、持込イベント主催者の申請書類作成にあたっては、必要に応じその作成支援を行うこと。

４）国事務所において都市公園法に基づく許認可と、建物使用料及び土地使用料の徴収などを行う。

５）事業者は、持込イベントが申請に基づく開催内容だったどうかを確認し、調査職員に連絡するものとする。

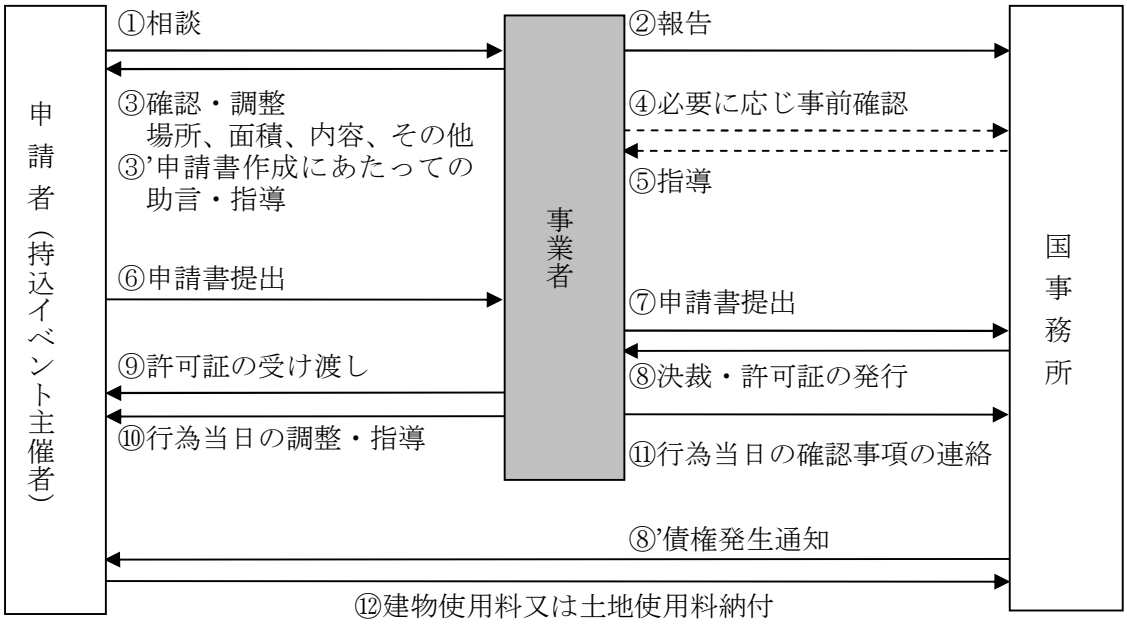
＜都市公園法第 12 条に基づく行為の許可に関する手続きフロー＞



※占用物件がある場合は、別途都市公園法第 6 条に基づく申請が必要となる。

２．持込イベントにおいて、仮設工作物等の占用物件が発生する場合は、都市公園法第６条に基づく関東地方整備局長の許可が必要であるため、事業者は、下記に示す手続きフローに従い、適切に対応すること。なお、その際に発生する建物使用料及び土地使用料の徴収については、国事務所で行う。

＜都市公園法第６条に基づく占用の許可に関する手続きフロー＞



※原則として都市公園法第１２条に基づく行為に関する許可を前提とする（例外あり）

第３章 公園ボランティア活動の支援・調整

第１９条 管理水準

地域住民の本公園内における公園ボランティア活動を促進するため、「協働活動者登録制度設置運営要綱」（別添－19「ボランティア活動（規約、活動内容）」参照）に基づき、公園ボランティア活動の支援及び調整を行っているところである。

本公園の特徴を活かした利用サービス等の運営管理を進めるにあたり、公園ボランティアとの協働による運営が不可欠である。このため、従来から協働関係にある公園ボランティアが引き続き円滑に活動できるよう、公園ボランティアとの連携及び信頼関係の構築を図り、事業者と公園ボランティアの役割分担を明確にした上で、それらの活動の支援、調整、拡大を図ること。また、ボランティアの知識の向上等を目的とした、講習会の開催や活動日調整等、ボランティアの育成管理を行うと共に年１回以上総会を開催し、ボランティア活動の推進を図ること。

第２０条 公園ボランティア活動の内容

「協働活動者登録制度設置運営要綱」に基づく公園ボランティアの活動の内容は以下の表のとおりである。（別添－19「ボランティア活動（規約、活動内容）」参照）

公園ボランティア名	活動内容	活動地区	登録者数
公園パートナーの会	活動分野 ①　社会：地域語り部、歴史ガイド、展示等 ②　理科：理科ガイド、環境学習等 ③　芸術：芸術クラフト等 ④　そばグループ：そば打ち体験等	堀金・穂高地区	34 名
ステンドグラス同好会	活動分野 ①　ステンドグラス作り体験	堀金・穂高地区	5 名
みのむしの会	活動分野 ①　藁細工体験	堀金・穂高地区	6 名
クラフトゲート匠の杜	活動分野 ①　天蚕工芸人材育成 ②　木工芸人材育成	堀金・穂高地区	12 名
岩原の自然と文化を守り育てる会	活動分野 ①田んぼの体験	堀金・穂高地区	－
公園サポーターの会	活動分野 ①　クラフトグループ：クラフト体験等 ②　山の恵み・食グループ：食体験等 ③　自然環境学習グループ：自然観察ガイド等 ④　炭グループ：炭作り体験	大町・松川地区	33 名
安曇野の自然と文化を考える会	①茶道の実演	堀金・穂高地区	－

※平成 27 年 4 月 1 日現在

第２１条 新たな公園ボランティア活動の実施に関わる規約案の作成

「協働活動者登録制度設置運営要綱」以外のルールにより新たに公園ボランティア活動を受け入れる場合には、事業者は、本公園において活動を希望する個人または団体を対象とした公園ボランティア規約案を作成し、調査職員と協議すること。（別添―19 「ボランティア活動（規約、活動内容）」参照）

別紙P60

第２２条 調査職員への報告

事業者は、調査職員に対し、年度当初に公園ボランティアの登録状況、個人情報の管理手法、年間活動計画を、また、年度末に当該年度の公園ボランティア活動結果を報告すること。年間活動計画については、業務計画書として提出し、承諾を得るものとする。

第２３条 ボランティア登録の抹消

関東地方整備局は、次の各号に該当する事実が発生した場合は、登録を抹消することができる。その際、事業者は、ボランティア登録の抹消に関する窓口業務や連絡、調整等を行うものとする。

１）登録者より登録取消しの申出があったとき

２）登録者の所在が不明となり、連絡不能となったとき

３）登録者がボランティアとして不適格であると認められるとき

第２４条 関東地方整備局の支援内容

関東地方整備局は、公園ボランティア活動に対し、次に掲げる支援を行うことができる。

１）入園料の免除

２）その他、ボランティア活動の実施に必要であると考えられる支援

第４章 広報

第２５条 管理水準

公園の利用促進や適正な利用の確保のため、ホームページの維持・更新、園内マップの作成及び行催事のポスター・チラシ等の作成・配布、地域の情報紙の活用により各種広報宣伝を適切に行うこと。ホームページの更新及び園内マップ作成等にあたっては、公園利用者の目線に立ち、魅力的でわかりやすい内容とするよう努めること。

第２６条 年間広報計画の作成

事業者は、ポスター、チラシ、パンフレット、園内マップ等の作成配布、マスコミへの情報提供など、広報の展開に関する年間広報計画を調査職員と密接に連絡調整した上で策定、提出し、承諾を得ることとする。

第２７条 ポスター、チラシ等作成と配布

事業者は、年間広報計画に基づき、ポスター、チラシ、パンフレット、園内マップ等を作成し、配布や掲示等を行うこと。配布等にあたっては、誘客圏域を考慮の上、効果的な集約が得られるよう努めること。広報資料の作成及び配布実績は、調査職員に毎月報告し、一般を対象とした広報媒体の場合は、原稿作成時に調査職員に提出すること。

第２８条 情報提供

１．事業者は、本公園の行催事や自然環境（開花・紅葉等）等の情報について、ダイレクトメールによる広報活動や、テレビ、ラジオ、雑誌、新聞等の各種媒体や記者クラブへの情報提供を積極的に行うこと。特に、地元のマスコミ関係者に対しては、綿密な情報提供に努めること。

２．事業者は、観光協会等を活用して、広報に関する情報提供に努めること。（別添－20「参加している協議会等」参照）

第２９条 広報に係る素材等

１．事業者は、広報媒体を作成する際、本公園のロゴ（名称）及びホームページアドレス等を使用することができる。使用の際は本公園のロゴ（名称）等は、別添－21「グラフィックマニュアル（抄）」に従って使用するものとする。なお、本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権の無体財産権については、関東地方整備局が承継すること。

２．事業者は、関東地方整備局が提供したパンフレット等の電子媒体について修正等を行う場合は、事前に調査職員に提出する。また、契約の終了後又は解除後、速やかに修正した電子媒体を調査職員に提出すること。

第３０条　取材・視察等への対応

マスコミ等からの取材等及び行政機関等からの視察については、積極的に対応・協力を行うものとし、その内容を調査職員に報告するものとする。（別添－22「マスコミ取材報告様式」参照）なお、行政機関等からの視察の申込みについては、調査職員に報告するものとする。

第３１条　団体利用の促進

1．本公園は、安曇野地域の自然、文化等に係る各種体験学習ができる施設が整備されていることから、学校等の団体利用の促進につながる広報を実施し、公園施設や行催事の効果的な活用を図ること。
2．本公園は、基本方針の一つとして「交流・地域活性化」を掲げていることから、首都圏等の大都市圏からの誘客及び地域への滞在の誘導につながる広報に努めること。特にツアー（団体旅行）は地域の周遊性が高まることが期待されることから、大都市圏等からのツアー客の誘致にも努めること。

第３２条 ホームページによる情報発信

1．事業者が本公園ホームページにより情報発信する場合は、公園の公的名称を使用し、事業者が所有・管理するサーバー又はレンタルサーバーに格納して公開することとし、レンタルサーバー管理会社にサーバー維持管理費及びホームページのドメイン（http://www.azumino-koen.jp）維持管理費の支払いを行うこと。
2．ホームページが支障なく機能するよう、サーバー、ドメイン契約の名義変更及び契約更新時に必要な手続きを遅延無く実施すること。
3．事業者は、本公園ホームページ上で発信する情報について別紙－5「共通仕様書」第８章に定める「個人情報の取扱いについて」及び関東地方整備局が定めるプライバシーポリシーに基づいた適正な内容であることを事前に確認することとする。
4．事業者は、情報（掲載する文書、図画、写真及び音楽など）における著作権等の知的所有権に配慮すること。
5．他人の著作物を本公園ホームページに掲載する場合には、事前に著作権者の許諾を得ること。
6．自主事業で作成したホームページは本公園ホームページよりアクセスできるようリンクをはること。ただし、それによりがたい場合は、別途調査職員等と協議すること。
7．セキュリティレベルを確保するため、ホームページの作成・更新等に用いるパソコンや、データを保存するサーバー等のセキュリティ対策について、業務開始前に受発注者間で協議するとともに、年度末に実施状況を報告するものとする。
8．本業務におけるホームページに係る事業者の業務範囲は、イベント情報、お知らせ等の情報更新作業、ドメイン、サーバーの維持管理とする。なお、ホームページの全面改定作業、事業者側で更新できない部分の改定作業は関東地方整備局が行う。

第３３条 ホームページ掲載情報の更新・修正・訂正

1．事業者は、本公園ホームページについて、施設情報や行催事・草花等、随時更新される公園情報についてホームページデータを作成し、サーバーデータの更新を行うこと。なお、本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権の無体財産権については、関東地方整備局が承継すること。
2．事業者は、個人に関する掲載情報について、本人又は保護者から内容の訂正又は削除の要請を受け、必要と認めた場合には、訂正等の措置をとること。
3．事業者は、本公園ホームページであるとの誤解を与える内容の他のホームページを発見した場合には、他のホームページ作成者に対し訂正等必要な措置を求めること。

第３４条 アクセス解析

事業者は、月１回アクセス解析を行い、その結果を調査職員に報告すること。

第３５条 その他

１．事業者やその関係者が私的に作成・開設するホームページ（ブログ、プロフ、SNS、ツイッター等を含む）は、本公園ホームページであるとの誤解を与えないよう配慮するとともに、職務上知り得た情報を掲載しないこと。

２．本仕様書によるもののほか、本公園ホームページの運用に関し必要な事項又は疑義が生じた事項は、事業者が調査職員と協議の上定めること。

別紙P64

第３編 利用サービス等

第１章 公園利用者への利用指導

第３６条 管理水準

事業者は、健全な公園利用の増進を図るとともに、安全快適な利用のため、利用上の注意などの公園利用者への利用指導、また電話対応、園内放送、障害者・高齢者等の公園利用者の補助、各種掲示物の管理、見学者等の対応等、公園利用者への利用サービスに関する業務全般を行うこと。

第３７条 一般事項

１．公園利用者に受付であることが容易に理解されるよう必要な表示や案内を行うこと。

２．事業者は、公園利用者への利用指導及び利用サービスのために必要な人員数を各所に適宜配置すること。

３．遊具が正しく利用されているか、監視及び遊具周辺の巡視を行うこと。

４．マシュマロドーム及び大草原の家内のネット遊具等において、多くの利用者数が予想される場合は、監視員を配置して利用指導を行う等、利用者の安全を確保するとともに、事故を未然に防止するように努めること。

５．別添－4「行為の禁止等に関する取扱要領」を参照し、公園利用規則から逸脱している者、他の公園利用者に著しく迷惑をかける者等については、総括責任者（総括責任者が不在の場合は、それに準ずる総括責任者）が退園を命じることができる。

６．本公園へのペットの同伴は認めているが、ペット同伴者のマナー遵守の促進や他の公園利用者とのトラブル防止のため、ペット同伴者に対してペット同伴に関する注意事項をビラや掲示により周知すること（別添－23「ペット対応」）。ペットは原則として建物内への同伴は不可とし、建物入り口付近にドッグパーキングを設置すること。また、エチケットウォーターを用意し、ペットの糞尿処理に利用してもらうよう努めること。

７．喫煙者に対しては、園内に設置している喫煙コーナーにおいて喫煙をするよう誘導すること。

８．空中回廊は、通常時の耐荷重としては６人程度／㎡を限度としているが、地震時を考慮し３人程度／㎡の利用状況が保たれるよう、混雑時には利用制限を行うなど、事故を未然に防止するように努めること。また、積雪・凍結時などは必要に応じて利用を制限するなどの措置を講じること。

９．野生生物については、巡視等を通じその生息状況等を把握するとともに、確認時については公園利用者の安全の確保及び野生生物の生息の観点から適切な措置を講じること。

別紙P65

第２章 公園利用者等へのサービス業務

第３８条 管理水準

１.公園利用者等に直接接する業務であり、公園利用者が安心して快適・安全に楽しめるよう心がけ、不快と感じさせるような行動、言動、身なりをしないこと。

２．業務遂行に当たっては、常に公平なサービスの提供に努め、特定の個人や団体に有利あるいは不利な扱いとならないようにすること。

３．公園利用者から寄せられた意見等に対しては、本業務の実施上有効であると判断される事項については適切な措置を講じること。

第３９条 公園利用者等への利用案内

１．園内の概要、見頃の花及び開催中のイベント・プログラム等の基本情報について、ゲート等において公園利用者の問い合わせに適切に対応すること。また、電話及びメール等での問い合わせに対しても適切に対応すること。

２．公園利用者及び外部からの問い合わせに対して適切な対応を図るため、日頃から各担当業務間の情報交換、情報共有を密にしておくこと。

３.公園利用者等の苦情及び要望事項については、誠意を持って適切かつ迅速に対応し記録すること。

４．園内での迷子、呼び出し、イベント告知等の園内放送を適宜行うこと。

５．園内案内マップは公園利用者の視線に立ってわかりやすいものを作成するとともに、希望する公園利用者等に配布すること。

６．園内掲示板、掲示物を適切に管理すること。

７．障害者及び高齢者等の補助を行うこと。

８．公園利用者の利便性向上のために車椅子、ベビーカー、手押し車(シルバーカー)、杖、傘、老眼鏡の貸出しを行うこと。

９．園内に大型野生動物（特にクマ）の侵入が確認された場合は、別添－6「危機管理マニュアル」に基づき、必要に応じ公園利用者を安全な建物内に避難させ、立ち入り制限区域を設けるなどの措置を講じるとともに、速やかに調査職員等に連絡を行うこと。大型野生動物が園内から出たことを確認した上で、利用制限措置を解くこと。

１０．園内及び公園周辺に大型野生動物の出没が見受けられる場合は、園内にその旨を記載した看板を掲出するなど、公園利用者への情報提供に努めること。

第４０条 団体利用調整

１．団体での公園利用者の誘導、バス等車両の停車場所への誘導を行うこと。（別添－24「団体利用の手引き」参照）

２．団体での広場使用について、調整を行うこと。

３．雨天時には、団体利用の適切な誘導や集合、休憩場所の確保、利用内容やスケジュールの変更への助言等支援を行うこと。

第４１条 拾得物、残置物の処理

１．事業者は、公園内で遺失物を発見した場合は、遺失物法に従い適正に処理すること。

２．事業者が契約した者及び従業員等が、公園内において他人の紛失した物件を拾得した時は、速や

別紙P66

かに事業者に届けるように指導すること。

3．事業者が契約した者及び従業員等が、遺失物法に規定する報労金は受け取る権利及び一切の権利を放棄すること。

4．拾得物に当たらない残置物を発見した場合には、その処分方法等について調査職員と協議すること。

第４２条　ご意見箱の設置

1．事業者は、公園利用者の意見、要望、苦情、感想等を収集し、本業務の改善に反映させるため、本公園内にご意見箱を設置すること。記載用紙の様式は任意とする。

2．設置箇所は、原則として以下のとおりとする。

堀金・穂高地区：ガイドセンター、展望テラス、水辺の休憩所、穂高口、里山文化ゾーン南口、里山文化ゾーン北口

大町・松川地区：インフォメーションセンター、休憩棟、森の体験舎、大草原の家、スポーツと遊びの森入口

3．ご意見箱に寄せられた意見等は、とりまとめの上、毎月開催される国営アルプスあづみの公園定例会の場で調査職員に報告すること。

4．ご意見箱に寄せられた意見等及び公園利用者からの意見等については、改善が必要と思われるものについては、必要に応じ調査職員等とも協議を行い、できるだけ速やかに必要な措置を講じることとし、その結果については調査職員等に報告すること。

第３章 園内巡視

第４３条 管理水準

公園利用者の安全利用の確保、公園利用者への利用サービス及び公園施設の点検確認を行うため定期的に園内巡視を実施すること。また、災害事故等不慮の事態に備え、緊急の処置を取ること。

第４４条 巡視業務の実施

１．適正な巡視業務を実施するため、事業者は巡視計画書を作成し、調査職員等の承諾を受けること。（別紙－33「巡視計画書」参照）

２．巡視業務には、通常巡視、繁忙日巡視、異常時巡視、囲障巡視があり、それぞれを適切に実施すること。

３．巡視員は、巡視計画書及び次の各号に掲げる要領にて巡視業務を行うこと。

１）巡視ルートは、別添－26「巡視ルート図」を基本として実施計画書に計画し、これに従って原則１日２回巡視すること。なお、天候、利用状況、園内での作業、野生動物の発生状況等その他状況に応じ、柔軟に園内を巡視すること。

２）巡視員は、公園利用者に対して不快感等を与えないよう常に親切丁寧に接すること。

３）巡視員は、小規模な修理用具を携帯し、必要に応じて処置すること。

４）巡視員は、都市公園法第 11 条、第 12 条に国営アルプスあづみの公園行為の禁止等に関する取扱要領に定める違反行為、迷惑行為を発見した場合には適切な指導をすること。

第４５条園内巡視

１．通常期

園内巡視は、繁忙期及び異常時以外の状態において、次の各号に掲げる事項について、点検確認、利用指導及び作業を行うこと。

１）公園の開園、閉園時における建物及びトイレ等施設の解錠または施錠。

２）園内における公園利用者（車輌等含む）への案内・誘導・整理及び利用指導。

３）公園利用者の危険箇所への立入り及び危険な行為に対する制止及び安全指導。

４）迷子、負傷者、病人等の発見又は連絡を受けた場合の緊急連絡体制に基づく速やかかつ適切な処置と報告。

５）事件、事故又は災害等が発生した場合の適切な処置と報告。（別添－6「危機管理マニュアル」参照）

６）園内不審物の有無の確認。

７）拾得物を発見した場合の速やかな報告、及び遺失物法に基づく適切な管理。

８）植物、施設及び清掃状況等の点検及び異常発見時の報告。

(1) 樹木、芝生、草花等の生育状況及び流水等の修景施設の異常の有無。

(2) 園路、路側、及びこれらの側溝、法面、排水桝、橋梁、階段、建物その他構造物等の異常の有無。

(3) 門、案内標識、ベンチ等休憩施設、便所、灰皿、水のみ場、遊具施設等の異常の有無。

(4) 電気、放送、給排水設備、塵芥処理施設等の異常の有無。

(5) 清掃の状況。

(6)災害・事故・野生動物の発生等不測の事態発生の有無。

(7)蛇、蜂等公園利用者に危険性、不快感を与える動物の駆除

９）緊急車両の誘導（救急車、消防車、パトカー等）。

１０）迷子や近隣の行方不明者等に関する警察からの協力要請があった場合、その要請に対応した園内巡視と報告及び、関係者への連絡。

１１）大型野生動物（クマ・サル）の出没が予想されることから、テレメーターを用いるなどして、公園内及び公園周辺における生息状況について確認を行うこと。特に、出没の可能性が高くなる 7～9 月については重点的に実施すること。（別添－7「クマ対策マニュアル（抄）」参照）

１２）猛禽類については、公園境界に近い樹林地での繁殖が例年確認されていることから、営巣時期等においてその傾向が見られるか否か、確認を行うこと。（別添－39「国営アルプスあづみの公園における猛禽類保護のための配慮指針(抄)」参照）

２．繁忙期

繁忙日巡視は、行催事の実施計画や過年度の利用者数の状況から事前に多くの公園利用者が予想される日において、適切な人員配置を行い、公園利用者（車両等含む）への案内・誘導・整理及び利用指導等の巡視を行うこと。

第４６条 異常時巡視

異常時巡視は、園内で災害が発生した又はその恐れがある場合、大型野生動物の侵入情報があった場合の園内の異常及び利用障害等に対して適切な措置を講じるため、次の各号に掲げる事項について、巡視を行うこと。

１）園内の被害状況

２）利用障害等の状況

３）大型野生動物の動向

第４７条 囲障巡視

囲障巡視は、公園外周柵の点検を、原則月１回、電気柵の点検を原則週１回以上行うものとする。

第４８条 管理事務所内警備

１．警備対象施設は、公園管理センター(堀金・穂高地区)、ガイドセンター(堀金・穂高地区)、あづみの学校(堀金・穂高地区)、インフォメーションセンター(大町・松川地区)とする。

２．事業者は、警備装置が常に正常な機能を維持しているか確認すること。また、機械警備の異常を発見した場合には、調査職員に報告すること。なお、警備対象施設の保守契約についても、事業者が行うこと。

３．事業者は、警備装置が異常を感知した場合は、該当場所の異常の有無を確認し、異常を発見したときは、調査職員に報告すること。

第４９条 報告等

巡視員は巡視実施後、巡視の結果を毎日巡視業務日報（写真帳含む）及び巡回報告書（写真帳含む）に記録すること。総括責任者は、巡視時に異常が認められた場合は調査職員に報告すること。事業者は記録を保存するものとする。

また、重大な事件・事故または災害等が発生した場合には、遅滞なく調査職員に報告し指示を受けるものとする。（別添－6「危機管理マニュアル」参照）

第４章 ガイドセンター（堀金・穂高地区）の運営管理

第５０条 管理水準

ガイドセンターにおいては、有料区域への改札機能に加え、安曇野地域を中心とする観光情報の拠点としての役割を担っていることから、特に県外からの公園利用者を対象にその要望に応じた観光情報等の提供に係る各種業務を適切に行うこと。

第５１条　各種観光情報の収集

安曇野地域を中心とする長野県内の観光情報（パンフレット、ポスター、チラシ等）を収集し、ガイドセンター内の観光情報コーナーで公園利用者への提供を行うこと。

第５章 あづみの学校（堀金・穂高地区）の運営管理

第５２条 管理水準

あづみの学校においては、安曇野地域の自然、地形、歴史、文化等を紹介することを目的に、公園利用者に手軽にそれらを体験し、実感してもらうための各種業務を適切に行うこと。

第５３条　エントランス

１．安曇野地域のジオラマ施設を活用して、当該地域の地形、自然についての解説を行うこと。
２．映像室では、安曇野地域を紹介する映像を定期的に放映するとともに、公園利用者の映像室の出入り誘導を行うこと。

第５４条 理科教室

１．水槽での魚類・は虫類等の生体展示、パネル、模型、剥製等の展示について、適切に管理を行うとともに、必要に応じて、公園利用者に対して展示物の解説を行うこと。
２．実習室では、安曇野地域に生息する動植物等を題材にした実習・講習会等を開催すること。

第５５条 社会科教室

１．古民家を模した展示物を題材に、安曇野地域の風習・文化についての紹介を行うこと。
２．そば打ち、お小昼等の食文化について、それらを体験してもらうプログラムを実施すること。

第５６条 芸術教室

１．木の枝、枯れ葉等の自然素材を用いたクラフト体験を実施すること。
２．季節に応じた各種の作品製作ができる体験プログラムを実施すること。

第５７条 多目的ホール

１．コンサート、展示会等の各種催し物を企画・開催すること。
２．冬季などの閑散期においては、室内遊具を設置するなど、利用促進を目的とした活用を行うこと。

第５８条 ガイドツアー

１．あづみの学校を中心として園内全体を活用し、動植物の解説を行うガイドツアーを開催すること。

別紙P70

２．ガイドツアーは、スタッフ等により行うほか、セルフガイド方式も導入すること。

第５９条 公園ボランティアとの協働

各教室等における体験プログラムや解説の実施にあたっては、公園ボランティアと協働して、各種プログラム等の充実を図ること。

第６０条 団体利用への対応

学校の遠足等の団体利用を積極的に推進するとともに、各教室での体験プログラムや解説等のローテーションにより効率的な施設利用を図ること。また、雨天時の団体利用にも配慮すること。

第６章 穂高口（堀金・穂高地区）の運営管理

第６１条 管理水準

穂高口においては、有料区域への改札機能に加え、安曇野地域を中心とする観光情報の拠点としての役割を担っていることから、特に県外からの公園利用者を対象にその要望に応じた観光情報等の提供に係る各種業務を適切に行うこと。

第６２条 各種観光情報の収集

安曇野地域を中心とする長野県内の観光情報（パンフレット、ポスター、チラシ等）を収集し、公園利用者への提供を行うこと。

第７章 里山文化ゾーン南口管理棟(堀金・穂高地区)の運営管理

第６３条 管理水準

里山文化ゾーン南口管理棟においては、有料区域への改札機能に加え、安曇野らしい農の体験学習拠点として、公園利用者に手軽にそれらを体験し、実感してもらうための各種業務を適切に行うこと。

第６４条 屋外スペース

屋外スペースを活用し、安曇野の里山で育まれた農業の技能・技術や文化が体験できるプログラムを行うこと。

第８章 里山文化ゾーン北口(堀金・穂高地区)の運営管理

第６５条 管理水準

里山文化ゾーン北口ゲートにおいては、有料区域への改札機能として、利用者への対応、案内等の各種業務を適切に行うこと。

第６６条 園内情報の提供

公園利用者に対し、パンフレットやイベントのチラシ、注意事項等の園内情報の提供を行うこと。

第９章 インフォメーションセンター（大町・松川地区）の運営管理

第６７条 管理水準

インフォメーションセンターにおいては、有料区域への改札機能に加え、安曇野地域を中心とする観光情報の拠点としての役割を担っていることから、特に県外からの公園利用者を対象にその要望に応じ

た観光情報等の提供に係る各種業務を適切に行うこと。

第６８条 各種観光情報の収集

安曇野地域を中心とする長野県内の観光情報（パンフレット、ポスター、チラシ等）を収集し、公園利用者への提供を行うこと。

第６９条 企画展示

展示室を活用し、地域の自然文化や歴史文化等を紹介する企画展示を実施すること。

第１０章レンタル棟（大町・松川地区）の運営管理

第７０条 管理水準

レンタル棟においては、企画展示や、歩くスキー、スノーシューの貸し出し業務等を適切に行うこと。

第７１条 企画展示

レンタル棟室内を活用し、地域の自然文化や歴史文化等を紹介する企画展示を実施すること。

第７２条 貸し出し機材の管理

歩くスキーやスノーシューの貸し出しを行うこと。なお、歩くスキーやスノーシューの貸し出し期間は、積雪の状況により判断すること。また、貸し出し器材の点検・整備を行うこと。

第７３条 冬季の情報提供

歩くスキーコース、スノーシューエリア等の紹介や、冬季限定の体験プログラムの情報提供等、冬季の利用促進に繋がる情報提供を行うこと。

第１１章デイキャンプ場（大町・松川地区）の運営管理

第７４条 管理水準

デイキャンプ場においては、施設利用者が快適に支障なく利用できるよう利用予約・調整等、各種業務を適切に行うこと。

第７５条 デイキャンプ場の運営期間

デイキャンプ場の運営は、４月中旬～１１月中旬までとする。なお、デイキャンプ場の閉鎖、再開時期については。積雪状況等を考慮し判断すること。

第７６条 予約受付

デイキャンプ場の利用予約や申し込み受け付け・調整等を行うこと。利用予約に関しては、ネット予約システムの運用も行うこと。

第７７条 貸し出し機材の管理

バーベキューセット等の貸し出し機材を予約のあったサイトに設置を行うこと。また、貸し出し器材の点検・整備を行うこと。

第１２章 森の体験舎（大町・松川地区）の運営管理

第７８条 管理水準

森の体験舎においては、北アルプスの山麓の里山という条件のもと、公園利用者に自然観察、食、クラフト等の各種体験プログラムを通じて、総合的に里地里山の暮らしや恵みを実感してもらうための各種業務を適切に行うこと。

第７９条　工房

１．本公園内で採取できる木の枝や枯れ葉を用いた木工系工芸の体験プログラムを実施すること。

２．本公園内での遺跡から出土した石器にちなんだ勾玉づくりなどを体験するプログラムを実施すること。

第８０条 食体験工房

１．安曇野地域に伝わる伝統的な食文化を体験する各種プログラムを用意し、実施すること。

２．木炭等を活用したアウトドア料理を体験する各種プログラムを用意し、実施すること。

３．園内で採取可能な山菜等を有効に活用し、自然の恵みを実感できる各種プログラムを用意し、実施すること。

第８１条 公園ボランティアとの協働

１．各種体験プログラム等の実施にあたっては、公園ボランティアと協働して、各種プログラム等の充実を図ること。

２．樹林地管理は、公園ボランティアの知見を活かし実施すること。

第８２条 団体利用への対応

学校の修学旅行等の団体利用を積極的に推進するとともに、各種体験プログラムやガイドツアー等のローテーションにより効率的な施設利用を図ること。また、雨天時の団体利用にも配慮すること。

第１３章 大草原の家（大町・松川地区）の運営管理

第８３条 管理水準

大草原の家においては、ホールを利用した企画展示や、雨天時の室内遊具の利用の促進、冬季のソリの貸し出し等、公園利用者が快適に過ごせるよう、各種業務を行うこと。

第８４条 企画展示

ホールを活用し、地域の自然文化等を紹介する企画展示を実施すること。

第８５条 貸し出し機材の管理

冬季にソリやスノーチューブ等の貸し出しを行うこと。貸し出し期間は、積雪の状況により判断すること。また、貸し出し機材の点検・整備を行うこと。

第１４章 森のゲート（大町・松川地区）の運営管理

第８６条 管理水準

森のゲートにおいては、いきものの森への入り口としての機能に加え、いきものの森に生育している生き物の紹介を目的として、公園利用者にそれらを手軽に体験し、実感してもらうための各種業務を適切に行うこと。

第８７条 自然観察会での利用

いきものの森において自然観察を開催する際には、必要に応じ森のゲートの展示物を題材とし、いきものの森に生育している生き物の解説を行うこと。

第８８条 展示物の管理

パネル、模型、映像、剥製等の展示について、適切に管理を行うこと。

第１５章 園内交通施設（ロードトレイン）（大町・松川地区）の運営管理

第８９条 管理水準

園内交通施設においては、高齢者や身体の不自由な方等の園内移動の円滑化と散策エリアの拡大を目的とし、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。

第９０条 園内交通施設の運営

１．園内交通施設の運営は、積雪期間を除いた春季、夏季、秋季で実施すること

２．運行ルートは下記に示すルートを基本とするが、公園利用者の動向を踏まえ調整すること。
【運行ルート】インフォメーションセンター～あづみの苑地入口～森の体験舎～大草原の家～森の体験舎～空中回廊入口～レストラン前～インフォメーションセンター

３．園内交通施設の運行時間は、9:45（始発）～閉園の１時間前（終便）を原則とするが、終便については、利用者の動向を踏まえ調整すること。運行ダイヤについても、利用者の動向を踏まえ設定すること。

４．大雨、強風等の警報発令時、積雪時、落雷の恐れがある時、事故又は、故障等により運行不能の時等には運行を中止すること。

第９１条 園内交通施設の安全管理

１．園内交通施設の走行速度は 10km/h 以下とすること。

２．発車の合図は、安全を確認してから行うこと。

３．運転中は、常に利用者の動作に注意を払うこと。

４．園内交通施設には、救急箱を常備すること。

５．運転中事故が発生し、又は発生するおそれがある時は、直ちに必要な応急措置を講ずること。

第９２条 園内交通施設の点検・検査

点検は、毎日点検、月次点検、年次点検、臨時点検を行うこと。なお、点検・検査の記録は年度毎に整理を行い、５年間保存すること。以下に各点検内容を示す。

１．毎日点検は、運行日の運行前に試運転及び異常の有無の確認を行い、必要に応じて措置を行うこと。

２．月次点検は、毎月１回異常の有無の確認を確認し、必要に応じて措置を行うこと。

３．年次点検は、毎年１回専門業者に依頼して、点検を行うこと。

別紙P74

４．臨時点検は、一次利用を中止した時、災害その他運転事故が生じたとき、重要な改造又は修理をした時、その他必要がある時に行うこと。

第９３条 利用指導

園内交通施設のスタッフは、全ての利用者が快適に利用できるよう、利用者に迷惑を及ぼす恐れのある利用者の乗車や、園内交通施設スタッフの安全指示に従わない利用者の乗車等には指導すること。

第９４条 スタッフ研修

園内交通施設スタッフを対象に、毎年１回(各年度の運行開始前)に、研修を行うこと。

第１６章 マウンテンバイクコース及びトレーニングエリア(大町・松川地区)の運営管理

第９５条 管理水準

マウンテンバイクコースにおいては、施設利用者が快適に支障なく利用できるよう、コースの安全管理、貸し出し業務、団体利用対応等の各種業務を適切に行うこと。

第９６条 マウンテンバイクコースの運営期間

マウンテンバイクコースは、4 月 27 日～11 月 30 日までの土日祝日に開園すること。ただし、4 月 27 日～5 月 6 日、7 月 20 日～8 月 31 日の期間は、平日も開園すること。また、団体による予約利用の場合には、4 月 27 日～11 月 30 日までの平日も利用可能とすること。

第９７条 スポーツと遊びの森管理棟

１．スポーツと遊びの森管理棟においては、有料区域への改札機能に加え、マウンテンバイクコースの利用拠点として、団体利用対応、マウンテンバイク、ランニングバイクの貸し出し、整備点検等の各種業務を適切に行うこと。

２．スポーツと遊びの森管理棟において、利用者に案内用紙の配布や簡単な口頭説明を行い、誓約書へ記入していただくこと。

第９８条 コース（チャレンジルートA・B、オフロード周回コース、トレーニングエリア）の点検

１．開園時間内に巡視を１日２回以上行うこと。

２．巡視の際には、コースの点検も行うこと。コースの異常を確認した場合には、補修を行うこと。

第９９条 団体利用対応

１．団体利用時の一般来園者の利用制限については、団体利用人数により一部開放・貸切などの調整を行うこと。

第１００条 利用指導

１．利用時はヘルメットの着用を必須とし、必要であれば被り方をチェックし指導を行うこと。

２．サンダル類の着用や裸足での利用は禁止とし、長袖長ズボンを推奨すること。

３．利用中に危険行為と判断される行為が利用者にあった場合は、退場措置をとり、特に悪質な行為を繰り返した場合は今後の利用についても禁止とすること。

別紙P75

別紙－7

H28-31 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務
個別仕様書

【施設・設備維持管理業務】

平成２７年７月

第１編　総則

第１条 適用

本個別仕様書は、H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務のうち、施設・設備維持管理業務に適用する。

第２条 事業者の責務

事業者は、施設・設備維持管理にあたって、運営管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書（別紙－5 参照)、本公園の設計図書及び現地の気象条件等環境条件を十分に把握のうえ、管理効果が上がるよう配慮し、管理水準を達成すべく、業務にあたること。

第３条 事前協議等

事業者は、共通仕様書（別紙―5 参照)、国営アルプスあづみの公園の設計図書及び現地の気象条件等環境条件を十分に照査し、明示無きもの又は疑義の生じた場合は、関東地方整備局の指定する調査職員等と事前に協議する。

第４条 業務実施体制

事業者は、業務実施体制に係る書類を作成し、業務着手までに調査職員に提出し、承諾を得なければならない。また、業務実施体制に変更が生じた場合は、その都度、提出しなければならない。

第５条 業務実施体制の点検

事業者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年 11 月 27 日法律第 127 号）第 13 条 5 により関東地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第６条 基本事項

１．本業務は、施設・設備維持管理を総括する業務責任者の責任のもと実施すること。

２．業務責任者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うこと。なお、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議すること。

３．業務責任者は、国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）内を常に良好な状態に保つとともに、収益施設等運営業務を含めた各業務間の相互連携調整を図り、適切に業務の進捗管理を行い、本業務を適切に実施すること。

４．管理体制人員は、円滑な運営維持管理を行うため、弾力的に配置すること。

５．事業者に貸与した提供物品類の修理等は調査職員に報告の上、事業者が行うこと。(別紙－20「提供施設一覧（建築物)」、別紙－21「提供物品一覧（機械器具等)」、別添－9「提供施設等の取扱いについて」参照)

６．設備及び提供物品は事業者の注意義務で管理すること。

７．業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職員と協議し、承諾を受けた上で、事業者の負担にて行うこと。

８．作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は事業者の責任において行うこと。
９．事業者は、管理する施設、設備及び備品等について、日々稼働状況を把握し、異常が発生したとき又は異常を発見したときは直ちに調査職員に報告すること。
１０．作業の前に周囲の床、壁、機器などに損傷を与えないように養生を行うこと。
１１．作業終了後は、養生材や工具類を撤去し、周囲の清掃を行うこと。

第７条 安全管理等

１．常に公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、利用の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。
２．作業中は、必要に応じ作業区域をセーフティーコーン、コーンバー、バリケードなどで明示するなど安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分確保するとともに、利用者の利用にできるだけ支障を与えないよう配慮するものとする。
３．作業中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しない様に注意すること。
４．業務責任者は、管理する施設、設備及び備品等について、日々稼働状況を把握し、異常が発生したとき又は異常を発見したときは直ちに調査職員に報告すること。

第８条 作業時間

作業時間は、可能な限り休園日に行うなど、公園利用者の迷惑とならないように配慮し、業務責任者の判断により決定すること。なお、開園時間内に作業を行う場合には、必要に応じて公園利用調整を行うこと。また、閉園時間を過ぎて作業を行う場合には、あらかじめ調査職員に作業時間を提出することとする。

第９条 事業者の過失による管理を許可した施設等の事故、破損等

管理を許可した施設等に関して、事業者の過失による事故、破損等が生じた場合には、事業者の責任において処理するものとする。なお、事故・器物の破損等が発生した場合には、すみやかに調査職員に報告すること。

第１０条 大規模な修繕

大規模な修繕は関東地方整備局において行うので、詳細は調査職員との協議によるものとする。

第２編 建物維持修繕等

第１１条 管理水準

事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めること。

常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うこと。

第１２条 作成書類

１．作業計画書

事業者は、調査職員が指示する主要な建築物、建物設備、工作物、設備の修繕等については、別紙―5「共通仕様書」第 15 条で示す書類のほか、作業計画書（工程表含む）を作業前に作成して調査職員に提出すること。

２．事業者は、調査職員が指示する主要な建築物、建物設備、工作物、設備の修繕等について、次の各号に掲げる書類を作成すること。

１）作業打合簿－－－－－－－－－－－－ 打合せ毎に終了後、速やかに作成

２）作業図書－－－－－－－－－－－－－ 作業後、速やかに作成

３）作業記録写真－－－－－－－－－－－ 作業後、速やかに作成

４）その他調査職員が指示する書類－－ 適宜作成

第１３条 管理事務所等修繕

堀金・穂高地区の公園センター、ガイドセンター、あづみの学校、展望テラス、須砂渡口ゲート、穂高ゲート、里山文化ゾーン管理棟、大町・松川地区のインフォメーションセンター、レンタル棟、炊事棟、森の体験舎、大草原の家、森のゲート、そまびとの家、休憩棟（収益施設対象外の区域）について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うとともに、次の各号に掲げる修繕及び点検を行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

１）外観については、美観の維持に努め、塗装面等の防腐、防錆等の点検を行うこと。

２）自動ドアについては、原則年２回保守点検を実施すること。

３）冬期は、凍結防止措置（水抜き）を実施すること。

第１４条 休憩所等修繕

堀金・穂高地区の水辺の休憩所、野の休憩所、四阿、大町・松川地区の四阿等について、公園利用者が直接かかわる施設であることに留意し、日常、適宜目視、触診、打診等による巡回点検を実施し、破損箇所については小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

第１５条 車庫・倉庫等修繕

車庫、作業棟、倉庫、予備水槽室、受水槽室、プロパン庫、シェルター（駐輪場等）について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

第１６条 便所修繕

園内の便所について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。また、冬季は、凍結防止措置を実施し、配管・衛生器具の機能維持に努めること。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

第１７条　その他修繕

建物の維持修繕において、本個別仕様書第 12 条から第 15 条までに該当しない項目については、必要に応じて、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。

第３編 建物設備維持修繕

第１８条 管理水準

空調設備及び昇降機の機能を常に安全かつ良好に維持するため軽微な修繕及び点検を行うこと。

第１９条 空調設備維持修繕等

園内の建物内に設置されている空調設備について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。また、夏前および冬前の年２回、専門技術者による点検を行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が行う。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

第２０条 昇降機等設備保守点検等

園内の建物内に設置されている昇降機等設備について、国土交通省が定めた「建築保全業務共通仕様書」に基づき点検を行い、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が別途行う。

第２１条 消防設備維持修繕等

園内の建物内に設置されている消防設備について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

第２２条 建物設備その他修繕

建物設備の維持管理において、本個別仕様書 18 条から 20 条までに該当しない項目については、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。

第４編 園路広場維持修繕工

第２３条 管理水準

事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めること。

常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うこと。

第２４条 園路・広場維持修繕等

園路・階段、舗装、サイン、手摺・柵、ベンチ等について、日常、適宜巡回点検し、腐敗・破損箇所の小規模な修繕を適切に行うこと。

第５編 遊具維持修繕工、その他修繕

第１章 遊具維持修繕工

第２５条 管理水準

遊具について、劣化や(社)日本公園施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」の不適合によるハザードを早期に発見し、遊具による事故を予防するとともに、適切な運営維持管理業務につなげるよう点検を行うこと。

点検業務の実施にあたり、適用を受ける関係法令等を遵守し、業務の円滑な遂行を図ること。

なお、遊具の点検は幼児や児童が遊具の利用者であることから、次の各号に掲げる事項に配慮して行うこと。

１）安全性の確保

２）機能の保持

３）美観に配慮した形姿の維持

第２６条 用語の定義

１.「点検責任者」は、(社)日本公園施設業協会が認定した「公園施設製品安全管理士」あるいは、調査職員が同等と認めたものとする。なお、「点検責任者」は、「点検担当者」以上の経験、知識及び技能を有するものであること。

２.「点検担当者」は、(社)日本公園施設業協会が認定した「公園施設製品整備技士」あるいは、調査職員が同等と認めたものとする。

３.「同等と認めた者」とは、(社)日本公園施設業協会が認定した「公園施設製品安全管理士」「公園施設製品整備技士」と比較して同等の学歴、経歴、実務経験、講習会の受講実績等から同等の知識と技術、管理能力等があると調査職員が認めた者をいう。

４.「作業」とは、遊具の点検をいう。

５.「劣化」とは、物理的、化学的、生物的要因によりその物の強度及び機能が、低下することをいう。(ただし、地震、火災等の災害によるものを除く。)

６.「日常点検」とは、目視診断、触手診断、聴音診断等により、遊具の異常、劣化等の有無を調べるために日常的に行う点検をいう。

７.「定期点検」とは、公園施設製品安全管理士及び公園施設製品整備技士等が一定期間ごとに摩耗状況や変形ならびに経年変化等について点検する「劣化診断」と、「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に基づき遊具の形状や安全領域等の規準に対する妥当性を評価する「規準診断」をいう。

８.「SP 表示認定企業」とは、(社)日本公園施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」等に基づき製品の設計、製造、販売、施工、点検、修繕を行い、かつ、(社)日本公園施設業協会が定めた規格「S：2008QMS－SP 表示認定規格」を満たすマネジメントシステムを構築していると(社)日本公園施設業協会に認定された企業をいう。

９.「SP 点検済シール」とは、「SP マーク」を付された「点検済シール」で点検、修繕した遊具が、「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に合致したと認められた時に、安全性の確保が維持されていることを示すために、SP 表示認定企業が貼付することができるシールをいう。

別紙P83

第２７条 点検の範囲

点検とは、遊具の形状を調査し、「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に基づく規準診断等を行い、報告書を作成するまでの一連の行為をいう。

第２８条 事業者の負担

点検業務に必要な工具、測定機器等は事業者の負担とする。

第２９条 点検の種類

点検には、「日常点検」と「定期点検」がある。

事業者は各点検の内容とその必要性を正しく理解した上で共通仕様書第15条の業務計画書を立案し、調査職員に承諾を受けてから点検を実施しなければならない。

第３０条 診断の方法

遊具の点検は、点検表を作成し、診断することで安全性を確認すること。

診断方法は、次の各号に掲げるとおりとする。

１）目視診断

遊具の外観・形状を観てその劣化状態を診断する方法

２）触手診断

遊具を素手で触ってその劣化状態を診断する方法

３）聴音診断

遊具の可動部を動かし、発生する音、ガタツキの状態の有無を判断し、劣化状態を診断する方法

４）打音診断

遊具を点検ハンマー等で軽打し、異音の有無を判断し、その劣化状態、亀裂、ボルトの緩み等を診断する方法

５）揺動診断

遊具本体を揺り動かし、仕様に対応できるかを診断する方法（複合系遊具の場合は単体ごとに行う）

６）JPFA 検査器具による判定

JPFA が開発した器具で遊具の規準（JPFA-SP-S:2014）に適合しているかを調べる

７）ノギスによる測定（JIS 認定商品を使用する）

８）メジャーによる測定（JIS 認定商品を使用する）

９）傾斜計による測定

第３１条 作成書類

１．作業計画書

業務計画書に基づき作業実施日、作業内容、作業手順、作業範囲、点検責任者名、点検担当者名、安全管理者等を具体的に定めた定期点検に関する作業計画書を作業前に作成して調査職員に提出すること。作業計画書には、点検の作業中に利用を中止した方が良いと判断された遊具の取扱と処置方法、連絡手順について記載すること。

２．事業者は、次の各号に掲げる書類を作成すること。また、業務完了時には、実施状況等の記録書

別紙P84

として添付すること。

１）定期・精密点検記録簿

点検実施後、(社)日本公園施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に記載する「定期点検総括表」「定期点検表」「特別定期点検表」に基づき速やかに作成すること。

２）写真帳

客観的な判断材料として、必要に応じて遊具施設の劣化や破損状況を写真に記録すること。

写真は、着手前、作業状況(規準点検状況・劣化点検状況)からなり、点検表と照合できるよう、点検実施後、速やかに写真帳に整理すること。

３）その他調査職員が指示する書類－－ 適宜作成

第３２条 遊具日常点検等

１．日常点検を行う者は、遊具の外観を目視し、必要に応じて触診により部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等の施設の変形や異常の有無を調べる。また、合わせて設置面や植栽等を含めた遊具周辺の確認も行うこと。

２．点検頻度は、遊具毎に日１回以上実施する。また、遊具維持修繕の担当職員による月１回点検を実施すること。

３．点検対象遊具は、以下の通りとする。(別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照)

名称 （堀金･穂高地区）
マシュマロドーム
こどもの森遊具
冒険の森遊具

名称 （大町･松川地区）
大草原の家ネット遊具
空中回廊の付設遊具
林間アスレチック

４．公園内巡視時に日常点検を行う者は、点検箇所や点検方法をよく理解したうえで、日常点検を実施すること。なお、冒険の森遊具は、別添-28「遊具日常点検表（冒険の森遊具)」により日常点検を実施すること。

５．事業者は、対象となる遊具の経年変化に伴う劣化状況を把握するため、日常点検記録簿を精査したうえ、保管しておくこと。

６．点検履歴については、遊具履歴書を作成、追記、修正をすること。

７．台風や豪雨等の異常気象時や震度５以上の地震発生により、遊具に異常箇所が生じるおそれのある場合に、遊具及び遊具の周辺状況について、必要に応じて臨時的に点検を行うこと。また、遊具の利用者が怪我をした場合や、他公園において類似遊具等で事故があった場合も点検を行うこと。

第３３条 遊具定期点検

１．定期点検を完了させるために、管理体制を確立し、品質、工程、安全、法令遵守等の業務管理を行うこと。

２．事業者は、点検責任者を定め調査職員に事前に提出することとする。また、点検責任者を変更し

別紙P85

た場合も同様とすること。

3．点検を行う月日及び時間等は、作業計画書により実行すること。

4．点検対象遊具は、日常点検に準ずること。

5．遊具の点検内容は、(社)日本公園施設業協会が規定する「定期点検総括表」「定期点検表」「特別定期点検表」に基づいて実施し、その結果について定期点検記録簿としてとりまとめ報告すること。

6．点検作業の中で測定を行う必要がある場合は、定められた測定機器又は(社)日本公園施設業協会認定の、JPFA 検査器具、JPFA 肉厚測定器、JPFA 落下衝撃測定器等を使用して行うこと。

7．点検作業と点検表に基づく判定は別の者がそれぞれ担当し、職務を兼ねることはできない。

8．点検責任者は、「劣化診断」による劣化判定と「基準診断」によるハザードレベルを組み合わせて総合的な機能判定を行うこと。その判定基準については、必要に応じ事前に調査職員と協議をしておくこと。

9．定期点検は、年１回実施すること。

１０．点検終了後、「合格」と判断された遊具について、「SP 点検済みシール」を貼付出来る遊具には調査職員に報告し、点検実施時期を明記して添付すること。

第３４条 その他遊具日常点検

1．日常点検を行う者は、遊具の外観を目視し、必要に応じて触診により部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等の施設の変形や異常の有無を調べる。また、合わせて設置面や植栽等を含めた遊具周辺の確認も行うこと。

2．点検頻度は、遊具毎に日１回以上実施する。

3．点検対象遊具は、以下の通りとする。

名称 （堀金･穂高地区）
サイバーホイール
大　玉
ディスクゴルフ
ハンモック
ミニサッカー
ボールプール（あづみの学校）
ソリ
スノーチューブ

名称 （大町･松川地区）
サイバーホイール
ポッカール
ソリ
スノーチューブ
スノーシュー
スノーレーサー
スノーリュージュ
歩くスキー
スノーストライダー

4．公園内巡視時に日常点検を行う者は、点検箇所や点検方法をよく理解したうえで、日常点検を実施すること。

5．事業者は、対象となる遊具の経年変化に伴う劣化状況を把握するため、日常点検記録簿を精査したうえ、保管しておくこと。

6．点検履歴については、遊具履歴書を作成、追記、修正をすること。

別紙P86

７．遊具の利用者が怪我をした場合や、他公園において類似遊具等で事故があった場合も点検を行うこと。

第３５条 遊具維持修繕等

点検により確認された破損箇所については、小規模な修繕等を適切に行うこと。

第３６条 その他

１．点検作業においては、安全管理を徹底し、作業中であることを掲示して、公園利用者の遊具利用への影響が無いように十分な安全対策を講ずること。

２．定期点検等で不良と判断された場合は、速やかに調査職員へ報告すること。

３．点検で異常が発見された場合、もしくは、異常の可能性がある場合は、使用禁止が妥当と判断される遊具について、業務計画書等で事前に調査職員と打合せた手順に従い、ロープやネット等で使用できないように処置するとともに、使用禁止表示を行い、公園利用者に事故が起きないように安全対策を実施すること。併せて、調査職員に速やかに報告すること。

４．点検作業は、作業に適した服装にて作業を実施し、「公園施設製品安全管理士」「公園施設製品整備技士」の携帯用認定証等がある場合は携帯して作業に従事すること。

５．本仕様書に記載されていない事項については、（社）日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する基準 JPFA-SP-S:2014」を参考にすること。

第２章 その他修繕

第３７条 管理水準

事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めること。

常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うものとすること。

第３８条 その他修繕等

園路広場及び遊具以外の工作物について、必要に応じて、適宜巡回点検し、破損箇所については、小規模な修繕等を適切に行うこと。

別紙P88

第６編 電気設備維持修繕

第３９条 管理水準

使用電力量を計測するとともに、別添－8「園内施設（設備等）位置図」に示す電気設備（受変電設備、自家発電設備、照明設備、監視カメラ設備等）ついて、関係法令を遵守し、機能を常に安全かつ良好に維持するため点検を行うものとする。破損箇所については、小規模な修繕を適切に行うものとする。

第４０条 電気設備維持修繕等

１．事業者は、月１回、調査職員が指示する日に各電気メーターの確認を行うこと。調査職員の指示による負担金割合の算定方法に従い、電気メーター検針結果の集計表及び負担金額割合を算定した算定表を作成し、翌月の月初めにすみやかに作成し調査職員等に報告提出すること。

２．分電盤・配電盤等について、計器による設備の運転状況の把握や目視、触手、聴音による点検を行うこと。なお、分電盤については、年１回絶縁測定を行う。

３．点検の結果に応じ、清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、軽微な修繕等を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が別途行う。

４．落雷があった場合には、翌日の開園までに電気設備の巡回点検を行うこと。

５．休園日に電気設備において異常が発生した場合は、国事務所が契約した法定点検の受託者等と連携して、適切な措置を講じること。

別紙P89

第７編 汚水・排水施設維持修繕

第４１条 管理水準

園内の汚水・排水施設について、施設の機能を常に安全かつ良好に維持するため点検及び小規模修繕を行うものとする。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

第４２条 汚水・排水施設維持修繕

１．日常、適宜巡回点検し、分電盤のブザー音の確認等を行い、異常があれば小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が別途行う。

２．台風や大雨が予想される場合は、巡回点検を行うとともに、適切な対策を講じること。

３．事業者は、繁忙期においては、汚水・排水施設の稼動状況を確認するとともに、国事務所が契約した法定点検の受託者等と連携し、汚水・排水施設の処理能力に沿った調整を行うこととする。

４．事業者は、降雨時等に雨水ます等の状況及び土砂の堆積の有無を目視により確認し、必要に応じて堆積物の除去等を行う。

５．雨水枡のうち、砕石を詰めている箇所については、ヘビ（特にマムシ）が生息していることがあることから、必要に応じ砂による目地詰めを行うなどの措置を講じること。

別紙P90

第８編 給水施設維持修繕

第４３条 管理水準

本公園の全施設の使用水量を計測するとともに、別添－8「園内施設（設備等）位置図」に示す給水施設について、関係法令を遵守し、常に安全かつ良好に維持するため点検及び小規模な修繕を行うこと。

第４４条 給水施設維持修繕等

１．日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。ただし、関係法令等に基づいて実施する法定点検は、国事務所が別途行う。

２．事業者は、1 日 2 回（開園前 1 回、閉園後 1 回)、水道メーターの確認を行うこと。調査職員の指示による負担金割合の算定方法に従い、水道メーター検針結果の集計表及び負担金額割合を算定した算定表を作成し、翌月の月初めまでに調査職員に提出すること。

３．受水槽については、常に安全かつ良好に維持するため、適宜点検及び水質検査を実施すること。

４．滅菌装置について、逆流止め玉弁およびサイホンブレーカーの動作や薬剤残量等の確認を行うこと。

５．点検の結果に応じ、清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、軽微な修繕等を行う。

６．冬季の園内給水施設凍結による断水及び器具の破損を防止するため、水抜き等の凍結防止作業や一部の水飲み・手洗いの閉栓作業を行うものとする。（別添－26「建物・工作物に係る冬季対応（積雪・氷結対応等)」参照）

７．繁忙期は、配水管の水圧が低下しないよう、適切な措置を講じること。

８．夏季及び冬季においては、使用水量を調整する等の適切な措置を講じ、機能の維持に努めること。

別紙P91

第９編 水景施設管理

第４５条 管理水準

１．堀金・穂高地区の水景施設（池、流れ、水槽）は、国事務所と烏川土地改良区との申し合わせにより、農業用水を一時的に分流しているものであるので、原則的には取水した量を農業用水に戻す必要があることに留意すること。

２．夏季等に池の一部を公園利用者の用に供する場合は、衛生上の問題が生じないよう、関係法令を遵守するとともに、「水浴場水質判定基準」（環境省）に基づき、使用期間中は湖沼として下表の「水質 A」以上を保つよう管理を行うこと。毎年１回以上、水質検査を実施すること。

項目区分		ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質 AA	不検出(検出限界2個/100mℓ)	油膜が認められない	2mg/ℓ以下 (湖沼は3mg/ℓ以下)	全透 (1m以上)
	水質 A	100 個/100mℓ 以下	油膜が認められない	2mg/ℓ以下 (湖沼は3mg/ℓ以下)	全透 (1m以上)
可	水質 B	400 個/100mℓ 以下	常時は油膜が認められない	5mg/ℓ以下	1m未満～50cm 以上
	水質 C	1,000 個/100mℓ 以下	常時は油膜が認められない	8mg/ℓ以下	1m未満～50cm 以上
不適		1,000 個/100mℓ を超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/ℓ 超	50cm 未満

３．大町・松川地区渓流レクリエーションゾーンの横溝堰については、横溝堰利水組合の管理とし、また、下流で水道水の代わりに当該堰の水を利用する民家があることから、堰への立ち入り及び公園管理に起因する水質汚濁がないよう留意すること。

第４６条 水景施設点検等

１．点検結果は、点検報告書として取りまとめ、調査職員に報告すること。

２．長野県松本保健所、大町保健所の水質検査等が実施されるときは、協力すること。

３．堀金・穂高地区の池は、夏期を除いては原則的には水遊びの用に供しないこととし、その旨を明示しておくこと。

４．第 43 条１の観点から、堀金・穂高地区の池、流れ等において漏水が生じている場合は、適宜補修すること。なお、大規模な修繕は、国事務所において行うので、調査職員と協議すること。

別紙P92

第１０編 その他設備維持修繕等

第４７条 管理水準

本公園の水循環設備、放送設備、電話設備等について、関係法令を遵守し、機能を常に安全かつ良好に維持するため点検及び修繕を行うこと。

第４８条 水循環設備維持修繕等

日常、園内の循環水ポンプ場、循環水配管等について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検は国事務所において行うので詳細は調査職員と協議すること。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

第４９条 魚類飼育設備維持修繕等

堀金・穂高地区のあづみの学校内に設置されている水槽については、水漏れ、空気ポンプおよび水循環装置の点検を行い、餌や水温の管理をして、魚類のための良好な成育環境を維持する。

第５０条 放送設備保守点検等

日常、園内の放送設備、スピーカー、配線等について、計器による設備の運転状況の把握や目視、触手、聴音による点検を年１回行い、破損箇所の小規模な修繕等を適切に行うこと。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

第５１条 電話設備維持修繕等

日常、園内の電話設備、配線等について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕等を適切に行うこと。（別添－8「園内施設（設備等）位置図」参照）

第５２条 公衆電話設備管理

公衆電話の基本料金の支払いを月1回行うこと。（別紙－43「公衆電話」参照）

別紙P93

第１１編 園内清掃、公園内建物清掃

第１章 基本事項

第５３条 管理水準

公園施設については、常に清潔を保ち、快適な環境を保持する必要があり、本公園の利用状況に適切に対応するため、事業者は、作業内容、作業場所等について十分に検討するとともに、周辺地域に配慮した実施時期の調整を行うこと。

第５４条 消耗品

本清掃作業に必要な消耗品については、事業者で調達すること。

別紙P94

第２章 清掃

第５５条 休憩所等清掃

１．日常清掃

１）清掃箇所は、別紙－35「清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等」を参照すること。

２）壁、床、扉、窓、柱、ベンチ、机、イス、黒板等は、掃き掃除、拭き掃除を行い、公園利用者に不快感を与えないよう清潔に保ち、必要に応じて薬液類を使用し洗浄するものとする。

３）くもの巣、ハチの巣、ガムのかす等がある場合は、速やかに取り除くものとする。また、ハチの巣が確認できないも関わらずハチの生息が確認される場合はその旨を掲示し、公園利用者への周知を図る。

４）天井、照明器具、展示物等は、必要に応じ清掃するものとする。

５）清掃箇所及び実施頻度は原則として下表の通りとし、各施設の汚れ具合等により適宜清掃回数を設定するものとする。

【堀金・穂高地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
田園文化ゾーン	ガイドセンター、あづみの学校、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、穂高口、四阿、烏川休憩所	1回以上/日
里山文化ゾーン	管理棟、四阿	

【大町・松川地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
センターゾーン	インフォメーション棟、レストラン棟、レンタル棟	1回以上/日
林間レクリエーションゾーン	森の体験舎、大草原の家、トイレ棟、森のゲート	
渓流レクリエーションゾーン	四阿	
自然体験ゾーン	管理棟（スポーツと遊びの森エリア）、四阿	

２．定期清掃

１）床面シートの清掃（ポリッシャーまたはスチーム洗浄後のスクイージーによる汚水除去、水モップによる拭き上げ、ワックス塗布、拭き上げ等）のほか、タイルやジュータン、窓、網戸等を対象とした室内清掃を行うこと。

２）屋根及び雨樋に堆積した落ち葉、枯れ枝、藻等による汚れ、夾雑物を除去すること。

３）建物の周りに堆積した落ち葉、枯れ枝を除去すること。

４）外壁、軒下、扉、窓等の汚れを除去すること。

５）清掃箇所及び実施頻度は下表の通りとする。（別紙－35「清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等」参照）

【堀金・穂高地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
田園文化ゾーン	ガイドセンター、あづみの学校、穂高口	1回/年
里山文化ゾーン	管理棟	1回/年

【大町・松川地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
センターゾーン	インフォメーションセンター、休憩棟、レンタル棟	1回/年
林間レクリエーションゾーン	森の体験舎、大草原の家、森のゲート	
自然体験ゾーン	管理棟（スポーツと遊びの森エリア）	

第５６条 便所清掃

１．日常清掃

１）清掃箇所は、別紙－35「清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等」を参照すること。

２）清掃中は、便所の利用者の利便性に配慮すること。

３）衛生器具(便器、手洗い器等)、壁、天井、床、ブース、扉、窓、その他建具、鏡、照明器具等を適切な方法で清掃し、清潔に保つとともに、詰まり等はすぐに処置する。

４）トイレットペーパー及び石鹸水が常時あるように補充すること。

５）汚物入れの清掃等を行うこと。

６）実施頻度は原則として下表の通りとし、各便所の汚れ具合等により適宜回数を設定するものとする。

【堀金・穂高地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
田園文化ゾーン	管理センター、ガイドセンター、あづみの学校、須砂渡口、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、河畔広場、穂高口、烏川休憩所の各トイレ	1回以上/日
里山文化ゾーン	管理棟、懐かしの風景エリアの各トイレ	

【大町・松川地区】

ゾーン	清掃箇所	実施頻度
センターゾーン	インフォメーション棟、駐車場、センターゾーン西側、休憩棟、レンタル棟、デイキャンプ場の各トイレ	1回以上/日
林間レクリエーションゾーン	森の体験舎、大草原の家、トイレ棟、森のゲートの各トイレ	
渓流レクリエーションゾーン	渓流ピクニック広場のトイレ	
自然体験ゾーン	スポーツと遊びの森エリアのトイレ	

２．定期清掃

１）屋根及び雨樋に堆積した落ち葉、枯れ枝、藻等による汚れ、夾雑物を除去すること。

２）建物の周りに堆積した落ち葉、枯れ枝を除去すること。

３）衛生器具(便器、手洗い器等)、壁、軒下、天井、床、ブース、扉、窓、鏡、照明器具等の汚れを除去すること。

４）清掃箇所は、別紙－35「清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等」を参照すること。実施頻度

別紙P96

等は原則年１回とし、各便所の汚れ具合等により適宜回数を設定するものとする。

３．大規模な行催事の開催等により、塵芥の発生量の増加が見込まれる際には必要に応じて当該箇所を清掃するものとする。

第５７条 工作物清掃

１．日常清掃

１）対象区域は全園を区域とする。ただし、別紙－9「管理運営規定書」の対象である収益施設は除く。

２）拾い清掃による紙くず、空き缶等の除去や掃き掃除による土ぼこり、落ち葉等の除去により、工作物をきれいな状態に保つこと。

３）園路、広場、排水枡、排水溝の土砂等を除去すること。

４）公園利用者が直接触れるベンチやテーブル等は、汚れやコケ、鳥の糞が無いよう水拭き等の清掃を行い、同時にささくれ、がたつき等による危険箇所の確認を行うこと。

５）喫煙場所の吸殻等の清掃を随時行うこと。

６）池等の水面のごみや落ち葉等を網等で随時除去すること。

７）照明、時計や温度計、駐車場管制、監視カメラ等の設備について、汚れがひどい場合には清掃を行うこと。

８）大規模な行催事の開催等により、塵芥の発生量の増加が見込まれる際に業務責任者の判断により当該箇所を清掃するものとする。

９）清掃箇所、実施頻度は、下表の通りとする。

【堀金・穂高地区】

清掃箇所	実施頻度
駐車場・主要幹線園路・細園路の路面・排水溝等、池、主要幹線園路及び細園路・デッキ等	適宜
遊具、ベンチ	1回/日

【大町・松川地区】

清掃箇所	実施頻度
主要幹線園路・細園路の排水溝等、主要幹線園路及び細園路・デッキ等	適宜
遊具、ベンチ	1回/日

２．定期清掃（池・流れ等の洗浄）

１）展望テラス周辺の水景施設及び公園利用者の利用を想定する区域については、必要により、池の排水を行った後、ごみ類や夾雑物、汚泥の除去及び池底の洗浄等を行うこと。

２）池、流れ等に堆積した落ち葉等については適宜除去すること。

３）清掃箇所、実施頻度は下表の通りとする。

【堀金・穂高地区】

清掃箇所	実施頻度
展望テラス周辺	2回／年
親水池	9回／年

別紙P97

【大町・松川地区】

清掃箇所	実施頻度
あづみの苑地	2回／年

3．定期清掃（園路・広場の舗装部等の清掃）

1）園路、広場、排水桝、排水溝の土砂等を適宜除去すること。

2）腐食・破損したテーブル、ベンチ等を撤去すること。

4．臨時清掃

大規模な行催事の開催等により、塵芥の発生量の増加が見込まれる際には必要に応じて当該箇所の清掃するものとする。

第５８条 魚類飼育設備清掃

1．魚類の飼育環境を維持するため、水が汚れた場合水換えを行うとともに、水槽の壁面はコケや藻により汚れるので、魚が観察できるように定期的に水槽壁面を清掃し、ガラスの透視性を確保すること。

2．清掃箇所、実施頻度は、原則として下表のとおりとする。

清掃箇所	実施頻度
あづみの学校	4月～12月:1回／月
	1月～2月:実施しない
	3月:1回／月

第５９条 ごみ回収運搬工

1．本公園では、野生動物の誘因となることから、園内にゴミ箱は設置していないので、ゴミ箱の回収の必要性はないが、各施設で発生するごみについては所定の集積箇所に運搬するものとし、ごみは、所在自治体の分別区分に従って分別を行うこと。なお、自動販売機に設置されている回収ボックス内の空き缶等の回収については収益施設等運営者が行うこと。

2．ここでいうごみとは園路上の落ち葉、枯れ枝も含む。

3．ごみ集積箇所については、別途調査職員が指定する。

第６０条 除雪等

1．積雪時に、本公園の機能を確保するために、出入口周り、園路等必要な範囲において、機械及び人力による除雪を行うこと。（別添－26「建物・工作物に係る冬季対応（積雪・氷結対応等）」参照）なお、優先して除雪する場所は、調査職員と協議すること。

2．事業者は、除雪作業を円滑に実施できるよう無積雪時の状態を確実に把握し、路面や縁石等各工作物に損傷を与えないようにすること。

第６１条 産業廃棄物処理

事業者は、排出される産業廃棄物を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和 45 年 12 月 25 日法律第 137 号）及び関係法令に従って、適正に処理すること。（別紙－36「産業廃棄物（排出量、経費」参照）

別紙P99

別紙－8

H28-31 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務
個別仕様書

【植物管理業務】

平成２７年７月

第１章　総則

第１条 適用

本仕様書は､H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務のうち､植物管理業務に適用する。

第２条 事業者の責務

事業者は、植物管理にあたって、公園管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書（別紙―5)、国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）の設計図書及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に把握のうえ､管理効果が上がるよう配慮し､目標とする管理水準を達成すべく､業務にあたること。

第３条 事前協議等

事業者は、共通仕様書（別紙－5)、国営アルプスあづみの公園の設計図書及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に照査し、次の各号に掲げる事項のほか明示無きもの又は疑義の生じた場合は、関東地方整備局の指定する調査職員と事前に協議するものとする。

また、管理年度内にあっても、管理実態に合わせて、効率化に向けた管理施工上の工夫が可能な場合は、調査職員に提案し、協議の上、変更理由を明記の上、業務計画書の変更を行うことも可能である。

１）植物について補植を要する事態が生じたとき。

２）既存木の移植（又は伐採）を行う必要が生じたとき。

３）公園利用者サービスに供するために新規植栽の必要が生じたとき。

第４条 業務実施体制の点検

事業者は｢公共業務の入札及び契約の適正化の促進に関する法律｣(平成 12 年 11 月 27 日法律第 127 号) 第 13 条 2 項により関東地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第５条 歩掛実態調査及び諸経費動向調査

本業務は、歩掛実態調査及び諸経費動向調査の試行業務であり、調査職員より指示のあった場合、別途通知される調査要領等に基づき調査票の作成を行うこと。

調査票は、業務終了後速やかに調査職員に提出すること。又、調査票の聞き取り調査等を実施する場合にはこれに協力するものとし、調査票の根拠となった契約書等を提示すること。

第６条 基本事項

１．本業務は、植物管理業務を総括する業務責任者の責任のもと実施すること。

２．業務責任者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。なお、次号に掲げる事項の他、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員等と協議するものとする。

１）補植を要する事態が生じたとき。

２）既存木の移植又は伐採を行う必要が生じたとき。

３）公園利用者サービスに供するために新規植栽の必要が生じたとき。

３．業務責任者は、国営アルプスあづみの公園内の植物を常に良好な状態に保つとともに、総括業務

責任者は、収益施設等運営業務を含めた各業務間の相互連携調整を図り、適切に業務の進捗管理を行い、本業務を適切に実施すること。

4．園内に生息・生育する貴重種（別添－38「貴重種一覧」参照）に影響を与えないように十分に留意して実施するとともに、貴重種の生息・生育に適した環境を保全するものとする。

5．本公園内では、原則として除草剤、薬剤等の散布を行わないこと。ただし、植物の状況により、使用することが妥当と判断される場合は、調査職員に協議すること。

6．管理体制人員は、円滑な運営維持管理を行うため、弾力的に配置すること。

7．事業者に貸与した提供物品類（別紙－21「提供物品一覧（機械器具等）」参照）の物品類の修理等は調査職員に報告の上、事業者が行うこと。

8．設備及び提供物品は事業者の注意義務で管理すること。

9．植生状況等に基づく業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職員と協議の上、承諾を受けた上で、事業者の負担にて行うこと。

１０．作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は、事業者の責任において行うこと。

１１．植物管理と一体となった行催事では、企画運営管理及び施設・設備維持管理等と総合的な調整のもと、相互連携を保ち、公園利用者の安全確保に努めるものとする。

第７条 安全管理等

1．常に公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、利用の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。

2．危険防止のため、枯損木や枯枝の早期発見と枯枝の除去、及び、全ての作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること等、施工中は安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分確保すること。

3．作業中は安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分に確保するとともに、園内の施設工作物及び樹木等を破損しない様に注意すること。

第８条 作業時間

作業時間は、可能な限り休園日に行うなど、公園利用者の迷惑とならないように配慮し、決定すること。なお、開園時間内に作業を行う場合には、必要に応じて公園利用調整を行うこと。

第９条 利用サービス

1．作業時間は、公園利用者の迷惑とならないように配慮し、決定すること。なお、開園時間内に作業を行う場合は、必要に応じて公園利用調整を行うこと。

2．公園利用者に対する案内及び緊急対応等のサービスに努めること。

3．公園利用者に対して、管理作業内容の情報を提供する必要が生じた場合には、作業場所において適切な説明看板類を掲示すること。

第２章 芝生管理

第１０条 管理水準

以下に示す管理水準を満たす芝生管理を行うこと。（別添－29「芝生管理区域図」参照）

ランク		A	B
管理目標		【広場として管理する芝生地】 広場や施設まわりなどのうち、芝生の縁が一景観構成要素となるため良好に管理すべき芝生地。	【その他の芝生地】 単一草種を維持する最低限の管理を行う芝生地。
管理水準	刈込高さ	3ｃｍ程度	3ｃｍ程度
	芝高（維持高）	7ｃｍ程度	7ｃｍ程度
	雑草混入度	一部混入容認	混入容認
	茎葉の密生度	密生度は高いが一部空隙あり	密生度は低い
標準年間実施回数	芝刈	5～3 回	3 回
対象地	堀金・穂高地区	【田園文化ゾーン】 段々原っぱ、野原、見晴らしの丘、吊橋前広場 【里山文化ゾーン】 広場（仮称）	左記以外の区域の芝生地
	大町・松川地区	【林間レクリエーションゾーン】 アルプス大草原、アルプス広場、あづみの苑地	左記以外の区域の芝生地

※芝刈工以外の項目については、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

第１１条 芝刈工

１．芝生地内にある石、空き缶等障害物はあらかじめ取り除くこと。

２．芝生地内にある樹木、草花、施設等を損傷しないように注意し、刈むら、刈残しのないよう均一に刈込むこと。

３．刈込み高は管理水準を目安とするが、大幅に変更する場合は、調査職員と協議すること。

４．縁切りは、寄せ植え、施設等にほふく茎が侵入しないよう、寄植類にあたっては、樹冠の垂直投影線より 10ｃｍ程度外側で垂直に切り込み、せん除すること。

５．刈り取った芝は、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するとともに、刈り跡はきれいに清掃すること。

６．芝刈り回数及び頻度については、芝草の生育状況を確認した上で適切かつ効率的な数量を設定し、作業にあたること。

第１２条 芝生地除草工

１．芝生をいためないよう、除草器具等を用いて、根より丁寧に抜き取ること。

２．抜き取った雑草は収集し、調査職員の指示する箇所に運搬・堆積するとともに、除草跡はきれいに清掃すること。

３．除根後に穴を生じた場合は、必要に応じて目土（目砂）の充填を行うこと。

第１３条 芝生施肥工

1．施肥量を芝生面にむらのないよう均一に散布すること。施肥量については過去の実績を踏まえ業務責任者が判断して行うこと。
2．施肥を施す場合は、原則として降雨直後等で葉面がぬれているときは行わないこと。
3．施肥の時期及び回数については、芝草の生育状況を確認すると共に、芝生の利用状況予測を考慮して適切かつ効率的な時期を設定し、作業にあたること。

第１４条 芝生目土掛工

1．目土は植物の根、ガレキ等がなく必要に応じて、ふるい分けした目土用土又は砂材を用いること。土壌改良剤及び肥料を混入する場合は、過去の実績を踏まえ、業務責任者が適切と判断した混入率となるよう入念に混合すること。
2．目土は、過去の実績を踏まえ、業務責任者が適切と判断した量をとんぼ等を用いて、むらなく均一に敷きならし、十分すり込むこと。なお、芝生面に不陸がある場合は不陸整正を勘案しながら行うこと。
3．芝草の生育適期を選んで施工し、合わせて芝草の生育促進、芝生地表面の不陸整正の効果を最大限に発揮できるよう施工すること。

第１５条 芝生エアレーション工

1．芝生土壌の硬化を防止するため、エアレーション器具または機械により土壌が膨軟となるよう効果的に行うこと。
2．施工区域の設定、穴及びカッティングの深さ、間隔等は業務責任者の判断によること。

第１６条 芝生補植工

1．張替え箇所を大きめに形を整えて切り取り、深さ 15cm 程度まで床土を交換又は耕耘したうえ、沈下防止のためよく転圧し、表面排水できるよう不陸整正を行うものとする。
2．張芝は、周縁と同じ高さとなるよう調整し、転圧し、目土を施し、必要に応じて適宜施肥、灌水するものとする。
3．播種は、施工箇所を刈取・集草し、土壌改良材を散布の後、種子を散布の後、種子を均等に播き付けるものとする。その後、目土散布を行ったのち、速やかに灌水を行う。

第１７条 芝生雑工・芝生巡回工

1．芝生雑工は、通常の作業とは異なる雑作業。サッチ等除去、工作物及び花壇設置に伴う芝剥作業、部分的なエアレーション作業等を実施するものとすること。
2．芝生巡回工は、芝生地を巡回し、軽徹な除草及び灌水、小石等の除去、擦り切れ箇所の養生、くぼみや穴、モグラ塚の除去などの軽微な補修等の管理を行うこと。

第３章 中低木管理

第１８条 管理水準

以下に示す管理水準を満たす中低木管理を行うこと。（別添－30「中低木管理区域図」参照）

ランク		鑑賞	遮へい・境界
管理目標		【花や実を観賞する低木】 公園利用者の鑑賞の対象となる花や実を付ける樹木で、景観構成要素となっている中低木。	【境界植栽（花や実を鑑賞しないもの）】 他の植栽を補完する目的で植えられた中間植栽としての役割や、園路や広場等の境界植栽としての役割を持つ中低木。
管理水準		樹木の良好な生育を維持し、周辺と調和した景観形成のために整姿剪定を行う。	枝の張り出し防止のため、年間の伸張を考慮して剪定を行う。枯損枝、支障枝は除去する。
標準年間実施回数	刈込・人力	1回 （花芽の形成時期に留意する。）	1～0回

※中低木剪定工以外の項目については、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

第１９条 中低木剪定工

１．一般事項

１）枝の密生した箇所は中すかしを行い、刈地原形を十分考慮しつつ、樹冠局縁の小枝を輪郭線を作りながら刈込むこと。

２）裾枝の重要なものは、上枝を強く、下枝を弱く刈込むこと。

３）花木類を刈込む場合は、花芽の分化時期と養生位置に注意し、次期開花に影響を与えないこと。

４）数年の期間をおいて刈込みを実施する場合は、第１回の刈込みの際に一度に刈込まず、数回の刈込みを通して徐々に刈地原形に仕立てていくこと。

５）刈り取った枝葉は収集し、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するとともに、枝葉が樹冠内に残らないようにきれいに取り去り、刈込んだ樹木、寄植等の周辺はきれいに清掃すること。

６）剪定にあたっては、樹木単体だけでなく、公園として望ましい植栽景観づくりを視野に入れて、望ましい樹形の確保に努めること。

７）公園の景観維持及び樹木の生育等に支障があり、剪定だけでなく伐採の必要が生じた場合には、調査職員に報告すること。

２．寄植剪定

１）各樹種の生育状態に応じ、刈地原形を十分考慮しつつ刈込むこと。

２）刈り取った枝葉が樹冠内等に残らないよう速やかに処理するとともに、寄植の周辺をきれいに清掃すること。

３．生垣剪定(機械・人力)

１）枯枝、徒長枝等を剪定し、枝の整理を行った後、一定の幅を定めて、両面を刈込み、天端をそろえること。

２）枝葉の空いた部分には、必要に応じて、枝葉の疎密をなくすよう、枝の誘引を行うこと。枝の結束には、しゅろ縄を用いること。

第２０条 中低木地除草工

１．抜根除草

１）既存植物をいためないよう除草器具などを用いて根ごと取り除くこと。

２）抜き取った雑草は、収集し、調査職員の指示する箇所に運搬・堆積するとともに、除草跡はきれいに清掃すること。

２．人力除草

１）既存植物をいためないよう鎌などを用いて根際より刈り取ること。

２）抜き取った雑草は、収集し、調査職員の指示する箇所に運搬・堆積するとともに、除草跡はきれいに清掃する。

第２１条 中低木施肥工

１．一般事項

１）肥料の種類、施肥の方法（寒肥、追肥等）及び各樹木の特性に応じて、もっとも効果が期待できるよう、施肥量については過去の実績を踏まえて業務責任者が判断して行うこと。(別紙―37「肥料、土壌改良材リスト」参照)

２）溝及び縦穴の掘削に際しては、樹根に損傷を与えないよう注意すること。

２．生垣の場合、寒肥は縦穴、追肥は溝を掘り、肥料を入れ覆土すること。

３．１本立ち及び小規模な寄植えの場合、輪肥・壺肥を主体とすること。

第２２条 中低木防除工

１．剪定防除

１）アメリカシロヒトリ、チャドクガ等の幼令期に枝葉に集団で生活している虫の場合は、この部分の枝葉を幼虫が落下しないよう注意深く切り取り、調査職員の指定する場所に集め、速やかに焼却処分あるいは土中に埋める。

２）剪定方法は、中低木剪定工に準ずる。

２．薬剤散布

１）病虫害が発生した場合には、誘殺・塗布等散布以外の方法を検討し、やむを得ず散布する場合であっても、農薬取締法等の農薬関連法規や都道府県の定める農薬安全使用指導指針等、及びメーカー等で定めている使用安全基準、使用方法を遵守し、人や生き物の安全確保及び対象樹木の薬害に十分注意し、最小限の区域における農薬散布に留める。

２）病虫害の発生に備え、予防的な散布を要すると判断した場合についても速やかに調査職員と協議のうえ、適切な処置を講ずる。

３）散布方法は、調査職員と協議のうえ、それぞれの病害虫の特性に応じてもっとも効果的な方法で行う。

４）散布日は、調査職員と協議のうえ、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し実施するが、開園時間内には、散布は実施しない。

５）散布量は指定の濃度に正確に希釈混合したものを、病虫被害部分部を中心にむらなく散布する。

６）散布に際しては、風上に背を向けて風下から散布する。また、公園利用者をはじめ周囲の対象植物以外のものにかからないよう、十分注意して行う。

７）散布作業は、人体への影響を十分配慮し、ゴム手袋、マスク、帽子、メガネ、被服等完全なも

のを着用する。

8）事業者は、履行期間中に行う可能性がある薬剤散布について、事前に１）～７）の事項を調査職員と協議することができる。調査職員が承諾した範囲内で薬剤散布を行う場合は、２）～４）中の「調査職員と協議」は「調査職員に事前に提出」に読み替えるものとする。

第２３条 中低木マルチング工

マルチング材積込はトラクタショベル及びダンプトラックを使用し、敷き均しは人力にてマルチング厚５ｃｍを標準に行うものとすること。

第２４条 中低木移植工

１．樹種特性を把握し、適期に適当な鉢の大きさで掘取りをすること。

２．根が乾燥しないように養生し、枝葉を痛めないように植栽場所まで運搬すること。

３．十分な植穴を掘削し、植付けること。

４．土が根に密着するように、水極めを行い、整地すること。

第２５条　中低木補植工

１.植え穴は樹木の根鉢に応じて余裕のある大きさに掘り、不良土など生育に有害なものを取り除くこと。

２．埋め戻し土には、土壌改良材を施用し、よく攪拌して行うものとすること。

３．土が根に密着するように、水極めを行い、整地すること。

第２６条 中低木雑工・中低木巡回工

１．中低木雑工は通常の作業とは異なる雑作業（ロープ柵設置、撤去作業、生垣補修等）を行うものとする。

２．低木植栽地を観察し、軽微な除草及び潅水。花がら取り、害虫の捕殺駆除作業、支障・枯れ枝等の除去を行うこと。

３．実のなる木については、野生動物（クマ、サル）を誘引する可能性があることから、巡回時に野生動物の形跡を確認するとともに、近づいている形跡が認められる場合は、実を駆除するなどの対策を講じること。

第４章 高木管理

第２７条 管理水準

以下に示す管理水準を満たす高木管理を行うこと。（別添－31「高木管理区域図」参照）

ランク		鑑賞	遮へい・境界
管理目標		【修景要素の高い高木】 配植や樹種、樹形等から修景要素が高く、景観構成要素となっている高木。	【境界植栽（修景要素の低い高木）】 園路や広場、敷地の境界、遮へいとなる植栽としての役割を持つ高木。
管理水準		抑制管理を中心とし、きめ細かい管理を実施する。	自然成長を前提としつつ、枯損枝、支障枝は除去する保護的な管理を実施する。
標準年間実施回数	弱剪定	適宜	適宜
	強剪定	適宜	適宜

※高木管理については、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

第２８条 高木剪定工

１．一般事項

１）樹形の骨格づくり、樹形の整形、混み過ぎによる病害虫及び枯損枝の発生防止等を目的として、枝おろし、枝すかし、ふところすかし、切詰め、枝抜き、切返し、枝はさみ、枝うち、枝かき等の剪定方法を、樹種、形状及び選定の種類に応じてもっとも適切な方法により行うこと。

２）樹姿及び樹形の仕立て方は、特に修景上、規格形にする必要がある場合を除き、自然形に仕立てること。

３）剪定に当たっては、下枝の枯死を防ぐために原則として上方を強く、下方は弱く、また、南側等の樹勢の強い部分は強く、北側等樹勢の弱い部分は弱く剪定すること。

４）不定芽の発生原因となる「ぶつ切り」は原則として行わないこと。

５）花木は花芽の分化時期と養生位置に注意して剪定し、次期開花に影響を及ばさないこと。

６）剪定した枝葉は収集し、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するとともに樹木周辺をきれいに清掃すること。

７）剪定にあたっては、樹木単体だけでなく、公園として望ましい植栽景観づくりを視野に入れて、望ましい樹形の確保に努めること。

８）公園の景観維持及び樹木の生育等に支障があり、剪定だけでなく伐採の必要が生じた場合には、調査職員に報告すること。

９）園路沿い等の公園利用者の動線上の高木については、支障枝・枯枝等を適切に除去し、落ち枝等によるけがなどないよう努めること。

１０）調査職員の指示する景観上重要な樹木については、樹形の維持及び眺望の確保に努めること。

２．弱剪定

１）弱剪定とは枯枝、平行枝、徒長枝等樹木の生育上好ましくないものを樹木本来の形、枝張りのバランス等を考慮しつつ切除することをいう。

２）主として剪定すべき枝は、1）枯枝、2）成長の止まった弱小の枝、3）著しく病害虫におかされている枝、4）通風、採光、架線、人車の通行等の障害となる枝、5）折損によって危険をきたす恐れのある枝、6）樹冠、樹形及び生育上不必要な枝、である

３）病害虫枝、障害枝は全体の樹形を考慮しつつ剪定すること。

4）枝、弱小枝等はその枝の付け根から少し距離をおいて切りとること。
5）園路沿い等の並木については特に高さ、葉張り、下枝高さ等の樹形の統一を図りつつ剪定すること。

3．強剪定

1）強剪定とは弱剪定に加えて、樹形の整姿を目的として主枝及び主枝に準ずる枝の切除を行うことをいう。
2）芯は原則として止めない。やむを得ず摘芯する場合は、これに代わる別の芯を仕立てる。
3）古枝の先端部が大きなこぶとなっているもの、また割れ、腐れ等がある場合は、古枝の途中に良い方向の新生枝を見つけ、その部分から先端部を切り取り、若い枝と切返すものとする。

第２９条 ヤゴ取り工

ヤゴ取りは、やご（ひこばえ）、幹ぶき（胴ぶき）を剪定鋏、鋸等で剪定すること。

第３０条 高木施肥工

1．輪肥、車肥、壺肥を中心とし、肥料の種類、施肥の方法（寒肥、追肥等）及び各樹木の特性に応じて、もっとも効果が期待できるよう、施肥量については過去の実績を踏まえて業務責任者が判断して行うこと。（別紙－37「肥料、土壌改良材リスト」参照）
2．溝及び縦穴の掘削に際しては、樹根に損傷を与えないよう注意すること。

第３１条 高木支柱工

1．樹木の生育状況を常に観察し、樹木への食い込みや、支柱の劣化状況を判断し、ゆるみのないよう適切に作業を行うこと。
2．再結束の際に発生した古い杉皮やしゅろ縄等は、指定箇所にそれぞれ運搬・集積すること。
3．活着の状態が良く、支柱を外すことが可能と判断される場合は、調査職員に協議の上、作業を行う。取りはずした支柱材料については、指定箇所に運搬・集積すること。

第３２条 高木枯損木処理工

1．公園内の景観維持や倒木等による不測の事態から公園利用者に対する安全を確保するため、公園内を観察し、枯損木を発見し処分を行うこと。
2．伐採した樹木の幹及び枝葉は指定箇所に運搬・集積すること。

第３３条　高木補植工

1．植穴は樹木の鉢径に応じて余裕のある大きさに掘り、不良土、がれき等生育に有害なものを取り除いて行うこと。
2．埋め戻し土には、土壌改良材を施用し、よく攪拌して行うこと。
3．土が根に密着するように、水極めを行い、整地すること。
4．植栽後の養生として、必要に応じ支柱材の設置を行うこと。

第３４条 高木雑工・高木巡回工

1．高木雑工は、通常の作業とは異なる雑作業(倒木復旧、倒木撤去、枯枝・支障枝撤去、樹勢回復、土壌改良等)を行うこと。
2．高木巡回工は、高木植栽地を巡回し、軽微な灌水、クズ・カズラ等の除去、害虫の捕殺駆除、軽微な枯枝支障枝除去等の管理作業を行うこと。
3．実のなる木については、野生動物（クマ、サル）を誘引する可能性があることから、巡回時に野生動物の形跡を確認するとともに、近づいている形跡が認められる場合は、実を駆除するなどの対策を講じること。

第５章 林地管理

第３５条 管理水準

以下に示す管理水準を満たす樹林地管理を行うこと。（別添－32「林地管理区域図」参照）

ランク		利用林地（重点）	利用林地	保全林地
管理目標		植栽木や流れとともに景観を演出し、林内利用が出来る明るい樹林	植栽木や流れとともに景観を演出し、林内利用が出来る明るい樹林	【保全を主とする林地】 野生生物の生息生育環境の保全に配慮し、必要最小限の管理を行う樹林
管理水準		園路の周辺等の利用範囲に限って、下草刈り、枯損木・支障木の伐採等の管理を行う。		
標準年間実施回数	下草刈り	１回/年	１回/3 年	適宜
	間伐	適宜 （中長期的な視点から、施工区域を分割してローテーションにより実施する。）		
対象地	堀金・穂高地区	【田園文化ゾーン】 吊橋下広場、吊橋前広場、疎林広場、竜の広場、古墳の森、矢原沢の小径周辺	【田園文化ゾーン】 こどもの森、冒険の森、調整池周辺、第１駐車場周辺、第２駐車場周辺 【里山文化ゾーン】 里山の森づくりエリア、里山文化再生エリア、懐かしの風景エリア	【田園文化ゾーン】 公園管理センター周辺、レストラン周辺、須砂渡口周辺
	大町・松川地区	【センターゾーン】 【林間レクリエーションゾーン】	【センターゾーン】 【林間レクリエーションゾーン】	【渓流レクリエーションゾーン】 全域 【保全ゾーン】 全域 【自然体験ゾーン】 全域

※ 下草刈りについては、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

第３６条 林地除草工

１．林地内にあるごみ、空き缶等障害物はあらかじめ取り除くこと。

２．樹木、株物、柵等を損傷しないよう注意し、刈むら、刈残しのないよう刈り取ること。

３．樹木、株物、柵等の周辺も刈残しのないよう仕上げること。また、それにからんでいるつる性の雑草もきれいに除去すること。

４．案内板、消火栓等の施設が公園利用者によく見えるよう特に注意して刈り取ること。

５．調査職員が残すよう指示した樹木、草花類は刈り取らないよう注意して作業すること。

６．刈草は、調査職員の指示する箇所に運搬集積し、速やかに処理するとともに、刈跡はきれいに清掃すること。

７．見通しの悪い林地は、野生動物（特にクマ）の行動圏となることが予想されることから、過去の出没事例を参考に、特に公園利用者が近づく可能性のある区域については、明るい林地の形成に努めるとともに、段階的な間伐、下草刈りにより、常に人の手が入っている状況を作り出すように努めること。

第３７条 林地病虫害防除工

１．本公園内でマツ類の枯れが確認された場合は、調査職員に報告し、対応を協議すること。（別紙－39「樹幹注入」参照）

第３８条 林地間伐工

１．樹林地の健全な更新等を目的とし、生育不良木等の伐採対象木については、伐採を行うこと。作業実施の際は、周囲の安全性やその他の樹木を傷つけないように細心の注意を払い、原則として地際より切除すること。

２．伐採した樹木は、枝払いし、一定の長さに切断し、指定箇所に運搬処分を行うこと。

第３９条 林地枯損木処分工

１．公園内の景観維持や倒木等による不測の事態から公園利用者に対する安全を確保するため、常に公園内を観察し、枯損木を発見し処置を行うこと。

２．修景的な影響、危険度の低い枯木に関しては、一様に伐採対象とせず多様な自然環境を創出すること。

３．伐採した樹木の幹及び枝葉については、指定箇所に運搬処分を行うものとすること。

４．降雪の後は、林内及び林縁部で倒木及び倒木の恐れのある樹木が発生することが予想されることから、巡視により公園利用者の安全に影響する可能性がある樹木については、調査職員に協議の上、速やかの伐採を行うこと。

第４０条 林地雑工・林地巡回工

１．林地雑工は、通常の作業とは異なる雑作業、枝おろし、ロープ柵設置、支障枝撤去、倒木撤去、小規模伐開等を行うこと。

２．既存樹林地を観察し、クズ、カズラ等の除去、枯枝拾い・除去、小規模な人力草刈等の管理作業を行うこと。

３．猛禽類の営巣・繁殖時期においては、その状況に注意しながら巡回を行うとともに、その形跡が確認された場合は､別添－39｢国営アルプスあづみの公園における猛禽類保護のための配慮指針(抄)｣を参照し、営巣地周辺での間伐等の作業を控えること。

第６章 草地管理

第４１条 管理水準

堀金・穂高地区里山文化ゾーンの草地環境を対象に、マニュアルに基づき、適切に管理を行うこと。（別添－34「草地管理区域図」、別添－36「国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区 第３期地区野草育成管理マニュアル（抄)」参照）

第４２条　草地除草工

１．草地内にあるゴミ、空き缶等障害物はあらかじめ取り除くこと。
２．別添－38「貴重種一覧」に記載した種は刈り取らないこと。
３．貴重種保全を主とする草地では、あらかじめ貴重種の分布を確認し把握すると共に、刈り取りの際にも個体がないか注意をすること。
４．貴重種の確認された付近は、手刈りによる除草を行うこと。
５．刈草は収集し、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するとともに、刈り跡はきれいに清掃すること。

第４３条　草地耕耘工

１．古株雑草等は根より掘り起こし、土を払った後、指定箇所に運搬処理すること。
２．床面をトラクター等の機械により 30cm 程度まで掘り起こし、よく反転した後、大きいゴロ土やゴミを取り除き、凹凸のないよう一様にならすこと。

第７章 草花管理

第４４条 管理水準

１．以下に示す管理水準を満たす草花管理を行うこと。（別添－33「草花管理区域図（花畑管理・草花管理・花壇管理)」参照）

なお、草花管理においては、行催事の開催時期等に十分留意すること。

区分	対象エリア名称		目的・目標	管理水準
花畑	堀金・穂高地区	【里山文化ゾーン】 ・棚田エリア ・懐かしの風景エリア	田園景観と調和する花畑の景観を創出する。	旧耕作地を活用し、耕耘、播種、除草を効率的に行い、適期に開花期間を維持する。
	大町・松川地区	【林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ】 ・ﾚｷ原の花畑(ｱﾙﾌﾟｽ大草原)	季節に応じた良好な開花ローテーションを持続する。	除草や施肥、補植等の管理作業を実施し、常に良好な状態を維持する。
草花	堀金・穂高地区	【田園文化ゾーン】 野原・段々原っぱ、池・流れ周辺、段々花畑	当地域の季節の花々が見られるよう、常に良好な状態を維持する。	入口付近において常に美しい花が観賞できるよう維持する。
	大町・松川地区	【林間ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝｿﾞｰﾝ】 あづみの苑地		
花壇	堀金・穂高地区	【田園文化ゾーン】 ガイドセンター周辺（コンテナ花壇）、見晴らしの丘	草花の特性を熟知した上で、管理履歴を集積しながら、補植、株分けなどを実施	定期的な植替えはもとより、除草、消毒、花がら摘み等、きめ細やかな管理を行う。
	大町・松川地区	【センターゾーン】 入り口広場		

２．主な施設（エリア）における草花材料の選定の基本的考え方は以下のとおりとすること。

１）堀金・穂高地区

ａ）段々花畑

常念岳を背景に安曇野の景色を彩る四季折々の美しい草花が楽しめるよう、地域在来の草花を用いた修景を行うこととし、原則として平成 26 年度現在の種数（72 種）程度を確保すること。

【参考】段々花畑の草花（平成 26 年度実績）

開花期	種名(和名)
主に春に咲く植物	カタクリ、キクサギイチゲ、アマドコロ、イカリソウ、ウマノアシダカ、サクラソウ、シラン、ラショウモンカズラ、バイカイカリソウ、アヤメシバザクラ、ナルコユリ、ヒメシャガ、ミヤマナルコユリ、シラネアオイ、キリンソウ、テカリダケキリンソウ、クサフジ
主に夏に咲く植物	アスチルベ、オオタカネバラ、オカトラノオ、タカネバラ、ヤマホタルブクロ、イブキジャコウソウ、キバナノヤマオダマキ、ヒオウギアヤメ、ミヤマオダマキ、ヤマオダマキ、オニシモツケ、ギボウシ、ウスゲヤナギラン、オオバギボウシ、クガイソウ、コバギボウシ、コマクサ、シコタンハコベ、シコタンソウ、シモツケソウ、タカネナデシコ、ニッコウキスゲ、ミソハギ、ミヤマアズマギク、ミヤマキンポウゲ、ヤブカンゾウ、チダケサシ、ヌマトラノオ、キキョウ、コオニユリ、トモエソウ、ユウスゲ、カワラナデシコ、ゲンノショウコ、ユウガギク、
主に秋に咲く植物	カライトソウ、フジバカマ、ヤマハココ、ヤマルリトラノオ、アキノキリンソウ、オトコエシ、オミナエシ、サワヒヨドリ、サラシナショウマ、ツリガネニンジン、ヒヨドリバナ、マツムシソウ、ワレモコウ、ノコンギク、ゴマナ、ツメレンゲ、リンドウ、リュウノギク、
シダ植物	クサソテツ

ｂ）野原・段々原っぱ

園路周辺、芝生法面等を活用し、比較的大規模な花修景を、春（ゴールデンウィーク前後）及び秋（９～１０月）に見頃を迎える草花を用いた修景を行う。園芸種を用いることも可とするが、

別紙P114

周辺地域での比較的大規模な花修景事例を踏まえて種類を選定することとし、１～２種類とすることが望ましい。

c）池・流れ周辺

水辺を好む在来の草花の選定に努めること。また、現在、オオルリシジミの食草であるクララが池周辺に植栽されており、その保全・増殖に努めること。

d）見晴らしの丘

比較的大規模な花修景を、春（ゴールデンウィーク前後）及び秋（９～１０月）に見頃を迎える草花を用いた修景を行う。まとまった面積での修景が可能であり、本公園及び地域の特色が醸し出される草花の選定を行うよう努めること。

e）棚田エリア

棚田（旧耕作地）を活用し、田園景観との調和に配慮しつつ比較的大規模な花修景を春～秋に行うこととし、田園景観と調和するレンゲ、ナノハナ、ヒマワリ、ソバ、コスモス等を選定し、植栽すること。

f）懐かしの風景エリア

旧耕作地を活用し、安曇野の田園景観の維持、再現の観点から、レンゲ、ナノハナ、ヒマワリ、コスモスなど当地域の田園景観に調和する種類による花修景を春～秋にかけて行うこと。また、当該地域には貴重種が多数存在することから、それらの保護・育成拡大に努める。(別添－38「貴重種一覧」参照)

2）大町・松川地区

a）あづみの苑地

高山性の草花を含めた当地域に生息する草花を選定することとし、原則として平成 26 年度現在の種類数（57 種）程度を確保すること。

【参考】あづみの苑地の草花（平成 26 年度実績）

開花期	種名(和名)
主に春に咲く植物	ラショウモンカズラ、ムラサキツユクサ、カキツバタ、ガンコウラン、アカモノ、シラネアオイ、ベニバナイチヤクソウ、アケボノショウマ
主に夏に咲く植物	ウラシマツツジ、クロマメノキ、コメバツガザクラ、ショウジョウバカマ、タヌキラン、ヒオウギアヤメ、ミネズオウ、ヤグルマソウ、イブキジャコウソウ、オニシモツケ、グンナイフクロウ、シモツケソウ、チングルマ、ニッコウキスゲ、ハクサンコザクラ、ミヤマオダマキ、キツリフネ、アオノツガザクラ、イブキトラノオ、カライトソウ、ギンバイソウ、クガイソウ、コケモモ、コマクサ、シキンカラマツ、シコタンソウ、シナノナデシコ、タカネナデシコ、チシマギキョウ、ハクサンフウロ、ミヤマアズマギク、ミヤマキンバイ、ミヤマキンポウゲ、ミヤマダイコンソウ、ユウスゲ、ウスゲヤナギラン、トモエソウ、ハンゴンソウ、ヤマホトトギス
主に秋に咲く植物	オヤマリンドウ、シロウマアサツキ、ソバナ、タマガワホトトギス、タムラソウ、ツリフネソウ、ツリガネニンジン、マツムシソウ、アサギリソウ、ダイモンジソウ

b）レキ原の花畑

比較的大規模な花修景を、春～秋に見頃を迎える草花を用いた修景を行う。まとまった面積での修景が可能であり、本公園及び地域の特色が醸し出される草花の選定を行うよう努めること。

第４５条 草花材料一般

1．花苗は発育良好で病害虫に侵されていないものとし、あらかじめ植え出しに耐えるよう栽培され、

細根の多く発生している徒長していない均一な型姿のものを使用すること。

２．球根はよく充実し、傷がなく、病害虫に侵されていないものとすること。

第４６条 草花耕耘工

１．古株雑草等は根より掘り起こし、土を払った後、指定場所に運搬処理すること。

２．草花面は床土をシャベル等により 20～30cm 程度まで掘り起こし、よく反転した後、大きいゴロ土やゴミを取り除き、凸凹のないよう一様にならすこと。

第４７条 草花植栽工

１．前花の撤去は根に付着した土を除き、抜根除去を行うこと。

２．抜き取った草花は、指示箇所に運搬、処分を行うこと。

３．植付け前には、地拵え（簡易な土壌改良、元肥、耕耘等）、花苗配植を行い植えつけること。

４．植付け後は十分な潅水をすること。

第４８条 草花除草工

１．人力による抜根除草とする。

２．抜き取った雑草は収集し、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するとともに、除草後はきれい に清掃する。

３．根に付着した土を除いた後収集し、調査職員の指示する場所に運搬・堆積するものとする。

第４９条 草花刈払工

１．肩掛け式刈払機により、地上高さ３ｃｍ程度に刈り取りを行うものとし、刈り取った茎葉は、指定箇所に運搬処分を行うこと。

２．既存の草花に留意して選択的に刈払うこと。

第５０条 草花施肥工

１．元肥は、過去の実績を踏まえ、業務責任者が適切と判断した施肥量を均一にまき、くわ、シャベル等により床上の中によくすき込むこと。

２．追肥は肥料の種類及び植物の生育状況に応じ、業務責任者の判断により、もっとも効果的な方法により行うこと。（別紙－37「肥料、土壌改良材リスト」参照）

第５１条 草花防除工

草花病虫害防除工は、中低木防除工（薬剤散布）に準ずる。

第５２条 草花雑工・草花巡回工

１．草花雑工は、通常の作業とは異なる雑作業（チップ敷き均し、耕耘、育苗、堀上げ、スプリンクラー設置・撤去プランター設置・撤去・移動、株分け、マルチング等）を行うこと。

２．草花巡回工は、草花植栽地を巡回し、軽微な潅水、花がら摘み、ピンチ、摘心、誘引、採種、育苗等の管理をきめ細やかに管理作業を行うこと。

第８章特殊管理

第５３条　対象

本章は、耕作地管理工、特殊庭園工について、適用する。（別添－35「特殊管理区域図」参照）

また、耕作地内では、レンゲ、ナノハナ等の栽培も行うこと。栽培場所については、開園後の状況に応じて判断すること。

なお、耕作地管理工の区域は、開園後の土地の状況に応じて変更する場合がある。

第５４条　耕作地管理工

１．管理水準

堀金・穂高地区里山文化ゾーンの旧耕作地を対象に、以下に示す管理水準を満たす耕作地管理を行うこと。

なお、耕作地管理においては、行催事の開催時期等に十分留意すること。

２．畑

１）農作物材料一般

a）播種栽培に用いる種は病害虫に侵されていない、有効期限内のものとすること。

b）苗は発育良好で病害虫に侵されていないものとし、あらかじめ植え出しに耐えるよう育苗された苗を使用すること。

２）畑地耕耘工

a）播種前に土壌の団粒化・乾土効果の促進、雑草防除のため、よく耕耘を行うこと。

３）畑地作付け工

a）収穫後の撤去は根に付着した土を除き、抜根除去を行うこと。

b）抜き取った作物は、指示箇所に運搬、処分を行うこと。

c）植付け前には、地拵え（簡易な土壌改良、元肥、耕耘等）を行い植えつけること。

d）植付け後は十分な潅水をすること。

４）畑地施肥工

a）元肥は、作物の播種前に行うこと。

b）追肥は肥料の種類及び植物の生育状況に応じ、業務責任者の判断により行うこと。

５）畑地水管理

a）排水溝設置：耕作及び整地後、ほ場が過湿による根腐れを起こし、生育と収量に影響を及ぶことを防ぐため、降雨後の場合においても速やかに表層水を排水できるように明渠を掘ること。

b）排水溝補修：明渠が埋まり、排水状況が悪い場合は、再度明渠を掘りなおし、生育環境を維持すること。

６）病害虫防除工

a)病害虫が発生した場合、業務責任者の判断により必要があれば、薬剤を散布すること。

b)連作障害を避けるため、輪作等の対策を適宜行うこと。

７）収穫

刈り取り後は、速やかに乾燥させること。また、体験プログラム等で利用すること。

８）畑地雑工・畑地巡回工

a）畑地雑工は、通常の作業とは異なる雑作業（チップ敷き均し、耕耘、育苗、堀上げ、スプリ

ンクラー設置・撤去プランター設置・撤去・移動、株分け、マルチング等）を行うこと。

b）畑地巡回工は、農園を巡回し、軽微な潅水、花がら摘み、ピンチ、摘心、誘引、採種、育苗、野生動物による食害対策等の管理をきめ細やかに行うこと。

3．水田

1）農作物材料一般

a）育苗に用いる種籾は病害虫に侵されていないものとすること。

b）苗は発育良好で病害虫に侵されていないものとし、あらかじめ植え出しに耐えるよう育苗された苗を使用すること。

2）水田耕耘工

a）土壌の団粒化の促進や乾土効果を促すため、田起こしを行うこと。

b）苗の作付前に、水田に水を入れて代かきを行うこと。

c)収穫が終わったあと、土壌の団粒化の促進や乾土効果を促すため、荒起こしを行うこと。

3）水田作付け工

a）作付は、作物の特性に応じた方法、密度により行うこと。

4）水田除草工

a)イネの生育に支障がないように、水田内の雑草の除草を行うこと。

5）水田施肥工

a）元肥、追肥、穂肥は肥料の種類及び植物の生育状況に応じて、業務責任者の判断により、もっとも効果的な方法により行うこと。

6）水田水管理

a）田植え後、大雨による増水や、渇水による減水に対して、苗の成長に適した水位を保つこと。

b）根からの酸素補給や過剰な茎数分げつの抑制を行うため、田植えから１カ月程度後に、田んぼに溝を切り、田んぼの水を抜いて、中干を行うこと。

c）水管理に伴う水利組合との調整を図ること。

d)園内に存在するため池の水利用を行うこと。

7）病害虫防除工

害虫駆除を行うため、適宜畦草刈りを行うこと。

8） 収穫

a）刈取した稲は、脱穀し、乾燥調製させ、籾すりにより玄米として、品質劣化を防ぐため、適切な温度のもと貯蔵すること。 また、体験プログラム等で利用すること。

b）刈った藁は、次年度の水田の堆肥として使用するため、所定の場所に積置きすること。

8）水田雑工・水田巡回工

a）野生動物による食害対策等の管理を行うこと。

第５５条 特殊庭園工

1．管理水準

あづみの学校周りの植栽について、教育的目的および自生動植物の適切な保全・利用が可能な品質を確保すること。

2．管理内容

1）あづみの学校周りにおける、理科教室展示植栽、社会科教室展示植栽、森の庭流れ等において現況

の植栽景観を維持する管理作業を行うこと。（別添－35「特殊管理区域図」参照）

2）理科教室展示植栽、社会科教室展示植栽、森の庭流れ等の簡易な巡回作業を行うこと。

別紙－9

H28-31 国営アルプスあづみの公園
収益施設等管理運営規定書

平成２７年７月

目次

はじめに

第１編　国営アルプスあづみの公園収益施設等管理運営共通規定書

第１章　総則 …… 1
第２章　マネジメント（運営管理） …… 16
第３章　ホスピタリティ（施設利用者対応） …… 21
第４章　安全衛生管理 …… 23
第５章　施設管理 …… 29
第６章　財産管理 …… 31

第２編　国営アルプスあづみの公園収益施設等管理運営個別規定書

第１章　飲食・物販施設 …… 32
第２章　自動販売機 …… 37
第３章　自主事業における行催事等の実施 …… 39

はじめに

本規定書は、国営アルプスあづみの公園（以下、「本公園」という。）の一元的な運営維持管理を進めるにあたり必要な公園利用者サービス向上のための収益施設である飲食・物販施設、自動販売機の管理運営業務及び自主事業において、遵守すべき法令類や規範等の基本事項を取り纏めたものである。

本公園の運営維持管理業務を実施する事業者が独立採算で行う収益施設等管理運営業務の指針として、また許可申請時における管理運営要領の作成に際して、本規定書を参考にされたい。

第１編　国営アルプスあづみの公園収益施設等管理運営共通規定書

第１章 総則

第１条 履行場所及び履行期限

１．履行場所

施設名称　　国営アルプスあづみの公園

所在地　（堀金・穂高地区）　長野県安曇野市堀金烏川 33-4

（大町・松川地区）　長野県大町市常盤 7791-4

敷地面積（堀金・穂高地区）　93ha　注）

（大町・松川地区）　246ha　注）

合計　339ha

注）　本業務の対象敷地は国営アルプスあづみの公園（以下「本公園」という。）の供用区域であり、その面積は、平成 27 年 6 月現在 148ha である。

平成 28 年度に、堀金・穂高地区の里山文化ゾーン 49ha、大町・松川地区の自然体験ゾーン 142ha を追加供用する予定である。

※別添－40「収益施設管理運営対象区域図」を参照すること。

うち収益施設許可面積　605㎡（自動販売機を除く）

■対象となる収益施設

地区	区分	施設名称	運営施設規模	施設構造
堀金･穂高地区	飲食施設	レストラン	管理運営面積：278 ㎡	木造
	物販施設	ガイドセンター売店	管理運営面積：　64 ㎡	木造
	自動販売機	自動販売機（注）	台数：15 台 設置面積：23 ㎡	
大町･松川地区	飲食施設	レストラン	延床面積：　193 ㎡ 外構部　：　20 ㎡	木造
	物販施設	インフォメーションセンター売店	延床面積：　50 ㎡	木造
	自動販売機	自動販売機（注）	台数：9 台 設置面積：14 ㎡	

※飲食･物販施設については全て裁量施設とし、本公園の開園日時内で運営日時等を設定できる。ただし、当該施設の運営を行わない期間においても、第 14 条に定める当該施設に係る施設使用料を納める必要がある。

※自動販売機については全て裁量施設とする。自動販売機の台数及び設置面積は、平成 26 年度末現在のものであり、レストラン及び売店内（都市公園法第５条の設置管理許可区域内）の設置台数は含まれない。平成 28 年度～平成 31 年度（平成 32 年１月まで）の期間における設置台数については、平成２８年度の追加供用を踏まえ、調査職員と協議の上決定する。

２．履行期限

管理運営期間は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 1 月 31 日までとするが、収益施設の現任施設等運営者あるいは収益施設の次期施設等運営者への引継ぎに際し、期間を変更することがある。ただし、期間の変更により発生する売上額の減少等損失について、関東地方整備局は補償しない。また、利用者の利便性の確保及び公園全体のマネジメントの観点から、期間変更時に収益施設の現任施設等運営者あるいは収益施設の次期現任施設等運営者の指示を受けることがある。

施設等運営者は、収益施設等管理運営業務（以下「本業務」という。）が適正かつ円滑に実施できるよう収益施設の現任施設等運営者から業務開始日までに必要な引継ぎを受け、開業に備えなければならない。

第２条 基本事項

本公園の一元的な運営維持管理を進めるにあたり必要な公園利用者サービス向上のための収益施設である飲食・物販施設（自動販売機を含む）の管理運営業務及び自主事業（独立採算により実施する臨時の飲食・物販施設及び行催事）からなる本業務は、都市公園法第５条、第６条または第12条の手続きを行った上で実施しなければならない。

第３条 本業務の目的

１．本業務は、本公園内に設定された許可区域内の収益施設の管理運営を行うこと、また、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算により行う行催事や繁忙期における臨時物販施設等の自主事業を行うことを目的とする。なお、本業務の実施に際して施設等運営者は、以下に掲げる本公園の設置目的や基本テーマ、運営維持管理基本方針、本公園全体のゾーン構成を十分に理解した上で、本公園内で実施される他の維持管理業務と連携しながら、創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、公園利用者及び施設利用者が求める多様なニーズに対して質の高いサービスの提供で応えることで、本業務の遂行に努めなければならない。

本公園の設置目的、基本テーマ、基本方針、公園全体のゾーン構成

１）基本理念

「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間活動の実現－自然の中で感性を育む遊・創・空間－」

２）運営維持管理基本方針

① 公園及び周辺の環境を踏まえ、生物多様性の保全に配慮した維持管理を行うともに、自然的環境に関する普及啓発を推進する。

② 公園及び周辺が有する環境や景観、文化を活用し、広域的な誘客が期待できる行催事や体験プログラムの構築と提供を行う。

③ 昔ながらの里山を守り育てる文化・技術を継承する場として、各種体験プログラムの提供とともに、適切な植生管理等を通じ周辺地域と一体となった良好な景観の形成を図る。

④ 地域と連携した各種行催事の展開など、周辺地域への回遊・滞在を誘発するような取り組みを通じ、地域活性化に貢献する。

⑤ 地域の観光情報発信拠点としての役割を果たすとともに、地域の自然や文化、暮らし等に関する情報発信に努める。

⑥ 多様な立場や世代からの知見や参加を、公園周辺地域を中心に幅広く取り入れ、運営維持管理体制の充実を図る。

第４条 用語の定義

本規定書にて使用する用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

1）「関東地方整備局」とは、国営公園の公園管理者であり、H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務の発注者のこと。

2）「収益施設」とは、公園利用者サービスの向上を図るため、事業者が実施する独立採算により管理運営を行う施設であり、その使用に当たっては、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設使用料または建物使用料及び土地使用料を納めることが必要となる場合がある。

3）「自主事業」とは、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、関東地方整備局と事前に協議し、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条、第６条又は第 12 条に基づく許可を受けた上で、事業者の提案により土地使用料等を納めて独立採算により臨時の飲食・物販施設の運営や行催事を行う事業のこと。

4）「施設等運営者」とは、収益施設の管理運営に関する許可を受けた事業者のこと。

5）「調査職員」とは、本規定書に定められた範囲内において、施設等運営者又は施設等運営者の指定する職員に対する指示、承諾又は協議等の職務を行う委託者の指定する職員で、総括調査職員、主任調査職員及び調査職員の総称のこと。

6）「維持管理業務受託者」とは、H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務を受託した事業者のこと。

7）「収益施設等管理運営業務責任者」とは、施設等運営者として本規定書第２編国営アルプスあづみの公園収益施設等管理運営個別規定書に記載されている本業務全体を監理する者のこと。

8）「施設担当責任者」とは、施設等運営者として各収益施設を個別に監理する者であり、主に各収益施設の利用指導や事故報告等を担当する業務従事者のこと。

9）「公園利用者」とは、有料区域・無料区域を問わず、公園を利用する者のこと。

10）「施設利用者」とは、収益施設を利用する者のこと。

11）「許可区域」とは、本業務の管理運営を許可された範囲内のこと。

12）「管理施設」とは、許可区域内にある建築躯体及び建築設備等施設のこと。

13）「裁量施設」とは、公園の開園日時内で運営日時を事業者が設定し営業する施設のこと。

14）「管理備品」とは、本業務の実施に必要な機器備品類で、あらかじめ許可区域内もしくは建築施設内に設置されているもののこと。

15）「特定備品」とは、本業務の実施に必要な厨房器具、什器及び運営に必要な設備等機器備品類で、施設等運営者が持ち込んだもののこと。

16)「指示」とは、本規定書の定めに基づき、関東地方整備局が施設等運営者に対し、本業務の実施上必要な事項について書面をもって示し、実施させること。また、関東地方整備局長が維持管理業務受託者に対し、業務の適切かつ確実な実施を確保するために必要があると認められるときに、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 27 条第 1 項に基づき、必要な措置をとらせること。

17)「承諾」とは、施設等運営者が関東地方整備局に対し、書面で申し出た業務の遂行上必要な事項について、関東地方整備局が書面により同意すること。

18)「協議」とは、本規定書の協議事項及び関東地方整備局が指示する事項について、関東地方整備局と施設等運営者が対等の立場で合議すること。

19)「確認」とは、本規定書に示された事項について、臨場若しくは関係資料によりその内容について本規定書との適合を判断すること。

20)「提出」とは、施設等運営者が関東地方整備局に対し、業務に係わる事項について書面またはその他の資料を説明し、差し出すこと。

21)「報告」とは、施設等運営者が関東地方整備局に対し、業務の遂行に係わる事項について、書面をもって知らせること。

22)「書面」とは、手書き、印刷物等の伝達物のこと。発行年月日を記録し、署名または捺印したものを有効とする。ただし、緊急を要する場合は、ファクシミリまたは電子メールにより伝達できるものとするが、後日有効な書面と差し替えるものとする。電子納品を行う場合は、別途調査職員と協議するものとする。

23)「利用料金」とは、収益施設の使用やそれに伴うサービスの対価として、施設利用者から徴収する料金のこと。

24)「施設使用料」とは、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設等運営者が関東地方整備局に納める公園の土地または建物の使用にかかる料金のこと。

25)「建物使用料及び土地使用料」とは、本公園の土地または建物を使用して臨時的な飲食・物販施設等を設置する場合及び自主事業として開催する行催事に必要な仮設工作物を設置する場合に、「行政財産を使用又は収益させる場合の取り扱いの基準について」（昭和 33 年蔵管第 1 号）に基づき関東地方整備局から金額を通知し、施設等運営者が関東地方整備局に納める料金のこと。

26)「修繕」とは、施設若しくは設備又は備品等の劣化した部分又は部材について、性能又は機能を原状あるいは事実上支障のない状態まで回復させること。

27)「軽微な修繕」とは、電球等の交換や壁紙の一部補修等、市販の交換品や補修材を使用して専門の業者に委託することなく対応可能な修繕行為のこと。

28)「改修」とは、施設の性能又は機能を従前より向上させる措置を行うこと。

29)「保守」とは、施設設備又は備品等の必要とする性能または機能を維持する目的で行う消耗品または材料の取り替え、注油、汚れ等の除去及び部品の調整等の軽微な作業を行うこと。

30)「点検」とは、施設若しくは設備又は備品等の機能及び劣化の状態を一つ一つ調べること。機能に異常または劣化がある場合、必要に応じて対応処置を判断する事を含む。

第５条 許認可申請等

１．施設等運営者は、関東地方整備局に都市公園法第５条、第６条又は 12 条に基づく許可申請を行うものとする。基本的には、「H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項　４．入札に参加する者の募集に関する事項」に基づき提案される様式－3「収益施設運営計画」及び本規程書に記載されている条件によるものとする。ただし、申請された事業内容が本公園の利用にふさわしくない場合等、その実施を許可しない場合がある。その場合でも本業務が適切に実施できるよう指定された期日までに修正した上で申請すること

なお、臨時売店については、「本規定書第２編第１章第 55 条 繁忙期の対応」による設置場所、設置期間に限り、営業を許可するものとする。（別紙－42「臨時物販施設等一覧」参照）

２．間取りの変更や増築等面積の変更、建物躯体に影響を及ぼす造作等大規模な改修等、許可の変更を要する場合は、関東地方整備局と協議の上、管理許可の変更申請を行う。さらに、業務を完了する場合は廃止に係る手続きを行うものとする。

３．施設等運営者は、実施する事業に係る許認可等各種法令で必要な許可の取得や届出については、所定の期日までに施設等運営者の責任で行うものとする。また、業務を完了する場合は、廃止に係る手続きを行うものとする。

第６条 法令等の遵守

施設等運営者は、業務の履行に当たり本規定書及び関東地方整備局の指示に従うほか、法令の規定を遵守しなければならない。

第７条 準拠規定

本業務の遂行にあたっては、次の各号に掲げる基準等に準拠する。

１）都市公園法
２）建築基準法
３）景観法、屋外広告物法
４）消防法、（消防庁）
５）建築物における衛生的環境の確保に関する法律
　建築物環境衛生管理基準（厚生労働省）
６）水道法
７）電気事業法
８）高圧ガス保安法
９）ボイラー及び圧力容器安全規則
10）食品衛生法
11）官公法
12）下水道法
13）浄化槽法
14）環境基本法
15）大気汚染防止法

16）水質汚濁防止法
17）騒音規制法
18）振動規制法
19）悪臭防止法
20）廃棄物の処理及び清掃に関する法律
21）地球温暖化対策の推進に関する法律
22）リサイクル法（容器包装リサイクル法、建設リサイクル法、食品リサイクル法）
23）エネルギー使用の合理化に関する法律
24）建設業法
25）労働基準法、労働安全衛生法
26）高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律
27）高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
28）移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令
29）移動等円滑化の促進に関する基本方針
30）都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン
31）公園のユニバーサルデザインマニュアル
32）原状回復をめぐるトラブルとガイドライン（改訂版）
33）建築保全業務共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
34）個人情報の保護に関する法律
35）遺失物法
36）国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律
37）都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂版）
38）著作権法
39）長野県暴力団排除条例
40）その他、関係諸法令等

第８条　施設等運営者の義務

１．施設等運営者は、常に公園利用者及び施設利用者の安全に配慮するとともに、施設等運営者の責任において常に施設を含む周囲の観察を行い、本業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。なお、異常を確認した場合、速やかに関東地方整備局に報告しその指示に従うものとする。
２．施設等運営者は、施設が国営公園内にあることに鑑み、その公共性に十分配慮すると共に、本公園の設置目的を踏まえて行動すること。
３．収益施設の適正な管理を保持しつつ、施設の管理運営に際して創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、本業務の遂行に努めること。
４．施設等運営者は、関東地方整備局が行う「国営アルプスあづみの公園定例会」（月１回）に出席し、収益施設の運営状況の報告を行うこと。
５．施設等運営者は、関東地方整備局が行う安全管理行為（例：緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練等）への参加・協力・実施等、関東地方整備局の求めに応じて、

別紙P128

積極的に協力することとする。

6．施設等運営者は、関東地方整備局が行う事業（例：公園に関する会議、監査・検査、視察、式典等）への参加・協力、行催事開催時における営業時間の変更、要人案内等、関東地方整備局や維持管理業務受託者の求めに応じて、積極的に協力することとする。

7．施設等運営者は、関東地方整備局から本公園に関する調査、または作業の指示等があった場合には、誠実かつ積極的な対応を行うこととする。

8．管理運営要領の策定及び管理運営に際して、維持管理業務受託者と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施することとする。

9．自主事業の企画・運営にあたっては、別添－4「行為の禁止等に関する取扱要領」を参考にすることとする。

１０．施設等運営者は、本業務の実施にあたって、常に関東地方整備局と密接な連絡をとり、本業務の目的の達成を図るものとし、その実施状況を記録しておくこととする。

第９条 景観への配慮

施設等運営者は、収益施設の運営、特に飲食・物販施設の運営においては、施設周辺の景観を阻害することのないよう、景観への配慮に努めなければならない。

第１０条 関東地方整備局と施設等運営者の責任分担

本業務を実施するにあたり、関東地方整備局と施設等運営者の責任分担を下表「責任分担一覧」のとおりとする。ただし、「責任分担一覧」に定める事項に疑義が生じた場合、又は、「責任分担一覧」に定めのない事項については、関東地方整備局と施設等運営者の間で十分に協議のうえ決定するものとする。

関東地方整備局と施設等運営者の責任分担一覧

項目	内容	関東地方整備局	施設等運営者
収益業務管理	収益行為全般		○
収益施設管理	供用区域内の管理施設、管理備品の管理		○
苦情・要望対応	施設管理運営業務内容に対する施設利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○
	上記以外の場合	○	
事故・災害時対応	管理運営要領に記載された業務内容による対応		○
	施設等運営者の責めに帰する事由により発生した事故責任とその対応	○※1	○
	上記２項目以外の場合	○	
運営日時の変更	施設の運営日時の変更に伴う経費の増減		○
施設・物品等の修繕	施設等運営者の責めに帰すべき事由による場合（施設等運営者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）		○
	収益施設の建物及び国所有園内交通施設の構造に関わる部分を除く修繕にかかる費用		○
	上記２項目以外の場合	○	
不可抗力	大規模な自然災害等の不可抗力により著しい損害を受けた場合に、施設を一時休止するなどして行わなければならない施設、設備等の復旧等	○	○※2
	大規模な自然災害等に起因して施設の営業を一時休止する場合に発生する営業損失		○
公園利用者及び施設利用者への損害	施設等運営者の責めに帰すべき事由により、公園利用者及び施設利用者に損害を与えた場合（施設等運営者の不適切な施設管理による公園利用者及び施設利用者の怪我等）		○
	本規定書第２３条の保険の付保に係る場合		○
	上記以外の場合	○	
関東地方整備局又は第三者への損害	施設等運営者の責めに帰すべき事由により、関東地方整備局又は第三者に損害を与えた場合		○
	上記以外の場合	○	
第三者との紛争	施設等運営者と第三者との間で生じた紛争の解決		○
	上記以外の場合	○	

※1　事故の処理にあたり、必要のあるときは、関東地方整備局は施設等運営者に協力する。

※2　収益施設に関する備品を対象とする。

第１１条 公租公課

１．施設等運営者は、厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置等により賦課される不動産取得税、固定資産税、都市計画税、償却資産税その他の公租公課について全て施設等運営者の負担とする。

２．施設等運営者は、地方税法第７３条第７項（不動産取得税の納税義務者等）に定める手続き等、施設等運営者の賦課資産に係る公租公課の分離手続について関東地方整備局に協力するものとする。

第１２条 運営日時等

１．収益施設の運営日時に関しては、表２の開園期間及び時間内において、個別施設の各章で定める運営日時とすることを原則とするが、施設の特性に応じ、開園期間及び時間内において適宜設定することとし、関東地方整備局との協議の上決定するものとする。(下記を参照)。

表２　開園期間及び時間

エリア	開園期間	開園時間
供用区域	３月　１日～　６月　30 日	9:30～17:00
	７月　１日～　８月　31 日	9:30～18:00
	９月　１日～　10 月　31 日	9:30～17:00
	11 月　１日～　２月　末日	9:30～16:00

※休園日は 12 月 31 日、1 月 1 日及び毎週月曜日（月曜日が休日の場合は直後の平日）とする。但し、月曜日のうち、4 月 27 日から 5 月 6 日、7 月 20 日から 8 月 31 日の各期間、休日の場合及び日曜日と休日にはさまれている場合は開園日とする。
※開園日はイベント等により変更する場合がある。(別紙-18「開園時間延伸状況」参照)
※施設等運営者は、関東地方整備局からの臨時休園・時間短縮延長の通知に従うこと。

なお、以下のとおり無料入園日を設けることとし、当該年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

・春の都市緑化推進運動　：　４月１日～６月 30 日【期間中１日】
・秋の都市緑化月間　：　10 月１日～10 月 31 日【期間中２日】
・みどりの日　：　５月４日【１日】
・児童福祉週間　：　５月５日【１日】
　※小学生若しくは中学生又はこれらに相当する者のみ無料
・敬老の日　：　９月第３月曜日【１日】
　※満６５歳以上の者のみ無料

２．関東地方整備局が、天変地異、社会的状況の著しい変化及び公園管理上の理由その他やむを得ない事由により、施設等運営者に対し一時休業若しくは営業廃止又は営業時間の変更を指示したときは、施設等運営者は異議を申し立てることはできないものとする。
３．関東地方整備局は、前項の規定により施設等運営者が一時休業若しくは営業廃止または営業時間の変更を行ったことによる損害について、その補填の責任は負わないものとする。
４．施設等運営者の都合により施設を運営する日時等を変更する場合は、あらかじめ関東地方整備局と協議を行った上で、協議の結果を記載した文書にて関東地方整備局に申請しなければならない。

第１３条 提供品目及び利用料金

１．収益施設において提供・販売しようとする品目を定めるに当たっては公園利用者の要望等を配慮して定めること。

２．施設等運営者が、本規定書に基づき収益施設の管理運営を行うに当たっては、販売料金を施設利用者の見やすいところに表示すること。ただし、販売料金が既に販売商品等に表示されていて、その価格が一般的に知られているものについては、この表示を省略することができる。

第１４条 国有財産の施設使用料

１．施設使用料の定めがある施設について

毎月の施設使用料については、歳入徴収官関東地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、当月分を指定期日までに納入しなければならない。

指定期日までに施設使用料を支払わないときは、その翌日から納入の日までの日数に応じ、年５％の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

関東地方整備局長は、経済情勢の変動その他の事情の変更に基づいて特に必要があると認める場合には、施設使用料を改定することができる。

なお、風水害その他の事業者の責に帰すことが出来ない事由により、長期間閉園が生じた場合の施設使用料の取扱については、関東地方整備局と施設等運営者の間で協議するものとする。

■施設使用料（２６年度参考値）

公園施設の名称	税抜き施設使用料
国営アルプスあづみの公園収益施設　1式	約 13,6 万円

※面積等条件の変更により金額は増減する可能性がある。

【個別施設毎の施設使用料】（２６年度参考値）

地区	区分	施設名称	税抜き施設使用料
堀金･穂高地区	飲食施設	レストラン	59,000 円/月
	物販施設	ガイドセンター売店	14,000 円/月
	自動販売機	自動販売機	4,500 円/月
大町･松川地区	飲食施設	休憩棟内レストラン	59,000 円/月
	物販施設	インフォメーションセンター売店	11,000 円/月
	自動販売機	自動販売機	2,600 円/月

※施設使用料は「行政財産を使用又は収益させる場合の取扱いの基準について」（S33.1.7 蔵管１号）に基づき算定し、毎年４月１日に前年次使用料との調整を行い改定する予定である。

※自動販売機は、レストラン及び売店の区域内に設置する台数を除く。

※施設使用料全体額と個別施設毎の施設使用料合計額が合致しないのは、端数調整によるものである。

※施設等運営者の企画提案等により収益施設の運営日時を変更した場合でも、施設使用料の減額は行わない

２．許可申請毎に納入すべき施設

施設等運営者は、施設使用料の定めのない土地または建物を使用する場合は、許可申請毎に占用面積及び期間に応じ告知する建物使用料又は土地使用料を歳入徴収官関東地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、納入告知の日から２０日以内に納入しなければならない。

期日までに建物使用料又は土地使用料を支払わないときは、その翌日から納入の日までの日数に応じ、年５％の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

関東地方整備局長は、経済情勢の変動その他の事情の変更に基づいて特に必要のあると認める場合には、建物使用料及び土地使用料を改定することができる。

【参考：個別施設毎の建物使用料及び土地使用料について】（２６年度参考値）

	公園施設	税抜き施設使用料（円／回）
1	臨時売店	（都度告知）

※　平成２６年の土地使用料は最大 7 円／年・m2、建物使用料は最大 2,546 円／年・m2 であった。

※　［建物の占用］及び［土地の占用で占用期間が１ヶ月を超えない場合］は、別途消費税が課される。

※　建物使用料及び土地使用料は、「行政財産を使用又は収益させる場合の取扱いの基準について」（S33.1.7 蔵管第１号）に基づき算定し、平成２８年４月１日に前年次使用料との調整を行い改定する予定である。

第１５条 経費等の負担

１．施設等運営者の負担範囲

１）本業務に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く）の費用、許可区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、管理備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修または改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。なお、委託費で購入した設備、備品及び消耗品等を本業務に使用することはできない。

２）施設等運営者が管理する収益施設に係る法定点検については原則施設等運営者が点検を行うものとし、国事務所が実施する法定点検との役割分担について協議の上、実施時期を国事務所に報告すること。点検結果については遅滞なく国事務所に書面により報告すること。

３）上記以外に定めのない費用については、関東地方整備局と協議を行い、協議録を保管するとともに書面をもって負担等を定めるものとする。

２．光熱水費納付

１）基本料金

基本料金については、サービス拠点施設全体の従量料金に対する収益施設の従量料金の割合により関東地方整備局が負担金額計算を行い、それに基づき施設等運営者が負担すること。

２）従量料金

水道及び電気料金については、個別にメーターを設置するなど、各施設の使用料が切り

分けられるようにし、その計量により負担すること。ガス、その他メーターが設置できない場合は関東地方整備局と協議すること。なお、負担金額の計算方法については変更する場合がある。メーターの検針については、毎月、調査職員が指定する日に確認を行い、調査職員に報告すること。

3．ごみ処分費用

ごみは、施設等運営者が自ら処分すること。

4．費用分担における確認

光熱水費やごみ処分、さらにはこれら以外に関東地方整備局または維持管理業務受託者と施設等運営者との間で費用分担を行う場合にあっては、関東地方整備局と費用分担ルール及び費用分担結果の関東地方整備局との確認方法、並びに支払方法について協議すること。また、協議結果を書面にして残すこと。

第１６条 コンプライアンス

1．守秘義務

1）施設等運営者、若しくはその職員その他の本業務に従事している者または従事していた者は、業務上知り得た秘密を漏らし、または盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、または盗用した場合には、公共サービス改革法第５４条により罰則の適用がある。

2）別添－11「情報セキュリティについて」に沿って、情報管理を適切に行うこと。

2．個人情報保護

1）施設等運営者は、個人情報の保護の重要性を認識し、本業務における事務を処理するための個人情報の取扱いにあたっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成１５年５月３０日法律第５８号）第６条第２項の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざんまたはき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

2）施設等運営者は、本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、または不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、または解除された後においても同様とする。

第１７条 業務の再委託の禁止

1．施設等運営者は、業務を他の者に再委託してはならない。ただし、業務の一部を他の者に再委託する場合、あらかじめ書面により関東地方整備局の承諾を得たときは、この限りではない。（様式１－７「再委託または下請負の予定」参照）

2．再委託を行う場合、書面により施設等運営者との契約関係を明確にしておくとともに、施設等運営者に対し、業務の実施について適切な指導、管理のもとに業務を実施しなければならない。

3．再委託を受けた業務受託者は、入札書の受領期限の日から開札の時までの期間に、関東地方整備局長から指名停止を受けていないこととする。

4．暴力団または暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有している者を、再委託を行

う業務受託者としてはならない。

5．施設等運営者は、前項の規定により関東地方整備局が承諾した業務受託者が、その責めにより関東地方整備局に損害を及ぼしたときは、関東地方整備局に対して、その損害を賠償するものとする。

6．施設等運営者は、前項の規定により関東地方整備局が承諾した業務受託者が、その責めにより第三者に損害を及ぼしたときは、速やかに関東地方整備局に報告するとともに、第三者に対して、その損害を賠償するものとする。また、その結果については、書面により関東地方整備局に報告するものとする。

第１８条 許可した目的以外の利用及び施設の転貸等の禁止

1．収益施設を運営するにあたっては、許可した目的以外の利用は禁止する。

2．施設利用者及び公園利用者に対する安全確保に反する行為をしてはならない。

3．施設等運営者は、施設の全部若しくは一部を第三者に貸与し、または担保に供してはならない。ただし、関東地方整備局に書面により承諾を得たときは、この限りではない。

4．施設等運営者は、本業務によって生じる一切の権利義務を他の者に譲渡し、または継承させてはならない。

第１９条 業務の履行

1．管理許可条件に定める運営時間内での運用を休止させてはならない。ただし、関東地方整備局の書面による承諾を得た場合はこの限りではない。

2．施設等運営者は、業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）または、契約が解除されるまでは、施設利用者に利便性を図るために本規定書及び管理運営要領を維持することとする。

第２０条 業務の解除

施設等運営者の責めに帰すべき事由により適正な収益施設の管理運営が困難となった場合またはその恐れが生じた場合は、関東地方整備局は施設等運営者に対して改善勧告を行い、期間を定めて、改善策の提出及び実施を求めることができる。

この場合において、施設等運営者が当該期間内に改善することができなかったときには、関東地方整備局は都市公園法第５条第２項の許可を取り消すことがある。

第２１条 業務の完了・引継、原状回復等

1．施設等運営者は、施設等運営者の責めに帰すべき事由により、施設を汚損・破損若しくは滅失したとき、または関東地方整備局に無断で施設の原状を変更したときは、直ちにこれを原状に回復しなければならない。

2．施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）または、契約が解除された場合は、関東地方整備局または新たな施設等運営者と十分に協議の上、書面をもって下記事項について事務引き継ぎを行い、公園の管理に支障が生じないようにする。この際、施設等運営者が設置した特定備品を撤去し速やかに管理物件を原状に回復して、関

東地方整備局に引き渡すこと。ただし、原状回復することが不可能若しくは不適当若しくは関東地方整備局が特定物品の残置を希望した場合、施設等運営者及び関東地方整備局間で事前に協議を行った上で、関東地方整備局の書面による承認を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

1）建物や関連設備の鍵の場所等、建物の管理に関する事項。

2）設備等設置における建物躯体や構造物への影響等に関して留意が必要な事項。

3）建物や設備等の老朽化等により、それら使用において、維持修繕上、留意が必要な事項。

4）継続的な地域連携イベント等において、運営日時の調整や臨時売店の設置、販売品目の変更、提供等を行うなど、主催者と連携、協力すべき事項。

3．前項ただし書きの適用がない場合において、施設等運営者が前項本文の原状回復を履行しないときは、関東地方整備局は施設等運営者が自ら整備した内装・設備等を放棄したものとみなし、現状を維持するかまたは施設等運営者の費用をもって原状回復を行うことができる。

4．不可抗力その他、関東地方整備局や施設等運営者の責めに帰することが出来ない事由により管理の継続が困難となった場合は、関東地方整備局と施設等運営者は管理の継続の可否について協議し、関東地方整備局が書面により指示することとする。

第２２条 立退料等の不請求

施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）または、契約が解除された場合、または不可抗力の場合は、関東地方整備局に対し施設等運営者の施設の買取または立退料等の請求若しくは施設等運営者が支出した有益費等を請求することができない。

第２３条 保険の付保及び事故の補償

1．施設等運営者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法及び健康保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

2．施設等運営者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適切な補償をしなければならない。

3．施設等運営者は、火災保険、自動車任意保険、施設賠償責任保険（貸し自転車の運営に関するものも含む)、動産総合保険、生産物賠償責任保険の他、必要に応じて各種保険に加入するものとする。

4．１～３項に規定する保険料、補償費は、施設等運営者の負担とする。

第２４条 情報公開

1．施設等運営者は、文書の開示等の情報公開については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 15 年 5 月 30 日法律第 58 号）の規定に準じて取り扱うものとする。この場合、関東地方整備局の書面による指示に従うこと。

2．施設等運営者は、関東地方整備局が会計法令に基づき実施する維持管理業務受託者に対する立ち入り検査、指示等監督・検査に対して、誠意を持って対応すること。

第２５条 その他留意事項

本規定書に定めていない事項または疑義を生じた事項に関しては、必要に応じて、関東地方整備局と協議の上、決定することとする。

別紙P137

第２章 マネジメント（運営管理）

第２６条 基本事項

１．提出書類

１）収益施設等管理運営者は許可を受けた後に、関東地方整備局が指定した様式による関係書類を関東地方整備局に遅滞なく提出しなければならない。

２）施設等運営者が関東地方整備局に提出する書類で様式が定められていないものは、様式を作成後関東地方整備局に了解を得て提出するものとする。

３）報告書及び経理状況に関する帳簿類等の提出した書類は、関東地方整備局の求めに応じて常に提出できるよう、許可を受けた施設ごとに整理・保管し、業務成果として施設等運営者において業務完了後５年間保存する。

２．連絡、協議

１）収益施設等管理運営業務責任者は、必要に応じて関東地方整備局と連絡、協議等を行うこと。またその結果について、書面に記録し相互に確認しなければならない。

２）関東地方整備局長と収益施設等管理運営業務責任者は業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容については相互に確認しなければならない。

３）施設の運営維持管理に係る各種規定・要領を作成する場合や、追加開園等により契約期間中に管理運営内容が変更する場合、さらにはその他新業務への対応が必要な場合は、関東地方整備局と施設等運営者の間で書面により調整または協議を行う。

４）不測の事態または疑問等が生じた場合は、速やかに関東地方整備局と協議する。

３．報告事項

施設等運営者は、次の各号に掲げる事項について、関東地方整備局に書面により報告するものとする。

① 管理運営要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・許可日より１４日以内に提出

② 管理運営報告書（月毎の売上高、施設利用者数等）・・翌月の１０日迄に提出

③ 業務打合せ簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・打合せ毎に終了後速やかに提出

④ 施設保守定期点検等の実施結果報告 ・・・・・・点検後速やかに提出

⑤ その他関東地方整備局が指示する書類 ・・・・・・・適宜提出

第２７条 業務実施体制

１．施設利用者に対して、安全・快適な利用サービスを提供するために、必要な資格等専門技術・知識を有する職員を配置するなど本業務を実現する業務実施体制を構築しなければならない。

２．本業務に加え、施設利用者の案内や苦情・要望、事故・災害等非常時における緊急対応が適切に行われるよう、管理体制を構築しなければならない。

３．本業務の計画立案及びマネジメントを担当する収益施設等管理運営業務責任者を配置しなければならない。

４．収益施設等管理運営業務責任者は、維持管理業務受託者が配置する総括責任者と兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分し、収益施設等管理運営業務への委託費の支出は認めない。

別紙P138

５．開園期間中は、維持管理業務の業務責任者及び収益施設等管理運営業務責任者のうち、少なくとも２名以上が勤務する体制とすること。さらに収益施設等管理運営業務責任者が勤務しない場合については、本業務に精通した者を勤務させるものとし、緊急対応を含め本業務が円滑かつ迅速に行われる勤務体制をとること。

６．収益施設等管理運営業務責任者は、維持管理業務受託者と常に調整し、業務を遂行する。

１）収益施設等管理運営業務責任者について

① 収益施設等管理運営業務責任者は、本業務について業務従事者が適切に管理運営を行うよう、指揮監督しなければならない。

２）適切な業務従事者の配置について

①施設等運営者は、業務における収益施設等管理運営業務責任者を定め、関東地方整備局に通知するものとする。

②収益施設等管理運営業務責任者は、施設担当責任者及び業務従事者の手持ちの業務量が適切となるよう配慮すること。

③関東地方整備局は、必要に応じて収益施設等管理運営業務責任者、施設担当責任者及び業務従事者の経歴・職歴に関する事項について書面により報告を求めることができる。

第２８条 許可、承諾等を要する事項

１．管理運営要領

１）施設等運営者は、別に定めがある場合を除き、許可日より１４日以内に収益施設運営計画に基づく下記の項目を記載した管理運営要領を関東地方整備局に提出し、承諾を得るものとする。その際、管理運営要領は許可を受ける施設ごとに作成すること。

①業務内容（商品、価格及びサービス内容、イベント企画等）

②業務の実施方針（「再委託に関すること」を含む。）

③業務の実施工程（業務の順序及び手順）

④業務の実施体制

⑤連絡体制(緊急時含む)

⑥その他（業務実施上必要と思われる事項）

２）管理運営要領の策定にあたっては、管理運営の実務に通じた経験や知見、施設利用者からの意見・苦情・要望を踏まえた収益施設運営計画の変更の経緯、記録が確実に残る仕組みについて記載すること。

３）施設等運営者は、収益施設の維持管理運営業務を通じた経験や知見、施設利用者からの意見・苦情・要望に基づく対応による修正が必要と判断した場合は、関東地方整備局と協議の上関東地方整備局に変更した管理運営要領を提出し、許可を得ること。

２．管理運営報告書

１）施設等運営者は、毎年度決算終了後、速やかに、関東地方整備局に決算に関する報告書を提出すること。

２）施設等運営者は、毎月の売上その他の営業に関する状況を翌月１０日までに書面により関東地方整備局に報告すること。(別紙－41「収益施設利用者数、売り上げ等」参照)

３）経理状況に関する帳簿類は常に整理し、関東地方整備局からこれらに関する報告や実施

別紙P139

調査を求められた場合には、速やかに関東地方整備局の指示に従い、誠実に対応すること。

4）関東地方整備局は、実施調査の結果、必要と認める場合には、施設等運営者に対し改善を求めることができる。

3．施設の修繕等

1）施設等運営者が、収益施設の修繕等を実施する場合は、その内容、時期等の情報について事前に関東地方整備局に書面により報告するものとする。ただし、施設利用者の安全確保などの観点から緊急を要する修繕については、この限りではない。

2）施設等運営者が、必要に応じて管理施設の建築構造躯体に対して穿孔、開口、留め付け等を伴う設備工事や電気を使用するもの等を実施する場合は、事前に関東地方整備局と書面により協議し、承諾を得なければならない。変更の際も同様である。

3）施設等運営者が、施設の管理運営上必要に応じて厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置する場合には、関東地方整備局と事前に書面により協議し、承諾を得なければならない。

4）施設等運営者は、厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置することに伴い関東地方整備局または第三者に及ぼした損害を賠償しなければならない。

5）施設等運営者は、関東地方整備局の承諾を得て施設に付加した機械等の設備、間仕切り、建具その他の造作等について、買取請求を行わないものとする。

4．価格・サービス内容の決定・変更

施設等運営者は、管理運営要領にて定めたサービス及びその価格に関して変更を希望する場合は、事前に関東地方整備局と協議を行い、その結果に基づき変更した管理運営要領を関東地方整備局に提出し、承諾を得なければならない。

5．施設等運営者の変更

1）新たな施設等運営者の追加等による管理運営要領の変更を行う場合、書面により同施設等運営者との契約関係を明確にしておくとともに、同施設等運営者に対し業務の実施について適切な指導、管理のもとに業務を実施しなければならない。

6．広告物の掲出

施設等運営者は、広告物を掲出しようとするときは、広告物の内容についてあらかじめ関東地方整備局に提示し書面により承諾を得るものとし、掲出物については許可区域内とする。

なお、施設等運営者が、許可区域外への広告物の掲出を希望する場合は、関東地方整備局と書面により協議を行うこと。

①収益施設の運営に関して、通常業務の運営や店舗位置への案内誘導、企画商品等の販売促進を目的とする張り紙、張り札、広告旗、立看板、広告幕等を設置する場合は、公園の美観を損なわず、また他の本公園に関する看板類等に比して目立ちすぎないよう、その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。あわせて、本公園の施設であることを明示すること。

なお、企画商品等の企画名称等に本公園の名称及びロゴ等を使用する場合は事前に関東地方整備局の許可を得るものとする。（別添－21「グラフィックマニュアル（抄）」参照）

②収益施設の運営に関して、協賛企業から協賛金を募って企画商品の販売や協賛での行催事等を実施する際、その販売促進を目的とする協賛企業の名称等を張り紙、張り札、広告旗、立看板、広告幕等に表示することはできるが、前項同様、公園の美観を損なわず、また本公園に関する広報物に比して目立ちすぎないよう、その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。

③施設等運営者は、事前に関東地方整備局の承諾を得た上で、協賛企業に自己の協賛内容を広報宣伝させることができるが、本公園に関する広報物はもちろんのこと、協賛する企画商品や協賛での行催事等の広告物より目立ちすぎないよう、その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。

④施設等運営者は、事前に関東地方整備局の承諾を得た上で、自らが作成する企画商品や協賛での行催事等に関するポスター、パンフレット、スタッフジャンパー等に、協賛企業の名称等を表示することができる。

７．施設等運営者のその他提出義務

施設等運営者は、下記の項目の一に該当するときは、直ちにその旨を関東地方整備局に書面により提出しなければならない。

①施設等運営者が、主たる事務所の所在地又は名称を変更したとき。

②施設が損傷、破損又は滅失したとき。

③施設内で事故等が発生したときまたはそのおそれがあるとき。

④施設等運営者が、強制執行・仮差押え・仮処分若しくは競売の申立てを受けたとき。

⑤施設等運営者に対して破産の申立て、または更生手続き開始の申立て若しくは民事再生手続き開始の申立てがあったとき。

第２９条 その他の協議・報告等

施設等運営者は、公園の管理運営等で必要な次の協議を適切に行い、結果等については、遅滞なく書面により報告しなければなければならない。

１）関係機関等との協議。

２）その他施設の運営者との協議。

第３０条 官公署への連絡、届出

施設等運営者は、官公署への連絡、届出手続きは関東地方整備局に協力し、遅滞なくこれを処理する。また、施設等運営者による工事等によって官公署への連絡、届出が必要となるときは施設等運営者において行う。

第３１条 別途工事等との調整

国が別途発注する工事または別途業務（法定点検業務等）の実施にあたり、施設等運営者は、調整等に協力する。また計画停電を伴う工事や点検を実施する際には、その対応については、関東地方整備局と調整すること。

第３２条 記録の保存

報告書及び経理状況に関する帳簿類は、関東地方整備局の求めに応じて常に提出できるよう、許可を受ける収益施設ごとに整理・保管し、施設等運営者において業務完了後５年間保存する。

第３３条 再調査等の依頼

関東地方整備局は、施設等運営者からの報告等に疑義を生じた場合、再調査を依頼しより詳細な報告等を求めることができる。

別紙P142

第３章 ホスピタリティ（施設利用者対応）

第３４条 基本事項

１．本業務は、施設利用者に直接接する業務であり、施設利用者が快適に楽しめるよう心がけ、不快と感じさせるような身だしなみ、行動、言動とならないよう心がけるものとする。

２．業務遂行にあたっては、常に公平なサービスの提供に努め、特定の個人や団体に有利あるいは不利な扱いとならないようにすること。

３．業務従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、本公園にふさわしいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。

４．全ての業務従事者について、名札を作成し着用すること。

５．作業にかかる車両や商品納入車両の乗り入れは最小限にとどめ、また開園時間の中の乗り入れも最小限に留めること。車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の安全確保を第一として必要に応じ誘導員を配置するとともに、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。（別添－14「国営アルプスあづみの公園園内車両運行要領」参照）

第３５条 施設利用者対応

１．園内の概要や開催するイベント等の基本情報を収集し、公園利用者及び施設利用者の問い合わせに対応すること。問い合わせの内容に関して必要に応じて維持管理業務受託者等に確認または引き継ぐこと。

２．公園利用者及び施設利用者の苦情については、誠意を持って適切かつ迅速に対応し記録するとともに書面をもって報告すること。

３．園内掲示板、掲示物を適切に管理すること。

４．障害者及び高齢者等から施設利用上の援助を求められた場合には、適切に対処すること。

５．団体での施設利用者の誘導、バス等車両の停車場所への誘導を行うものとする。

第３６条 拾得物、残置物の処理

施設等運営者が、施設内で遺失物を発見した場合は、速やかに維持管理業務受託者へ届け出ること。

第３７条 広報・広聴

１．施設等運営者は、収益施設において提供する商品やサービスに対する施設利用者の評価や注文書等の意見などの聴取や記録に取り組むこと。

２．施設等運営者は、聴取や記録した施設利用者の評価や要望などの意見を集約し、関東地方整備局に書面により報告すること。

３．施設等運営者は、施設の利用促進を目的としたホームページやポスター、チラシ等の広報の展開に関する計画を、媒体毎に策定し、事前に関東地方整備局の承諾を得た上で広報活動を行うこと。

４．施設等運営者がホームページによる情報発信を行う際、維持管理業務受託者が管理する本公園のホームページに、設置管理許可書で許可を受けた運営業務の運営日時、基本提供サ

ービス等基本的な運営業務内容について掲載することは可能である。但し、その他企画商品や行催事等販売促進に係る内容については、ホームページとは別に設置することとし、そのホームページを維持管理業務受託者が管理する本公園のホームページにリンクすることは可能である。なお、データを収納するサーバ及びリンクする他のホームページについて、事前に関東地方整備局と協議を行うこと。

5．維持管理業務受託者は、本公園ホームページ上で発信する情報について、別紙－5「共通仕様書」第８章に定める「個人情報の取扱いについて」及び関東地方整備局が定めるプライバシーポリシーに基づいた適正な内容であることを事前に確認すること。また、ホームページアクセシビリティについても留意して作成する。

6．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、情報（掲載する文書、図画、写真及び音楽など）における著作権等の知的所有権に配慮すること。

7．施設に関するリンク先のホームページは原則として一つとすること。ただし、それによりがたい場合は、別途協議すること。

8．セキュリティレベルを確保するため、ホームページの作成・更新等に用いるパソコンや、データを保存するサーバー等のセキュリティ対策について、業務開始前に関東地方整備局と協議するとともに、年度末に実施状況を報告するものとする。

第３８条 掲載情報の更新・修正・訂正

1．施設のホームページやポスター、チラシ等の広報の掲載情報については、常に新しい情報を掲載し更新に努めること。

2．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、個人に関する掲載情報について、本人または保護者から内容の訂正又は削除の要請を受け、必要と認めた場合には、訂正等の措置をとること。

3．施設等運営者は、施設のホームページであるとの誤解を与える内容を記載した他のホームページを発見した場合には、関東地方整備局に報告をした上で、当該ホームページ管理者に対し訂正等必要な措置を求めること。

第４章 安全衛生管理

第３９条 基本事項

１．安全管理

１）施設等運営者は、収益施設における施設利用者の安全確保並びに快適な利用を図ること。

２）本業務の履行にあたり、適切な措置・対応を行うなど、施設等運営者の責任において常に善良なる管理を行うこと。なお、関東地方整備局が定める公園利用規則等がある場合は、それに則った対応を図ること。

３）施設等運営者は、消防法等関係法令に準拠するほか、関東地方整備局が別途定める計画・規定等を遵守すること。

４）施設等運営者は、施設を運営している期間中は毎月１回、施設の消防用設備等の自主検査を実施し、関東地方整備局に報告すること。

５）異常を確認した場合、速やかに関東地方整備局に報告しその指示に従うこと。また、安全管理には十分注意し本業務を履行すること。

６）施設等運営者は、消耗品交換・修繕の実施に際して、事前に関東地方整備局と協議を行い、必要に応じて業務実施体制に係る書類を作成し、作業着手までに関東地方整備局に提出すること。また、業務実施体制に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

７）修繕等の作業中は、作業員は服装及び言動に注意し、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう留意すること。

２．安全確保

１）本業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故を防止しなければならない。

２）施設若しくは許可区域内において、公園利用者及び施設利用者に危険が及ぶ恐れのある障害が発生した場合は、危険防止に必要な措置を関東地方整備局に書面により報告の上講じ、事故の発生を防止しなければならない。

３）業務用車両の運行については、別添－14「国営アルプスあづみの公園園内車両運行要領」に従い、公園利用者の安全と快適な利用を妨げないような運転・走行・駐停車・作業態度等に努めること。

４）公園利用者や施設利用者に対する安全確保上必要があると判断される場合は、作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示する等、作業実施中は安全管理を徹底し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分確保すること。

５）作業実施中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意すること。

３．救急救護

１）施設等運営者は、管理運営要領の「救急救護」において救急時の対応方法を定めること。

２）施設等運営者は、施設利用者に傷病者が発生した場合等は、救急活動に当たらなければならない。

３）施設等運営者は、救急活動を要する事態を認めたときは、施設利用者の急病や負傷には応急処置をとり、事故や怪我等の状態により、消防車や救急車を要請するなど、最も適切と思われる措置をとらなければならない。

４）施設等運営者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確

別紙P145

に記録するとともに、その経過及び結果を速やかに関東地方整備局に報告すること。

5）傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

4．災害時、異常時等の対応

1）施設等運営者は、災害防止等のために必要があると認められるときは、施設利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行うなど臨機の措置をとらなければならない。この場合において、施設休止等の必要があると認めるときは、施設等運営者はあらかじめ関東地方整備局の書面による承諾を得なければならない。ただし、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。

2）前項の場合においては、施設等運営者は、そのとった措置の内容を関東地方整備局に速やかに書面により報告すること。

3）台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、事前に土のう設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等を実施し、被害の軽減に努めなければならない。

4）台風、豪雨等の災害発生時に関東地方整備局の指示した箇所の巡回、土のう等の設置等を行うこと。

5）関東地方整備局は、災害防止上特に必要と認めるときは、施設等運営者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。

6）関東地方整備局の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、施設等運営者は、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。なお、関東地方整備局が策定した災害発生等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

7）災害時、異常時等の発生後は、園内の臨時巡視・点検を速やかに行い、安全を確認し、関東地方整備局に書面により報告すること。異常を確認した場合は、前項に基づき適切な措置・対応を行うこと。

8）施設等運営者は、天変地異等により、運営を一時中止・変更、または休止したときは、運営再開の前に施設の点検を行い、異常のないことを確認しなければならない。異常を確認した場合は、国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務共通仕様書第 22 条の「維持管理業務受託者」を「施設等運営者」と読み替え適切な措置・対応を行うこと。

9）関係機関の立会検査または調査がある場合は、施設等運営者は関東地方整備局の指示により立会等に協力すること。

第４０条 点検等

1．安全衛生管理計画

1）施設等運営者は、食品衛生法、消防法等の関係諸法令及び規則に基づき設定した点検計画を記載した安全衛生管理計画書を関東地方整備局に提出の上、書面により承認を受けること。

2）安全衛生管理計画書に記載した、点検については、特段の事情がない限り予め設定したスケジュールに沿って実施すること。

3）上記点検等の結果については、遅滞なく関東地方整備局に書面により報告すること。

2．定期点検

1）施設等運営者は、施設利用者が快適に利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めること。

2）施設の定期点検を実施するにあたり、国事務所と施設等運営者の責任分担を下記表の通りとする。ただし、下表に定める事項に疑義が生じた場合、又は、下表に定めのない事項については、国事務所と施設等運営者の間で十分に協議のうえ決定するものとする。

3）法定点検項目以外の定期点検は、施設等運営者が自ら設定すること。

■施設の定期点検項目

中項目	小項目	法定点検	点検実施者	留意事項
電灯・動力設備	分電盤・開閉器箱	○	国事務所	
	制御盤	○	国事務所	
	幹線	○	国事務所	
受変電設備	配電盤等（内部機器を除く。）	○	国事務所	
	変圧器	○	国事務所	
	交流遮断機	○	国事務所	
	断路器	○	国事務所	
	計器用変成器	○	国事務所	
	避雷器	○	国事務所	
	高圧負荷開閉器	○	国事務所	
	高圧カットアウト	○	国事務所	
	高圧電磁接触器	○	国事務所	
	力率改善装置	○	国事務所	
	指示計器・保護継電器	○	国事務所	
	低圧開閉器類	○	国事務所	
	その他の特別高圧関連機器	○	国事務所	
通信・情報設備	構内情報通信網設備	○	国事務所	
給排水衛生機器	受水タンク･高置タンク（高架タンク）の清掃	○	国事務所	
水質管理	飲料水（給水設備）	○	国事務所	
消防用設備等	機器点検	○	施設等運営者	6ヶ月に1回実施
ねずみ･昆虫等の防除	防除品の点検と取替	○	施設等運営者	毎月実施（堀金・穂高地区、大町・松川地区）

別紙P147

3．自主点検

1）自主点検は、下記の表に掲げる項目のうち該当するものについて、施設等運営者が建築保全業務共通仕様書に準じて行う。

■施設の自主点検項目

大項目	中項目	小項目
建築	建築	建築
電気設備	電灯・動力設備	電灯・動力設備
	受変電設備	受変電設備
	自家発電設備	自家発電設備
	直流電源設備	直流電源設備
	交流無停電電源設備	交流無停電電源設備
機械設備	温熱源機器	運転・監視記録
		鋳鉄製ボイラー・鋼製ボイラー
		真空式温水発生機・無圧式温水発生機
		温風暖房機
	冷熱源機器	運転・監視記録
		冷熱源機器
	空気調和等関連機器	空気調和等関連機器
	給排水衛生機器	給排水衛生機器
		循環ろ過装置
監視制御設備	中央監視制御設備	中央監視制御装置

別紙P148

４．日常点検

１）施設等運営者は始業点検、終業点検、巡回パトロール等を実施し、適切な管理を行うこと。

２）施設等運営者は建築物等について、目視等の簡易な方法により劣化及び不具合の状況を把握し、保守のための軽微な修繕を行い、事故・故障等の未然の防止に資するよう管理すること。

３）施設等運営者は、施設、設備等が損傷、破損または滅失したとき及びそれを発見したときは、直ちに関東地方整備局に報告すること。

５．スタッフ管理・研修

１）日常管理業務に加え、施設利用者の案内や苦情・要望、事故・災害時非常時における緊急対応が適切に行われるよう、一元的な管理体制を構築すること。

２）運営体制人員は、円滑な管理運営を行うため、施設利用者数の動向に基づき弾力的に配置すること。

３）施設等運営者は、関東地方整備局が実施または要請するスタッフ管理・研修、公園全体での調整連携等への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

４）施設等運営者は、施設が有する機能を最大限に活用するとともに、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面及び景観に留意して適切な管理を行うこと。

５）建築物の衛生的環境の確保、美観の維持、劣化の抑制を図るため、除塵、拭き、清浄、ごみの収集等の作業により汚れを除去することによって、快適な環境を整備するとともに、建築物の各部材、設備等の更新時期の延伸に資するよう管理すること。

６）車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならないよう必要に応じ誘導員を配置するとともに維持管理業務受託者発行の許可証を前面に提示すること。(別添－14「国営アルプスあづみの公園園内車両運行要領」参照)

第４１条 危機管理

１．事故・災害対応

１）緊急時連絡体制構築

施設等運営者は、緊急時連絡体制表を作成し、関東地方整備局に提出すること。また、施設内に掲示をすること。

２）予防対策

①施設等運営者は、施設を運営している期間中毎月１回、施設の消防設備等の自主点検を実施し、異常を発見した場合は関東地方整備局に書面により報告すること。

②本業務を行う場所若しくは、その周辺に第三者が存する場合または立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を講じ事故の発生を防止すること。この場合、その旨を関東地方整備局に報告すること。

３）初期対応

①施設等運営者は、緊急時には関東地方整備局の指示に従い、公園利用者及び施設利用者に対する案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

②万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止または運転制限をする等の措置をした上、直ちに関東地方整備局に報告し、臨時に精密検査を行い、その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとること。

③その他事故等が発生したとき、またはその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取り、施設等運営者が作成した緊急連絡体制に基づき関係機関へ連絡し、次の各号に掲げる事項について、遅滞なく、書面等により関東地方整備局に報告すること。なお、関東地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

一 事故発生日時。

二 事故発生場所。

三 事故発生の原因。

四 事故の程度。

五 人身事故の場合は、医師の診断結果。

六 事故処理の概略。

七 再発防止など改善策等。

④重大事故についてはただちに関東地方整備局に報告し、その指示に従うこと。

２．異常事態対策

１）施設等運営者は、関東地方整備局が実施又は要請する異常事態対策への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

２）施設等運営者は、異常な事態が発生した場合、その内容・初期対応状況等を、速やかに関東地方整備局へ報告するとともに、警察、消防署等関連部局に連絡すること。

別紙P150

第５章 施設管理

第４２条 基本事項

１．施設等運営者は、消耗品交換・修繕の実施に際して、許可を受けた施設内及びその周辺の環境を良好に維持することを心掛けなければならない。

２．施設等運営者は、収益施設内及び許可範囲内を常に良好な状態で維持し、公園内で実施されている他業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施すること。

３．設備及び管理備品は施設等運営者の注意義務で管理すること。

第４３条 清掃等

１．施設等運営者は、許可を受けた範囲内ならびにその周辺の環境について、常に清潔かつ快適な環境を保持するために、計画的な清掃管理を実施すること。

２．施設等運営者が、清掃を実施する際には、施設利用者ならびに公園利用者の安全確保に十分注意すること。

３．施設等運営者は、自らが実施する清掃と維持管理業務受託者が実施する清掃について、その清掃範囲及び夾雑物が混合しないように注意すること。

４．積雪時、必要な場合には除雪を行う。

第４４条 工事等

１．施設等運営者は、消耗品の交換や施設等運営者が自ら実施する修繕工事の実施に際して、事前に関東地方整備局と協議を行ない、必要に応じて業務実施体制に係る書類を作成し、業務着手までに関東地方整備局に提出すること。また業務実施体制に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

２.施設等運営者が、消耗品の交換や施設等運営者が自ら実施する修繕工事を実施する際には、施設利用者ならびに公園利用者の安全確保に十分注意するとともに、施設等運営者の責任において常に公園の観察を行ない、善良なる管理を行うこと。

３．施設等運営者は、自らが実施する修繕工事について、その工事実施範囲及び構造物が、許可を受けた範囲及び許可を受けた構造物であることに注意すること。

第４５条 安全管理

１．施設等運営者は、消耗品交換・修繕の実施に際して、事前に関東地方整備局と協議を行い、必要に応じて業務実施体制に係る書類を作成し、作業着手までに関東地方整備局に提出すること。また、業務実施体制に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

２．常に施設利用者の安全確保に十分注意するとともに、施設等運営者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うこと。

３．業務用車両の運行については、別添－14「国営アルプスあづみの公園園内車両運行要領」に従い、公園利用者の安全と快適な利用を妨げないような運転・走行・駐停車・作業態度等に努めること。

４．施設利用者や公園利用者に対する安全確保上必要があると判断される場合は、作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示する等、作業中は安全管理を

別紙P151

徹底し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分確保すること。

5．作業中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しない様に注意するものとする。

6．作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう留意すること。

別紙P152

第６章 財産管理

第４６条 台帳管理

１．施設等運営者が施工した固定資産（償却資産）については、「固定資産税における家屋と償却資産の分離申出書」を所轄の税務事務所に提出すること。

２．運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関する建物管理費（消耗品の購入、貸与した備品類の修理等）は、施設等運営者の負担とすること。

第４７条 備品の取り扱い

１．管理備品の取扱い

許可を受けた収益施設の運営に必要な備品は、施設等運営者が全て準備すること。

ただし、業務開始時に関東地方整備局が費用を負担した備品の貸与を受けた場合は、施設等運営者は、本業務完了の際、残存する備品を関東地方整備局に引き渡すこと。ただし、当該契約が引き続き締結され、当該業務に継続して使用されるものはこの限りではない。

残存する備品とは、本業務において管理上必要となった機械器具、その他の物品の内、原状のまま比較的長期の使用に耐え、取得価格（消費税込み）が５万円以上のものをいう。

なお、その取扱いについては、関東地方整備局が定める規定等による。

２．特定備品の取扱い

施設等運営者は、施設の管理・運営に必要な機器・設備等を持ち込むことができる。ただし、「本規定書　第２１条 業務の完了・引継、原状回復等」の記載のとおり、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）または、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、関東地方整備局に引き渡すこととなること、さらには、原状回復する際に残存価値が残される場合であっても、「本規定書　第２２条 立退料等の不請求」のとおり、関東地方整備局に対し施設等運営者の施設の買取等を請求することを禁じていることを踏まえ、施設等運営者の一切の責任のもとで機器・設備等を持ち込むこと。

３．機器・設備等を持ち込む費用、電気工事等の措置等に必要な経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費（電気代、コピー代、電話代等）、原状回復に必要な経費は、施設等運営者の負担とする。

第４８条 本業務の引継

１．施設等運営者は、業務の履行が満了するとき（継続して契約した場合は除く）または、契約が解除された場合は、関東地方整備局又は新たな施設等運営者と十分に事務引き継ぎを行い、施設の管理運営に支障が生じないようにすること。この際、速やかに施設を原状に回復して、関東地方整備局に引き渡すこと。ただし、原状回復することが不可能若しくは不適当である場合、関東地方整備局の承認を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

２．不可抗力その他、関東地方整備局や施設等運営者の責めに帰することができない事由により管理の継続が困難となった場合は、関東地方整備局と施設等運営者は管理の継続の可否について協議すること。

３．施設等運営者は、本業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）または、契約が解除されるまでは、施設の管理運営が円滑に実施されるよう業務実施体制（本規定書第２７

条記載）を維持すること。

４．履行期限後において補償すべき事態が発覚し、その原因が履行期間内の瑕疵等が明らかな場合は、その費用は施設等運営者が負担すること。

第２編　国営アルプスあづみの公園収益施設等管理運営個別規定書

第１章　飲食・物販施設

第４９条 総則

施設等運営者は、飲食・物販施設の管理運営（自主事業として行う臨時の飲食・物販施設の運営を含む）に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めること。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は関東地方整備局と協議すること。

第５０条 施設の管理目的

飲食・物販施設は、本公園において飲食及び物販に関するサービスを提供することを、施設の管理目的とする。

第５１条 運営対象施設

運営対象施設は次のとおりとする。

■運営対象施設一覧

＜飲食施設＞

施設名称	地区	営業場所
レストラン	堀金・穂高地区	ガイドセンター内
レストラン	大町・松川地区	休憩棟内

飲食施設については全て裁量施設とし、公園の開園時間内で、運営時間を設定できるものとする。

＜物販施設＞

施設名称	地区	営業場所
ガイドセンター売店	堀金・穂高地区	ガイドセンター内
インフォメーションセンター売店	大町・松川地区	インフォメーションセンター内

物販施設については全て裁量施設とし、公園の開園日時内で運営日時等を設定できるものとする。

第５２条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者、防火管理者、食品衛生責任者等、管理運営上法的に必要な資格を保持する者を選任した上で、飲食施設及び物販施設の管理運営にあたらせること。

第５３条 運営日時

１．施設等運営者は、原則として本公園の開園日を営業日とし、定休日は以下を原則とする。

別紙P154

■飲食施設の定休日一覧

施設名称	定休日
堀金・穂高地区：レストラン	休園日（原則毎週月曜日）
大町・松川地区：レストラン	休園日（原則毎週月曜日）

■物販施設の定休日一覧

施設名称	定休日
堀金・穂高地区：ガイドセンター売店	休園日（原則毎週月曜日）
大町・松川地区：インフォメーションセンター売店	休園日（原則毎週月曜日）

2．裁量施設のうち、物販施設は、施設等運営者の裁量により公園の利用状況を勘案し、定休日以外に休業日をもうけることができるが、休業日の設定にあたっては、施設等運営者は関東地方整備局と事前に協議を行うこと。

3．営業時間は以下を原則とすること。ただし、裁量施設であることから施設等管理者の裁量により営業時間を設定することができるが、以下の営業時間の変更にあったっては、施設等管理者はあらかじめ関東地方整備局と協議すること。なお、行催事の開催等により、公園利用者の利便を確保する上で必要が認められるときは、関東地方整備局より営業時間の延長または短縮の指示を行うことがある。

■営業時間

＜飲食施設＞

４月下旬～１０月は、開園時間に準ずる。

１１月～４月中旬は、１１：００～１５：００とする。

ただし、行催事の開催に伴う営業時間延長の場合は、飲食施設毎に協議するものとする。

＜物販施設＞

開園時間に準ずる。

ただし、行催事の開催に伴う営業時間延長の場合は、物販施設毎に協議するものとする。

第５４条 利用料金

1．施設利用者へ提供する商品は提案された内容とするが、販売価格は関東地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。なお、販売品目等は施設利用者のニーズを把握し、その見直しを図るなど、施設利用者の満足度の向上に努めること。見直しを行う際は、関東地方整備局と事前に協議すること。

■サービス内容等一覧

＜飲食施設＞　参考：平成 26 年度実績

施設名称	現行販売品目（参考）
堀金・穂高地区レストラン	御膳、そば類、うどん類、ラーメン類、パスタ類、カレー、丼類、デザート類、飲料
大町・松川地区レストラン	丼類、ラーメン類、そば類、うどん類、パスタ類、カレー類、トースト類、飲料、テイクアウトメニュー（からあげ、おやき）

別紙P155

＜物販施設＞　参考：平成 26 年度実績

施設名称	現行販売品目（参考）
ガイドセンター売店	飲料、菓子類、お土産、おもちゃ、雑貨、書籍
インフォメーションセンター売店	飲料、菓子類、お土産、地元農産加工品、おもちゃ、雑貨、書籍

第５５条 繁忙期の対応

繁忙期の管理運営にあたっては、飲食施設の供給機能を補完し施設利用者へのサービス提供を強化するため、公園利用者のニーズを勘案し、適宜臨時売店（飲食・物販）の開設を関東地方整備局の許可を受けた上で開設することができる。

＜臨時飲食・物販施設＞　参考：平成 26 年度実績

堀金・穂高地区

設置時期	営業場所	売店数
春	野原、水辺の休憩所、穂高口	5
夏	水辺の休憩所	2
秋	野原、水辺の休憩所、穂高口	5
冬	水辺の休憩所、展望テラス、中央口	5

大町・松川地区

設置時期	営業場所	売店数
春	アルプス大草原、インフォメーションセンター前	3
夏	アルプス大草原	3
秋	アルプス大草原、インフォメーションセンター前	5
冬	森の体験舎、入口広場、インフォメーションセンター前	3

第５６条 業務の内容

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うこと。

１）飲食・物販施設の運営に関すること。

２）飲食・物販施設の維持管理に関すること。

３）飲食・物販施設利用に伴う苦情処理に関すること。

４）前各号に掲げる業務に付随するもの。

第５７条 施設・設備の維持管理

施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うこと。

１）施設に係る清掃及び塵芥処理。

２）施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理。

３）その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

第５８条 安全衛生管理

１．衛生管理及び安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

２．食品衛生法、消防法等の関係諸法令及び規則に基づき、安全衛生管理計画書及び緊急時連

別紙P156

絡体制を定めて、関東地方整備局に提出すること。また、安全衛生管理計画書作成にあたっては、以下に示す項目のほか、十分な衛生管理及び安全管理等を行うとともに事故防止に努めること。

1）運営に当たる全職員を対象として、年１回の健康診断を実施し、検査の結果、異常ある者は、完全に回復したとの医師の診断が得られるまで職場復帰は認めないこと。
その他、下痢を起こしているなど体調不良者は出勤させてはならない。

2）消防法に基づき、消火器点検を年２回実施し、不備なものは随時取り替えること。

3）消防法に基づき、避難訓練、消火器訓練等を年２回実施すること。

3．上記法定点検等の結果については、遅滞なく関東地方整備局に報告すること。

4．飲食施設は、施設利用者に満足していただけるよう、商品管理の徹底、消防設備の点検、身だしなみ等、常に清潔、快適かつ安全な状態に維持するものとする。そのため、以下の管理を実施すること。

1）始業及び終業時には、ガス、電気等を使う火災につながる器具の点検を行うとともに、清掃状態や施設の不具合についても点検を行うこと。

2）毎日の始業時に、服装、髪型、アクセサリー、爪、健康状態、頭髪について点検を行い、安全衛生や施設利用者の利用満足度の向上に努めること。

3）毎日、害虫の発生状況を点検し、必要に応じ適切な害虫駆除を行うこと。

4）清掃点検項目を定めた上で、これに基づき清掃を行い、テーブルや厨房内、カウンター、排水溝、厨房機器、ごみ箱の点検を行うこと。

5）毎日、売店商品の保管状況点検を行い、賞味期限切れ製品等を供することのないよう、賞味期限、腐敗、変色、異味、異臭などを確認すること。

6）毎日、冷蔵庫、冷凍庫等の温度点検を行うこと。

7）緊急時には、緊急連絡事項の取り扱いに関する規約と緊急連絡体制に基づいて、関東地方整備局、維持管理業務受託者をはじめ、関係機関に対し迅速に連絡・対応すること。

8）納品を行う業者に対して、書面及び日常的な安全運転の指導を行うこと。

9）運営に当たる全職員を対象として、腸内細菌検査のための検便検査を年２回実施し、検査の結果、異常がある者は、二次検査で異常の有無を確認し正常であることが確認されない限り、就業を認めないこととするなど、二次感染の防止に努めること。

5．食中毒等の事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取り、緊急時連絡体制に基づき、次の各号に掲げる事項について、遅滞なく、書面等により関東地方整備局に報告するものとする。なお、食中毒等社会的な影響や人的影響等を伴うときは、関東地方整備局がマスコミ対応等を行うが、その際、関東地方整備局の求めに応じ施設等運営者は迅速かつ適切に協力しなければならない。また、関東地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

6．食中毒等により、施設利用者に対して、人的損害を及ぼした場合は、施設等運営者の責任において、その賠償を行うこと。

第５９条 費用負担

1．飲食施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、

別紙P157

運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

２．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。

但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、関東地方整備局に引き渡すこと。

３．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、当該施設利用者から修理費または施設運営者が定める損害料を徴収すること。

第６０条 責任の範囲

１．次の各号に該当する場合は、関東地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うこと。

１）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することのできない事由によって生じた施設利用者の損害。

２）施設等運営者の過失に依らない損害。

２．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

３．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。ただし、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求めること。

第６１条 施設利用上の注意

１．次の各号に該当する場合は、原則として施設の利用を禁止すること。

１）危険物を持ち込み、その他、秩序を乱し、風紀を害する恐れがある者。

２）公園で定める制限事項に違反する者。

３）ペット等の動物。ただし、身体障害者補助犬となる盲導犬、介助犬、聴導犬については除く。

４）その他施設利用者及び公園利用者の安全、快適を妨げる者。

第２章　自動販売機

第６２条 設置箇所、販売内容・料金等

１．自動販売機での販売は、缶、ペットボトル、又は紙パックの飲料品（乳飲料を含む)、アイスクリーム等を想定している。

２．自動販売機で酒類及びたばこ類の販売は行わないこと。

３．自動販売機の大きさについては、指定の範囲内に設置できるものであること。

４．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面及び景観に留意して適切な管理を行うこと。

５．自動販売機の設置箇所、設置台数及び種類は以下のとおりである。具体的な設置場所等については、関東地方整備局と協議の上決定するが、現在（平成 27 年度末）の実績を考慮し、適切な配置に努めること。

■設置箇所一覧　参考：平成 26 年度実績

設置箇所		設置台数	販売機の種別	備考
堀金・穂高地区	ガイドセンター	2	飲料	
	あづみの学校	3	〃	冬期間 1 台休止
	展望テラス	1	〃	
	水辺の休憩所	2	〃	冬期間 1 台休止
	野の休憩所	2	〃	冬期間 1 台休止
	マシュマロドーム	1	〃	冬期間休止
	穂高口ゲート	2	〃	
	吊橋下前広場トイレ	1	〃	冬期間休止
	管理センター	1	〃	
大町・松川地区	駐車場トイレ	2	〃	
	入り口広場トイレ	1	〃	冬期間休止
	レンタル棟	1	〃	冬期間休止
	森の体験舎	2	〃	
	大草原の家	3	飲料 2, 食品（パン）1	
合計		24		

※冬期間とは、おおむね 12 月～3 月末とし、イベント開催等利用動向により臨機に期間を設定

第６３条 費用負担

１．自動販売機運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等)、自動販売機の購入、設置、機械の交換、撤去並びに保守・故障対応等に要する費用、自動販売機に装着する漏電・漏水等安全対策に要する費用、その他運営に関する備品等（建物除く）の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

２．自動販売機の商品の補充、売上金回収等に要する経費、自動販売機周辺に設置する回収ボックスの設置及び空き容器回収に要する費用は、施設等運営者の負担とする。
その他園内のごみ箱についても、空き容器等の発生量に応じて、維持管理業務受託者との

別紙P159

間で、応分の費用負担を行うこと。その際、事前に関東地方整備局と協議の上、費用分担ルール及び費用分担結果の関東地方整備局との確認方法について協議し、決定すること。なお、費用分担の確認方法に基づき、関東地方整備局及び維持管理業務受託者と確認を行った上で、費用分担を行うこと。

3．自動販売機の設置に伴う電気・排水工事の追加工事を必要とする場合はそれに要する経費は、施設等運営者の負担とする。

4．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、関東地方整備局に引き渡すこととなること、さらには、原状回復する際に残存価値が残される場合であっても、関東地方整備局に対し施設等運営者の施設の買い取り等を請求することを禁じていることを踏まえ、施設等運営者の一切の責任のもとで機器・設備等を持ち込むこと。

5．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、当該施設利用者から修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収すること。

第６４条 自動販売機の維持管理

1．商品管理、売上金回収・つり銭補充等の金銭管理など、自動販売機の維持管理については、施設等運営者が行うこと。また、常に商品の賞味（あるいは消費）期限に注意するとともに、売り切れ商品がないよう努めること。

2．自動販売機に併設して、原則として自動販売機１台に１個の割合で、回収ボックスを設置するとともに、施設等運営者の責任で適切に空き容器を回収・処分すること。なお、本公園では、野生動物による被害防止のため園内にゴミ箱を設置していないが、空き缶等散乱防止の観点から回収ボックスは設置するものとする。ただし、自動販売機の販売品目以外のゴミが捨てられないよう、公園利用者に対して周知するとともに、巡視時に適宜確認を行うこと。

3．自動販売機の清掃を実施するとともに、衛生管理及び感染症対策については、関係法令を遵守するとともに徹底を図ること。

4．自動販売機を設置するにあたっては、転倒等しないよう据付面を十分に確認したうえで「安全設置」すること。

第６５条 責任者の選任

施設等運営者は、担当責任者を選任した上で、自動販売機の管理運営にあたらせるものとする。

第６６条 その他留意事項

1．自動販売機の設置に関する必要な手続きは、施設等運営者が行うこと。

2．自動販売機の設置にあたっては、事前に関東地方整備局と協議し、必要な手続きを実施したうえで設置すること。

別紙P160

３．自動販売機を第三者に譲渡又は貸与してはならないこと。
４．販売品の搬入・廃棄物の搬出は、可能な限り休園日に行うなど、公園利用を阻害しないよう配慮することとし、時間及び経路については、関東地方整備局の指示に従うこと。

別紙P161

第３章　自主事業における行催事等の実施

第６７条 自主事業における行催事等

１．維持管理業務受託者は、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算により、自主事業（広報宣伝を含む）を行うことが出来る。

２．行催事を開催する場合は、本公園の利用増につながる各種行催事の主催、共催等も可能とする。

３．維持管理業務受託者は、本公園の利用促進等のために自主事業の実施についてあらかじめ関東地方整備局と協議すること。なお、自主事業の内容が本公園利用に相応しくない場合、その実施を認めない場合がある。

４．維持管理業務受託者は、自主事業による公園施設の利用が他の公園利用者の利用や安全に支障が生じないよう、十分に調整を図って対応すること。

５．維持管理業務受託者は、自主事業の実施にあたり、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条、第６条又は第１２条に基づく許可を得る必要がある場合、開園時間の延長に伴うものは２ヶ月前、伴わないものは１ヶ月前を目安に関係者と調整を行い、準備作業開始の１週間前までには申請書を関東地方整備局に提出して許可を受けなければならない。

６．維持管理業務受託者は、自主事業の実施にあたり、仮設工作物など都市公園法第 6 条に規定される占用物件が生じる場合、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、建物使用料又は土地使用料を納めることが必要となる場合がある。

７．維持管理業務受託者は、自主事業の実施にあたり、都市公園法施行令第 20 条に基づく都市公園法第５条又は第６条の許可を受けた範囲の維持管理にかかる費用（水道、電気料金を含む）を負担するものとする。

８．維持管理業務受託者は、自主事業の実施にあたり、協賛企業から協賛金を募り、実施費用に当てることができる。また、事前に関東地方整備局の承諾を得た上で、以下のことができる。

１）自主事業の実施場所等に協賛企業の名称等の表示（はり紙、はり札等、広告旗、立看板、広告幕及びアドバルーン等への協賛企業名の表示）等を行うことができる。この場合、長野県の屋外広告物に関する規制等、関係法令等を遵守すること。

２）協賛企業に自己の協賛内容を広報宣伝させることができる。

３）自らが作成する自主事業に関するポスター・パンフレット・スタッフジャンパー等に、協賛企業の名称等を表示させることができる。

９．維持管理業務受託者は、調査職員が自主事業に関する収支状況等の報告を求めた場合には、それに応じなければならない。

別紙P162

別紙－10

従来の実施状況に関する情報の開示

1　従来の実施に要した経費

（単位：千円）

			24年度	25年度	26年度
	人件費	常勤職員			
		非常勤職員			
	物件費				
	委託費等	委託費定額部分	564,330	429,417	417,857
		成果報酬等			
		旅費その他			
計(a)					
参考値(b)	減価償却費				
	退職給付費用				
	間接部門費				
(a)＋(b)					

（注記事項）
・委託費定額部分の内訳は以下のとおりである。
・平成25年9月に大町・松川地区25ha、平成26年4月に堀金・穂高地区17haを追加供用。

運営維持管理業務（収益施設等管理運営業務にかかる費用を除く）

（単位：円）

	24年度	25年度	26年度
植物管理	75,948,299	65,219,345	57,073,050
建物管理	38,565,485	11,319,250	5,929,668
工作物管理	41,290,068	37,725,846	31,928,565
清　　掃	21,418,698	23,955,151	24,179,407
運営管理	144,081,430	104,318,629	125,967,035
公園管理	167,293,098	104,526,901	93,295,832
現場管理費		9,834,227	9,044,255
業務管理費		5,375,740	4,314,047
一般管理費等		46,693,841	35,173,185
諸経費	48,859,707		
消費税	26,872,839	20,448,447	30,952,403
計	564,329,624	429,417,377	417,857,447

2. 従来の実施に要した人員

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
常勤職員	0	0	0
非常勤職員	0	0	0

（平成28年度の業務従事者に求められる知識・経験等）

1. 知識、経験に関する要件

同種又は類似業務の経験

2. 技術力に関する要件

〇植物管理業務責任者

・1級造園施工管理技士

（過去の業務従事者に求められる知識・経験等）

・入札の対象となる業務は全て外部委託として実施していた。業務実施の際、従事者に求められる知識・経験等は以下のとおりであった。（平成25年度）

1. 知識、経験に関する要件

<table>
<tr><td colspan="2">配置予定者</td><td>①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務の業務責任者（総括責任者）</td><td>②施設・設備維持管理業務の業務責任者</td><td>③植物管理業務の業務責任者</td><td>④収益施設等管理運営業務の業務責任者</td></tr>
<tr><td colspan="2">業務の経験※1</td><td colspan="4">下記に示す同種又は類似業務（平成14年度以降に完了した履行期間が概ね12ヶ月以上の業務に限る）の経験を有すること（申請書類提出時において実施中の業務にあっては、平成25年3月31日までの業務経験を含む）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">同種業務の経験</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした業務全体のマネジメント及び企画立案業務（本実施要項1.2.1参照）の実績を有し、かつ、下記のｱ)～ｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.2参照）に関する業務の実績を有し、かつ、施設・設備維持管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした植物管理業務（本実施要項1.2.3参照）に関する業務の実績を有し、かつ、植物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.4参照）に関する業務の実績（収益施設のうち、いずれか1種類以上の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等管理運営業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td></tr>
<tr><td colspan="3">1)都市公園の種別として、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園）
2)レクリエーション施設※4 又は観光・商業施設※5 で、2ha以上の園地管理※6を行っている施設</td></tr>
<tr><td>ｱ)延べ2年以上の総括責任者※2の経験
ｲ)延べ3年以上の業務責任者※3の経験
ｳ)総括責任者※2または業務責任者※3の経験を有し、かつ技術士（建設部門：都市及び地方計画）または技術士（総合技術監理部門：建設）の資格を有する者</td><td colspan="3">ｴ)延べ2年以上の業務責任者※3 の経験
ｵ)延べ3年以上の業務経験</td></tr>
<tr><td rowspan="3">類似業務の経験</td><td>下記の4)～5)のいずれかを対象とした業務全体のマネジメント及び企画立案業務（本実施要項1.2.1参照）の実績を有し、かつ、下記のｱ)～ｵ)のいずれかの経験を有すること
又は、下記の3)～5)のいずれかを対象としたマネジメント、企画運営管理、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.1(1)、(2)、1.2.2～1.2.4参照）のいずれかに関する業務の実績を有し、かつマネジメント、企画運営管理、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、収益施設等管理運営業務のいずれかに関する下記のｲ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の4)～5)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.2参照）に関する業務の実績を有し、かつ、施設・設備維持管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の4)～5)のいずれかを対象とした植物管理業務に関する業務（本実施要項1.2.3参照）の実績を有し、かつ、植物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td><td>下記の4)～5)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.4参照）に関する業務の実績（収益施設のうち、いずれか1種類以上の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等管理運営業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること</td></tr>
<tr><td colspan="3">3)都市公園の種別として、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園）
4)都市公園の種別として、地区公園又は特殊公園
5)レクリエーション施設※4 又は観光・商業施設※5 で、園地管理※6を行っている施設</td></tr>
<tr><td>ｱ)延べ3年以上の総括責任者※2の経験
ｲ)延べ4年以上の業務責任者※3の経験
ｳ)延べ1年以上の総括責任者※2または延べ2年以上の業務責任者※3の経験を有し、かつ技術士（建設部門：都市及び地方計画）または技術士（総合技術監理部門：建設）の資格を有する者</td><td colspan="3">ｴ)延べ3年以上の業務責任者※3 の経験
ｵ)延べ4年以上の業務経験</td></tr>
<tr><td colspan="2">資格</td><td>－</td><td>－</td><td>1級造園施工管理技士</td><td></td></tr>
</table>

※1：業務実績は、契約書等により実施が確認できるものに限る。（共同体での実績の場合は、当該配置予定者が実施した業務のみが実績となる。）

※2：総括責任者とは、複数の業務分野について全体的に総括する立場の者をいう。ただし、収益施設等管理運営業務への委託費の支出は認めない。収益施設等管理運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分しなければならない。

※3：業務責任者とは、個別業務の責任者をいう。ただし、収益施設等管理運営業務責任者への委託費の支出は認めない。収益施設等管理運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分しなければならない。なお、複数の業務分野について全体的に総括する立場の者を補佐する業務の経験は、業務責任者の経験とみなす。

※4：レクリエーション施設：主に屋外において、都市公園法の公園施設と同様な施設の構成により不特定多数の利用者へ有料でサービスを提供しているもの（例：遊園地、動物園、植物園、水族館、牧場、テーマパーク、ゴルフ場等）

※5：観光・商業施設：宿泊、ツアーガイド、物品販売など多様なサービスを一元的に不特定多数の利用者へ有料で提供しているもの（例：大規模ホテル、複合ショッピングセンター等）

※6：園地：屋外において年間を通して植物と空地が一体となり、それらの利用・鑑賞を目的として広く一般に周知されているとともに、適切かつ計画的な維持管理がなされている現存する園地。（移動可能なプランター等の植物管理は含まない。）

※7：専任とは、他の工事及び業務等に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該業務に係る職務にのみ従事していることをいう。ただし、契約の締結後、業務を開始するまでの期間（準備期間）は専任を要しない。

2. 技術力に関する要件

1級造園施工管理技士 1名以上

（業務の繁閑の状況とその対応）

なし

（注記事項）

・運営維持管理業務の人員のみ（収益施設等管理運営業務に係る人員は除く。）。

・平成25年度、委託企業の職員15名、臨時職員20名、契約アルバイト（パート）3名が従事していた。

・平成26年度、委託企業の職員18名、臨時職員19名、契約アルバイト（パート）7名が従事していた。

・従事者に求める知識や技術は、平成25年時の資格要件である。

3　従来の実施に要した施設及び設備（委託事業者に対して供与した施設・設備）

・別紙－1「主要公園施設一覧」、別紙－2「主要建築物一覧」、別紙－21「提供物品一覧（機械器具等）」及び別紙－34「建物・工作物に係る修繕履歴（修繕箇所、費用等）」を参照

（注記事項）
・運営維持管理業務の施設・設備のみ（収益施設等管理運営業務に係る施設・設備はのぞく。）。

4 従来の実施における目的の達成の程度

■年間指標

			平成24年度		平成25年度		平成26年度	
			目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
有料区域の公園利用者数※1		堀金・穂高地区		238,312 人	272,000 人	217,197 人	278,000 人	217,861 人
		大町・松川地区		175,439 人	162,000 人	138,433 人	171,000 人	127,864 人
公園の運営に関する「満足」の回答比率※2		堀金・穂高地区		60.2%	53.0%	63.7%	56.0%	67.8%
		大町・松川地区		61.4%	61.0%	60.0%	63.0%	67.0%
植物管理に関する「満足」の回答比率※3		堀金・穂高地区		64.8%	60.0%	62.6%	61.0%	65.3%
		大町・松川地区		64.7%	61.0%	60.6%	61.0%	66.5%
多様な利用プログラムの提供	体験プログラムの開催種数※4	堀金・穂高地区		39種	50 種	68 種	60 種	86種
		大町・松川地区		61 種	60 種	81 種	70 種	101種
	体験プログラムの延べ参加人数※4	堀金・穂高地区		15,392 人	16,000 人	14,876 人	18,000 人	40,544人
		大町・松川地区		22,131 人	26,000 人	27,338 人	26,000 人	29,628人
情報受発信の充実	マスコミによる報道件数※5			830件	1,300 件	1,824 件	1,350 件	1,827件
	ホームページの総アクセス件数			562,697件	560,000 件	586,540 件	570,000 件	645,721件

■四半期指標

		平成24年度							
		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月	
		目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
有料区域の公園利用者数※1	堀金・穂高地区		53,844 人		69,527 人		92,122 人		22,819 人
	大町・松川地区		42,027 人		61,219 人		50,672 人		21,521 人
公園の運営に関する「満足」の回答比率※2	堀金・穂高地区		46.0%		65.3%		59.2%		66.9%
	大町・松川地区		57.4%		59.2%		70.7%		58.1%

		平成25年度							
		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月	
		目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
有料区域の公園利用者数※1	堀金・穂高地区	54,000 人	50,432 人	73,000 人	55,445 人	130,000 人	93,465 人	15,000 人	17,855 人
	大町・松川地区	42,000 人	39,305 人	53,000 人	42,875 人	39,000 人	27,446 人	28,000 人	28,807 人
公園の運営に関する「満足」の回答比率※2	堀金・穂高地区	46.0%	65.2%	52.0%	63.7%	57.0%	58.4%	57.0%	67.6%
	大町・松川地区	65.0%	60.9%	57.0%	64.9%	65.0%	66.2%	57.0%	48.0%

		平成26年度							
		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月	
		目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
有料区域の公園利用者数※1	堀金・穂高地区	55,000 人	63,960 人	75,000 人	59,903 人	131,000 人	69,896 人	17,000 人	24,102 人
	大町・松川地区	45,000 人	39,286 人	54,000 人	37,397 人	43,000 人	35,271 人	29,000 人	15,910 人
公園の運営に関する「満足」の回答比率※2	堀金・穂高地区	52.0%	70.5%	55.0%	68.4%	58.0%	71.3%	59.0%	60.7%
	大町・松川地区	66.0%	68.7%	60.0%	67.3%	65.0%	69.6%	60.0%	61.5%

（注記事項）

1.（指標の意義、選定根拠）

運営管理の基本方針に基づいた公園の管理運営による効果を客観的に評価するための指標。
運営管理の重点事項を選定している。

2.（目標値・計画値の設定根拠）

過年度実績をもとに設定。

3.（実績の計算・把握の方法）

実施要項1．3．4．モニタリング方法による。
管理者からの管理月報及び公園の利用に関するアンケート調査より。
平成25年9月に大町・松川地区25ha、平成26年4月に堀金・穂高地区17haを追加供用。

4．表中の注記は以下のとおり。

※1：公園利用者数の集計方法は別紙－12「公園利用者数および公園利用者数のカウント方法」による。
※2：年間及び四半期毎の「公園の利用に関するアンケート調査」（別紙14）のQ6「公園には満足されましたか？」における「満足」の回答比率の平均値。
※3：春季、夏季、秋季の「公園利用者アンケート」（別紙－13）のQ7「②花や樹木の手入れの良さ」における「満足」の回答比率。
※4：体験プログラムとは、以下に示すプログラムとする。
①事業者職員又は公園ボランティアが直接運営するもの
堀金・穂高地区：あづみの学校の「理科教室」「芸術教室」「社会科教室」で行うプログラム、里山文化ゾーンにおける農体験プログラム
大町・松川地区：森の体験舎において食、工芸等の体験を行うプログラム及び園内の自然観察プログラム
②事業者職員又は公園ボランティアが地域の団体等と連携して運営するもの
両地区共通：大北又は安曇野地域の自然、歴史、文化に関連したプログラム
※5：マスコミ報道件数の目標とは、以下のそれぞれの件数と合計件数。
委託費による有料広告等についてはカウントできないが、委託費によらない自主事業等による有料広告等はカウントできるものとする。
・テレビ（NHK・民放）・ラジオ（AM、FM）の放送件数で、1番組につき1カウントとする。
・財団法人日本新聞協会加盟の新聞・大糸タイムス、販売や配布エリアが安曇野市、大町市域を超える範囲の雑誌・情報誌への紙面掲載件数で、新聞については1紙／回につき1カウントとし、雑誌・情報誌については、1冊／回につき1カウントとする。但しホームページ等インターネット記事掲載は除く。

5 従来の実施方法等

従来の実施方法
・業務区分表参照

（事業の目的を達成する観点から重視している事項）
・地域特性を生かした植物管理、多様な利用プログラムの提供、情報の受発信の充実を一元的に検討し、利用者数および満足度を目標としている。

（注記事項）
・公園利用者数および公園利用者数のカウント方法(別紙－12)、公園利用者アンケート(別紙－13)、体験プログラム一覧(別紙－15)、広報・報道実績(別紙－16)、ホームページアクセス件数(別紙－17)

業務区分表

	業務内容	業務細目	現状			民間競争入札			備考
			国土交通省	A（主な受託者）	A以外の業者	国土交通省	B（主な受託者）	B以外の業者	（作業時期・頻度・条件等）
国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務	①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務	マネジメント		○			○		通年
		企画運営管理		○			○		通年
	②施設・設備維持管理業務	維持修繕・保守点検		○			○		通年
		清掃		○			○		通年
	③植物管理業務	植物管理		○			○		通年
	④収益施設等管理運営業務	収益施設運営		○			○		通年
		自主事業		○			○		通年

別紙－11

精　算　報　告　書

平成25年03月　（累計分）

（国営アルプスあづみの公園）　〈両地区合計〉　（単位：円）

科目	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	97,565,750	75,948,299	21,617,451	
芝生管理	15,090,975	13,915,767	1,175,208	
低木管理	6,193,348	3,065,879	3,127,469	
高木管理	24,093,036	19,251,591	4,841,445	
草花管理	49,631,191	38,377,108	11,254,083	
特殊管理	2,557,200	1,337,954	1,219,246	
建物管理	44,089,000	38,565,485	5,523,515	
建物維持修繕	7,416,000	3,150,345	4,265,655	
建物設備維持修繕	4,600,000	5,717,364	▲ 1,117,364	
建物清掃	32,073,000	29,697,776	2,375,224	
工作物管理	34,200,000	41,290,068	▲ 7,090,068	
工作物維持修繕	6,000,000	3,360,876	2,639,124	
設備維持修繕	28,200,000	37,929,192	▲ 9,729,192	
清掃	23,553,000	21,418,698	2,134,302	
植栽地等清掃	22,153,000	20,563,500	1,589,500	
工作物清掃	1,400,000	855,198	544,802	
諸掛	121,773,637	144,081,430	▲ 22,307,793	
利用者指導	89,700,000	94,255,634	▲ 4,555,634	
自動車維持費	1,230,000	934,835	295,165	
広報宣伝費	30,843,637	48,890,961	▲ 18,047,324	
運営管理	166,262,250	167,293,098	▲ 1,030,848	
人件費	140,062,250	132,277,214	7,785,036	
旅費	1,800,000	1,899,268	▲ 99,268	
庁費	24,400,000	33,116,616	▲ 8,716,616	
小計	487,443,637	488,597,078	▲ 1,153,441	
諸経費	48,744,363	48,859,707	▲ 115,344	
消費税	26,809,400	26,872,839	▲ 63,439	
合計	562,997,400	564,329,624	▲ 1,332,224	

精　算　報　告　書

平成25年03月　（累計分）

（国営アルプスあづみの公園）　〈堀金･穂高地区〉　（単位：円）

科目	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	54,162,403	43,806,610	10,355,793	
芝生管理	7,655,386	6,950,647	704,739	
低木管理	3,359,168	1,296,535	2,062,633	
高木管理	3,496,800	3,609,418	▲ 112,618	
草花管理	37,093,849	30,612,056	6,481,793	
特殊管理	2,557,200	1,337,954	1,219,246	
建物管理	24,239,000	20,427,163	3,811,837	
建物維持修繕	4,430,000	1,167,999	3,262,001	
建物設備維持修繕	3,000,000	3,789,651	▲ 789,651	
建物清掃	16,809,000	15,469,513	1,339,487	
工作物管理	16,950,000	20,594,899	▲ 3,644,899	
工作物維持修繕	2,000,000	760,458	1,239,542	
設備維持修繕	14,950,000	19,834,441	▲ 4,884,441	
清掃	10,322,000	3,452,892	6,869,108	
植栽地等清掃	9,822,000	2,831,592	6,990,408	
工作物清掃	500,000	621,300	▲ 121,300	
諸掛	67,643,637	77,523,752	▲ 9,880,115	
利用者指導	47,800,000	45,172,528	2,627,472	
自動車維持費	600,000	481,169	118,831	
広報宣伝費	19,243,637	31,870,055	▲ 12,626,418	
運営管理	113,353,250	117,934,567	▲ 4,581,317	
人件費	93,473,250	93,304,686	168,564	
旅費	1,300,000	1,448,157	▲ 148,157	
庁費	18,580,000	23,181,724	▲ 4,601,724	
小計	286,670,290	283,739,883	2,930,407	
諸経費	28,667,029	28,373,988	293,041	
消費税	15,766,866	15,605,693	161,173	
合計	331,104,185	327,719,564	3,384,621	

精　算　報　告　書

平成25年03月　（累計分）

（国営アルプスあづみの公園）　〈大町・松川地区〉　（単位：円）

科目	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	43,403,347	32,141,689	11,261,658	
芝生管理	7,435,589	6,965,120	470,469	
低木管理	2,834,180	1,769,344	1,064,836	
高木管理	20,596,236	15,642,173	4,954,063	
草花管理	12,537,342	7,765,052	4,772,290	
特殊管理				
建物管理	19,850,000	18,138,322	1,711,678	
建物維持修繕	2,986,000	1,982,346	1,003,654	
建物設備維持修繕	1,600,000	1,927,713	▲ 327,713	
建物清掃	15,264,000	14,228,263	1,035,737	
工作物管理	17,250,000	20,695,169	▲ 3,445,169	
工作物維持修繕	4,000,000	2,600,418	1,399,582	
設備維持修繕	13,250,000	18,094,751	▲ 4,844,751	
清掃	13,231,000	17,965,806	▲ 4,734,806	
植栽地等清掃	12,331,000	17,731,908	▲ 5,400,908	
工作物清掃	900,000	233,898	666,102	
諸掛	54,130,000	66,557,678	▲ 12,427,678	
利用者指導	41,900,000	49,083,106	▲ 7,183,106	
自動車維持費	630,000	453,666	176,334	
広報宣伝費	11,600,000	17,020,906	▲ 5,420,906	
運営管理	52,909,000	49,358,531	3,550,469	
人件費	46,589,000	38,972,528	7,616,472	
旅費	500,000	451,111	48,889	
庁費	5,820,000	9,934,892	▲ 4,114,892	
小計	200,773,347	204,857,195	▲ 4,083,848	
諸経費	20,077,334	20,485,719	▲ 408,385	
消費税	11,042,534	11,267,145	▲ 224,611	
合計	231,893,215	236,610,059	▲ 4,716,844	

別記様式第６

平成25年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【両地区合計】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	64,857,189	65,219,345	▲ 362,156	0.6%
芝生管理	13,343,025	11,221,715	2,121,310	
中低木管理	3,581,547	3,311,074	270,473	
高木管理	2,791,080	4,395,185	▲ 1,604,105	
林地管理	6,415,420	16,617,587	▲ 10,202,167	
草地管理	0	0	0	
花壇管理	5,769,359	2,308,164	3,461,195	
花畑管理	4,905,821	2,301,638	2,604,183	
草花管理	27,034,047	24,694,704	2,339,343	
特殊管理	1,016,890	369,278	647,612	
建 物 管 理	10,149,350	11,319,250	▲ 1,169,900	11.5%
建物維持修繕	4,174,250	3,088,110	1,086,140	
建物設備維持修繕	5,975,100	8,231,140	▲ 2,256,040	
工作物管理	31,515,050	37,725,846	▲ 6,210,796	19.7%
工作物維持修繕	9,176,200	4,134,147	5,042,053	
設備維持修繕	22,338,850	33,591,699	▲ 11,252,849	
清　　掃	29,610,618	23,955,151	5,655,467	-19.1%
清掃工	29,610,618	23,955,151	5,655,467	
運営管理	98,840,833	104,318,629	▲ 5,477,796	5.5%
利用者指導	58,356,533	58,107,532	249,001	
自動車維持費	834,300	1,442,351	▲ 608,051	
広報宣伝費	39,650,000	44,768,746	▲ 5,118,746	
公園管理	98,359,000	104,526,901	▲ 6,167,901	6.3%
人件費	79,719,000	91,785,871	▲ 12,066,871	
旅費	640,000	725,885	▲ 85,885	
庁費	18,000,000	12,015,145	5,984,855	
直接業務費	333,332,040	347,065,122	▲ 13,733,082	
間接業務費	21,265,802	15,209,967	6,055,835	
現場管理費	15,517,860	9,834,227	5,683,633	
業務管理費	5,747,942	5,375,740	372,202	
業務原価	354,597,842	362,275,089	▲ 7,677,247	
一般管理費等	35,459,784	46,693,841	▲ 11,234,057	
業務価格	390,057,626	408,968,930	▲ 18,911,304	
消費税	19,502,881	20,448,447	▲ 945,565	
計	409,560,507	429,417,377	▲ 19,856,869	公園管理　▲6,167,901 一般管理費　▲11,234,057

別記様式第６

平成25年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【堀金・穂高地区】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	39,892,388	37,174,832	2,717,556	
芝生管理	7,370,499	5,000,226	2,370,273	
中低木管理	2,241,973	1,793,425	448,548	
高木管理	1,170,310	2,430,605	▲ 1,260,295	
林地管理	565,514	4,787,268	▲ 4,221,754	
草地管理	0	0	0	
花壇管理	0	0	0	
花畑管理	4,905,821	2,301,638	2,604,183	
草花管理	22,621,381	20,492,392	2,128,989	
特殊管理	1,016,890	369,278	647,612	
建 物 管 理	5,756,350	6,533,746	▲ 777,396	
建物維持修繕	1,820,650	976,133	844,517	
建物設備維持修繕	3,935,700	5,557,613	▲ 1,621,913	
工作物管理	15,977,150	16,986,991	▲ 1,009,841	
工作物維持修繕	4,139,200	638,184	3,501,016	
設備維持修繕	11,837,950	16,348,807	▲ 4,510,857	
清　　掃	15,655,448	10,741,015	4,914,433	
清掃工	15,655,448	10,741,015	4,914,433	
運営管理	58,836,900	56,645,784	2,191,116	
利用者指導	34,995,200	31,723,388	3,271,812	
自動車維持費	389,700	789,375	▲ 399,675	
広報宣伝費	23,452,000	24,133,021	▲ 681,021	
公園管理	63,607,000	67,304,949	▲ 3,697,949	
人件費	51,441,000	58,926,605	▲ 7,485,605	
旅費	416,000	295,688	120,312	
庁費	11,750,000	8,082,656	3,667,344	
直接業務費	199,725,236	195,387,317	4,337,919	
間接業務費	12,560,000	7,754,258	4,805,742	
現場管理費	9,543,000	5,236,967	4,306,033	
業務管理費	3,017,000	2,517,291	499,709	
業務原価	212,285,236	203,141,575	9,143,661	
一般管理費等	21,228,523	26,183,032	▲ 4,954,509	
業務価格	233,513,759	229,324,607	4,189,152	
消費税	11,675,688	11,466,230	209,458	
計	245,189,447	240,790,837	4,398,610	

別記様式第６

平成25年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【大町・松川地区】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	24,964,801	28,044,513	▲ 3,079,712	
芝生管理	5,972,526	6,221,489	▲ 248,963	
中低木管理	1,339,574	1,517,649	▲ 178,075	
高木管理	1,620,770	1,964,580	▲ 343,810	
林地管理	5,849,906	11,830,319	▲ 5,980,413	
草地管理	0		0	
花壇管理	5,769,359	2,308,164	3,461,195	
花畑管理	0		0	
草花管理	4,412,666	4,202,312	210,354	
特殊管理	0		0	
建 物 管 理	4,393,000	4,785,504	▲ 392,504	
建物維持修繕	2,353,600	2,111,977	241,623	
建物設備維持修繕	2,039,400	2,673,527	▲ 634,127	
工作物管理	15,537,900	20,738,855	▲ 5,200,955	
工作物維持修繕	5,037,000	3,495,963	1,541,037	
設備維持修繕	10,500,900	17,242,892	▲ 6,741,992	
清　　掃	13,955,170	13,214,136	741,034	
清掃工	13,955,170	13,214,136	741,034	
運営管理	40,003,933	47,672,845	▲ 7,668,912	
利用者指導	23,361,333	26,384,144	▲ 3,022,811	
自動車維持費	444,600	652,976	▲ 208,376	
広報宣伝費	16,198,000	20,635,725	▲ 4,437,725	
公園管理	34,752,000	37,221,952	▲ 2,469,952	
人件費	28,278,000	32,859,266	▲ 4,581,266	
旅費	224,000	430,197	▲ 206,197	
庁費	6,250,000	3,932,489	2,317,511	
直接業務費	133,606,804	151,677,805	▲ 18,071,001	
間接業務費	8,705,802	7,455,709	1,250,093	
現場管理費	5,974,860	4,597,260	1,377,600	
業務管理費	2,730,942	2,858,449	▲ 127,507	
業務原価	142,312,606	159,133,514	▲ 16,820,908	
一般管理費等	14,231,261	20,510,809	▲ 6,279,548	
業務価格	156,543,867	179,644,323	▲ 23,100,456	
消費税	7,827,193	8,982,216	▲ 1,155,023	
計	164,371,060	188,626,539	▲ 24,255,479	

別記様式第６

平成26年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【両地区合計】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	64,357,206	57,073,050	7,284,156	−11.3%
芝生管理	13,343,032	8,183,472	5,159,560	
中低木管理	3,081,551	3,663,887	▲ 582,336	
高木管理	2,791,080	1,156,203	1,634,877	
林地管理	6,415,421	14,980,169	▲ 8,564,748	
草地管理	0	0	0	
花壇管理	5,769,360	4,084,409	1,684,951	
花畑管理	4,905,823	1,679,675	3,226,148	
草花管理	27,034,049	22,827,435	4,206,614	
特殊管理	1,016,890	497,800	519,090	
建 物 管 理	9,749,350	5,929,668	3,819,682	−39.2%
建物維持修繕	3,774,250	2,364,928	1,409,322	
建物設備維持修繕	5,975,100	3,564,740	2,410,360	
工作物管理	30,815,050	31,928,565	▲ 1,113,515	3.6%
工作物維持修繕	8,476,200	4,637,376	3,838,824	
設備維持修繕	22,338,850	27,291,189	▲ 4,952,339	
清　　掃	29,610,618	24,179,407	5,431,211	−18.3%
清掃工	29,610,618	24,179,407	5,431,211	
運営管理	98,340,883	125,967,035	▲ 27,626,152	28.1%
利用者指導	58,356,583	71,599,930	▲ 13,243,347	
自動車維持費	834,300	2,097,577	▲ 1,263,277	
広報宣伝費	39,150,000	52,269,528	▲ 13,119,528	
公園管理	97,819,000	93,295,832	4,523,168	−4.6%
人件費	79,719,000	79,527,167	191,833	
旅費	600,000	661,774	▲ 61,774	
庁費	17,500,000	13,106,891	4,393,109	
直接業務費	330,692,107	338,373,557	▲ 7,681,450	
間接業務費	21,039,752	13,358,302	7,681,450	
現場管理費	15,400,761	9,044,255	6,356,506	
業務管理費	5,638,991	4,314,047	1,324,944	
業務原価	351,731,859	351,731,859	0	
一般管理費等	35,173,185	35,173,185	0	現場支援費含む
業務価格	386,905,044	386,905,044	0	
消費税	30,952,403	30,952,403	0	
計	417,857,447	417,857,447	0	

別記様式第６

平成26年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【堀金・穂高地区】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	39,392,398	31,987,371	7,405,027	
芝生管理	7,370,505	3,225,556	4,144,949	
中低木管理	1,741,974	2,025,555	▲ 283,581	
高木管理	1,170,310	451,118	719,192	
林地管理	565,514	4,771,710	▲ 4,206,196	
草地管理	0	0	0	
花壇管理	0	0	0	
花畑管理	4,905,823	1,679,675	3,226,148	
草花管理	22,621,382	19,335,957	3,285,425	
特殊管理	1,016,890	497,800	519,090	
建 物 管 理	5,556,350	3,345,248	2,211,102	
建物維持修繕	1,620,650	699,768	920,882	
建物設備維持修繕	3,935,700	2,645,480	1,290,220	
工作物管理	15,477,150	15,274,503	202,647	
工作物維持修繕	3,639,200	2,230,016	1,409,184	
設備維持修繕	11,837,950	13,044,487	▲ 1,206,537	
清　　掃	15,665,448	13,635,251	2,030,197	
清掃工	15,665,448	13,635,251	2,030,197	
運営管理	58,336,950	68,944,816	▲ 10,607,866	
利用者指導	34,995,250	38,411,781	▲ 3,416,531	
自動車維持費	389,700	968,188	▲ 578,488	
広報宣伝費	22,952,000	29,564,847	▲ 6,612,847	
公園管理	63,186,000	61,827,160	1,358,840	
人件費	54,136,000	53,038,354	1,097,646	
旅費	300,000	417,506	▲ 117,506	
庁費	8,750,000	8,371,300	378,700	
直接業務費	197,614,296	195,014,349	2,599,947	
間接業務費	12,366,459	7,007,185	5,359,274	
現場管理費	9,426,651	4,879,032	4,547,619	
業務管理費	2,939,808	2,128,153	811,655	
業務原価	209,980,755	202,021,534	7,959,221	
一般管理費等	20,998,075	20,202,153	795,922	現場支援費含む
業務価格	230,978,830	222,223,687	8,755,143	
消費税	18,478,306	17,777,895	700,411	
計	249,457,136	240,001,582	9,455,554	

別記様式第６

平成26年度

精　算　報　告　書

（国営アルプスあづみの公園）　【大町・松川地区】　（単位：円）

経　費　区　分	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (A)－(B)	摘　要
植物管理	24,964,808	25,085,679	▲ 120,871	
芝生管理	5,972,527	4,957,916	1,014,611	
中低木管理	1,339,577	1,638,332	▲ 298,755	
高木管理	1,620,770	705,085	915,685	
林地管理	5,849,907	10,208,459	▲ 4,358,552	
草地管理	0	0	0	
花壇管理	5,769,360	4,084,409	1,684,951	
花畑管理	0	0	0	
草花管理	4,412,667	3,491,478	921,189	
特殊管理	0	0	0	
建 物 管 理	4,193,000	2,584,420	1,608,580	
建物維持修繕	2,153,600	1,665,160	488,440	
建物設備維持修繕	2,039,400	919,260	1,120,140	
工作物管理	15,337,900	16,654,062	▲ 1,316,162	
工作物維持修繕	4,837,000	2,407,360	2,429,640	
設備維持修繕	10,500,900	14,246,702	▲ 3,745,802	
清　　掃	13,945,170	10,544,156	3,401,014	
清掃工	13,945,170	10,544,156	3,401,014	
運営管理	40,003,933	57,022,219	▲ 17,018,286	
利用者指導	23,361,333	33,188,149	▲ 9,826,816	
自動車維持費	444,600	1,129,389	▲ 684,789	
広報宣伝費	16,198,000	22,704,681	▲ 6,506,681	
公園管理	34,633,000	31,468,672	3,164,328	
人件費	25,583,000	26,488,813	▲ 905,813	
旅費	300,000	244,268	55,732	
庁費	8,750,000	4,735,591	4,014,409	
直接業務費	133,077,811	143,359,208	▲ 10,281,397	
間接業務費	8,673,293	6,351,117	2,322,176	
現場管理費	5,974,110	4,165,223	1,808,887	
業務管理費	2,699,183	2,185,894	513,289	
業務原価	141,751,104	149,710,325	▲ 7,959,221	
一般管理費等	14,175,110	14,971,032	▲ 795,922	現場支援費含む
業務価格	155,926,214	164,681,357	▲ 8,755,143	
消費税	12,474,097	13,174,508	▲ 700,410	
計	168,400,311	177,855,865	▲ 9,455,553	

別紙－12

公園利用者数および公園利用者数のカウント方法

平成24度　国営アルプスあづみの公園（HH地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	*入園者実績*			13,123	40,121	11,000	18,675	47,900	20,427	24,857	35,263	47,373	16,326	4,635		279,700
	有料区域	有料	中央ゲート	7,817	13,431	6,544	11,043	31,483	12,457	7,322	24,913	36,709	11,392	2,480		165,591
			須砂渡口ゲート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
			計	7,817	13,431	6,544	11,043	31,483	12,457	7,322	24,913	36,709	11,392	2,480	0	165,591
		パスポート	大　人	117	111	113	116	127	109	76	108	111	146	161		1,295
			小　人	40	26	19	45	53	17	12	21	17	31	29		310
			シルバー	32	28	27	24	22	25	28	35	14	35	29		299
			計	189	165	159	185	202	151	116	164	142	212	219	0	1,904
		無料入園者		1,935	22,065	1,539	2,962	7,210	3,834	14,409	4,092	4,255	1,783	1,194		65,278
		小　計		9,941	35,661	8,242	14,190	38,895	16,442	21,847	29,169	41,106	13,387	3,893	0	232,773
	無料区域			3,182	4,460	2,758	4,485	9,005	3,985	3,010	6,094	6,267	2,939	742		46,927
	有料内訳（人）	一般大人		5,011	7,815	2,954	6,728	18,828	8,015	3,832	18,216	28,813	6,382	1,664		108,258
		一般小人		1,633	1,200	643	2,586	8,309	2,557	769	2,669	3,587	1,320	576		25,849
		シルバー		796	1,665	851	1,015	2,448	1,060	1,275	2,164	1,764	598	132		13,768
		団体大人		153	1,266	521	338	897	481	478	1,170	1,826	2,336	73		9,539
		団体小人		154	1,084	1,338	336	828	239	555	263	175	436	42		5,450
		団体シルバー		70	401	237	40	173	105	413	431	544	320	0		2,734
		パスポート発券数大人		14	12	6	10	7	3	4	12	5	9	21		103
		パスポート発券数小人		9	7	2	5	1	1	0	1	0	2	3		31
		パスポート発券数シルバー		2	3	2	2	0	1	1	6	1	1	3		22
	障害者入園数			166	362	160	52	487	310	239	415	441	103	67		2,802
	ペット入園数			177	384	129	19	406	269	293	276	189	115	60		2,317
開　園　日　数（日）				26	27	26	28	31	26	26	26	27	26	24		293

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P180

平成24年度　国営アルプスあづみの公園（OM地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	*入園者実績*			7,180	27,191	7,656	14,041	33,660	13,518	15,882	15,883	18,907	8,605	8,308		170,831
	有料区域	有料	インフォメーション	4,155	9,236	5,094	10,137	24,919	9,094	5,237	9,426	11,156	5,183	5,168	0	98,805
			レンタル棟	244	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0		331
			計	4,399	9,323	5,094	10,137	24,919	9,094	5,237	9,426	11,156	5,183	5,168	0	99,136
		パスポート	大　人	82	119	135	125	173	121	86	143	124	113	106	0	1,327
			小　人	16	22	21	27	44	24	16	21	21	39	28	0	279
			シルバー	41	37	32	53	55	42	29	42	43	38	33	0	445
			計	139	178	188	205	272	187	131	206	188	190	167	0	2,051
		無料入園者		2,642	17,690	2,374	3,699	8,469	4,237	10,514	6,251	7,563	3,232	2,973		69,644
		小　計		7,180	27,191	7,656	14,041	33,660	13,518	15,882	15,883	18,907	8,605	8,308	0	170,831
	無料区域			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有料内訳（人）	一般大人		2,907	5,103	2,328	4,305	11,166	5,246	2,360	5,970	7,663	2,934	3,368		53,350
		一般小人		1,090	762	546	1,702	4,944	1,940	722	1,168	1,206	831	1,389		16,300
		シルバー		351	854	514	736	1,820	534	727	817	562	261	219		7,395
		団体大人		42	1,843	676	1,761	3,665	745	658	788	1,342	629	93		12,242
		団体小人		9	757	915	1,223	2,438	482	372	104	92	161	99		6,652
		団体シルバー		0	4	115	410	886	147	398	579	291	367	0		3,197
		パスポート発券数大人		10	14	8	8	9	11	3	6	5	9	7		90
		パスポート発券数小人		3	5	3	1	4	4	1	3	0	3	2		29
		パスポート発券数シルバー		2	0	4	4	1	1	4	3	0	1	1		21
	障害者入園数			121	165	153	158	367	157	103	209	153	72	51		1,709
	ペット入園数			111	399	86	123	310	253	214	127	77	56	47		1,803
開　園　日　数（日）				26	27	26	28	31	26	26	26	27	26	24		293

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P181

平成２４年度　国営アルプスあづみの公園（ＯＭ地区＋ＨＨ地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	６　月	７　月	８　月	９　月	10月	11月	12月	１　月	２　月	３　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	*入園者実績*			20,303	67,312	18,656	32,716	81,560	33,945	40,739	51,146	66,280	24,931	12,943	0	450,531
	有料区域	有料	中央ゲート	7,817	13,431	6,544	11,043	31,483	12,457	7,322	24,913	36,709	11,392	2,480	0	165,591
			須砂渡口ゲート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			インフォメーション	4,155	9,236	5,094	10,137	24,919	9,094	5,237	9,426	11,156	5,183	5,168	0	98,805
			レンタル棟	244	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	331
			計	12,216	22,754	11,638	21,180	56,402	21,551	12,559	34,339	47,865	16,575	7,648	0	264,727
		パスポート	大　人	199	230	248	241	300	230	162	251	235	259	267	0	2,622
			小　人	56	48	40	72	97	41	28	42	38	70	57	0	589
			シルバー	73	65	59	77	77	67	57	77	57	73	62	0	744
			計	328	343	347	390	474	338	247	370	330	402	386	0	3,955
			有料入園者合計	12,544	23,097	11,985	21,570	56,876	21,889	12,806	34,709	48,195	16,977	8,034	0	268,682
		無料入園者		4,577	39,755	3,913	6,661	15,679	8,071	24,923	10,343	11,818	5,015	4,167	0	134,922
		小　計		17,121	62,852	15,898	28,231	72,555	29,960	37,729	45,052	60,013	21,992	12,201	0	403,604
	無料区域			3,182	4,460	2,758	4,485	9,005	3,985	3,010	6,094	6,267	2,939	742	0	46,927
	有料内訳（人）	一般大人		7,918	12,918	5,282	11,033	29,994	13,261	6,192	24,186	36,476	9,316	5,032	0	161,608
		一般小人		2,723	1,962	1,189	4,288	13,253	4,497	1,491	3,837	4,793	2,151	1,965	0	42,149
		シルバー		1,147	2,519	1,365	1,751	4,268	1,594	2,002	2,981	2,326	859	351	0	21,163
		団体大人		195	3,109	1,197	2,099	4,562	1,226	1,136	1,958	3,168	2,965	166	0	21,781
		団体小人		163	1,841	2,253	1,559	3,266	721	927	367	267	597	141	0	12,102
		団体シルバー		70	405	352	450	1,059	252	811	1,010	835	687	0	0	5,931
		パスポート発券数大人		24	26	14	18	16	14	7	18	10	18	28	0	193
		パスポート発券数小人		12	12	5	6	5	5	1	4	0	5	5	0	60
		パスポート発券数シルバー		4	3	6	6	1	2	5	9	1	2	4	0	43
	障害者入園数			287	527	313	210	854	467	342	624	594	175	118	0	4,511
	ペット入園数			288	783	215	142	716	522	507	403	266	171	107	0	4,120
開　園　日　数（日）				52	54	52	56	62	52	52	52	54	52	48	0	586

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P182

平成25年度　国営アルプスあづみの公園（HH地区）　利用状況総括表

区分				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	*入園者実績*			11,469	38,181	8,932	15,451	38,495	13,499	18,124	22,813	58,689	10,986	3,093	6,437	239,732
	有料区域	有料	中央ゲート	7,485	17,155	5,524	9,304	25,892	8,922	7,396	16,911	49,828	8,575	1,517	3,612	162,121
			須砂渡口ゲート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
			計	7,485	17,155	5,524	9,304	25,892	8,922	7,396	16,911	49,828	8,444	1,517	3,612	161,990
		パスポート	大　人	128	120	73	132	123	102	108	133	122	102	89	108	1,340
			小　人	21	21	11	24	35	25	9	30	17	9	17	17	236
			シルバー	24	25	18	34	8	20	35	29	12	20	12	12	249
			計	173	166	102	190	166	147	152	192	151	131	118	137	1,825
		無料入園者		1,831	16,753	1,243	2,665	6,264	1,895	9,007	3,170	6,658	1,379	838	1,679	53,382
		小　計		9,489	34,074	6,869	12,159	32,322	10,964	16,555	20,273	56,637	9,954	2,473	5,428	217,197
	無料区域			1,980	4,107	2,063	3,292	6,173	2,535	1,569	2,540	2,052	1,032	620	1,009	28,972
	有料内訳（人）	一般大人		4,539	10,115	2,938	5,556	16,028	5,878	4,115	11,355	37,689	5,540	1,020	2,335	107,108
		一般小人		1,255	1,427	649	1,793	6,834	1,142	924	2,354	5,334	1,035	254	851	23,852
		シルバー		994	2,799	784	1,031	2,411	1,416	1,470	1,384	2,923	1,055	120	290	16,677
		団体大人		339	1,124	136	431	223	173	308	1,043	2,647	576	18	104	7,122
		団体小人		270	1,386	856	426	356	229	456	255	201	95	28	28	4,586
		団体シルバー		88	304	161	67	40	84	123	520	1,034	143	77	4	2,645
		パスポート発券数大人		11	8	1	21	5	6	6	6	2	9	9	22	106
		パスポート発券数小人		6	1	1	1	5	2	1	1	0	4	1	2	25
		パスポート発券数シルバー		4	4	1	17	0	0	0	2	1	5	4	5	43
入　園　料（円）				2,297,620	5,205,580	1,503,800	2,846,220	7,552,360	2,828,050	2,172,360	5,444,710	17,054,930	2,753,630	518,960	1,191,000	51,369,220
	障害者入園数			209	491	175	338	456	255	239	270	593	138	33	85	3,282
	ペット入園数			224	480	151	164	296	245	356	245	276	135	39	79	2,690
開　園　日　数（日）				26	27	26	28	31	25	27	26	27	26	24	26	319

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P183

平成25年度　国営アルプスあづみの公園（OM地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	*入園者実績*			6,461	26,440	6,404	10,083	24,124	8,668	16,463	7,621	3,362	7,454	10,800	10,553	127,880
	有料区域	有料	インフォメーション	4,123	9,669	4,163	6,910	17,583	5,276	5,710	4,714	1,410	4,521	7,434	6,825	78,338
			レンタル棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	4,123	9,669	4,163	6,910	17,583	5,276	5,710	4,714	1,410	4,521	7,434	6,825	78,338
		パスポート	大　人	59	91	119	84	112	107	160	154	92	140	155	98	1,371
			小　人	13	16	22	14	25	24	19	18	13	29	21	20	234
			シルバー	27	26	41	61	67	51	88	86	59	52	55	27	640
			計	99	133	182	159	204	182	267	258	164	221	231	145	2,245
		無料入園者		2,239	16,638	2,059	3,014	6,337	3,210	10,486	2,649	1,788	2,712	3,135	3,583	57,850
		小　計		6,461	26,440	6,404	10,083	24,124	8,668	16,463	7,621	3,362	7,454	10,800	10,553	138,433
	無料区域			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有料内訳（人）	一般大人		2,566	5,064	1,929	2,755	8,340	3,118	3,060	2,693	1,002	3,123	5,278	3,546	42,474
		一般小人		1,175	1,039	596	984	3,883	793	800	679	311	778	962	1,031	13,031
		シルバー		382	946	403	594	1,555	574	910	565	97	312	548	324	7,210
		団体大人		0	1,841	530	642	1,705	362	541	345	0	148	440	622	7,176
		団体小人		0	660	657	1,628	1,560	371	278	359	0	83	75	591	6,262
		団体シルバー		0	119	48	307	540	58	121	73	0	77	131	711	2,185
		パスポート発券数大人		6	5	6	4	3	3	13	9	3	7	11	12	82
		パスポート発券数小人		1	4	2	2	0	0	1	0	1	0	4	0	15
		パスポート発券数シルバー		0	2	2	1	1	1	1	3	3	2	1	1	18
入　園　料（円）				1,221,600	2,897,400	1,120,330	1,641,680	4,635,040	1,570,950	1,714,380	1,415,670	463,880	1,466,830	2,500,110	1,961,590	22,609,460
	障害者入園数			123	201	117	188	378	150	170	172	74	64	97	107	1,841
	ペット入園数			107	417	99	100	274	138	234	110	33	38	47	56	1,653
開　園　日　数（日）				26	27	26	28	31	25	27	26	25	26	24	26	317

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P184

平成25年度　国営アルプスあづみの公園（OM地区＋HH地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10月	11月	12月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	*入園者実績*			17,930	64,621	15,336	25,534	62,619	22,167	34,587	30,434	62,051	18,440	13,893	16,990	367,612
	有料区域	有料	中央ゲート	7,485	17,155	5,524	9,304	25,892	8,922	7,396	16,911	49,828	8,575	1,517	3,612	162,121
			須砂渡口ゲート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			インフォメーション	4,123	9,669	4,163	6,910	17,583	5,276	5,710	4,714	1,410	4,521	7,434	6,825	78,338
			レンタル棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	11,608	26,824	9,687	16,214	43,475	14,198	13,106	21,625	51,238	12,965	8,951	10,437	240,328
		パスポート	大　人	187	211	192	216	235	209	268	287	214	242	244	206	2,711
			小　人	34	37	33	38	60	49	28	48	30	38	38	37	470
			シルバー	51	51	59	95	75	71	123	115	71	72	67	39	889
			計	272	299	284	349	370	329	419	450	315	352	349	282	4,070
		無料入園者		4,070	33,391	3,302	5,679	12,601	5,105	19,493	5,819	8,446	4,091	3,973	5,262	111,232
		小　計		15,950	60,514	13,273	22,242	56,446	19,632	33,018	27,894	59,999	17,408	13,273	15,981	355,630
	無料区域			1,980	4,107	2,063	3,292	6,173	2,535	1,569	2,540	2,052	1,032	620	1,009	28,972
	有料内訳（人）	一般大人		7,105	15,179	4,867	8,311	24,368	8,996	7,175	14,048	38,691	8,663	6,298	5,881	149,582
		一般小人		2,430	2,466	1,245	2,777	10,717	1,935	1,724	3,033	5,645	1,813	1,216	1,882	36,883
		シルバー		1,376	3,745	1,187	1,625	3,966	1,990	2,380	1,949	3,020	1,367	668	614	23,887
		団体大人		339	2,965	666	1,073	1,928	535	849	1,388	2,647	724	458	726	14,298
		団体小人		270	2,046	1,513	2,054	1,916	600	734	614	201	178	103	619	10,848
		団体シルバー		88	423	209	374	580	142	244	593	1,034	220	208	715	4,830
		パスポート発券数大人		17	13	7	25	8	9	19	15	5	16	20	34	188
		パスポート発券数小人		7	5	3	3	5	2	2	1	1	4	5	2	40
		パスポート発券数シルバー		4	6	3	18	1	1	1	5	4	7	5	6	61
	障害者入園数			332	692	292	526	834	405	409	442	667	202	130	192	5,123
	ペット入園数			331	897	250	264	570	383	590	355	309	173	86	135	4,343
開　園　日　数（日）				26	27	26	28	31	25	27	26	27	26	24	26	319

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P185

平成26度　国営アルプスあづみの公園（HH地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	入園者実績			13,045	49,257	9,107	18,238	35,861	15,928	17,018	30,921	29,708	11,807	4,726	10,603	246,219
	有料区域	有料	中央口ゲート	7,601	13,255	4,861	10,127	21,776	8,878	7,112	22,486	23,958	8,466	2,321	4,473	135,314
			穂高口ゲート	462	3,125	447	694	2,193	1,199	1,027	663	99	78	110	1,353	11,450
			須砂渡口ゲート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
			計	8,063	16,380	5,308	10,821	23,969	10,077	8,139	23,149	24,057	8,544	2,431	5,826	146,764
		パスポート	大　人	202	208	171	177	186	227	156	253	102	149	121	196	2,148
			小　人	55	45	33	41	61	38	16	64	19	20	18	38	448
			シルバー	96	100	67	93	74	103	80	87	45	60	47	68	920
			計	353	353	271	311	321	368	252	404	166	229	186	302	3,516
		無料入園者		2,441	29,412	1,379	4,471	6,607	2,958	6,446	3,947	3,336	1,844	1,494	3,246	67,581
		小　計		10,857	46,145	6,958	15,603	30,897	13,403	14,837	27,500	27,559	10,617	4,111	9,374	217,861
	無料区域			2,188	3,112	2,149	2,635	4,964	2,525	2,181	3,421	2,149	1,190	615	1,229	28,358
	有料内訳（人）	一般大人		4,863	7,901	2,615	5,422	13,972	6,318	4,160	16,459	18,880	6,171	1,801	3,796	92,358
		一般小人		1,358	1,661	658	2,099	6,583	1,777	1,056	2,721	2,263	1,023	494	1,270	22,963
		シルバー		1,392	2,438	845	1,104	2,369	1,302	2,014	1,884	1,077	919	136	549	16,029
		団体大人		271	2,934	259	677	298	148	313	1,177	1,338	307	0	132	7,854
		団体小人		96	825	867	1,345	638	447	275	324	153	85	0	55	5,110
		団体シルバー		83	621	64	174	109	85	321	584	346	39	0	24	2,450
		パスポート発券数大人		43	26	11	9	13	14	6	1	2	5	11	21	162
		パスポート発券数小人		18	9	4	3	9	1	0	6	0	4	2	2	58
		パスポート発券数シルバー		25	8	3	5	3	2	1	2	1	4	0	8	62
入　園　料（円）				2,738,810	5,037,390	1,488,740	2,972,700	6,960,660	3,151,480	2,411,650	7,854,780	8,626,640	2,938,510	853,190	1,923,820	46,958,370
	障害者入園数			242	392	165	219	390	284	318	414	410	194	85	162	3,275
	ペット入園数			186	548	173	238	458	442	362	368	164	115	88	163	3,305
開　園　日　数（日）				27	27	25	29	31	26	27	26	27	26	24	26	321

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P186

平成26年度　国営アルプスあづみの公園（OM地区）　利用状況総括表

区分				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	入園者実績			5,552	26,940	6,794	7,322	21,837	8,238	11,789	13,758	9,724	6,603	5,301	4,006	127,864
	有料区域	有料	インフォメーション	3,132	6,699	4,209	5,167	16,507	5,359	3,520	8,578	6,137	4,199	3,290	2,261	69,058
			レンタル棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	3,132	6,699	4,209	5,167	16,507	5,359	3,520	8,578	6,137	4,199	3,290	2,261	69,058
		パスポート	大　人	77	133	122	90	158	135	84	160	80	105	88	83	1,315
			小　人	18	27	26	26	47	26	34	25	23	17	23	21	313
			シルバー	40	65	66	32	44	61	9	57	30	20	22	22	468
			計	135	225	214	148	249	222	127	242	133	142	133	126	2,096
		無料入園者		2,285	20,016	2,371	2,007	5,081	2,657	8,142	4,938	3,454	2,262	1,878	1,619	56,710
		小　計		5,552	26,940	6,794	7,322	21,837	8,238	11,789	13,758	9,724	6,603	5,301	4,006	127,864
	無料区域			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有料内訳（人）	一般大人		1,842	3,568	1,892	2,154	7,194	3,225	1,767	5,222	4,562	2,780	1,652	1,234	37,092
		一般小人		775	865	547	896	3,501	1,028	502	1,193	864	878	691	644	12,384
		シルバー		422	764	467	510	1,288	555	640	707	319	189	161	230	6,252
		団体大人		77	600	779	564	2,166	204	181	1,026	245	213	616	90	6,761
		団体小人		16	798	427	919	1,768	309	262	206	17	116	159	46	5,043
		団体シルバー		0	104	97	124	590	38	168	224	130	23	11	17	1,526
		パスポート発券数大人		9	8	20	7	2	9	3	9	2	4	4	8	85
		パスポート発券数小人		4	2	2	3	6	4	1	1	1	0	4	5	33
		パスポート発券数シルバー		6	1	16	1	3	0	1	1	3	0	2	1	35
入　園　料（円）				981,670	1,964,760	1,302,380	1,330,670	4,359,840	1,643,730	1,015,100	2,779,610	2,121,030	1,338,530	979,110	676,630	20,493,060
	障害者入園数			96	187	117	134	187	173	94	179	86	64	73	92	1,482
	ペット入園数			117	270	69	82	214	184	119	158	48	34	30	46	1,371
開　園　日　数（日）				27	27	25	21	31	26	27	26	26	26	24	26	312

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P187

平成２６年度　国営アルプスあづみの公園（ＯＭ地区＋ＨＨ地区）　利用状況総括表

	区　分			4月	5月	6　月	7　月	8　月	9　月	10月	11月	12月	1　月	2　月	3　月	合計(12ヶ月)
入園者数（人）	入園者実績			18,597	76,197	15,901	25,560	57,698	24,166	28,807	44,679	39,432	18,410	10,027	14,609	374,083
	有料区域	有料	中央口ゲート	7,601	13,255	4,861	10,127	21,776	8,878	7,112	22,486	23,958	8,466	2,321	4,473	135,314
			穂高口ゲート	462	3,125	447	694	2,193	1,199	1,027	663	99	78	110	1,353	11,450
			須砂渡口ゲート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			インフォメーション	3,132	6,699	4,209	5,167	16,507	5,359	3,520	8,578	6,137	4,199	3,290	2,261	69,058
			レンタル棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	11,195	23,079	9,517	15,988	40,476	15,436	11,659	31,727	30,194	12,743	5,721	8,087	215,822
		パスポート	大　人	279	341	293	267	344	362	240	413	182	254	209	279	3,463
			小　人	73	72	59	67	108	64	50	89	42	37	41	59	761
			シルバー	136	165	133	125	118	164	89	144	75	80	69	90	1,388
			計	488	578	485	459	570	590	379	646	299	371	319	428	5,612
		単月	有料入園者合計	16,409	73,085	13,752	22,925	52,734	21,641	26,626	41,258	37,283	17,220	9,412	13,380	345,725
			目標有料入園者数	16,000	67,000	17,000	28,000	67,000	34,000	41,000	56,000	77,000	21,000	13,000	12,000	449,000
			達成率	103%	109%	81%	82%	79%	64%	65%	74%	48%	82%	72%	112%	77%
		累計	有料入園者合計	16,409	89,494	103,246	126,171	178,905	200,546	227,172	268,430	305,713	322,933	332,345	345,725	345,725
			目標有料入園者数	16,000	83,000	100,000	128,000	195,000	229,000	270,000	326,000	403,000	424,000	437,000	449,000	449,000
			達成率	103%	108%	103%	99%	92%	88%	84%	82%	76%	76%	76%	77%	77%
		無料入園者		4,726	49,428	3,750	6,478	11,688	5,615	14,588	8,885	6,790	4,106	3,372	4,865	124,291
		小　計		16,409	73,085	13,752	22,925	52,734	21,641	26,626	41,258	37,283	17,220	9,412	13,380	345,725
	無料区域			2,188	3,112	2,149	2,635	4,964	2,525	2,181	3,421	2,149	1,190	615	1,229	28,358
	有料内訳（人）	一般大人		6,705	11,469	4,507	7,576	21,166	9,543	5,927	21,681	23,442	8,951	3,453	5,030	129,450
		一般小人		2,133	2,526	1,205	2,995	10,084	2,805	1,558	3,914	3,127	1,901	1,185	1,914	35,347
		シルバー		1,814	3,202	1,312	1,614	3,657	1,857	2,654	2,591	1,396	1,108	297	779	22,281
		団体大人		348	3,534	1,038	1,241	2,464	352	494	2,203	1,583	520	616	222	14,615
		団体小人		112	1,623	1,294	2,264	2,406	756	537	530	170	201	159	101	10,153
		団体シルバー		83	725	161	298	699	123	489	808	476	62	11	41	3,976
		パスポート発券数大人		52	34	31	16	15	23	9	10	4	9	15	29	247
		パスポート発券数小人		22	11	6	6	15	5	1	7	1	4	6	7	91
		パスポート発券数シルバー		31	9	19	6	6	2	2	3	4	4	2	9	97
入　園　料（円）				3,720,480	7,002,150	2,791,120	4,303,370	11,320,500	4,795,210	3,426,750	10,634,390	10,747,670	4,277,040	1,832,300	2,600,450	67,451,430
	障害者入園数			338	579	282	353	577	457	412	593	496	258	158	254	4,757
	ペット入園数			303	818	242	320	672	626	481	526	212	149	118	209	4,676
開　園　日　数（日）				27	27	25	29	31	26	27	26	27	26	24	26	321

※「有料区域・パスポート」は、パスポート購入者＋パスポート入園者

別紙P188

公園利用者数カウント方法

事業者は、下表に示す公園利用者数のカウント方法に基づき、毎日、公園利用者数を計測すること。

開園状況	対象者	カウント方法
通常開園日	有料入園者	・一般入園者は、自動改札機の券売数で集計。 ・パスポート入園者は、発券数（初回）と改札口の係員によるカウンター（2 回目以降の利用）の合計で集計。 ・団体入園者は、改札口の係員がカウンターで集計。 ・団体入園者は、里山文化ゾーン改札口で田園文化ゾーンへの入園の有無を確認し、里山文化ゾーンのみ入園する場合は、改札口の係員がカウンターで集計。 ・堀金・穂高地区又は大町・松川地区の入園券でもう一方の地区を併せて利用する方については、改札口の係員がカウンターで集計。
	無料入園者	・未就学児・身障者等の無料入園者は、改札口の係員がカウンターで集計。
入園無料日	全入園者	・改札口の係員が利用者別にカウンターで集計。
無料区域	全入園者	・調査職員等が別途指示する方法により集計。

別紙－13

公園利用者アンケート

冬季調査では Q7「②花や樹木の手入れの良さ」の問を除く

国営アルプスあづみの公園【堀金・穂高地区】
公園の利用についてのお客さまアンケート（春、夏、秋調査用）

Q１．あなたの住所を教えて下さい。

1．安曇野市　2．松本市　3．長野市　4．大町市　5．塩尻市　6．池田町
7．松川村　8．白馬村　9．小谷村
10．その他の長野県内（市町村名　　）
11．東京都　12．愛知県　13．岐阜県
14．その他（道府県名　　）

Q２．あなたの性別を教えて下さい。・・・・・　男性　・　女性

Q３．あなたの年齢を教えて下さい。

1．小学生　2．中学生　3．15～18 歳　4．19～29 歳
5．30～39 歳　6．40～49 歳　7．50～59 歳　8．60～64歳
9．65～69歳　10．70 歳以上

Q４．本日はどなたといらっしゃいましたか？（1 つお答えください）

1．一人で　2．友人・知人と　3．カップルで　4．夫婦で
5．家族と　6．学校の団体　7．地域の団体　8．職場の団体
9．旅行団体　10．その他（　　）

Q5．この公園にはたびたびいらっしゃいますか？

1．ほぼ毎日　2．週に１回以上　3．月に１回以上
4．年に数回　5．年に１回程度
6．数年に１回程度　7．今回が初めて

Q６．公園には満足されましたか。（１つ選んで○をつけて下さい）

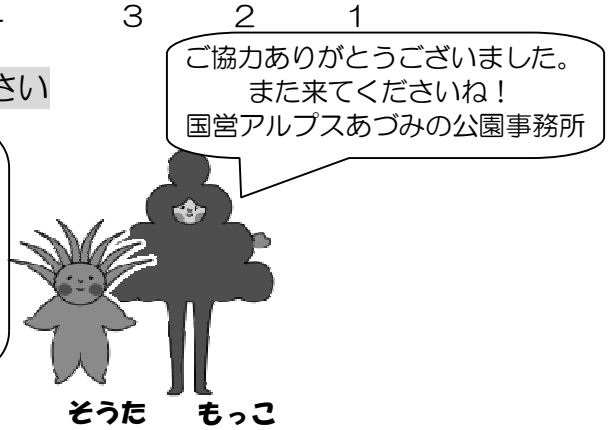
1．満足　2．まあまあ満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

その理由をお聞かせください：

Q７．公園を利用してみての感想を、①～⑦の各々の項目について、５段階評価でお聞かせ下さい。（各々１つに○をつけて下さい）

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
① 自然や緑の豊かさ、景色の良さ	5	4	3	2	1
② 花や樹木の手入れの良さ	5	4	3	2	1
③ 園内の清掃状況	5	4	3	2	1
④ 屋内・トイレの清掃状況	5	4	3	2	1
⑤ 体験メニュー	5	4	3	2	1
⑥ レストランの良さ	5	4	3	2	1
⑦ 売店の良さ	5	4	3	2	1
⑧ スタッフの対応の良さ	5	4	3	2	1

Q８．その他お気づきの点があればお聞かせください



国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】
公園の利用についてのお客さまアンケート（春、夏、秋調査用）

Q１．あなたの住所を教えて下さい。

1．安曇野市　2．松本市　3．長野市　4．大町市　5．塩尻市　6．池田町
7．松川村　8．白馬村　9．小谷村
10．その他の長野県内（市町村名　　）
11．東京都　12．愛知県　13．岐阜県
14．その他（道府県名　　）

Q２．あなたの性別を教えて下さい。・・・・・　男性　・　女性

Q３．あなたの年齢を教えて下さい。

1．小学生　2．中学生　3．15～18 歳　4．19～29 歳
5．30～39 歳　6．40～49 歳　7．50～59 歳　8．60～64歳
9．65～69歳　10．70 歳以上

Q４．本日はどなたといらっしゃいましたか？（1 つお答えください）

1．一人で　2．友人・知人と　3．カップルで　4．夫婦で
5．家族と　6．学校の団体　7．地域の団体　8．職場の団体
9．旅行団体　10．その他（　　）

Q5．この公園にはたびたびいらっしゃいますか？

1．ほぼ毎日　2．週に１回以上　3．月に１回以上
4．年に数回　5．年に１回程度
6．数年に１回程度　7．今回が初めて

Q６．公園には満足されましたか。（１つ選んで○をつけて下さい）

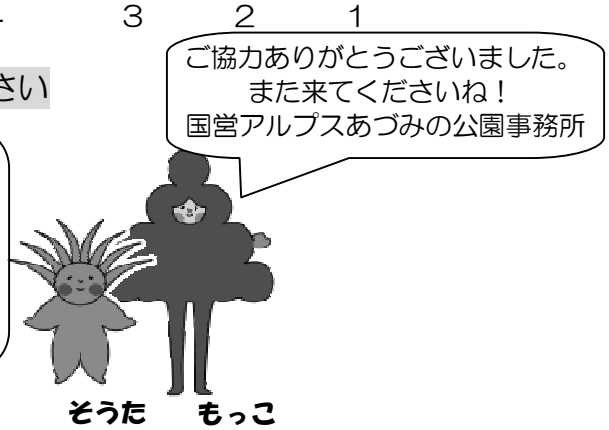
1．満足　2．まあまあ満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

その理由をお聞かせください：

Q７．公園を利用してみての感想を、①～⑦の各々の項目について、５段階評価でお聞かせ下さい。（各々１つに○をつけて下さい）

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
① 自然や緑の豊かさ、景色の良さ	5	4	3	2	1
② 花や樹木の手入れの良さ	5	4	3	2	1
③ 園内の清掃状況	5	4	3	2	1
④ 屋内・トイレの清掃状況	5	4	3	2	1
⑤ 体験メニュー	5	4	3	2	1
⑥ レストランの良さ	5	4	3	2	1
⑦ 売店の良さ	5	4	3	2	1
⑧ スタッフの対応の良さ	5	4	3	2	1

Q８．その他お気づきの点があればお聞かせください



国営アルプスあづみの公園【堀金・穂高地区】
公園の利用についてのお客さまアンケート（冬調査用）

Q１．あなたの住所を教えて下さい。

1．安曇野市　2．松本市　3．長野市　4．大町市　5．塩尻市　6．池田町
7．松川村　8．白馬村　9．小谷村
10．その他の長野県内（市町村名　　）
11．東京都　12．愛知県　13．岐阜県
14．その他（道府県名　　）

Q２．あなたの性別を教えて下さい。・・・・・　男性　・　女性

Q３．あなたの年齢を教えて下さい。

1．小学生　2．中学生　3．15～18 歳　4．19～29 歳
5．30～39 歳　6．40～49 歳　7．50～59 歳　8．60～64歳
9．65～69歳　10．70 歳以上

Q４．本日はどなたといらっしゃいましたか？（1 つお答えください）

1．一人で　2．友人・知人と　3．カップルで　4．夫婦で
5．家族と　6．学校の団体　7．地域の団体　8．職場の団体
9．旅行団体　10．その他（　　）

Q5．この公園にはたびたびいらっしゃいますか？

1．ほぼ毎日　2．週に１回以上　3．月に１回以上
4．年に数回　5．年に１回程度
6．数年に１回程度　7．今回が初めて

Q６．公園には満足されましたか。（１つ選んで○をつけて下さい）

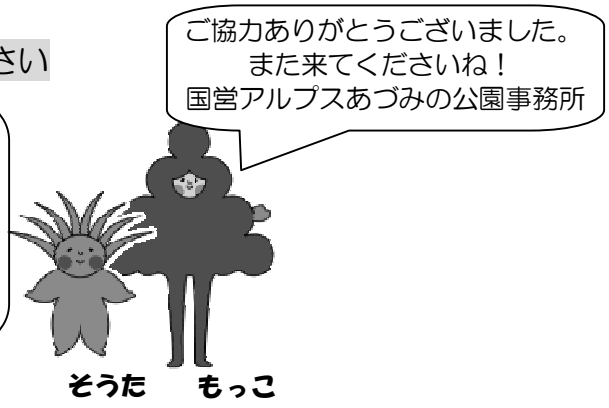
1．満足　2．まあまあ満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

その理由をお聞かせください：

Q７．公園を利用してみての感想を、①～⑦の各々の項目について、５段階評価でお聞かせ下さい。（各々１つに○をつけて下さい）

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
① 自然や緑の豊かさ、景色の良さ	5	4	3	2	1
② 園内の清掃状況	5	4	3	2	1
③ 屋内・トイレの清掃状況	5	4	3	2	1
④ 体験メニュー	5	4	3	2	1
⑤ レストランの良さ	5	4	3	2	1
⑥ 売店の良さ	5	4	3	2	1
⑦ スタッフの対応の良さ	5	4	3	2	1

Q８．その他お気づきの点があればお聞かせください



国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】
公園の利用についてのお客さまアンケート（冬調査用）

Q１．あなたの住所を教えて下さい。

1．安曇野市　2．松本市　3．長野市　4．大町市　5．塩尻市　6．池田町
7．松川村　8．白馬村　9．小谷村
10．その他の長野県内（市町村名　　）
11．東京都　12．愛知県　13．岐阜県
14．その他（道府県名　　）

Q２．あなたの性別を教えて下さい。・・・・・　男性　・　女性

Q３．あなたの年齢を教えて下さい。

1．小学生　2．中学生　3．15～18 歳　4．19～29 歳
5．30～39 歳　6．40～49 歳　7．50～59 歳　8．60～64歳
9．65～69歳　10．70 歳以上

Q４．本日はどなたといらっしゃいましたか？（1 つお答えください）

1．一人で　2．友人・知人と　3．カップルで　4．夫婦で
5．家族と　6．学校の団体　7．地域の団体　8．職場の団体
9．旅行団体　10．その他（　　）

Q5．この公園にはたびたびいらっしゃいますか？

1．ほぼ毎日　2．週に１回以上　3．月に１回以上
4．年に数回　5．年に１回程度
6．数年に１回程度　7．今回が初めて

Q６．公園には満足されましたか。（１つ選んで○をつけて下さい）

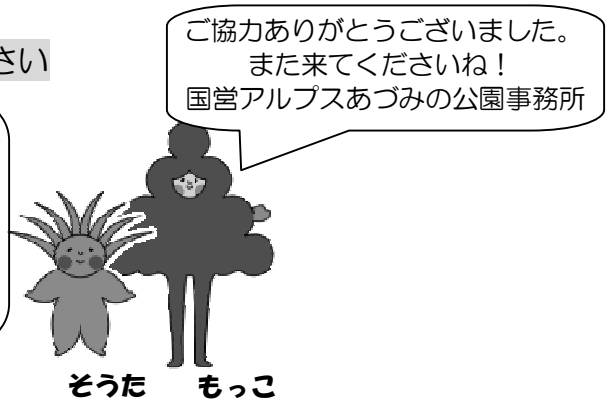
1．満足　2．まあまあ満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

その理由をお聞かせください：

Q７．公園を利用してみての感想を、①～⑦の各々の項目について、５段階評価でお聞かせ下さい。（各々１つに○をつけて下さい）

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
① 自然や緑の豊かさ、景色の良さ	5	4	3	2	1
② 園内の清掃状況	5	4	3	2	1
③ 屋内・トイレの清掃状況	5	4	3	2	1
④ 体験メニュー	5	4	3	2	1
⑤ レストランの良さ	5	4	3	2	1
⑥ 売店の良さ	5	4	3	2	1
⑦ スタッフの対応の良さ	5	4	3	2	1

Q８．その他お気づきの点があればお聞かせください



別紙－14

イベント一覧

■イベント種数

	H24年度	H25年度	H26年度
堀金・穂高地区	17	12	18
大町・松川地区	16	16	16

■イベント参加者数

	H24年度	H25年度	H26年度
堀金・穂高地区	349,516	192,619	218,076
大町・松川地区	414,078	94,984	24,437

平成24年度　イベント一覧

【 堀金・穂高 地区 】

①委託費のみで行ったもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
4月7日	4月22日	安曇野の春展・秋展	安曇野の春や秋を感じる花や昆虫、絵画・陶芸作品などを展示した。	24281人		
9月22日	10月8日					
10月7日	10月7日	安曇野フェスタ	地元農産物を利用した食や体験に関するイベントを開催した。	9322人		
11月3日	1月6日	イルミネーション ⇒ツインイルミネーション	両地区同時開催約60万球のイルミネーションを点灯させ、キャンドルナイト、ジャズライブなどを実施した。	96,336人		
11月23日	1月6日	アートライン美術館展	安曇野アートラインの美術館、博物館の作品や紹介パネルの展示した。	16814人		
1月26日	3月17日	あそびの広場 ⇒あそびの学校	ダンボールやLaQなどの遊具やおもちゃを体験できる遊びの広場を実施した。	4017人		
4月21日	5月27日	スプリングフェスティバル ⇒花のピクニック	春の公園でピクニックを行う為の補助ツール貸出、イベント実施等を行った。	44,410人		
5月4日	5月4日	あづみの公園早春賦音楽祭	地元ミュージシャンや学生が参加する音楽祭を開催した。	13260人		
9月22日	9月23日	ANIMAL LANDふれあい動物村	普段なかなか触れ合えない動物達に触れる動物ふれあいイベントを実施した。	2,061人		

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
9月15日	9月17日	集まれ！わんぱくチャレンジひろば	大型エアー遊具遊びやスポーツ、アウトドア料理などに挑戦するイベントを実施した。	9,645人		
5月26日	5月26日	第1回アルプスの風と遊ぼう「凧揚げ大会」 ⇒第2回アルプスの風と遊ぼう「凧揚げ大会」	凧師さんが自慢の凧を競って揚げ、凧の貸し出し等も行った。	2,981人		
6月2日	7月1日	絵本の広場	絵本の展示に加え、お絵かきコーナーの設置、絵本の読み聞かせイベントの実施等も行った。	10,285人		
7月14日	8月26日	夏休みイベント	ニジマスのつかみどりや昆虫博など大自然を感じるイベントを実施した。	60,920人		
9月15日	10月21日	あづみのコスモスフェア	28種類30万本のコスモスによる安曇野の秋の花風景を創出した。	37,090人		

③持込イベント

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
5月5日	5月5日	スポーツ鬼ごっこ	春の公園で芝生広場を利用して、競技形式の鬼ごっこを開催した。	約200人		
5月26日	5月26日					
7月21日	7月21日	アルプスあづみの　鬼ごっこ	年4回、開催場所の地形を活かしながら鬼ごっこイベントを開催した。	約500人		
10月6日	10月6日					
11月24日	11月24日					
2月10日	2月10日					
4月28日	10月8日	3D迷路	昨年より規模を拡大し、難易度および利用者満足度の向上を図り実施した。	18196人		
7月22日	7月22日	フレンドシップパーティinあづみの公園 ⇒チャリラリコン	フレンドシップパーティの企画・運営（詳細は未定）。	8人		

平成24年度　イベント一覧

【 大町・松川 地区 】

①委託費のみで行ったもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
4月21日	5月27日	スプリングフェスティバル ⇒森のピクニック	春の公園でピクニックを行う為の補助ツールを貸出し、イベントを実施した。	30,710人		
5月4日	5月5日	第1回アルプスの風と遊ぼう「紙飛行機大会」 ⇒春の子ども祭り	移動動物園、紙飛行機大会など子どもを対象とした2日間限定のイベントを行った。	123,93人		
7月14日	8月26日	夏休みイベント	仮設プールの設置や昆虫イベント、ロードトレインの運行を実施した。	43,584人		
10月13日	10月28日	絵本の広場	子供たちが絵本を読んだ入り読み聞かせを聞いたり絵本と親しんでもらうイベントを実施した。	5,136人		
9月15日	9月17日	秋のワンワン広場 ⇒ANIMAL LAND ふれあい動物村	アルパカやリクガメなど普段なかなか触れ合うことの出来ない動物達に触れる動物イベントを実施した。	7,913人		
10月6日	10月7日	北アルプスフェア	地元農産物の直販・地元ミュージシャンによるステージ等を実施した。	7,781人		
11月3日	1月6日	イルミネーション ⇒ツインイルミネーション	今年度は両地区同時開催約60万球のイルミネーションを点灯させ、キャンドルナイト、ジャズライブなどを実施した。	41,096人		
11月23日	1月6日	アートライン美術館展	安曇野アートラインの美術館、博物館の作品や紹介パネルの展示した。	11820人		
毎月第2または3日曜日		アルプス HATAヨガ教室	初心者でも気軽に参加できるヨガ教室を月に一度開催した。	約150人		

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
6月9日	7月1日	キッズプレイランド	梅雨時期に屋内で遊べる大規模遊技場を季節限定でオープンした。	6,729人		
9月15日	9月17日	ANIMAL LANDふれあい動物村	普段なかなか触れ合えない動物達に触れる動物ふれあいイベントを実施した。	7,913人		
11月10日	11月11日	北アルプス山麓ツーデーウォーキング	北欧生まれのノルディックウオークを通じて四季折々の信州の見どころを観歩した。	1,882人		
1月26日	3月17日	冬の公園で遊ぼう	雪の巨大迷路やすべり台を作成し、園内での雪遊びイベント等を行った。	6,262人		
4月1日	12月7日	ロードトレインの運行	園内移動の円滑化、散策エリアの拡大、誘客ツールとしてロードトレインを導入した。	96879人		
9月15日	9月17日	みどり、自然・環境の啓発事業 ⇒グリーンフェア	秋の草花・苗の物販や、苔玉教室、ツリークライミング教室などを開催した。	7,913人		
5/3～11/25の土日祝		農産物の直販	地元農家と協働し、旬の農産物を販売した。	125,917人		

平成25年度　イベント一覧

【 堀金・穂高 地区 】

①委託費のみで行ったもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
4月20日	5月26日	春の公園を楽しもう！	15万本のチューリップが咲く季節に合わせて、チューリップ総選挙やクイズラリー、スマイルフォトなどのイベントを行うほか、最終日には球根の掘り取り体験を実施。	39530人	園内	
7月20日	8月25日	昆虫大集合！水と緑の安曇野へ	清流での水遊びをはじめ、ニジマスのつかみ取り、3万点の昆虫標本を集めた大昆虫博などを開催。	37172人	園内	昆虫博入館料：300円 ニジマスのつかみ取り：500円
9月21日	10月20日	秋コスモスの花フェスタ	園内に咲く23品種26万本のコスモスに加え、赤く染まるコキアなどの花修景と合わせて、松本山雅のサッカーパークやクラフト教室、アウトドアイベントなどを開催。	21504人	園内	
11月23日	1月5日	Winter Illumination　光の森のページェント	50万球のLED電球で彩られたイルミネーションイベントを開催。週末にはコンサートイベントを開催するほか、カウントダウンライブや地元保育園児による灯篭演出、点灯式などを開催。	79262人	園内	
1月25日	3月31日	キッズプレイパーク	寒い季節に屋内で子供たちが思いっきり遊べるキッズプレイパークを開催。本格アスレチック体験やボールプール、ダンボール迷路、積木で遊ぼうや絵本の広場などを実施。	8428人	ガイドセンター、あづみの学校	

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
5月11日	5月25日	春の園芸教室	母の日フラワーギフトづくりとミステリーシード体験を開催。	13人	あづみの学校内	フラワーギフト：1000円 ミステリーシード：200円
7月20日	8月25日	ニジマスのつかみ取り＆釣り体験	池に放流されたニジマスを素手で捕まえるつかみ取り体験と釣り体験を実施。捕まえたニジマスはその場で炭火焼で召し上がっていただく。	1169人	池	参加費500円
9月21日	9月29日	ニジマスの釣り体験	池に放流したニジマスを釣る体験を開催。釣ったニジマスはその場で炭火焼で召し上がっていただく。	101人	池	参加費500円
9月21日	10月20日	はな・花クラフト広場	ハーブを使った石鹸づくりとコスモスのブーケ作り体験を実施。	204人	水辺の休憩所	石鹸づくり：300円 ブーケ作り：100円
10月13日	10月13日	あづみの池まつり	池に放流したニジマスを網などを使って捕まえる池まつりを開催。	48人	池	参加費500円
2月15日	3月15日	健康ウォーキング	寒く引きこもりがちな冬に、公園でみんなでウォーキングを楽しむイベントを開催。地元松本大学の学生によるウォーキング教室や温泉入浴、健康食の昼食も提供。	4人	園内	参加費：2500円

③持込イベント

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
10月12日	10月12日	第8回安曇野フェスタ	安曇野市の実行委員会主催による、飲食物販やコンサートイベント、ウォーキングイベント等様々な催しを開催。	5184人	園内	

平成25年度　イベント一覧

【 大町・松川 地区 】

①委託費のみで行ったもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
4月20日	5月26日	春の公園を楽しもう！	春季における公園利用促進として、公園資源を活用した利用プログラムや体験プログラムを実施。ミニドッグランやワンちゃんゲームコーナーも設置した。	30,624人	園内	
7月20日	8月25日	昆虫大集合！水と緑の安曇野へ	夏休み期間中に公園を訪れる観光客及び地域の利用者に対し、公園を満喫していただけるイベントとして、公園の資源を使った各種イベントを実施。	27,817人	園内	
9月28日	11月4日	秋　紅葉の森フェスタ	秋の行楽シーズンに合わせ、イベントを実施。新規開園の渓流レクリエーションゾーンの魅力を伝えつつ、秋ならではのアウトドア体験等が満喫できるイベント展開。	18,216人	園内	
10月12日	11月17日	アルプスあかりの森	秋の行楽シーズン及び公園の木々が色づく秋のシーズンに合わせて、公園の新たな魅力を発信し、利用促進を図るイベントとして、紅葉を照らすライトアップイベントを開催。	3,610人（夜間入園者数）	入口広場	
1月25日	3月2日	光の森のページェント	冬の風物詩となっている国営アルプスあづみの公園のイルミネーションイベントを開催。お城をモチーフにした装飾でお姫様気分を演出。	11,381人（夜間入園者数）	園内	
1月25日	3月9日	冬の公園で遊ぼう！	雪多い立地環境を生かした雪遊びイベントを開催し、冬にしか体験できない自然散策や、アウトドア・アクティビティなど季節感のあるイベントを展開。	6,654人	園内	

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
4月20日	10月6日	ロープで木登り体験（ツリーイング）	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイングを開催した。	399人	入口広場、河畔広場	1,000円

5月18日	5月18日	春の園芸教室“苔玉づくり”	春らしい寄せ植えづくりを行った。	24人	入口広場	1,000円
7月28日	8月18日	リバーサードウォーク＆バーベキュー	自然観察トレッキング、乳川河原で砂鉄採り、水生生物の観察等。昼食はデイキャンプ場でBBQを実施した。 7/28　8/18　2回の開催	42人	3期地区	大人：1,500円 小人：1,000人
8月4日	8月4日	園コン！公園でアウトドア体験！	園内に設置された様々なアウトドア技術を使う課題をクリアし、デイキャンプ場でのバーベキューをとおし、出会いを演出する園コンを開催した。	36人	デイキャンプ場ほか	男性：3,500円 女性：2,000円
11月2日	11月2日	秋空イベント第1弾　凧作り教室	三連休に開催する空をテーマにしたイベント第一弾。骨なし凧をつくり、アルプス広場で凧揚げを楽しんだ。	120人	アルプス広場	200円
11月10日	11月10日	北アルプス山麓ファミリーウォーク	紅葉の国営アルプスあづみの公園で、家族で楽しめるウォーキングイベントを開催した。子どもたちに伝えたい、地域の自然・歴史・文化等をクイズ形式で出題し、謎を解きながらウォーキングを楽しんだ。	92人	園内	500円
12月21日	12月23日	クリスマスキャンドルづくり	クリスマスに合わせ、カラーキャンドルづくりを行った。	15人	入口ゲート	500円
2月2日	2月23日	雪中宝探し	雪の中に埋められたカプセルを探していただき、カプセルに入っている番号に応じた記念品をプレゼントした。 2月2日(日)、9日(日)、11日(祝・火)、16日(日)、23日(日)開催	394人	デイキャンプ場	100円
2月1日	2月1日	カラーキャンドルづくり	バレンタインデーに合わせ、カラーキャンドルづくりを行った。	13人	森の体験舎	500円

③持込イベント

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
5月26日	5月26日	あづみのセンチュリーライド2013	40･80･120･160kmコースの自転車によるロングライドを開催した。	1,547人	デイキャンプ場ほか	

平成26年度　イベント一覧

【 堀金・穂高 地区 】

①委託費のみで行ったもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
4月26日	5月25日	SPRING　FESTA　2014	新規エリアオープニングイベントとチューリップが咲く季節に合わせてイベントを開催。ポニーの乗馬体験やワークショップイベント、大型カイト、バンジートランポリンなど、花と合わせ様々なイベントを開催。	41312人	園内	
7月19日	9月15日	夏のアルプス大冒険	毎年人気のニジマスのつかみ取りに加え、池の上にアスレチックを設置したウォーターアドベンチャー、5万点の教本を集めた大昆虫博を開催。	50,650人	園内	
9月20日	10月19日	秋　コスモスの花フェスタ	コスモスが咲く秋のシーズンに合わせて、園内各所でワークショップイベントやクイズラリー、アクティビティイベントなどを開催。	17,663人	園内	
10月3日	10月13日	アウトドアパーク	アウトドアギアのアウトレットマーケットをはじめ、アウトドアに関連する様々なワークショップ、アクティビティイベントを開催。また期間中にはキャンプイベント等も取り入れ2週にわたって開催。	8,070人	園内	
11月1日	1月12日	光の森のページェント	両地区同時開催で行うイルミネーションイベント。両地区合わせて70万球の光の世界を、堀金穂高地区においてはDreamをテーマに、幻想的な光の世界を表現。また期間中はワークショップイベントやコンサート、花火等のイベントも開催。	63,338人	園内	
1月2日	1月18日	インドアガーデン アイスチューリップの庭	約1万球のチューリップに加え、ガーデニング技術も取り入れ、一足早い公園の春を演出するインドアガーデンイベントを開催。	9,308人	園内	
1月24日	4月5日	あづみのキッズプレイパーク	雪に閉ざされる冬季に合わせ、屋内で小さな子供から楽しめるイベントを開催。世界の絵本を集めた「絵本の広場」をはじめ「ダンボール迷路」「ボールプール」「アニメ上映会」「人形劇」「屋内アスレチック」など、様々な遊びを提供。	14,742人	園内	

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
4月26日	4月27日	凧づくりWS＆凧揚げ大会	新規エリアオープンに合わせて、オリジナルチューリップの他凧づくり教室と作った凧で凧揚げ大会を開催。	56人	見晴らしの丘	400円
4月29日	4月29日	ポニーの乗馬体験	新規エリアオープンに合わせて、昔牧場が営まれていたことから、乗馬体験を開催。	56人	見晴らしの丘	500円
4月26日	4月29日	火おこし道具作り	新規エリアオープンに合わせて、古墳の森が整備されたことから、古代の人々の生活に欠かせなかった火に関連して、火おこし道具づくりを開催。	18人	古墳の森	2000円
5月3日	5月6日	ワークショップイベント	春の行楽シーズンに合わせて、公園でいろいろなモノ作りが楽しめるワークショップイベントを開催。	729人	池北側芝生広場	300円～800円
5月3日	5月6日	バンジートランポリン	新規エリアにおいて、高く飛び上がって景色が楽しめるバンジートランポリンを実施。	358人	見晴らしの丘	500円
7月19日	9月15日	水上アスレチック「ウォーターアドベンチャー」	池の上に丸太を用いた本格的なアスレチックを作り、ヘルメットや安全帯を装着して楽しめる本格アスレチックイベントを開催。	5,964人	池	500円
7月19日	9月14日	ニジマスのつかみ取り体験	池に放流したニジマスを手で捕まえ、捕まえた魚をその場で炭火焼で楽しめるイベントを開催。	2,018人	池	500円
9月15日	9月15日	あづみの池まつり	池に2000匹のニジマスを放流し、配布した袋に入るだけ捕まえられる池まつりを開催。	173人	池	500円
9月20日	10月19日	秋のワークショップイベント	コスモスのブーケ作りやハーブ石鹸作り、ペーパーウェイトづくりをイベント期間に合わせて開催。	199人	水辺の休憩所	300円

11月1日	12月28日	イルミネーションワークショップ	イルミネーションに合わせ、スノードーム、クリスマスキャンドル、万華鏡作りのワークショップを開催。	900人	あづみの学校	300円

③持込イベント

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
7月27日	7月27日	信州山の日制定記念イベント	信州山の日が制定されたことを記念して、長野県主催による制定記念イベントを開催。著名人によるトークショーや各種体験イベント、飲食物販などを展開。	2522人	園内	

平成26年度　イベント一覧

【 大町・松川 地区 】

①委託費のみで行ったもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
4月19日	5月25日	SPRING　FESTA　2014	新緑の美しい季節に、公園の重要な資源である「森」をテーマにしたイベントを開催。森をテーマにしたアクティビティに加え、ファミリー向けの各種イベントを実施。	28,826人	園内	
6月7日	7月13日	あづみのアート＆クラフト展	梅雨時期の利用促進として、文化（アート・自然・暮らし）を通して、安曇野の魅力を全国に発信する「安曇野スタイルネットワーク」メンバー等の作品展を開催。	6,526人	レンタル棟	
7月19日	9月15日	夏のアルプス大冒険	夏休み期間中に公園を訪れる観光客及び地域の利用者に対し、乳川とアルプス大草原を中心に水遊びイベントを開催。	32,7897人	園内	
9月20日	11月30日	秋　紅葉の森フェスタ	秋の行楽シーズンに合わせ、紅葉にまつわる各種プログラム等を展開するとともに、家族連れが楽しめるスポーツ・アウトドアイベントを実施。	28,600人	園内	
11月1日	1月12日	光の森のページェント	冬の風物詩となっている国営アルプスあづみの公園のイルミネーションイベントを開催。魔法をテーマにとした体験型の光の演出に加え、マジックショー等を開催。	17,799人（夜間入園者数）	園内	
1月24日	3月8日	冬の公園で遊ぼう！	雪多い立地環境を生かした雪遊びイベントを開催し、冬にしか体験できない自然散策や、アウトドア・アクティビティなど季節感のあるイベントを展開。	7,330人	園内	

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
5月3日	10月5日	ロープで木登り！ツリーイング	小さなお子さんから大人まで、ロープを使って簡単に木登りが楽しめるツリーイング。緑豊かな公園を普段の目線から鳥になった気分で楽しめる木登りイベントを実施した。	280人	入口広場	1,000円
5月6日	2月22日	ペダルなし自転車レース「アルプスあづみのカップ」	子どもたちに人気のランニングバイク（ペダルなし二輪車）のレースを春・夏・冬に開催した。	208人	アルプス広場	2,000円
6月22日	6月22日	フラワー・ワークショップ プリザーブドフラワー体験	初心者向けのプリザーブドフラワーのアレンジ体験を行った。	12人	レンタル棟	1,500円
7月6日	7月6日	ガラス・ワークショップ リューター体験	リューターというペン型の道具を使用して、グラスに絵柄を彫っていただいた。	9人	レンタル棟	1,350円
8月9日	8月16日	バイクトライアル体験	MTB教室を国内屈指のライダーの指導で行った。。	17人	デイキャンプ場ほか	2,000円
8月12日	8月31日	シャワーピクニック	自然が創造した変化に富む渓流で、川の流れに身を任せたり、ロープを使って川を渡ったりのフィールドアスレチックを楽しんでいただいた。	153人	未開園区域　戸沢川	大人：5,000円 小人：3,000円
9月20日	11月30日	ハイパージャンパー	ハーネス、ゴムロープ、トランポリンで、自分の身体能力ではありえないほど高いジャンプを体験していただいた。	1,153人	アルプス大草原ほか	1,000円
11月8日	11月8日	リレーマラソン2014	4人以上、10人以内の1チームがタスキリレーで42.195kmおマラソンを走るスポーツイベントを開催。	709人	園内	大人：3,200円 小人：1,700円

③持込イベント

開始日	終了日	行催事名	内容	延べ参加人数	開催場所	参加費等
5月26日	5月26日	あづみのセンチュリーライド2014	40･80･120･160㎞コースの自転車によるロングライドを開催した。	1,677人	デイキャンプ場ほか	
7月20日	7月20日	熱気球係留飛行	熱気球をロープで固定し高度約30mまで上昇。眼下に広がる樹海と北安曇の田園風景をお楽しみいただいた。	3,241人	臨時駐車場	

別紙－15

体験プログラム一覧

■種数

	H24年度	H25年度	H26年度
堀金・穂高地区	39	68	86
大町・松川地区	60	81	101

■開催回数

	H24年度	H25年度	H26年度
堀金・穂高地区	1,479	1,408	2,760
大町・松川地区	1,488	1,471	1,014

■参加者数

	H24年度	H25年度	H26年度
堀金・穂高地区	15,392	14,876	40,544
大町・松川地区	23,425	27,338	29,628

平成24年度　体験プログラム一覧

【 堀金・穂高 地区 】

①委託費のみで行ったもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	チューリップクイズラリー	チューリップの開花期に合わせ、園内を回りクイズに答えます。参加者には花の種をプレゼントします。	4～5月	538	15	(1)
2	ネイチャーウォッチング	園内を案内して、動物や植物の生態等解説をする。	4～11月	136	20	(2)
3	おもしろ発見塾	草花、木、昆虫、石、化学等をテーマに、実験や観察を通し、学習する。	4～5月、7～10月、2月	321	34	(3)

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	桜餅	ついた餅、あんこ、桜の葉を用いて、桜餅を作ってもらう。	4月	41	2	(4)
2	お小昼（おにぎり）	農繁期に小腹を満たしていた「お小昼」の風習を体験する。	4～2月	820	44	(5)
3	木のコースター（絵）	間伐材にマジックペンで絵を書き、コースターを作る。希望により紐をつけ壁掛けにする事もできる。	4～2月	829	154	(6)
4	森のカスタネット	間伐材を輪切りにしたものを2つあわせてカスタネットとする。体験者はそこに好きな絵を描く。	4～2月	1,011	158	(7)
5	木のキーホルダー	間伐材の輪切りに好きな絵を描いてもらい、紐をつけてキーホルダーを作る。	4～2月	1,853	149	(8)
6	そば打ち	そば打ちを指導して体験してもらい、茹であげて食べてもらう。	4～2月	2,304	292	(9)
7	草餅	かまどで炊いたご飯をつぶし、ヨモギを入れ、あんこと黄な粉をかけ食べてもらう。	5月	71	1	(10)
8	お茶席	周辺地域のお茶同好会が、公園でお茶を点てる。屋内または屋外で実施する。	5～10月	177	6	(11)
9	七夕人形	子どもが健やかに育つよう、願いを込め七夕人形をつくり飾る。	6～8月	25	4	(12)
10	七夕饅頭	かつて七夕のときに作られ、飾られていた饅頭を作り、食べてもらう。	7～8月	102	3	(13)
11	水鉄砲	昔の遊びとして、竹を使った水鉄砲を作って遊ぶ。	8月	211	4	(14)
12	五平餅	信州の郷土食を体験する。ご飯を炊き、竹串に丸めて刺し、味噌だれを付けて食べる。	9月	49	2	(15)
13	赤飯	勤労感謝の日(祝日)にお祝いとして、お赤飯作りを体験する。	11月	24	1	(16)

14	鍋敷き	わらの有効利用の認識と伝承を目的とし、実用性のある鍋敷きづくりを体験する。	11月	5	1	(17)
15	凍り餅	郷土の保存食づくりを体験し、昔の人の知恵を学ぶ。	1月	23	1	(18)
16	割り箸鉄砲	昔遊びとして、割り箸で鉄砲をつくり、出来上がったら的当てゲームで遊ぶ。賞品もでる。	1～2月	15	2	(19)
17	やしょうま	お釈迦様の命日に供える、米粉の団子をつくり、郷土の伝統を学ぶ。	2月	11	1	(20)
18	きのこの駒打ち	原木に駒打ちをし松かさの温度センサーをつけ、プランターで栽培管理できるようにつくります。	4～5月	134	9	(21)
19	お花のメモスタンド	間伐材の土台にカラーワイヤーや、ドライフラワーで飾るメモスタンドをつくります。母の日用プログラム。	4～5月	228	13	(22)
20	森のかくれんぼぬり絵	様々な形の材料から、想像して好きな絵を描いてもらう。	4～6月	183	25	(23)
21	鯉のぼり	三角や四角に切った木片を色づけし、組み合わせて小さな鯉のぼりを作る。	4～6月	266	31	(24)
22	木のぴっかぴか	動物等の形に切り抜いた木片をぴかぴかに磨き上げてキーホルダーを作る。	4～7月、9～11月	1,035	52	(25)
23	ふしぎパズル	パズルのキットに好きな絵を描いてもらう。4×4ピースと5×5ピースの2種類ある。	4～2月	1,700	151	(26)
24	森のフォトスタンド	間伐材の土台にカラーワイヤーや、木の実で飾るフォトスタンドをつくります。中学生団体向けのプログラム。	6～7月	27	7	(27)
25	押し花のしおり	台紙に押し花を自由に配置して、自分だけのしおりをつくります。	6～7月	67	13	(28)
26	newフィッシュボーン	魚の骨の形の楊枝立をつくる。ドリルやナイフを使い工作する。	7～9月	16	3	(29)
27	押し花うちわ	丸い厚紙に押し花を自由に配置し、シール紙をかけてうちわを作る。	7～9月	883	45	(30)
28	野山の昆虫	間伐材を自由に組み合わせ、のこぎりなどの道具を使い、昆虫を作る。	8月	74	8	(31)
29	コスモスペンダント	びかぴかの上級バージョン。紐にとんぼ玉を付けペンダントにする。	9月～11月	42	14	(32)
30	木の実deアート	ドングリ、クルミ、松ぼっくり等をつかい、グルーガンで接着した置物を作る。	9～11月	211	33	(33)
31	木の実のリース	松ぼっくりで作ったリース台に木の実やリボンで飾付けします。クリスマス用プログラムです。	11～12月	218	23	(34)
32	サンタのくつした	フェルトの靴下キットの縁を縫い、アップリケをします。クリスマス直前まで展示し、プレゼントを入れクリスマスに到着するよう郵送します。	12月	200	15	(35)
33	Xmasオーナメント	三角形の土台にクルミを配置しビーズやリボンで飾付けをし、自分だけのオーナメントをつくります。	12月	436	12	(36)

34	森のカレンダー	コルクボードに間伐材の木片を使い、万年カレンダーをつくる。	12月～1月	57	18	(37)
35	竹のおひなさま	すべて竹でつくるおひなさま。竹に貼る和紙を選び、オリジナルのおひなさまをつくります。	2月	14	8	(38)
36	動くおもちゃ	間伐材を利用し車を作る。仕上げは色塗ったり木の実で飾る。	2月、4～11月	1,035	105	(39)

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数（種）	39
		延べ参加者数（人）	15,392

平成24年度　体験プログラム一覧

【 大町・松川 地区 】

①委託費のみで行ったもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	自然観察ガイド（森の散策体験）	自然観察ガイドが、季節折々の動植物やクイズラリーなどをご案内します。	4月～2月	2,952	121	(1)
2	森の癒し体験	森林の癒し効果を感じるためのプログラムです。日光が注ぎこむ森林の中で、目を閉じ、耳を澄まして、大きく深呼吸してみませんか。	4月～8月	2	35	(2)
3	ノルディックウォーク体験	ノルディックウォークは、2本のポールを持ってクロスカントリースキーのように行うウォーキングのことで、今注目のウォーキングエクササイズ体	5月～2月	73	86	(3)
4	遺跡体験コース	自然観察ガイドが、園内にある縄文初期の「山の神遺跡」について説明します。その後、火起こし体験をおこないます。	6月～8月	143	4	(4)
5	ネイチャーゲーム	自然のフィールドで、森の中の材料を使ったゲーム及びレクリエーションを楽しんでいただけます。	7月～12月	23	6	(5)
6	林業体験（炭焼き）	間伐材を活用した炭焼きを体験します。窯出しや窯入れ、材料の切断、炭の形成等、一連の作業を体験できます。	9月	13	1	(6)
7	キツツキ巣箱づくり	キツツキについての勉強会のあと、巣箱づくりを体験できます。つくった巣箱は、園内に設置します。	11月	4	1	(7)
8	キツツキ巣箱勉強会	キツツキについて、座学と園内観察をしながら学びます。自然環境に対する関心をもっていただけます。	11月	8	1	(8)
9	いきものの森体験コース	普段は立ち入ることができない「保全ゾーン」の中を、自然観察ガイドがご案内します。	2月	30	1	(9)

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	つるかごづくり	園内のつるなどを使って、かごをつくります。	4月	9	2	(10)
2	木の実のアレンジメント	木の台の上に色々な実を組み合わせて作るアレンジメント体験です。	4月	12	2	(11)
3	小枝のクラフトづくり	樹木の枝や木の実などの自然素材を使って、自分だけのオリジナルオブジェをおつくりください。	4月～10月	485	34	(12)
4	万華鏡づくり	鏡、筒、色紙を組み合わせ、自分だけの万華鏡をおつくりいただけます。	4月、6月、8月、11月	105	7	(13)
5	つるリースづくり	園内のつるなどを使って、リースをつくります。	4月～11月	17	3	(14)
6	とろとろ石器づくり	園内にある「山の神遺跡」にちなみ、滑石を紙やすりで削ってオリジナルの石器をつくります。	4月～1月	1,527	144	(15)
7	サンド・アート	園内の間伐材と公園の側を流れる乳川の砂を使ったペンダントづくりをお楽しみください。	4月～2月	3,022	294	(16)
8	草木染め織りタペストリー	草木で染めた糸を組み合わせて、オリジナルのタペストリーをつくります。	4月～7月、9月～2月	31	69	(17)
9	葉っぱのしおり	押し花や葉っぱを使った「しおり」づくりです。色々な形に切ったり貼ったり、自由な発想で挑戦してください。	4月～7月、9月～2月	32	65	(18)

10	森のフレームづくり	園内の小枝などを使って、フレームをつくります。フレームには、好きなものをお飾りください。	4月～9月、11月～2月	430	85	(19)
11	葉っぱのタペストリー	園内の落ち葉を活用して、その葉っぱに色を塗って布に写し、オリジナルタペストリーをつくります。	5月～10月	247	17	(20)
12	森のケーキづくり	公園で取れた材料でケーキのオブジェを作ります。	5月～10月	295	11	(21)
13	ダンボール・クラフト	見本にあわせてダンボールをくりぬき、色をつけて小鳥や昆虫のブローチやマグネットクリップをおつくりください。	7月、8月、10月	275	27	(22)
14	花炭づくり	空き缶を使って、松ぼっくりや栗のいがなどの炭をつくります。	9月～11月、1月	30	9	(23)
15	苔玉づくり	草木を苔で包み、自分だけの苔玉をつくります。	11月	20	1	(24)
16	ミニ正月飾り	公園内にあるさまざまな材料を使って、かわいい壁掛け正月飾りを作ります。	12月	66	4	(25)
17	ミニ門松	竹の輪切りに松葉や笹などの園内の素材を組み合わせ、小さな門松を作ります。	12月	115	7	(26)
18	松ぼっくりツリー	カラフルな松ぼっくりや木の実を組み合わせ、手のひらサイズのツリーを作ります。	12月	288	7	(27)
19	わら細工	わらを利用し、鍋敷きやホウキなどの小物づくり体験です。	2月	3	2	(28)
20	そりづくり	木材のパーツをネジやクギを使い組み立てて、マジックでペイントし、自分だけのソリを作ります。	2月	84	7	(29)
21	蒸かしまんじゅう(蒸おやき)	信州の家庭で今もつくられる「おやき」です。地元の食材を使い笹の葉に巻いた公園オリジナルです。	4月～8月	143	4	(30)
22	めし薄焼	お米と小麦粉を混ぜこねて味噌をつけて焼く、信州の郷土料理。おやつとしても親しまれてます。	4月～8月	218	5	(31)
23	どら焼き	郷土料理「薄焼き」の間に、地元の小豆で作ったあんこをはさみます。できたての「どら焼き」を味わってみませんか。	4月、6月、8月～10月、12月、2月	631	8	(32)
24	五平餅づくり	長野県木曽地域が名物の「五平餅」を自分で作って食べてみませんか。	4月、6月～11月、2月	666	11	(33)
25	大人の布ぞうり教室	大人の方向けの一日体験教室です。布ぞうりをお作りいただけます。	4月～2月	18	12	(34)
26	小枝のストラップ	園内でとれた木を利用して、自分だけのストラップをつくります。	4月～2月	759	203	(35)
27	米粉ピザ焼き	地元の米粉と季節の野菜を使ったピザづくりです。	4月～2月	1,169	40	(36)
28	竹巻きパンづくり	森の体験舎の大屋根下の炉を使って、竹に地粉を使ったパン生地を巻きつけて焼きます。野外のおやつにぴったりです。	4月～2月	5,401	57	(37)
29	エコ・コサージュ	新聞紙を使ってコサージュをつくります。	5月	4	1	(38)
30	ブローチづくり	から松などの自然素材とリボンを使って、オリジナルのブローチをつくります。	5月、8月	150	4	(39)
31	巨大竹巻パン	巨大な竹巻パンづくりに挑戦していただきます!	5月、9月	90	2	(40)

32	えんぴつたて	松ぼっくりなどの自然素材を使いオリジナルのえんぴつたてをつくります。	5月、8月、9月、1月	195	8	(41)
33	くるみのストラップ	くるみを使って、自分だけのオリジナルストラップをおつくりいただけます。	5月、8月、10月、1月	351	8	(42)
34	餅つき	きねとうすを使っておもちをついて、つきたてを召し上がっていただけます。	5月、1月	316	2	(43)
35	季節の釜飯づくり	四季折々の地元素材を使った釜飯づくりはいかがですか。	5月、2月	64	3	(44)
36	ストーンアート	石にマジックで色付をして、オリジナルの石のオブジェをつくります。	7月	3	2	(45)
37	小枝のボールペン	園内でとれた木を利用して、自分だけのボールペンをつくります。	8月	42	2	(46)
38	焼き芋	日本の秋の風物。大炉の灰で焼く「焼き芋」は格別です。	9月	50	1	(47)
39	ダッチオーブン	ダッチオーブンを使った料理体験を、仕込から全て体験していただけます。	12月	49	2	(48)
40	おやきづくり	信州名物の「おやき」を昔ながらのつくり方で体験します。	4月～10月、12月～2月	1419	24	(49)
41	だいずんドーナッツ	おからと豆乳を混ぜて、ヘルシーな焼ドーナツをつくります。	5月	27	1	(50)
42	ぬかくどおにぎり	もみがらを原料に使うかまどで炊いたご飯を、おにぎりにしてお召し上がりいただけます。	5月、8月～9月	66	3	(51)
43	竹巻パン（100円用）	森の体験舎の大屋根下の炉を使って、竹に地粉を使ったパン生地を巻きつけて焼きます。野外のおやつにぴったりです。	5月、12月	548	7	(52)
44	モチモチじゃが芋餅	すいりおろしたじゃがいもに地粉を混ぜて、鉄板で焼いてお召し上がりいただけます。	5月、8月～12月、2月	457	9	(53)
45	うちわづくり	和紙に絵を描いて、オリジナルのうちわをつくることができます。うちわの骨組みにノリをつける所から体験できます。	7月～8月	72	4	(54)
46	太巻き寿司づくり	地元の食材を使って、親子で太巻き寿司をつくります。	10月	24	2	(55)
47	クリスマスオーナメント	松ぼっくりなどの自然素材を使って、クリスマスの壁掛け飾りをつくることができます。	11月～12月	25	2	(56)
48	ビックまつぼっくりつり	「ドイツトウヒ」という大きな松ぼっくりを使ったミニツリーをつくります。	11月～12月	64	3	(57)
49	ﾌｫﾄｽﾀﾝﾄﾞづくり	木の枝を組合わせて、写真立てをつくります。	12月	15	2	(58)
50	森のX´masケーキづくり	リボンやモールなどを使ってつくる、「森のケーキづくり」のクリスマスバージョンです。	12月	15	1	(59)
51	木の実のおひなさまづくり	松ぼっくりなどの材料を使った、オリジナルの「おひなさま」をつくります。	2月	33	2	(60)

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数（種）	60
		延べ参加者数（人）	23,425

平成25年度　体験プログラム一覧

【 堀金・穂高 地区 】

①委託費のみで行ったもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	自然遊び	園内の自然を使ったゲーム。	通年	60	2	(1)
2	ネイチャー ウォッチング	園内を案内して、動物や植物の生態等解説をする。	毎月第2と第4日曜日	103	19	(2)
3	おもしろ発見塾「シャボン玉不思議」	理科教室での実験、観察	夏休み期間土日・お盆	6	2	(3)
4	おもしろ発見塾「火山灰土調べ」	理科教室での実験、観察	夏休み期間土日・お盆	6	2	(4)
5	おもしろ発見塾「はっぱ観察」	理科教室での実験、観察	夏休み期間土日・お盆	8	2	(5)
6	おもしろ発見塾「化石」	理科教室での実験、観察	夏休み期間土日・お盆	10	2	(6)
7	おもしろ発見塾「かるめ焼き実験」	理科教室での実験、観察	夏休み期間土日・お盆	15	2	(7)
8	おもしろ発見塾「昆虫ウォッチ」	理科教室での実験、観察	夏休み期間土日・お盆	20	2	(8)
9	おもしろ発見塾「水生昆虫観察」	理科教室での実験、観察	夏休み期間土日・お盆	29	2	(9)
10	おもしろ発見塾「オナモミダーツと種子観察」	理科教室での実験、観察	夏休み期間土日・お盆	159	2	(10)
11	冬至かぼちゃの振舞	安曇野に伝わる食文化。 小豆の汁にかぼちゃと小麦粉の団子を入れ食す。	12/21.	50	1	(11)
12	七草がゆの振舞	春の七草を入れた粥を振舞い正月に疲れた胃をいたわる。	1/5.	35	1	(12)
13	節分豆まき	安曇野の昔ながらの豆まきを再現 自由観覧	2/2.	30	1	(13)

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	動くおもちゃ	木の車輪をつけた台木に小さな木片をつけた車を作る。	毎日	470	39	(14)
2	お小昼	農繁期に小腹を満たしていた「お小昼」の風習を体験する。	毎日曜日	755	41	(15)
3	コースター	間伐材の輪切りに好きな絵を描いていただくコースターづくり。	毎日	788	137	(16)
4	不思議パズル	正方形の木の型枠に当てはめる木のピースに絵を描きオリジナルのパズルを作る。	毎日	813	131	(17)
5	カスタネット	間伐材を輪切りにしたものを2つあわせてカスタネットとする。体験者はそこに好きな絵を描く。	毎日	1,085	166	(18)
6	キーホルダー	間伐材の輪切りに好きな絵を描いてもらい、紐をつけてキーホルダーを作る。	毎日	1,356	160	(19)
7	ぴっかぴか	動物等の形に切り抜いた木片を磨き上げてキーホルダーを作る。	毎日	1,357	38	(20)

8	そば打ち	そば打ちを指導して体験してもらい、茹であげて食べてもらう。	毎日	2,258	202	(21)
9	桜餅	桜餅作りを体験して、食べてもらう。	4/21.	44	2	(22)
10	キノコのこま打ち	椿木にキノコのこまを打ち付ける体験	4/27---5/6.	162	9	(23)
11	こいのぼり	木材で作るこいのぼり置物作り	4/27---5/6.	200	17	(24)
12	母の日メッセージスタンド	母へのプレゼントをイメージして作るスタンド飾り	4/27---5/12.	153	12	(25)
13	Xジャイロ	Xジャイロを作って遊ぶ体験	4/28.29.5/5.6.12.18.19.	87	7	(26)
14	ブーメラン	ブーメランづくりと野外で飛ばす体験	4/28.29.5/5.6.12.18.19.	394	7	(27)
15	草餅	草餅作りを体験して、食べてもらう。	5/11.	41	1	(28)
16	お茶席	周辺地域のお茶同好会が、公園でお茶を点てる。屋内または屋外で実施する。	5/12.6/9.7/14.8/4.9/15.10/13.	169	6	(29)
17	父の日メッセージスタンド	父へのプレゼントをイメージして作るスタンド飾り	5/25.--6/16.	10	7	(30)
18	七夕まんじゅう	七夕まんじゅう作り体験	6/30.7/14.8/4.	104	3	(31)
19	七夕人形	七夕人形作りと七夕飾り体験	7/7.21.8/3.	27	3	(32)
20	かわいい昆虫	葉脈だけにした木の葉と細い枝を接着して、昆虫のクラフトを作る。	7/20--9/1.	388	44	(33)
21	押し花うちわ作り	夏のオリジナルうちわ作り	7/20---9/1.	800	43	(34)
22	カブト＆クワガタ	間伐材を利用したカブト、クワガタのキットを組み立てる	7/20---9/1.	864	44	(35)
23	水鉄砲	昔の遊びとして、竹を使った水鉄砲を作って遊ぶ。	8/3.10.17.24.	188	4	(36)
24	面白発見塾（PH調べほか）	石灰水や露草等の植物を使ってpH（ペーハー）を調べる実験をする。	8/3--11.17.18.24.25.	40	13	(37)
25	野山の昆虫	太さや長さのちがう枝の木片を自由に組み合わせて昆虫を作る。	8/14.15.16.	24	3	(38)
26	敬老の日メッセージスタンド	祖母、祖父へのプレゼントをイメージして作るスタンド飾り	9/7.---16.	23	6	(39)
27	ぎっちょかご	ぎっちょかご作り体験	9/14.	2	1	(40)
28	紙ひこうき	紙飛行機作り体験	9/16.22.	81	2	(41)
29	マイバッグ	バッグ布に絵を描き、オリジナルなバッグを作る。	9/21.--10/20.	21	10	(42)
30	くるくるアート	ビンにカラフルな糸を巻き付けながら、花瓶などを作る。	9/21--10/20.	82	28	(43)
31	木の実のリース	木の実の飾りをつけてリースを作る。	9/21---10/27	209	31	(44)

32	五平餅	五平餅作り体験	9/22.10/27.	60	2	(45)
33	どんぐり独楽	どんぐり独楽作りと作った独楽での遊び体験	10/5.6.13.14.19.	341	5	(46)
34	森のカレンダー	ドングリに日にちの数字を描き、コルクボードにピンで留める万年カレンダーを作る。	10/22---3/31.	97	36	(47)
35	木の実deアート	ドングリ、クルミ、松ぼっくりに目鼻を描き、グルーガンで接着した置物を作る。	11月、12月	140	17	(48)
36	鍋敷き	藁を使った鍋敷きづくり体験	11/17.	0	0	(49)
37	クルミおはぎ	クルミおはぎづくり体験	11/24.	30	1	(50)
38	ほうきづくり	コキアの箒作り体験	11/30.12/1.	74	2	(51)
39	押し花クリスマスカード	はがきに押し花を貼り付け、薄いシール紙をかけたはがきを作るクリスマスカード	11/30---12/24.	117	20	(52)
40	三九郎ツアー	地元の三九郎を見学するツアーを実施。	1/12.	2	1	(53)
41	凍り餅	安曇野の保存食である凍り餅を作ってもらう。	1/19.	12	1	(54)
42	親子で挑戦！さとやま楽校「凧づくり教室」	オリジナルの凧を作ってもらい、園内で凧あげをする。	1/26.	10	1	(55)
43	竹のおひな様	竹を使ったひな人形作り	２月	3	1	(56)
44	ミニ雛作り	木の実、竹を使って小さなひな人形を作る。	2/8--2/23.	91	28	(57)
45	やしょうま	米粉を使った伝統的なやしょうまづくりを指導し、食べてもらう。	2/9.	3	1	(58)
46	親子で挑戦！さとやま楽校「ハーブ石鹸作り」	ハーブ石鹸作り体験	2/15.16.	2	2	(59)
47	割りばし鉄砲	割り箸を使って、輪ゴムを飛ばす鉄砲を作る。	2/23.3/2.22.	38	3	(60)
48	いろいろ飾り台	小枝を使って、フォトスタンド風の飾り台を作る。	3/6.--30.	23	9	(61)
49	親子で挑戦！さとやま楽校「縄文土器づくり」	縄文土器づくり体験	3/8.	10	1	(62)
50	親子で挑戦！さとやま楽校「焼き芋」	焼き芋体験	3/9.	20	1	(63)
51	黒豆ちらし寿司	黒豆を使用したちらし寿司をつくる。お酢を混ぜるときれいなピンク色のすし飯に変わる。	3/16.	25	1	(64)
52	電気パン	牛乳パックに溶かした小麦粉を入れ、通電時に発生する熱でパンを作る。	3/21.22.	80	5	(65)
53	紙鉄砲	竹筒でつくる紙鉄砲。	3/21.22.26.	31	3	(66)
54	かくれんぼ	間伐材をスライスし、年輪や形から想像して好きな絵を描いてもらう。	3/21---30.	82	9	(67)
55	親子で挑戦！さとやま楽校「ミミズ遊び」	環境学習ミミズと遊ぼうを実施。	3/29.	5	1	(68)

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数（種）	68
		延べ参加者数（人）	14,876

平成25年度　体験プログラム一覧

【 大町・松川 地区 】

①委託費のみで行ったもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	自然観察ガイド	公園サポーターが公園内のガイドし、草木や史跡などをご案内して、公園内の魅力をより一層感じていただいた。	通年	3,168	123	(1)
2	ネイチャーゲーム	自然について公園サポーターが楽しくてわかりやすくゲーム感覚でお話した。遊びながら自然の不思議や神秘を感じていただいた。	4-8月 10-11月	192	18	(2)
3	ノルディックウォーク体験	ノルディックウォーキングは2本のポール（ストック）を使って、歩行運動を補助し、足腰への負担を軽減する歩行方法。公園サポーターが公園内の草木や史跡などをご案内しながら一緒に歩いた。	5-7月 9-12月	41	78	(3)
4	自然散策FWO	地図と磁石を頼りに、チェックポイントを回っていただいた。ご自分のペースで新緑の森を歩いていただいた。	7月	421	2	(4)
5	林業体験	間伐の必要性や間伐木の選定方法等を分かりやすく説明し、実際に間伐を行い薪・炭用の玉切りまで安全に体験した。	9月	13	1	(5)
6	丸太んピック	丸太橋渡りや丸太切りなど、丸太を使ったさまざまな種目を行った。	10月	279	1	(6)
7	はじめようノルディックウォーク	初心者向けのノルディックウォーク体験教室。道具のレンタル無料、指導員によるレクチャー付と、気軽に体験していただいた。	11月	6	1	(7)
8	スノーシュー体験	スノーシューを履いて雪上散歩や樹木の観察などをお楽しみいただいた。公園サポーターが見どころをご案内した。	1-3月	287	24	(8)
9	歩くスキー体験	初心者大歓迎！歩くスキー体験教室を開催した。	2月	5	2	(9)
10	いきものの森体験コース	普段は立ち入ることができない「保全ゾーン」の中を、自然観察ガイドがご案内した。	2月	4	1	(10)
11	遺跡体験と火起し体験	自然観察ガイドが、園内にある縄文初期の「山の神遺跡」について説明した。その後、火起こし体験を行った。	3月	14	1	(11)

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

No.	プログラム名	内 容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	ウッディストラップ	園内で集めた小枝を使い、切る・削る・磨くなどの様々な加工をして、プチストラップを作った。	通年	543	131	(12)
2	サンドアート	園内の間伐材と公園の側を流れる乳川の砂を使ったペンダントづくりを行った。	通年	1,589	145	(13)
3	葉っぱのタペストリー	園内の落ち葉を活用して、その葉っぱに色を塗って布に写し、オリジナルタペストリーを作った。	4月 6-7月	1,140	23	(14)
4	ブローチづくり	木の土台に、松ぼっくりなどをつけ、オリジナルのブローチを作った。	4-5月 9月	486	10	(15)
5	森のケーキづくり	三角や四角の材料に木の実や小枝をトッピングして森のケーキを作った。	4-8月 10-12月	466	16	(16)
6	米粉ピザ	長野県産の米粉を使いピザ生地を作った。旬の食材をトッピングして公園内で作られた炭で焼いた。	4-12月 2月	152	45	(17)
7	森のフレームづくり	園内の小枝などを使って、フレームを作った。	4-2月	367	107	(18)
8	くるみのストラップ	くるみを使って、自分だけのオリジナルストラップを作った。	4月 6-7月 9-3月	35	67	(19)
9	小枝のクラフト	樹木の枝や木の実などの自然素材を使って、自分だけのオリジナルオブジェを作った。	4-12月 2-3月	111	71	(20)
10	五平餅づくり	長野県木曽地域が名物の「五平餅」を作った。	4-7月 9-1月 3月	1,096	21	(21)
11	おやきづくり	大炉の灰を使って、信州名物の「灰焼おやき」を昔ながらのつくり方で体験した。	4-12月 2-3月	1,122	21	(22)
12	竹巻パンづくり	森の体験舎の大屋根下の炉を使って、竹に地粉を使ったパン生地を巻きつけて焼いた。	4-11月 1月、3月	1,448	60	(23)

13	草木染織りタペストリー	草木で染めた糸を組み合わせて、オリジナルのタペストリーを作った。	4月、6-7月、9月 11-12月、3月	5,678	74	(24)
14	どら焼き	郷土料理「薄焼き」の間に旬の食材をはさんだどら焼きを作った。	4月、6月 8-11月、3月	908	9	(25)
15	季節の釜飯	四季折々の地元素材を使って釜飯を作った。	5月 11-12月	87	5	(26)
16	葉っぱのしおり	押し花や葉っぱを使った「しおり」づくり。色々な形に切ったり貼ったり、自由な発想で挑戦していただいた。	5-6月 8-11月 2-3月	228	80	(27)
17	石器づくり	鉱物の中で比較的柔らかい滑石（かっせき）を削って、表面が滑らかで光沢のあるシンプルな石のアクセサリーを作った。	5-1月 3月	1,839	58	(28)
18	苔玉づくり	草木を苔で包み、自分だけの苔玉を作った。	6月	27	2	(29)
19	モチモチじゃがいも餅	ジャガイモに片栗粉を混ぜ込んで、餅のようなモチモチな味わいのジャガイモ餅を作った。	6-7月	127	1	(30)
20	花炭づくり	空き缶を使って、松ぼっくりや栗のいがなどの炭を作った。	6月 10-11月	28	6	(31)
21	えんぴつたて	えんぴつを立てる穴の開いた四角い木に、木の実や小枝を飾り付けたり、イラストを描いてえんぴつたてを作った。	6-7月 9-11月 3月	134	8	(32)
22	バードコール	木とネジを組み合わせ、鳥の鳴き声のような音がでる道具を作った。	7月	7	1	(33)
23	うちわづくり	自由に絵を描いたり、押し花や押し葉を並べて、世界に一つのオリジナルうちわを作った。	7月	7	1	(34)
24	ブルーベリージャムづくり	大町・松川地区の農家で収穫されたみずみずしいブルーベリーを食材として、ジャムを作った。	7月	34	2	(35)
25	朴葉巻	あんこをお餅でくるんで、朴の葉っぱに包んで蒸し、信州木曽地方の伝統的なお菓子を作った。	7月	93	1	(36)

26	火起し道具づくり	古代に使用されたと考えられている火起し道具を組み立てていただき、実際に「火」を起こした。	7-8月	11	4	(37)
27	リバーサイドウオーク	自然観察トレッキング、河原で砂鉄採りなど、親子で楽しむアウトドア体験。	7-8月	42	2	(38)
28	ニラせんべい	大町・松川地区で収穫された「ニラ」を使用して、モチモチした食感の香ばしい「おせんべい」を作った。	7-8月	201	3	(39)
29	土笛づくり	粘土で思い思いの形の笛を作っていただき、古代の音色を楽しんでいただいた。	7-8月	830	30	(40)
30	ペーパーウエイト	園内で集めた石に糸になる前の繊維を貼り付け、この石を乾燥させ、カラフルで温かみのあるペーパーウエイトを作った。	7-9月 2月	209	29	(41)
31	巨大竹巻パン	巨大な竹巻パンづくりに挑戦した。	8月	3	1	(42)
32	七夕おやき	長野地方では8月7日は旧暦の七夕。この習慣にならって、各家庭では『七夕おやき』を作る。公園でも『七夕おやき』を作って、召し上がっていただいた。	8月	233	2	(43)
33	エコバッグづくり	園内で採取した樹木の葉に絵具をぬり、生成りの手提げ袋にスタンプのように押して、エコバッグを作った。	8-9月 11月	267	17	(44)
34	流木アート	新しく開園したエリアを流れる乳川で採取した流木を使用して、思い思いの芸術作品をお作りいただいた。	9月	15	2	(45)
35	敬老の日和風ピザ	敬老の日にちなんで特別体験プログラムを開催。食体験では特製ピザを作った。味噌だれをベースにして、コウナゴやワケギをトッピングした、和風米粉ピザ。	9月	80	2	(46)
36	炭俵づくり	園内の炭焼き窯で作った炭を使って、炭俵づくりを体験。	9月 1月	39	5	(47)
37	布ぞうりづくり	大人の方向けの一日体験教室。布ぞうりを作った。	9-11月 1-2月	8	5	(48)
38	ススキのコースター	ススキの茎は水をはじく効果があります。園内で集めたススキを使い、コースターを2枚作った。	10月	11	2	(49)

39	アウトドアクッキング	ダッチオーブンを使った料理体験を実施した。	10月	30	1	(50)
40	フォトスタンド	枝を組み合わせて、フォトスタンド（写真たて）が作った。	10月	41	2	(51)
41	万華鏡づくり	鏡、筒、色紙を組み合わせ、自分だけの万華鏡を作った。	10-11月 2-3月	283	17	(52)
42	サンドぼっくる	色の付いた砂を松かさにふりかけて、オリジナルのカラフル松ぼっくりを作った。土台は粘土でかわいく仕上げた。	10-1月 3月	212	21	(53)
43	モビールづくり	木の実や木の枝を使い糸と棒に結び付け、バランスを取って天井などから吊るすモビールを作った。	10月、3月	14	2	(54)
44	あんぎんづくり	スゲなどの草木を使い、昔の織り物を作った。	11月	1	2	(55)
45	ファミリーウォーク	紅葉の国営アルプスあづみの公園で、家族で楽しめるウォーキングイベントを開催した。子どもたちに伝えたい、地域の自然・歴史・文化等をクイズ形式で出題し、謎を解きながらウォーキングを楽しんだ。	11月	92	1	(56)
46	クリスマスミニツリー まつぼっくり	カラフルな松ぼっくりや木の実を組み合わせ、手のひらサイズのツリーを作った。	11-12月	106	7	(57)
47	クリスマスミニツリー ドイツトウヒ	ドイツトウヒの松ぼっくりを使ってクリスマスツリーを作った。	11-12月	108	7	(58)
48	ミニリースづくり	ミニサイズのクリスマスリースづくり。	12月	1	8	(59)
49	正月飾り：おやす	新年を迎えるために、お手製の正月飾りづくり。信州に伝わる伝統的な「おやす」を作った。	12月	6	4	(60)
50	正月飾り：輪締め	新年を迎えるために、お手製の正月飾りづくり。少し手間はかかりますが立派な「輪締め」にチャレンジした。	12月	17	4	(61)
51	クリスマスリースづくり	公園内で集めたまつぼっくりや木の実を使い、思い思いの飾り付けをしてオリジナルリースを作っていただいた。	12月	30	2	(62)

52	正月飾り:輪飾り	藁を編んで縄にし、円を作り1か所を留めれば輪飾りの土台が出来上がり。木の実や松の枝などを装飾して、オリジナルの輪飾りを作った。	12月	40	7	(63)
53	ミニ門松づくり	新しい年を迎えるために、机の上に置ける小さな門松を1個作った。	12月	63	5	(64)
54	黒ゴマクッキー	黒ゴマの入ったクッキーを焼き、簡単なお菓子作りの体験。出来上がったクッキーはおやつに最適。	12月、3月	58	2	(65)
55	わら細工鍋敷きづくり	わらを利用し、鍋敷きづくり体験。	1月	0	2	(66)
56	ウッドビークルづくり	木を組み合わせておもちゃを作った。完成後、遊んで楽しめる体験メニュー。	1月	24	3	(67)
57	干支のクラフト	木の実や小枝を使って、平成26年の干支『午(うま)』をモチーフにしたオブジェを作った。	1月	72	8	(68)
58	新年餅つき	新しい年を皆さんでお祝いしていただくために、餅つき体験を開催。普段は持ったことのない『杵(きね)』を振り下ろして、今年も良い年でありますように願いを込めて、お餅をついた。	1月	130	1	(69)
59	オルゴールづくり	素敵な音色が響く手回しオルゴールに、公園内で集めた松ぼっくりやドングリなどを飾り、自分だけのオルゴールを作った。	1-2月	137	7	(70)
60	りんごの米粉ピザ	地元産の米粉を使い生地を作り、公園で作った炭を使用してピザを焼き上げた。「リンゴ」のフルーティーピザを作った。	1月、3月	83	5	(71)
61	ナイトクラフト きらきらフォトフレーム	きらきら光るラメなどで装飾した木の実をフレームに散りばめて、夜のイルミネーションをイメージした「きらきらフォトフレーム」を作った。	1-3月	438	12	(72)
62	ナイト竹巻パン	大炉で暖をとりながら、ミニサイズの竹巻きパンを作った。	1-3月	696	4	(73)
63	竹巻パン:クリスマス	焼き上がった竹巻パンをベースにして、クリームをはさんでいただく。ブルーベリーかチョコチップをトッピングして、甘くておいしいノエル風のクリスマスの竹巻パン。	12月	141	2	(74)
64	卓上ホウキづくり	わらを材料にして机の上で使える「ほうき」を作った。	2月	0	1	(75)

65	おひなさまづくり	公園内の間伐材や木の実を使って、手作りのひな飾りを作った。	2月	0	1	(76)
66	チョコ入り竹巻パン	バレンタインデーに向けて、チョコレート入りの特製竹巻パンの体験メニュー。	2月	196	3	(77)
67	和風米粉ピザ	地元産の米粉を使い生地を作り、炭火で焼いた。信州の冬の風物詩「野沢菜」をトッピングして、野沢菜に合う和風ピザを召し上がっていただいた。	2月	58	2	(78)
68	ソリづくり	木材のパーツをネジやクギを使い組み立てて、マジックでペイントし、自分だけのソリを作った。	2-3月	62	4	(79)
69	リンゴのケーキ	リンゴのケーキをダッチオーブンで作った。	3月	63	2	(80)
70	鳥の巣箱づくり	キツツキの生態を座学とフィールドワークで学び、巣箱をつくった。	3月	5	1	(81)

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数（種）	81
		延べ参加者数（人）	27,338

平成26年度　体験プログラム一覧

【 堀金・穂高 地区 】

①委託費のみで行ったもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	社会科教室ショートガイド	社会科教室の歳時記や安曇野の風景、方言など季節に応じた話題でガイド	年間	5,521	223	(1)
2	理科教室ガイド	理科教室展示物のショートガイド、雪の上の動物たち解説	年間	5,219	174	(2)
3	野外ガイド	園内の自然を案内するガイド	随時	79	5	(3)
4	スタッフ団体案内	団体からの求めに応じて、あづみの学校体験プログラムを実施	随時	22	1	(4)
5	玄関ショートガイド	ジオラマ模型を使ってガイド	随時	9,935	229	(5)
6	玄関野外ガイド	玄関から野外の散策に出かけるガイド	随時	118	5	(6)
7	わくわく自然観察会	園内を案内して、動物や植物の生態等解説をする。	毎月第2・4日曜日	145	54	(7)
8	オオルリシジミのサナギを放そう	オオルリシジミの蛹を池の周辺に放すイベントを実施。	5月	27	1	(8)
9	安曇野の水辺体験	安曇野市環境課と共催で、園内の堰の遺構を見て水について考える講座	6月	14	1	(9)
10	水辺の生き物と遊ぼう	園内の水路で水生昆虫を集めて観察	8月	10	1	(10)
11	安曇野検定講座	安曇野市生涯学習課との共催で里山の植物を紹介する講座	10月	33	1	(11)
12	昔語り民話の世界	安曇野アクターズアカデミアのメンバーによる民話の語り（3回）	11月、1月、3月	327	2	(12)
13	大しめ縄飾り実演	社会科教室の一昔前の暮らし体験	12月	0	0	(13)
14	紙飛行機づくり	社会科教室の一昔前の遊び体験	3月	30	1	(14)
15	どんぐりこまづくり	社会科教室の一昔前の遊び体験	10月	30	2	(15)
16	俵づくり実演	社会科教室の一昔前の暮らし体験	1月	10	1	(16)

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	コースター	芸術教室通常プログラム	年間	755	152	(17)
2	カスタネット	芸術教室通常プログラム	年間	1,147	185	(18)
3	キーホルダー	芸術教室通常プログラム	年間	1,515	173	(19)
4	木のぴっかぴか	芸術教室通常プログラム	年間	982	31	(20)

5	ふしぎパズル	芸術教室通常プログラム	年間	1,157	164	(21)
6	いろいろ飾り台	芸術教室通常プログラム	年間	103	65	(22)
7	ステンドグラス体験	半田こてを使ってステンドクラスをつくる体験	年間	1,610	115	(23)
8	動くおもちゃ	芸術教室通常プログラム	年間	327	85	(24)
9	さとやま発展講座	里山の自然やクラフト体験を通じて、里山保全を考える連続講座（13回）	年間	188	13	(25)
10	やまこの教室	天蚕の飼育やクラフトについて学ぶ連続講座（6回）	年間	105	5	(26)
11	田んぼの教室	園内の田んぼで田植えから収穫までを体験する講座（6回）	年間	65	2	(27)
12	木の実DEアート	芸術教室通常プログラム	年間	232	54	(28)
13	そば打ち	そば打ち体験施設を使ったそば打ち体験	年間	1,782	218	(29)
14	お小昼	社会科教室のかまどで炊いたおにぎり	年間（日曜日）	637	43	(30)
15	ミニ雛飾り	芸術教室春プログラム	4月（春休み）	8	8	(31)
16	桜餅作り	社会科教室の食体験プログラム	4月	22	1	(32)
17	お花のクリアーホルダー	芸術教室春プログラム	4月、5月	126	78	(33)
18	デコルテミラーづくり	特設クラフトテントでデコルテミラーづくり	GW	60	2	(34)
19	フリーアート	特設クラフトテントでフリーアートコーナーでの体験	GW	69	2	(35)
20	ハーブ石鹸づくり	特設クラフトテントでハーブ石鹸づくり	GW	245	1	(36)
21	ペーパーウェイトづくり	特設クラフトテントでペーパーウェイトづくり	GW	159	5	(37)
22	凧づくりワークショップ	特設クラフトテントで凧キットを組み立てて園内であげる体験	GW	256	5	(38)
23	火おこし道具づくり	舞きりを使っての火おこし体験	GW	18	1	(39)
24	フォトフレームづくり	特設クラフトテントでフォトフレームづくり	GW	75	2	(40)
25	ジェルキャンドル作り	特設クラフトテントでジェルキャンドル作り	GW	120	5	(41)
26	草餅作り	社会科教室の食体験プログラム	5月	25	1	(42)
27	お茶席	安曇野自然と文化を考える会茶道グループによるお茶席体験	5月～10月（月1回）	170	6	(43)
28	連凧づくり	芸術教室春プログラム（団体向けWSプログラム）	6月	44	32	(44)

29	七夕饅頭づくり	社会科教室の七夕饅頭作り	6月	55	1	(45)
30	味噌作り	社会科教室の味噌作り	6月	16	1	(46)
31	水車で水あそび	手づくりミニ水車を組み立てて、自分の水車を水路で回す体験	7月	13	1	(47)
32	石器作り	団体利用として堀金・穂高地区でも実施	7月	72	1	(48)
33	竹巻パン	団体利用として堀金・穂高地区でも実施	7月	72	1	(49)
34	押し花うちわ	芸術教室夏プログラム	7月8月	675	43	(50)
35	カブトムシ＆クワガタ	芸術教室夏プログラム	7月8月	874	44	(51)
36	かわいい昆虫	芸術教室夏プログラム	7月8月	384	50	(52)
37	ニジマスのつかみ取り	園内池でニジマスつかみ取りと焼き体験	夏休み期間	2,018	22	(53)
38	親子で作ろう野山の昆虫	芸術教室夏プログラム	お盆期間	7	3	(54)
39	面白発見塾・夏・秋	理科教室や野外で行う実験や観察会	お盆、秋の連休	212	12	(55)
40	ぎっちょかごづくり	社会科教室の一昔前の遊び体験	9月	7	1	(56)
41	五平餅づくり	社会科教室の食体験プログラム	9月	24	1	(57)
42	コスモスのブーケづくり	園内コスモスでブーケづくり	9月,10月	30	4	(58)
43	びんにクルクル	芸術教室秋プログラム	9月10月	87	51	(59)
44	森のカレンダー	芸術教室秋プログラム	9月10月	53	32	(60)
45	ペインティング＆スモーキング	ストーンペインティングと燻製作り	9月	7	1	(61)
46	やまこのコサージュ作り	やまこの教室のオープン講座で繭を使ったコサージュ風飾り作り	9月、10月	12	2	(62)
47	コキア箒づくり	社会科教室の一昔前の暮らし体験	11月	42	2	(63)
48	やまこクラフトワークショップ	やまこの教室のオープン講座でちょうかごを使った明かり作り	11月	17	1	(64)
49	天蚕を使った壁掛け	安曇野市天蚕センターの協力で卓上織機を使った天蚕糸を交えた壁掛け作り	11月	7	1	(65)
50	やまこイルミ装飾	ちょうかご明かりをイルミネーションイベントに合わせ社会科教室に展示	11月	7	1	(66)
51	クリスマススワッグ	芸術教室冬プログラム	11月12月	129	51	(67)
52	クリスマスカード	芸術教室冬プログラム	11月12月	142	48	(68)

53	お正月リース	芸術教室冬プログラム	12月	34	9	(69)
54	正月飾りづくり	社会科教室の一昔前の暮らし体験	12月	154	13	(70)
55	やしょうま作り	社会科教室の食体験プログラム	12月	5	1	(71)
56	クリスマスキャンドル作り	あづみの学校の特設クラフトコーナーでクリスマスキャンドル作り	11月、12月（土日祝）	401	17	(72)
57	スノードームづくり	あづみの学校の特設クラフトコーナーでスノードームづくり	11月、12月（土日祝）	354	17	(73)
58	万華鏡作り	あづみの学校の特設クラフトコーナーで万華鏡作り	11月、12月（土日祝）	145	17	(74)
59	三九郎ツアー	社会科教室の一昔前の暮らし体験	1月	4	1	(75)
60	凍り餅作り	社会科教室の食体験プログラム	1月	12	1	(76)
61	木の新幹線おもちゃ	芸術教室冬プログラム	2月3月	41	34	(77)
62	メッセージボード	芸術教室冬プログラム	2月3月	4	19	(78)
63	おひな様リース	芸術教室冬プログラム	2月3月	79	19	(79)
64	焼き芋体験	たき火で焼き芋作り	3月	115	12	(80)
65	黒豆ちらしずし作り	社会科教室の食体験プログラム	3月	31	1	(81)
66	紙芝居	社会教室の囲炉裏端で安曇野の昔話紙芝居の朗読	随時	370	10	(82)
67	水鉄砲づくり	社会科教室の一昔前の遊び体験		65	1	(83)
68	母の日ポップアップ	芸術教室春プログラム		61	12	(84)
69	鯉のぼり	芸術教室春プログラム		159	39	(85)
70	チューリップフォルダー	芸術教室春プログラム		26	7	(86)

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数（種）	86
		延べ参加者数（人）	40,544

平成26年度　体験プログラム一覧

【 大町・松川 地区 】

①委託費のみで行ったもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	森の散策体験	公園サポーターが公園内のガイドし、草木や史跡などをご案内して、公園内の魅力をより一層感じていただいた。	4-3月	3,620	131	(1)
2	ノルディックウォーク体験	ノルディックウォーキングは2本のポール（ストック）を使って、歩行運動を補助し、足腰への負担を軽減する歩行方法。公園サポーターが公園内の草木や史跡などをご案内しながら一緒に歩いた。	4-10月	71	10	(2)
3	ネイチャーゲーム	自然について公園サポーターが楽しくてわかりやすくゲーム感覚でお話した。遊びながら自然の不思議や神秘を感じていただいた。	4-10月	33	5	(3)
4	FWO体験	地図と磁石を頼りに、チェックポイントを回っていただいた。	4月-6月	43	3	(4)
5	山菜収穫体験	園内で季節の山菜を収穫し、てんぷらなどに調理して食べた。	5月	80	2	(5)
6	アニマルトラッキング	森の中に残された動物の足あと、食べあと、うんちなどから、動物たちがどんなくらしをしているかを案内し、夏休みの自由研究などの宿題に活用していただいた。	8月	45	3	(6)
7	炭焼き体験	炭窯を使った炭焼を体験した。	9月	19	1	(7)
8	丸太んピック	丸太橋渡りや丸太切りなど、丸太を使ったさまざまな種目を行った。	10月	183	1	(8)
9	スノーシュー体験	スノーシューを履いて雪上散歩や樹木の観察などをお楽しみいただいた。	1-3月	357	20	(9)
10	スノーシューハイク	自然サポーターのガイドによるスノーシューツアーを実施した。	2月	30	2	(10)
11	歩くスキー体験ツアー	自然サポーターのガイドによる歩くスキー体験ツアーを実施した。	2月	36	2	(11)
12	いきものの森探検	普段は入れないいきものの森での自然観察を実施した。	2月	19	2	(12)

②委託費で行うが材料等実費は公園利用者から徴収したもの

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数	開催回数	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	小枝のクラフト	樹木の枝や木の実などの自然素材を使って、自分だけのオリジナルオブジェを作った。	4月-3月	544	38	(13)
2	サンドぼっくる	色の付いた砂を松かさにふりかけて、オリジナルのカラフル松ぼっくりを作る。土台は粘土でかわいく仕上げた。	4-8月 10-12月 2月	211	25	(14)
3	木の車づくり	木の暖かさと優しい感触をおもちゃで表現。今回のおもちゃはどなたでも簡単にできるウッドビークル。組み立てた車に思い思いの絵を描いてほのぼのビークルの完成。	4月 9月 3月	35	5	(15)
4	石器づくり	鉱物の中で比較的柔らかい滑石（かっせき）を削って、表面が滑らかで光沢のあるシンプルな石のアクセサリーを作った。	4-11月 1月 3月	1,840	58	(16)
5	サンドアート	園内の間伐材と公園の側を流れる乳川の砂を使ったペンダントを作った。	4-3月	1,585	83	(17)
6	裂き織りコースター	裂いた布を使ってコースターを織り上げた。	4-6月 8-10月 1月	66	10	(18)
7	森のフレーム	園内の小枝などを使って、フレームを作った。	4-3月	490	35	(19)
8	葉っぱのしおり	押し花や葉っぱを使った「しおり」を作った。	4-3月	237	42	(20)
9	卓上ホウキづくり	わらを材料にして机の上で使える「ほうき」を作った。	4月	4	2	(21)
10	ウッディストラップ	園内で集めた小枝を使い、切る・削る・磨くなどの様々な加工をしてプチストラップを作った。	4-6月 9-11月 1-3月	221	21	(22)
11	こいのぼりづくり	大空に泳ぐこいのぼりをイメージして、園内で集めた小枝や木の実を使ったこいのぼりを作った。	4-5月	60	7	(23)
12	森のケーキづくり	三角や四角の材料に木の実や小枝をトッピングしてケーキをイメージしたオブジェを作った。	4-11月 1月	276	22	(24)

13	大人の布ぞうりづくり教室	大人の方向けの一日体験教室。古布をリサイクルして布ぞうりを作った。	4-7月 9月 3月	8	3	(25)
14	季節のどら焼き	郷土料理「薄焼き」の間に旬の食材をはさんだどら焼きを作った。	4-6月 9月 11-3月	683	9	(26)
15	米粉ピザ	長野県産の米粉を使ったピザづくり。旬の食材をトッピングして公園内で作られた炭で焼いた。	4-5月 7月 2・3月	315	12	(27)
16	凍り餅の試食体験	長野県の伝統的な食べ物「凍り餅」を試食した。	4月	70	2	(28)
17	竹巻パン	森の体験舎の大屋根下の炉を使って、竹に地粉を使ったパン生地を巻きつけて焼いた。	4-3月	7,504	57	(29)
18	灰焼きおやき	大炉の灰を使って、信州名物の「灰焼おやき」を昔ながらのつくり方で体験した。	4-3月	1,779	27	(30)
19	五平餅	長野県木曽地域が名物の「五平餅」を作った。	4-6月 8-9月 12-2月	1,007	15	(31)
20	母の日フレームづくり	「お母さんありがとう」感謝の気持ちを込めてプレゼント。木の実や枝をフレームに張り付けてナチュラルテイストのオブジェを作った。	5月	33	4	(32)
21	森の妖精モーリーを作ろう	宝探しイベント「木子と11人の妖精」で大活躍！森の妖精モーリーを模したオブジェを作った。	5月	128	4	(33)
22	こいのぼりストラップ	地域の間伐材を使い、角材に、やすり掛けと色付けを行い、こいのぼり型のストラップを作った。	5月	472	4	(34)
23	つるかごづくり教室	「クズ」のツルを使用してつるかごを作った。	5月	0	1	(35)
24	草木染め織りタペストリー	草木で染めた糸を組み合わせて、オリジナルのタペストリーを作った。	5月 9-11月 1・2月	5	4	(36)
25	紙すき体験	牛乳パックを利用して、紙すきを体験した。	5月、7月 9-10月	17	3	(37)

26	くるみのストラップ	くるみを使って、自分だけのオリジナルストラップを作った。	5-7月 9-3月	392	47	(38)
27	釜飯づくり	四季折々の地元素材を使って釜飯を作った。	5月、10月	22	2	(39)
28	ピザ窯で焼く米粉ピザ	長野県産の米粉を使いピザ生地を作り、旬の食材をトッピングしてピザ窯で本格ピザを焼いた。	6月、8-2月	1,210	27	(40)
29	えんぴつたてづくり	えんぴつを立てる穴の開いた四角い木に、木の実や小枝を飾り付けたり、イラストを描いてえんぴつたてを作った。	6月 10月 3月	161	5	(41)
30	エコバックづくり	園内で採取した樹木の葉に絵具をぬり、生成りの手提げ袋にスタンプのように押して、エコバックを作った。	6月、8-10月	183	19	(42)
31	コサージュづくり	カラフルな紙や新聞紙を使い、素敵なコサージュを作った。	6月	0	1	(43)
32	キーホルダーづくり	公園内の間伐材を使い、木の雰囲気を生かしたキーホルダーを作った。	6月	40	4	(44)
33	親子で作ろう！ダンボールクラフト	ダンボールクラフトの体験。日替わりでウサギと消防車を作成した。	6月	41	2	(45)
34	缶バッジをつくろう	子どもの顔写真を使ってのオリジナル缶バッジづくり(大人、親子の写真も可)。顔写真はその場で撮影した。	6月	209	2	(46)
35	フラワーアレンジメント体験	季節の花を使ったフラワーアレンジメント教室を開催した。	6月	9	1	(47)
36	葉っぱのタペストリー	園内の落ち葉を活用して、その葉っぱに色を塗って布に写し、オリジナルタペストリーを作った。	6-8月	141	8	(48)
37	ススキのコースター	ススキの茎は水をはじく効果がる。園内で集めたススキを使い、コースターを2枚作った。	6月、9月	8	3	(49)
38	苔玉づくり	草木を苔で包み、自分だけの苔玉を作った。	6月	2	1	(50)

39	ペーパーウエイトづくり	園内で集めた石に糸になる前の繊維を貼り付け乾燥させ、カラフルで温かみのあるペーパーウエイトを作った。	6-7月、9月	10	4	(51)
40	七夕飾り	松本地方に伝わる七夕飾り作った。	6-7月	4	3	(52)
41	夏休みの工作体験	夏休みの工作づくり。樹木の枝や木の実などの自然素材を使って、自由にオブジェやフォトフレームを作った。	7-8月	350	20	(53)
42	ダンボールクラフト	ダンボールで、小鳥などを作った。形ができたら、色付けをした。	7月	62	9	(54)
43	朴葉まきづくり	あんこをお餅でくるんで、朴の葉っぱに包んで蒸し、信州木曽地方の伝統的なお菓子を作った。	7月	122	1	(55)
44	ブルーベリージャムづくり	大町・松川地区の農家で収穫されたみずみずしいブルーベリーを食材として、ジャムを作った。	7月	29	2	(56)
45	七夕まんじゅう	地域の風習にならい、七夕まんじゅうを作った。	7月	190	3	(57)
46	笹餅づくり	朴葉まきの笹バージョン。朴葉の変わりに笹を使った笹餅を作った。	8月	101	2	(58)
47	ジャガイモ餅	ジャガイモに片栗粉を混ぜ込んで、餅のようなモチモチな味わいのジャガイモ餅を作った。	8月	184	2	(59)
48	竹の水鉄砲づくり	竹の水鉄砲を作った。手作りの水鉄砲は、夏の水遊びに大活躍。	8月	186	5	(60)
49	ストラップづくり	縦2cm×横1cm×長さ7cmの角材（寸法には大小あります）に、やすり掛けと色付けをして、ストラップを作った。	8月	422	6	(61)
50	ギッチョカゴづくり	麦を編み上げた虫かごを作った。ギッチョとは、ギッチョとはキリギリスのこと。	8-9月	10	3	(62)
51	万華鏡づくり	鏡、筒、色紙を組み合わせ、自分だけの万華鏡を作った。	8月、11月	157	9	(63)

52	竹の鉢植えづくり	森に生えた小さな木の苗を、竹の鉢に鉢植えをした。	9月	35	2	(64)
53	モビールづくり	木の実や木の枝を使い糸と棒に結び付け、自然素材でモビールを作った。	9月	1	1	(65)
54	土笛	粘土で思い思いの形の笛を作っていただき、古代の音色を楽しんでいただいた。	9月	27	1	(66)
55	フィッシングガーデン	本格的な渓流釣りを楽しんでいただいた。	9月	177	10	(67)
56	釣った魚を食べよう	釣り上げた魚をその場で炭火焼にし、味わっていただいた。	9月	135	3	(68)
57	そまびとの家で作る布ぞうり教室	そまびとの家で囲炉裏にあたりながら、話題の「布ぞうり」を作った。	10・11月	1	1	(69)
58	ハロウィン工作	樹木の枝や木の実などの自然素材を使って、おばけのかぼちゃ、魔法使い、フクロウなど、自分だけのオリジナルハロウィンオブジェを作った。	10月	94	7	(70)
59	そまびとの家で作るあんぎん	「あんぎん」は植物繊維を細い縄や紐状にして、すだれや俵を編むのと同じ技法で編み上げた布のことを言う。この布の起源は大変古く、縄文時代から編まれている。今回はこの編み方で壁掛けを作った。	10月	0	1	(71)
60	新米で作る五平餅	今年の新米で、信州名産の五平餅づくりを体験していただいた。	10・11月	612	4	(72)
61	ぬかくどおにぎり	米のもみ殻で、ご飯を炊いておにぎりを作った。	11月	53	2	(73)
62	りんごのケーキ	ダッチオーブンを使って、りんごのケーキを作った。	11・3月	97	2	(74)
63	花炭づくり	「栗のいが」や「まつぼっくり」などをそのままの形で炭にした。	11・1・2月	18	4	(75)
64	クリスマスツリーづくり	松ぼっくりをクリスマスツリーのもみの木にみたて、綿の雪などで、飾り付けをした。	11・12月	69	8	(76)

65	オーナメントづくり（ナイトクラフト）	クリスマスの飾りにぴったりのオーナメントを作った。	11-1月	486	19	(77)
66	クリスマスツリーづくり（ドイツトウヒ）	ドイツトウヒの大きな松ぼっくりを使ってクリスマスツリーを作った。	11・12月	71	8	(78)
67	ダッチオーブン体験	親子で楽しめるアウトドア料理としてダッチオーブンを使った料理体験を実施した。	11・1・3月	70	3	(79)
68	クリスマスケーキづくり（木製ブッシュ・ド・ノエル）	木材を使って、クリスマスケーキのブッシュ・ド・ノエルのオブジェを作った。	12月	1	1	(80)
69	サンタクロースづくり	木材にサンタクロースの顔を描いて、サンタクロースを作った。	12月	5	2	(81)
70	クリスマスリースづくり	クリスマスに向けて、可愛いクリスマスリースを作った。	12月	9	2	(82)
71	正月飾りづくり（輪締め）	正月飾りの輪締めを作った。	12月	13	4	(83)
72	正月飾りづくり(輪飾り)	正月飾りの輪飾りを作った。	12月	42	7	(84)
73	ミニ門松づくり	机の上に置ける小さな門松を作った。	12月	44	3	(85)
74	ミニクリスマスツリーづくり（ナイトクラフト）	松ぼっくりや木の実などの自然素材を使って、ミニクリスマスツリーを作った。	12月	253	7	(86)
75	クリスマススペシャル竹巻きパン	クリスマス限定でキャベツ、レタス、ソーセージを入れてホットドック風のスペシャル竹巻きパンを作った。	12月	45	2	(87)
76	ふわふわヒツジの綿あめづくり	干支のヒツジに見立てて綿あめをつくった。	1月	133	2	(88)
77	新春　餅つき	臼と杵を使った本格的な餅つき体験を実施した。	1月	117	1	(89)

78	羊づくり	まつぼっくりに綿をつけて、干支の羊を作った。	1・3月	168	17	(90)
79	わら細工の鍋敷きづくり	稲ワラを使い、昔ながらの「鍋敷き」を作った。	1月	2	2	(91)
80	わら細工	稲わらを使って駒(若馬)、縁起の良い鶴や亀、羊の壁飾りなどから一つを選んで作った。	1・2月	5	2	(92)
81	おひなさまづくり	公園内の間伐材や木の実を使って、手作りのひな飾りを作った。	2・3月	70	8	(93)
82	そりづくり	むかしながらの木製のソリを作った。	2月	46	3	(94)
83	オルゴールづくり	公園内で集めた木の実や間伐材などを使い「森のオルゴール」をお作った。	2月	13	1	(95)
84	ウッドバーニング	木の板を電熱ペンでなぞって木を焦がしながら絵や模様を描いた。	3月	5	1	(96)
85	鳥のエサ台づくり	木製の手作りエサ台を作った。	3月	3	1	(97)
86	花台用ミニチェアづくり	大人の方を対象に木工細工を体。花台に最適な「ミニチェア」を作った。	3月	3	1	(98)
87	バレンタインデー特製おやき	バレンタインデーにちなんだ特製「チョコおやき」を作った。	9月	93	2	(99)
88	簡単アップルパイ	「あっ」という間に出来上がる簡単で美味しいアップルパイを作った。	2月	60	1	(100)
89	蒸パンづくり	軽食やおやつにピッタリのふんわりやわらかい蒸パンを作った。	3月	181	2	(101)

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数(種)	101
		延べ参加者数(人)	29,628

地域と連携したプログラム一覧

■種数

	H24年度	H25年度	H26年度
堀金・穂高地区	−	1	0
大町・松川地区	−	0	2

■開催回数

	H24年度	H25年度	H26年度
堀金・穂高地区	−	1	0
大町・松川地区	−	0	12

■参加者数

	H24年度	H25年度	H26年度
堀金・穂高地区	−	43	0
大町・松川地区	−	0	312

平成25年度　地域と連携したプログラム

【 堀金・穂高 地区 】

No.	プログラム名	内　容	実施日	参加人数	開催回数	備　考	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	オオルリシジミの蛹を放そう	希少なチョウ「オオルリシジミ」のサナギを池周辺に放すイベントを実施。	5月	43	1回	※共催者 オオルリシジミ保護対策会議	(1)

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数（種）	1
		延べ参加者数（人）	43

平成25年度　地域と連携したプログラム

【 大町・松川 地区 】

No.	プログラム名	内　容	実施日	延べ参加人数		備　考	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	実績なし						

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数（種）	0
		延べ参加者数（人）	0

平成26年度　地域と連携したプログラム

【 堀金・穂高 地区 】

No.	プログラム名	内 容	実施日	延べ参加人数		備 考	包括的な質 評価対象 （カウント番号）
1	実績なし						

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数（種）	
		延べ参加者数（人）	

平成26年度　地域と連携したプログラム

【 大町・松川 地区 】

No.	プログラム名	内 容	実施日	延べ参加人数	開催回数	備 考	包括的な質評価対象（カウント番号）
1	里山探検ウォーキング	公園で宿泊を伴うキャンプイベント。1日目は謎解きウォーキングと星空観察。2日目はロングウォークと収穫体験で参加者に地域の魅力を体感してもらう。	8/23（土）・24（日）	52	1回	※共催者 北アルプス山麓ツーデーウオーキング実行委員会	(1)
2	☆きらり健康塾	大町市・松川村の住民を対象とした健康講座を開催	5月24日～11月8日	260	11回	※共催者 未来につなぐきらり輝く大町・松川の会	(2)

包括的な質の評価対象	多様な利用プログラムの提供	開催種数（種）	2
		延べ参加者数（人）	312

広報・報道実績

【　H24　】

［両地区］

	平成 24 年度　報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	0	1	53	5	5	64
5 月	2	1	73	3	3	82
6 月	3	1	70	1	4	79
7 月	3	1	45	1	2	52
8 月	5	2	48	2	4	61
9 月	5	2	69	4	4	84
10 月	5	2	57	4	4	72
11 月	4	1	36	15	5	61
12 月	2	5	80	5	3	95
1 月	0	2	56	2	2	62
2 月	2	2	50	2	2	58
3 月	0	2	52	4	2	60
計	31	22	689	48	40	830

【　H25　】

［堀金・穂高地区］

	平成 25 年度　報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	1	3	18	3	7	32
5 月	4	0	17	2	0	23
6 月	0	0	12	1	0	13
7 月	5	6	8	3	3	25
8 月	1	2	17	1	0	21
9 月	5	2	7	1	3	18
10 月	0	2	36	2	2	42
11 月	39	131	17	4	1	192
12 月	29	213	20	3	1	266
1 月	5	3	15	0	1	24
2 月	3	3	5	0	0	11
3 月	19	1	12	2	0	34
計	111	366	184	22	18	701

［大町・松川地区］

	平成 25 年度　報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	0	1	25	2	3	31
5 月	2	3	20	2	0	27
6 月	1	0	31	1	2	35
7 月	0	0	29	2	3	34
8 月	72	0	27	0	1	100
9 月	84	0	27	1	2	114
10 月	78	1	30	0	2	111
11 月	69	7	36	0	2	114
12 月	152	2	24	2	2	182
1 月	73	3	43	1	2	122
2 月	54	45	35	1	2	137
3 月	82	0	32	1	1	116
計	667	62	359	13	22	1123

【 H25 】

［両地区］

	平成 25 年度 報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	1	4	43	5	10	63
5 月	6	3	37	4	0	50
6 月	1	0	43	2	2	48
7 月	5	6	37	5	6	59
8 月	73	2	44	1	1	121
9 月	89	2	34	2	5	132
10 月	78	3	66	2	4	153
11 月	108	138	53	4	3	306
12 月	181	215	44	5	3	448
1 月	78	6	58	1	3	146
2 月	57	48	40	1	2	148
3 月	101	1	44	3	1	150
計	778	428	543	35	40	1824

【　H26　】

［堀金・穂高地区］

	平成 26 年度　報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	2	155	29	0	2	188
5 月	9	32	20	1	3	65
6 月	1	2	7	1	1	12
7 月	1	2	28	2	2	35
8 月	1	97	14	3	0	115
9 月	0	12	9	0	1	22
10 月	1	62	15	1	2	81
11 月	0	0	10	2	4	16
12 月	31	64	22	2	5	124
1 月	6	2	19	0	1	28
2 月	2	1	13	0	0	16
3 月	0	1	17	1	2	21
計	54	430	203	13	23	723

［大町・松川地区］

	平成 26 年度　報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	24	0	25	2	1	52
5 月	199	1	32	0	2	234
6 月	4	0	29	5	3	41
7 月	56	1	20	0	3	80
8 月	85	0	36	1	2	124
9 月	0	0	30	3	1	34
10 月	1	140	30	0	3	174
11 月	45	5	33	0	2	85
12 月	1	5	34	0	2	42
1 月	1	1	34	0	3	39
2 月	122	4	35	0	2	163
3 月	0	2	31	1	2	36
計	538	159	369	12	26	1104

【 H26 】

［両地区］

	平成 26 年度 報道件数					計
	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	
4 月	26	155	54	2	3	240
5 月	208	33	52	1	5	299
6 月	5	2	36	6	4	53
7 月	57	3	48	2	5	115
8 月	86	97	50	4	2	239
9 月	0	12	39	3	2	56
10 月	2	202	45	1	5	255
11 月	45	5	43	2	6	101
12 月	32	69	56	2	7	166
1 月	7	3	53	0	4	67
2 月	124	5	48	0	2	179
3 月	0	3	48	2	4	57
計	592	589	572	25	49	1827

別紙－17

ホームページアクセス件数

月	平成 24 年度 HPアクセス件数	平成 25 年度 HPアクセス件数	平成 26 年度 HPアクセス件数
4 月	42,271	41,398	52,040
5 月	53,043	51,821	61,138
6 月	37,403	36,682	43,179
7 月	51,758	51,148	66,838
8 月	64,051	63,108	83,800
9 月	44,238	47,162	52,367
10 月	43,035	53,467	51,054
11 月	66,197	52,801	65,867
12 月	67,878	69,389	62,302
1 月	31,431	42,404	43,489
2 月	30,155	37,667	32,277
3 月	31,237	39,491	31,370
計	562,697	586,538	645,721

別紙－18

開園時間延伸状況

【 堀金・穂高 地区 】

エリア	期間		延伸理由	開園時間
現開園区域	平成 24 年	8 月 10 日(金)～8 月 15 日(水)	開園時間を繰り上げ、お盆に増大する周辺宿泊客等に、公園で早朝散策をしてもらう新たなサービスを提供し、集客増と満足度向上を図る。	8：00～18：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 24 年	11 月 3 日(土)～1 月 6 日(日)	安曇野の冬の風物詩として定着しつつあるイルミネーションイベントを、周辺自治体並びに観光施設と更なる連携を図り、観光客誘客の足掛かりとして活用し、オフシーズンの地域活性化に貢献するため。	16：30～21：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 25 年	8 月 10 日（土）～8 月 11 日（日）	納涼コンサート	18：00～19：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 25 年	11 月 23 日（土）～1 月 5 日（日）	夜間開園 （イルミネーション）	16：00～21：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 25 年	12 月 31 日（火）	夜間開園 （カウントダウン）	18：00～25：00
ガイドセンター～展望テラス あづみの学校	平成 26 年	9 月 23 日（火）	秋の夜長コンサート	17：00～20：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 26 年	11 月 1 日（土）～1 月 12 日（月）【1/6, 7, 8 は除く】	夜間開園 （イルミネーション）	16：00～21：00
ガイドセンター～池周辺 あづみの学校	平成 26 年	12 月 31 日（水）	夜間開園 （カウントダウン）	18：00～25：00

※休園日を開園日に変更した場合を含む

【 大町・松川 地区 】

エリア	期間		延伸理由	開園時間
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～森の体験舎区間	平成 24 年	7月30日(月)～8月3日(金)	大町･松川地区の自然環境に親しむ新たな公園利用を提供し、サービスの向上を通じた集客増を図る目的で、夜間の昆虫教室ツアーを実施するため。	19：00～21：00
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～森の体験舎区間	平成 24 年	8 月 6 日(月)～8 月 10 日(金)	大町･松川地区の自然環境に親しむ新たな公園利用を提供し、サービスの向上を通じた集客増を図る目的で、夜間の昆虫教室ツアーを実施するため。	19：00～21：30
現開園区域	平成 24 年	8 月 10 日(金)～8 月 15 日(水)	開園時間を繰り上げ、お盆に増大する周辺宿泊客等に、公園で早朝散策をしてもらう新たなサービスを提供し、集客増と満足度向上を図る。	8：00～18：00
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～森の体験舎区間	平成 24 年	11 月 3 日(土)～1 月 6 日(日)	安曇野の冬の風物詩として定着しつつあるイルミネーションイベントを、周辺自治体並びに観光施設と更なる連携を図り、観光客誘客の足掛かりとして活用し、オフシーズンの地域活性化に貢献するため。	16：30～21：00
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～森の体験舎区間	平成 25 年	10/12～11/4 の土日祝日	アルプスあかりの森	(10 月) 17：00～20：30 (11 月) 16：00～20：30
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～森の体験舎区間	平成 25 年	1/25(土)～3/2(日)	夜間開園 (イルミネーション)	(1,2 月) 16：00～20：30 (3 月) 17：00～20：30
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ～森の体験舎区間	平成 26 年	11/1(土) ～ 1/12 (月) (1/6,7,8 は除く)	夜間開園 (イルミネーション)	16：00～21：00

※休園日を開園日に変更した場合を含む

混雑時の状況

【 堀金・穂高 地区 】

■ 入園者数・駐車台数

H24 年度				H25 年度			
月日	曜日	入園者数	車台数（概数）	月日	曜日	入園者数	車台数（概数）
5 月 4 日	金	14,260	1,500	5 月 4 日	土	10,566	3,500
5 月 5 日	土	6,160	700	5 月 5 日	日	5,701	1,900
10 月 7 日	日	9,322	1,000	10 月 12 日	土	5,734	1,900
11 月 24 日	土	6,410	700	11 月 23 日	土	5,801	1,900
12 月 23 日	日	5,404	600	12 月 7 日	土	5,156	1,700
				12 月 14 日	土	5,154	1,700
				12 月 22 日	日	6,829	2,200
計		41,556	4,500	計		44,941	14,800

H26 年度			
月日	曜日	入園者数	車台数（概数）
5 月 3 日	土	9,287	3,000
5 月 4 日	日	16,004	5,300
計		25,291	8,300

※入園者数が 5,000 人以上の日を抽出

【 大町・松川 地区 】

■ 入園者数・駐車台数

H24 年度				H25 年度			
月日	曜日	入園者数	車台数（概数）	月日	曜日	入園者数	車台数（概数）
5 月 4 日	金	7,267	800	5 月 4 日	土	8,035	2,600
5 月 5 日	土	5,126	500				
計		12,393	1,300	計		8,035	2,600

H26 年度			
月日	曜日	入園者数	車台数（概数）
5 月 3 日	土	5,738	1,900
5 月 4 日	日	7,821	2,600
計		13,559	4,500

※入園者数が 5,000 人以上の日を抽出

提供施設一覧(建築物)

別紙－20

【堀金・穂高地区】

番号	施設名称	数量(床面積m^2)							建物管理対象	便所
		全体	管理許可分	委託分	施設の種類					
					倉庫	事務室	休憩所	便所		
1	ガイドセンター	982.71	342.00	640.71			541.65	99.06	541.65	99.06
2	あづみの学校	3,355.60		3,355.60			3,248.37	107.23	3,248.37	107.23
3	公園管理センター	983.59		983.59		927.45		56.14	927.45	56.14
4	須砂渡口	216.68		216.68			156.55	60.13	156.55	60.13
5	展望テラス	309.28		309.28			264.65	44.63	264.65	44.63
6	水辺の休憩所	126.62		126.62			78.07	48.55	78.07	48.55
7	野の休憩所	292.24		292.24			242.98	49.26	242.98	49.26
8	四阿(段々花畑)	15.00		15.00			15.00		15.00	0.00
9	四阿(野原)	19.44		19.44			19.44		19.44	0.00
10	四阿(池)	19.44		19.44			19.44		19.44	0.00
11	穂高口	256.98		256.98			256.98		256.98	0.00
12	烏川休憩所トイレ	78.25		78.25			42.85	35.40	42.85	35.40
13	親水広場トイレ	31.05		31.05				31.05	0.00	31.05
14	疎林広場トイレ	31.05		31.05				31.05	0.00	31.05
15	四阿(烏川)	7.85		7.85			7.85		7.85	0.00
16	四阿(疎林広場)	7.85		7.85			7.85		7.85	0.00
17	里山文化ゾーン管理棟	130.63		130.63	7.46	22.57	73.68	26.92	103.71	26.92
18	里山文化ゾーン北ゲート・トイレ	26.78		26.78	2.60	6.50		17.68	9.10	17.68
19	水車小屋	7.46		7.46			7.46		7.46	0.00
20	農家風四阿	26.50		26.50			26.50		26.50	0.00
合計				6,583.00		927.45	5,009.32	607.10	5,975.90	607.10

【大町・松川地区】

番号	施設名称	数量(床面積m^2)							建物管理対象	便所
		全体	管理許可分	委託分	施設の種類					
					倉庫	事務室	休憩所	便所		
1	インフォメーション棟	1,236.96	50.00	1,186.96	245.04	168.46	593.66	179.80	1,007.16	179.80
2	レンタル棟	541.35		541.35	291.20	138.07	107.28	4.80	536.55	4.80
3	休憩棟	586.67	213.00	373.67	48.56	38.38	255.00	31.73	341.94	31.73
4	炊事棟	109.80		109.80			109.80		109.80	0.00
5	そまびとの家	37.00		37.00			37.00		37.00	0.00
6	森の体験舎	883.68		883.68	163.21	40.24	637.30	42.93	840.75	42.93
7	大草原の家	982.70		982.70	131.61	34.95	765.86	50.28	932.42	50.28
8	森のゲート	255.00		254.99	14.13	20.65	193.63	26.58	228.41	26.58
9	第1駐車場トイレ	95.40		95.40				95.40	0.00	95.40
10	第2駐車場トイレ	89.45		89.45				89.45	0.00	89.45
11	入口広場トイレ	88.00		88.00				88.00	0.00	88.00
12	彩りの森トイレ	98.47		98.47				98.47	0.00	98.47
13	車庫棟	192.00		192.00	192.00				192.00	0.00
14	渓流レクリエーションゾーントイレ	22.35		22.35				22.35	0.00	22.35
15	四阿(渓流レクリエーションゾーン)	29.80		29.80			29.80		29.80	0.00
16	四阿(渓流レクリエーションゾーン)	7.45		7.45			7.45		7.45	0.00
17	スポーツと遊びの森管理棟	49.69		49.69	1.87	12.08	19.87	15.87	33.82	15.87
18	スポーツと遊びの森エリア倉庫	22.77		22.77	22.77				22.77	0.00
19	スポーツと遊びの森エリア四阿	7.45		7.45			7.45		7.45	0.00
合計				5,072.98	1,085.75	440.75	2,764.10	745.66	4,327.32	745.66

別紙－21

提供物品一覧（機械器具等）

【 堀金・穂高 地区 】(1/4)

番号	品目	規格	単位	数量
車輌（月別使用実績報告書提出機器）				
1	軽トラック	660cc2 人乗	台	1
2	小型乗用自動車	グランティス 7 人乗 2,400cc	台	1
3	小型貨物自動車	イスト 5 人乗 1,000cc	台	1
4	バイク	50cc	台	2
5	軽自動車	660cc オートマチック 4 人乗	台	1
その他				
6	草刈機	2 ブレードカッターデッキ付き	台	1
7	発電機	2,800W	台	1
8	発電機	6,000W	台	1
9	消防ポンプ	巻込スターター　15kW	台	1
10	給水管	巻込スターター　15kW	本	1
11	消防用ホース		本	3
12	パトロールレコーダー		個	1
13	水中ポンプ		台	1
14	エンジンチェンソー		台	2
15	刈払機		台	4
16	会議用椅子		脚	110
17	椅子	救護室	脚	2
18	椅子	ガイドセンター　授乳室	脚	4
19	椅子	テーマ展示館　芸術室	脚	10
20	椅子	ガイドセンター　運転手控室	脚	4
21	テーブル	角型　ガイドセンター　授乳室	個	1
22	長椅子	多目的ホール	脚	40
23	テーブル	センターテーブル　ガイドセンター　運転手室	個	2
24	テーブル	ミーティング用　ガイドセンター　乗務員室	脚	2
25	雑台	作業台　テーマ展示館	個	7
26	ホワイトボード	管理センター	個	1
27	スクリーン	テーマ展示館	個	1
28	雑台	講演台　管理センター	個	1
29	パネル・ローテーション	クロス　ガイドセンター　救護室	個	1
30	パネルスクリーン	自立式　ガイドセンター　授乳室	個	1
31	パネルスクリーン	全面パネル式 2 連	個	8
32	パネルスクリーン	クロスパネル　ポール　ベース付き	個	10
33	ワゴン	机用 3 段　救護室	個	2
34	書棚		個	2
35	ロッカー	3 人用	個	10
36	ロッカー	両開用	個	10
37	棚	キッチンケース	個	2

【 堀金・穂高 地区 】(2/4)

番号	品目	規格	単位	数量
38	カタログスタンド	パンフレット用	個	7
39	ベッド	ベビーベッド	個	1
40	幼児用遊具	キッズコーナーセット	個	1
41	棚	薬品戸棚	個	1
42	ベッド	病院用ベッド	個	2
43	マットレス		個	2
44	診察台	上肢台	個	1
45	雑箱	担架収納箱	個	2
46	机	診察机	個	1
47	台車	回診車	個	1
48	掛け軸	「和敬静寂」	本	1
49	風炉釜	唐銅鬼面風呂	個	1
50	敷板	真塗　小板	個	1
51	屏風	炉風炉兼型用	枚	1
52	花入	本宗全庵	個	1
53	水指	一重口　赤絵	個	1
54	濃茶入	古瀬戸	個	1
55	莨盆	田楽型	個	1
56	水次	仁清　高台寺絵	個	1
57	掛け軸	「瑞雲」	本	1
58	炉用電熱器	600W	個	1
59	水指	染付　いも頭	個	1
60	棗		個	1
61	茶碗	黒楽茶碗	個	1
62	茶碗	萩茶碗	個	1
63	炉釜	利休好　万代	個	1
64	自転車	電動式（充電器5台含む）	台	3
65	公園内散水用散水車	ホース・ホースジョイント付	個	4
66	パンフレットラック	5段　W1,130×H1,000×D275	個	11
67	パンフレットラック	4段収納　W600×H1,520×D600	個	2
68	パンフレットラック	3段引出　W500×H1,800×D395	個	3
69	ロッカー	10人用	台	2
70	ロッカー	8人用	台	2
71	パウチ		台	1
72	キルビメーター		個	1
73	ブラニメーター		個	1
74	車椅子		個	20
75	シルバーカー		個	15
76	ベビーカー	公園名入り	個	30
77	ベビーカーラック		個	2

【 堀金・穂高 地区 】(3/4)

番号	品目	規格	単位	数量
78	ゴミ箱		個	4
79	スモーキングスタンド		個	10
80	ガラスケース		台	2
81	傘袋装着機	ダストボックス一体型	台	1
82	傘袋装着機		台	1
83	ダストボックス		個	8
84	リサイクルボックス		個	3
85	ダストボックス	紙おむつ用	個	2
86	カラーボード		個	2
87	カラーボード案内板		個	5
88	スクリーン		個	1
89	電子天秤		個	1
90	台車		個	2
91	冷凍冷蔵庫	535 リットル　2 ドア型	台	3
92	ドライバー	充電式インパクトドライバー	個	1
93	ドライバードリル	充電式ドライバードリル	個	2
94	ドライバードリル	充電式ドライバードリル　ケース付き	個	2
95	リヤカー	W920×H750×D1,280	台	3
96	脚立	アルミ製　1.98m（脚立時)、4.15m（梯子時）	個	8
97	梯子	2 連　5.58m（最小)、10m（最大）	個	3
98	掃除機	9 リットル　1,050W	個	2
99	掃除機	背負式　2 リットル	個	2
100	広報宣伝用機材（大）		個	5
101	CD・MD ポータブルラジカセ		個	1
102	デジタルカメラ		個	1
103	デジタルビデオカメラ	アクセサリーキット付き	個	2
104	テレビ	29 型	台	2
105	ビデオデッキ		台	2
106	ワイヤレスマイクロホン	タイピン型	個	1
107	ワイヤレスマイクロホン	ハンド型	個	2
108	PA システム		個	2
109	データプロジェクター		台	3
110	業務用携帯無線機	アンテナ・ストラップ・マイク付き	個	8
111	高圧洗浄器	水道直結給水	個	3
112	充電式ブロワ		台	2
113	切断機	原石切断機	台	1
114	糸鋸	発砲スチロール兼用型	個	2
115	コンロ	ガスコンロ　バックガードなし	台	1
116	コンロ	鋳物三重ガスコンロ	台	1
117	ハードカットダイヤモンド	ダイヤ部刃厚 1.0mm	台	1
118	流し台	ステンレス　一層シンク	個	1

【 堀金・穂高 地区 】(4/4)

番号	品目	規格	単位	数量
119	流し台	角丸シンク	個	1
120	広報宣伝用機材（小）		体	1
121	臼	5升	個	1
122	電気オーブン		台	2
123	氷蓄冷式冷水器		台	1
124	水質計	センサープローブ一体型	個	1
125	ドライスーツ		着	1
126	ウェットスーツ（上）	長袖上衣	着	1
127	ウェットスーツ（下）	チョッキ付きズボン	個	1
128	レギュレター		個	2
129	メタリコンタンク	12リットル	個	4
130	エアーポンプ		台	1
131	乾燥機付洗濯機	ビート式	台	1
132	ガレージジャッキ		台	1
133	吸水管 塵よけ籠付き		個	1
134	携帯式放射線測定機		台	1
135	小型小電力無線機		台	1
136	プール滑り台		台	1
137	プリンター		台	1
138	無線機		台	2
139	遊具		台	1
140	机	KOKUYO SD-BSE168LF11	脚	2
141	ワゴン	KOKUYO SD-BSE46 C3F11	台	2
142	ワゴン	KOKUYO SD-BSE46 A2F11	台	2
143	椅子	CRG361KB3W	脚	2
144	冷蔵庫	コロナ CR-4WG	台	1
145	冷蔵庫	18号	台	1
146	電子レンジ		台	1
147	電子レンジ	東芝 ER-A15J6	台	1
148	パンフレットスタンド	イトー KS-12NG	台	1

提供物品一覧（機械器具等）

【 大町・松川 地区 】(1/3)

番号	品目	規格	単位	数量
車輌（月別使用実績報告書提出機器）				
1	軽トラック	660ｃｃ2人乗	台	1
2	バイク	電動	台	1
3	バイク	50ｃｃ	台	3
その他				
4	除雪機	W=900	台	1
5	自転車	電動式（充電器5台含む）	台	2
6	ゴミ箱		個	8
7	スモーキングスタンド		個	5
8	平机	インフォメーションセンター	個	1
9	脇机	インフォメーションセンター	個	2
10	片袖机	インフォメーションセンター	個	6
11	片袖机	レンタル棟	個	2
12	片袖机	森の体験舎	個	1
13	片袖机	大草原の家	個	1
14	ミーティングテーブル	インフォメーションセンター	個	2
15	椅子	インフォメーションセンター	脚	7
16	椅子	レンタル棟	脚	2
17	椅子	森の体験舎	脚	1
18	椅子	大草原の家	脚	2
19	テーブル	インフォメーションセンター　金庫室	個	2
20	会議用テーブル	森の体験舎	個	6
21	会議用テーブル	森のゲート	個	1
22	会議用テーブル	大草原の家　ステージ	個	15
23	会議用テーブル	大草原の家　ステージ（パネル付き）	個	15
24	会議用椅子	インフォメーションセンター　事務室	脚	8
25	椅子	インフォメーションセンター　金庫室	脚	4
26	椅子	森の体験舎	脚	12
27	椅子	森のゲート	脚	2
28	会議用椅子	大草原の家　ステージ	脚	60
29	台車（椅子用）	大草原の家　ステージ	台	2
30	コインロッカー	6人用　インフォメーションセンター	個	2
31	コインロッカー	6人用　森の体験舎	個	3
32	コインロッカー	8人用　森の体験舎	個	2
33	ロッカー	3人用　インフォメーションセンター	個	4

【 大町・松川 地区 】(2/3)

番号	品目	規格	単位	数量
34	ロッカー	3 人用　レンタル棟	個	2
35	ロッカー	3 人用　森の体験舎	個	5
36	ロッカー	3 人用　大草原の家	個	1
37	両開書庫	インフォメーションセンター	個	5
38	両開書庫	レンタル棟	個	5
29	両開書庫	森の体験舎	個	2
40	両開書庫	大草原の家	個	2
41	耐火金庫	インフォメーションセンター	個	1
42	耐火金庫	レンタル棟	個	1
43	硬貨計算機	インフォメーションセンター　金庫室	個	1
44	硬貨選別収納機	インフォメーションセンター　金庫室	個	1
45	卓上紙幣計算機	インフォメーションセンター　金庫室	個	1
46	シュレッダー	電動	個	1
47	月行事予定板	壁掛け式　1,800×900	個	1
48	月行事予定板	壁掛け式　1,200×600	個	4
49	ホワイトボード	壁掛け式	個	2
50	ホワイトボード	キャスター付き	個	3
51	パーティション	W900×H1,500	個	8
52	パーティションスタンド	ベルトインタイプ	個	10
53	テント	2 間×3 間　4 方横幕付	個	6
54	脚立	アルミ製　全長 4,250	個	3
55	一輪車		台	3
56	リヤカー	アルミ製　折り畳み	台	5
57	台車		台	3
58	薬品戸棚	救護室　W880×H1,790×D400	個	1
59	血圧計	救護室	個	1
60	診療ベッド	救護室　W900×D2,100	個	1
61	ファイバーマットレス	救護室	枚	1
62	枕	救護室	個	1
63	ベッドカバー	救護室	個	2
64	上肢台	救護室　上下可動式　最大 H850	個	1
65	患者用椅子	救護室　丸椅子	個	2
66	担架	2 つ折　アルミ製　耐荷重 100 kg	個	2
67	担架格納庫		個	2
68	診察机	救護室	個	1
69	椅子	救護室	脚	1
70	ワゴン	救護室　キャスター付き	個	1
71	脱衣カゴ	救護室　キャスター付き	個	1
72	回診台	救護室	個	1
73	車椅子		台	15
74	シルバーカー		台	10

【 大町・松川 地区 】(3/3)

番号	品目	規格	単位	数量
75	ベビーカー	公園名入り	台	25
76	発電機	定格出力 2.5KVA	個	1
77	インパクトドライバー	充電式	個	2
78	スライドマルノコ	卓上スライド式	個	1
79	ベルトジスクサンダ		個	1
80	トリマ		個	2
81	洗濯機	全自動	個	1
82	冷蔵庫	冷凍庫付　300 リットル以上	個	1
83	冷蔵庫	冷凍庫付　450 リットル以上	個	2
84	電子レンジ	オーブン付	個	2
85	メガホン	ショルダー型　音声約 400m	個	5
86	ポータブルアンプ	持ち運び用　一体型	個	1
87	スピーカー（スタンド付）	同上アンプ対応スピーカー	対	1
88	テーブル	W1,200×H720×D750	個	20
89	テーブル（6 個は H・H 地区）	W1,700×H720×D500	個	11
90	テーブル	W800×H720×D800　折り畳み式	個	9
91	椅子（12 脚は H・H 地区）	W430×H750×D435	脚	102
92	椅子	W560×H925×D630　折り畳み式	脚	36
93	無線機		台	2

提供物品一覧（魚類）

綱	目	科	属	種	展示数	分別
硬骨魚	サケ	サケ	イワナ	ニッコウイワナ	42	養殖
			サケ	ヤマメ	57	養殖
				ニジマス	26	養殖
				信州サーモン	6	養殖
				ヒメマス	6	養殖
			コレゴヌス	シナノユキマス	15	養殖
	コイ	コイ	コイ	コイ	1	天然
			オイカワ	オイカワ	10	天然
			ウグイ	ウグイ	106	天然
			アブラハヤ	アブラハヤ	4	天然
			タモロコ	タモロコ	3	天然
			カマツカ	カマツカ	3	天然
			モツゴ	モツゴ	3	天然
				シナイモツゴ	6	天然
			フナ	ギンブナ	8	天然
			フナ	ゲンゴロウブナ	2	天然
			アブラボテ	ヤリタナゴ	1	天然
			バラタナゴ	タイリクバラタナゴ	5	天然
		ドジョウ	ドジョウ	ドジョウ	2	天然
			シマドジョウ	シマドジョウ	2	天然
	キュウリウオ	アユ	アユ	アユ	2	養殖
	カサゴ	カジカ	カジカ	カジカ	5	天然
	ウナギ	ウナギ	ウナギ	ウナギ	1	天然
	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	カワヤツメ	スナヤツメ	6	天然
両生	有尾	サンショウウオ	サンショウウオ	クロサンショウウオ	1	天然
		イモリ	イモリ	ニホンイモリ	3	天然
	無尾	ヒキガエル	ヒキガエル	アズマヒキガエル	2	天然
		アマガエル	アマガエル	ニホンアマガエル （黄色色素欠乏による青色）	1	天然
		アカガエル	アカガエル	ニホンアカガエル	3	天然
		アオガエル	アオガエル	モリアオガエル	1	天然
				シュレーゲルアオガエル	1	天然
甲殻	十脚	サワガニ	サワガニ	サワガニ	4	天然
		テナガエビ	スジエビ	スジエビ	5	天然
		ヌカエビ	ヌマエビ	ヌカエビ	8	天然
		アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	10	天然
				アメリカザリガニ (色彩変異による青色)	1	天然
昆虫	鞘翅	ゲンゴロウ	シャープゲンゴロウモドキ	シャープゲンゴロウモドキ	2	天然
4 綱	8 目	16 科	27 属	31 種※	364	

※　アメリカザリガニについては、色彩変異のものも同種として扱う。

別紙－22

備品以外の残存物品一覧

【 堀金・穂高 地区 】

番号	品目	規格	単位	数量
1	回転椅子	OKAMURA CX93GR-FM25	脚	11
2	片袖机	OKAMURA DS12XE-M51	個	11
3	両開書庫	UCHIDA 3×6 型　1-300-2100	個	8
4	両開書庫	UCHIDA 3×6 型　1-300-2921	個	3
5	打合せ用テーブル	OKAMURA 8185NY-MD76	台	2
6	打合せ用テーブル	OKAMURA 8181CA-MC42	台	2
7	パンフレットケース	UCHIDA α150 型 1-357-7015	個	5
8	パンフレットケース	UCHIDA α150 型 1501-357-7015	個	2
9	ホワイトボード	UCHIDA 6-191-4000NB-36 型 HWA/NR	個	5
10	メガホン	TOA 製 2-212-5046ER77	個	4
11	プリンター台	コクヨ SSD-CA21FIN	台	3
12	パーティション	KOKUYO SN-SP183	個	2
13	パーティション	KOKUYO SN-SP182	個	2
14	パーティション	KOKUYO SN-SP181	個	1
15	キッチンケース	LION OK-36W	台	4
16	キッチンケース	LION OK-23N	台	1
17	会議用椅子	UCHIDA MF-250A 1-386-5401	脚	20
18	机、課長・係長	OKAMURA DS20XA-M	個	9
19	脇机　課長・係長	OKAMURA 3 段袖　DS34XJ-Z	個	18
20	机　係員	OKAMURA DS20XA-M	個	3
21	脇机　係員	OAKMURA 3 段机 DS34XJ-Z	個	6
22	片袖机　臨時職員	OKAMURA DS12XE-M	個	2
23	椅子　課長	OKAMURA CX95GR-FM	脚	3
24	椅子　係長	OKAMURA CX45GR-FM	脚	6
25	椅子　係員	OKAMURA CX43GR-FM	脚	3
26	回転椅子　臨時職員	OKAMURA CX23GR-FM	脚	2
27	センターテーブル	UCHIDA RS 1-387-8160	台	1
28	マガジンラック	UCHIDA L 型 6-400-8012	台	1
29	ソートキャビネット	UCHIDA 1-301-2002W 型 6 段	台	2
30	図面庫	UCHIDA 1-874 5000	台	2
31	作業机	オカムラ　8189SC-M	個	1
32	カウンター	UCHIDA ハイカウンター 1F-15 6-353-145	個	1
33	カウンター	UCHIDA ハイカウンター ST-15 6-353-152	個	2
34	カウンター	UCHIDA ハイカウンター ST-15 6-353-155	個	1
35	両袖机　所長	KOKUYO MG-7DDCT34	個	1

番号	品目	規格	単位	数量
36	椅子　所長	KOKUYO CR-G301KG06	脚	1
37	ロッカー　所長	KOKUYO MG-5L P1C	個	1
38	書庫　所長	KOKUYO MG-310GBT32	個	1
39	応接セット3点	UCHIDA RS-16N	セット	1
40	耐火金庫	KOKUYO HS-282KF-1NN	個	1
41	耐火金庫	KOKUYO HS-151F32N	個	1
42	来客用シューズロッカー	UCHIDA F-4型16人用 1-302-0214	個	3
43	シューズロッカー	ウチダ3列3段 1-302-4130	個	3
44	傘立て	KOKUYO US-G180	個	4
45	傘立て	KOKUYO US-G181N	個	1
46	ラック(奥付)	UCHIDA 軽量棚B型(ボード棚)1-225-1031	個	2
47	テレビ	東芝 29Z28	台	2
48	ビデオ　(DVD一体VHSHIFI)	パナソニック NVVP31S	台	2
49	電子レンジ	ナショナル NES200F	個	1
50	冷蔵庫	日立 RS31SSV	台	4
51	HDD内蔵DVDビデオカメラ	ソニー RDR-HX8	個	1
52	ビデオ	パナソニック NVVP31S	個	1
53	インパクトドライバ	マキタ TD122DRJSP	個	2
54	スライドマルノコ	マキタ LS0713FL	個	1
55	ベルトジスクサンダ	リョウビ BDS-1000	個	1
56	掃除機	ナショナル MC-220-S	個	1
57	月行事予定表	ユニット SH-02A 373-34-SH	個	2
58	行事予定表	トヨセット	個	2
59	強力パンチ	ウチダ KN-35型	個	1
60	パネルスクリーン	コクヨ SN-SG182HN62N	個	1
61	会議テーブル	オカムラ 4L21BC-W	台	1
62	演台	コクヨ WA-171RN	台	1
63	金庫	コクヨ HS-232KF1	個	1
64	椅子	オカムラ L163-FA-FM	脚	6
65	書庫	ウチダ 1-300-3004（上段）	台	5
66	書庫	ウチダ 1-300-3006（下段）	台	5
67	シュレッダー	オカムラ SC-40.4994CAZ40	個	1
68	土壌硬度計	山中式標準型	個	1
69	土壌貫入計	分割携帯式(長谷川式)	個	1
70	大型検土枝	分割携帯式(長谷川式)	個	1
71	簡易現場透水試験機	長谷川式	個	1
72	日本産魚類検索(書籍)	東海大出版会(2冊組)　中坊徹次編	組	1
73	道祖神		個	1

番号	品目	規格	単位	数量
74	フィールドスコープ	Nikon30x ワイド MC(接眼レンズ)	個	2
75	フィールド用三脚	Nikon FT-3500	個	2
76	ミキサー		個	2
77	テント	3M×6M(DX60)	個	3
78	お盆		個	1
79	コインロッカー	ライオン RC-101AG	個	3
80	長靴用ロッカー		個	2
81	統計図表盤　ライオン		個	1
82	ミーティングテーブル	コクヨ MT-T153P1R	台	1
83	デジタルカメラ	DMC-FZ50	個	1
84	家庭用ミシン	ジャガー D-3302	台	1
85	物置	稲葉　KMX-157E	個	1
86	エンジン付ブロアー	EBZ5100　背負式	個	2
87	座卓	LION TK-1860	個	6

【 大町・松川 地区 】

番号	品目	規格	単位	数量
1	パンフレットケース	UCHIDA α150型 1-357-7015	個	1
2	傘立て	KOKUYO US-G180	個	8
3	テレビ	パナソニック TH-L32X1	台	1
4	冷蔵庫	日立 RS31SSV	台	1
5	インパクトドライバ	TP130DRFX	個	1
6	掃除機	ナショナル MC-220-S	個	1
7	掃除機	パナソニック MC-G600WDP	個	8
8	椅子	オカムラ CX45GR-FM	脚	1
9	レセプションテーブル	ウチダ S-180HR型半円タイプ	個	2
10	フィールドスコープ	Nikon ED50 接眼レンズ20	個	6
11	臼・杵	小林木工所	個	1
12	ホームパーティション	コクヨ HD-MS16S24	個	2
13	掃除機(乾・湿両用)	日立 CV-PF40WD	個	1
14	デジタルカメラ	パナソニック DMC-FS25	個	2
15	パソコンデスク	KOKUYO LD36-F1	台	1
16	機器ワゴン	KOKUYO LD37-F1	台	1
17	多目的シェルフ	KOKUYO LD39-F1	個	1
18	ラミネーター	アスカ L3230	個	1
19	プロジェクター	EMP-1715	個	1
20	書画カメラ	ELMO P30S	個	1
21	外付けHDD	BUFFALO HD-W2.0TIU2/R1	個	1
22	HDD搭載ハイビジョンBDレコーダー	パナソニック DMR-BW750	個	1
23	エンジン付ブロアー	EBZ4800-4	個	2
24	HDDビデオカメラ	パナソニック TM300	個	1
25	イラストレーター	CS4	個	1
26	フォトショップ	CS4	個	1
27	温度データローガー	TR-U71	個	1
28	掃除用具入れ	SW-610S	個	5
29	スキー陳列台	D-6000A	台	1
30	ブーツ陳列台	D-8600A	台	1
31	ストック陳列台	D-3500	台	1
32	業務用石油ストーブ	FM-104F	個	1

別紙－23

貸与車両の使用状況・維持管理状況

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

24年　4月分　　（自　1　日）
（至　30　日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　　○○ ○○　　印

作成者氏名　　○○ ○○　　印

現場監督員の確認印　　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	354	25	37.0		タイヤ交換	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	958	23	35.2		タイヤ交換	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	872	23	65.6		タイヤ交換	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	584	24	56.5		タイヤ交換	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	506	11	13.3		タイヤ交換	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	58	7	10.5		無	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	332	25	25.0		タイヤ交換	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	185	25	23.0		タイヤ交換	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	175	19	27.0		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	35	4	2.0		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	25	7	3.5		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格A列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

24年　5月分　　（自　1　日）
（至　31　日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　　○○ ○○　　印

作成者氏名　　○○ ○○　　印

現場監督員の確認印　　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	546	26	78.5		無	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	1,348	22	58.5		無	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	880	20	33.0		無	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	809	23	67.5		無	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	728	18	33.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	226	21	34.7		無	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	419	27	36.0		無	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	79	27	15.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	87	9	10.8		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	50	6	4.0		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	14	2	2.0		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

別紙P272

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

24年　6月分　　（自　1　日）
（至　30　日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　　○○ ○○　　印

作成者氏名　　○○ ○○　　印

現場監督員の確認印　　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	544	27	41.0		無	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	711	23	34.6		無	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	972	20	34.5		無	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	701	25	60.0		無	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	736	18	23.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	284	26	40.5		無	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	369	26	39.0		無	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	88	26	13.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	14	3	1.5		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	39	7	4.5		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	16	6	4.0		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

別紙P273

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

24年　7月分　　（自　1　日）
（至　31　日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　　○○ ○○　　印

作成者氏名　　○○ ○○　　印

現場監督員の確認印　　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	1136	30	63.0		無	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	1,462	29	56.5		無	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	1,262	24	57.7		無	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	382	11	27.5		無	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	344	19	18.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	306	28	43.5		無	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	464	28	42.0		無	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	86	28	14.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	18	2	3.0		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	80	14	8.5		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	23	4	3.0		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

24年　9月分　　（自　1　日）
（至　30　日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　　○○ ○○　　印

作成者氏名　　○○ ○○　　印

現場監督員の確認印　　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	431	26	37.0		無	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	895	21	37.7		無	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	1,045	29	63.0		無	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	951	27	83.5		無	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	271	8	10.5		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	291	26	39.5		無	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	354	26	32.5		無	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	74	26	26.5		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	49	9	6.5		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	63	8	4.0		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	49	11	10.0		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

24年　8月分　　（自　1　日）
（至　31　日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　　○○ ○○　　印

作成者氏名　　○○ ○○　　印

現場監督員の確認印　　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	494	30	27.5		無	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	1,223	23	47.3		無	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	637	25	36.0		無	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	827	21	52.0		ラジエーターファン交換　タイヤ交換	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	329	11	17.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	363	31	50.0		ヘッドライト　電球交換	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	548	31	44.5		無	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	95	30	15.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	35	6	6.0		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	90	10	6.0		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	14	1	1.0		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

24年 11月分　（自 1 日）
（至 30 日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　○○ ○○　印

作成者氏名　○○ ○○　印

現場監督員の確認印　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	502	26	38.5		無	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	1,022	23	45.2		無	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	1,001	22	41.0		無	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	765	28	73.0		無	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	443	11	17.5		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	188	27	29.4		無	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	527	26	38.5		無	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	54	19	9.5		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	0	0	0.0		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	0	0	0.0		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	24	4	3.0		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

別紙P277

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

24年 10月分　（自 1 日）
（至 31 日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　○○ ○○　印

作成者氏名　○○ ○○　印

現場監督員の確認印　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	455	26	29.5		無	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	1,151	27	66.0		無	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	812	25	37.8		オイル・フィルター交換	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	763	22	41.5		無	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	648	12	22.0		オイル交換	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	297	26	41.0		無	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	363	26	32.0		無	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	63	24	12.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	0	0	0.0		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	0	0	0.0		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	50	9	6.0		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

24年　12月分　　（自　1　日）
（至　31　日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　　○○ ○○　　印

作成者氏名　　○○ ○○　　印

現場監督員の確認印　　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	659	22	24.0		ｽﾀｯﾄﾞﾚｽﾀｲﾔ交換	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	828	19	28.9		無	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	957	17	46.5		無	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	539	25	57.0		ｽﾀｯﾄﾞﾚｽﾀｲﾔ交換	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	1057	19	37.5		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	163	27	29.0		無	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	280	20	26.0		ｽﾀｯﾄﾞﾚｽﾀｲﾔ交換	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	199	19	17.0		ｽﾀｯﾄﾞﾚｽﾀｲﾔ交換	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	0	0	0.0		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	0	0	0.0		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	2	1	0.5		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年 1月分　（自 1 日）
（至 31 日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　○○ ○○　印

作成者氏名　○○ ○○　印

現場監督員の確認印　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300　と　44-84	資機材購入他	155	17	13.0		無	
トヨタ　イスト	松本500　と　57-13	資機材購入他	856	17	37.4		無	
三菱　軽トラック	松本41　せ　11-79	維持管理	653	16	26.0		無	
三菱　軽トラック	松本480　か　51-73	維持管理	637	26	49.5		無	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ　26-71	維持管理	322	12	14.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　596	巡視	97	23	24.2		無	
ホンダ　ジャイロX	安曇野市　え　318	巡視	76	9	5.5		タイヤ交換	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市　え　320	巡視	207	24	29.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町　ひ　595	維持管理	0	0	0.0		無	
ヤマハ　バイク	豊科町　ひ　593	維持管理	0	0	0.0		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市　え　321	維持管理	0	0	0.0		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

別紙P280

（別紙様式９－４）

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年 2月分　（自 1 日）
（至 28 日）

借受人
アルプスあづみの公園管理センター
センター長　○○ ○○　印

作成者氏名　○○ ○○　印

現場監督員の確認印　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間			
三菱　グランディンス	松本300 と 44-84	資機材購入他	194	16	14.8		無	
トヨタ　イスト	松本500 と 57-13	資機材購入他						
三菱　軽トラック	松本41 せ 11-79	維持管理						
三菱　軽トラック	松本480 か 51-73	維持管理	449	24	38.5		無	
三菱　パジェロミニ	松本50 せ 26-71	維持管理						
ホンダ　バイク	豊科町 ひ 596	巡視						
ホンダ　ジャイロX	安曇野市 え 318	巡視	50	6	6.0		無	
ホンダ　トゥデイ	安曇野市 え 320	巡視	102	14	15.0		無	
ホンダ　バイク	豊科町 ひ 595	維持管理						
ヤマハ　バイク	豊科町 ひ 593	維持管理	0	0	0.0		無	
ヤマハ　JOG	安曇野市 え 321	維持管理	0	0	0.0		無	

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

別紙P281

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　25　年　4　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印

作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	1,305.0	24	48.8	0		無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	541.0	20	32.5	0		無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	408.0	18	32.2	0		無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	130.0	26	36.0	0		無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	25.0	6	3.5	0		無	

別紙P282

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　25　年　5　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	751.0	23	52.2	0		無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	702.0	18	40.4	0		無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	575.0	26	81.0	0		無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	110.0	27	39.5	0		無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	0.0	0	0.0	0		無	

別紙P283

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　25　年　6　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借受人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印　　作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	666.0	23	62.7	2,100	66.6	有	タイヤ交換
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	597.0	19	46.0	2,100	49.5	有	タイヤ交換
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	456.0	26	45.5	21,940	38.0	有	タイヤ購入
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	55.0	24	34.5	7,350	2.2	有	リヤーチューブ
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	56.0	3	4.5	0	1.9	無	

別紙P284

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　25　年　7　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印　　作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	717.0	20	33.5	0	71.7	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	619.0	20	41.1	0	51.2	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	527.0	22	37.6	0	43.9	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	47.0	28	42.0	0	1.9	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	15.0	2	1.0	0	0.5	無	

別紙P285

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　25　年　8　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印　　作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	939.0	21	55.8	0	93.9	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	854.0	25	59.8	0	70.6	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	222.0	25	23.6	0	18.5	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	53.0	30	46.0	0	2.1	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

別紙P286

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　25　年　9　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印　　作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘　要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	541.0	18	30.6	0	54.1	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	491.0	19	31.9	0	40.6	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	227.0	20	19.0	0	18.9	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	44.0	25	37.5	0	1.8	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

別紙P287

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　25　年　10　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借受人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印　　作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	492.0	18	27.1	0	49.2	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	196.0	11	13.0	0	16.2	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	159.0	17	16.0	0	13.3	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	37.0	26	39.0	0	1.5	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

別紙P288

提供施設等使用実績報告書（堀金・穂高地区）

平成　25　年　11　月分　［自　1　日　至　30　日］

借受人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印　　作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量（走行キロ数）	稼動状況		維持修理費（単位 円）	燃料使用量（単位 l）	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	686.0	20	34.5	53,334	68.6	有	冬タイヤ購入
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	525.0	18	26.0	0	43.4	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	449.0	19	24.0	0	37.4	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	133.0	19	27.8	29,450	5.3	有	タイヤ購入他
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	51.0	3	4.0	5,000	1.7	有	バッテリー充電他

別紙P289

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　25　年　12　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印　　作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	219.0	12	15.3	7,505	21.9	有	バッテリー交換
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	646.0	21	26.5	0	53.8	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	415.0	25	23.5	0	34.6	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	322.0	26	36.2	0	12.9	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	84.0	4	6.0	0	2.8	無	

別紙P290

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　1　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘　要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	477.0	15	24.5	0	47.7	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	657.0	19	24.5	0	54.3	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	301.0	13	12.0	0	25.1	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	198.0	20	28.3	46830	7.9	有	タイヤ及びバッテリー交換
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	27.0	5	5.0	0	0.9	無	

別紙P291

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　2　月分　[自　1　日 / 至　28　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　　印

調査職員　　印　　作成者氏名　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	595.0	18	20.9	0	59.5	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	398.0	20	16.0	0	32.9	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	267.0	12	10.6	0	22.3	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	183.0	23	33.7	0	7.3	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	3.0	1	0.5	0	0.1	無	

別紙P292

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　3　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印　　作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	759.0	20	33.0	0	75.9	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	755.0	17	24.5	0	62.4	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	418.0	16	12.8	303	34.8	無	電球交換
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	233.0	26	39.0	0	9.3	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	8.0	1	0.5	0	0.3	無	

別紙P293

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　25　年　4　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印

作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘　要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	785.0	24	28.3	0		無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	556.0	18	35.3	0		無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	369.0	25	35.5	0		無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	46.0	18	9.5	0		無	
ヤマハ バッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	15.0	7	3.5	0		無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	34.0	5	3.5	0		無	

別紙P294

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　25　年　5　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘　要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	673.0	24	28.3	0		無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	556.0	23	35.3	0		無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	433.0	27	35.5	0		無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	46.0	17	9.5	5000		有	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	78.0	13	3.5	0		無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	34.0	5	3.5	0		無	

別紙P295

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　25　年　6　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借受人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印

作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	826.0	25	26.4	0	91.8	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	253.0	14	28.5	0	21.1	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	457.0	26	40.0	0	18.3	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	64.0	16	8.0	0	2.1	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	67.0	17	32.0	0	2.2	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	43.0	6	4.3	0	1.4	無	

別紙P296

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　25　年　7　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　[redacted]　印

作成者氏名　[redacted]　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	1,239.0	27	36.9	0	137.7	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	715.0	28	63.9	0	59.6	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	462.0	28	42.0	0	18.5	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	47.0	16	8.0	0	1.5	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	141.0	9	13.0	0	4.6	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	206.0	28	14.5	0	6.7	無	

別紙P297

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　25　年　8　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　　印

作成者氏名　　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	560.0	31	27.4	1,333	62.2	有	消臭剤購入
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	771.0	23	54.0	690	64.3	有	消臭剤購入
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	541.0	31	47.0	0	21.6	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	45.0	15	7.5	0	1.5	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	342.0	16	13.5	0	11.2	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

別紙P298

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　25　年　9　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印

作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	620.0	24	25.1	0	68.9	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	1,043.0	20	39.6	0	87.0	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	456.0	25	37.5	0	18.2	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	40.0	15	7.5	0	1.3	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	163.0	23	18.5	15750	5.3	有	バッテリー交換

別紙P299

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　25　年　10　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　[redacted]　印

作成者氏名　[redacted]　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘　要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	505.0	27	22.4	0	56.1	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	608.0	16	23.5	0	50.7	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	572.0	27	40.0	0	22.9	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	66.0	19	10.5	0	2.2	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	26.0	10	5.0	0	0.9	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	30.0	10	5.0	0	1.0	無	

別紙P300

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　25　年　11　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	808.0	27	31.1	0	89.8	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	722.0	23	40.5	0	60.2	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	536.0	26	39.0	0	21.4	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	48.0	16	8.5	0	1.6	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	31.0	10	5.5	0	1.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	42.0	11	7.5	0	1.4	無	

別紙P301

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　25　年　12　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

作成者氏名 [redacted] 印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	1,649.0	25	44.9	0	183.2	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	521.0	21	28.3	0	43.4	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	364.0	17	25.5	0	14.6	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	104.0	16	15.0	0	3.4	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	32.0	9	5.4	0	1.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	9.0	2	60.0	0	0.3	無	

別紙P302

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　1　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借受人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　[redacted]　印

作成者氏名　[redacted]　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	1,056.0	21	45.9	0	117.3	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	740.0	16	33.0	0	61.7	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	317.0	26	39.0	0	103.9	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	23.0	8	4.0	0	0.8	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	2.0	1	0.5	0	0.1	無	

別紙P303

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　2　月分　[自　1　日 / 至　28　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　[redacted]　印

作成者氏名　[redacted]　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘　要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	538.0	18	24.6	0	59.8	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	300.0	14	25.0	0	25.0	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	295.0	21	28.0	0	9.7	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	41.0	9	8.6	0	1.3	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	24.0	6	4.0	0	0.8	無	

別紙P304

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　3　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘　要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	1,194.0	18	56.5	0	132.7	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	755.0	19	46.0	0	62.9	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	57.0	3	4.5	709	2.3	有	電球交換
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	305.0	25	34.2	0	10.0	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	47.0	5	4.5	0	1.5	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	38.0	9	4.5	0	1.2	無	

別紙P305

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　4　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印

作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	991.0	25	48.2		99.1	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	454.0	20	28.7	13380	37.5	有	パワステ、ボルト交換他
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	770.0	22	43.0		64.2	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	386.0	22	33.5	16620	15.4	有	タイヤ交換他
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	127.0	17	18.0	14600	4.3	有	タイヤ交換他
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	62.0	8	5.5		2.0	無	

別紙P306

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　5　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	1,013.0	22	43.5	2,160	101.3	有	タイヤ交換
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	243.0	28	20.7	2160	20.1	有	タイヤ交換
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	635.0	25	33.5	10400	52.9	有	タイヤ交換 タイヤ組換
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	681.0	27	52.5		27.2	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	133.0	12	15.0		4.5	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	67.0	6	5.0		2.2	無	

別紙P307

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　6　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	700.0	21	27.5		70.0	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	131.0	25	13.5		10.8	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	368.0	21	18.8		30.7	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	599.0	25	49.0		24.0	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	103.0	6	8.0		3.5	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	32.0	7	3.5		1.0	無	

別紙P308

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　7　月分 [自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	843.0	25	32.8		84.3	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	211.0	31	18.0		17.4	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	470.0	25	24.7		39.2	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	816.0	28	78.5		32.6	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	96.0	8	11.0		3.3	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	35.0	8	4.0		1.1	無	

別紙P309

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　8　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印　　作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘　要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	1,042.0	27	42.3		104.2		
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	150.0	31	16.0		12.4		
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	358.0	19	20.0		29.8		
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	888.0	31	81.5		35.5		
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	178.0	14	19.5		6.0		
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	21.0	4	2.0	3,000	0.7	有	パンク修理

別紙P310

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　9　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	766.0	22	32.3		76.6	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	164.0	24	13.5		13.6	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	604.0	24	31.5		50.3	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	498.0	25	50.5	4,150	19.9	有	電球交換
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	408.0	19	40.5		16.3	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	58.0	10	5.5	3,000	1.9	有	パンク修繕

別紙P311

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　10　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	911.0	26	41.3	30,115	91.1	有	タイヤ購入他
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	190.0	27	17.5		15.7		
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	665.0	26	30.3		55.4		
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	542.0	26	49.5	558	21.7	有	オイルジョッキ他購入
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	430.0	22	40.0	1,500	17.2	有	点検納車費用精算
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	38.0	3	1.5	1,500	1.2	有	点検納車費用精算

別紙P312

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　11　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	969.0	23	31.8		96.9		
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	184.0	27	14.5		15.2		
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	273.0	22	15.3		22.8		
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	397.0	21	33.0	26,535	15.9	有	タイヤ交換他
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	578.0	26	55.0		19.6		
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	12.0	2	1.0		0.4		

別紙P313

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　26　年　12　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	896.0	26	29.3	2,000	89.6	有	タイヤ交換
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	151.0	26	15.5	2,000	12.5	有	タイヤ交換
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	406.0	21	19.0	2,000	33.8	有	タイヤ交換
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	564.0	26	48.5		22.6		
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	201.0	22	26.0	23,140	6.8	有	タイヤ購入
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0		0.0		

別紙P314

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　27　年　1　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	792.0	23	35.3	0	79.2	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	125.0	27	13.5	0	10.3	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	255.0	17	11.8	0	21.3	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	549.0	26	61.0	0	22.0	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	93.0	14	12.0	0	3.2	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

別紙P315

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　27　年　2　月分　[自　1　日 / 至　28　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	729.0	20	29.0	0	72.9	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	112.0	24	12.0	0	9.3	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	297.0	16	13.0	0	24.8	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	504.0	24	59.5	0	20.2	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	54.0	11	8.0	0	1.8	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	0.0	0	0.0	0	0.0	無	

別紙P316

提供施設等使用実績報告書(堀金・穂高地区)

平成　27　年　3　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員　　印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
トヨタ イスト	松本500 め 5713	連絡用務	628.0	19	23.5	0	62.8	無	
三菱パジェロミニ	松本50 せ 2671	連絡用務	135.0	27	14.0	0	11.2	無	
三菱ミニキャブ	松本41 せ 1179	連絡用務	569.0	24	24.0	0	47.4	無	
ホンダ ジャイロ	豊科町 ひ 596	連絡用務	651.0	26	63.5	0	26.0	無	
ホンダ ディオ	豊科町 ひ 595	連絡用務	159.0	15	17.0	0	5.4	無	
ヤマハ パッソル	豊科町 ひ 593	連絡用務	18.0	2	1.0	0	0.6	無	

別紙P317

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　4　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印

作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	408.0	21	28.5	0	45.3	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	760.0	20	58.0	0	63.3	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	484.0	24	36.0	0	19.4	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	98.0	17	11.5	0	3.2	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	7.0	3	1.5	0	0.2	無	

別紙P318

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　5　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印

作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	714.0	25	33.0	0	79.3	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	546.0	23	43.5	0	45.5	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	540.0	27	40.0	0	21.6	無	
ホンダ トゥディ	安曇野市 え 320	連絡用務	96.0	11	8.5	0	3.1	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	69.0	6	8.0	0	2.2	無	

別紙P319

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　6　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借受人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体
管理センター長　[redacted]　印

調査職員　　印

作成者氏名　[redacted]　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	704.0	23	32.0	58,000	78.2	夏用タイヤ購入	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	866.0	20	49.0		72.2	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	539.0	25	37.5	138,331	21.6	タイヤ購入 スパークプラグ交換他	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	43.0	14	7.5		1.4	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	1,164.0	11	10.0		37.9	無	

別紙P320

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　7　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

作成者氏名 [redacted] 印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘　要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	620.0	24	43.0		68.9	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	749.0	20	56.0		62.4	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	680.0	29	45.5		27.2	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	123.0	20	11.5		4.0	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	15.0	1	2.0		0.5	無	

別紙P321

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成 26 年 8 月分 [自 1 日 / 至 31 日]

借 受 人 アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

調査職員 印

作成者氏名 [redacted] 印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	854.0	23	36.5	56,150	94.9	有	ウォーターポンプ取替他
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	685.0	23	40.0		57.1		
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	709.0	31	48.0		28.4		
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	164.0	13	9.5		5.4		
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	641.0	1	2.0		20.9		

別紙P322

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　9　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　[redacted]　印

作成者氏名　[redacted]　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	832.0	21	35.0		92.4	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	802.0	19	34.5		66.8	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	585.0	26	39.5		23.4	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	89.0	15	8.0		2.9	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	667.0	2	2.0	22,020	21.7	有	ラジエター交換他

別紙P323

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　10　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

作成者氏名 [redacted] 印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	736.0	26	31.7		81.8		
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	864.0	19	32.5	6,300	72.0	有	タイヤ購入
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	499.0	24	35.5	11,200	20.0	有	オイル交換他
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	175.0	17	12.5		5.7		
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	241.0	14	15.0		7.9		

別紙P324

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　11　月分　[自　1　日 / 至　30　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

作成者氏名 [redacted] 印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	787.0	19	30.5	2,000	87.4	有	タイヤ交換
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	755.0	18	32.5		62.9		
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	687.0	26	52.0	3,000	27.5	有	タイヤ交換
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	45.0	18	9.0		1.5		
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	165.0	18	9.0		5.4		

別紙P325

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　26　年　12　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借　受　人　　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長　[redacted]　印

作成者氏名　[redacted]　印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	871.0	21	36.5		96.8		
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	563.0	14	26.5	2,000	46.9	有	タイヤ交換
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	350.0	23	29.0	12,200	14.0	有	レバーパーキングロック修理
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	99.0	9	9.5		3.2		
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	158.0	13	13.5		5.1		

別紙P326

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　27　年　1　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

作成者氏名 [redacted] 印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	845.0	17	31.5	0	93.9	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	429.0	19	27.4	0	36.6	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	127.0	17	11.5	0	5.1	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	42.0	5	3.0	0	1.4	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	186.0	21	22.0	0	6.1	無	

別紙P327

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　27　年　2　月分　[自　1　日 / 至　28　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

作成者氏名 [redacted] 印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	444.0	14	17.0	32,590	49.3	有	コーナーポール交換
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	553.0	22	35.5	0	46.1	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	9.0	1	1.0	0	0.4	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	135.0	19	9.5	0	4.4	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	165.0	19	21.5	0	5.4	無	

別紙P328

提供施設等使用実績報告書(大町・松川地区)

平成　27　年　3　月分　[自　1　日 / 至　31　日]

借 受 人　アルプスあづみの公園マネジメント共同体

管理センター長 [redacted] 印

作成者氏名 [redacted] 印

調査職員　　印

提供施設等名	提供施設等番号	主な作業内容	主な作業量(走行キロ数)	稼動状況		維持修理費(単位 円)	燃料使用量(単位 l)	主な修理箇所及び取替部品名	摘要
				運転日数	運転時間				
三菱グランディス	松本300 と 4484	連絡用務	1,417.0	19	46.5	0	157.4	無	
三菱ミニキャブ	松本480 か 5173	連絡用務	535.0	18	27.0	0	44.6	無	
ホンダ ジャイロX	安曇野市 え 318	連絡用務	121.0	7	6.0	0	4.8	無	
ホンダ トゥディF	安曇野市 え 320	連絡用務	127.0	15	7.5	0	4.2	無	
ヤマハ ジョグ	安曇野市 え 321	連絡用務	162.0	18	19.0	0	5.3	無	

別紙P329

別紙－24

危機管理対応実績・報告①＜事故対応等＞

【 H24 】

［堀金・穂高地区］ 2件

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月							0
5月							0
6月							0
7月			1				1
8月							0
9月							0
10月							0
11月			1				1
12月							0
1月							0
2月							0
3月							0
計	0	0	2	0	0	0	2

［大町・松川地区］ 4件

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月						1	1
5月							0
6月							0
7月	2						2
8月							0
9月							0
10月							0
11月	1						1
12月							0
1月							0
2月							0
3月							0
計	3	0	0	0	0	1	4

【 H25 】

［堀金・穂高地区］ 6件

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月							0
5月							0
6月							0
7月							0
8月	2						2
9月							0
10月	1						1
11月	3						3
12月							0
1月							0
2月							0
3月							0
計	6	0	0	0	0	0	6

［大町・松川地区］ 1件

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月							0
5月							0
6月							0
7月							0
8月					1		1
9月							0
10月							0
11月							0
12月							0
1月							0
2月							0
3月							0
計	0	0	0	0	1	0	1

【 H26 】

［堀金・穂高地区］ 6件

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月	1						1
5月							0
6月							0
7月			1				1
8月	2						2
9月							0
10月							0
11月	1						1
12月							0
1月							0
2月							0
3月	1						1
計	5	0	1	0	0	0	6

［大町・松川地区］ 1件

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月							0
5月							0
6月							0
7月							0
8月							0
9月							0
10月							0
11月							0
12月							0
1月	1						1
2月							0
3月							0
計	1	0	0	0	0	0	1

園内事故報告一覧(H24年度)

事故発生年月日	事故概要			
	事故発生箇所		事故の内容	事故の状況
平成24年4月15日（日）	大町・松川地区	森の体験舎屋外自動販売機	賞味期限切れジュースの販売	３歳のお子様連れのご夫婦が２本購入し、味がおかしいと思い賞味期限を確認されたところ、賞味期限切れ（３月１０日、４月１２日）に気がつかれ、公園スタッフに連絡があった お客様には謝罪をし、対象商品の返金を行った　お客様はその後特に苦情もなく帰られた
平成24年7月14日（土）	堀金・穂高地区	ガイドセンター 無料区域　広場	臍下部痛み	ガイドセンター　無料区域広場にて職員が発見し、看護師が対応した。患者の容体は、顔面蒼白だったのでガイドセンター　救護室に搬送した。
平成24年7月22日（日）	大町・松川地区	大草原	首 ムチ打ち 胸部 肋骨骨折	サイバーホイールを利用中、勢いよく転がったため、停止場所にある柵にぶつかる形で停止した。その際、車の正面衝突と同じような状況になり、ムチ打ち、さらに膝にて胸部を打ち骨折をした模様。 当日はそのまま帰宅した。
平成24年7月29日（日）	大町・松川地区	山の神遺跡付近	ハチ刺され	巡視員（上原）から子供が3名ハチに刺されたとの連絡があり、看護師（原）が受傷状況を確認した。受傷内容は以下の通り。 ○○君右肩、両足くるぶしの3か所を刺された。　両腕に少しの痺れあり、呼吸はすこし荒かった ○○君膝を刺された。 ○○君膝を刺された。
平成24年11月22日（木）	大町・松川地区	駐車場	バイクによる転倒事故	視員が早朝巡回ルート内において駐車場A-2を巡回中煙草の吸殻を発見した。 掃除する為にバイクを停車させようとブレーキをかけたが、区画線上でバイクのタイヤが滑り、転倒した。
平成24年11月30日（金）	堀金・穂高地区	展望テラス	意識不明	展望テラス1階休憩室にて歩いているうちに座りこんで意識が無くなった。

園内事故報告一覧（H25年度）

事故発生年月日	事故概要			
	事故発生箇所		事故の内容	事故の状況
平成25年8月11日（日）	大町・松川地区外	県道496号線沿い	顔面骨折、左腎臓損傷	８月１１日午後８時頃、公園管理事務所より自転車にて帰宅途中、国営公園入口交差点より300ｍほど国道１４７号方向へ行った辺りにて進行方向左方向から出てきた動物と接触し、そのまま転倒。顔の骨を折る骨折、左腎臓損傷（出血）。 自分で家族へ電話連絡、救急搬送され、池田町安曇総合病院へ搬送。検査等を経て松本市相沢病院へ移送、入院。現在は普通病棟に移っているが、２週間は絶対安静。
平成25年8月17日（土）	堀金・穂高地区内	ガイドセンター付近	頭部左上裂傷、鼻血	８月１７日午後３時３０分頃、公園入口（ガイドセンター）付近にて怪我発生。 親御さんを含めて、怪我発生時の状況を見ていないことから、どのような状態で怪我したかは不明。 親御さんと共にガイドセンター内救護室へ来られ、看護師のアルバイトスタッフにより診断、頭部左上裂傷（２㎝）及び鼻血。意識等はある状態。 親御さん了承のもと、念のため救急車を要請し、経過を診ることとした。
平成25年8月28日（水）	堀金・穂高地区	あづみの学校多目的ホール	左上腕骨折	12：30　本人からの聞き取りにより事故発覚 9：20、大昆虫博終了後の展示物（昆虫標本）撤去作業中、荷物を台車にて運搬中、荷物が落下しそうになったため、左腕を添えたところ、腕が荷物と床に挟まり、左上腕に違和感を感じた。念のため病院で検査したところ、左上腕骨折と診断された。
平成25年10月12日（土）			左手中指先骨折	U字溝移動中に台座となるレンガとの間に、左手中指先を挟んだ為に骨折した。 管理センター職員が森の体験舎にて、炉として使用するU字溝を移動設置する為の作業を行っていたところ、近くにいた公園サポーターが移動設置の作業を自主的に行った。 U字溝と台座となるレンガとの位置調整作業中に、U字溝とレンガとの間に指を挟んでしまった。　当初、左手中指から出血が確認された為、救護室にて看護師の手当てを受けた。その際、爪がはがれそうになっているとの事、病院（ミドリクリニック）へ職員が搬送した。病院での診察の結果、左手中指先骨折の為、全治1～2週間と診断された。本日は、サポーター活動が困難と判断し、帰宅させた。※U字溝のサイズ　300A　300×260×240　L1000　重さ　：　70kg
平成25年11月23日（土）	堀金・穂高地区	池横の水路遺構付近	左足首捻挫	11/23（土）　19：00頃　園内水路遺構付近にてU字溝にぶつかり、バランスを崩し負傷。当日はそのまま帰宅。 11/25（月）お客様より、整備局へ怪我（事故）について連絡が入る。国事務所を通じて、管理センターへ連絡。 14：50　総務係長より、お客様へ連絡。状況確認。翌日にお見舞いに伺う旨連絡。 11/26（火）現場状況を確認。事故現場付近を立ち入り禁止措置を行う。 11：00　お客様宅へお見舞いに伺う。お詫び申し上げ、また安全対策を行う旨、報告。怪我の治療費 等、保険会社を通じて対応する旨申し上げる。 12/3（火）　再度、お客様宅訪問。安全対策を行った旨報告。また、お見舞金を持参。（施設賠償保険内、初期対応費用より充当）。再度、お詫び申し上げ、今後このようなことがないよう申し上げた。
平成25年11月23日（土）	堀金・穂高地区	あづみの学校玄関付近	左眉下部裂傷	19：00頃　あづみの学校内玄関付近の壁に備え付けのラックの角に顔面をぶつけ負傷。眼部付近より出血。その後、本人自身により、ガイドセンター救護室へ移動。 19：08　広報担当調査役より管理センターへ一報。看護師（アルバイト）により応急処置（止血等）を実施。 19：17　看護師の判断により、念のため救急車要請。 19：24　救急車到着 19：35　救急車出発（安曇野日赤病院へ） 20：50　本人より診察結果の連絡あり。骨折・陥没等特になし。裂傷5㎜程度。診察後退院、帰宅。
平成25年11月23日（土）		大町市　エネオス（ガソリンスタンド）	左ひじ靭帯損傷	17：00頃　ゲートスタッフ（車通勤）が帰宅途中にガソリンスタンドに立ち寄る。給油後、料金支払いの為事務所に入る際、玄関マットにつまづき転びそうになったため左手をついた。その際に痛みを感じたが帰宅した。翌日（11/24）痛みがあったため自宅近くで診療。左ひじの靭帯損傷と診断された（全治2～3週間）。ホウタイで固定。保険証で支払。 11/24（日）　19：00頃　本人より同僚のゲートスタッフに怪我をしたので当分出勤できないと連絡。　11/25（月）　休園日 11/26（火）　連絡を受けたゲートスタッフが出勤（8：45）し総務課職員に連絡。総務課職員が負傷者に電話し、状況確認。本部に状況説明、労災の適用になるか確認。 11/27（水）　本部より社労士の見解から、労災の適用になる可能性は高い、所轄の労基署に状況を伝え労災になるか確認することとの返答。 11/28（木）　大町労働基準監督署に確認し、労災適用と判断された。 12/2（月）に病院で再診する。（経過よければ包帯から、テーピングになる模様）

園内事故報告一覧(H26年度)

事故発生年月日	事故概要			
	事故発生箇所		事故の内容	事故の状況
平成26年4月17日（木）	堀金・穂高地区		左足首骨折	４月１７日、松川村立松川中学１年生の遠足があり、園内でクイズラリーをする途中ハンモック広場を利用し、次の場所へ向かおうとして、ハンモックから急いで降りて足をくじいた。現場確認したところ石はなかった。
平成26年7月30日（水）	堀金・穂高地区	池北側あずまや付近（サイバーホイール付近）	熱中症の疑い	池北側の日陰の園路で、シルバー人材センターの女性清掃作業員２名が除草作業中、同じ作業をしていた作業員から、１名の清掃作業員が気分が悪くなり、歩けなくなったので、車で迎えに来てほしいとの連絡が管理センターに入った。 管理センタースタッフが現場に駆け付け、応急措置の最中に嘔吐の症状があった為、救急車を要請。 本人の意識は有り、会話の受け答えもできる状態であった。 病院搬送後、シルバー人材センター担当者松田氏より管理センターに、病院での診断の結果、「熱中症でしょう」との話があったとの報告があった。また、現在負傷者のご主人も病院に来ており、この後帰宅する予定とのこと。 14:45　管理センターに一報入る 14:55　救急車　要請 15:12　救急車　到着 15:20　救急車　現地発（安曇野日赤病院に搬送）
平成26年8月2日（土）	堀金・穂高地区	じゃぶじゃぶ池	右目の負傷	じゃぶじゃぶ池で遊んでいたところ、その場で仲良くなって一緒に遊んでいた同年代の男の子の投げた４～５㎝くらいの石が右目に当り、右目を負傷。 右目内側から中心に向かって5㎜程度のところの皮膚に5～6㎜の切り傷。右目下側が少し腫れており、眼球からの出血等は認めれなかった。 最初、皮膚の切り傷から出血があったが、救護室に移動する頃には出血は止まった。怪我をした男の子は右目をタオルで押さえながら、救護室まで自力歩行できる状況。 救護室到着後、怪我をした男の子の祖母より、眼球が心配で眼科で検査を受けたいので救急車をお願いしたい との依頼を受け、救急車を要請。 12:30頃　負傷 13:08　救急車　要請 13:22　救急車　到着 13:38　救急車　現地発（安曇野日赤病院に搬送） ※怪我した男の子の家族、相手の家族ともに自家用車で安曇野日赤病院に移動 16:35　怪我をした男の子の母親から管理センターに電話 病院でＣＴをとり、眼球や骨に異常はありませんでしたが、４８時間は様子を見るように言われました。 お世話を掛けました。ありがとうございました。 ※お客様同士で連絡先を交換、今後はお客様同士の対応となる。
平成26年8月6日（水）	堀金・穂高地区	じゃぶじゃぶ池	右肘脱臼	冒険の森遊具（ブランコ）にて遊んでいたところ、落下し右肘を負傷。救急車を要請し相沢病院へ搬送。 両親と祖父母、兄の計6名にて来園。母親と兄が救急車に同乗、祖父母と父親は救急車を追って病院へ向かった。 なお、落下した時の状況を家族も含めて見ていた人はおらず、落下時の詳細な状態は不明。 18：20　父親と連絡が取れ、診断結果はCT、レントゲン検査の結果、脱臼とのこと。全治1か月程度。 念のため、地元（横須賀市）に戻ってから再度検診を受ける予定とのこと。

平成26年11月24日 (月)	堀金・穂高地区	ガイドセンター前広場 （無料区側）	左眉上部裂傷・打撲	２０:００頃　事故発生　中央口ガイドセンター前無料区側において、３才男の子が駐車場側スロープとスロープに沿った段差（約50㎝）にて転落、転倒。左眉上部に裂傷（約1㎝程度）。男の子は手に食べ物（クレープのようなもの）を持っていた。なお事故発生時に母親は状況を見ていなかった。 ２０:０５頃　ガイドセンター内救護室にお客様（男の子、母親、母親の友人２名）が来られ看護師による応急手当を行う。看護師の判断で救急車要請。管理センターへ連絡。男の子は左眉上部を打撲・裂傷及び出血。意識あり。 ２０:０６頃　管理センター浅山より救急車要請。 ２０：１５　　救急車到着。 ２０：３３　　救急車出発。松本市相澤病院へ搬送。（母親同伴） ２２：１５　　お客様（母親）より連絡あり。患部を３針縫う治療を行った。レントゲンは撮っていない。ありがとうございましたと話されていました。
平成27年1月3日 (土)	大町・松川地区	アルプス大草原	右足脛　骨折	親子3人で来園。そりゲレンデとして開放しているアルプス大草原の傾斜地にて、子供が乗ったソリの横で走っていたところ誤って転倒し足を負傷。その場にて動かすことが困難だったため救急車を要請。 救急車にて地域当番医である西森整形外科に搬送。右足脛の骨折で手術が必要とのこと。
平成27年3月24日 (火)	堀金・穂高地区	マシュマロドーム	首のムチウチ症	マシュマロドームにて遊んでいたところ、高校生２人が来て勢いよく飛び跳ねはじめた。その勢いで男児はしりもちをついた。その後、当日は何もなく帰宅された。 ３月２３日（月）　夕方頃 男児が首が痛いと言い始めた。 ３月２４日（月） 病院にて診察を受けたところ、首のムチウチと診断される。３～４日は痛みが続く見込み。 10：30　管理センターへ母親が連絡。子供の怪我の内容と、監視員の配置もしくは看板設置を要望された。

危機管理対応実績・報告②＜自然災害＞

別紙－25

【H24】

［堀金・穂高地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
			実績なし		

［大町・松川地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
			実績なし		

【H25】

［堀金・穂高地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
2 月 15 日	雪害		大雪による臨時閉園	有	
2 月 16 日	降雪		大雪による部分開園	有	ガイドセンター、あづみの学校のみ開園

［大町・松川地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
2 月 15 日	雪害		大雪による臨時閉園	有	
2 月 16 日	雪害		大雪による部分開園	有	渓流レクリエーションゾーンを除き開園

【H26】

［堀金・穂高地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
			実績なし		

［大町・松川地区］

災害発生日時	災害種別	地震震度	災害件名	入園/利用規制	施設の営業時間の変更等の概要
8 月 25 日	倒木		倒木によるフェンス損傷	無	無
11 月 22 日	地震	4	森の体験舎　エレベーター中止	無	無
2 月 23 日	倒木		倒木による水路氾濫	無	無
2 月 26 日	倒木		倒木によるネット損傷	無	無
3 月 16 日	雪害		エレベータ昇降路内 3 階外壁窓損傷	無	無

別紙－26

危機管理対応実績・報告③＜野生動物＞

［堀金・穂高地区］

	H24	H25	H26
4月	－	－	－
5月	－	－	－
6月	－	－	－
7月	－	－	－
8月	－	－	－
9月	－	－	－
10月	－	－	2
11月	－	－	1
12月	－	－	－
1月	－	－	－
2月	－	－	－
3月	－	－	－
計	－	－	3

［大町・松川地区］

	H24	H25	H26
4月	－	－	－
5月	－	－	－
6月	－	1	－
7月	－	－	3
8月	－	－	－
9月	－	－	－
10月	－	－	－
11月	－	1	－
12月	－	－	－
1月	－	－	－
2月	－	－	－
3月	－	－	－
計	－	2	3

野生動物対応報告一覧（H24年度）

対応発生年月日	概要	
	対応箇所	対応状況
		実績なし

野生動物対応報告一覧（H25年度）

対応発生年月日	概要	
	対応箇所	対応状況
平成25年6月28日	大町・松川地区	11：10　子熊の目撃情報あり 　　巡視1名、職員5名による園内特別巡回による、熊探しを実施する。 11：12　巡視によるテレメーターによる探知を実施 　　クマの反応なし 公園事務所に電話連絡：〇〇→工務課長 園内放送、ゲート前クマ情報看板設置し注意喚起を行う。 　　目視による、クマの個体を確認できず。 11：40　公園事務所に発見できない旨、報告する。 　　電話連絡：〇〇→工務課長 11：56　第1報送信 12：06　信濃美植（財団植物管理業者）より熊侵入情報を〇〇に連絡。 12：08　〇〇から〇〇に連絡。 12：08　第2報送信 12：53　第3報送信 13：15　巡視によるテレメーター探知及び職員による巡回を継続するが反応なし。 13：50　園内における子クマの反応は確認されない。 14：00　子クマは確認できない。 14：30　現在までの退園者4名、現在園内に6名が入園しています。 現在のところ、子クマによる危険は確認できません。 14：50　通常時巡視員1名による定期巡回ですが、以降、職員2名、巡視1名による、 1時間の定期巡回を閉園まで実施します。 上記による特別巡視を継続し、お客さの安全を確保しますので、通常の開園 として宜しいか、お伺いします。
平成25年11月30日	大町・松川地区	12：30　お客様よりクマらしき生物の目撃情報、管理センターに電話連絡あり。 　　【森の体験舎西側森林付近から、北側方面に走り去る目撃情報】 　　巡視2名、職員5名による園内特別巡回により、現場確認。 12：35　管理センター長へ報告 12：40　巡視によるテレメーターによる探知を実施（クマの反応なし） 園内放送にて注意喚起。 ゲート前にて注意喚起。 13：55　公園事務所に電話連絡：〇〇→工務課長 13：15　再度、園内放送にて注意喚起。 13：20　目視による、クマの個体を確認できず。 　　園内（いきものの森はフェンス沿い）、園外公道等。 13：25　公園事務所に発見できない旨、報告。〇〇→工務課長 13：30　園内放送にて、注意解除。 　　看板設置によるお客様への注意喚起。 目撃情報付近の巡視を強化し、実施中。 13：35　大町市へ電話連絡：内容を説明。〇〇→消防防災課（担当者不在）

野生動物対応報告一覧（H26年度）

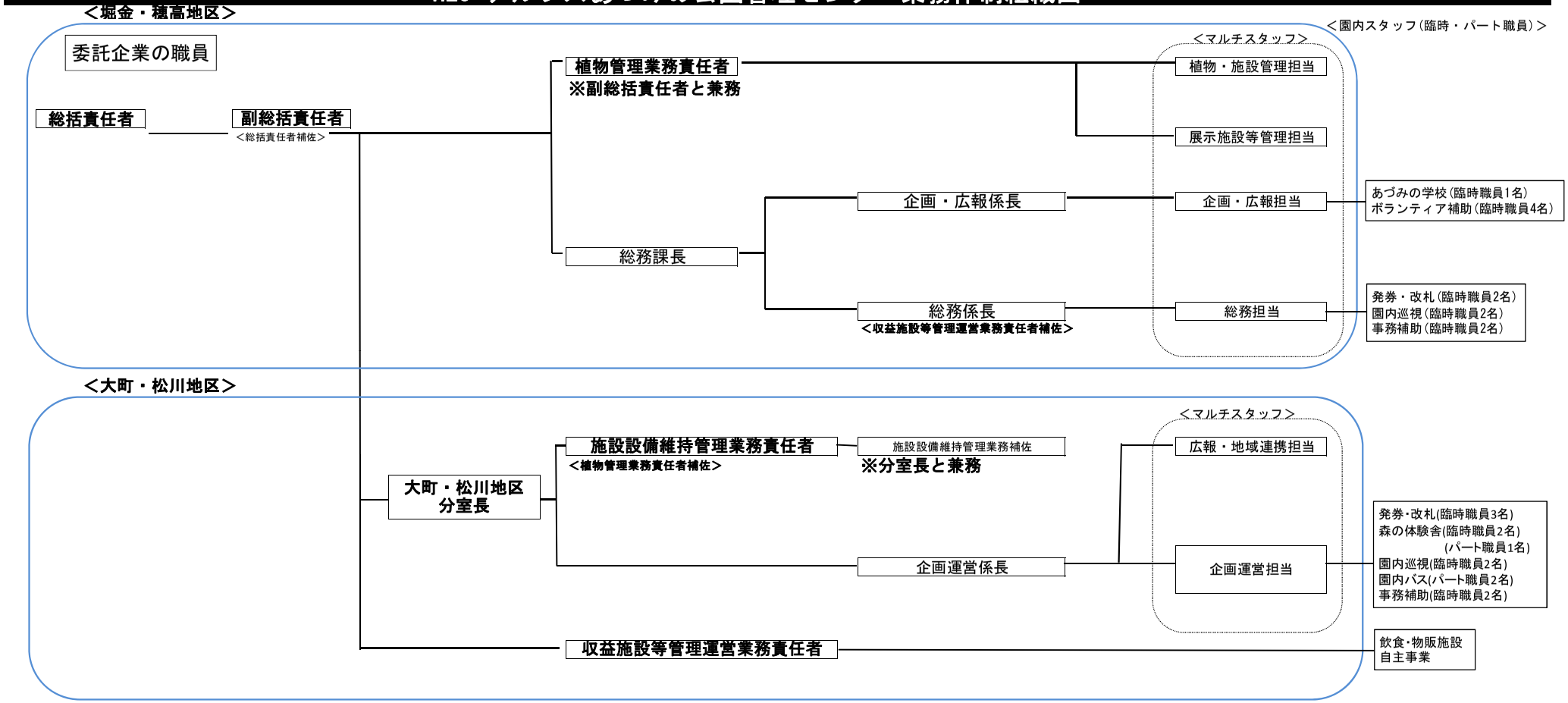
対応発生年月日	概要	
	対応箇所	対応状況
平成26年7月2日	大町・松川地区	14:10　大町・松川地区渓流レクリエーションゾーンにてクマの来園者から目撃情報 園内放送にて注意喚起。〇〇課長に状況をセンター〇〇から報告 14:22　職員3名、巡視1名で渓流レクリエーションゾーンからあづみの苑池周辺まで個体捜索をしたが個体を確認できず。有坂課長に状況をセンター佐野から報告。2名を渓流レクリエーションゾーンに置く重点巡視体制をとる。クマが園外に出たことは確認できず。 15:20　引き続き重点巡視体制をとるが、クマの個体は確認できず。国との協議のうえ渓流レクリエーションゾーンを部分閉園が決定。 15:25　渓流レクリエーションゾーンの部分閉園実施 15:35　国との協議のうえ、安全確保のため全面閉園を決定 15:40　全面閉園実施。来園者を順次出口に誘導（トレインを活用） 16:25　園内に来園者がいないことを最終確認。〇〇課長にセンター長より報告 引き続き2名による巡視体制をとる。
平成26年7月4日	大町・松川地区	平成26年7月5日（土） 7:00　信州大学教授による、クマの習性並びに今後の対応策について意見交換を行った。 （信州大学〇〇教授・北安曇地方事務所林務課〇〇氏・大町市農林水産課〇〇氏） 8:00　クマ発見現場周辺から保全ゾーンを調査し、除草が必要な箇所を重点に下草刈りを実施する。 9:00　渓流レクリエーションゾーンへ移動、7/2のクマ発見現場周辺の調査及び除草重点箇所の確認する。 10:00　現地調査を終了する。 10:15　現地調査の結果に基づき、今後の対応について国事務所と協議を実施する。 11:45　今後の対応について、以下のとおり安全確保に向けた重点事項を確認した。 公園は、開園以来、野生生物が行き来できる環境であり、園内全域を点検することで、クマが出没し難い環境整備を実施してきました。今回、信州大学教授と園内調査を実施した結果、整備箇所並びに重点巡回場所等についての確認を行うことができました。 現在実施している除草と、早朝の特別巡回点検により、管理上の基準と安全が確保された場合は、開園する。なお、今後のクマ出没に対しては、次の強化策を講ずる準備をする。
平成26年7月8日	大町・松川地区	平成26年7月8日（火） 12:40　特別巡視で巡回していた職員が渓流ピックニック広場でコグマ（30～40㎝）を発見したとの通報。 彩りの森へ逃亡したのを確認した。彩りの森内では個体確認できず。 12:43　園内放送で建物避難呼びかけとともに国事務所に臨時閉園の協議をする。 12:53　臨時閉園が決定。園内放送で周知するとともに園内トレインでゲートに誘導開始 13:10　来園者11名を園内トレインに乗せてゲートについたことを確認 13:20　11名以外に園内に来園者がいないことを確認 13:25　彩りの森を中心に個体捜索しているが、今だ確認できず。

平成26年10月12日	堀金・穂高地区	16:25 堀金・穂高地区マシュマロドーム下、烏川連絡橋付近にて来園者からのクマ目撃情報を受け、〇〇より管理センターへ報告。センター長より、引き続きクマを監視するよう指示（〇〇）。烏川左岸、右岸のお客様の避難誘導指示（〇〇）。園内放送指示（センター）。 16:26 園内放送実施。お客様誘導開始。 16:32 クマ目撃情報報告（センター長より所長） 16:35 烏川左岸 確認完了（安全確認）（〇〇よりセンター長） 16:37 安曇野市、烏川渓谷緑地へ連絡。安曇野建設事務所は連絡つかず。 16:48 烏川右岸 確認完了（安全確認）（〇〇よりセンター長） 17:10 全員退園完了。 安曇野市林務課2名が現地到着 17:20、猟友会1名到着、安曇野市とともに監視開始 17:25 クマが調整池東側の雑木林（園外）へ移動。安曇野市・猟友会監視中（〇〇よりセンター長）。 18:00 安曇野市より爆竹、ロケット花火を使って追い出すとの連絡有り。（安曇野市よりセンター） ※暗くなったので、銃は使えないとのこと。 18:40 ロケット花火を使って川方面に追い出した。（安曇野市より管理センター）
平成26年10月30日	堀金・穂高地区	10:40 水辺の休憩所横にて高所作業車にて作業中の、植物管理業者（奥原造園）担当者より、クマの目撃第1報（⇒〇〇）。管理センターへ連絡（〇〇⇒〇〇）。当該付近にて安全確認（〇〇→センター） 10:45 国事務所へ連絡（〇〇）。管理センター長へ連絡（〇〇）。 10:50 安曇野市耕地林務課へ連絡。安曇野建設事務所へ連絡。烏川環境事務所へ連絡。（〇〇対応） 安全確認巡回（〇〇、巡視他）。 11:15 国事務所より部分閉園指示。各入口部分閉園箇所指示（センター⇒各所）。園内放送指示。部分閉園決定。各所封鎖対応（巡視他）、（ガイドセンター前広場より水辺の休憩所方向通行止め）、（展望テラス1階より下、下流方面園路通行止め【吊り橋は可能】）、（穂高口より連絡橋通行止め）。 11:50 園内の安全確認完了報告（〇〇⇒国事務所） 12:45 国事務所より規制解除の指示。 13:00 ゲート前にクマ出没注意内容及び、出没箇所を明示した掲示物を掲示したうえで規制解除。 17:35「市民タイムス」より電話取材。 〇取材者 市民タイムズ 〇〇 〇対応者 〇〇 〇問い合わせ内容 本日各地でクマの出没があり、各地域の対応をお聞きしていて、国営公園の対応について教えて頂きたい。 〇回答 ①本日のクマ出没情報を公園入口に掲出、公園利用者にお知らせする。 ②園内巡視を強化を継続する。 ③週末からスタートするイルミネーションについては、夜間開園中の巡視も実施する。 〇その他 大げさには書かないようにしたいと思っていますとのこと。
平成26年11月5日	堀金・穂高地区	15:10 烏川にかかるつり橋より上流方向（そ-12付近）にお客様がクマが移動しているのを目撃の連絡（巡視員→管理センター）。巡視員がつり橋付近にて警戒にあたる。（巡視員→センター）。引き続きクマを見張るよう指示（〇〇→巡視員）。 15:12 副センター長が現地へ急行。警戒及びお客様誘導。 15:18 センター長へクマ目撃報告（〇〇→センター長）。 15:20 公園事務所へクマ目撃報告（〇〇→〇〇課長）。 15:25 立入規制指示（センター長→〇〇→巡視員）。安曇野市、烏川環境管理事務所、安曇野建設事務所へ連絡。お客様が吊り橋より下流部へ避難誘導完了。吊り橋手前より規制。上流部には立入禁止措置及びお客様案内。 16:00 イルミネーション対応立入規制に切り替え。特別巡視と合わせて、開園区域側の烏川沿いを職員にて巡視を行うことを報告。（1時間おき）（〇〇→〇〇課長） 16:00以降 特別巡視と合わせて、開園区域側の烏川沿いを職員にて巡視を行う。（1時間おき）

別紙－27

職員・臨時職員・アルバイト等の園内配置

H25 アルプスあづみの公園管理センター業務体制組織図



別紙P344

H26 アルプスあづみの公園管理センター業務体制組織図

＜堀金・穂高地区＞

委託企業の職員

総括責任者 ― 副総括責任者

副総括責任者 ― 植物管理業務責任者
※副総括責任者と兼務

副総括責任者 ― 企画・広報担当課長補佐

副総括責任者 ― 総務課長

＜マルチスタッフ＞

植物管理業務責任者 ― 植物・施設管理担当

植物管理業務責任者 ― 展示施設等管理担当

企画・広報担当課長補佐 ― 広報担当調査役

企画・広報担当課長補佐 ― 企画・広報担当

企画・広報担当課長補佐 ― 指導係長

総務課長 ― 総務係長

＜園内スタッフ（臨時・パート職員）＞

指導係長 ― あづみの学校（臨時職員4名）
ボランティア補助（臨時職員1名）

総務係長 ― 発券・改札（臨時職員3名）
（パート職員1名）
園内巡視（臨時職員2名）
（パート職員1名）
事務補助（臨時職員2名）

＜大町・松川地区＞

副総括責任者 ― 大町・松川地区分室長

大町・松川地区分室長 ― 施設設備維持管理業務責任者

施設設備維持管理業務責任者 ― 施設設備維持管理業務補佐
※分室長と兼務

＜マルチスタッフ＞

施設設備維持管理業務責任者 ― 植物管理担当

大町・松川地区分室長 ― 企画運営係長

企画運営係長 ― 広報・地域連携担当

企画運営係長 ― 企画運営担当

企画運営係長 ― 総務・経理担当

＜園内スタッフ（臨時・パート職員）＞

企画運営担当 ― 森の体験舎（臨時職員2名）
（パート職員1名）

総務・経理担当 ― 発券・改札（臨時職員1名）
（パート職員2名）
園内巡視（臨時職員2名）
園内バス（パート職員2名）
事務補助（臨時職員2名）

副総括責任者 ― 収益施設等管理運営業務責任者

収益施設等管理運営業務責任者 ― 飲食・物販施設
自主事業

別紙P345

別紙－28

統括責任者による外部会議への出席

【 H24 】

管理センター長が関わる会議など

名称	実施日	内容	会費
(1) 定例会	毎月第2水曜日	国、管理センターの連絡会議	
(2) 国営アルプスあづみの公園連絡協議会	8月20日	国、長野県地方事務所、安曇野市、大町市、松川村の関係機関相互の連絡会議	
(3) 国営アルプスあづみの公園を生かした地域振興会議	8月20日	国、大町市、大町市商工会等地域振興を目的とした連絡会議	
(4) 長野県観光総会	6月18日	長野県観光協会主催の会議	
(5) 各種協議会 早春賦音楽祭実行委員会	4月13日、 7月26日、 11月6日、 12月26日、 1月31日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
あづみのフェスタ実行委員会	7月30日、 8月21日、 1月31日、 2月4日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
アートライン協議会	4月27日、 5月15日、 8月31日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
日本アルプス観光連盟等	5月22日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	

【 H25 】

管理センター長が関わる会議など

名称	実施日	内容	会費
(1) 定例会	毎月第２水曜日	国、管理センターの連絡会議	
(2) 国営アルプスあづみの公園連絡協議会	年１回 （６月頃）	国、長野県地方事務所、安曇野市、大町市、松川村の関係機関相互の連絡会議	
(3) 国営アルプスあづみの公園を生かした地域振興会議	年４回 （4･7･10･1 月頃）	国、大町市、大町市商工会等地域振興を目的とした連絡会議	
(4) 長野県観光総会	年１回 （1 月頃）	長野県観光協会主催の会議	
(5) 各種協議会 早春賦音楽祭実行委員会 あづみのフェスタ実行委員会 アートライン協議会 日本アルプス観光連盟等	実施日不明	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	

【 H26 】

管理センター長が関わる会議など

名称	実施日	内容	会費
(1) 定例会	毎月第2水曜日	国、管理センターの連絡会議	
(2) 国営アルプスあづみの公園連絡協議会	6月13日	国、長野県地方事務所、安曇野市、大町市、松川村の関係機関相互の連絡会議	
(3) 国営アルプスあづみの公園を生かした地域振興会議	4月23日、 8月25日、 12月9日	国、大町市、大町市商工会等地域振興を目的とした連絡会議	
(4) 長野県観光総会	年1回 （1月頃）	長野県観光協会主催の会議	
(5) 各種協議会 早春賦音楽祭実行委員会	1月20日 4月18日 7月4日 11月6日 12月11日 2月6日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(6) 北アルプスフェスタ実行委員会	6月25日、 9月4日、 12月17日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(7) アートライン協議会	8月22日 3月27日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	
(8) 日本アルプス観光連盟等	5月30日	国、周辺自治体と実行員会を背吊して行う、イベント、観光推進等の会議	

別紙－29

苦情、要望等対応処理

【H24】

【堀金･穂高地区】

期間	件数
4月	21 件
5月	15 件
6月	16 件
7月	21 件
8月	39 件
9月	19 件
10月	11 件
11月	26 件
12月	31 件
1月	12 件
2月	2 件
3月	0 件
合計	213 件

【大町･松川地区】

期間	件数
4月	9 件
5月	24 件
6月	12 件
7月	16 件
8月	33 件
9月	10 件
10月	5 件
11月	13 件
12月	8 件
1月	13 件
2月	3 件
3月	0 件
合計	146 件

【H25】

【堀金･穂高地区】

期間	件数
4月	11 件
5月	20 件
6月	2 件
7月	8 件
8月	19 件
9月	10 件
10月	7 件
11月	19 件
12月	24 件
1月	0 件
2月	2 件
3月	3 件
合計	125 件

【大町･松川地区】

期間	件数
4月	7 件
5月	11 件
6月	5 件
7月	16 件
8月	28 件
9月	11 件
10月	13 件
11月	13 件
12月	0 件
1月	0 件
2月	12 件
3月	7 件
合計	123 件

【H26】

【堀金･穂高地区】

期間	件数
4月	11 件
5月	16 件
6月	4 件
7月	13 件
8月	18 件
9月	11 件
10月	12 件
11月	18 件
12月	18 件
1月	6 件
2月	2 件
3月	5 件
合計	134 件

【大町･松川地区】

期間	件数
4月	12 件
5月	17 件
6月	10 件
7月	10 件
8月	37 件
9月	13 件
10月	14 件
11月	13 件
12月	6 件
1月	12 件
2月	9 件
3月	9 件
合計	162 件

H24年４月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金				1	1								1	1	
駐車場															
施設	1	1					1	1					2	2	
遊具施設	1	1											1	1	
案内図･標識等															
園路															
清掃				1	1								1	1	
動植物管理	1	1											1	1	
行催事	3	3					3	3					6	6	
売店															
自動販売機							1	1					1	1	
レストラン															
職員				2	2								2	2	
開園時間															
券売･改札															
その他	2	2		3	3		1	1					6	6	
計	8	8		7	7		6	6					21	21	

特記事項

H24年5月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					1									1	
駐車場															
施設	2	3					1	2					3	5	
遊具施設		1					1	1					1	2	
案内図･標識等				1	1		1	1		1	1		3	3	
園路															
清掃					1									1	
動植物管理		1					2	2					2	3	
行催事		3						3						6	
売店															
自動販売機								1						1	
レストラン															
職員					2									2	
開園時間															
券売･改札															
その他	2	4		1	4		1	2		2	2		6	12	
計	4	12		2	9		6	12		3	3		15	36	

特記事項

H24年6月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					1									1	
駐車場															
施設	2	5					2	4					4	9	
遊具施設	1	2						1					1	3	
案内図･標識等					1			1			1			3	
園路							1	1					1	1	
清掃					1									1	
動植物管理	2	3					2	4					4	7	
行催事		3		1	1			3					1	7	
売店															
自動販売機								1						1	
レストラン															
職員	1	1			2								1	3	
開園時間															
券売･改札															
その他	1	5			4		3	5			2		4	16	
計	7	19		1	10		8	20			3		16	52	

特記事項

H24年7月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金				1	2		4	4					5	6	
駐車場															
施設	3	8						4					3	12	
遊具施設	1	3					1	2		1	1		3	6	
案内図･標識等					1			1			1			3	
園路								1						1	
清掃					1									1	
動植物管理	1	4						4					1	8	
行催事	1	4			1			3		1	1		2	9	
売店															
自動販売機								1						1	
レストラン															
職員		1		1	3								1	4	
開園時間							2	2					2	2	
券売･改札															
その他	1	6			4		2	7		1	3		4	20	
計	7	26		2	12		9	29		3	6		21	73	

特記事項

H24年8月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					2		1	5					1	7	
駐車場															
施設	3	11		1	1		5	9					9	21	
遊具施設	5	8					3	5			1		8	14	
案内図･標識等					1		1	2			1		1	4	
園路								1						1	
清掃				1	2								1	2	
動植物管理		4		1	1			4					1	9	
行催事	3	7		1	2		2	5			1		6	15	
売店															
自動販売機							2	3					2	3	
レストラン															
職員		1			3									4	
開園時間							1	3					1	3	
券売･改札															
その他	5	11		1	5		1	8		2	5		9	29	
計	16	42		5	17		16	45		2	8		39	112	

特記事項

H24年9月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					2			5						7	
駐車場															
施設	5	16			1		2	11		1	1		8	29	
遊具施設		8						5			1			14	
案内図･標識等					1		2	4			1		2	6	
園路								1						1	
清掃					2									2	
動植物管理		4			1		3	7					3	12	
行催事		7		1	3		1	6			1		2	17	
売店															
自動販売機								3						3	
レストラン				1	1								1	1	
職員	2	3			3								2	6	
開園時間								3						3	
券売･改札															
その他		11			5			8		1	6		1	30	
計	7	49		2	19		8	53		2	10		19	131	

特記事項

H24年10月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					2			5						7	
駐車場															
施設		16			1			11			1			29	
遊具施設	1	9		1	1		2	7			1		4	18	
案内図･標識等				1	2			4		1	2		2	8	
園路								1						1	
清掃					2									2	
動植物管理		4			1			7						12	
行催事		7		1	4			6			1		1	18	
売店															
自動販売機							1	4					1	4	
レストラン					1									1	
職員		3		1	4								1	7	
開園時間								3						3	
券売･改札															
その他	1	12			5		1	9			6		2	32	
計	2	51		4	23		4	57		1	11		11	142	

特記事項

H24年11月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					2			5						7	
駐車場															
施設	2	18		1	2		2	13		1	2		6	35	
遊具施設	1	10			1			7			1		1	19	
案内図･標識等					2			4			2			8	
園路								1						1	
清掃					2									2	
動植物管理		4			1		1	8					1	13	
行催事	12	19			4		3	9		1	2		16	34	
売店															
自動販売機								4						4	
レストラン					1									1	
職員		3			4									7	
開園時間								3						3	
券売･改札															
その他		12			5		1	10		1	7		2	34	
計	15	66		1	24		7	64		3	14		26	168	

特記事項

H24年12月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					2			5						7	
駐車場				1	1								1	1	
施設		18		1	3		1	14		1	3		3	38	
遊具施設		10		1	2			7			1		1	20	
案内図･標識等					2			4			2			8	
園路								1						1	
清掃					2									2	
動植物管理		4			1			8						13	
行催事	14	33			4		6	15		1	3		21	55	
売店															
自動販売機							2	6					2	6	
レストラン				1	2								1	2	
職員		3			4									7	
開園時間								3						3	
券売･改札															
その他		12			5			10		2	9		2	36	
計	14	80		4	28		9	73		4	18		31	199	

特記事項

H25年1月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					2			5						7	
駐車場					1									1	
施設		18		2	5		2	16			3		4	42	
遊具施設		10			2		1	8			1		1	21	
案内図･標識等					2			4			2			8	
園路								1						1	
清掃					2									2	
動植物管理		4			1			8		1	1		1	14	
行催事	3	36			4		2	17		1	4		6	61	
売店															
自動販売機								6						6	
レストラン					2									2	
職員		3			4									7	
開園時間								3						3	
券売･改札															
その他		12			5			10			9			36	
計	3	83		2	30		5	78		2	20		12	211	

特記事項

H25年2月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					2			5						7	
駐車場					1									1	
施設		18			5			16		1	4		1	43	
遊具施設		10			2			8			1			21	
案内図･標識等					2			4			2			8	
園路								1						1	
清掃					2									2	
動植物管理		4			1			8			1			14	
行催事		36			4			17			4			61	
売店															
自動販売機								6						6	
レストラン					2									2	
職員		3		1	5								1	8	
開園時間								3						3	
券売･改札															
その他		12			5			10			9			36	
計		83		1	31			78		1	21		2	213	

特記事項

H25年3月　ご意見集計一覧

［堀金･穂高地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金					2			5						7	
駐車場					1									1	
施設		18			5			16			4			43	
遊具施設		10			2			8			1			21	
案内図･標識等					2			4			2			8	
園路								1						1	
清掃					2									2	
動植物管理		4			1			8			1			14	
行催事		36			4			17			4			61	
売店															
自動販売機								6						6	
レストラン					2									2	
職員		3			5									8	
開園時間								3						3	
券売･改札															
その他		12			5			10			9			36	
計		83			31			78			21			213	

特記事項

H24年4月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金															
駐車場															
施設							1	1					1	1	
遊具施設	2	2											2	2	
案内図･標識等															
園路															
清掃															
動植物管理															
行催事															
売店															
自動販売機															
レストラン															
職員															
開園時間															
券売･改札															
その他				1	1		2	2		3	3		6	6	
計	2	2		1	1		3	3		3	3		9	9	

特記事項

H24年5月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金															
駐車場															
施設				1	1		1	2					2	3	
遊具施設		2					1	1					1	3	
案内図･標識等							3	3					3	3	
園路															
清掃															
動植物管理	1	1					1	1					2	2	
行催事				2	2		6	6					8	8	
売店															
自動販売機															
レストラン	1	1											1	1	
職員	1	1					2	2					3	3	
開園時間															
券売･改札															
その他				2	3			2		2	5		4	10	
計	3	5		5	6		14	17		2	5		24	33	

特記事項

H24年6月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金															
駐車場															
施設	1	1		2	3			2					3	6	
遊具施設		2					1	2					1	4	
案内図･標識等								3		1	1		1	4	
園路															
清掃															
動植物管理		1						1						2	
行催事					2		2	8					2	10	
売店															
自動販売機															
レストラン	2	3		1	1		1	1					4	5	
職員		1						2						3	
開園時間															
券売･改札															
その他	1	1			3			2			5		1	11	
計	4	9		3	9		4	21		1	6		12	45	

特記事項

H24年7月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金															
駐車場															
施設		1		1	4		3	5					4	10	
遊具施設		2					1	3					1	5	
案内図･標識等								3			1			4	
園路							1	1					1	1	
清掃															
動植物管理		1						1						2	
行催事				3	5			8					3	13	
売店				1	1								1	1	
自動販売機															
レストラン	2	5		1	2			1		1	1		4	9	
職員	1	2						2					1	4	
開園時間															
券売･改札															
その他		1			3			2		1	6		1	12	
計	3	12		6	15		5	26		2	8		16	61	

特記事項

H24年8月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金															
駐車場															
施設		1		1	5		1	6					2	12	
遊具施設	1	3					3	6					4	9	
案内図･標識等				1	1		1	4		1	2		3	7	
園路								1						1	
清掃															
動植物管理	1	2						1					1	3	
行催事	5	5		1	6		1	9		1	1		8	21	
売店					1									1	
自動販売機															
レストラン	3	8		3	5		1	2		1	2		8	17	
職員		2						2						4	
開園時間															
券売･改札															
その他	2	3		1	4		2	4		2	8		7	19	
計	12	24		7	22		9	35		5	13		33	94	

特記事項

H24年９月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金															
駐車場															
施設		1			5			6						12	
遊具施設		3						6						9	
案内図･標識等					1			4			2			7	
園路								1						1	
清掃															
動植物管理		2						1						3	
行催事		5		1	7			9			1		1	22	
売店					1									1	
自動販売機															
レストラン	4	12		3	8		1	3			2		8	25	
職員		2						2						4	
開園時間															
券売･改札															
その他		3			4		1	5			8		1	20	
計	4	28		4	26		2	37			13		10	104	

特記事項

H24年10月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金															
駐車場															
施設		1			5		1	7					1	13	
遊具施設		3						6						9	
案内図･標識等					1			4			2			7	
園路								1						1	
清掃															
動植物管理		2						1						3	
行催事		5			7			9			1			22	
売店					1									1	
自動販売機															
レストラン		12			8			3			2			25	
職員	1	3						2					1	5	
開園時間															
券売･改札															
その他		3		2	6		1	6			8		3	23	
計	1	29		2	28		2	39			13		5	109	

特記事項

H24年11月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金							1	1					1	1	
駐車場															
施設		1		1	6		1	8					2	15	
遊具施設		3					2	8					2	11	
案内図･標識等					1			4			2			7	
園路								1						1	
清掃															
動植物管理		2						1						3	
行催事	3	8			7		2	11		1	2		6	28	
売店					1									1	
自動販売機															
レストラン		12			8		1	4			2		1	26	
職員		3						2						5	
開園時間															
券売･改札															
その他	1	4			6			6			8		1	24	
計	4	33		1	29		7	46		1	14		13	122	

特記事項

H24年12月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金								1						1	
駐車場															
施設		1			6			8						15	
遊具施設	1	4						8					1	12	
案内図･標識等					1			4			2			7	
園路								1						1	
清掃															
動植物管理		2						1						3	
行催事	1	9		1	8		1	12			2		3	31	
売店					1									1	
自動販売機															
レストラン	1	13			8		2	6			2		3	29	
職員		3						2						5	
開園時間															
券売･改札															
その他	1	5			6			6			8		1	25	
計	4	37		1	30		3	49			14		8	130	

特記事項

H25年1月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金								1						1	
駐車場															
施設		1			6		1	9					1	16	
遊具施設	1	5						8					1	13	
案内図･標識等					1			4			2			7	
園路								1						1	
清掃															
動植物管理		2						1						3	
行催事	5	14		1	9		1	13			2		7	38	
売店					1									1	
自動販売機															
レストラン		13			8		3	9			2		3	32	
職員		3						2						5	
開園時間															
券売･改札															
その他		5			6			6		1	9		1	26	
計	6	43		1	31		5	54		1	15		13	143	

特記事項

H25年2月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金								1						1	
駐車場															
施設		1			6			9						16	
遊具施設		5						8						13	
案内図･標識等					1			4			2			7	
園路								1						1	
清掃															
動植物管理		2						1						3	
行催事	2	16			9			13			2		2	40	
売店					1		1	1					1	2	
自動販売機															
レストラン		13			8			9			2			32	
職員		3						2						5	
開園時間															
券売･改札															
その他		5			6			6			9			26	
計	2	45			31		1	55			15		3	146	

特記事項

H25年3月　ご意見集計一覧

［大町･松川地区］

評価 / 項目	プラス評価			マイナス評価			提案･要望等			その他			計		
	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23	H24		H23
	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計	今月	累計	累計
料金								1						1	
駐車場															
施設		1			6			9						16	
遊具施設		5						8						13	
案内図･標識等					1			4			2			7	
園路								1						1	
清掃															
動植物管理		2						1						3	
行催事		16			9			13			2			40	
売店					1			1						2	
自動販売機															
レストラン		13			8			9			2			32	
職員		3						2						5	
開園時間															
券売･改札															
その他		5			6			6			9			26	
計		45			31			55			15			146	

特記事項

平成25年度 ご意見集計表(4月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1		3		4					0	1	0	3	0	4	1	0	3	0	4
施設管理	1				1					0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
清掃					0		1			1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
行催事					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタッフ			2		2	1				1	1	0	2	0	3	1	0	2	0	3
利用サービス					0			1		1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
収益施設					0	1		2		3	1	0	2	0	3	1	0	2	0	3
運営管理	1	1			2					0	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2
その他		2			2		1			1	0	3	0	0	3	0	3	0	0	3
計	3	3	5	0	11	2	2	3	0	7	5	5	8	0	18	5	5	8	0	18

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P374

平成25年度 ご意見集計表(5月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1	3	2		6					0	1	3	2	0	0	2	3	5	0	10
施設管理	3				3	2				2	5	0	0	0	0	6	0	0	0	6
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
行催事					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
収益施設	1				1					0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	4
運営管理	1		3		4	2		4		6	3	0	7	0	0	4	1	7	0	12
その他	3	2	1		6	2	1			3	5	3	1	0	0	5	6	1	0	12
計	9	5	6	0	20	6	1	4	0	11	15	6	10	0	0	20	11	18	0	49

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

・岩原地区住民からの整備区域における生物調査等の事前連絡に関する要望について(5/26公園事務所に報告済)

別紙P375

平成25年度 ご意見集計表(6月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	2	3	5	0	10
施設管理					0	1				1	1	0	0	0	1	7	0	0	0	7
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
行催事					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
利用サービス	1				1			1		1	1	0	1	0	2	1	0	2	0	3
収益施設					0		1			1	0	1	0	0	1	2	1	2	0	5
運営管理					0			2		2	0	0	2	0	2	4	1	9	0	14
その他			1		1					0	0	0	1	0	1	5	6	2	0	13
計	1	0	1	0	2	1	1	3	0	5	2	1	4	0	7	22	12	22	0	56

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P376

平成25年度 ご意見集計表(7月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	2	3	5	0	10
施設管理					0	1				1	1	0	0	0	1	8	0	0	0	8
清掃					0		1			1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	2
行催事					0			1		1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
スタッフ					0			1		1	0	0	1	0	1	1	0	3	0	4
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
収益施設	1		1		2	3	1	1		5	4	1	2	0	7	6	2	4	0	12
運営管理	2		4		6	1		5		6	3	0	9	0	12	7	1	18	0	26
その他					0		1			1	0	1	0	0	1	5	7	2	0	14
計	3	0	5	0	8	5	3	8	0	16	8	3	13	0	24	30	15	35	0	80

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P377

平成25年度 ご意見集計表(8月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	2	3	5	0	10
施設管理	1	1			2	4	2	2		8	5	3	2	0	10	13	3	2	0	18
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
行催事			1		1					0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	2
スタッフ		1	1		2		1	1	1	3	0	2	2	1	5	1	2	5	1	9
利用サービス	1				1					0	1	0	0	0	1	2	0	2	0	4
収益施設	1	2			3			2		2	1	2	2	0	5	7	4	6	0	17
運営管理	2		7		9	3	1	8		12	5	1	15	0	21	12	2	33	0	47
その他	1				1		3			3	1	3	0	0	4	6	10	2	0	18
計	6	4	9	0	19	7	7	13	1	28	13	11	22	1	47	43	26	57	1	127

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P378

平成25年度 ご意見集計表(9月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1				1		1			1	1	1	0	0	2	3	4	5	0	12
施設管理	1				1	2				2	3	0	0	0	3	16	3	2	0	21
清掃			1		1		1			1	0	1	1	0	2	0	3	1	0	4
行催事					0					0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
スタッフ					0			1		1	0	0	1	0	1	1	2	6	1	10
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
収益施設		2			2	1				1	1	2	0	0	3	8	6	6	0	20
運営管理			4		4	1	2	1		4	1	2	5	0	8	13	4	38	0	55
その他		1			1		1			1	0	2	0	0	2	6	12	2	0	20
計	2	3	5	0	10	4	5	2	0	11	6	8	7	0	21	49	34	64	1	148

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P379

平成25年度 ご意見集計表(10月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理			1		1					0	0	0	1	0	1	3	4	6	0	13
施設管理	2				2		1			1	2	1	0	0	3	18	4	2	0	24
清掃		1			1					0	0	1	0	0	1	0	4	1	0	5
行催事					0	1		1		2	1	0	1	0	2	1	0	3	0	4
スタッフ					0	1		1		2	1	0	1	0	2	2	2	7	1	12
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
収益施設					0	2	1			3	2	1	0	0	3	10	7	6	0	23
運営管理	2		1		3	4		1		5	6	0	2	0	8	19	4	40	0	63
その他					0					0	0	0	0	0	0	6	12	2	0	20
計	4	1	2	0	7	8	2	3	0	13	12	3	5	0	20	61	37	69	1	168

別紙P380

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

平成25年度 ご意見集計表(11月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	3	4	6	0	13
施設管理	1	3			4					0	1	3	0	0	4	19	7	2	0	28
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	5
行催事					0					0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	4
スタッフ		1			1					0	0	1	0	0	1	2	3	7	1	13
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
収益施設		1			1	2				2	2	1	0	0	3	12	8	6	0	26
運営管理	7		5		12	5	2	4		11	12	2	9	0	23	31	6	49	0	86
その他		1			1					0	0	1	0	0	1	6	13	2	0	21
計	8	6	5	0	19	7	2	4	0	13	15	8	9	0	32	76	45	78	1	200

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P381

平成25年度 ご意見集計表（12月分） 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	3	4	6	0	13
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	19	7	2	0	28
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	5
行催事	1	1	2		4					0	1	1	2	0	4	2	1	5	0	8
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	2	3	7	1	13
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
収益施設		1			1					0	0	1	0	0	1	12	9	6	0	27
運営管理	5	4	10		19					0	5	4	10	0	19	36	10	59	0	105
その他					0					0	0	0	0	0	0	6	13	2	0	21
計	6	6	12	0	24	0	0	0	0	0	6	6	12	0	24	82	51	90	1	224

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P382

平成25年度 ご意見集計表(1月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	3	4	6	0	13
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	19	7	2	0	28
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	5
行催事					0					0	0	0	0	0	0	2	1	5	0	8
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	2	3	7	1	13
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
収益施設					0					0	0	0	0	0	0	12	9	6	0	27
運営管理					0					0	0	0	0	0	0	37	12	63	0	112
その他					0					0	0	0	0	0	0	6	13	2	1	22
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	53	94	2	232

別紙P383

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

平成25年度 ご意見集計表(2月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	3	4	6	0	13
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	19	7	2	0	28
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	5
行催事					0					0	0	0	0	0	0	2	1	5	0	8
スタッフ		1			1					0	0	1	0	0	1	2	3	7	1	13
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
収益施設					0		1			1	0	1	0	0	1	12	10	6	0	28
運営管理	1				1	3	3	5		11	4	3	5	0	12	41	15	68	0	124
その他					0					0	0	0	0	0	0	6	13	2	1	22
計	1	1	0	0	2	3	4	5	0	12	4	5	5	0	14	87	57	99	2	245

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P384

平成25年度 ご意見集計表(3月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	3	4	6	0	13
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	19	7	2	0	28
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	5
行催事					0	2		1		3	2	0	1	0	3	4	1	6	0	11
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	2	3	7	1	13
利用サービス					0	1				1	1	0	0	0	1	3	0	2	0	5
収益施設			1		1		1	1		2	0	1	2	0	3	12	11	7	0	30
運営管理		1	1		2			1		1	0	1	2	0	3	41	16	69	0	126
その他					0					0	0	0	0	0	0	6	13	2	1	22
計	0	1	2	0	3	3	1	3	0	7	3	2	5	0	10	90	59	102	2	253

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P385

平成26年度 ご意見集計表(4月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清掃			1		1					0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
行催事					0	1		3		4	1	0	3	0	4	1	0	3	0	4
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益施設	1		1		2		1			1	1	1	1	0	3	1	1	1	0	3
運営管理	3	2	3		8	2	1	3		6	5	3	6	0	14	5	3	6	0	14
その他					0		1			1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
計	4	2	5	0	11	3	3	6	0	12	7	5	11	0	23	7	5	11	0	23

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P386

平成26年度 ご意見集計表(5月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計
植物管理	1				1			1		1	1	0	1	0	2	1	0	1	0	2
施設管理	1				1		1			1	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2
清掃		1			1					0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	2
行催事	1				1	2		1		3	3	0	1	0	4	4	0	4	0	8
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用サービス	2				2	2	1	2		5	4	1	2	0	7	4	1	2	0	7
収益施設					0	2	1	1		4	2	1	1	0	4	3	2	2	0	7
運営管理	1	3	5		9	2			1	3	3	3	5	1	12	8	6	11	1	26
その他	1				1					0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	2
計	7	4	5	0	16	8	3	5	1	17	15	7	10	1	33	22	12	21	1	56

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P387

平成26年度 ご意見集計表(6月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
行催事					0		1	1		2	0	1	1	0	2	4	1	5	0	10
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用サービス					0	1				1	1	0	0	0	1	5	1	2	0	8
収益施設					0	1	1			2	1	1	0	0	2	4	3	2	0	9
運営管理	2	1	1		4	2	1		1	4	4	2	1	1	8	12	8	12	2	34
その他					0	1				1	1	0	0	0	1	2	1	0	0	3
計	2	1	1	0	4	5	3	1	1	10	7	4	2	1	14	29	16	23	2	70

別紙P388

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

平成26年度 ご意見集計表(7月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計	要望提案	ﾏｲﾅｽ評価	ﾌﾟﾗｽ評価	その他	計
植物管理		1			1					0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	3
施設管理	1	1	1		3	1	1			2	2	2	1	0	5	3	3	1	0	7
清掃					0					0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
行催事			1		1		0	1		1	0	0	2	0	2	4	1	7	0	12
スタッフ					0	1				1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
利用サービス			1		1	1				1	1	0	1	0	2	6	1	3	0	10
収益施設		2			2	0	0	1		1	0	2	1	0	3	4	5	3	0	12
運営管理			3		3	1	1	1	0	3	1	1	4	0	6	13	9	16	2	40
その他	1			1	2	0	1			1	1	1	0	1	3	3	2	0	1	6
計	2	4	6	1	13	4	3	3	0	10	6	7	9	1	23	34	23	32	3	92

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P389

平成26年度 ご意見集計表(8月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
施設管理	2	1			3			2		2	2	1	2	0	5	5	4	3	0	12
清掃		1			1					0	0	1	0	0	1	0	2	1	0	3
行催事	1	1			2	1		1		2	2	1	1	0	4	6	2	8	0	16
スタッフ					0	1				1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
利用サービス		2	1		3	3	5			8	3	7	1	0	11	9	8	4	0	21
収益施設					0	3	4	4		11	3	4	4	0	11	7	9	7	0	23
運営管理	4		5		9	6	2	5		13	10	2	10	0	22	23	11	26	2	62
その他					0					0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	6
計	7	5	6	0	18	14	11	12	0	37	21	16	18	0	55	55	39	50	3	147

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P390

平成26年度　ご意見集計表（9月分）　概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1				1	1		1		2	2	0	1	0	3	3	1	2	0	6
施設管理	2				2	1				1	3	0	0	0	3	8	4	3	0	15
清掃					0	1				1	1	0	0	0	1	1	2	1	0	4
行催事		2			2		1			1	0	3	0	0	3	6	5	8	0	19
スタッフ		1			1	1	1			2	1	2	0	0	3	2	2	0	0	4
利用サービス	1	1			2	2		1		3	3	1	1	0	5	12	9	5	0	26
収益施設					0	1				1	1	0	0	0	1	8	9	7	0	24
運営管理			3		3			1		1	0	0	4	0	4	23	11	30	2	66
その他					0				1	1	0	0	0	1	1	3	2	0	2	7
計	4	4	3	0	11	7	2	3	1	13	11	6	6	1	24	66	45	56	4	171

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P391

平成26年度 ご意見集計表(10月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理			1		1					0	0	0	1	0	1	3	1	3	0	7
施設管理	1				1	1	1			2	2	1	0	0	3	10	5	3	0	18
清掃					0	1				1	1	0	0	0	1	2	2	1	0	5
行催事		2	1		3					0	0	2	1	0	3	6	7	9	0	22
スタッフ					0		2	1		3	0	2	1	0	3	2	4	1	0	7
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	12	9	5	0	26
収益施設					0	1				1	1	0	0	0	1	9	9	7	0	25
運営管理	1		6		7	1	2	4		7	2	2	10	0	14	25	13	40	2	80
その他					0					0	0	0	0	0	0	3	2	0	2	7
計	2	2	8	0	12	4	5	5	0	14	6	7	13	0	26	72	52	69	4	197

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P392

平成26年度 ご意見集計表(11月分) 概要

■件数

	堀金・穂高地区					大町・松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	3	1	3	0	7
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	10	5	3	0	18
清掃					0					0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	5
行催事			1		1			3		3	0	0	4	0	4	6	7	13	0	26
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	2	4	1	0	7
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	12	9	5	0	26
収益施設					0	2				2	2	0	0	0	2	11	9	7	0	27
運営管理	3	5	9		17	2		6		8	5	5	15	0	25	30	18	55	2	105
その他					0					0	0	0	0	0	0	3	2	0	2	7
計	3	5	10	0	18	4	0	9	0	13	7	5	19	0	31	79	57	88	4	228

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P393

平成26年度 ご意見集計表(12月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	3	1	3	0	7
施設管理		2			2		1			1	0	3	0	0	3	10	8	3	0	21
清掃					0					0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	5
行催事					0					0	0	0	0	0	0	6	7	13	0	26
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	2	4	1	0	7
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	12	9	5	0	26
収益施設					0					0	0	0	0	0	0	11	9	7	0	27
運営管理		5	10		15	3	0	1		4	3	5	11	0	19	33	23	66	2	124
その他	1				1	1				1	2	0	0	0	2	5	2	0	2	9
計	1	7	10	0	18	4	1	1	0	6	5	8	11	0	24	84	65	99	4	252

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P394

平成26年度 ご意見集計表(1月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	3	1	3	0	7
施設管理	1				1		1			1	1	1	0	0	2	11	9	3	0	23
清掃			1		1					0	0	0	1	0	1	2	2	2	0	6
行催事					0					0	0	0	0	0	0	6	7	13	0	26
スタッフ					0		1			1	0	1	0	0	1	2	5	1	0	8
利用サービス	1				1					0	1	0	0	0	1	13	9	5	0	27
収益施設					0	1		1		2	1	0	1	0	2	12	9	8	0	29
運営管理			3		3	2	2	4		8	2	2	7	0	11	35	25	72	2	134
その他					0					0	0	0	0	0	0	5	2	0	2	9
計	2	0	4	0	6	3	4	5	0	12	5	4	9	0	18	89	69	107	4	269

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P395

平成26年度 ご意見集計表(2月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理	1				1					0	1	0	0	0	1	4	1	3	0	8
施設管理					0					0	0	0	0	0	0	11	9	3	0	23
清掃					0					0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	6
行催事					0					0	0	0	0	0	0	6	7	13	0	26
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	2	5	1	0	8
利用サービス					0					0	0	0	0	0	0	13	9	5	0	27
収益施設					0		3	2		5	0	3	2	0	5	12	12	10	0	34
運営管理	1				1	1	2	1		4	2	2	1	0	5	37	27	73	2	139
その他					0					0	0	0	0	0	0	5	2	0	2	9
計	2	0	0	0	2	1	5	3	0	9	3	5	3	0	11	92	74	110	4	280

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P396

平成26年度 ご意見集計表(3月分) 概要

■件数

	堀金･穂高地区					大町･松川地区					計					累計				
	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計	要望提案	マイナス評価	プラス評価	その他	計
植物管理					0					0	0	0	0	0	0	4	1	3	0	8
施設管理					0	2				2	2	0	0	0	2	13	9	3	0	25
清掃		1			1					0	0	1	0	0	1	2	3	2	0	7
行催事					0			1		1	0	0	1	0	1	6	7	14	0	27
スタッフ					0					0	0	0	0	0	0	2	5	1	0	8
利用サービス	1				1	1			1	2	2	0	0	1	3	15	9	5	1	30
収益施設					0					0	0	0	0	0	0	12	12	10	0	34
運営管理	1	1	1		3		2	2		4	1	3	3	0	7	38	30	76	2	146
その他					0					0	0	0	0	0	0	5	2	0	2	9
計	2	2	1	0	5	3	2	3	1	9	5	4	4	1	14	97	78	114	5	294

■その他

センター単独で対処困難なご意見など

別紙P397

別紙－30

紙媒体（種類、発行部数）

【H24】

月	イベント名称	広報媒体	発行部数
4・5	春の公園へでかけよう！Picnic	ポスター	300
		チラシ	90,000
		チラシ（折込）	380,830
6	絵本の広場 （キッズプレイランド）	チラシ	30,000
		スタンプカード	1,000
7・8	写真コンテスト春夏編	チラシ	10,000
	アルプスあづみの公園　夏	チラシ	90,000
		ポスター	500
		新聞折込	377,380
9	ANIMAL LAND　ふれあい動物村 （集まれ！わんぱくチャレンジひろば）	チラシ	150,000
		新聞折込	2,500
10	北アルプスフェア	チラシ	－
		ポスター	－
	安曇野フェスタ	チラシ	－
		ポスター	－
	絵本の広場	チラシ	1,500
11・12	写真コンテスト秋冬編	チラシ	5,000
	TWINイルミネーション	チラシ（折込）	487,660
		チラシ	5,000
		ポスター	500
		チラシ	5,000
		ポスター（車内貼り）	200
		ポスター（駅貼り）	40
		スタンプラリー用紙	50,000
		チラシ	1,000
		チラシ	150,000
		アートラインスタンプカード	3,000
		チラシ	1,000
1	あそびの学校 （冬の公園であそぼう）	チラシ	90,000
		新聞折込	422,360
2	ランチ＆ケーキバイキング	チラシ	－
3	冬の映画鑑賞会 （ささやかに、感謝デー）	チラシ	45,000

【H25】

月	イベント名称	広報媒体	発行部数
4	春の公園を楽しもう！	チラシ	110,000
		ポスター	300
7	昆虫大集合！水と緑の安曇野へ	チラシ	125,000
		ポスター	500
8	大町松川地区公園リーフレット	リーフレット	50,000
9	秋紅葉の森フェスタ・秋コスモスの花フェス	チラシ	120,000
		ポスター	500
11	光の森のページェント	チラシ	195,000
		ポスター	900
1	光の森のページェント	チラシ	86,000
		ポスター	650
	冬の公園で遊ぼう！・キッズプレイパーク	チラシ	110,000
		ポスター	320
2	冬の公園で遊ぼう！	チラシ	52,000
3	さとやま楽校案内	講座案内冊子	10,000
	SPRINGFESTA2014	チラシ	120,000
		ポスター	600
	堀金穂高地区公園リーフレット	リーフレット	50,000

【H26】

月	イベント名称	広報媒体	発行部数
4	SPRING　FESTA　2015	新聞折込	350,000
	里山探検ウォーク	チラシ	50,000
7	夏のアルプス大冒険	チラシ	130,000
		ポスター	600
8	開園10周年・5周年ウォークラリー	チラシ	30,000
9	秋コスモスの花フェスタ　紅葉の森フェスタ	チラシ	110,000
		ポスター	400
9	アウトドアパーク	新聞折込	300,000
10	光の森のページェント	新聞折込	360,000
		ポスター	600
11	光の森のページェント	チラシ	130,000
1	キッズプレイパーク・冬の公園で遊ぼう	チラシ	130,000
		ポスター	200

別紙－31

記者投げ込み実績

【H24】

月	件 数	内　容
4 月	14 件	・「ピクニック春の公園へでかけよう！」(4/4) ・「里山の花が咲き始めました」(4/11) ・「立体迷路に挑戦！」(4/11) ・「おひさま凧づくり教室」(4/11) ・「アルプス HATA ヨガ」(4/11) ・「移動動物園」(4/18) ・「春のワンワン広場」(4/18) ・「なるみちゃん 1 日園長♪」(4/18) ・「オオルリシジミのサナギを放そう」(4/18) ・「春の公園でゆったりのんびりしよう」(4/18) ・「昆虫缶バッジ採集」(4/25) ・「チューリップの花摘み体験」(4/25) ・「スポーツ鬼ごっこ」(4/25) ・「春の食体験新メニュー」(4/25)
5 月	13 件	・「日食観察の仕方を学ぼう！」(5/2) ・「アルプスの風と遊ぼう！」(5/2) ・「ネイチャーウォッチング」(5/9) ・「abn 地球の日」(5/9) ・「東日本大震災・長野県北部地震の被災者・避難民を大会へご招待！！」(5/10) ・「あづみの公園凧あげ大会」(5/16) ・「信濃大町カレーストリート 2012」(5/16) ・「スポーツ鬼ごっこリーグ」(5/16) ・「キッズプレイランド」(5/23) ・「絵本の広場」(5/23) ・「公園の屋外遊具大好評！」(5/30) ・「週末特別イベント」(5/30) ・「安曇野の天蚕について学ぼう」(5/30)
6 月	11 件	・「昆虫缶バッジ採集」(6/6) ・「募集写真受賞作品展」(6/6) ・「写真コンテスト 2012～春夏編～」(6/13) ・「七タイベント」(6/13) ・「ロードトレイン出発進行！」(6/20) ・「明後日朝顔成長日記」(6/20) ・「安曇野の自然体験メニュー」(6/20) ・「チャリラリコン」(6/20) ・「ロードトレイン好評運行中」(6/20) ・「アルプスあづみの大昆虫博」(6/27) ・「立体迷路に挑戦！大好評」(6/27)
7 月	13 件	・「ジャブジャブ池」(7/4) ・「親子で飾り巻き寿司に挑戦！」(7/4) ・「ハイパージャンパー登場！！」(7/4) ・「ウォーター・プレイガーデン」(7/4、25) ・「芸術教室特別メニュー」(7/11) ・「おもしろ発見塾」(7/11) ・「アルプスの風と遊ぼう」(7/11) ・「大・科学実験ショー」(7/11) ・「穂高古墳群 F9 号墳発掘調査」(7/18) ・「アルプスあづみの鬼ごっこ」(7/18) ・「アルプスあづみの大昆虫博」(7/25) ・「水鉄砲つくり」(7/25)

8 月	12 件	・「期間限定早朝開園」(8/1) ・「アルプスの風と遊ぼう」(8/1) ・「昆虫教室で昆虫博士になろう♪」(8/8) ・「大・科学実験ショー」(8/8) ・「昆虫里親ゲームで生きた昆虫の里親決定！」(8/15) ・「秋の七草が咲きだしています」(8/15) ・「アルプス HATA ヨガ」(8/15) ・「写真コンテスト 2012～春夏編～」(8/22) ・「「トレイル VOICE ガイド」秋バージョンへ！」(8/22) ・「ふれあい動物村」(8/29) ・「グリーンフェア」(8/29) ・「集まれ！わんぱくチャレンジひろば」(8/30)
9 月	14 件	・「ふれあい動物村」(9/5、13) ・「グリーンフェア」(9/5) ・「松本山雅 FC の選手にチャレンジ！」(9/5) ・「昆虫缶バッジ採集」(9/5) ・「コスモスフェア開催間近！」(9/5) ・「～2012 春夏編～優秀作品展」(9/5) ・「アルプスあづみの TWIN イルミネーション 2012（仮）」(9/13) ・「2012 北アルプスフェア」(9/12) ・「巨大ピザづくりと鬼ごっこ」(9/19) ・「西村モト・バリアフリービスク」(9/19) ・「オリジナルピザソースの開発」(9/20) ・「あづみの学校　秋の体験プログラム」(9/26) ・「絵本の広場」(9/26)
10 月	14 件	・「コスモスの花摘み体験」(10/3) ・「1 日限定！無料映画上映会」(10/3、10) ・「Twin Illmination」(10/10) ・「ネイチャーウォッチング」(10/11) ・「紅葉に色づく公園を散策しよう！」(10/17) ・「キツツキの巣箱を作ろう！」(10/17) ・「木の実 DE アート」(10/17) ・「鍋敷きつくり体験」(10/24) ・「森の音楽会」(10/24) ・「イルミネーションスタンプラリー」(10/24) ・「安曇野まほらランタン」(10/31) ・「木の実のリース」(10/31) ・「7 の日、8 の日は“テーマの日”」(10/31)
11 月	13 件	・「第 8 回安曇野アートライン展」(11/7) ・「ダッチオーブンに挑戦！」(11/7) ・「JAZZ☆CANDY コンサート」(11/14) ・「サンタのくつした」(11/14) ・「イルミネーション・クリスマスバージョン☆」(11/14) ・「まつぼっくりツリー&Night 竹巻きパン」(11/14) ・「松本山雅 FC 選手サイン入り缶バッジの準備」(11/21) ・「松本山雅 FC 選手がサンタになってやってくる！」(11/21) ・「森と水辺のキャンドルナイト」(11/21) ・「ニュースリーシャープスオーケストラ」(11/21) ・「X’mas 特別クラフト&食体験」(11/28) ・「ハンドメイドキャンドルワークショップ」(11/28) ・「冬至かぼちゃ団子の振る舞い」(11/28)
12 月	12 件	・「来年の一文字大書ライブ&ワークショップ（WS）」(12/5) ・「湯澤かよこ in アルプスあづみのクリスマスコンサート」(12/5、12) ・「ミニ門松づくり&ミニ正月飾り」(12/5) ・「「年越しそば」は手作りで！」(12/12) ・「七草かゆ振る舞い」(12/19) ・「アルプスあづみの TWIN イルミネーション」(12/19) ・「古代文字アーティスト天遊と餅つき振る舞い」(12/19) ・「森の体験舎特別食体験「餅つき」」(12/19) ・「働く車をつくろう！」(12/26)

		・「凍り餅づくり」(12/26) ・「国営公園のお正月」(12/26)
1 月	16 件	・「雪遊びグッズ無料レンタル開始」(1/9) ・「エアー遊具・こまのサーカス・凧づくり」(1/9) ・「あそびのがっこう」(1/16) ・「国産ブロック「LaQ」ワークショップ」(1/16) ・「ポップコーン・たい焼き・ポン菓子」(1/16) ・「スノーチューブ・ライドに挑戦！」(1/16) ・「そば振る舞い」(1/16) ・「ダンボール王と海賊帽をつくろう！」(1/23) ・「飾り太巻き寿司親子体験教室」(1/23) ・「安曇野の節分豆まき」(1/23) ・「コマのサーカスがやってくる！」(1/23) ・「冬の公園で遊ぼう」(1/23) ・「そりづくり」(1/23) ・「やしょうまづくり」(1/30) ・「スイーツデコワークショップ」(1/30) ・「アルプスあづみの雪まつり」(1/30)
2 月	11 件	・「絵の楽しさが広がるワークショップ」(2/6) ・「静電気を使った遊び」(2/6) ・「アルプスあづみの公園写真コンテスト 2012～秋冬編～」(2/6) ・「パントマイムショーと「ロボットになろう！ワークショップ」」(2/13) ・「竹のおひなさま」(2/13) ・「スノーシューでいきものの森を歩こう！」(2/13) ・「相模原公園、日本丸メモリアルパークで雪遊び」(2/13) ・「親子おやつ教室」(2/20) ・「ダッチオーブンに挑戦！」(2/20) ・「黒豆ちらし寿司づくり」(2/27) ・「優秀作品展開催」(2/27)
3 月	4 件	・「あづみのがっこう」(3/6) ・「味噌づくり体験」(3/13) ・「人形劇公演～ホーボーズ・パペットシアター～」(3/13) ・「Thank you～ささやかに、感謝デー～」(3/13)
計	147 件	

【H25】

月	件 数	内 容
4 月	4 件	・「GW イベント情報」(4/18) ・「春の公園を楽しもう！」(4/18) ・「チューリップの開花情報」(4/26) ・「ロードトレイン運行開始」(4/26)
5 月	8 件	・「GW イベント情報」(5/2) ・「クラフト体験」(5/2) ・「クラフト体験」(5/9) ・「公園の花情報」(5/9) ・「ツリーイング体験」(5/17) ・「花情報」(5/17) ・「オオルリシジミ」(5/26) ・「黒部ダム写真展」(5/26)
6 月	2 件	・「あづみの学校」(5/23) ・「森の体験舎情報」(5/23)
7 月	8 件	・「園コン開催」(7/4) ・「夏休みイベント情報」(7/19) ・「リバーサイドウォーク＆BBQ」(7/19) ・「大昆虫博」(7/19) ・「ツリーイング体験」(7/25) ・「水辺の夕涼みコンサート」(7/25) ・「理科教室特別展示」(7/30) ・「昆虫博」(7/30)
8 月	12 件	・「夏休みイベント情報」(8/5) ・「大昆虫博　HH」(8/5) ・「大昆虫博　OM」(8/5) ・「大昆虫博　緊急告知」(8/7) ・「あづみの学校体験情報」(8/15) ・「大昆虫博　ビンゴ大会」(8/15) ・「みんなのジャブジャブ池」(8/19) ・「ニジマスのつかみ取り」(8/19) ・「コキアの色づき」(8/23) ・「夏休みイベント情報」(8/23) ・「森の体験舎体験情報」(8/29) ・「コスモスの開花情報」(8/29)
9 月	10 件	・「シルバーウィークイベント情報　HH」(9/10) ・「シルバーウィークイベント情報　OM」(9/10) ・「あづみの学校体験」(9/10) ・「秋のイベント情報」(9/13) ・「秋の 3 連休イベント情報」(9/13) ・「北アルプスフェア情報」(9/25) ・「Outdoor イベント」(9/25) ・「無料入園日情報」(9/25) ・「秋のクラフト体験」(9/25) ・「渓流レクリエーションゾーンオープン」(9/28)
10 月	17 件	・「秋のイベント情報」(10/3) ・「灯りの森」(10/3) ・「絵本の広場」(10/3) ・「コキア」(10/9) ・「コスモス花情報」(10/9) ・「ファミリーウォーク」(10/9) ・「布ぞうり作り」(10/9) ・「体験プログラム情報」(10/9)

		・「森のカレンダーづくり」(10/16) ・「コスモスの摘みとり体験」(10/16) ・「ノルディックウォーク情報」(10/16) ・「紅葉情報」(10/23) ・「絵本の広場お話シアター」(10/23) ・「あづみの学校　プログラム」(10/23) ・「木の実のリースづくり」(10/30) ・「ソーラーバルーン体験」(10/30) ・「イルミネーション情報」(10/30)
11 月	8 件	・「新そば情報」(11/7) ・「ノルディックウォーク」(11/7) ・「体験プログラム情報」(11/14) ・「秋の紅葉情報」(11/14) ・「イルミネーション情報」(11/19) ・「クリスマス WS」(11/19) ・「コンサート情報」(11/19) ・「松ぼっくりのクリスマスツリー」(11/19)
12 月	10 件	・「イルミネーション情報」(12/4) ・「体験プログラム情報」(12/4) ・「竹巻パンづくり」(12/4) ・「コンサート情報」(12/11) ・「トミカ　プラレール」(12/11) ・「そば打ち体験」(12/19) ・「エネルギー博物館」(12/19) ・「カウントダウンイベント情報」(12/25) ・「正月飾りづくり」(12/25) ・「七草粥」(12/25)
1 月	9 件	・「冬の公園で遊ぼう」(1/8) ・「イルミネーション情報」(1/8) ・「アイスチューリップ情報」(1/8) ・「凍り餅づくり」(1/8) ・「冬のイベント情報」(1/15) ・「イルミネーション」(1/22) ・「キッズプレイパーク情報」(1/24) ・「雪中大運動会」(1/29) ・「節分の日イベント」(1/29)
2 月	8 件	・「イルミネーション情報」(2/5) ・「ウォーキングイベント情報」(2/5) ・「絵本の広場情報」(2/5) ・「特別展示情報」(2/12) ・「割りばし鉄砲づくり」(2/19) ・「雪中大運動会」(2/19) ・「健康ウォーキング」(2/26) ・「割りばし鉄砲づくり」(2/26)
3 月	9 件	・「ウォーキングイベント情報」(3/5) ・「冬のイベント情報」(3/5) ・「安曇野ギャラリートーク」(3/5) ・「そば指導員募集」(3/12) ・「懐かし安曇野サロン」(3/12) ・「人気キャラクター大行進」(3/12) ・「フキノトウが出始めました」(3/19) ・「電気パン＆カルメラ焼き」(3/19) ・「里山探検ウォーク情報」(3/26)
計	105 件	

【H26】

月	件 数	内 容
4 月	8 件	・「アルプスあづみのカップ」(4/3) ・「ゴールデンウィークイベント情報」(4/10) ・「こいのぼりづくり」(4/10) ・「HH 地区新規エリアオープニングイベント情報」(4/16) ・「体験プログラム情報」(4/23) ・「森の宝探し」(4/23) ・「第 10 回あづみの早春賦音楽祭」(4/30) ・「糸鋸寿司」(4/30)
5 月	5 件	・「田植え体験」(5/13) ・「チューリップの球根プレゼント」(5/14) ・「森ヨガ」(5/21) ・「オオルリシジミ情報」(5/23) ・「アート＆クラフト展」(5/29)
6 月	8 件	・「キッズプレイパーク情報」(6/4) ・「瓢箪作品展示」(6/4) ・「七夕饅頭」(6/18) ・「七夕人形」(6/25) ・「初心者フォト教室」(6/4) ・「プリザーブドフラワー教室」(6/11) ・「ダンボールクラフト」(6/18) ・「フラワーアレンジメント体験」(6/25)
7 月	12 件	・「日本丸写真展情報」(7/2) ・「じゃぶじゃぶ池」(7/9) ・「夜の昆虫探検隊」(7/16) ・「HH 開園 10 周年」(7/23) ・「水鉄砲作り」(7/30) ・「リューター体験」(7/2) ・「里山探検ウォーキング募集」(7/2) ・「水鉄砲バトル」(7/9) ・「シャワーピクニック」(7/16) ・「OM 開園 5 周年」(7/17) ・「熱気球搭乗体験」(7/23) ・「アニマルトラッキング」(7/30)
8 月	9 件	・「古墳発掘」(8/6) ・「さとの水遊び」(8/13) ・「大昆虫博」(8/20) ・「池まつり」(8/27) ・「バイクトライアル」(8/6)

月	件 数	内　容
		・「スプラッシュランド」(8/13) ・「スプラッシュリバー」(8/13) ・「里山探検ウォーキング」(8/20) ・「フィッシングガーデン」(8/27)
9 月	11 件	・「公園ではじめてのキャンプ」(9/3) ・「秋の夜長コンサート」(9/10) ・「秋の草花情報」(9/17) ・「秋の草花情報」(9/24) ・「田んぼの稲刈り」(9/24) ・「コスモスの品種について」(9/24) ・「釣った魚を食べよう」(9/3) ・「イルミネーション甲子園」(9/10) ・「未来への並木道」(9/17) ・「コスモスの開花情報」(9/24) ・「小学生クイズ」(9/24)
10 月	13 件	・「アウトドアパーク」(10/1) ・「HH 地区花情報」(10/1) ・「コスモスの摘みとり体験」(10/8) ・「新米のお子昼」(10/15) ・「やまこの教室」(10/22) ・「HH 地区イルミネーション」(10/29) ・「イルミネーション記者内覧会」(10/29) ・「押絵作品展示」(10/29) ・「北アルプスフェア」(10/1) ・「ミニ SL」(10/8) ・「コスモスの切り花プレゼント」(10/15) ・「ハロウィン工作」(10/22) ・「OM 地区イルミネーション」(10/29)
11 月	8 件	・「芸術教室クラフト体験」(11/5) ・「ワークショップ情報」(11/12) ・「HH 地区コンサート情報」(11/19) ・「民話の語り部」(11/26) ・「イルミネーションスタンプラリー」(11/5) ・「OM 地区コンサート情報」(11/12) ・「輝コン」(11/19) ・「イルミネーション点灯式」(11/26)
12 月	10 件	・「大しめ縄づくり」(12/3) ・「クリスマス装飾」(12/3) ・「トロピカルクリスマス」(12/10)

月	件 数	内 容
		・「保育園点灯式」(12/17) ・「光と花火のショー・カウントダウンイベント」(12/24) ・「アイスチューリップ」(12/24) ・「イルミネーション追加装飾」(12/3) ・「結の鐘」(12/10) ・「クリスマスマジック」(12/17) ・「新春特別プログラム」(12/24)
1 月	9 件	・「アイスチューリップ」(1/7) ・「凍り餅づくり」(1/7) ・「アイスチューリップ配布・凍り餅づくり」(1/14) ・「キッズプレイパーク」(1/21) ・「節分豆まき・理科教室企画展」(1/28) ・「冬の公園で遊ぼう」(1/7) ・「ダッヂオーブン」(1/14) ・「豚汁振舞」(1/21) ・「歩くスキー体験ツアー」(1/28)
2 月	11 件	・「やしょうまづくり」(2/4) ・「米俵づくり」(2/4) ・「お話シアター」(2/12) ・「割りばし鉄砲」(2/12) ・「雛飾りとお雛様リース」(2/18) ・「木彫作品展示」(2/25) ・「あづみのカップ Snow」(2/4) ・「スノーラフティング」(2/12) ・「チョコおやき」(2/12) ・「いきものの森探検」(2/18) ・「雪中大運動会」(2/25)
3 月	11 件	・「焼き芋体験」(3/4) ・チラシ寿司づくり」(3/4) ・「人形劇」(3/11) ・「振舞い」(3/11) ・「桜金魚展」(3/18) ・「鯉のぼり募集」(3/25) ・ボランティア募集」(3/25) ・「ウッドバーニング」(3/4) ・「ミニチェアづくり」(3/11) ・「大型エアーアスレチック」(3/18) ・蒸しパンづくり(3/25)

月	件 数	内　容
	116 件	

別紙－32

公園利用者に無償で貸与している物品一覧

■各入口所有数

【 堀金・穂高 地区 】

（台）

入　　口	乳母車	シルバーカー	車椅子
ガイドセンター	14	6	16
穂高口ゲート	8	4	4
須砂渡口ゲート	0	0	0

【 大町・松川 地区 】

（台）

入　　口	乳母車	シルバーカー	車椅子
インフォメーションセンター	25	10	15

別紙－33

巡視計画書

・国営アルプスあづみの公園　巡視計画書　堀金・穂高地区、大町・松川地区

国営アルプスあづみの公園

巡　視　計　画　書

堀　金　・　穂　高　地　区

大　町　・　松　川　地　区

【共通】

H25-27 国営アルプスあづみの公園運営管理業務

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

2014.4

国営アルプスあづみの公園　巡視計画書

第１条　園内巡視の目的

H25-27 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務個別仕様書【本業務全体のマネジメント及び企画立案業務】第３編利用サービス等第３章園内巡視に基づき、公園利用者の安全利用の確保、公園利用者への利用サービス及び公園施設の点検確認を効果的かつ能率的に行うため、定期的に園内巡視を実施すること、また、災害事故等不慮の事態に備え、緊急の処置を取ることを目的とする。

第２条　園内巡視の体制及び要領

１．園内巡視は原則１日２名以上の体制とする。但し閑散日についてはこの限りではない。

２．巡視員は以下の要領で巡視業務を行う。

(1)通常巡視においては、主要巡視ルート(別紙１～５)により１日４回園内巡視を行う。なお、天候、利用状況、園内での作業、野生生物の発生状況等その他の状況に応じ、柔軟に園内巡視を行う。

(2)巡視員は、公園利用者に対して不快感を与えないよう常に親切丁寧な対応を行う。

(3)巡視員は、「セイフティーノート」を携帯し、日々の安全に関する情報を記録する。

(4)巡視員は、小規模な修理用具の他、「救急セット」や「セイフティーバッグ」を携帯し、公園利用者の応急手当や緊急対応、利用指導を行う。

(5)巡視員は、都市公園法第 11 条、第 12 条及び都市公園法施行令第 18 条、第 19 条並びに 国営アルプスあづみの公園行為の禁止等に関する取扱要領に定める違反行為、迷惑行為を発見した場合には適切な指導を行う。

第３条　緊急時の連絡体制

異常が発生した場合及び不測の事態が発生した場合の連絡体制は「緊急連絡網」(別紙６）のとおりとする。

第４条　巡視事項

１．通常巡視においては、次の事項について点検確認、利用指導及び作業を行う。

(1)公園の開園、閉園時における駐車場や建物、トイレ、休憩所等施設の解錠、施錠。

(2)園内における公園利用者及び車両への案内・誘導・整理及び利用指導。

(3)公園利用者の危険箇所への立入り及び危険な行為に対する制止及び安全指導。

(4)迷子、負傷者、病人等の発見又は連絡を受けた場合の緊急連絡体制に基づく速やかかつ適切な処置と報告。

(5)事件、事故又は災害等が発生した場合の適切な処置と報告。

(6)園内不審物の有無の確認。

(7)拾得物を発見した場合の速やかな報告及び拾得物預かり証の作成。

(8)植物、施設及び清掃状況等の点検及び異常発見時の報告。

①樹木、芝生、草花等の生育状況及び流水等の修景施設の異常の有無。
②園路、路側、側溝、法面、排水枡、橋梁、階段、建物その他構造物等の異常の有無。
③門扉、案内標識、ベンチ等休憩施設、便所、灰皿、水のみ場、遊具施設等の異常の有無。
④電気、放送、給排水設備等の異常の有無。
⑤清掃の状況。
⑥災害・事故・野生生物の発生等不測の事態発生の有無。
⑦遊具の異常の有無（別紙７、８の点検表による）
(9)緊急車両の誘導（救急車、消防車、パトカー等）。
(10)迷子や近隣の行方不明者等に関する警察からの協力要請があった場合、その要請に対応した園内巡視と報告及び関係者への連絡。
(11)公園内及び公園周辺における大型野生生物（クマ・サル）の生息状況の確認及び出没状況の把握（出没期の 7～9 月は重点的に実施）。
(12)公園内及び公園境界周辺における猛禽類の営巣状況の確認。

２．繁忙日巡視においては、適切な人員配置を行い、公園利用者及び車両への案内・誘導・整理及び利用指導等の巡視を随時行う。

３．異常時巡視においては、園内で災害が発生した場合又はその恐れがある場合、大型野生生物の侵入情報があった場合は、次の事項について巡視を行う。
(1)園内の被害状況。
(2)利用障害等の状況。
(3)大型野生動物の動向。

第５条　巡視業務日報の記録

巡視員は巡視実施後、巡視の結果を毎日巡視業務日報（別紙９、10）に記録し、業務終了後すみやかに管理センター事務所に提出、報告するものとする。

第６条　調査職員等への報告

総括責任者は、前条により巡視時に異常が認められた場合は調査職員等に速やかに報告し、指示を受けるものとする。

第７条　その他（守秘義務等）

１．巡視員は、巡視計画書及び国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区及び大町・松川地区における運営状況及びその他事項について、第３者（機関・退職者を含む）に他言することを禁止する。

２．巡視員は、巡視業務において指示系統を遵守し、相談なく逸脱した行為及び指導を禁止する。

３．巡視員は、入園中の請負業者に対する直接指導を禁止する（管理センター事務所に連絡すること）。

別紙1

園内巡視順路（案）

堀金・穂高地区

順番	通常巡視			繁忙日巡視	
	園内巡視A	園内巡視B（建物内重視）		園内巡視C	
				中央口エリア	穂高口エリア
1	ガイドセンター	ガイドセンター（建物内）	インフォメーション	中央口	穂高口
2	あづみの学校外周		売店等	第1駐車場	第4駐車場
3	展望テラス		ホール	第2駐車場	臨時駐車場
4	段々花畑	ガイドセンター（有料区域周り）	レストラン周り	中央口	第3駐車場
5	須砂渡口		ガイドセンター周り		穂高口
6	烏川展望デッキ	あづみの学校（建物内）	玄関ホール		
7	矢原沢の小径		観覧室		
8	吊橋下広場		芸術教室		
9	烏川吊橋		理科教室		
10	吊橋前広場		社会科教室		
11	川音のサークル		多目的ホール		
12	石切跡の小径	あづみの学校（周辺）	森の庭		
13	竜の広場		あづみの学校外周		
14	冒険の森		管理用園路		
15	穂高口	ガイドセンター（無料区域周辺）	レストラン周り		
16	第4駐車場		ガイドセンター周り		
17	第3駐車場				
18	こどもの森				
19	円形ステージ				
20	古墳の森				
21	見晴らしの丘				
22	疎林広場				
23	渓流連絡橋				
24	マシュマロドーム				
25	野原				
26	野の休憩所				
27	段々原っぱ				
28	水辺の休憩所				
29	第1駐車場				
30	第2駐車場				
31	公園管理センター				
32	中央口				
33	ガイドセンター				

別紙２

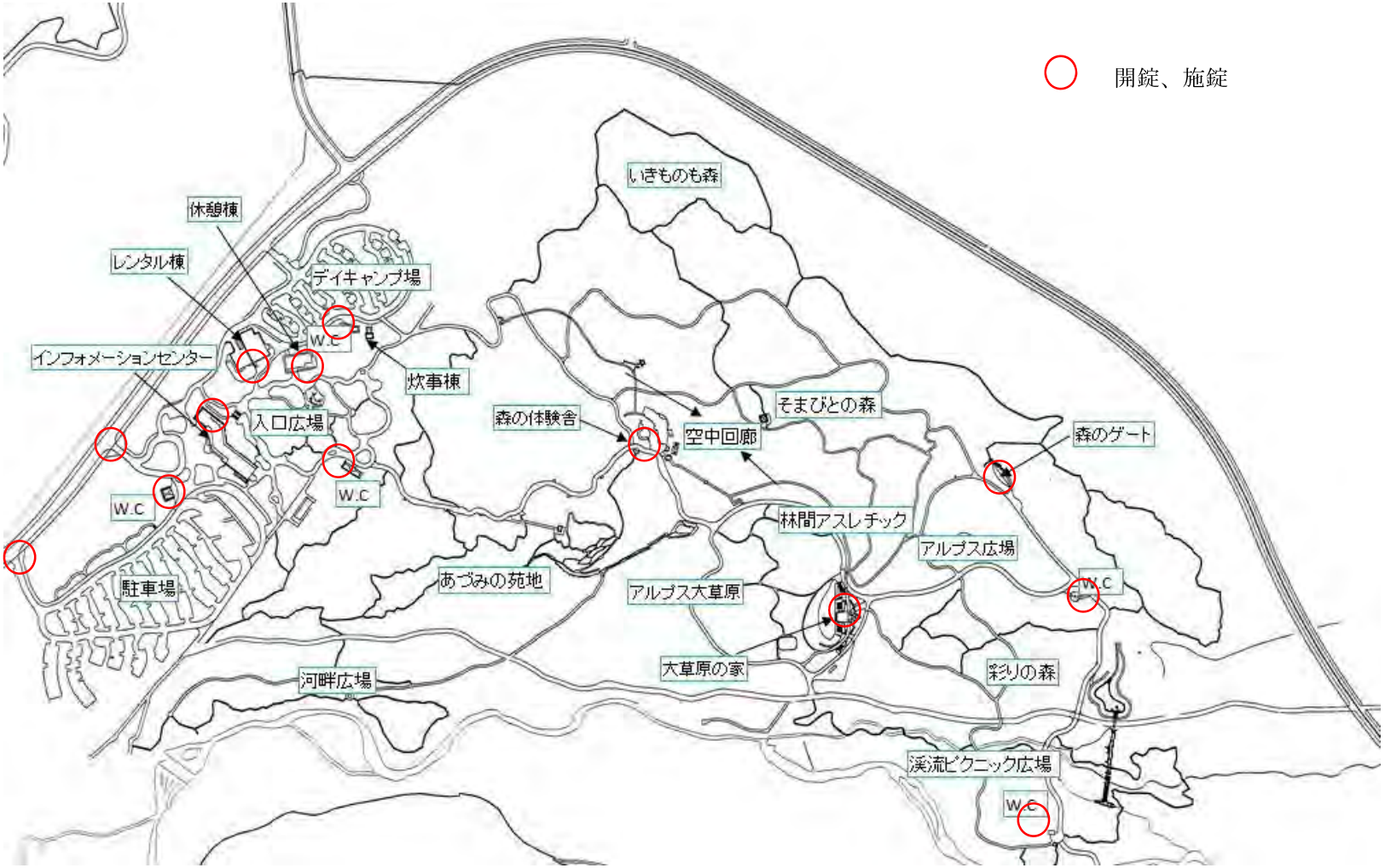
園内巡視順路【堀金・穂高地区】



別紙P416

巡回Ａコース（開園前バイク使用）【大町・松川地区】

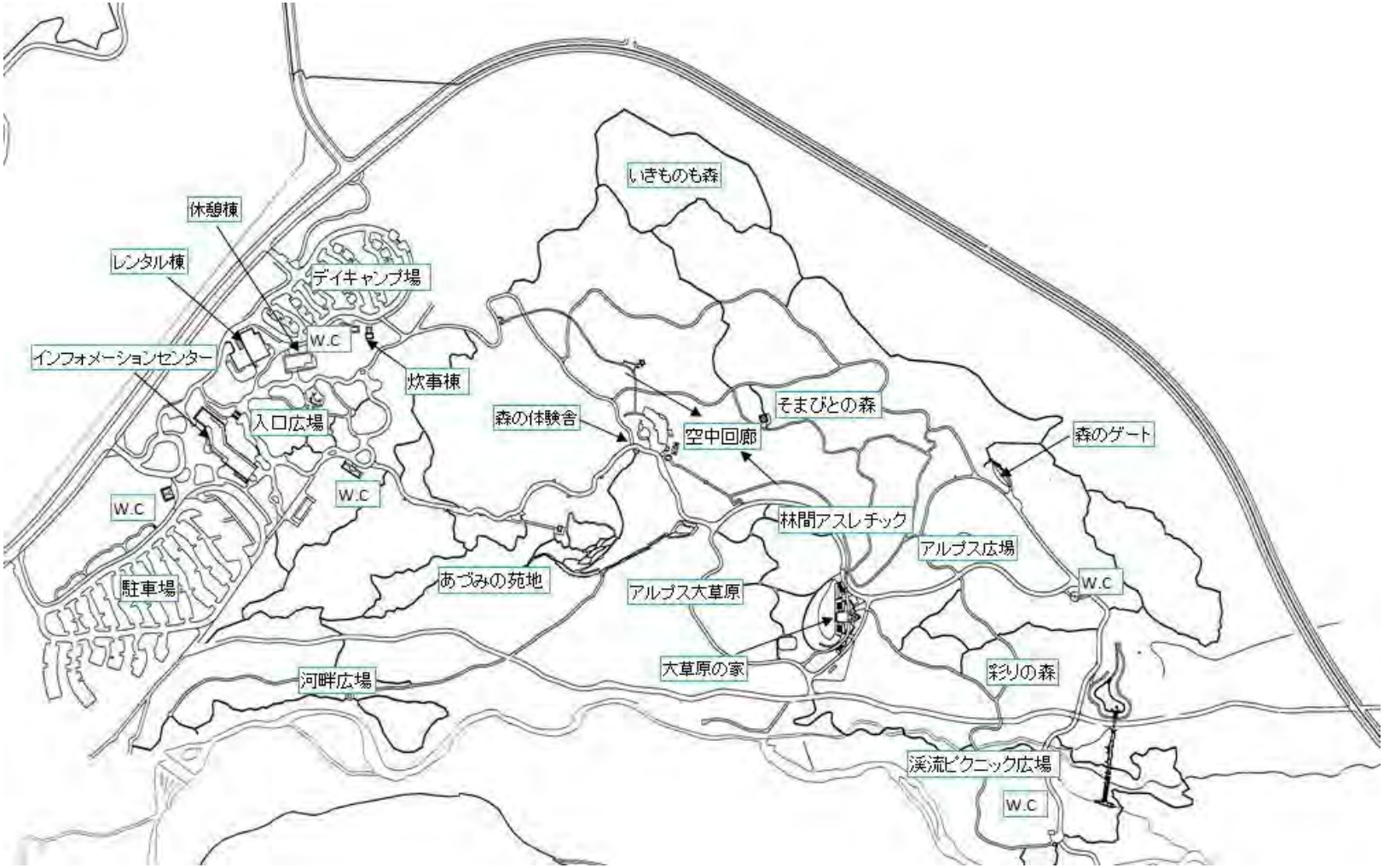
インフォメーションセンター～駐車場～レンタル棟～デイキャンプ場～休憩棟～入口広場～森の体験舎～そまびとの家～森のゲート～アルプス広場～渓流レクリエーション広場～大草原の家～河畔広場～あづみの苑地～インフォメーションセンター



別紙P417

巡回Ｂコース（開園中バイク使用）【大町・松川地区】

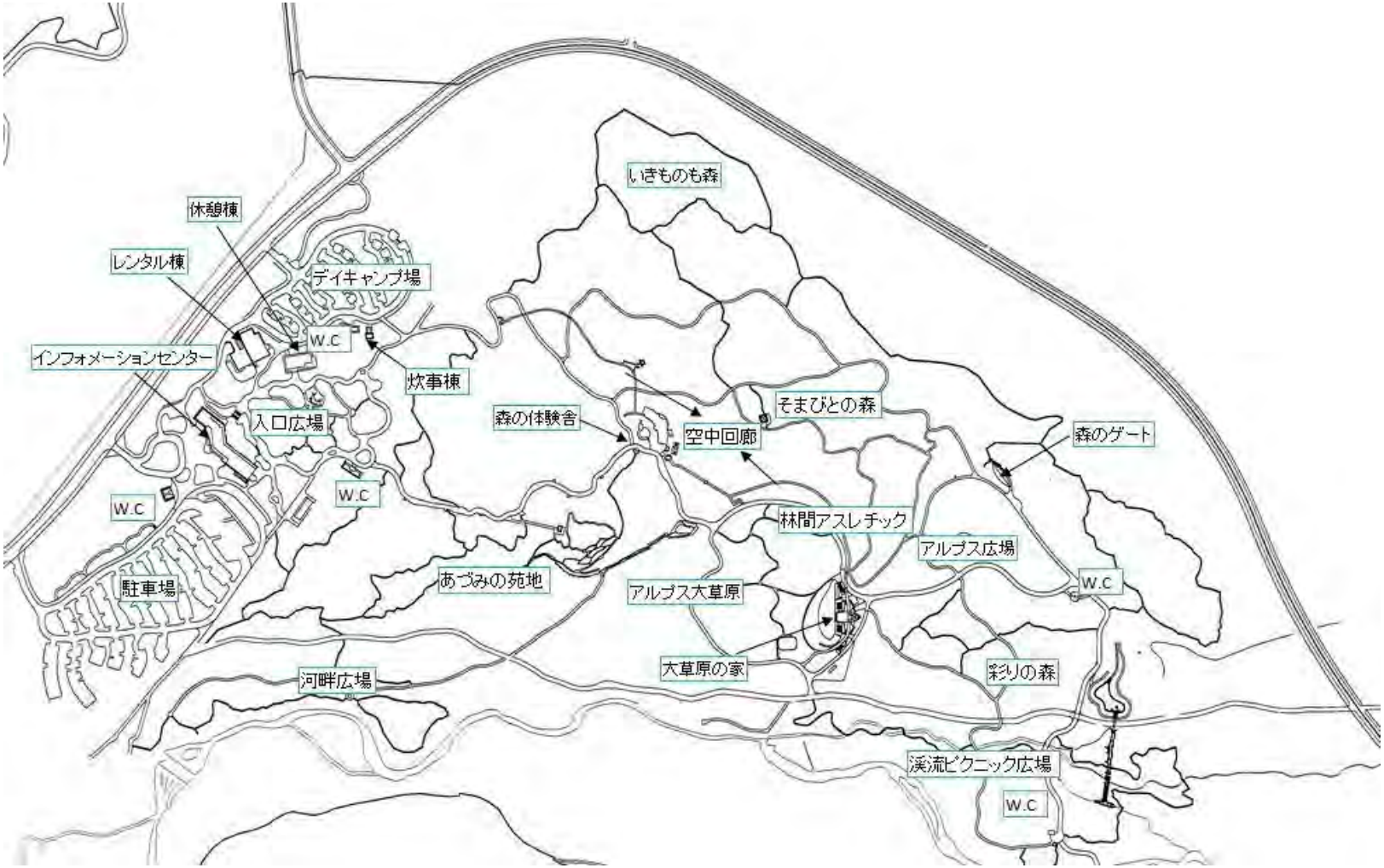
大草原の家～彩りの森～渓流ピクニック広場～アルプス広場～森のゲート～そまびとの森～森の体験舎～あづみの苑地～河畔広場～入口広場～駐車場～インフォメーションセンター～デイキャンプ場～レンタル棟～休憩棟～森の体験舎～大草原の家



別紙P418

巡回Ｃコース（開園中徒歩）【大町・松川地区】

大草原の家～彩りの森～渓流ピクニック広場～アルプス広場～林間アスレチック～そまびとの森～森の体験舎～空中回廊～アルプス大草原～大草原の家～河畔広場～あづみの苑地～デイキャンプ場～入口広場～駐車場～インフォメーションセンター～森の体験者～空中回廊～大草原の家



別紙P419

平成26年4月1日

H25-27国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務　緊急連絡網

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

国土交通省

関東地方整備局 建政部 都市整備課

TEL:048-600-1907　FAX:048-600-1922

国営アルプスあづみの公園事務所

TEL:0263-83-8671　FAX:0263-83-8675

①工務課長	[redacted]	携帯 [redacted]
②調査設計課長	[redacted]	携帯 [redacted]
③総務課長	[redacted]	携帯 [redacted]
④事務所長	[redacted]	携帯 [redacted]

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

(一財)公園財団

TEL:03-6674-1188　FAX:03-6674-1190

①事業推進部長	[redacted]	携帯 [redacted]
②総合管理部長	[redacted]	携帯 [redacted]
③総合管理GL	[redacted]	携帯 [redacted]
④事業推進GL	[redacted]	携帯 [redacted]

大北農業協同組合

TEL:0261-22-1840　FAX:0261-23-4831

①総務部長	[redacted]	携帯 [redacted]
②営農部長	[redacted]	携帯 [redacted]

JR東日本コンサルタンツ(株)

TEL:03-5371-3443　FAX:03-3373-5817

①環境部長	[redacted]	携帯 [redacted]
②企画部担当部長	[redacted]	携帯 [redacted]

アルプスあづみの公園管理センター

国営アルプスあづみの公園

堀金・穂高地区管理センター

TEL:0263-71-5511　FAX:0263-71-5512　衛星:870-776710233

大町・松川地区管理センター

TEL:0261-21-1212　FAX:0261-21-1214　衛星:870-776710234

①総括責任者【管理センター長】	[redacted]	携帯 [redacted]
②植物管理業務責任者【副管理センター長】	[redacted]	携帯 [redacted]
③大町・松川地区分室長	[redacted]	携帯 [redacted]
④施設維持管理業務責任者【施設設備管理課長】	[redacted]	携帯 [redacted]
⑤収益施設等管理運営業務責任者【収益施設運営課長】	[redacted]	携帯 [redacted]

発 見 者

土地改良区、組合等

烏川土地改良区		0263-72-2949
高瀬川右岸土地改良区		0261-22-0520
北安中部漁協協同組合		0261-22-7107
横溝堰水利組合	組合長 [redacted]	0261-22-5302

庁舎・国内施設機械警備

セコム上信越㈱ 松本支社	0263-35-7718
綜合警備保障㈱ 松本支店	0263-28-4130

関係企業(協力会社)

【植栽管理等支援企業】

奥原造園

TEL:0263-92-2371　FAX:0263-92-6146

担当:[redacted]

【収益事業支援企業】

㈱ミドリコネクト

TEL:042-519-3239　FAX:042-519-3259

担当:[redacted]

委託先

【清掃業務】

安曇野シルバー人材センター

TEL:0263-72-5800　FAX:0263-73-6484

北アルプス広域シルバー人材センター

TEL:0261-22-2445　FAX:0261-23-5033

※ ①②③:連絡の優先順位を示す。

→ :一次連絡

→ :二次連絡

関係協力機関

【長野県】

②建政部 都市計画課 TEL:026-232-0111 FAX:026-252-7315

【長野県 建設事務所】

①安曇野建設事務所

総務課 TEL:0263-72-8880 FAX:0263-72-8882

①大町建設事務所

総務課 TEL:0261-23-6530 FAX:0261-23-6532

【警 察】 TEL:110

安曇野警察署	0263-72-0110
大町警察署	0261-22-0110

【消 防】 TEL:119

豊科消防署	0263-72-3145
大町消防署	0261-22-0119

【病 院】

安曇野赤十字病院	0263-72-3170
大町市立大町総合病院	0261-22-0415

【保健所】

松本保健福祉事務所	0263-47-7800
大町保健福祉事務所	0261-22-5111

【鉄 道】

JR豊科駅	0263-72-2137
JR信濃大町駅	0261-22-0113

【バ ス】(あづみの周遊バス)

南安タクシー(有)　0263-72-2855

【電 気】

中部電力㈱ 松本営業所	0263-34-3755
中部電力㈱ 大町サービスステーション	0261-23-5927

【水 道】

安曇野市 豊科総合支所	0263-72-3111
大町市役所 水道課	0261-22-0810

【ガ ス】

武重商会㈱ 松本支店	0263-27-6700
武重商会㈱ 大町営業所	0261-22-2097

別紙P420

平成　　年　　月　　日（　　）　天候

副センター長	担当者	点検実施者

レクリエーション遊具点検表

大玉（収納台含む）

点検項目	内　容	判定結果	備考、措置等
大玉状態、収納柵、周辺状況	大玉：表面の傷、破損、汚れ具合、空気量 収納柵：パイプの破損、接合部、ネットのはずれ・破れ 周辺：石・枝等の障害物、地面の陥没	異常あり 異常なし	

ディスクゴルフ

点検項目	内　容	判定結果	備考、措置等
ゴール、ディスク、コース状況	ゴール：パイプのゆがみ、チェーン外れ、固定状態 ディスク：数量、設置場所の状態 コース：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂	異常あり 異常なし	

ハンモック

点検項目	内　容	判定結果	備考、措置等
ロープ、ネット、接合部材、設置場所状況	ハンモック：破損、摩耗、ゆるみ、接合部の外れ・欠落、地面との間隔 設置場所：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂	異常あり 異常なし	

サイバーホイール

点検項目	内　容	判定結果	備考、措置等
サイバーホイール状態、斜面状況	サイバーホイール：表面の傷、破損、汚れ具合、空気量 斜面：石・枝等の障害物、地面の陥没、ロープ柵の倒壊・ゆるみ	異常あり 異常なし	

ミニサッカー

点検項目	内　容	判定結果	備考、措置等
ゴールポスト、ボール、周辺状況	ゴールポスト：フレームの変形・破損、ネットの破れ ボール：空気状態、傷・破れ、個数 周辺状況：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂	異常あり 異常なし	

マシュマロドーム

点検項目	内　容	判定結果	備考、措置等
本体状態、看板、安全地帯状況	本体：ふくらみ状況、表面の傷・破れ・汚れ、送風機異常 看板：倒壊、破損、汚れ 安全地帯：石・枝等の障害物、地面の凹凸、芝の張り出し	異常あり 異常なし	

子どもの森（アスレチック）

点検項目	内　容	判定結果	備考、措置等
木材目割れ、ささくれ、腐朽、接合部材、設置場所状況	木材：目割れ、ささくれ、腐朽、破損、摩耗、汚れ 金属類の状況：摩耗、溶接等 ネット・ロープ等：破損、摩耗、接合部の外れ・欠落 設置場所：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の	異常あり 異常なし	

冒険の森

点検項目	内　容	判定結果	備考、措置等
木材目割れ、ささくれ、腐朽、接合部材、設置場所状況	木材：目割れ、ささくれ、腐朽、破損、摩耗、汚れ 金属類の状況：摩耗、溶接等 ネット・ロープ等：破損、摩耗、接合部の外れ・欠落 設置場所：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の	異常あり 異常なし	

【　遊具点検表　】

分室長	課長

平成　　年　　月　　日（　　）　～　平成　　年　　月　　日（　　）

【記入要領】

A：健全であり、修繕の必要がない　→使用可

B：部分的に異常があり、部分修繕が必要　→使用可

C：重要な箇所に部分的な異常があり、部分修繕が必要　→使用禁止

D：主要部材・部品に異常があり、大規模な修繕又は更新が必要　→使用禁止

No.	遊具名	点検項目									月/日	点検実施者
		ボルト・ナット	木材目割れささくれ等	ワイヤー・チェーン等	特殊金具類の状況	ネット・ロープ等	木材の腐朽等	溶接状況	塗装状況	その他の状態等		
林間コンビネーション遊具												
1	展望デッキ											
2	らせん階段											
3	張出しデッキ											
4	スロープ											
5	ユニバーサルデッキ											
6	クライムロード											
7	吊り橋											
8	チューブスライダー											
9	ネットわたり											
10	ウッドクライミング											
11	ロープクライミング											
12	V字吊り橋											
13	ビックウェーブロード											
14	ターザンジャンプ											
15	V字ブリッジ											
16	ワイドウェーブスライダー											
17	パイプトンネル											
18	ロープウォール											
19	ロープフロア											
20	ウンテイ											
21	ツイストパイプ											
22	Uパイプブリッジ											
23	ロクボク											
24	ウォールクライム											
25	トンネル											
26	Uパイプウォール											
27	ネットブリッジ											
28	平均台わたり											
29	タラップ											
30	ロープ渡り											
31	階段											
32	ロープウェイ											
33	ロックブロック											

備考：

※ボルトの緩み、丸太の軋み、歪みの点検は随時行なう。軽易で可能なものは巡視員が応急修繕を行う。故障で危険な場合は担当職員に急報する。

【　遊具点検表　】

分室長	課長

平成　　年　　月　　日（　　）　～　平成　　年　　月　　日（　　）

【記入要領】

A：健全であり、修繕の必要がない　→使用可

B：部分的に異常があり、部分修繕が必要　→使用可

C：重要な箇所に部分的な異常があり、部分修繕が必要　→使用禁止

D：主要部材・部品に異常があり、大規模な修繕又は更新が必要　→使用禁止

No.	遊具名	点検項目									月/日	点検実施者
		ボルト・ナット	木材目割れささくれ等	ワイヤー・チェーン等	特殊金具類の状況	ネット・ロープ等	木材の腐朽等	溶接状況	塗装状況	その他の状態等		
大草原の家ネット遊具												
34	ネット遊具											
35	ボールプール											
36	吹き抜けネット											
37	塔状遊具A											
38	塔状遊具B											
くもの巣遊具												
39	くもの巣											
40	吊り橋											
41	らせん階段											
空中回廊												
42	ラビットイヤー											
43	鳥の歌声											
44	テレイドスコープ											
45	光と緑のトンネル											
46	動物の足跡											
47	百葉箱											
48	パラボラ											

備考：

※ボルトの緩み、丸太の軋み、歪みの点検は随時行なう。軽易で可能なものは巡視員が応急修繕を行う。故障で危険な場合は担当職員に急報する。

アルプスあづみの公園管理センター

課　長	係　長	担　当

堀金・穂高地区

平成２６年度　巡視日報

平成26年　月　日（　）天候	気温	9時　℃	１２時　℃	１５時　℃

巡視担当者		巡視担当者		巡視担当者	

ルート No.	時　間	備　考（異常なしは「－」と記載）	ルート No.	時　間	備　考（異常なしは「－」と記載）	ルート No.	時　間	備　考（異常なしは「－」と記載）
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	

野生動物	群･名称･別	備　考	野生動物	群･名称･別	備　考	野生動物	群･名称･別	備　考
サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M
サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M
サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M
サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M
サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M
サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M
サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M	サル･クマ･他		開園前 A M P M

門扉等の開閉			その他　特記事項		
場　所	開錠時間	開錠時間			
第1駐車場入口	:	:			
第2駐車場入口	:	:			
第3,4駐車場入口	:	:			
管理センター入口	:	:			
中央口	:	:	残留車両	第1駐車場	
穂高口	:	:		第2駐車場	
	:	:		第3駐車場	
	:	:		第4駐車場	

アルプスあづみの公園管理センター

分室長	課長

大町・松川地区

平成26年度　巡視日報

平成 26 年　月　日（　）天候	気温	9時　℃	12時　℃	15時　℃

巡視担当者		巡視担当者		巡視担当者	

ﾙｰﾄNo.	時間	備考（異常なしは「ー」と記載）	ﾙｰﾄNo.	時間	備考（異常なしは「ー」と記載）	ﾙｰﾄNo.	時間	備考（異常なしは「ー」と記載）
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	
	～			～			～	

野生動物	群･名称･別	備考	野生動物	群･名称･別	備考	野生動物	群･名称･別	備考
ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ
ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ
ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ
ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ
ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ
ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ
ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ	ｻﾙ･ｸﾏ･他		開園前 ＡＭ ＰＭ

門扉等の開閉		
場所	開錠時間	閉錠時間
駐車場入口	:	:
駐車場入口（ﾃﾞｨｷｬﾝﾌﾟ場）	:	:
駐車場入口（ﾃﾞｨｷｬﾝﾌﾟ場）	:	:
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ入口	:	:

その他　特記事項		
クマ朝巡視情報　　口有　　口特になし		
残留車両	第一駐車場	
	ﾃﾞｨｷｬﾝﾌﾟ場	

別紙－34

建物・工作物に係る修繕履歴（修繕箇所、費用等）

修繕履歴(平成24年度)

【 堀金・穂高 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額(円)
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	10/5	管理センター、ガイド	自動ドアー	自動ドア修繕	29,400
			6/30	あづみの学校	ガラス	ガラス交換	63,000
			7/31	管理センター、ガイドセンター、あづみの学校	自動ドアー	自動ドア点検	213,150
		便所修繕	5/31	野の休憩所	フラッシュバルブ	フラッシュバルブ交換	22,050
			9/30	水辺の休憩所	手洗いセンサー	手洗いセンサー交換	53,498
			9/30	あづみの学校	便器センサー	便器センサー交換	9,450
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	6/30	ガイドセンター	氷蓄熱ユニット給水管	氷蓄熱ユニット給水管交換	134,453
			10/31	ガイドセンター	ガス気化器電気装置	ガス気化器電気装置交換	205,800
			7/31	あづみの学校	空調機部品	空調機部品交換	272,580
			2/28	あづみの学校	空調設備のフィルター	空調設備のフィルター交換	99,750
			2/28	あづみの学校	冷温水ポンプ交換	冷温水ポンプ交換	166,425
			2/28	あづみの学校	煤煙濃度計	煤煙濃度計交換	470,400
			5/31	あづみの学校	冷暖房機	冷暖房機切替	393,750
		消防設備維持修繕	2/28	ガイドセンター、あづみの学校	火災報知機他	火災報知機他交換	976,500
工作物管理	工作物維持修繕	その他維持修繕	11/30	河畔の広場	ふわふわドーム	定期点検	504,000
			10/20	管理センター	公用車	オイル・フィルター交換	8,580

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額(円)
工作物管理	設備維持修繕	電気設備維持修繕	1/31	連絡橋	橋灯	ナトリウムランプ交換	29,400
		水道設備維持修繕	12/31	管理センター	受水槽	凍結防止ヒーターの交換	420,000
			5/31	管理センター	受水槽	塩素滅菌装置の交換	241,500
		放送設備維持修繕	9/30	ガイドセンター	プリアンプパネル	プリアンプパネルの交換	126,000
		電話設備維持修繕	11/30	あづみの学校	展示パネル	展示パネルの取付	276,150
			7/31	あづみの学校	タッチパネルモニター	タッチパネルモニターの修理	30,450
			2/28	あづみの学校、ガイドセンター	USPバッテリー	USPバッテリー交換	93,450
		その他維持修繕	10/31	管理センター		CCTVサーバーHDDの修理	940,800
			5/31	あづみの学校		ブロアーポンプの交換	388,500
			6/30	管理センター		CCTV用USPバッテリー交換	367,500
			6/30	管理センター		CCTV用スイッチングハブの交換	378,000
			7/31	ガイドセンター		券売機の保守点検	78,750
			7/31	ガイドセンター		券売機の消耗部品交換	12,600
			9/30	あづみの学校		プロジェクターランプ交換	417,690
			3/31	水辺の休憩所		USPバッテリー交換	147,000
			1/31	あづみの学校		自吸タービンポンプ交換	125,780
			2/28	河畔の広場		無停電電源装置交換	451,500
合計							8,147,856

修繕履歴（平成24年度）

【 大町・松川 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	5/31	第一駐車場トイレ棟	小便器	小便器交換	215,250
			5/31	入口広場トイレ棟	小便器	小便器交換	21,735
			5/31	入口広場トイレ棟	水栓	水栓交換	31,080
			5/31	入口広場トイレ棟	水栓	水栓交換	30,450
	建物設備維持修	空調設備維持修繕	7/31	インフォメーション棟(	エアコン	エアコン清掃	47,250
			11/30	大草原の家他	エアコン	エアコン清掃	455,700
			11/30	インフォメーション棟(	結露防止ヒーター	結露防止ヒーター清掃	155,400
			11/30	各トイレ棟	結露防止ヒーター	結露防止ヒーター清掃	46,200
		消防設備維持修繕	12/31	森のゲート	火災受信機	火災受信機修繕	315,000
			9/30	森の体験舎	誘導灯	誘導灯バッテリー交換	70,497
		その他維持修繕	6/30	森の体験舎、森のゲート	ガラス	ガラス拭き等	194,250
			9/30	インフォメーション棟(	ガラス	ガラス拭き等	169,050
			10/31	森の体験舎、森のゲート大草原の家	床	ワックス清掃	434,092
			4/30	インフォメーション棟(	屋根	屋根の落葉等除去	447,000
			7/31	森の体験舎	煙突	煙突内の埃等除去	278,250
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	7/31	空中回廊	細園路	細園路チップ敷き	18,900
			10/31	駐車場	車止め	車止めの再設置	17,300
		遊具維持修繕	9/30	林間レクレーションゾーン		ネット遊具・複合遊具の保守点検	484,050
			9/30	大草原の家他		ネット遊具の保守点検	355,950

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額(円)
工作物管理	設備維持修繕	電気設備維持修繕	2/28	森の体験舎	USPバッテリー	USPバッテリー交換	224,700
			12/31	森の体験舎	システムコントローラー	システムコントローラー修理	31,500
		水道設備維持修繕	12/31	各施設	水飲み場	凍結防止対策	168,735
			5/31	入口広場、アルプス広場	水飲み場	水飲み場部品交換	62,790
			5/31	アルプス広場	スプリンクラーボックス	スプリンクラーボックス交換	91,665
		水循環設備維持修繕	11/30	貯水槽	2次滅菌装置	2次滅菌装置圧力弁交換	26,250
			4/30	貯水槽	給水設備	給水設備点検	295,050
		その他維持修繕	12/31	森の体験舎	ペレットストーブ	ペレットストーブ保守点検	36,750
			7/31	インフォメーション棟	券売機	券売機の保守点検	63,000
合計							4,787,844

修繕履歴（平成25年度）

【 堀金・穂高 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	6月24日	あづみの学校	そば打ち体験室	入口網戸修繕	42,500
			7月17日	展望テラス	天井	屋根羽目板修繕	198,000
			9月10日	展望テラス	引き戸	ハンガー戸の振れ止め取り替え	45,000
			11月21日	あづみの学校	理科教室	屋外コンセント、照明器具の修繕	64,100
			3月4日	ガイドセンター	床	石床点検口の石蓋4枚の交換	120,000
			3月17・24日	展望テラス	階段	階段防滑塗装作業	68,430
		便所修繕	5月23日	あづみの学校	トイレ	トイレ自動水栓センサー修繕	4,700
			11月19日	野の休憩所	トイレ	トイレ洗浄バルブ部品交換修繕	41,200
		その他維持修繕	6月21日	野の休憩所	引き戸	戸車の交換	18,000
			3月13日	あづみの学校	社会科教室	調理コーナー流しのタイル貼り直し作業	75,000
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	6月、10月	あづみの学校、ガイドセンター、管理センター	冷温水発生機、空調フィルター	年2回の、冷温水発生機冷暖房切替点検・フィルター清掃	927,500
			6月14日	あづみの学校	ガスヒートポンプエアコン室外機	電磁弁、ポンプ交換	85,000
			7月23日	ガイドセンター	氷蓄熱ユニット	給水管破損個所修繕	122,000
			8月2日	ガイドセンター	氷蓄熱ユニット	ユニットエラーのため部品交換	22,100
			3月5日	あづみの学校	冷温水発生機	冷温水ポンプ1、冷却水ポンプ2の不具合の修繕	388,320
			2月25日	ガイドセンター	GHPエアコン	GHPエアコン起動不良修繕	177,390
			3月17日	ガイドセンター	GHPエアコン	アイシンGHPエアコン定期点検、消耗部品交換	129,400
			3月20日	あづみの学校	GHPエアコン	サンヨーGHPエアコン定期点検、消耗部品交換	223,400
		消防設備維持修繕	2月13日	あづみの学校、ガイドセンター、管理セン	消防設備	自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備修繕	624,000
		その他維持修繕	7月12日	あづみの学校	地下貯蔵タンク	地下貯蔵タンク漏洩検査	70,000
			7月、1月	ガイドセンター、管理センター	自動ドア	ナブコ自動ドア保守点検業務（年2回）	145,000
			7月、1月	あづみの学校	自動ドア	寺岡自動ドア保守点検業務（年2回）	68,000
			9月12日	各トイレ	非常呼出し	トイレ非常呼出し信号以上の点検、修繕	21,500
			3月5日	ガイドセンター	自動ドア	自動ドア駆動部修繕	186,000
			3月19日	ガイドセンター	ホール	監視カメラ2台の取り替え	262,600
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	3月24日	池南大園路	ロープ柵	木柱腐食のため、木柱交換・ロープ貼り直し	95,000
		遊具維持修繕	9月28日	段々原っぱ	ディスクゴルフ	ゴールポスト破損個所の溶接修繕	4,100
		その他維持修繕	6月25日	池	じゃぶじゃぶ池	じゃぶじゃぶ池夏期解放前の水質検査	22,000
			7月25日 8月19日	池	じゃぶじゃぶ池	じゃぶじゃぶ池夏期開放期間中2回の水質検査	22,000
		水道設備維持修繕	4月18日	バーベキューコーナー	水道	凍結による配管破損の修繕	22,000
			10月2日	受水槽	水槽内	ボールタップ修繕	11,000
			3月11日	受水槽、須砂渡園路	水道設備	受水槽加圧給水ユニット点検、須砂度止水栓漏水修繕	130,000
		放送設備維持修繕	12月6日	園内	放送設備	放送不具合の点検、修繕	15,450
			12月20日	ガイドセンター	放送設備	バッテリー異常発生のため、バッテリーの交換・修	57,000
		展示設備維持修繕	6月10日	あづみの学校	観覧室映写機	プロジェクターランプの交換とフィルター清掃	195,000
			3月5・6日	理科教室	予備水槽室	故障している循環式ｸｰﾗｰ4台の交換作業	930,000
			3月9日	理科教室	予備水槽室	アクリル製予備水槽破損個所の修繕	55,600
			3月17日	あづみの学校、ガイドセンター	情報検索PC	情報検索PCの保守・点検作業	385,000
		その他維持修繕	4月30日	ガイドセンター	券売機	自動券売機動作不良の修繕	80,000
			8月9日	あづみの学校	ガスボンベ置場	調整器不良のため交換	64,800
			11月18日	池横、第1駐車場	園路、石垣	園路舗装窪み、石垣崩れの修繕	80,000
			12月19日	ガイドセンター	券売機	エラー頻発のため、紙幣ユニットの交換。清掃作業	159,220
			12月25日	あづみの学校	ガスボンベ置場	ベーパライザー不凍液交換作業	79,400
			12月25日	あづみの学校	ガスボンベ置場	ベーパライザー水位計交換作業	26,300
			3月31日	園内	券売機	入園料金改定に伴う、券売機5台の改定作業	147,720
合計							6,710,730

修繕履歴（平成25年度）

【 大町・松川 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	6月30日	インフォメーションセンター	床(タイル)	センター周囲ポーチ　床タイル300角剥離箇所補修5.1㎡	120,000
			3月21日	大草原の家	床マット	1F大広間ホール用敷きコルクマット取替	220,760
		便所修繕	10月15日	インフォメーションセンター	便所	洋式用便座コントロールスイッチ及びヒータ、温水タンク2個不具合修繕	105,000
			12月31日	駐車場・入口広場・デイキャンプ場及び炊事棟・各トイレ・水飲み場	便所	冬季閉鎖トイレ　自動手洗い、混合栓分解水抜き及び蛇口の取り外し作業・便器内凍結防止用不凍液給水作業・水飲み場	216,200
			2月4日	休憩棟	便所	女子トイレ洗浄便座１基交換	62,250
			2月6日	インフォメーションセンター	便所	男子洗浄装置付き便座１基入替作業	40,250
		その他維持修繕	3月1日	インフォメーションセンター、休憩棟、森の体験	照明	インフォメーションセンタートイレ用、休憩棟客室用、森の体験舎照明用電球取替え	89,100
			3月17日	休憩棟	テーブル・ベンチ	休憩棟テーブルイス修繕　ケレン塗装及び擦れ防止プロテクター取付（テーブル22台、イス86脚）外扉調整	623,000
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	8月22日	森の体験舎　電気室	空調設備	電気室ルームエアコン冷媒ガス補充作業１基	21,905
			11月23日	インフォメーションセンター・森の体験舎・大草原の家	空調設備	エアコン１８基フィルター２０枚清掃	45,000
			11月25日	森の体験舎・大草原の家・森のゲート	暖房器具	窓用結露防止ヒーター清掃作業 森の体験舎９６本・大草原の家５４本・森のゲート６	148,000
			1月25日	森の体験舎	暖房器具	ペレットストーブ燃焼用送風機1台交換及び清掃	27,640
			3月1日	インフォメーションセンター・森の体験舎・大草原の家・森のゲート・レンタル棟・休憩棟	空調設備	空調設備保守点検作業 空冷式パッケージ空調機3基・バスマルチパッケージ空気調和器1基・空冷式パッケージ空調機1基ルームエアコン1基・空冷式パッケージ空調機1基・蓄熱ユニット1基・・空冷式パッケージヒートポンプ式空調機1基・ガスマルチパッケージ空気調機2基・ガスマルチパッケージ空気調機3基	666,000
			3月2日	森の体験舎・大草原の家・森のゲート・炊事棟・休憩棟・レンタル棟・ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ棟・ 各トイレ棟	空調設備 トイレ換気扇	空調設備フィルター清掃及びトイレ高所換気扇ホコリ清掃1式	198,700
		消防設備維持修繕	11月18日	大草原の家・森のゲート	火災報知機設備	消防施設改修作業消火器格納箱1、ガス漏れ警報設備検知器2、誘導灯予備電池2、煙感知器3、スピーカー1	204,100
			3月16日	レンタル棟	火災報知機設備	誘導灯用予備電池交換　1台	7,690
		その他維持修繕	9月2日 2月24日	インフォメーションセンター・休憩棟・レンタル棟・森の体験舎・大草原の家・森のゲート	自動扉	自動ドア装置保守点検２５台　年２回点検	412,000
			3月7日	インフォメーションセンター	中央監視装置	インフォメーションセンターCCTVカメラ操作端末修繕	90,000
			3月4日	森の体験舎	照明	森の体験舎ハロゲンランプをLEDランプへ交換作業	470,400
			12月7日	インフォメーションセンター	展示装置	展示施設プロジェクターランプユニット直営交換修繕	71,900
			1月22日	インフォメーションセンター	展示装置	展示設備（森の美術館）プロジェクター１基オーバーホール修繕	543,000
			3月4日	インフォメーションセンター・森のゲート	自動扉	自動ドア装置駆動用プーリー部品交換 インフォメーション棟2個、森のゲート1個	12,000
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	9月17日	渓流ピクニック広場	サイン	新規開園用渓流広場サイン作成	84,000
			11月10日	車庫棟横・休憩棟先	園路	園路整備外作業　入口広場及び車庫棟横造成作業	183,900
			11月25日	入口広場、彩の森	園路	散策園路チップ敷き均し作業	859,000
			9月20日	あづみの苑池	サイン	看板杭設置　外作業	34,000
			3月10日	インフォメーションセンター	サイン	入園料変更に伴う看板作製	12,000
		遊具維持修繕	5月3日	アルプス広場	遊具	サイバーホイール大２基、ミニ1基更新	278,200
			9月11日	大草原の家	遊具	大草原の家ネット遊具定期点検１式	197,000
			9月30日	アルプス広場・空中回廊	遊具	林間コンビネーション遊具・くもの巣遊具等定期点検１式	260,000
			12月28日	アルプス広場	遊具	林間コンビネーション遊具・くもの巣遊具周辺クッション用木質チップ敷き均し作業　１式	280,300
			12月20日	大草原の家	遊具	遊具除塵清掃　ネットの隙間及び上部ホコリ清掃、ボールプール洗浄清掃	91,600
			1月20日	大草原の家	遊具	ボールプール床ゴムチップ部分に剥離が発生したため、ウレタンマット全面張替作業	285,700
			1月31日	大草原の家	遊具	ボールプール用ボール補充作業	59,708
			3月4日	林間広場	遊具	林間コンビネーション遊具のコンパウンドロープの一部表面に摩擦が発生しているため、更新を行った。16Φ×30角目１枚	201,500
		その他維持修繕	10月18日	インフォメーションセンター下階段・空中回廊	階段手摺	階段及び空中回廊の手摺ささくれ箇所塗装作業　39.6m2	145,000
			1月20日	森の体験舎	ベンチ	木製縁台製作２基　（1800×900×450）	33,000

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額(円)
	設備維持修繕	電気設備維持修繕	9月12日	インフォメーションセンター	中央監視装置	中央監視サーバー落雷緊急点検　障害復旧作業	25,500
			12月27日	大草原の家	中央監視装置	放送及び電話制御用UPS２台バッテリー更新	247,000
			1月31日	車庫棟	発電機	ポータブル発電機スターター故障修繕	26,000
			3月3日	入口広場、駐車場西	CCTVカメラ	ＣＣＴＶカメラ用ビデオトランス２個修繕　入口広場、駐車場西	67,000
		水道設備維持修繕	4月～3月	上水受水槽　井戸	給水設備	４月～３月　年１２回　受水槽給水設備点検	321,012
			5月7日	駐車場・入口広場・キャンプ場・炊事棟・林間広	給水設備	冬期凍結による水飲み場、炊事棟混合栓及びトイレ手洗い用自動装置の部品交換による修繕	243,900
			8月30日	上水受水槽	給水設備	落雷後の井戸ポンプ制御盤点検	25,000
			9月30日	上水受水槽	給水設備	既設深井戸井戸ポンプ故障のため、仮設用井戸ポンプ設置作業	570,000
			10月～3月	上水受水槽	給水設備	仮設井戸ポンプレンタル　１０月～３月末	315,000
		電話設備維持修繕	3月7日	インフォメーションセンター	電話交換設備	内線電話増設によるデーター変換作業	45,000
			3月4日	インフォメーションセンター	電話器	内線PHS用バッテリパック取替え	73,000
		展示設備維持修繕	10月11日	インフォメーションセンター	展示装置	バーチャルガイドプロジェクター用ランプユニット交換	57,700
			10月18日	インフォメーションセンター	展示装置	フォトスクエアプロジェクター用ランプユニット交換	57,700
			1月22日	インフォメーションセンター	展示装置	展示施設キューブ情報端末不具合調査　自動起動不良修繕	178, 000
			12月6日	インフォメーションセンター	展示装置	見どころマップ交換ランプユニット直営交換修繕	77,500
		その他維持修繕	10月18日	インフォメーションセンター	券売機	自動券売機点検３号機コインセレクター点検	30,000
			10月31日	インフォメーションセンター	券売機	自動販売機コインセレクター交換作業	44,500
			3月5日	インフォメーションセンター	券売機	自動券売機消費税変更に伴うデーター変更作業	129,720
合計							9,933,335

修繕履歴（平成26年度）

【 堀金・穂高 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	7月、1月	あづみの学校	自動ドア	寺岡自動ドア保守点検業務（年2回）	119,000
			7月、1月	ガイドセンター、管理センター	自動ドア	ナブコ自動ドア保守点検業務（年2回）	145,000
			7月17日	あづみの学校	社会科教室	壁裏照明器具ランプの取り替え作業	20,000
			7月14日、15	あづみの学校、須砂渡ロゲート	屋根雨樋	破損している雨樋の修繕作業	118,690
		便所修繕	7月24日	水辺の休憩所	女子トイレ	洗浄フラッシュバルブ故障のため、交換修繕	14,650
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	5月21日、10月15日	あづみの学校、ガイドセンター、管理センター	冷温水発生機	年2回の、冷温水発生機冷暖房切替点検作業	717,000
			5月29日	管理センター	通信機械室	エアコン故障の点検・修繕作業	59,000
			6月9日	ガイドセンター	氷蓄熱ユニット	給水管破損個所修繕	88,000
			7月11日	管理センター	通信機械室	エアコン故障のため、新規入替	140,000
			11月25日	あづみの学校	ガスヒートポンプエアコン	ガスヒートポンプエアコンエンジン部定期点検整備	223,400
			11月25日	ガイドセンター	ガスヒートポンプエアコン	ガスヒートポンプエアコンエンジン部定期点検整備	129,400
			12月1日、8日、9日	あづみの学校	冷温水機、空調機	冷温水機、空調機の不具合個所の点検・修繕	61,000
			2月9日	あづみの学校	冷温水発生機	冷温水発生機2台の断水リレー交換作業	177,000
		消防設備維持修繕	12月19日	あづみの学校、ガイドセンター	火災報知器、非常放送スピー	感知不良の出ている火災報知器2台の交換及び音の出ない非常放送スピーカーの点検	92,400
			1月17日	ガイドセンター	非常放送スピーカー	故障している非常放送スピーカーの交換	18,700
			2月12日	あづみの学校、ガイドセンター	火災報知器	光電式スポット感知不良のため、火災報知器9台の交換	322,500
		その他維持修繕	6月24日	あづみの学校	地下貯蔵タンク	地下貯蔵タンク漏洩検査	70,000
			6月23日	あづみの学校	社会科教室	調理コーナー照明用スポットライト設置	80,300
			11月23日	ガイドセンター	トイレ排水管	トイレ排水管詰りの修繕	38,000
			12月25日	ガイドセンター	トイレ排水管	女子トイレ汚水排水管詰りの修繕	23,000
工作物管理	工作物維持修繕	園路広場修繕	4月1日	ガイドセンター	入園料看板	入園料改訂に伴う券売機上入園料看板の表示変更	21,000
			7月2日、8月6・28日	池	じゃぶじゃぶ池	じゃぶじゃぶ池解放前、開放期間中の水質検査	44,000
			6月23日	園内	園路舗装	園路舗装の傷んでいる個所の部分補修作業	275,000
			7月8日	池	じゃぶじゃぶ池	じゃぶじゃぶ池入口階段破損個所の修繕	92,000
			1月9日	穂高口	駐車場入口	駐車場入口門扉戸袋への雪除け屋根設置工事	193,000
			4月15日	渓流広場	マシュマロドーム	園内誘導看板設置作業	145,245
		遊具維持修繕	7月31日	段々原っぱ	ディスクゴルフ	ゴールポスト破損個所の溶接修繕	15,000
				渓流広場	マシュマロドーム	遊具マシュマロドーム定期点検	240,000
				野原	サイバーホイール	遊具サイバーホイールパンクのため、3基更新	180,000
				冒険の森	冒険の森遊具	フィールドアスレチック遊具定期点検	60,000
		その他維持修繕	4月24日	ガイドセンター、穂高口	案内看板	公園情報案内看板の新規製作	57,000
			5月22日	水辺の休憩所バーベキューコーナー	日除け	日除けの屋根テント生地製作	120,000
			6月25日	第1駐車場	屋外掲示板	掲示面劣化のため、貼り替え	79,150
			7月7～18日	園内	屋外ベンチ	屋外ベンチの35基再塗装作業	410,000
			10月30日	周辺道路	誘導看板	イベント案内・誘導看板の製作	132,000
	設備維持修繕	電気設備維持修繕	9月16日	池周囲	分電盤	仮設分電盤7面組立作業	210,000
		水道設備維持修繕	8月19日	穂高口ゲート	給水管	トイレタンク給水管からの漏水修繕	4,000
			1月27日	あづみの学校	湯沸し室	流し台排水口漏水及び温水器ボールタップの修繕	27,800
		展示設備維持修繕	4月3日	あづみの学校	プロジェクター	プロジェクター用ランプ4個交換作業	115,000
			5月28日	あづみの学校2F	プロジェクター	プロジェクター用ランプ4個交換作業	115,000
			2月2日	あづみの学校3F	プロジェクター	プロジェクター用ランプ4個交換作業	115,000
		その他維持修繕	4月14日	ガイドセンター、穂高口	券売機	3・4・5号機不具合個所の修繕	59,220
			9月4日	穂高口	券売機	券売機内ベルト交換作業	3,580
合計							5,370,035

修繕履歴（平成26年度）

【 大町・松川 地区 】

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額（円）
建物管理	建物維持修繕	管理棟修繕	7月10日 1月20日	インフォメーションセンター・休憩棟・レンタル棟・森の体験舎・大草原の家・森のゲート	自動扉	自動ドア装置保守点検２５台　年２回点検	412,000
		便所修繕	H26.5.21	デイキャンプ場トイレ	便所	デイキャンプ場男子トイレ洋式便器1基漏水修繕	5,556
			H26.10.1	森のゲートトイレ	便所	森のゲートトイレ女子洋式トイレ排水配管漏水修繕 排水パッキンの交換1個	34,000
			H26.10.10	駐車場トイレ多目的トイレ	便所	駐車場多目的トイレ女子側　非常呼び出しスイッチ1基交換修繕	23,050
			H26.12.1	駐車場・入口広場・デイキャンプ場及び炊事棟・アルプス広場・渓流ピクニック広場・水飲み場5カ所	便所	冬季凍結防止作業　閉鎖トイレの自動手洗い、混合栓分解水抜き、便器内凍結防止用不凍液給水作業、各水飲み場水抜き作業も含む	216,200
			H27.2.9	大草原の家多目的トイレ	便所	大草原の家多目的トイレ扉　自動巻き取り機１個取替え	7,500
		その他維持修繕	4月24日	各トイレ	便所	洋式トイレ幼児用補助便座４０カ所配置	82,200
			6月7日	森の体験舎	照明	ＬＥＤスポットライト用照明器具２０個増設	24,260
			11月1日	インフォメーションセンター・休憩棟	扉	インフォメーションセンター引き戸衝撃吸収用戸当たり設置２カ所・休憩棟手摺笠木腐食木材の修繕	120,000
			8月29日	大草原の家	照明	大草原の家ＬＥＤハロゲン型ライト４０個取替え	68,593
	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	7月10日	森の体験舎	ガス設備	ガスメーター更新　1基	78,500
			10月3日	大草原の家	空調設備	自販機上の空調設備修繕	33,000
			10月15日	インフォメーションセンター	空調設備	多目的ホール空調機オイルセパレーター油漏れによる交換修繕　1基	364,000
			1月10日	大草原の家	空調設備	空調設備熱交換器修繕	62,000
			2月15日	レンタル棟	空調設備	空調設備保守点検	39,000
			11月5日	休憩棟・森の体験舎・大草原の家・森のゲート	暖房設備	出入口及び窓、結露防止ヒーター点検清掃作業	164,000
			11月1日	インフォメーションセンター・休憩棟・レンタル棟・森の体験舎・大草原の家・森のゲート	空調設備	各エアコンフィルター点検清掃作業	51,840
		消防設備維持修繕	8月25日	レンタル棟	火災報知機設備	駐車場側入り口の誘導灯用電池交換　1台	12,000
			1月26日	休憩棟	火災報知機設備	地下機械室スポット感知器取替え　1個	15,500
		その他維持修繕	7月1日	インフォメーションセンター	床(タイル)	インフォメーションセンターインゲート前タイル浮き修繕	47,600
			9月15日	インフォメーションセンター	照明	各トイレ照明用ランプ切れ取替え用	38,750
			10月3日	インフォメーションセンター	照明	蛍光灯他照明ランプ切れ取替え用	10,367
			10月19日	レンタル棟	壁	養生用プラスチック段ボール設置作業	40,256
			11月1日	森の体験舎・大草原の家	昇降設備	エレベーター非常用バッテリー交換作業　2カ所	45,400
			2月5日	森のゲート	ガス設備	プロパンガス凍結抑制マット設置作業	7,000
			3月12日	インフォメーションセンター	シャッター	シャツター停止用スィツチ用電池交換作業	1,108
	工作物維持修繕	園路広場修繕	7月1日	河畔広場	柵	立入規制用フェンスネット設置作業	52,186
			10月5日	空中回廊下仮設園路	床	冬期床の滑り止め用マットの設置用	148,589
			10月8日	インフォメーションセンター	サイン	看板用資材取付	40,149
			10月23日	大洞下堰堤横	柵	法面に設置されたフェンス基礎周囲の土砂流失部防止用土止め作業　1式	79,500
			10月31日	インフォメーションセンター	柵	立入規制用チェーンポール設置作業	21,407
			1月8日	入口広場	柵	立入規制用プラスチックフェンス設置作業	124,558
		遊具維持修繕	9月2日	大草原の家	遊具	大草原の家ネット遊具の定期点検	210,000
			10月1日	アルプス広場横・空中回廊	遊具	林間コンネーション遊具・空中回廊付帯遊具・くもの巣遊具の定期点検	260,000
			11月20日	大草原の家	遊具	大草原の家ネット遊具清掃作業	91,600
		その他維持修繕	4月25日	インフォメーションセンター	ベンチ	インフォメーション周辺長椅子修繕	60,000
			12月19日	渓流ピクニック広場	柵	倒木により木製柵の横木が破損したため、板材3mを2枚取り換え	27,000

工種	種別	細目	実施日	実施場所	対象箇所	作業内容	金額(円)
	設備維持修繕	電気設備維持修繕	6月15日	デイキャンプ場	ゲート装置	ディキャンプ場車両遮断機ゲートシステム保守点検	10,000
		水道設備維持修繕	9月10日	アルプス広場	散水設備	分岐水道材料取付作業	10,088
			4月10日	アルプス広場	散水設備	散水用スプリンクラーBOXアルミ製のゴムカバー蓋３枚取替	143,000
			7月20日	第一駐車場	給水設備	給湯機ガス配管設置作業	32,050
			10月8日	第一駐車場	給水設備	屋外給水管設置作業	87,000
			10月12日	第一駐車場	給水設備	屋外給水設置作業	91,000
			10月15日	第一駐車場	給水設備	給排水設置作業	75,730
			11月2日	第一駐車場	給水設備	第一駐車場既設給水接続作業	53,000
		水循環設備維持修繕	7月1日	大草原の家	散水設備	レキ原及びアルプス大草原散水用スプリンクラー制御盤１基更新	205,000
			4月 1日 3月31日	上水受水槽	受水槽	毎月点検受水槽滅菌装置及び給水設備点検１２回	285,000
			4月 1日 2月28日	上水受水槽	井戸ポンプ	井戸ポンプ故障のため、新規取替え期間までのレンタル料　水中ポンプ440Ｖ１台４月～2	495,000
			10月19日	第一駐車場	給排水	屋外排水管設置作業	66,270
		展示設備維持修繕	5月18日	インフォメーションセンター・森のゲート	展示装置	ＰＣ点検、分解、清掃、調整３台及びあづみのPhotoマザーボード部品交換	355,000
			12月21日	インフォメーションセンター・森のゲート	展示装置	展示装置機器定期点検	172,000
			2月1日	インフォメーションセンター	展示装置	インフォメーションキューブタッチモニターパネル３台修繕	57,000
		その他維持修繕	6月15日	レンタル棟横	ゲート装置	ディキャンプ場ゲートシステム保守点検	10,000
			6月22日	インフォメーションセンター	券売機	自動券売機3号機の硬貨詰まり(エラー138)不具合個所の修繕交換部品コインリジェクターの取替え	79,221
			10月5日	インフォメーションセンター	券売機	自動券売機1号機の硬貨識別部不具合個所の修繕交換部品コインリジェクターの取替え	79,221
合計							5,424,249

別紙－35

清掃場所、箇所、内容、方法及び頻度等

■清掃内容、方法、頻度等

【 H24 】

[堀金・穂高 地区]

清掃箇所	頻度	備考
管理センター、ガイドセンター、テーマ展示館、山のレストハウス、水のレストハウス、池のレストハウス、野のレストハウスの各トイレ	通常期:2 回/日 繁忙期:4 回/日 閑散期:2 回/日	土日・祝日は 4 回/日 但し、巡回中に発見した場合は、この回数の限りではない。
ガイドセンター、テーマ展示館、山のレストハウス、水のレストハウス、池のレストハウス、野のレストハウスの各床・ガラス面	通常期:1 回/日 繁忙期:2 回/日 閑散期:1 回/日	但し、巡回中に発見した場合は、この回数の限りではない。
駐車場・主要幹線園路・細園路の路面・排水溝等	適宜	園路上の落葉の収集 排水溝の落葉の収集 ゴミ・動物の糞除去
遊具	1 回/日	遊具の拭き掃除
園内各ベンチ	1 回/日 適宜	ベンチの拭き清掃 汚れを発見した場合は、適宜実施。
親水池	適宜	川砂の除去 藻の除去等
主要幹線園路及び細園路・デッキ等	適宜	冬季間の除雪作業

［ 大町・松川 地区 ］

清掃箇所	頻度	備考
インフォメーション棟、レストラン棟、デイキャンプ場、森の体験舎、大草原の家、トイレ棟、森のゲートの各トイレ	通常期:2 回/日 繁忙期:4 回/日 閑散期:2 回/日	土日・祝日は 4 回/日 但し、巡回中に発見した場合は、この回数の限りではない。
インフォメーション棟、レストラン棟、デイキャンプ場、森の体験舎、大草原の家、トイレ棟、森のゲートの各床・ガラス面	通常期:1 回/日 繁忙期:2 回/日 閑散期:1 回/日	但し、巡回中に発見した場合は、この回数の限りではない。
主要幹線園路・細園路の排水溝等	適宜	園路上の落葉の収集 排水溝の落葉の収集 ゴミ・動物の糞除去
遊具	1 回/日	遊具の拭き掃除
園内各ベンチ	1 回/日 適宜	ベンチの拭き清掃 汚れを発見した場合は、適宜実施。
主要幹線園路及び細園路・デッキ等	適宜	冬季間の除雪作業

■清掃内容、方法、頻度等

【 H25 】

[堀金・穂高 地区]

清掃箇所	頻度	備考
管理センター、ガイドセンター、あづみの学校、須佐渡口、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所の各トイレ	通常期:2 回/日 繁忙期:4 回/日 閑散期:2 回/日	土日・祝日は 4 回/日 但し、巡回中に発見した場合は、この回数の限りではない。
ガイドセンター、あづみの学校、須佐渡口、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所の各床・ガラス面	通常期:2 回/日 繁忙期:4 回/日 閑散期:2 回/日	但し、巡回中に発見した場合は、この回数の限りではない。
駐車場・主要幹線園路・細園路の路面・排水溝等	適宜	園路上の落葉の収集 排水溝の落葉の収集 ゴミ・動物の糞除去
遊具	1 回/日	遊具の拭き掃除
園内各ベンチ	1 回/日 適宜	ベンチの拭き清掃 汚れを発見した場合は、適宜実施
親水池	適宜	堆積土の除去 落葉・藻の除去等
主要幹線園路及び細園路・デッキ等	適宜	冬季間の除雪作業

［ 大町・松川 地区 ］

清掃箇所	頻度	備考
インフォメーションセンター、駐車場、入口広場、休憩棟、レンタル棟、ディキャンプ場、森の体験舎、大草原の家、森のゲート、アルプス広場、渓流ピクニック広場の各トイレ	繁忙期:2 回/日 通常期:1 回/日 閑散期:1 回/日	繁忙日の土日・祝日は 4 回/日 但し、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。
インフォメーションセンター、休憩棟、レンタル棟、森の体験舎、大草原の家、森のゲートの各床・ガラス面	繁忙期:2 回/日 通常期:1 回/日 閑散期:1 回/日	但し、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。
インフォメーションセンター、休憩棟、レンタル棟、森の体験舎、大草原の家、森のゲート	1 回/年	ガラス面清掃及び床面シートの定期清掃（ワックス清掃）
要幹線園路、細園路の路面・排水溝等	適宜	園路上の落葉の収集、排水溝の落葉の収集ゴミ・動物のフンの除去清掃を行う。
遊具	1 回/日	遊具の拭き掃除
ベンチ	1 回/日 適宜	ベンチの拭き掃除、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。
あづみの苑池流れ	適宜	落葉や藻の除去を行う。
主要幹線園路、細園路・デッキ等	適宜	冬季間の除雪作業を行う。

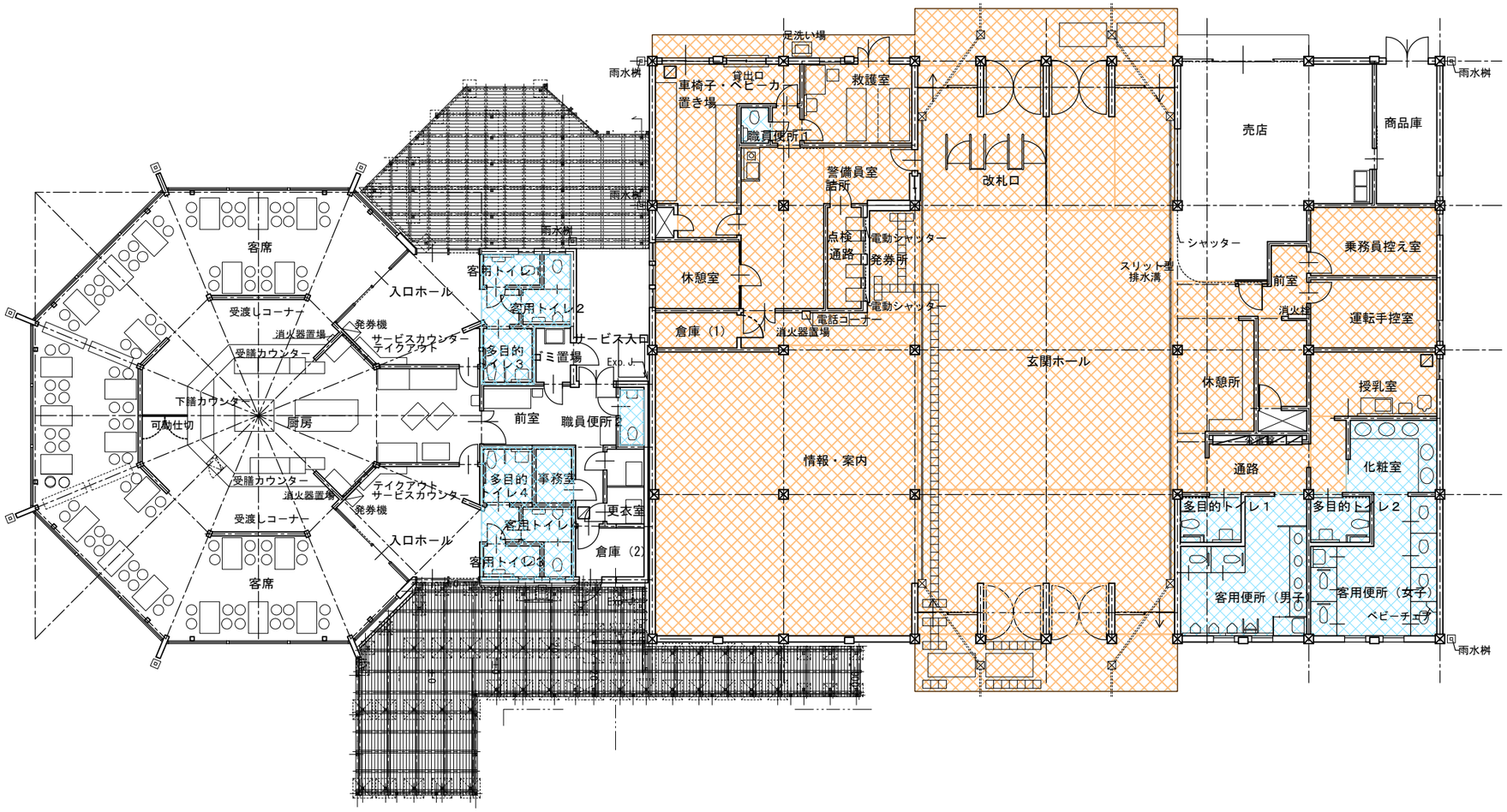
【 H26 】

[堀金・穂高 地区]

清掃箇所	頻度	備考
管理センター、ガイドセンター、あづみの学校、須佐渡口、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、穂高口の各トイレ	通常期:2 回/日 繁忙期:4 回/日 閑散期:2 回/日	土日・祝日は 4 回/日 但し、巡回中に発見した場合は、この回数の限りではない。
ガイドセンター、あづみの学校、須佐渡口、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、穂高口の各床・ガラス面	通常期:2 回/日 繁忙期:4 回/日 閑散期:2 回/日	但し、巡回中に発見した場合は、この回数の限りではない。
駐車場・主要幹線園路・細園路の路面・排水溝等	適宜	園路上の落葉の収集 排水溝の落葉の収集 ゴミ・動物の糞除去
遊具	1 回/日	遊具の拭き掃除
園内各ベンチ	1 回/日	ベンチの拭き清掃 汚れを発見した場合は、適宜実施
親水池	適宜	堆積土の除去 落葉・藻の除去等
主要幹線園路及び細園路・デッキ等	適宜	冬季間の除雪作業

［ 大町・松川 地区 ］

清掃箇所	頻度	備考
インフォメーションセンター、駐車場、入口広場、休憩棟、レンタル棟、ディキャンプ場、森の体験舎、大草原の家、森のゲート、アルプス広場、渓流ピクニック広場の各トイレ	繁忙期:2 回/日 通常期:1 回/日 閑散期:1 回/日	繁忙日の土日・祝日は 4 回/日 但し、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。
インフォメーションセンター、休憩棟、レンタル棟、森の体験舎、大草原の家、森のゲートの各床・ガラス面	繁忙期:2 回/日 通常期:1 回/日 閑散期:1 回/日	但し、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。
インフォメーションセンター、休憩棟、レンタル棟、森の体験舎、大草原の家、森のゲート	1 回/年	ガラス面清掃及び床面シートの定期清掃（ワックス清掃）
要幹線園路、細園路の路面・排水溝等	適宜	園路上の落葉の収集、排水溝の落葉の収集ゴミ・動物のフンの除去清掃を行う。
遊具	1 回/日	遊具の拭き掃除
ベンチ	1 回/日 適宜	ベンチの拭き掃除、巡回中に汚れを発見した場合は、適宜清掃を行う。
あづみの苑池流れ	適宜	落葉や藻の除去を行う。
主要幹線園路、細園路・デッキ等	適宜	冬季間の除雪作業を行う。



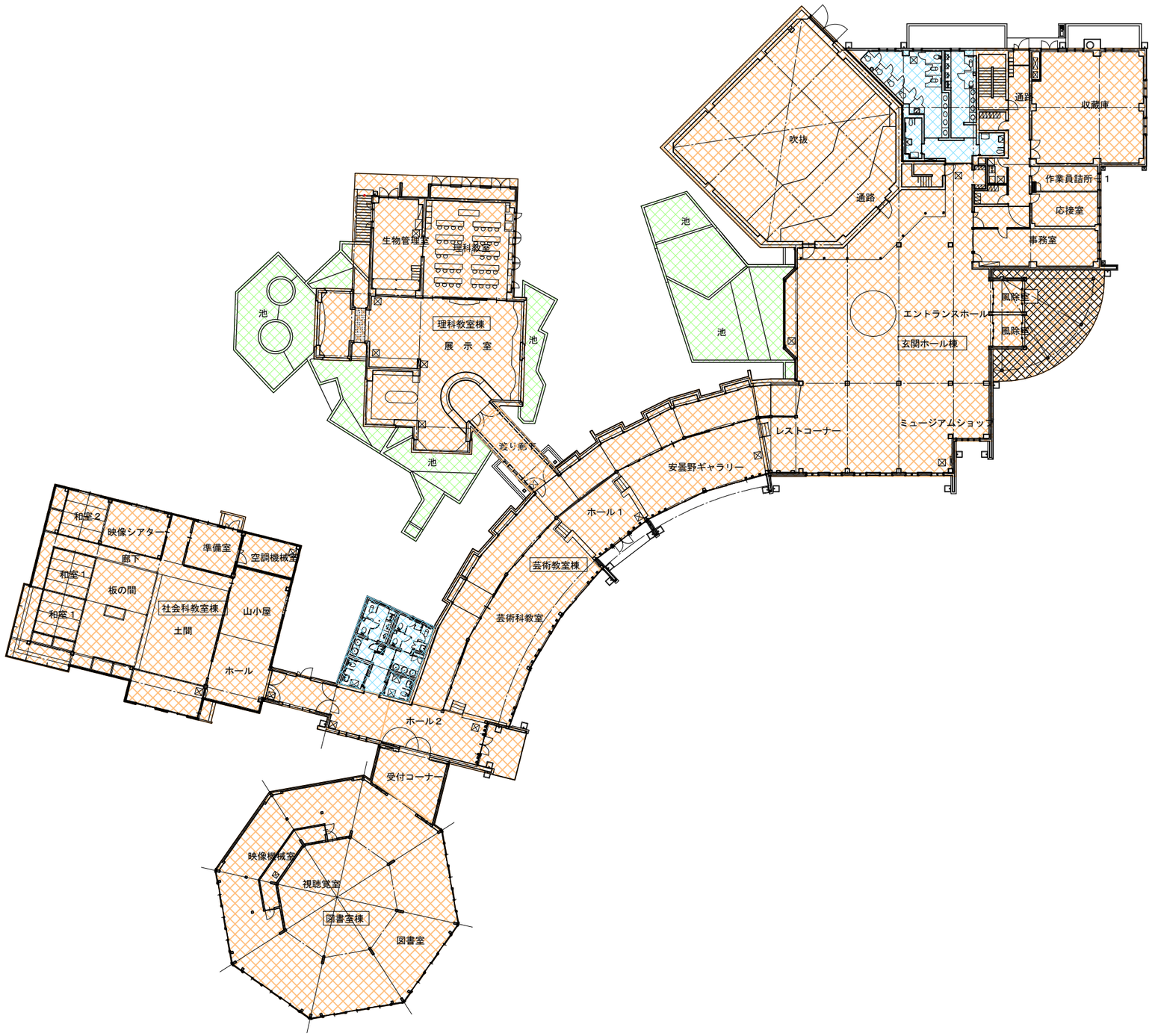
堀金・穂高地区　ガイドセンター清掃区分図

1:200

0 1 2 4 6 8 10m

別紙P443

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃
：水槽清掃

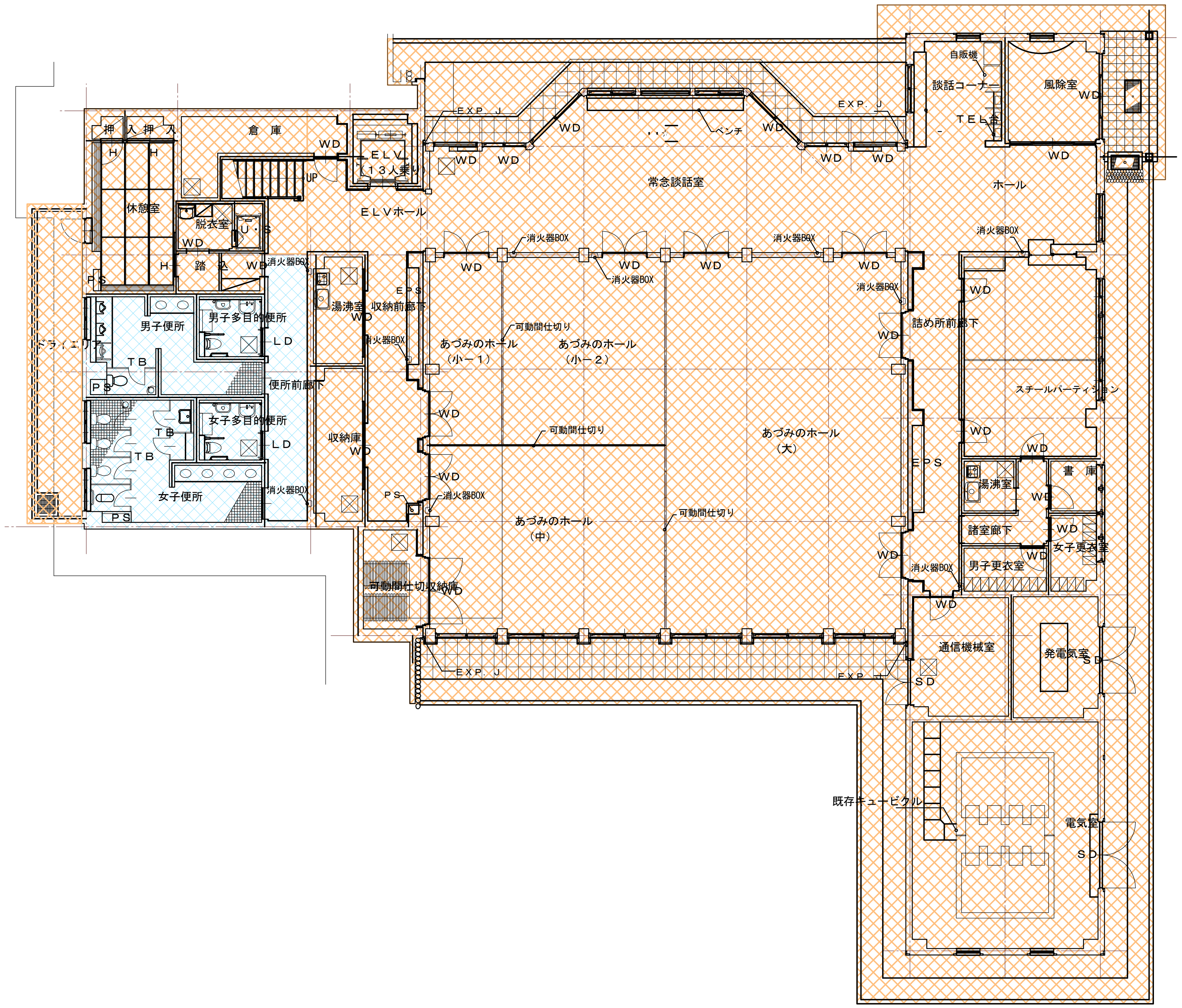


堀金・穂高地区　あづみの学校清掃区分図

1:400
0 2 4 8 12 16 20m

別紙P444

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃

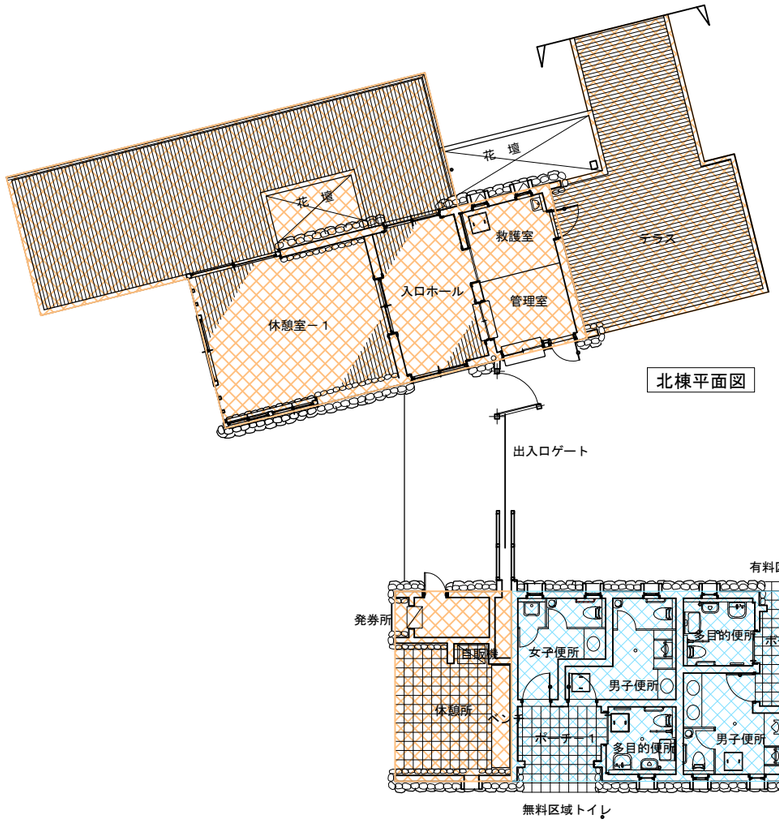


1:200

0 1 2 4 6 8 10m

堀金・穂高地区　公園管理事務所１階清掃区分図

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃



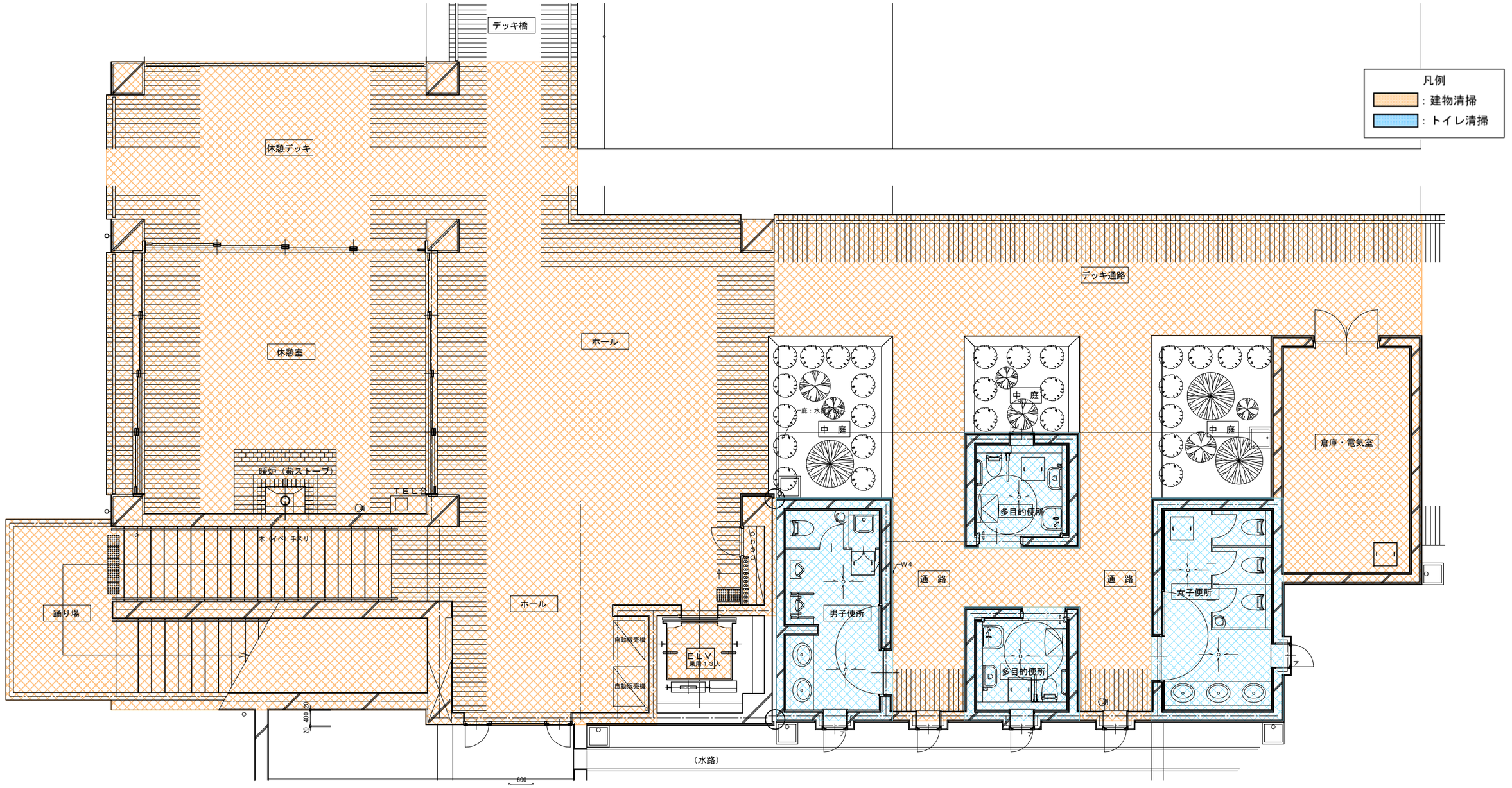
北棟平面図

南棟平面図

堀金・穂高地区　須砂渡口清掃区分図

1:200

0 1 2 4 6 8 10m

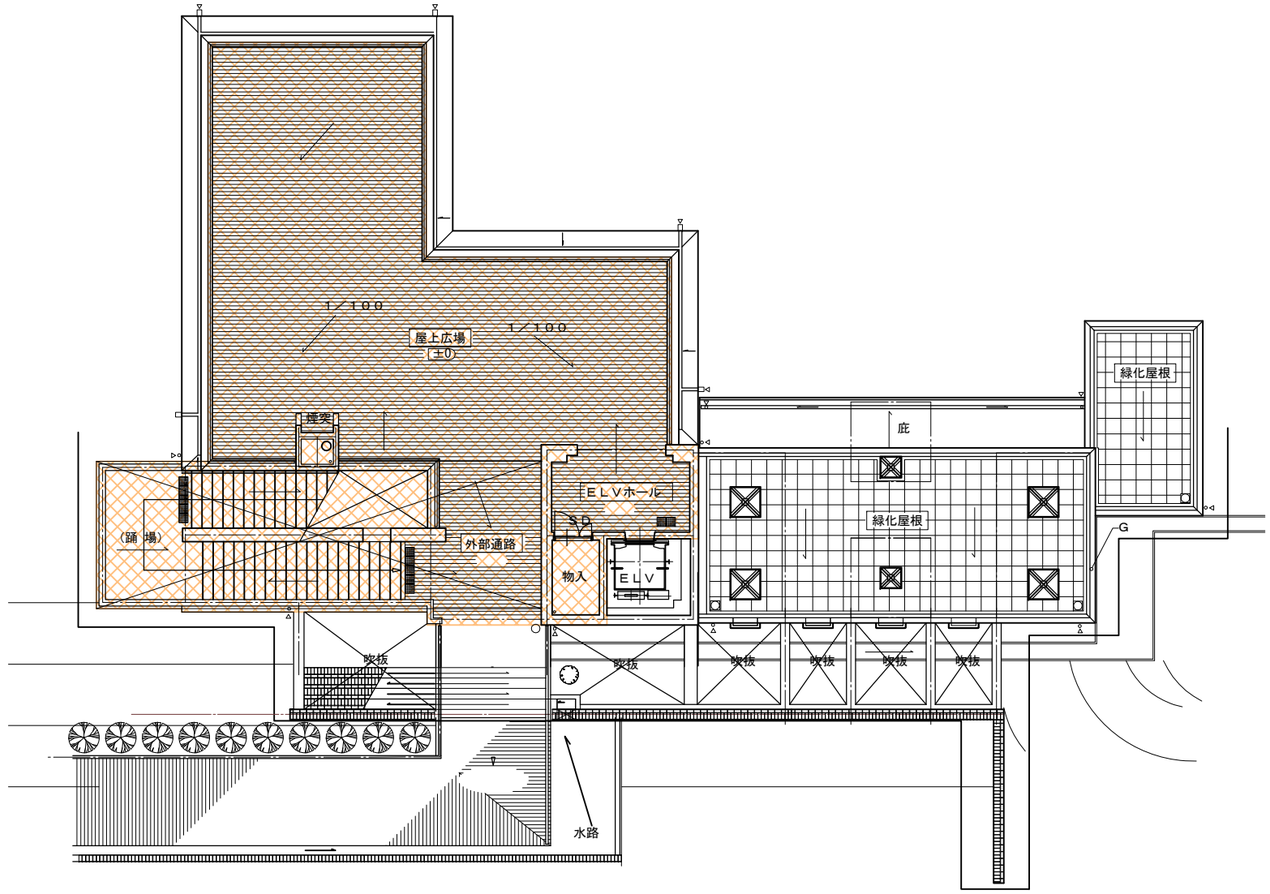


堀金・穂高地区　展望テラス1階清掃区分図

1:100

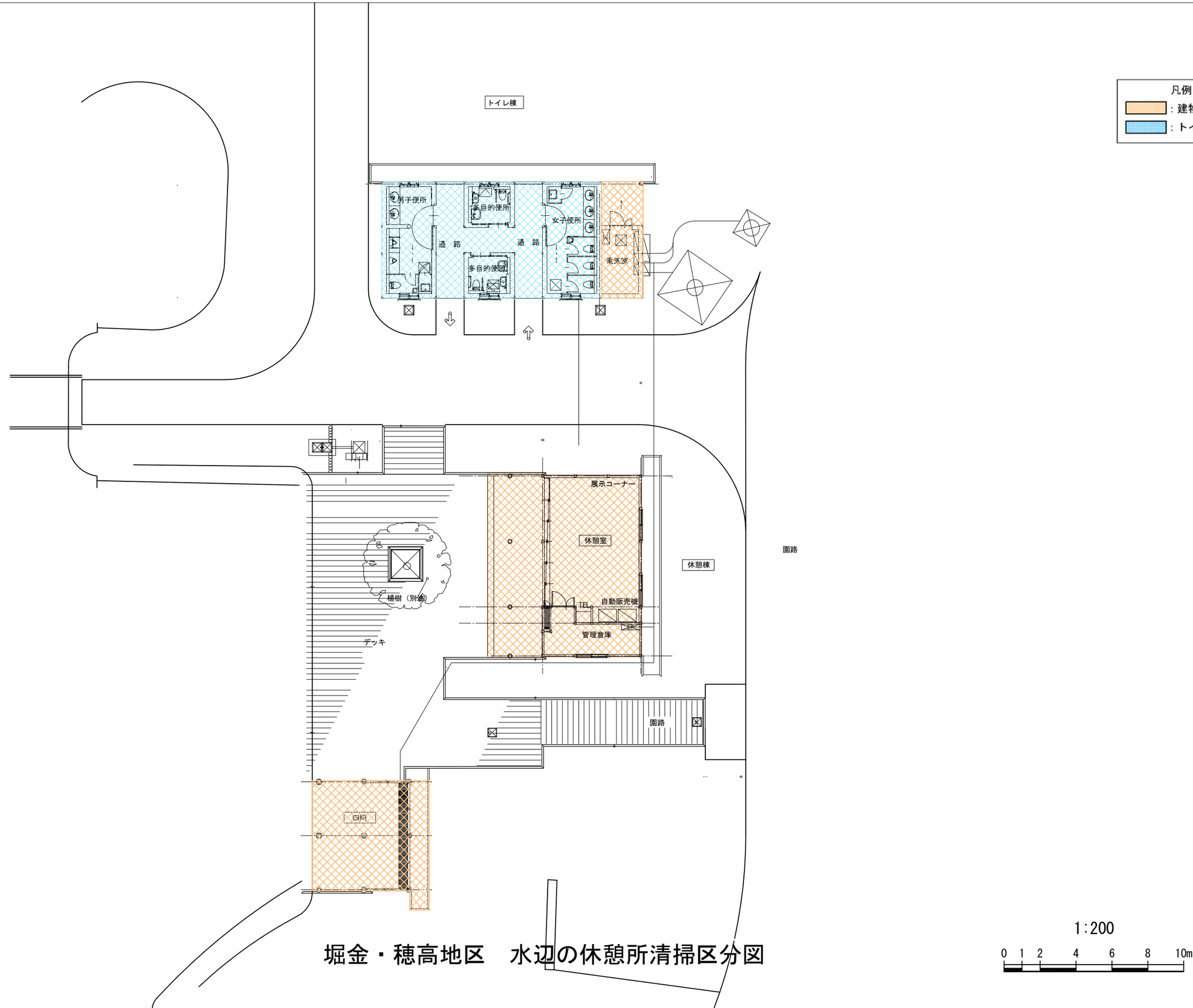
0 0.5 1 2 3 4 5m

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃



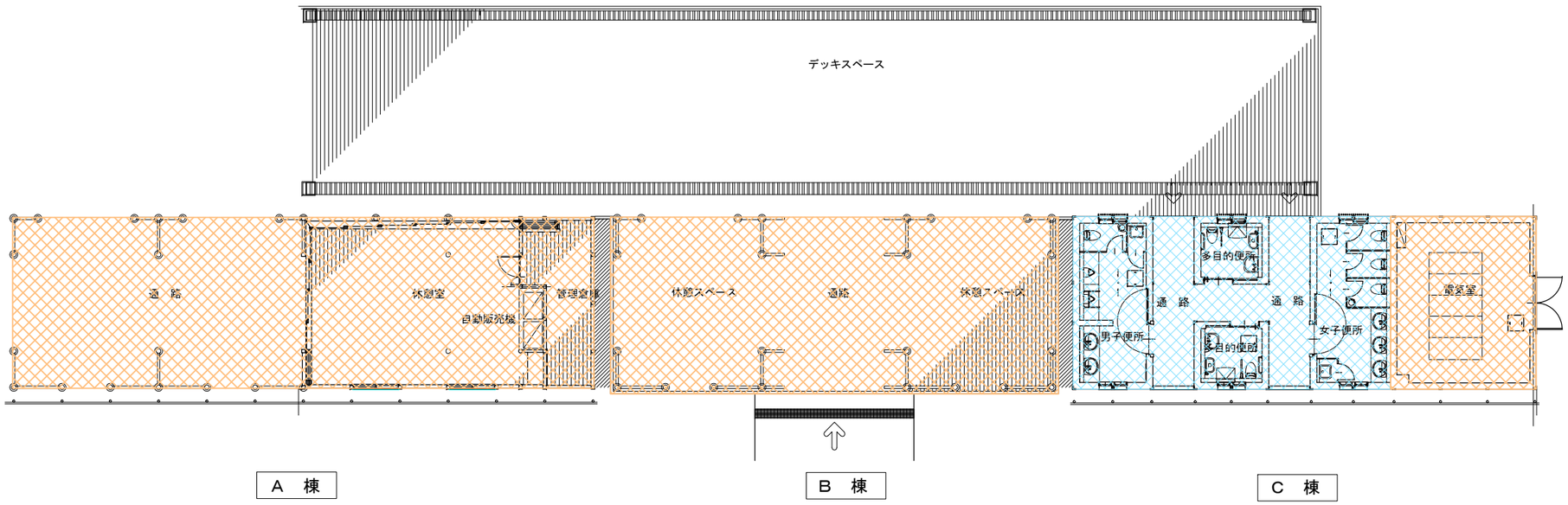
堀金・穂高地区　展望テラス２階清掃区分図

1:200
0 1 2 4 6 8 10m



堀金・穂高地区　水辺の休憩所清掃区分図

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃



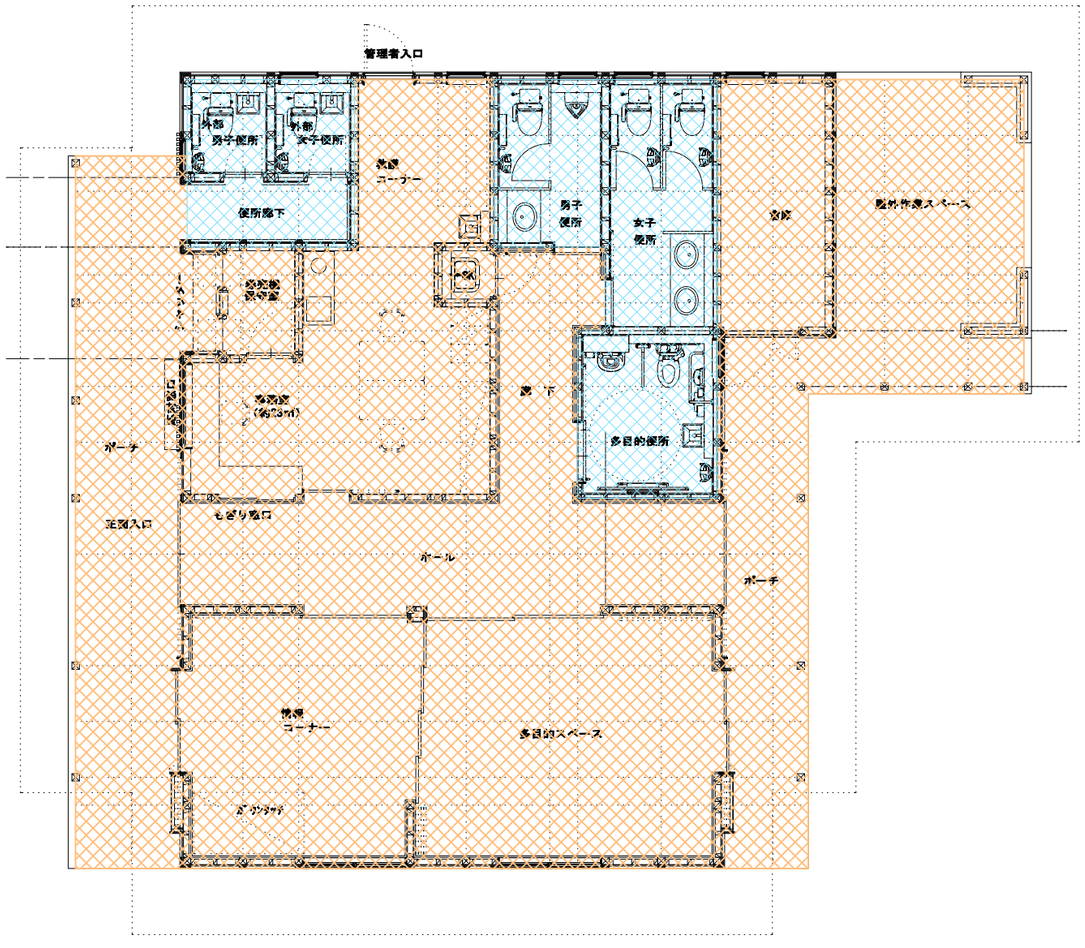
堀金・穂高地区　野の休憩所清掃区分図

1:200

0 1 2 4 6 8 10m

別紙P450

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃

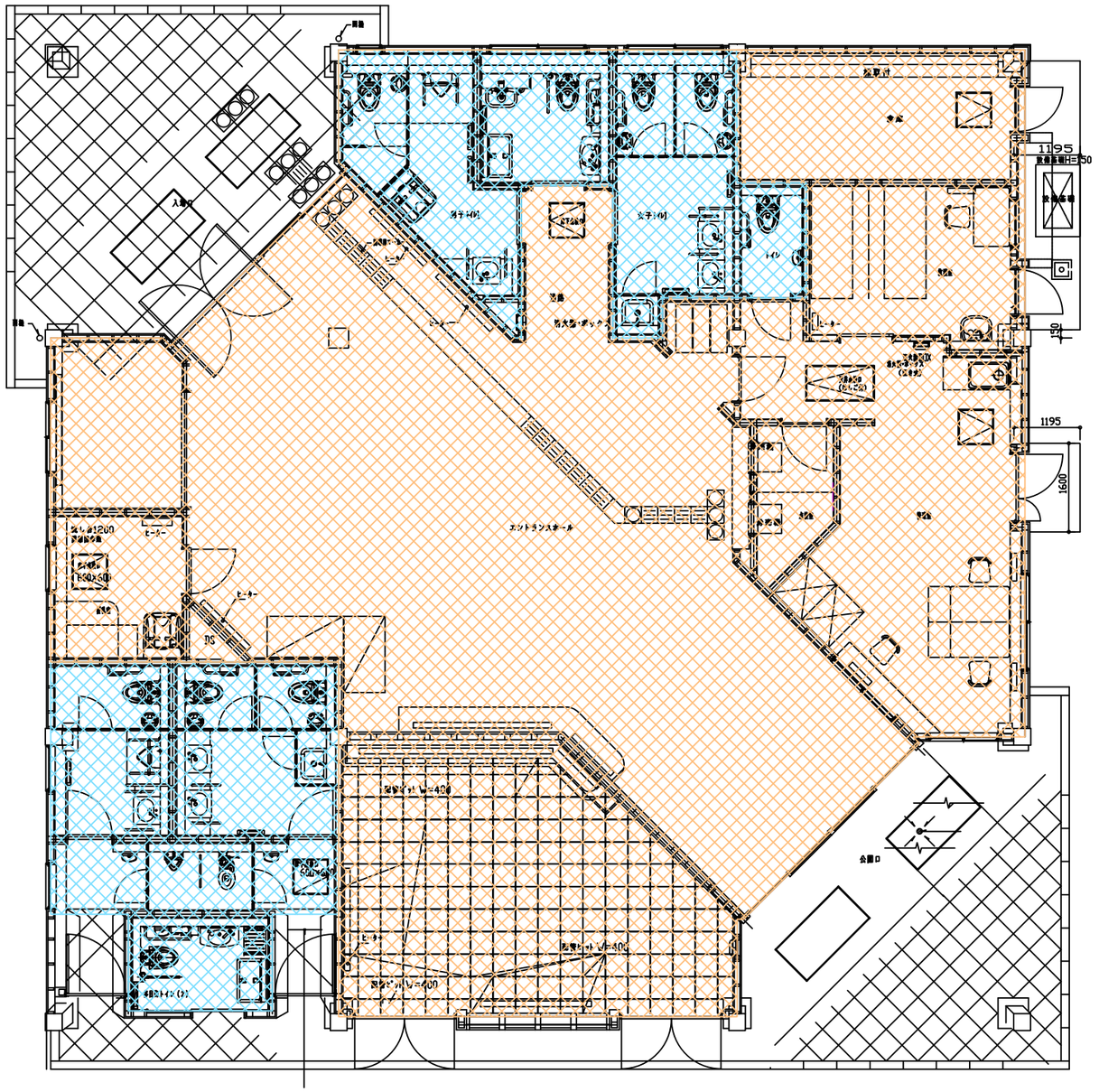


堀金・穂高地区　里山文化ゾーン管理棟清掃区分図

1:100

0 0.5 1 2 3 4 5m

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃



堀金・穂高地区　穂高口清掃区分図

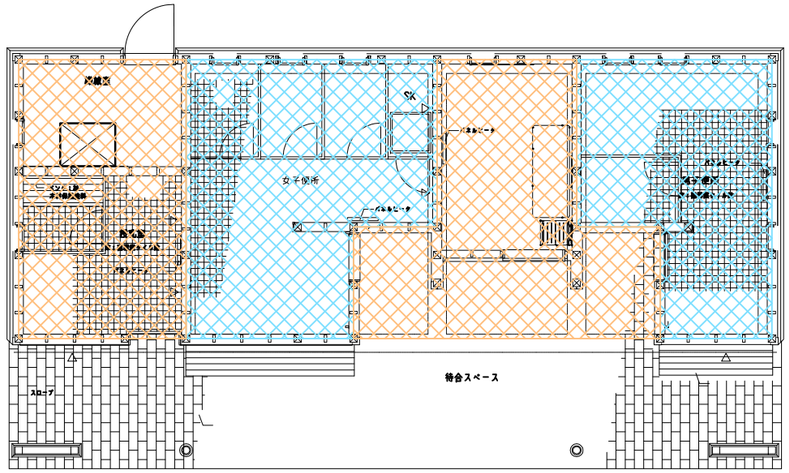
1:100
0 0.5 1 2 3 4 5m

別紙P452

凡例

：建物清掃

：トイレ清掃



堀金・穂高地区　烏川休憩所清掃区分図

1:100

0 0.5 1 2 3 4 5m

別紙P453



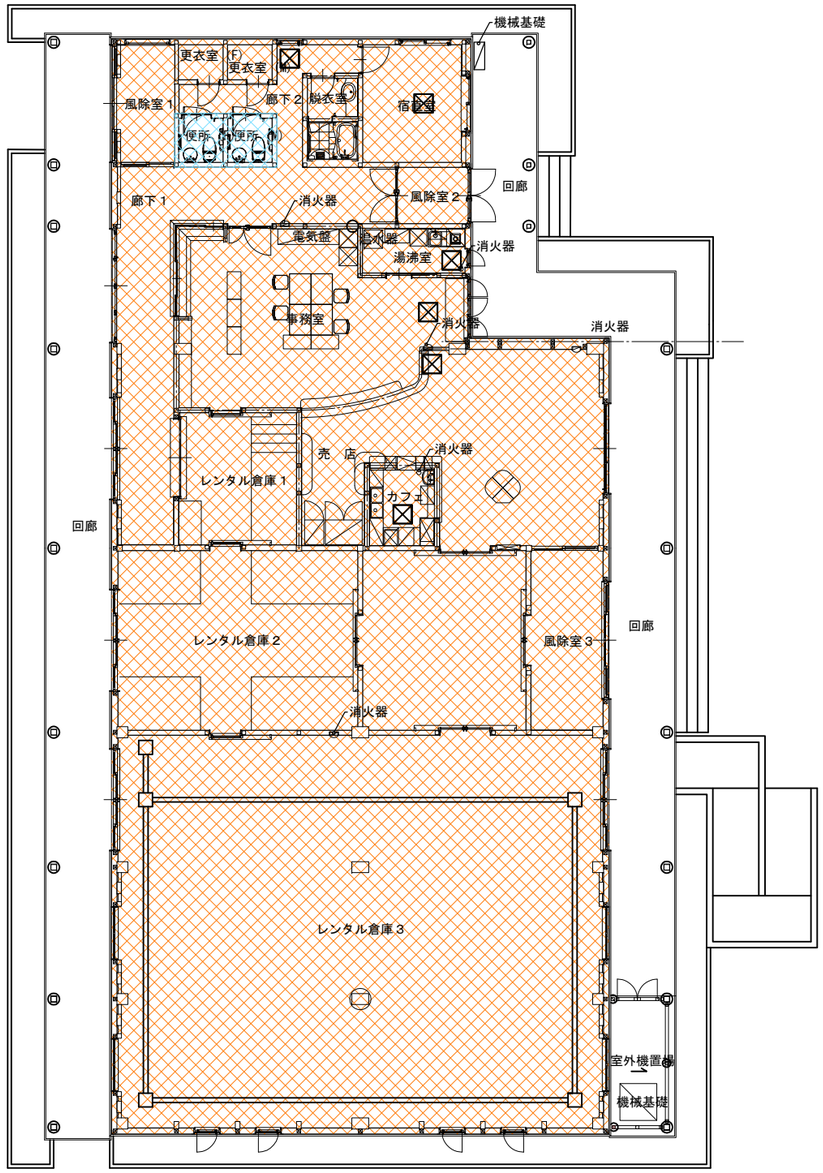
大町・松川地区　インフォメーションセンター清掃区分図

1:300

0 1.5 3 6 9 12 15m

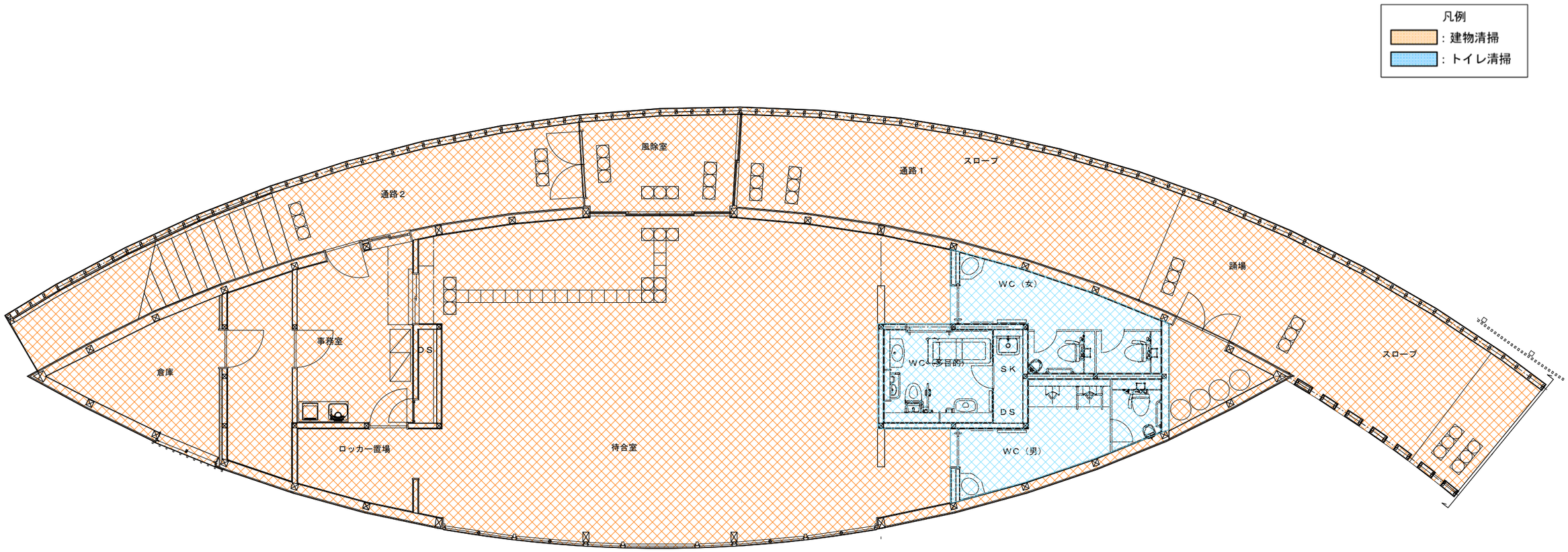
別紙P454

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃



大町・松川地区　レンタル棟清掃区分図

1:200
0 1 2 4 6 8 10m



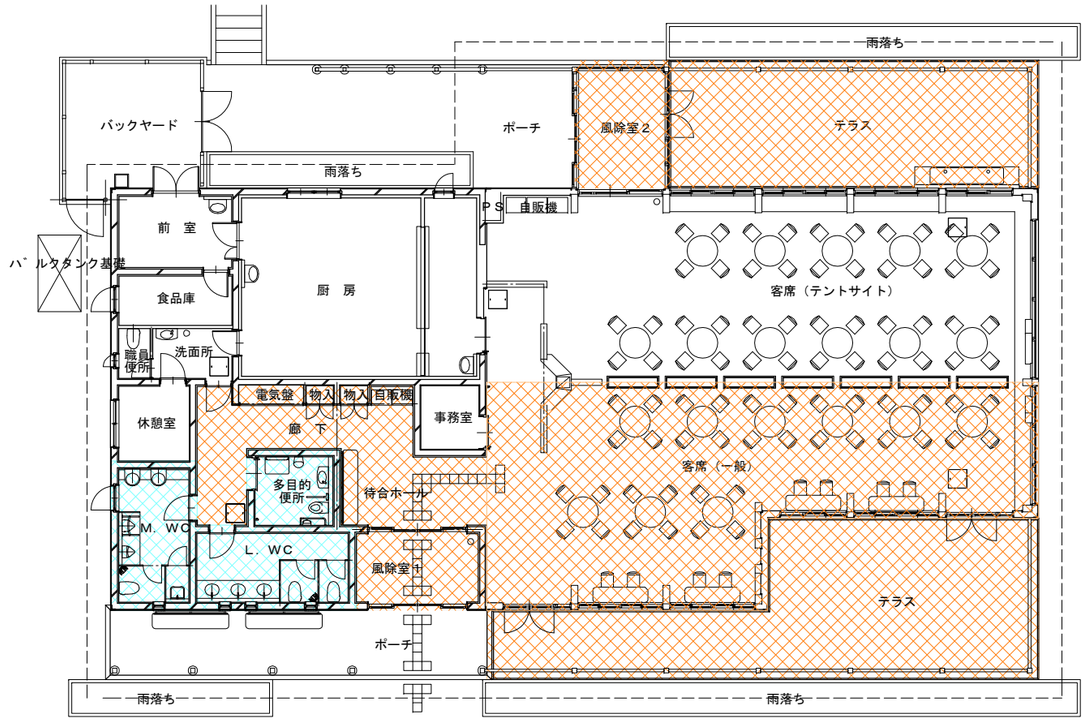
大町・松川地区　森のゲート清掃区分図

1:100

0 0.5 1 2 3 4 5m

別紙P456

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃



大町・松川地区　休憩・レストラン棟清掃区分図

1:200

0 1 2 4 6 8 10m

別紙P457

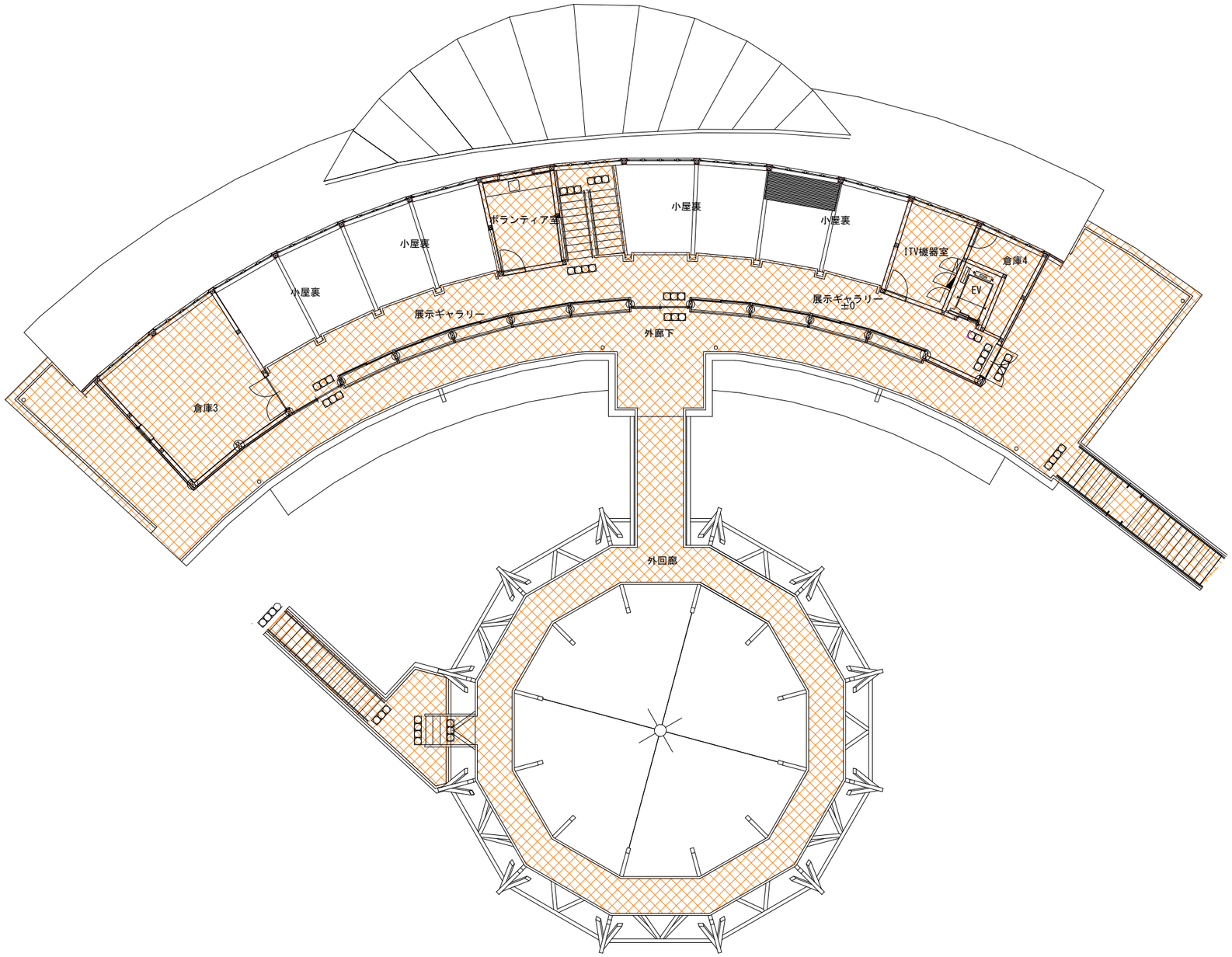
凡例
：建物清掃
：トイレ清掃

デッキ
耐火レンガ
ペレットストーブ
木部床下点検口600角
休憩エリア
事務室
ウイング部デッキ
EPS
木部床下点検口600角
デッキ
可動間仕切り収納庫
自販機置場
可動間仕切り
木部床下点検口600角
鉄骨造耐震壁
倉庫 2
食品庫
デッキ
可動間仕切り
自然遊工房
WC(女)
屋外機置場
B0
デッキ
創作工房
エントランスホール
EPS
機械室
EV
WC(男)
廊下
廊下
HC WC
風除室
ロッカー(男・女)
倉庫 1
屋外創作広場
アプローチ広場
大屋根広場
倉庫
足洗い場

大町・松川地区　森の体験舎１階清掃区分図

1:200
0 1 2 4 6 8 10m

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃



大町・松川地区　森の体験舎２階清掃区分図

1:200
0 1 2 4 6 8 10m

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃

プレイホール１
ネット遊具
風除室１
石垣
幼児コーナー
授乳室
WC（男）
WC（女）
WC（多目的）
内部階段１
内部階段２
中廊下
ＥＰＳ
風除室２
風除室３
風除室４
風除室５
塔状遊具Ａ
塔状遊具Ｂ
給湯室
前室Ａ
前室Ｂ
ボランティア室
事務室
休憩室
倉庫Ａ
倉庫Ｂ
倉庫Ｃ
倉庫Ｄ
倉庫Ｅ
倉庫Ｆ
倉庫Ｇ
足洗い場
通洞Ａ
通洞Ｂ
通路Ａ
通路Ｂ
階段下
屋外階段Ａ
屋外階段Ｂ
屋外機置場
緑の下スペースＡ
緑の下スペースＢ
段床
内部
外部
プレイヒル
ヒルトンネル

1:200
0 1 2 4 6 8 10m

大町・松川地区　大草原の家１階清掃区分図

別紙P460

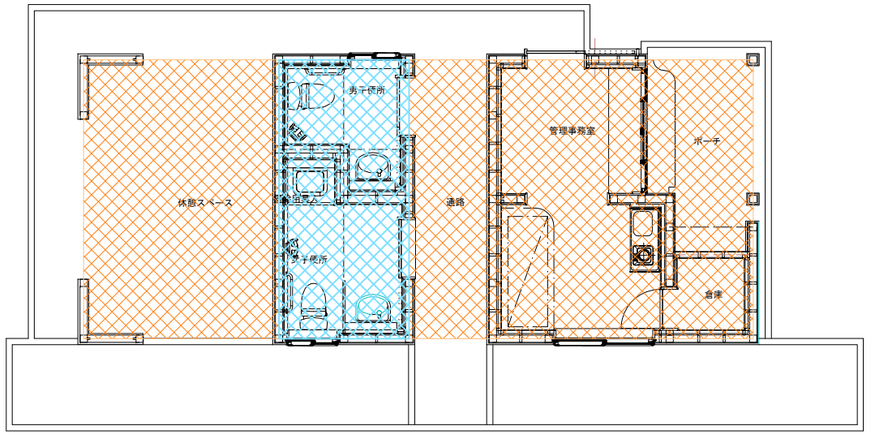
凡例
：建物清掃
：トイレ清掃

ネット遊具
プレイホール２
吹抜
石垣
屋内階段３
ブリッジＡ
廊下2
プレイエリアＡ
吹抜
吹抜
ブリッジ吹抜
屋内階段４
プレイエリアＢ
石垣
中断階段１
吹抜
吹抜
吹抜
吹抜
ブリッジＣ
吹抜ネットA
吹抜ネットB
吹抜ネットC
出入口Ａ
塔状遊具Ａ
出入口Ｂ
出入口デッキＡ
廊下１
吹抜
塔状遊具Ｂ
出入口デッキＢ
ＤＳ
ＤＳ
中段階段２
踊り場デッキＡ
屋外階段C
中断デッキＡ
側面
側面
屋外階段D
踊り場デッキＢ
屋外階段Ａ
ＭＣ
ＭＣ
吹抜（休憩室）
吹抜
屋外階段Ｂ
段床デッキＡ
段床デッキ Ｂ
ＭＣ
ＭＣ
吹抜
プレイヒル
正面

大町・松川地区　大草原の家２階清掃区分図

1:200
0 1 2 4 6 8 10m

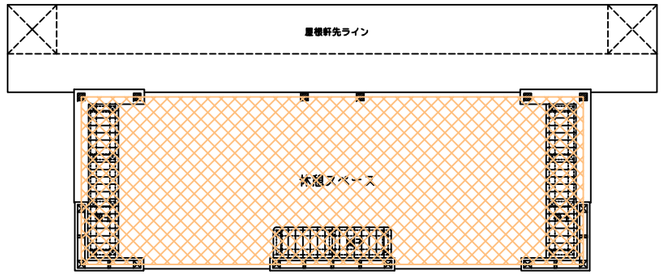
凡例
：建物清掃
：トイレ清掃



大町・松川地区 スポーツと遊びの森エリア管理棟清掃区分図

1:100
0 0.5 1 2 3 4 5m

凡例
：建物清掃
：トイレ清掃



大町・松川地区 渓流ピクニック広場休憩棟清掃区分図

1:100
0 0.5 1 2 3 4 5m

別紙－36

産業廃棄物（排出量、経費）

【 H24 】

［両地区合計 ］

月日	内容	数量	金額(税抜き/円)
H24 年 4 月 26 日	廃プラ、金属、木くず	4.0 ㎥	40,000
H24 年 7 月 20 日	廃プラ、金属、木くず	4.5 ㎥	45,000
H24 年 10 月 19 日	廃プラ、金属、木くず	4.0 ㎥	40,000
H24 年 11 月 7 日	廃プラ、金属、木くず	4.5 ㎥	45,000
H25 年 1 月 10 日	廃プラ、金属、木くず	4.5 ㎥	45,000
H25 年 2 月 21 日	廃プラ、金属、木くず	4.5 ㎥	45,000
H25 年 3 月 30 日	廃プラ、金属、木くず	4.5 ㎥	45,000
計		30.5 ㎥	305,000

【 H25 】

［堀金・穂高 地区 ］

月日	内容	数量	金額(税抜き/円)
平成 25 年3月1日	混合廃棄物	690 kg	90,000
計		690 kg	90,000

［大町・松川 地区 ］

月日	内容	数量	金額(税抜き/円)
平成 25 年3月 27 日	混合廃棄物	8m3	80,000
計		8m3	80,000

【 H26 】

［堀金・穂高 地区 ］

月日	内容	数量	金額(税抜き/円)
平成 26 年 5月15日	混合廃棄物	660 kg	86,000
平成 26 年 12 月 25 日	混合廃棄物	1,120kg	145,600
計		1,780kg	231,600

［大町・松川 地区 ］

月日	内容	数量	金額(税抜き/円)
平成 26 年 7 月 7 日	汚泥	0.6m3	18,800
平成 26 年 11 月 5 日	混合廃棄物	4m3	40,000
平成 26 年 11 月 12 日	混合廃棄物	5m3	50,000
計		9.6m3	108,800

別紙－37

肥料、土壌改良材リスト

【 H24 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要(肥料名等)
芝生	肥料	1 回	21,571m2	芝地	グリーンフィーバーエイト
草花	肥料	1 回	2,560m2	草花地・プランター	バイディーラージ

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要(肥料名等)
芝生	肥料	1 回	43,723m2	芝地	グリーンフィーバーエイト

【 H25 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要(肥料名等)
芝生	肥料人力・機械	1 回	24,780 ㎡	段々原っぱ、野原他	バーディグリーン
	目土	1 回	24,780 ㎡	段々原っぱ、野原他	川砂
中低木	肥料	1 回	22 袋	寄植地	ちから1号
高木	肥料	1 回	12 袋	植栽花木等	まるやま1号
花壇	肥料	2 回	2 袋	コンテナ、プランター	バーディラージ
草花	土壌改良材	2 回	2,528 ㎡	段々原っぱ花壇	牛糞堆肥、グリーンアルファE
	薬剤	2 回	5,056 ㎡	コスモス畑	ベンレート水和剤、マネージ乳剤
	肥料	1 回	3,000 ㎡	池、段々原っぱ花壇	タキアーゼS
花畑	肥料	1 回	2,895 ㎡	段々花畑	タキアーゼS

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要(肥料名等)
芝生	肥料人力・機械	1 回	36,139 ㎡	アルプス大草原、アルプス広場他	バーディグリーン
	目土	1 回	40,713 ㎡	アルプス大草原、アルプス広場他	川砂
中低木	施肥	1 回	26 袋	寄植地	ちから1号
高木	施肥	1 回	16 袋	植栽花木等	まるやま1号
花壇	施肥	2 回	2 袋	入口花壇等	バーディラージ
草花	施肥	1 回	1,000 ㎡	あづみの苑地	タキアーゼS
花畑	施肥	1 回	2,235 ㎡	レキ原	タキアーゼS

【 H26 】

[堀金・穂高 地区]

	種　別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要(肥料名等)
花壇	肥料	2	2 袋	コンテナ、プランター	マグアンプK、エコロング
草花	肥料	1	3 袋	段々原っぱ花壇	エコロング
	土壌改良材	2	2,110 ㎡	段々原っぱ花壇	牛糞堆肥
低木	肥料	1	18 袋	寄植地	ちから1号
高木	肥料	1	12 袋	花木	まるやま1号

[大町・松川 地区]

	種　別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要(肥料名等)
花壇	肥料	1	2 袋	入口コンテナ等	エコロング
花畑	肥料	1	900 ㎡	レキ原	エコロング

別紙－38

農薬散布（位置、数量、時期、頻度等）

【 H24 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
草花	薬剤散布・機械	2 回	2,630㎡	コスモス畑	トリフミン水和剤
花畑	薬剤散布・機械	2 回	250㎡	段々花畑	トリフミン水和剤

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
実績なし					

【 H25 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
草花	薬剤散布・機械	2 回	5,056㎡	コスモス畑	殺菌剤（ベンレート水和剤、マネージ乳剤）

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
実績なし					

【 H26 】

[堀金・穂高 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
草花	薬剤散布・機械	1 回	2,500 ㎡	段々原っぱ	殺菌剤（マネージ乳剤）

[大町・松川 地区]

	種 別	作業回数	施工数量	施工箇所等	摘要 （薬剤名等）
草花	薬剤散布・機械	1 回	900 ㎡	レキ原	殺菌剤（マネージ乳剤）

別紙－39

樹幹注入

【H24】

■樹幹注入実績

堀金・穂高地区

＜実施本数、回数＞

実績なし

大町・松川地区

＜実施本数、回数＞

実績なし

【H25】

■樹幹注入実績

堀金・穂高地区

＜実施本数、回数＞

実績本数：189 本/年　回数：1 回/年

大町・松川地区

＜実施本数、回数＞

実績本数：246 本/年　回数：1 回/年

【H26】

■　樹幹注入実績

堀金・穂高地区

＜実施本数、回数＞

実績なし

大町・松川地区

＜実施本数、回数＞

実績なし

別紙－40

植物性廃棄物の取扱（発生・処理・活用量等）

【 H24 】

[堀金・穂高 地区]

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替（刈取）草花等	1,627 ㎥	1,627 ㎥	管理ヤードストック	1,627 ㎥	－	－
剪定枝、伐採木等	65 ㎥	65 ㎥	管理ヤードストック	65 ㎥	－	－

[大町・松川 地区]

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替（刈取）草花等	3,155 ㎥	3,155 ㎥	管理ヤードストック	3,155 ㎥	－	－
剪定枝、伐採木等	117 ㎥	117 ㎥	チップ化処理	117 ㎥	－	－

【 H25 】

[堀金・穂高 地区]

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替(刈取)草花等	440 ㎥	440 ㎥	管理ヤードストック	440 ㎥	－	－
剪定枝、伐採木等	73 ㎥	73 ㎥	チップ化処理	73 ㎥	－	－

[大町・松川 地区]

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替(刈取)草花等	4,365 ㎥	174 ㎥	管理ヤードストック	174 ㎥	ストックヤード野積み	－
		4,127 ㎥	チップ化	4,127 ㎥	現地敷き均し	4,127 ㎥
剪定枝、伐採木等	99 ㎥	99 ㎥	チップ化処理	99 ㎥	－	－

【 H26 】

[堀金・穂高 地区]

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替(刈取)草花等	210 ㎥	210 ㎥	管理ヤードストック	210 ㎥	－	－
剪定枝、伐採木等	65 ㎥	65 ㎥	管理ヤードストック	65 ㎥	－	－

[大町・松川 地区]

発生物の内容	発生量	処分量	処理方法	処理量	活用方法	再利用量
芝、草、除草等、植替(刈取)草花等	323 ㎥	323 ㎥	管理ヤードストック	323 ㎥	－	－
剪定枝、伐採木等	91 ㎥	91 ㎥	管理ヤードストック	91 ㎥	－	－

収益施設利用者数、売り上げ等

■　収益施設利用者数(1/3)

＜レストラン・売店利用客数＞

【H24 堀金・穂高地区】(単位:個)

月	レストラン	売店	
	あづみの	烏川	常念
4月	1,972	752	151
5月	4,298	1,953	483
6月	1,840	628	0
7月	3,470	1,150	217
8月	9,814	3,401	679
9月	3,086	1,177	0
10月	2,161	808	0
11月	1,699	2,051	0
12月	1,594	2,216	0
1月	638	676	0
2月	713	137	O
3月	839	252	O
合計	32,124	15,201	1,530

【H24 大町・松川地区】(単位:個)

月	レストラン	売店
	休憩棟レストラン	インフォメーション
4月	1,506	607
5月	4,375	1,704
6月	1,423	902
7月	2,781	1,498
8月	7,666	4,204
9月	2,759	1,071
10月	1,874	1,099
11月	2,233	583
12月	1,403	208
1月	903	84
2月	1,312	287
3月	944	151
合計	29,179	12,398

■　収益施設利用者数(2/3)

＜レストラン・売店利用客数＞

【H25 堀金・穂高地区】(単位:個)

月	レストラン	売店
	あづみの	烏川
4月	1,662	1,295
5月	4,690	5,374
6月	1,375	905
7月	2,887	1,546
8月	9,631	6,815
9月	2,459	1,705
10月	2,323	1,740
11月	2,336	1,650
12月	2,483	3,746
1月	876	561
2月	409	68
3月	903	198
合計	32,034	25,603

※H25 より常念は営業なし

【H25 大町・松川地区】(単位:個)

月	レストラン	売店
	休憩棟レストラン	インフォメーション
4月	1,355	632
5月	3,766	2,170
6月	1,492	873
7月	2,634	1,198
8月	6,290	4,260
9月	1,741	1,129
10月	2,482	965
11月	1,226	371
12月	485	72
1月	1,176	68
2月	1,247	473
3月	923	236
合計	24,817	12,447

■　収益施設利用者数(3/3)

＜レストラン・売店利用客数＞

【H26 堀金・穂高地区】(単位:個)

月	レストラン	売店
	あづみの	烏川
4月	1,890	1,128
5月	4,347	7,097
6月	1,337	1,117
7月	3,106	2,254
8月	7,143	9,631
9月	2,143	3,527
10月	1,961	2,565
11月	3,686	2,392
12月	1,105	2,038
1月	975	552
2月	723	237
3月	1,259	586
合計	29,675	33,124

※H25 より常念は営業なし

【H26 大町・松川地区】(単位:個)

月	レストラン	売店
	休憩棟レストラン	インフォメーション
4月	953	32
5月	2,354	678
6月	1,362	794
7月	1,372	624
8月	4,441	3,805
9月	1,435	1,284
10月	1,249	1,132
11月	1,627	916
12月	1,126	112
1月	898	70
2月	937	32
3月	673	39
合計	18,427	9,518

■　収益施設修繕履歴(1/3)

【 H24 】

施設区分		年間修繕回数（平均）	年間修繕金額（平均）	主な修繕	備考
レストラン（あづみの）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－
レストラン（休憩棟レストラン）					
	国修繕	回	0円	－	－
	テナント修繕	1回	8,560円	厨房誘導灯交換	－
売店（烏川）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－
売店（常念）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－
売店（インフォメーション）					
	国修繕	回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－

■　収益施設修繕履歴(2/3)

【 H25 】

施設区分		年間修繕回数（平均）	年間修繕金額（平均）	主な修繕	備考
レストラン（あづみの）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－
レストラン（休憩棟レストラン）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－
売店（烏川）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－
売店（インフォメーション）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－

※H25 より常念は営業なし

■　収益施設修繕履歴(3/3)

【 H26 】

施設区分		年間修繕回数（平均）	年間修繕金額（平均）	主な修繕	備考
レストラン（あづみの）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	2回	18,882円	グリストラップ清掃 消火器購入	－
レストラン（休憩棟レストラン）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	1回	10,000円	グリストラップ清掃	－
売店（烏川）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－
売店（インフォメーション）					
	国修繕	0回	0円	－	－
	テナント修繕	0回	0円	－	－

■　事故等報告件数

【 H24 】

項　目	事故等原因	内　容	件　数
なし	－	－	0
合　計			0件

【 H25 】

項　目	事故等原因	内　容	件　数
なし	－	－	0
合　計			0件

【 H26】

項　目	事故等原因	内　容	件　数
なし			0
合　計			0 件

■　施設資産一覧(1/3)

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
レストラン				
レストラン （あづみの）				
	躯体	建物躯体	一式	国
	設備	空調設備		
		エアコン	一式	国
		換気設備	一式	国
		給排水設備	一式	国
		電気設備	一式	国
		ガス設備	一式	国
		厨房機器		
		冷蔵庫、フライヤー等	一式	テナント
		シンク、調理台等	一式	テナント
	内装	テーブルセット	一式	テナント
		各種什器類	一式	テナント
		食器類	一式	テナント
		営業機材		
		店舗看板等	一式	テナント
		レジスター、メニュー版等	一式	テナント
		その他内装設備等	一式	テナント

■　施設資産一覧(2/3)

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
レストラン （休憩棟レストラン）				
	躯体	建物躯体	一式	国
	設備	空調設備		
		エアコン	一式	国
		換気設備	一式	国
		給排水設備	一式	国
		電気設備	一式	国
		ガス設備	一式	国
		厨房機器		
		冷蔵庫、フライヤー等	一式	テナント
		シンク、調理台等	一式	テナント
	内装	テーブルセット	一式	テナント
		各種什器類	一式	テナント
		食器類	一式	テナント
		営業機材		
		店舗看板等	一式	テナント
		レジスター、メニュー版等	一式	テナント
		その他内装設備等	一式	テナント

■　施設資産一覧(3/3)

売店					
	①売店(烏川)				
		躯体	建物躯体	一式	国
		設備	空調設備	一式	国
			エアコン	一式	国
			換気設備	一式	国
			給排水設備	一式	国
			電気設備	一式	国
		内装	各種什器	一式	テナント
			営業機材	一式	テナント
			その他内装設備	一式	テナント
	②売店(インフォメーション)				
		躯体	建物躯体	一式	国
		設備	空調設備	一式	国
			エアコン	一式	国
			換気設備	一式	国
			給排水設備	一式	国
			電気設備	一式	国
		内装	各種什器	一式	テナント
			営業機材	一式	テナント
			その他内装設備	一式	テナント

■　収益施設売上額(1/3)

【H24 堀金・穂高地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン	売店		臨時売店
	あづみの	烏川（ガイドセンター）	常念（あづみの学校）	園内
4月	1,236,571	503,624	62,218	14,471
5月	2,491,951	1,440,162	176,480	1,419,486
6月	1,174,342	417,777	0	O
7月	2,187,926	771,110	110,943	O
8月	6,160,550	2,456,813	387,361	O
9月	1,933,190	755,917	0	O
10月	1,458,646	862,059	0	O
11月	1,295,545	1,348,906	0	O
12月	1,273,668	1,432,203	0	O
1月	450,239	468,260	0	O
2月	537,772	88,880	0	O
3月	610,722	169,321	0	O
合計	20,811,122	10,715,032	737,002	1,433,957

【H24 大町・松川地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン		売店	臨時売店
	休憩棟レストラン	BBQ 関連	インフォメーション	大草原、レストラン前等
4月	864,850	50,850	197,500	0
5月	2,618,352	512,100	602,896	0
6月	805,110	23,900	317,783	0
7月	1,848,470	123,700	551,392	0
8月	4,586,785	373,300	1,403,177	0
9月	1,558,965	75,800	348,311	0
10月	1,170,135	60,100	382,576	0
11月	1,431,305	0	213,160	0
12月	1,012,845	0	72,355	0
1月	634,650	0	27,262	0
2月	904,405	0	78,268	0
3月	539,360	0	55,458	0
合計	17,972,232	1,219,750	4,250,138	0

■　収益施設売上額(2/3)

【H25 堀金・穂高地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン	売店	臨時売店
	あづみの	烏川（ガイドセンター）	園内
4月	931,360	512,330	0
5月	2,640,570	1,381,520	0
6月	789,460	344,030	0
7月	1,755,140	609,557	0
8月	5,393,170	2,497,180	0
9月	1,422,000	588,435	0
10月	1,328,530	641,120	0
11月	1,198,440	686,800	0
12月	1,495,120	1,382,000	0
1月	623,000	222,665	0
2月	277,840	28,690	0
3月	609,710	82,310	0
合計	18,464,340	8,976,637	0

【H25 大町・松川地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン		売店	臨時売店
	休憩棟レストラン	BBQ 関連	インフォメーション	大草原、レストラン前等
4月	696,191	27,300	186,008	0
5月	2,138,020	60,050	713,507	0
6月	853,090	19,200	260,721	0
7月	1,520,580	95,500	351,030	0
8月	3,672,050	276,840	1,470,857	0
9月	1,046,480	60,500	367,477	0
10月	1,463,680	82,100	310,308	0
11月	773,070	16,500	134,395	0
12月	281,510	0	23,985	0
1月	666,870	0	22,324	0
2月	798,540	0	125,111	0
3月	536,930	0	64,573	0
合計	14,447,011	637,990	4,030,296	0

■　収益施設売上額(3/3)

【H26 堀金・穂高地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン	売店	臨時売店
	あづみの	烏川（ガイドセンター）	園内
4月	1,162,630	302,405	135,230
5月	2,604,770	1,767,290	1,566,710
6月	820,980	308,998	0
7月	1,990,370	746,540	120,000
8月	4,552,581	2,200,386	376,670
9月	1,328,940	846,238	0
10月	1,243,020	619,660	18,400
11月	1,794,770	855,694	781,400
12月	740,050	746,870	1,049,150
1月	644,510	206,200	924,900
2月	456,710	80,560	0
3月	800,356	196,240	0
合計	18,139,687	8,877,081	4,972,460

【H26 大町・松川地区】　　単位：円（税込み）

月	レストラン		売店	臨時売店
	休憩棟レストラン	BBQ 関連	インフォメーション	大草原、レストラン前等
4月	526,540	17,500	14,110	0
5月	1,597,750	92,000	276,900	384,150
6月	863,696	20,000	145,450	0
7月	808,010	50,000	153,400	0
8月	2,545,580	199,500	795,424	485,000
9月	862,370	38,000	327,631	
10月	701,630	20,500	288,696	
11月	904,180	0	239,137	170,000
12月	642,980	0	37,424	185,000
1月	514,050	0	18,820	
2月	562,840	0	8,470	
3月	380,620	0	10,068	
合計	10,910,246	437,500	2,315,530	1,224,150

収益施設従業員数一覧

【堀金・穂高地区】

施設区分		面積（m2）	従業員数（人）			備　考
施設区分	施設名/内訳		通常期	繁忙期	閑散期	
レストラン	①あづみの	278	4	6	2	
売店	①売店（烏川）	64	2	3	1	

【大町・松川地区】

施設区分		面積（m2）	従業員数（人）			備　考
施設区分	施設名/内訳		通常期	繁忙期	閑散期	
レストラン	①休憩棟レストラン	延床：193 外構：20	3	5	2	
売店	②インフォメーション	50	2	3	0	閑散期はレストランと一体運営

別紙－42

臨時物販施設等一覧

【 H24 】

[堀金・穂高 地区]

施設名称	営業場所	開設期間
立体迷路	河畔の広場	H24/4/16～10/31 の間の 199 日間
臨時物品販売所（カレン）	ｶﾞｲﾄﾞｾﾝﾀｰ周辺無料区域	H24/4/27～H24/5/6
臨時物品販売所（松本少年刑務所）	ｶﾞｲﾄﾞｾﾝﾀｰ周辺無料区域	H24/4/27～H24/5/6
臨時物品販売所（カレン）	ガイドセンター周辺	H24/8/10～H24/8/19
臨時物品販売所（カレン）	ガイドセンター周辺	H24/11/3～Ｈ25/1/6 の間の 43 日間
移動販売車（(有）バーデンバーデン）	ガイドセンター周辺	H24/11/3～Ｈ25/1/6 の間の 43 日間
移動販売車（(株）フィールド・オブ・キッチン）	ガイドセンター周辺	H24/11/3～Ｈ25/1/6 の間の 43 日間
移動販売車（(株）マルナカフード）	水辺の休憩所	H24/11/3～Ｈ25/1/6 の間の 43 日間
臨時物品販売所（管理センター）	あづみの学校玄関ホール	H25/1/24～Ｈ25/3/19 の間の 55 日間
自動販売機（15 台）		H24/4/1～H25/3/31

※臨時物販施設には自動販売機を含みます。

[大町・松川 地区]

施設名称	営業場所	開設期間
立体迷路	立体迷路	H24/4/16～H24/10/31
臨時物品販売所（公園財団）	大草原の家周辺	H24/4/27～H24/5/6
臨時物品販売所（あづみの松川直売所）	ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ	H24/5/3～H24/11/25
臨時物品販売所（公園財団）	大草原の家周辺	H24/7/27～H24/8/26
移動販売車（トリＫＩＮＧ）	森の体験舎周辺	H24/11/16～Ｈ25/1/6 の間の 33 日間
移動販売車（WANDERING KITCHEN JIN）	森の体験舎周辺	H24/11/16～Ｈ25/1/6 の間の 33 日間
移動販売車（(株）ｱﾙｶﾞｵｰﾄｻｰﾋﾞｽ Dolce Vivi）	森の体験舎周辺	H24/11/16～Ｈ25/1/6 の間の 33 日間
自動販売機（10 台）		H24/4/1～H25/3/31

※臨時物販施設には自動販売機を含みます。

【 H25 】

[堀金・穂高 地区]

施設名称	営業場所	開設期間
自動販売機（1 台）	管理センター	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
自動販売機（2 台）	ガイドセンター外	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
自動販売機（4 台）	あづみの学校	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 （2 台冬季期間休止）
自動販売機（2 台）	展望テラス	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 （1 台冬季期間休止）
自動販売機（2 台）	水辺の休憩所	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 （1 台冬季期間休止）
自動販売機（2 台）	野の休憩所	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 （1 台冬季期間休止）
自動販売機（1 台）	マシュマロドーム	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 （冬季期間休止）
臨時売店（飲食）	水辺の休憩所	平成 25 年 4 月 27 日～平成 25 年 5 月 25 日 の土日祝日
臨時売店（物販）	ガイドセンター内	平成 25 年 4 月 27 日～平成 25 年 5 月 25 日 の土日祝日
臨時売店（フォトサービス）	展望テラス	平成 25 年 4 月 27 日～平成 25 年 5 月 25 日 の土日祝日
臨時売店（飲食）	水辺の休憩所	平成 25 年 7 月 6 日～平成 25 年 10 月 27 日 の土日祝日及び 8/12～16
臨時売店（フォトサービス）	展望テラス	平成 25 年 9 月 21 日～平成 25 年 11 月 4 日 の土日祝日
臨時売店（飲食）	水辺の休憩所 展望テラス ガイドセンター前	平成 25 年 11 月 23 日～平成 26 年 1 月 5 日
臨時売店（物販）	ガイドセンター内	平成 25 年 11 月 23 日～平成 26 年 1 月 5 日
臨時売店（フォトサービス）	展望テラス	平成 25 年 11 月 23 日～平成 26 年 1 月 5 日

※臨時物販施設には自動販売機を含みます。

［ 大町・松川 地区 ］

施設名称	営業場所	開設期間
自動販売機（1 台）	インフォメーション センター外	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 （冬季期間休止）
自動販売機（2 台）	駐車場トイレ	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
自動販売機（1 台）	入口広場トイレ	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 （冬季期間休止）
自動販売機（3 台）	大草原の家	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
自動販売機（2 台）	森の体験舎	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
自走販売機（1 台）	レンタル棟	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 （冬季期間休止）
臨時売店（飲食）	アルプス大草原	平成 25 年 4 月 27 日～平成 25 年 5 月 25 日 の土日祝日
臨時売店（飲食）	アルプス大草原	平成 25 年 7 月 6 日～平成 25 年 10 月 27 日 の土日祝日及び 8/12～16
臨時売店（飲食、物販）	入口広場	平成 25 年 10 月 5、6 日
臨時売店（飲食）	森の体験舎 インフォメーション センター前 入口広場	平成 26 年 1 月 25 日～平成 26 年 3 月 2 日
臨時売店（フォトサービス）	休憩棟レストラン前	平成 26 年 1 月 25 日～平成 26 年 3 月 2 日

※臨時物販施設には自動販売機を含みます。

【 H26 】

[堀金・穂高 地区]

施設名称	営業場所	開設期間
自動販売機（1 台）	管理センター	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
自動販売機（2 台）	ガイドセンター外	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
自動販売機（3 台）	あづみの学校	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 （1 台冬季期間休止）
自動販売機（1 台）	展望テラス	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 （冬季期間休止）
自動販売機（2 台）	水辺の休憩所	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 （1 台冬季期間休止）
自動販売機（2 台）	野の休憩所	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 （1 台冬季期間休止）
自動販売機（1 台）	マシュマロドーム	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 （冬季期間休止）
自動販売機（2 台）	穂高口ゲート	平成 26 年 4 月 26 日～平成 27 年 3 月 31 日
自動販売機（1 台）	吊橋下広場トイレ	平成 26 年 4 月 26 日～平成 27 年 3 月 31 日 （冬季期間休止）
臨時売店（飲食）	水辺の休憩所 野原 穂高口ゲート前	平成 26 年 4 月 26 日～平成 26 年 5 月 25 日 の土日祝日
臨時売店（フォトサービス）	展望テラス	平成 26 年 4 月 26 日～平成 26 年 5 月 25 日 の土日祝日
臨時売店（飲食）	水辺の休憩所	平成 26 年 7 月 19 日～平成 26 年 8 月 31 日 の土日祝日及び 8/9～17
臨時売店（飲食）	水辺の休憩所 野原 穂高口ゲート前	平成 26 年 9 月 6 日～平成 26 年 10 月 26 日 の土日祝日
臨時売店（フォトサービス）	展望テラス	平成 26 年 9 月 20 日～平成 26 年 10 月 19 日 の土日祝日
臨時売店（飲食）	水辺の休憩所 展望テラス ガイドセンター前（有料区）	平成 26 年 11 月 1 日～平成 27 年 1 月 12 日
臨時売店（フォトサービス）	展望テラス	平成 26 年 11 月 1 日～平成 27 年 1 月 12 日

※臨時物販施設には自動販売機を含みます。

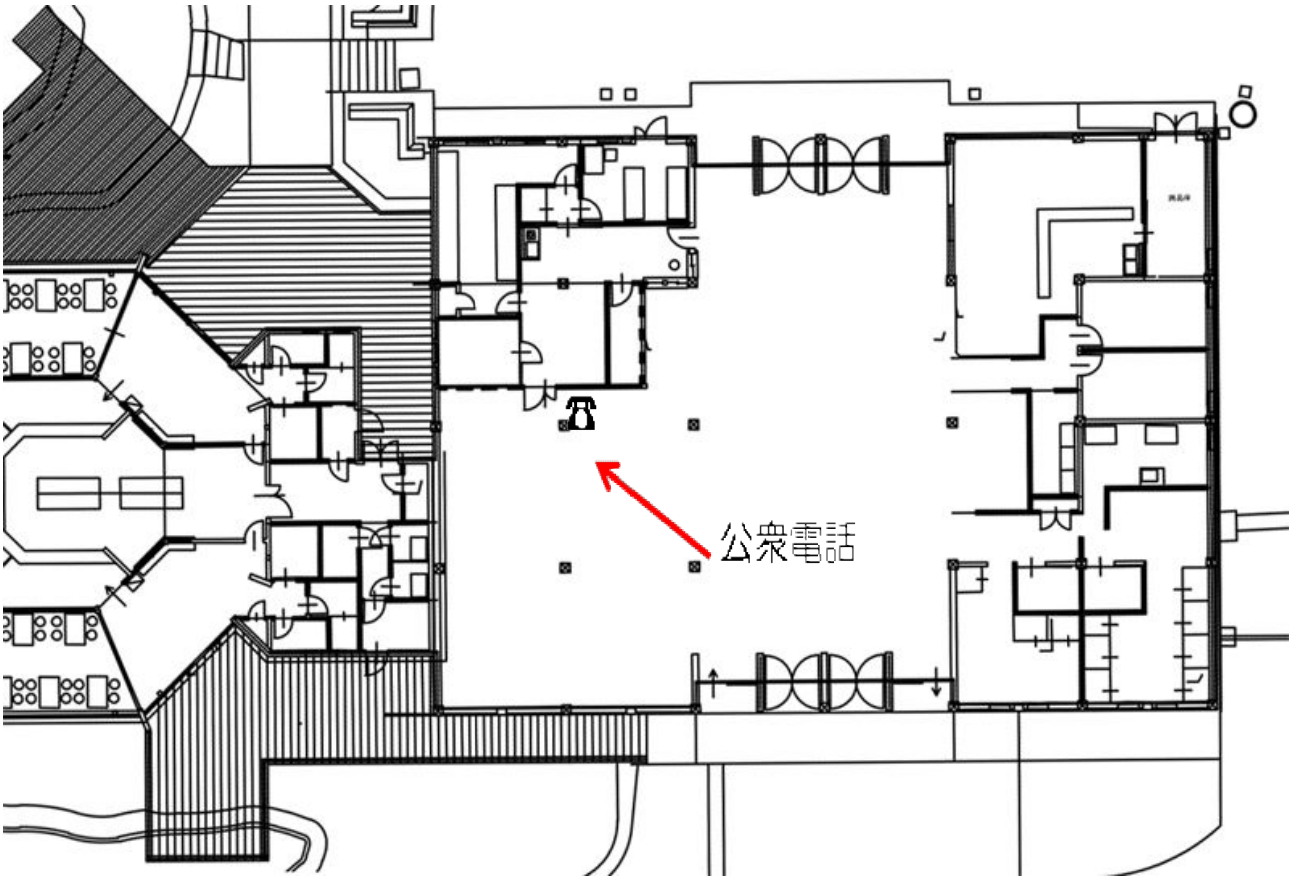
［ 大町・松川 地区 ］

施設名称	営業場所	開設期間
自動販売機（2 台）	駐車場トイレ	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
自動販売機（1 台）	入口広場トイレ	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 （冬季期間休止）
自動販売機（3 台）	大草原の家	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
自動販売機（2 台）	森の体験舎	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
自走販売機（1 台）	レンタル棟	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 （冬季期間休止）
臨時売店（飲食）	アルプス大草原	平成 26 年 4 月 26 日～平成 26 年 5 月 25 日 の土日祝日
臨時売店（飲食）	アルプス大草原	平成 26 年 8 月 2 日～平成 26 年 8 月 31 日 の土日祝日及び 8/12～16
臨時売店（飲食）	アルプス大草原	平成 26 年 9 月 6 日～平成 26 年 10 月 26 日 の土日祝日
臨時売店（飲食）	森の体験舎 インフォメーションセンター （無料区）	平成 26 年 11 月 1 日～平成 27 年 1 月 12 日
臨時売店（フォトサービス）	入口広場	平成 26 年 11 月 1 日～平成 27 年 1 月 12 日

※臨時物販施設には自動販売機を含みます。

公衆電話

【 堀金・穂高 地区 】



国営アルプスあづみの公園［堀金・穂高地区］　公衆電話位置図

【 大町・松川 地区 】

公衆電話は設置していない。

別紙４４

○○公園運営維持管理業務　平成○○年度業務評定

【概要】

公園名	○○公園
所在地	
事業者	
履行期間	自;平成○○年○月○日　　至;平成○○年○月○○日
評価対象年度	平成○○年度

【目標達成状況】

目標指数	事業者が設定した目標値	達成状況	備考
① 公園利用者数	年間○○万人		
② 満足度	年間○○%		
③ ○○	○○		

【運営状況】

評価内容	
評価ランク	優　・　良　・　可　・　不可
特記事項 （特に評価すべき事項、改善が望まれる事項、今後の課題等を記載）	
備　考	

（提出様式１－１）

競争参加資格確認申請書

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
関 東 地 方 整 備 局 長 殿

住　　所
商号又は名称
代 表 者 氏 名　　印
（担　当　者）
所属部署
氏　　名
電話番号
FAX番号
E-mail

（共同企業体の場合は、以下のように記入すること。）
住　　所　共同体事務所の所在地
商号又は名称　H28-31国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務◇◇・○○共同体
代表者氏名　　印

平成27年7月21日付けで入札公告のありました「H28-31国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」に係わる競争に参加する資格について、関係書類を添えて申請します。

なお、添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

（提出様式1－2）
○企業の業務実績

担当する分担業務:○○業務				
会社名:○○○○(株)				
業務名	発注者	受注形態	業務概要	履行期間
○○○○○○○○○業務 内容種別　1)　2)	○○県	・単独 ・共同企業体 (・代表者・代表者以外)	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月
  内容種別　1)　2)				
企業の延べ業務年数				○ヶ月
1級造園施工管理技士保有者数（植物管理業務のみ記入） 平成27年4月1日時点　○名				

注1:業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。
注2:面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付する。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注3:実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等の写しを提出する。
注4:複数の業務を記載する場合は行を追加して記入する。
注5:記載する業務件数による評価は行わない。
注6:内容種別欄は実施要項3．2．の「表7　企業の業務実績等に関する要件」の1)～2)のいずれか該当するものを選び○を記入する。
注7:実施要項3．2．の「表7　企業の業務実績等に関する要件」の注意事項に沿って記載する。
注8:参加する法人の会社概要がわかる公表資料(会社紹介パンフレット、HP等)を別途提出する。

（提出様式1－3）

○総括（業務）責任者の業務実績	担当する分担業務：○○業務

ふりがな 氏名 生年月日　　年　　月　　日
会社名・所属・役職 ○○会社・○○部・○○部長
保有資格（植物管理業務責任者は、1級造園施工管理技士を必ず記入すること） ・1級造園施工管理技士（登録番号：　　）　（取得年月日：　年　月　日）

業務名	発注者	受注形態	業務概要	期間	総括責任者の経験期間	業務責任者の経験期間	業務経験の期間
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1） 2） 3） 4）	○○	・単独 ・共同企業体（・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1） 2） 3） 4）	○○	・単独 ・共同企業体（・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	○月 ～ 平成○年○月
総括責任者の延べ経験年数					○年○ヶ月		
業務責任者の延べ経験年数						○年○ヶ月	
業務経験　の延べ経験年数							○年○ヶ月

注1：業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。
注2：面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付すること。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注3：実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を提出する。
注4：経験年数が複数件にまたがる場合は行を追加して記入する。
注5：企画書の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用される念書（任意様式）及び業務経験証明書（様式1－8）を添付する。
注6：内容種別欄は実施要項3．3．「表8　配置予定者の業務実績等に関する要件」の1）～4）のいずれか該当するものを選び○を記入する。
注7：実施要項3．3．配置予定者の業務実績等に関する要件の実施体制に沿って記載する。
柱8：実施要項3．3．に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できない。配置した場合には、特定しない。ただし、実施要項に定める範囲において兼務は可能とする。

(提出様式１－4)守秘性に関する要件

○守秘義務に関し、下記の処置が講じられているか記載する。

イ. 社内規則等(守秘義務に関する規程及びその罰則規定が明示されているものに限る)制定について

ロ. 守秘義務に関する研修、講習等の定期的な実施について

注1: 守秘義務に関する規程及びその罰則規定を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付することとし、該当部分に下線を引くこと。

共同体の場合は、各構成員それぞれの提出様式１－4を作成し、かつ各構成員それぞれの守秘義務に関する規程及びその罰則を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付することとし、該当部分に下線を引くこと。

（提出様式１－５－１）業務実施体制

［実施要項で定める業務責任者］

<table>
<tr><th rowspan="2">実施要項3.3.に定める業務責任者</th><th rowspan="2">具体的な業務内容</th><th colspan="4">雇用形態</th><th rowspan="2">資格、能力、実務経験年数等（業務内容に対する適切性について記載）</th><th colspan="8">１週間の予定勤務時間</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>常勤</th><th>非常勤</th><th>委託</th><th>その他（具体的に）</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th><th>計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">総括責任者</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td><td>日</td><td>計</td><td rowspan="2">代表企業
○○会社
関東　太郎</td></tr>
<tr><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>40</td></tr>
<tr><td rowspan="2">施設・設備維持
管理業務責任者</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td><td>日</td><td>計</td><td rowspan="2">○○会社
○○　○○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">植物管理
業務責任者</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td><td>日</td><td>計</td><td rowspan="2">○○会社
○○　○○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">収益施設等管理
運営業務責任者</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td><td>日</td><td>計</td><td rowspan="2">○○会社
○○　○○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

※ 組織図（業務実施のための管理機構）を添付する（任意様式）。
※ 総括責任者および業務責任者が資格要件の条件を満たさない場合は特定しない。
※ 備考欄には、所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。共同体の場合は、各構成員の所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。
※ 実施要項　３．３．に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できない。配置した場合には、特定しない。ただし、実施要項に定める範囲において兼務は可能とする。
※ ［実施要項以外で提案する業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者］を配置する場合には、別紙に記入すること。
※ 総括責任者及び総括責任者以外の業務責任者は、原則、実施期間中専任（注）とする。なお、病気・死亡等の事情によりやむを得ず総括責任者又は総括責任者以外の業務責任者を変更する場合は、上記に掲げる基準を満たし、かつ、当初の者と同等以上の者を配置するものとし、予め関東地方整備局の承諾を得るものとする。
（注：専任とは、他の工事及び業務等に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該業務に係る職務にのみ従事していることをいう。ただし、契約の締結後、業務開始するまでの期間（準備期間）は専任を要しない。）

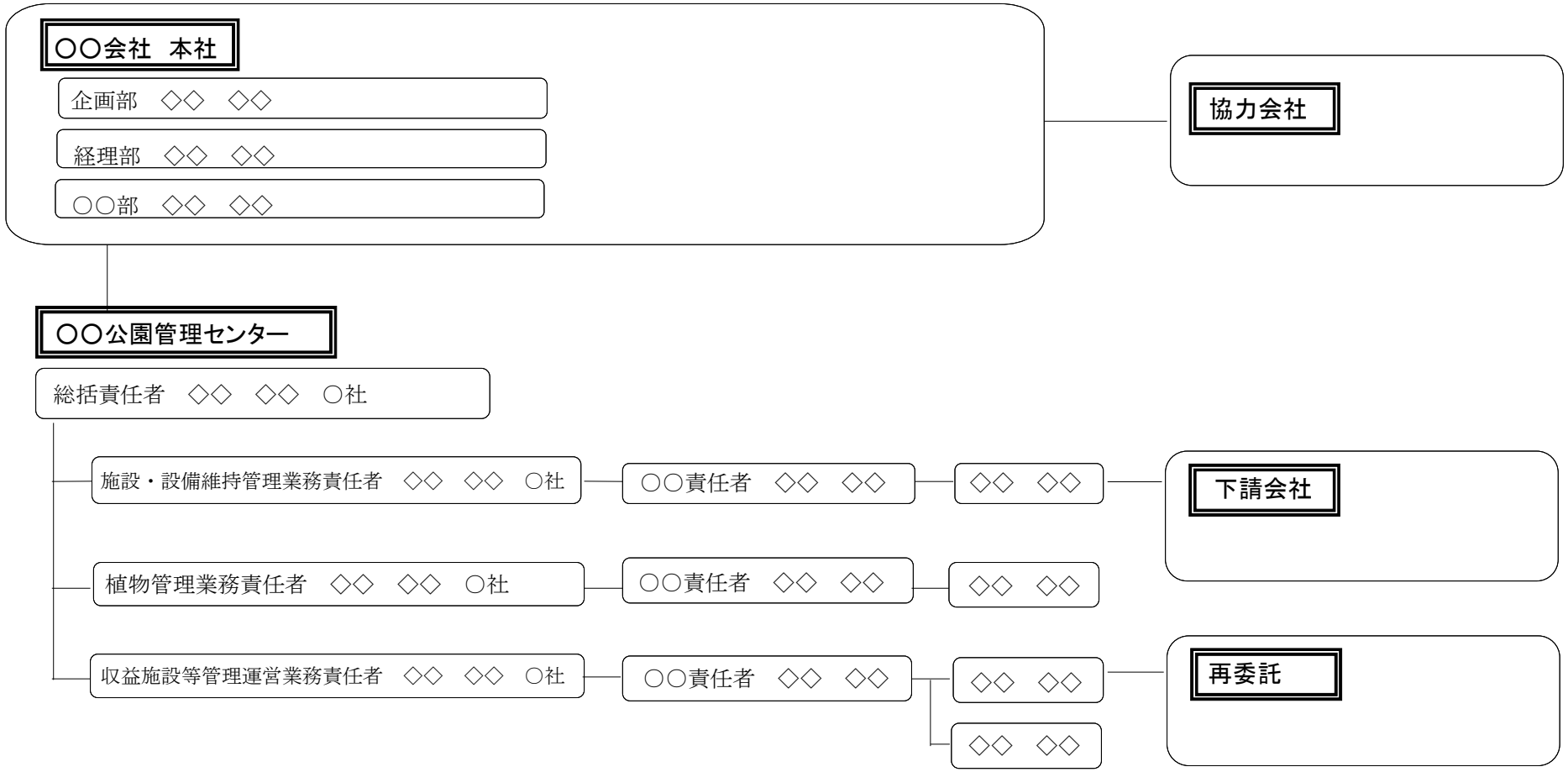
（別紙）

［実施要項以外で提案する業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者］

業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者	具体的な業務内容	雇用形態				資格、能力、実務経験年数等（業務内容に対する適切性について記載）	1週間の予定勤務時間								備考
		常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）										
△△業務責任者の下		○	－	－			月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
○○係長							8	8	8	8	8	0	0	40	
□□業務責任者の下							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
○○リーダー															
							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○

※ ［実施要項で定める業務責任者］の下に配置するのか責任区分を明確にすること。
※ ［実施要項で定める業務責任者］と併せた組織図（業務実施のための管理機構）を添付する（任意様式）。
※ 災害、繁忙期等の緊急時を含み、現地を支援する本社等の体制（責任体制、現地体制）を記載する。
※ 配置予定人員の枠が足りなければ、追加して記入する。
※ 備考欄には、所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。共同体の場合は、各構成員の所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。（氏名が未確定の場合は、氏名について、記載しなくてもよい）
※ 業務責任者の下に配置し、業務責任者を補佐する者を変更する場合は、当該業務に精通した者を配置するものとし、予め関東地方整備局の承諾を得るものとする。

業務実施体制　組織図（業務実施のための管理機構）　（作成例）



注１：共同体の場合は、責任者の氏名の後に構成企業名を記載すること。

(提出様式1－5－2) 業務実施における対応方針

・迅速かつ円滑な意志決定及び臨機の対応が可能となる体制

※上記について、組織面、費用面の対応等を具体的に記載すること。

※A4版１枚以内にまとめる(図表含む。)。
※文字寸法は10.5ﾎﾟｲﾝﾄ以上。
※白黒片面印刷で提出すること。

（提出様式1－5－3）

○申請した総括責任者以外で同一企業に在籍する総括責任者（代替総括責任者）の業務実績

ふりがな 氏名 生年月日　　年　　月　　日							
会社名・所属・役職 ○○会社・○○部・○○部長							
保有資格 ・技術士（建設部門：都市及び地方計画） （登録番号：　　）（取得年月日：年　月　日）							
業務名	発注者	受注形態	業務概要	期間	総括責任者の経験期間	業務責任者の経験期間	業務経験の期間
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1）2）3）4）5）	○○	・単独 ・共同企業体（・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1）2）3）4）5）	○○	・単独 ・共同企業体（・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	○月～平成○年○月
総括責任者の延べ経験年数					○年○ヶ月		
業務責任者の延べ経験年数						○年○ヶ月	
業務経験　の延べ経験年数							○年○ヶ月

注1：業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。

注2：面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付すること。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。

注3：実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を提出する。

注4：経験年数が複数件にまたがる場合は行を追加して記入する。

注5：内容種別欄は実施要項3．3．「表8　配置予定者の業務実績等に関する要件」の1）～5）のいずれか該当するものを選び○を記入する。

注6：実施要項3．3．配置予定者の業務実績等に関する要件の実施体制に沿って記載する。

(提出様式1－6)実施方針

※A4版２枚以内にまとめる(図表含む。)。
※文字寸法は10.5ﾎﾟｲﾝﾄ以上。
※別紙年間業務計画を添付する。それ以外の添付資料は認めない。
※白黒片面印刷で提出すること。

（別紙）

年間業務計画（作成例）

工　種	種別	実施頻度	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
植物管理	芝生管理	●回／年												
	低木管理	●回／年												
	高木管理	●回／年												
	草花管理	●回／年												
●●●●														
●●●●														
●●●●														
●●●●														

(提出様式1－7)再委託又は、下請負の予定(協力企業の名称等)

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容 分担業務内容			

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容 分担業務内容			

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容 分担業務内容			

注１：再委託又は、下請負（予定含む）がある場合に記入する。

注２：原則として、小規模な業務※を除き、記載された以外の業務を再委託又は下請負する場合には、金額および必要性等について協議が必要となる。
※　小規模な業務とは、基本的に契約金額が100万円未満の業務等

注３：再委託又は、下請負の枠が足りなければ、追加して記入すること。

注４：組織図（業務実施のための管理機構）に記入すること。

念書(例)（申請書類提出時に当該法人と雇用関係が無い場合）

支出負担行為担当官
関東地方整備局長　様

念書（例）

株式会社○○○○と関東太郎は、現在雇用関係に無いが、下記の場合において雇用契約を締結するものとする。

記

国土交通省関東地方整備局で、平成27年●月●日付けで入札公告のあった「H28-31国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」と契約締結した場合。

平成２７年○月○日

住所
電話番号
会社名　株式会社○○○○
代表者　代表取締役社長△△　△△　印

住所

氏名　　関東　太郎　印

(提出様式1－8)業務経験証明書

氏名(ふりがな)	関東　太郎 (　　年　　月　　日生)
会社名	□□□□株式会社
業務実績	○○業務の○○責任者として従事。
従事期間	年　　月　　日 ～ 年　　月　　日
備考	

上記の通りであることを証明します。

平成２７年○月○日

住　所

電話番号
会社名　　□□□□株式会社

代表者　　役職名　　氏名　　印

（提出様式１－９－１）

平成　　年　　月　　日

収益施設運営実績書

国土交通省　関東地方整備局　　殿

（申請者）社　名
代表者　　印
所在地
TEL(FAX)

下記収益施設等について運営実績書を提出します。

記

（記入例）

	国営アルプスあづみの公園 収益施設名	収益施設運営実績（※１）		収益施設運営予定（※２）	
		企業としての実績	配置予定者としての実績	申請者（共同体構成員を含む）	申請者以外の者（再委託・下請け等）
１	飲食施設	◎ （(株)○○）	◎ （○○太郎）	○ （(株)○○）	
２	物販施設	○ （(株)○○）		○ （(株)○○）	
３	自動販売機	○ （(株)○○）		○ （(株)○○）	

（提出様式１－９－１）の注意事項

※１　収益施設運営実績について、実施要項３．２．企業の業務実績に関する要件、及び３．３．配置予定者の業務実績に関する要件の「⑤収益施設等運営業務」で申請している収益施設に「◎」を記入し、その他実績を有する収益実績は「○」を記入する（共同体の場合は、代表企業又は構成員の実績でも可。その場合「◎」、「○」のあとに実績のある者を具体的に記入する。（例「○（(株)○○）」、「◎（○○太郎）」）
　又、「◎」、「○」を記入した施設の全ての施設について（提出様式１－９－３）に記入すること。

※２　収益施設運営予定について、国営アルプスあづみの公園において、申請者または申請者以外の者で行うのかいずれかに「○」を記入する。なお、収益施設運営実績の申請者と収益施設運営予定の申請者が必ずしも同一箇所でなくてもよい。（共同体の場合は、代表企業又は構成員の実績でも可。その場合「○」のあとに実績のある者を具体的に記入する。（例「○（(株)○○）」、「○（○○太郎）」）。申請者以外の者が未定の場合は、「○」のあとに「未定」と記載す

ること。（例「○（未定）」）

又、申請者以外の者によって実施し、予定している企業等がある場合は、（提出様式１－７）に記載すること。

※３　「H28-31国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」に入札参加しようとする者は、公園施設と連携して収益施設を運営することから、国営アルプスあづみの公園収益施設等管理運営規定書（以下、「規定書」という。）の事項を確認の上、収益施設運営実績書を提出しなければならない。

また、「H28-31国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」の受託者は、収益施設について都市公園法第５条の申請を行い、許可を受け所定の使用料を国へ支払なければならない。

※４　共同体として参加する者が提出する場合は、H28-31国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務について、代表企業を申請者とする。

（提出様式１－９－２）

会社の概要

（１）以下について記入するものとする。

①社名	（　　）
②業種（主・副）	（　　・　　）
③設立	（　　年　　月）
④資本金	（　　円）
⑤従業員数	（　　人）
⑥株式	（　上場　・　非上場　）
⑦株主数	（　　人）
⑧営業範囲	（東京都・関東甲信地方・全国　）
⑨年商	（　　円）

（２）下記の最新資料を添付するものとする。

①会社概要書等
②登記簿謄本
③財務諸表（過去3ケ年分）

※　提出様式１－９－１で記載している全ての収益施設の施設等運営者について記載すること。（収益施設運営実績、収益施設運営予定を含む）

※　財務諸表については、決算報告に使用された「貸借対照表」「損益計算書」「営業報告書」「利益の処分又は損失の処理に関する議案」等（過去３ケ年分）を提出するものとする。

※　申請者以外の者については、上記（２）②、③は提出しなくてもよい。ただし、落札者決定された場合は、業務計画書提出時までに提出するものとする。

※　申請者以外の者が未定の場合は、上記（１）①社名に「未定」と記載すること。ただし、落札者決定された場合は、本様式と上記（２）①～③を業務計画書提出時までに提出するものとする。

（提出様式１－９－３）

○○施設運営実績

項　　目	内　　容
・施設名 ・所在地 ・開設年	（記入例） ・○○○○　　○○店 ・東京都○○市○○１－２－３ ・平成○年○月
・業態 ・取扱品目 ・主な客層	（記入例） ・フルサービス和食レストラン ・郷土料理 ・家族連れ、観光客
・構造 ・規模	（記入例） ・構　　造　　RC構造 ・延床面積　　401.88㎡ ・客席面積　　300㎡ ・席　　数　　100席 ・厨房面積　　50㎡ ・駐 車 場　　平面駐車場　普通車20台
・売上高	記入例） ・120,000千円／年（過去３ヶ年の平均）
・従業員数	（記入例） ・社員３人、補員５人

※　提出様式１－９－１の収益施設運営実績の◎及び○と記載した箇所についてそれぞれ１件以上記載すること。企業及び配置予定者の業務実績が同じ収益施設で異なる施設（別の施設）の場合は、それぞれ記載すること。　又、施設等により物理的条件より記載が難しい場合であっても実施している概要がわかる内容を記載すること。

※　売上高は、過去３ヶ年の平均とし、実績がないものは、過去２年又は１年でもよい。又１年に満たない場合は、予定金額でもよい。

※　実績を証明する登記簿又は契約書等の写しと、自由様式で施設概要がわかる資料又は写真等を２～３枚添付すること。

なお、自由様式は、Ａ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（提出様式１－１０）

（第１面）

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
関東地方整備局長
○○　○　殿

（郵便番号　　）
入札参加事業者　住　　所

電話番号（　　）　　－

商　　号
又は名称

氏　　名　　㊞

（法人にあっては、代表者氏名）

法定代理人　　㊞
氏　　名

入 札 参 加 事 業 者 等 確 認 書

この書面の記載事項は、事実に相違ありません。

（留意事項）

１　この書面及び提出書類は、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第１０条各号に規定されている欠格事由該当性の審査に必要であり、この書面及び提出書類に記載されている個人情報については、欠格事由該当性の審査のため、必要な範囲において利用し又は警察庁等関係行政機関に対し提供します。

２　この書面とともに、第８面の一覧表に示す書類の提出をお願いします。

３．提出した様式のデータおよび電磁的記録媒体（第８面※８参照）をCD－Rで提出願います。

1　入札参加事業者

個人・法人の別	□　個　　人	□　法　　人

ア　入札参加事業者が個人の場合

フリガナ	生年月日 （性別）	本　　籍
氏　　名		住　　所
フ　リ　ガ　ナ		事業活動の内容
商号又は屋号		
	（　）	

イ　入札参加事業者が法人の場合

フ　リ　ガ　ナ	主たる事務所の所在地
商号又は名称	代表者の氏名
事　業　活　動　の　内　容	

（記載上の注意）

1　「個人・法人の別」は、該当するものに○印を付けて下さい。

2　「商号又は屋号」は、商号登記をしているときはその商号を、商号登記していないときは屋号等の名称のうち１個を記載して下さい。

2　法定代理人

フリガナ	生年月日 （性別）	本　　籍
氏　　名		住　　所
	（　）	
	（　）	

（記載上の注意）

1　「法定代理人」は、

①　入札参加事業者（法人の場合は、当該法人の役員）

②　入札参加事業者の親会社等（法人の場合は、当該法人の役員）

が、法第１０条第６号に規定する「営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者」である場合に、当該未成年者の法定代理人を記載して下さい。

2　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第２面の次に添付して下さい。

３　役　員　等

フ　リ　ガ　ナ	生年月日（性別）	本　　籍
氏　　名	役職名又は名称	住　　所
	（　）	
	（　）	
	（　）	
	（　）	
	（　）	
	（　）	
	（　）	
	（　）	

（記載上の注意）

１　入札参加事業者が法人の場合に記載して下さい。

２　「役員等」とは、役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員、監事、監査役又はこれらに準ずる者）及び相談役、顧問等名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいい、その全てを記載して下さい。

３　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第３面の次に添付して下さい。

４　主要株主・主要出資者

発行済株式の総数		出資総額	

ア　主要株主・主要出資者が個人の場合

フ リ ガ ナ 氏　　名	生年月日（性別）	本　　籍 住　　所 所有株式数又は出資金額	 割　　合
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		

イ　主要株主・主要出資者が法人の場合

フ リ ガ ナ	フ リ ガ ナ	主 た る 事 務 所 の 所 在 地	
商号又は名称	代表者氏名	所有株式数又は出資金額	割　　合

（記載上の注意）

１　主要株主とは、発行済株式の総数の１００分の５以上の株式を所有する株主をいいます。

２　主要出資者とは、出資総額の１００分の５以上の額に相当する出資をしている者をいいます。

３　割合は、「所有株式数（出資金額）／発行済株式の総数（出資総額）×１００」とします。

４　法第１０条第９号の親会社等に該当する場合は、第６面の「５親会社等」欄に記載して下さい。

５　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、個人の場合は第４面の次に、法人の場合は第５面の次にそれぞれ添付して下さい。

５　親会社等

ア　施行令第３条第１項第１号に該当する場合

○　個人の場合

フ リ ガ ナ	生年月日（性別）	本　　籍		
氏　　名		住　　所		
		議決権の総数	所有する議決権の数	割　　合
	（　　）			

○　法人の場合

フ リ ガ ナ	フ リ ガ ナ	主 た る 事 務 所 の 所 在 地		
商号又は名称	代表者氏名	議決権の総数	所有する議決権の数	割　　合

イ　施行令第３条第１項第２号に該当する場合

フ リ ガ ナ	フ リ ガ ナ	主 た る 事 務 所 の 所 在 地
商号又は名称	代表者氏名	その役員に占める自己の役員等の割合

ウ　施行令第３条第１項第３号に該当する場合

フ リ ガ ナ	フ リ ガ ナ	主 た る 事 務 所 の 所 在 地
商号又は名称	代表者氏名	その代表権を有する役員の地位を占める自己の役員等の氏名

（記載上の注意）

１　「親会社等」には、入札参加事業者と次の関係（特定支配関係）にある者（施行令第３条第１項第１号から第３号まで）を記載して下さい。

①　その株主（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株主を除く。）又は総出資者の議決権の過半数を有していること。（第１号）

②　その役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員又はこれらに準ずる者をいう。）に占める自己の役員又は職員（過去２年間に役員又は職員であった者を含む。以下同じ。）の割合が２分の１を超えていること。（第２号）

③　その代表権を有する役員の地位を自己又はその役員若しくは職員が占めていること。（第３号）

２　親会社等に該当するものがある場合は、その該当する欄に記載して下さい。

３　その役員に占める自己の役員等の割合は、「入札参加事業者における自己の役員等の数／入札参加事業者の役員の数×１００」とします。

6　親会社等の役員等

法人の商号又は名称		
フリガナ	生年月日（性別）	本　　籍
氏　　名	役職名又は名称	住　　所

	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	

	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	

（記載上の注意）

1　親会社等が法人の場合は、当該法人の役員等（第３面でいう「役員等」に同じ。）を全て記載して下さい。

2　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第７面の次に添付して下さい。

7　提出書類

この書面のほか、下表に示す提出書類のうち、該当するものを提出して下さい。なお、提出する
書類については、チェック欄に〇印を付けて下さい。

提　出　書　類　一　覧　表	ﾁｪｯｸ
1　住民票の写し（外国人の場合は外国人登録原票の写し）※1【落札者決定後】	
①　入札参加事業者（個人）	
②　入札参加事業者（個人）の法定代理人※2	
③　入札参加事業者（法人）の役員	
④　入札参加事業者（法人）の役員の法定代理人	
⑤　入札参加事業者（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者※3	
⑥　入札参加事業者（法人）の親会社等※4（個人）	
⑦　入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）の法定代理人	
⑧　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
⑨　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員の法定代理人	
⑩　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者	
2　登記事項証明書（履歴事項全部証明書）※5	
⑪　入札参加事業者（法人）	
⑫　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）	
3　戸籍抄本※6	
⑬　入札参加事業者（個人）	
⑭　入札参加事業者（法人）の役員	
⑮　入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）	
⑯　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
4　未成年者登記簿の謄本※7	
⑰　入札参加事業者（個人）	
⑱　入札参加事業者（法人）の役員	
⑲　入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）	
⑳　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
5　誓約書　［別添］	
㉑　入札参加事業者（個人）	
㉒　入札参加事業者（法人）	
6　電磁的記録媒体※8	

※1　住民票の写しは、本籍地の記載のあるものとし、外国人登録原票の写しは、その者が外国人で外国人登録をしている場合に提出して下さい。また、いずれも発行後６ヶ月以内のものを提出して下さい。

※2　法定代理人とは、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合の当該未成年者の法定代理人をいいます。

※３　役員と同等以上の支配力を有する者とは、正規の役員ではないが、相談役、顧問等名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいいます。

※４　親会社等とは、入札参加事業者と施行令第３条第１項各号のいずれかに該当する関係（特定支配関係）を有する者とします。

※５　登記事項証明書（履歴事項全部証明書）は、発行後６ヶ月以内のものを提出して下さい。

※６　戸籍抄本は、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合及びその者が未成年者で婚姻により成年に達したものとみなされている場合（民法第７５３条）に提出して下さい。

※７　未成年者登記簿の謄本は、その者が未成年者であって、営業に関し成年者と同一の行為能力を有する場合（婚姻により成年に達したものとみなされている場合を除く。）に提出して下さい。

※８　電磁的記録媒体の作成要領

意見聴取に必要な電磁的記録は、氏名カナ、氏名漢字、生年月日、性別とし、これらをＣ　Ｓ　Ｖ 形式（ 例えば、エクセル、アクセス等）により、電磁的記録媒体（ ＣＤ－Ｒ）に以下の要領で記録する。

①　電磁的記録媒体に記載すべき対象者は、第２面～第７面に記載された全ての者とする。

②　氏名カナは、半角で記録し、姓と名の間を半角で１マス空ける。

③　氏名漢字は、全角で記録し、姓と名の間を全角で１ マス空ける。なお、常用漢字でない等の理由により、漢字が記録不可能な場合は、当該漢字に代えて平仮名を記録する。

④　生年月日のうち、年、月及び日については、半角の２ 桁で記録する。元号については、明治の場合は「M」、大正の場合は「T」、昭和の場合は「S」、平成の場合は「H」と半角で記録する。

⑤　性別については、男性の場合は「M」、女性の場合は「F」と半角で記録する。

⑥　氏名カナ、氏名漢字、元号、年、月、日及び性別は、それぞれセル毎で区切る。

⑦　記載例（データ上の記載）

昭和３ ８ 年７ 月１ ４ 日生まれの公共太郎（ 男性）の場合は、

氏名カナ(半角)	氏名漢字(漢字)	元号(半角)	年	月	日	性別
ｺｳｷｮｳ ﾀﾛｳ	公共　太郎	S	38	7	14	M

[別添]

支出負担行為担当官
関東地方整備局長
○○　○　殿

平成　　年　　月　　日
住　　所
商号又は名称
代表者氏名　　㊞

誓約書

平成２７年7月21日付けで公告のありました「H28-31国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務」の入札に参加するにあたり、下記のとおり誓約します。

記

1 競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）第15条において準用する第10条各号に該当する者でないこと。

2 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

3 他の入札参加者又は所属する共同体以外の共同体の構成員との間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
１）資本関係
以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。
①親会社と子会社の関係にある場合
②親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
２）人的関係
以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし②については、会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。
①一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
②一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

4 国営アルプスあづみの公園事務所で平成26年度に実施の「H26国営アルプスあづみの公園運営維持管理手法改善検討他業務」の受託者でないこと。

5 国営アルプスあづみの公園事務所で平成27年度に実施の「H27あづみの公園運営維持管理方針策定業務」の受託者でないこと。

6 国営アルプスあづみの公園事務所で平成27年度に実施の「H27国営アルプスあづみの公園運営維持管理履行確認業務」の受託者でないこと。

7 国営アルプスあづみの公園事務所で平成27年度に実施の「H27国営アルプスあづみの公園利用満足度調査業務」の受託者でないこと。

8 業務の一部について再委託等を行わせる場合、暴力団又は暴力団関係者を再委託先としないこと。又、再委託先等が暴力団又は暴力団関係者と知りながらそれを容認して再委託契約を継続させないこと。

9 申請書類の内容については事実と相違ないこと。

上記誓約に相違があった場合は、入札参加の取消し、契約解除等の措置又は処分も甘受し、一切の意義を申し立てないことを併せて誓約します。

以上

申請書類における留意事項について

１．提出部数は１部とし、通しの頁数を次の例ように頁右下に記載するものとする。
（例　1／10，2／10･･･9／10，10／10）。

２．提出様式１－２「企業の業務実績」
①記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を必ず添付すること。
②単体および共同体の担当する分担業務については、「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」「植物管理業務」、「収益施設等運営業務」とし、さらに細かく業務を分担する場合には「施設・設備維持管理業務のうち、施設管理」などの記載とし、独自に「総合運営管理業務（例）」など独自の名称は作らないこと。
③本業務全体の計画立案及びマネジメント業務の実績については、説明書１．（２）１）で記載しているとおり、必ず「本公園の運営維持管理全般について目標及び業務計画を策定し、多岐にわたる業務について総合的な調整を行い、適切な進捗管理を実施」した会社とし、その内容について契約書で記載されていない場合は、その内容が確認できる業務の仕様書等も添付すること。
④共同体の場合は、本業務全体の計画立案及びマネジメント業務を担当する企業を代表企業とすること。

３．提出様式１－３「総括（業務）責任者等の業務実績」
①記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を必ず添付すること。
②「本業務全体のマネジメント及び企画立案業務」、「施設・設備維持管理業務」、「植物管理業務」、「収益施設等運営業務」の業務責任者においては、業務を分割し複数の業務責任者を配置できないものとする。なお、複数　配置した場合には、特定しない。
ただし、実施要領に定めた範囲において兼務は可能とする。
③共同体の場合は、本業務全体の計画立案及びマネジメント業務を担当する総括責任者を代表企業の社員（予定を含む）とすること。また、「所属・役職」の欄に会社名を記載すること。

４．提出様式１－４「守秘性に関する要件」
①守秘義務に関する規定を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付すること。また、共同体の場合は、構成員毎に様式１－４の提出及び守秘義務に関する規定を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付すること。該当部分に下線を引くこと。

５．提出様式１－５－１「業務実施体制」
①共同体の場合は、備考欄に所属企業名および職務、配置予定者の氏名を記載すること。
②組織図（業務実施のための体制図）を添付すること。その際に担当する分担業務を記載すること。
③実施要項３．３．表８に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できないものとする。なお、複数配置した場合には、特定しない。

６．提出様式１－５－２「業務実施における対応方針」
Ａ４版片面１枚以内で、文字寸法は１０．５ポイント以上とすること。
図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。
白黒片面印刷で提出すること。

７．提出様式１－６「実施方針」
Ａ４版片面２枚以内で、文字寸法は１０．５ポイント以上とすること。
図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。
白黒片面印刷で提出すること。

８．提出様式１－１０「入札参加事業者等確認書」
　落札者は、住民票の写し（外国人の場合は外国人登録原票の写し）について、落札決定日から２週間以内に提出すること。
　様式のデータおよび電磁的記録媒体（第８面参照）をCD－Rで提出すること。

（提出様式２－１）

企画書

業務の名称　　H28-31国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務

履行期限　　平成　　年　　月　　日

標記業務について、企画書を提出します。

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
関東地方整備局長
下保　修　殿

提出者）住　　所
電話番号
会 社 名
代 表 者 役職名　　氏　　名　　印

作成者）担当部署
氏　　名
電話番号
ＦＡＸ
Ｅ－mail

（共同企業体の場合は、以下のように記入すること。）
住　所　：共同体事務所の所在地
電話番号：共同体事務所の電話番号
ＦＡＸ　：共同体事務所のＦＡＸ番号
会社名　：○○○○業務
△△・○○共同体
代表者　：△△㈱　役職名　　氏名　印

注）紙入札方式による場合は代表者印を押印してください。

（提出様式２－２―１）

１）目標とする公園利用者数の確保に関する提案

基本的な考え方・方針
○○○を基本的な方針として、○○○

公園利用者数【数値目標】　（単位：万人）

年目	地区名	1年目				2年目	3年目
年間公園利用者数	堀金・穂高地区						
	大町・松川地区						
合計							
四半期毎公園利用者数		1	2	3	4		
	堀金・穂高地区						
	大町・松川地区						
合計							

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※目標とする数値を各年度設定の上、その公園利用者数確保に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―２）

２）利用満足度の確保に関する提案

基本的な考え方・方針

○○○を基本的な方針として、○○○

公園利用者の満足度（公園「満足」）【数値目標】　（単位：％）

年目	地区名	1年目				2年目	3年目
年間公園利用者の満足度	堀金・穂高地区						
	大町・松川地区						
四半期毎公園利用者の満足度		1	2	3	4		
	堀金・穂高地区						
	大町・松川地区						

１．企画提案項目：○○○の活用

・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。

・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

４．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

５．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。

※目標とする数値を設定の上、その満足度数の確保に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―３）

３）地域特性を活かした植物管理に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

公園利用者の満足度（植物管理「満足」）【数値目標】　　（単位：％）

年目	地区名	1年目	2年目	3年目
年間公園利用者の満足度	堀金・穂高地区			
	大町・松川地区			

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※本公園の「植物管理」利用者満足度の目標を設定の上、それらの実施、達成に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―４）

４）公園特性及び資源、施設を活かした運営管理に関する提案

基本的な考え方・方針
○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※企画提案項目の１．～５．に、本公園の設置目的を踏まえ、2地区分散型公園としての機能を発揮させるための維持管理方法について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―５）

５）多様な利用プログラムの提供に関する提案

基本的な考え方・方針

○○○を基本的な方針として、○○○

体験プログラムの開催種数【数値目標】　（単位：種類）

年目	地区名	1年目	2年目	3年目
体験プログラム開催種数	堀金・穂高地区			
	大町・松川地区			
合計				

体験プログラムの参加人数【数値目標】　（単位：人）

体験プログラム参加者数	堀金・穂高地区			
	大町・松川地区			
合計				

１．企画提案項目：○○○の実施

・具体的な企画提案：○○○において、・・・・○○○を実施します。

・期待される効果：○○○を実施することにより、・・が期待されます。

２．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

期待される効果：

４．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

５．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。

※本公園の体験プログラムの開催種類及び延べ参加人数の目標を設定の上、企画提案項目の１．～２．にそれらの実施、達成に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案項目３．～５．に、多くの公園利用者が参加、体験、交流できる多様なイベン

ト、展示等の行催事の実施について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※自主事業の自主イベントの企画提案については「（提出様式２－２－１０）自主事業に関する提案」に記述するものとし、本様式では委託費で行う行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収すること等ができるものを含む）のみを記載すること。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―６）

６）情報受発信に関する提案

基本的な考え方・方針
○○○を基本的な方針として、○○○

マスコミ報道件数・ホームページアクセス件数【数値目標】　（単位：件）

年目	１年目	２年目	３年目
年間 マスコミ報道件数	○○	○○	○○
年間 ホームページアクセス件数	○○	○○	○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※マスコミ報道件数やホームページアクセス件数の目標を設定の上、それら実施、達成に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

別紙P532

（提出様式２－２―７）

７）地域との連携活動・市民との協働活動に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○と連携
・具体的な企画提案：○○○と連携し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○と連携することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．～２．に、周辺自治体や学校、地域住民等関係機関や関係者との連携体制、協力体制の構築に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．～５．に、ボランティアやＮＰＯ団体との連携方策及びボランティア活動の充実・継続に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―８）

８）公園利用者等の安全を確保する管理手法に関する提案

基本的な考え方・方針
○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．～２．に、公園利用者の安全・安心を確保する施設管理および運営管理について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．～４．に、既存地形や本公園の特性を踏まえた上で、ハード面、ソフト面でのユニバーサルデザイン対応について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目５．に、公園スタッフに関する事故を未然に防ぐ取組について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―９）

９）緊急時及び非常時の対応に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の実施
・具体的な企画提案：○○○について、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○をすることにより、・・・・の防止が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．～２．に、緊急事態を想定し、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．～４．に、トラブル時や緊急時に円滑に対応し、かつ被害を拡大させないための体制、対策について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目５．に、繁忙期において、混乱回避のための体制構築を含めた対応策について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１０）

１０）自主事業に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の実施
・具体的な企画提案：○○○において、・・・・○○○を実施します。
・期待される効果：○○○を実施することにより、・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※公園の目的・魅力の向上の観点について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※自主事業：事業者の独立採算により行う事業をいう。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１１）

１１）収益施設の運営に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が見込まれます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．～３．に飲食施設における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目４．～５．に物販施設における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１２）

１２）各業務の最低水準（現行基準）として示された仕様書に対する、改善提案

基本的な考え方・方針
○○○を基本的な方針として、○○○

１．改善提案項目：○○○工
・設計数量：○○ｍ２
・変更数量：○○ｍ２
・変更可能な理由：○○○を導入し、・・○○の質が向上（○○を削減）します。
・期待される効果：○○○を導入することにより、・・・の削減が見込まれます。

２．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果：

３．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果：

４．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果：

５．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果

※各改善提案項目には通し番号を付けること。
※改善提案による質の維持向上又は経費の削減（あるいはその両方）に関する提案について、実現性のある改善提案および期待される効果を具体的に記述する。
※設計数量が変更となる場合には、数量総括表に変更数量を記述して提出すること。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

別紙P538

【別添】

企画書の提案に関する注意事項等

１．各企画提案および改善提案について、着眼点が他と比較して優れており、具体性、実現性があり、当該公園において適切かつ効果的なものであるか等の妥当性について総合的な観点から評価する。

２．各企画提案および改善提案の頁数は、説明図表を含めＡ４版２頁以内とする。
上記頁数を超えた場合、加点評価対象は２頁目までに記載されている内容とし、３頁目以降に記載した内容は加点評価対象としない。ただし、３頁目以降に記載した内容（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

３．各企画提案の項目数は最大５項目までとし、記載の順に１から５までの通し番号を付けること。
　加点評価対象は番号１から５の企画提案項目までとし、これを超えた企画提案項目は加点評価対象としない。また、通し番号の記載がない企画提案項目についても加点評価対象としない。ただし、超過した企画提案項目又は通し番号の記載がない企画提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

４．改善提案は、記載の順に１から通し番号を付けること。
　通し番号の記載がない改善提案項目については加点評価対象としない。ただし、通し番号の記載がない改善提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。
　頁数は、上記２．によるものとする。

５．１つの企画提案項目は１つの着目対象（〇〇対策、等）に限って設定すること。
　複数の着目対象に対する企画提案項目を記載した場合には、当該企画提案項目を加点評価対象としない場合がある。ただし、当該企画提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

６．１つの企画提案項目に対する具体的な企画提案は、業務の特性及び現場条件等を考慮のうえ､企画提案項目とした着目対象に関して効果を発現させるための実施方法(効果を高めるために付帯して行うものを含む。）を具体的に記載する。
　曖昧な表現及び「仕様書に基づき履行」等の簡易な表現はしないこと。

７．以下に示すような企画提案項目は、標準案と同程度であり効果が期待できないものとし、加点評価しない。

①仕様書及び関係法令を遵守した標準的な内容

８．以下に示すような企画提案項目は、実施を認めないもの（履行不可）とする。

①関係法令に違反するもの

②入園料、使用料等の増減を変更させるもの

③開園日時を変更させるもの(主催イベントなど仕様書で明示してあるものは除く)

９．文字寸法は１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。

10．白黒片面印刷で提出するものとする。

11．企画書の提出部数は１部とし、通しの頁数を以下の例のように頁右下に記載するものとする。（例　1／10，2／10･･･9／10，10／10）。

12．企画書に個別法人および個別グループ等が特定できる記載内容（法人名、個人名など）がある場合は、その記載された頁に該当する実施要項表９に示す｢区分｣は加点評価対象としない。ただし、当該区分（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

（例）　▲▲会社　→　当法人
■■財団　→　当法人
◇◇共同体　→　当法人
□□グループ　→　関連グループ　等
※固有の名称は用いないこと。

13．各企画提案および改善提案を作成する上で、同様な内容を記述する場合は、該当箇所に｢（再掲）｣と記載すること。ただし、加点対象とするが、実施要項表９に示す｢区分｣によって評価が異なる場合がある。

14．（提出様式２－２－１、２、４、５、１１）の数値目標２年目、３年目の記入については、１年目の例示と同様な欄を設けて記入すること。（四半期など）

別紙P540

国営アルプスあづみの公園

収益施設運営計画書

提　　出　　様　　式

国土交通省　関東地方整備局

【企画書提出時に提出すること】

（様式３－１）

平成　　年　　月　　日

収益施設運営計画書

国土交通省　関東地方整備局　　殿

（申込者）社　名

代表者　　印

所在地

TEL(FAX)

下記施設について、国営アルプスあづみの公園収益施設運営計画書を提出します。

記

（１）所 在 地　（堀金・穂高地区）　長野県安曇野市堀金烏川 33-4

（大町・松川地区）　長野県大町市常盤 7791-4

（２）対象施設　飲食施設（２箇所)、物販施設（３箇所)、自動販売機

※飲食・物販施設については全て裁量施設とし、本公園の開園日時内で運営日時等を設定できる。

＊共同体として参加する者が提出する場合は、H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務について、業務全体の計画立案及びマネジメント業務をする者とする。

（様式３－２）

収益施設運営計画

（1）運営施設全体の運営計画
・基本的な考え方
・取組方策
・混雑期、閑散期に対応した運営方針

※運営施設全体の運営計画について、基本的な考え方及び取り組み方策を具体的に記述すること。
また、混雑期、閑散期に対応した運営方針も具体的に記述すること。

※図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（２）収益施設の運営に関する提案

１．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：〇〇〇を設定し、・・・・実施します。
・期待される効果：〇〇〇を設定する事により、・・・・が見込まれます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から２までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．～３．に、**飲食施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目４．～５．に、**物販施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※文字寸法は１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとする。白黒片面印刷で提出するものとする。
※本様式に記述した企画提案については、企画書提出様式２－２－１１と同様な内容とする。

（様式３－４－１）

（３－１）飲食施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書に示す期間・時間・料金を超える提案は不可とする。

※飲食施設については全て裁量施設とし、公園の開園時間内で、運営時間を設定できるものとする。

（様式３－４－２）

（３－２）物販施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書に示す期間・時間・料金を超える提案は不可とする。

※物販施設については全て裁量施設とし、公園の開園日時内で運営日時等を設定できるものとする。

（様式３－４－３）

（３－３）自動販売機の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。
※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。
※仕様書に示す期間・時間、料金を超える提案は不可とする。

H28-31 国営アルプスあづみの公園
運営維持管理業務

別添資料

平成 27 年 7 月

国土交通省関東地方整備局

実施要項に関する別添・様式

【国営アルプスあづみの公園】

分類	資料 No	資料名	頁番号
共通仕様書	別添－1	国営アルプスあづみの公園平面図	別添 P1
	別添－2	国土交通本省委託契約取扱要領	別添 P4
	別添－3	管理事務所図	別添 P28
	別添－4	行為の禁止等に関する取扱要領	別添 P35
	別添－5	閉園判断基準	別添 P40
	別添－6	危機管理マニュアル（抄）	別添 P42
	別添－7	クマ対策マニュアル（抄）	別添 P47
	別添－8	園内施設（設備等）位置図	別添 P50
	別添－9	提供施設等の取扱いについて	別添 P70
	別添－10	取得した備品の取扱いについて	別添 P75
	別添－11	情報セキュリティについて	別添 P79
	別添－12	兼用工作物について	別添 P80
マネジメント及び企画立案	別添－13	公用車運行管理規定	別添 P83
	別添－14	公園園内車両運行要領	別添 P86
	別添－15	建物に係る消防計画	別添 P89
	別添－16	継続必要性の高いイベント対応	別添 P129
	別添－17	行催事について	別添 P138
	別添－18	行催事実施計画書例	別添 P140
	別添－19	ボランティア活動（規約・活動内容）	別添 P146
	別添－20	参加している協議会等	別添 P162
	別添－21	グラフィックマニュアル（抄）	別添 P163
	別添－22	マスコミ取材報告様式	別添 P169
	別添－23	ペット対応	別添 P171
	別添－24	団体利用の手引き	別添 P175
	別添－25	パスポート発行	別添 P192
	別添－26	巡視ルート図	別添 P193
施設・設備維持管理	別添－27	建物・工作物に係る冬季対応（積雪、氷結対応等）	別添 P199
	別添－28	遊具日常点検表(冒険の森遊具)	別添 P202

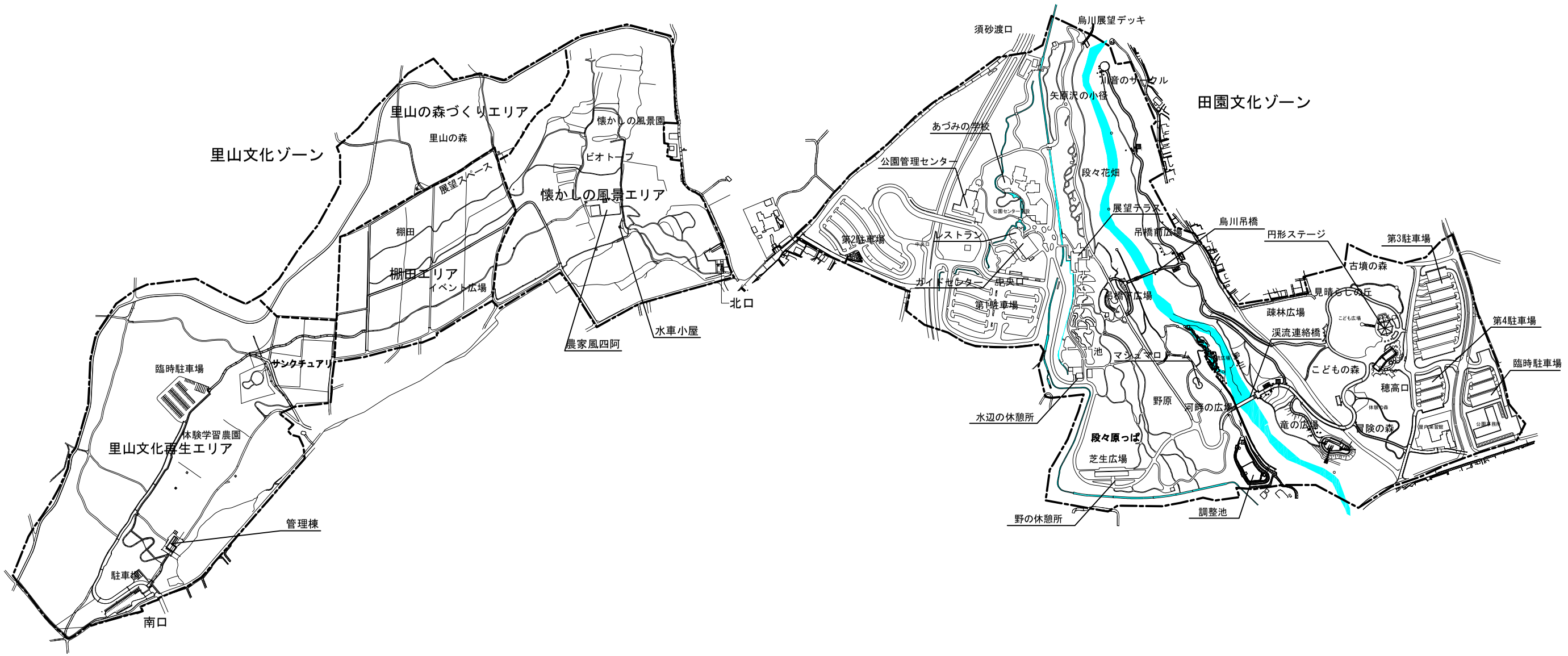
【国営アルプスあづみの公園】

分類	資料 No	資料名	頁番号
植物管理	別添－29	芝生管理区域図	別添 P204
	別添－30	中低木管理区域図	別添 P206
	別添－31	高木管理区域図	別添 P208
	別添－32	林地管理区域図	別添 P210
	別添－33	草花管理区域図（花畑管理・草花管理・花壇管理）	別添 P212
	別添－34	草地管理区域図	別添 P214
	別添－35	特殊管理区域図	別添 P215
	別添－36	国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区 第 3 期地区 野草管理育成マニュアル（抄）	別添 P216
	別添－37	植栽草花一覧	別添 P219
	別添－38	貴重種一覧	別添 P221
	別添－39	国営アルプスあづみの公園における猛禽類保護のための配慮指針(抄)	別添 P228
収益施設管理運営規定書	別添－40	収益施設管理運営対象区域図	別添 P230
様式	様式 1	管理運営月報	別添 P236
	様式 2	管理運営月報総括表	別添 P239
	様式 3	管理四半期報	別添 P240

別添－１

国営アルプスあづみの公園平面図

別添P2



堀金・穂高地区　公園平面図

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添P3

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
ライダーハウス棟
駐車場
管理棟
炊事棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
中間館
保全ゾーン
入口広場
くもの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
駐車場
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大草原
渡河施設
大草原の家
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
リフレッシュの森・渓流エリア
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　公園平面図

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

別添－２

国土交通本省委託契約取扱要領

国土交通本省委託契約取扱要領

平成１３年４月２日
国官会第２９３号

改　正	平成１７年６月　２日	国官会第３２１－２号
改　正	平成１７年９月　１日	国官会第８２３号
改　正	平成２０年８月　１日	国官会第８３６－２号
改　正	平成２０年９月１７日	国官会第９８４号
改　正	平成２２年３月２３日	国官会第２１１７号
改　正	平成２３年３月３１日	国官会第２９９４号
改　正	平成２４年３月３０日	国官会第３３８３号
改　正	平成２５年３月２５日	国官会第３６７７号
改　正	平成２６年３月２８日	国官会第３３９５号

（通　則）

第１　国土交通本省の所掌業務を委託契約を締結して国以外の者に委託する場合の取扱いについては、他の法令等に定めるもの並びに各委託事業に係る委託契約書又は委託費の取扱いに関する要領等に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

（委託業務実施要領）

第２　支出負担行為担当官（分任支出負担行為担当官を含む。以下「担当官」という。）は、業務委託をしようとするときは、次に揚げる項目を明らかにした委託業務実施要領（以下「実施要領」という。）を、委託しようとする者に送付するものとする。

一　名称
二　委託料の限度額
三　業務の目的及び内容
四　業務の実施場所
五　業務の実施期間
六　その他必要な事項（成果物の仕様）

（委託料の算定）

第３　担当官は、実施要領に基づく委託料の積算調書を作成する。

（実施計画書等の提出）

第４　担当官は、第２により実施要領の送付を受けこれを受託しようとする者（以下「受託者」という。）から、次に掲げる計画書等を提出させるものとする。なお、変更しようとするときも同様とする。

一　実施計画書（別記様式第１）
二　四半期別必要経費内訳書（別記様式第２）
三　承諾書

四　実施体制書（別記様式第３）
五　その他担当官が必要とする書類

（契約の締結）
第５　担当官は、受託者から第４に掲げる書類を受理し、その内容を審査のうえ適当と認めたときは、別紙委託契約書により委託契約を締結するものとする。
２　委託契約書の各条項により難い特別の事情がある場合においては、必要に応じ適宜条項を変更することができる。

（再委託等）
第６　受託者は、業務の一部（「主たる部分」を除く。）を第三者に委任し、又は請け負わせようとするとき（以下「再委託」という。）は、あらかじめ再委託（変更等）承諾申請書（別記様式第４）を委託者に提出し、承諾を得なければならない。なお、変更しようとするときも同様とする。
２　前項の承諾を得た場合において、再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときは、その履行体制に関する書面（別記様式第５）を委託者に提出しなければならない。なお、変更しようとするときも同様とする。

（報告書等の提出）
第７　担当官は、受託者が当該業務の委託を完了したときは、遅滞なく、次に掲げる報告書（正副２通）を成果物に添えて提出させるものとする。
一　完了報告書（別記様式第６）
二　精算報告書（別記様式第７）
三　委託費経費内訳報告書（別記様式第８）
四　残存物件報告書（別記様式第９）
２　担当官は、受託者が第８第３項による補正命令に基づき当該業務の委託を完了したときは、遅滞なく、次に掲げる報告書（正副２通）を成果物に添えて提出させるものとする。
一　補正完了報告書（別記様式第６に準ずる様式）
二　精算報告書
三　残存物件報告書

（検 査 等）
第８　担当官は、第７第１項の成果物及び完了報告書等を受理したときは、自ら又は国土交通本省会計事務取扱細則（以下「細則」という。）第３２条に基づき補助者に命じて検査を行うものとする。
２　前項により検査を命じられた職員（以下「検査職員」という。）は、前項の検査の結果不合格と認めたときは、細則第３３条に定める検査調書に次に掲げる事項を付記して担当官に提出するものとする。
一　不合格である旨
二　不合格と認めた理由
三　その措置についての意見
３　担当官は、第１項の検査の結果不合格と認めたとき、又は前項の検査調書を受理したときは、受託者に対し補正を命ずるものとする。

４　第１項の規定は、第７第２項の成果物及び補正完了報告書等を受理した場合に準用する。
５　検査職員は、第１項（第４項において準用する場合を含む。）の検査の結果合格と認めたときは、細則第３３条により検査調書を担当官に提出するものとする。

（担当職員の任命等）
第９　担当官は、必要があると認めたときは、次に掲げる事務を行わせるため、担当職員を任命し、任命後すみやかに受託者に通知するものとする。
一　委託業務の処理状況についての調査
二　委託料の経理状況についての監査
三　その他委託業務についての必要な指示

（概　算　払）
第10　担当官は、必要があると認めたときは、受託者に対し概算払を請求させることができる。

（委託費の精算）
第11　担当官は、受託者から第７の報告を受けたときは、遅滞なくその内容を審査し、適正と認めたときは、委託費の額を確定し、これを受託者に通知するものとする。

（請求書の受理）
第12　担当官は、受託者から官署支出官官職宛ての請求書を受理するものとし、受理後は、必要書類を添えて官署支出官に回付するものとする。

附則
１．この要領は、平成１３年４月２日から適用する。

附則（平成１７年６月　２日国官会第３２１－２号）
１．この要領は、平成１７年６月２日から適用する。

附則（平成１７年９月　１日国官会第８２３号）
１．この要領は、平成１７年９月１日から適用する。

附則（平成２０年８月　１日国官会第８３６－２号）
１．この要領は、平成２０年８月１日から適用する。

附則（平成２０年９月１７日国官会第９８４号）
１．この要領は、平成２０年１０月１日以降に入札手続を開始する契約について適用する。

附則（平成２２年３月２３日国官会第２１１７号）
１．この要領は、平成２２年４月１日から適用する。

附則（平成２３年３月３１日国官会第２９９４号）
１．この要領は、平成２３年４月１日から適用する。

附則（平成２４年３月３０日国官会第３３８３号）

１．この要領は、平成２４年４月１日から適用する。

附則（平成２５年３月２５日国官会第３６７７号）

１．この要領は、平成２５年４月１日から適用する。

附則（平成２６年３月２８日国官会第３３９５号）

１．この要領は、平成２６年４月１日から適用する。

委　託　契　約　書

委 託 業 務 の 名 称　　（委託件名）

委 託 業 務 実 施 期 間　　自　平成　　年　　月　　日
至　平成　　年　　月　　日

委 託 料 の 限 度 額　　￥　◆◆，◆◆◆，◆◆◆－
（うち消費税及び地方消費税額¥♦♦♦,♦♦♦－）

成 果 物 の 納 入 場 所　　国土交通本省

頭書業務の委託について、委託者　支出負担行為担当官国土交通省　〇　〇　〇　〇　◆　◆　◆　◆と、受託者　□　□　□　□　◆　◆　◆　◆は、次の条項により委託契約を締結する。

（総　則）

第１条　受託者は、委託業務実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、頭書の委託料の限度額をもって、頭書の委託業務実施期間（以下「実施期間」という。）までに、頭書の委託業務（以下「委託業務」という。）を完了しなければならない。

２　前項の実施要領に明記されていない事項があるときは、委託者と受託者とが協議して定めるものとする。

（権利義務の譲渡等）

第２条　受託者は、この契約によって生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継してはならない。ただし、書面により委託者の承諾を得たときは、この限りではない。

（再委託の禁止等）

第３条　受託者は、業務の全部を一括して又は主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。ただし、第三者への委任が業務の一部であり、書面により委託者の承諾を得たときはこの限りではない。

２　前項の「主たる部分」とは、業務における総合的企画、業務遂行管理、手法の決定及び技術的判断等をいうものとする。

３　受託者は、業務の一部（「主たる部分」を除く。」）を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは（以下「再委託」という。）は、あらかじめ再委託の相手方の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額等について記載した書面を委託者に提出し、承諾を得なければならない。

なお、再委託の内容を変更しようとするときも同様とする。

４　前項の規定は、受託者がコピー、ワープロ、印刷、製本、トレース、資料整理、計算処理、模型製作、翻訳、参考書籍・文献購入、消耗品購入、会場借上等の軽微な業務を再委託しようとするときには、適用しない。

５　第３項なお書きの規定は、軽微な変更に該当するときには、適用しない。

６　受託者が委託業務の一部を第三者に委託する場合において、これに伴う第三者の行為については、その責任を受託者が負うものとする。

（履行体制の把握）

第４条　受託者は、前条第３項の承諾を得た場合において、再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときは、前条第４項の軽微な業務を除き、あらかじめ当該複数段階の再委託の相手方の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲を記載した書面（以下「履行体制に関する書面」という。）を委託者に提出しなければならない。履行体制に関する書面の内容を変更しようとするときも同様とする。

２　受託者は、前項の場合において、委託者が契約の適正な履行確保のため必要な報告等を求めた場合には、これに応じなければならない。

３　受託者が委託業務の一部を第三者に委託する場合において、これに伴う第三者の行為については、その責任を受託者が負うものとする。

（実施計画書等の変更等）

第５条　受託者は、実施計画書及び四半期別必要経費内訳書の変更（当該金額の相互間における２割以内の変更を除く。）をしようとするときは、変更後の実施計画書及び四半期別必要経費内訳書を委託者に提出し承認を受けなければならない。

２　委託者は、前項の変更後の実施計画書及び四半期別必要経費内訳書について遅滞なくその内容を審査し、不適当と認めたときは、受託者と協議するものとする。

３　委託者は、必要と認めるときは、受託者に対して委託業務の処理状況につき調査を行い、又は報告を求めることができる。

（委託業務の内容の変更等）

第６条　委託者は、必要がある場合には、委託業務の内容を変更し、又は委託業務を一時中止し、若しくは打ち切ることができる。

この場合において、実施期間又は委託料を変更する必要があるときは、

委託者と受託者とが協議して書面によりこれを定めるものとする。
２　前条第１項及び第２項の規定は、前項の場合について準用する。
３　第１項の場合において、受託者が損害を受けたときは、委託者は、その損害を賠償するものとし、その額は、委託者と受託者とが協議して定めるものとする。

（実施期間の延長等）
第７条　受託者は、その責に帰することができない事由により、実施期間までに委託業務を完了することができないことが明らかとなったときは、委託者に対して遅滞なくその理由を付して、実施期間の延長を求めることができる。
この場合において、その延長日数は、委託者と受託者とが協議して定めるものとする。
２　委託者は、受託者の責に帰する事由により実施期間までに委託業務を完了することができない場合において、実施期間後に完了する見込みがあると認めたときは、その内容を審査し、損害金を付して実施期間を延長することができる。
３　前項の損害金は、委託料に対して延長日数に応じ年５．００パーセントの割合を乗じて計算した額とする。

（損害のために必要を生じた経費の負担）
第８条　委託業務の処理に関し発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。以下同じ。）のために必要を生じた経費は、受託者が負担しなければならない。
　ただし、その損害が委託者の責に帰する事由による場合においては、その損害のために必要を生じた経費は、委託者が負担するものとし、その額は、委託者と受託者とが協議して定めるものとする。

（検査及び引き渡し）
第９条　受託者は、委託業務を完了したときは、遅滞なく、成果物に添えて完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を委託者に提出しなければならない。
２　委託者は、前項の成果物、完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を受理したときは、その日から１０日以内に委託者又は委託者の指定した職員により検査を行わなければならない。
３　受託者は、前項の検査の結果不合格となり、補正を命ぜられたときは、遅滞なく当該補正を行い、成果物に添えて補正完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を委託者に提出しなければならない。
４　第２項の規定は、委託者が前項の成果物、補正完了報告書、精算報告書、

委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を受理した場合に準用する。
５　委託者は、第２項（第４項において準用する場合を含む。）の検査の結果､合格と認めた場合は、委託料の額を確定し、受託者にその旨を通知しなければならない。
６　前項の委託料の確定額は、委託業務に要した経費の実支出額と委託料の限度額のいずれか低い額とする。
７　受託者は、第５項の通知を受けたときは、遅滞なく、当該成果物を委託者に引き渡さなければならない。

（委託料の支払）
第１０条　受託者は、前条第７項により、成果物の引き渡しを完了したときは、委託者に対して、確定した委託料の支払いを請求することができる。
２　委託者は、前項の規定により、適法な請求書を受理したときは、その日から３０日以内に委託料を支払わなければならない。
３　受託者は、委託者の責に帰すべき事由により、前項の委託料の支払いが遅れた場合には、委託者に対して遅延日数に応じ、年　２．９０パーセントの割合を乗じて得た額の遅延利息の支払いを請求することができる。
（概算払）
第１１条　受託者は、実施計画書及び四半期別必要経費内訳書に基づいて、各四半期における所要額として委託料の概算払いを請求することができる。
２　委託者は、前項の請求により、必要があると認められる金額については、前条第１項の規定にかかわらず、概算払をすることができるものとする。
３　前条第２項の規定は、前項の場合について準用する。

（概算払の精算）
第１２条　受託者は、第９条の精算報告の確認の結果、既に概算払により受領した金額に差額が生じた場合は、委託者にその旨を申請する。
２　受託者は、前項の結果に不足額が生じた場合には、委託者に不足額の支払いを請求することができる。
３　委託者は、前項の規定による請求書を受理したときは、その日から３０日以内に委託料を支払わなければならない。
４　受託者は、第１項の結果に余剰額が生じた場合には、遅滞なくこれを委託者に返還しなければならない。

（無体財産権の帰属）
第１３条　委託業務の成果及び委託業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権等の無体財産権については、委託者が承継するものとする。

（残存物件の返還）
第１４条　受託者は、委託業務の実施により生じた残存物件の返還については、成果物の引渡し前に委託者と協議のうえ、委託者の指示に従うものとする。

（契約の解除及び違約金等）
第１５条　委託者は、受託者が次の各号の一に該当するときは、契約を解除することができる。
一　受託者の責に帰すべき事由により、実施期間内に委託業務が完了しないとき、又は完了する見込みがないと明らかに認められるとき
二　前号のほか、委託者において、受託者が第１６条第１項に定める帳簿及び証拠書類（以下「根拠資料」という。）の整備保存、委託費の区分経理の実施、十分な根拠資料に基づく精算報告書の作成・提出その他本契約条項又は実施要領の定めるところ若しくはその他この契約に関する委託者の指示に違反していると認めるとき、又は契約の目的を達成することができないと認めるとき。

三　受託者（受託者が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下この号において同じ。）が次のいずれかに該当するとき。

イ　役員等（受託者が個人である場合にはその者を、受託者が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下この号において同じ。）が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。）第２条第６号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。
ロ　暴力団（暴力団対策法第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。
ハ　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。
ニ　役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。
ホ　役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。
ヘ　再委託契約その他の契約に当たり、その相手方がイからホまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結したと認められるとき。
ト　受託者が、イからホまでのいずれかに該当する者を再委託契約その

他の契約の相手方としていた場合（ヘに該当する場合を除く。）に、委託者が受託者に対して当該契約の解除を求め、受託者がこれに従わなかったとき。

２　受託者は、前項により委託者が契約を解除したときは、委託料の限度額の１０分の１に相当する金額を違約金として委託者の指定する期限までに納付しなければならない。

３　受託者は、第１項により、委託者が契約を解除した場合において第１１条により概算払を受けているときは、委託者に対してその概算払の額に、概算払日から返還の日までの日数に応じ、年　２．９０パーセントの割合を乗じて得た額の利息を付して返還しなければならない。

（委託料の経理及び監査）

第１６条　受託者は、委託料の経理について、別に帳簿を備え、その収入・支出をその都度記録してこれを明らかにするとともに、当該収入・支出を証する証拠書類を整備保存しなければならない。

なお、当該帳簿については、受託者において、委託費経費内訳報告書を参考に、委託費の収入・支出を記録した正規の帳簿として作成し、保存するものとする。

２　受託者は、実施計画書に記載された各費目相互間の流用（当該金額の相互間における２割以内の変更を除く。）をしてはならない。ただし、書面により委託者の承諾を得たときは、この限りではない。

３　委託者は、必要と認めるときは、受託者に対して委託料の経理状況について監査し、資料の提出を求めることができる。

４　受託者は、第１項の帳簿及び証拠書類を、業務終了の年度の翌年度から５年間保存しなければならない。

（秘密の保持）

第１７条　受託者は、委託業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

（談合等不正行為があった場合の違約金等）

第１８条　受託者が、次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、受託者は、委託者の請求に基づき、契約額（この契約締結後、契約額の変更があった場合には、変更後の契約額）の１０分の１に相当する額を違約金として委託者の指定する期間内に支払わなければならない。

一　この契約に関し、受託者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和２２年法律第５４号。以下「独占禁止法」という。）第３条の規定に違反したことにより、公正取引委員会が受託者に対し、独占禁止法第７条の２第１項の規定に基づく課徴金の納付命令（以下「納付

命令」という。）を行い、当該納付命令が確定したとき（確定した当該納付命令が独占禁止法第５１条第２項の規定により取り消された場合を含む。）

二　納付命令又は独占禁止法第７条の規定に基づく排除措置命令（次号において「納付命令又は排除措置命令」という。）において、この契約に関し、独占禁止法第３条の規定に違反する行為の実行としての事業活動があったとされたとき。

三　納付命令又は排除措置命令により、受託者に独占禁止法第３条の規定に違反する行為があったとされた期間及び当該違反する行為の対象となった取引分野が示された場合において、この契約が当該期間（これらの命令に係る事件について、公正取引委員会が受託者に対して納付命令を行い、これが確定したときは、当該納付命令における課徴金の計算の基礎である当該違反する行為の実行期間を除く。）に入札（見積書の提出を含む。）が行われたものであり、かつ、当該取引分野に該当するものであるとき。

四　この契約に関し、受託者（法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治４０年法律第４５号）第９６条の６又は独占禁止法第８９条第１項第１号若しくは第９５条第１項第１号に規定する刑が確定したとき。

２　受託者が前項の違約金を委託者の指定する期間内に支払わないときは、受託者は、当該期間を経過した日から支払いをする日までの日数に応じ、年５．００パーセントの割合で計算した額の遅延利息を委託者に支払わなければならない。

（補則）

第１９条　本契約に関し、前各条項に疑義を生じ、又は、各条項に規定のない事項については、委託者と受託者とが協議のうえ、これを解決するものとする。

上記契約の証しとして、本書２通を作成し、当事者記名押印のうえ各自１通を保有する。

平成　　年　　月　　日

委託者　東京都千代田区霞ヶ関２－１－３
支出負担行為担当官
〇　　〇　　〇　　〇　◆　◆　◆　◆

受託者　住　　所
団　体　名
代表者氏名

（別　紙）

委託契約に関する特約条項

第１　受託者は、委託費の経理については、委託契約書の約定等に従い、国土交通本省委託契約取扱要領第４に規定する実施計画書（別記様式第１）の経費積算内訳に計上した経費ごとに、受託者の財源負担による単独事業、国庫補助事業又は他の委託事業の経費等との区分経理の徹底を図ること。

第２　受託者は、当該委託費に係る収入・支出の実績を確認しうる帳簿及び証拠書類（以下「根拠資料」という。）を整備し、かつ、当該根拠資料を業務終了年度の翌年度から最低５年間必ず保存すること。

第３　受託者は、当該委託料の精算に当たっては、委託契約書に定める委託料の経理に係る帳簿等の十分な根拠資料に基づく支払実績の計数、すなわち、根拠資料により確認しうる委託料の支払実績額を精算報告書に記載し報告すること。

第４　委託者は、当該委託業務の実施状況及び当該委託料の使途その他必要な事項について、国土交通省の職員により所要の調査報告を求め、又は実地に調査する場合があるものとし、この場合、受託者はこれに応じなければならないこと。

第５　当該委託料からの支出は、本委託業務の目的及び内容と直接的に関連性のあるものに限定することとし、また、各委託事業の契約書、委託費取扱要領等において指示する使途基準に従わなければならないこと。

第６　委託者は、受託者が前記第１から第５までの特約のいずれかに違反した場合には、委託料の精算日から返還の日までの日数に応じ、年５．００パーセントの割合を乗じて得た額の違約金を付して交付した委託料の返還を求めるものとし（委託料未交付の場合にはその交付を要しないものとし）、受託者は当該返還請求又は不交付の措置に応じなければならないこと。

別記様式第1（第4）

実　施　計　画　書

（受託の名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（単位：千円）

受託の内容	実施期間	経　費　積　算　内　訳	成果物	摘要

（備　考）

1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4縦とする。

2. 必要に応じ適宜項を加除して使用すること。

3. 受託の内容は、調査項目毎に区分すること。

4. 経費積算内訳は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費に区分し、庁費にあっては、備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、賃金、会議費及び雑役務費に細分して計上すること。なお、区分等は必要に応じ適宜加除して計上すること。

5. 変更にあたっては、変更前の部分を上段に（　）書きし、変更後を下段に記載すること。

6. 業務委託の処理を第三者に委託する必要があるときは、摘要欄にその事務の内容及び委託先等必要な事項を記載すること。

別記様式第２（第４）

四 半 期 別 必 要 経 費 内 訳 書

（受託の名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（単位：千円）

四半期別 経費区分	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	計	摘　要

（　備　考　）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

２．経費区分は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費の区分により記載すること。なお、区分は必要に応じ適宜加除して記載すること。

３．変更にあたっては、変更前の部分を上段に（　）書きし、変更後を下段に記載すること。

別記様式第３（第４）

実　施　体　制　書

（受託の名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

再委託先等の名称等

名称		代表者名	
所在地			
電話番号			
再委託を予定する業務内容			
再委託の必要性			
契約予定金額			
備考			

名称		代表者名	
所在地			
電話番号			
再委託を予定する業務内容			
再委託の必要性			
契約予定金額			
備考			

名称		代表者名	
所在地			
電話番号			
再委託を予定する業務内容			
再委託の必要性			
契約予定金額			
備考			

（注）再々委託先の場合にはその旨を備考欄に記載すること。

（備考）

本様式は、適宜加除して差し支えないものであるが、次の項目は必須事項とする。

①相手方の名称および代表者名

②所在地

③再委託を予定する業務内容及び必要性

④契約予定契約

別記様式第４（第６）

再委託（変更等）承諾申請書

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
　国土交通省　○　○　○　○　　殿

受託者　住　所
　　氏　名　　印

平成　　年　　月　　日付けの「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿業務契約」（契約金額　￥◆◆，◆◆◆，◆◆◆円、税込み）に関して、下記の通り申請するので、手続き方お願いします。

記

１．再委託の（変更等）承諾を申請する業務及びその範囲（具体的に記載すること）

２．再委託の（変更等）承諾を申請する必要性（具体的に記載すること）

３．再委託の（変更等）承諾を申請する業務の契約（予定）金額（総計）

４．再委託の（変更等）承諾を申請する業務の契約金額の根拠

- 業務の再委託に際し、当該業務の履行（予定）者から、入札書・見積書を徴収した結果（この場合、その「写し」を添付）
- 継続的な履行関係が存在する（この場合、その証明書（契約書、協定書）の「写し」を添付）

５．その他特記事項

平成　　年　　月　　日

受託者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　殿

平成　　年　　月　　日付けで申請のあった上記については、承諾したので、その旨通知する。なお、承諾内容等に変更等を生じる場合は、あらかじめ協議すること。

また、当該承諾内容等の履行については、次のことを承諾の条件とする。

① 受託者は、再委託の相手方に対し業務の適正な履行を求めること。
② 受託者は、再委託業務に係る契約書、請求書、領収書などの書類を提出させた場合は、適切に保管し、事後において履行の確認ができるように徹底すること。
③ 受託者は、委託者（支出負担行為担当官等）からの求めに応じ、②の書類の写しを提出すること。

支出負担行為担当官
　国土交通省　○　○　○　○　　印

（備考）　１．用紙の大きさは、日本工業規格A列4縦とする。
　　２．必要に応じ、適宜加除して使用すること。

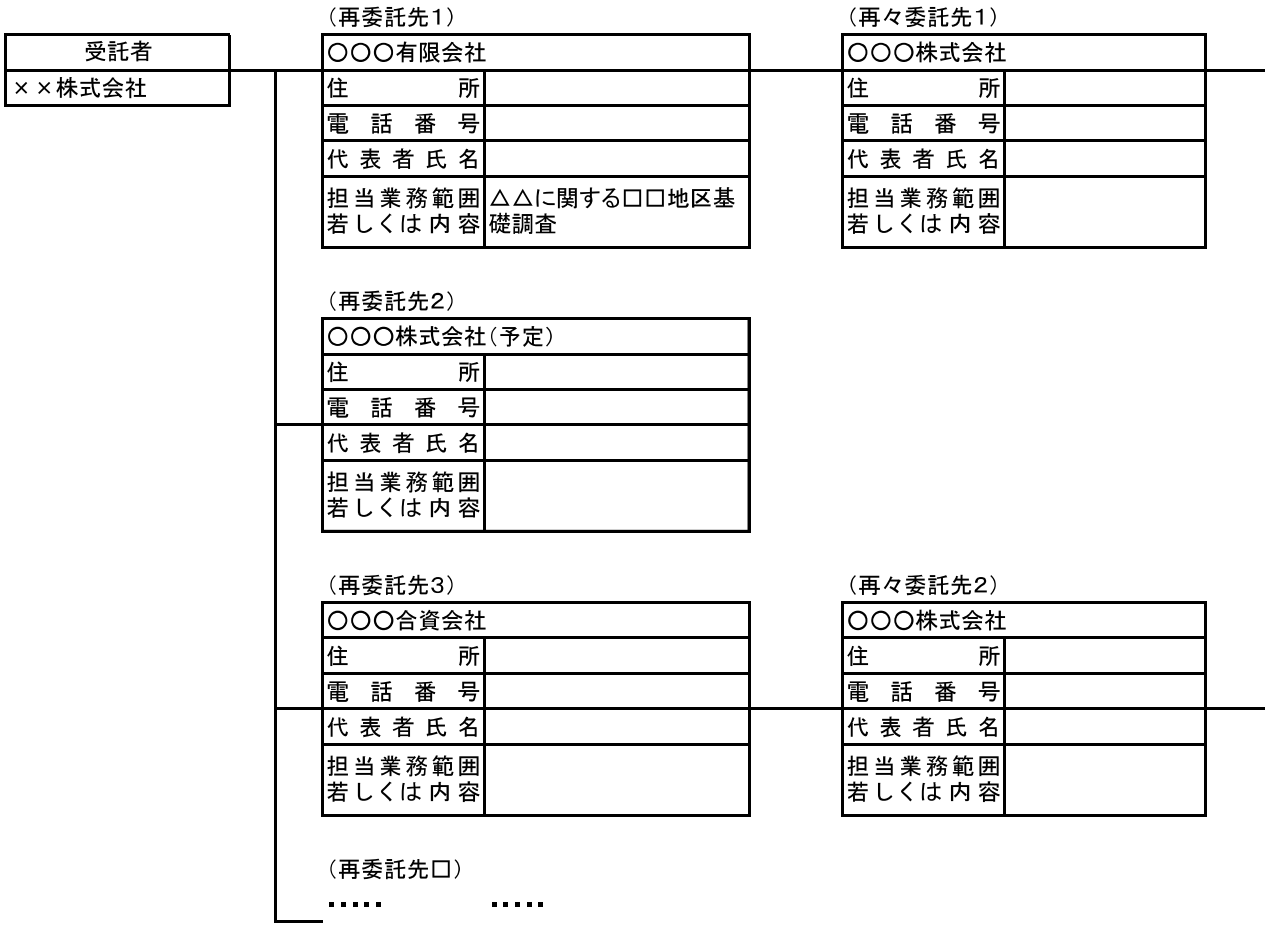
別紙様式第5（第6）

履 行 体 制 に 関 す る 書 面
（実施計画書の別紙資料）

平成　　年　　月　　日

〇当該履行体制に関する書面は、「委託契約書第4条」に基づいて作成したものである。

（受託者）
住　所
氏　名



（ 備 考 ）本様式は、適宜加除して差し支えないものであるが、次の項目は必須事項とする。
①再委託の相手方の住所
②氏名（若しくは代表者氏名）
③再委託を行う業務の範囲

別記様式第６（第７）

完　了　報　告　書

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
　　国土交通省　〇　〇　〇　〇　　殿

受託者　住　所
　　氏　名　　印

平成　　年　　月　　日付契約（契約金額　￥◆◆，◆◆◆，◆◆◆円）の〇〇〇〇が完了したので、成果物及び下記の書類を添えて報告します。

記

１．精　算　報　告　書　　通

２．残存物件報告書　　通

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

別記様式第7（第7）

精　算　報　告　書

（単位：円）

経　費　区　分	予定経費(A)	支出額(B)	過不足額 (A)-(B)	摘　　要
計				

（　備　考　）1．用紙の大きさは、日本工業規格A列4横とする。
2．経費区分は、別紙様式第1備考4により記載すること。
3．第6第2項に基づき提出する場合は、その旨を付記すること。

別記様式第8（第7）

平成〇〇年度　×××　委託費経費内訳報告書

受託の名称												
年月日	件　　名	予定経費額 A	支出額 B	過不足額 A−B	支出							
					直接人件費	技術経費	謝金	旅費	庁費			
									備品費	消耗品費	印刷製本費	通信運搬費
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0	0	0	0

（備考）　1．用紙の大きさは、日本工業規格A列4横とする。

2．年月日は、契約毎に、その都度、記載すること。

3．支出費目は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費に区分し、庁費にあっては、備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、賃金、会議費及び雑役務費に細分して計上すること。なお、区分等は必要に応じ適宜加除して計上すること。 また、各区分の上段は予定経費額、中段は支出額、下段は過不足額である。

別添P25

（単位：円）

費目							備考		
費					再委託費	諸経費			
光熱水料	賃金	会議費	雑役務費	小計					
				0					
0	0	0	0	0	0	0	伝票番号	支払い先	その他
0	0	0	0	0	0	0			

別添P26

別記様式第９（第７）

残　存　物　件　報　告　書

取得年月日	物　件　名	規　格	数　量	単　価	価　格	経費区分	摘　要

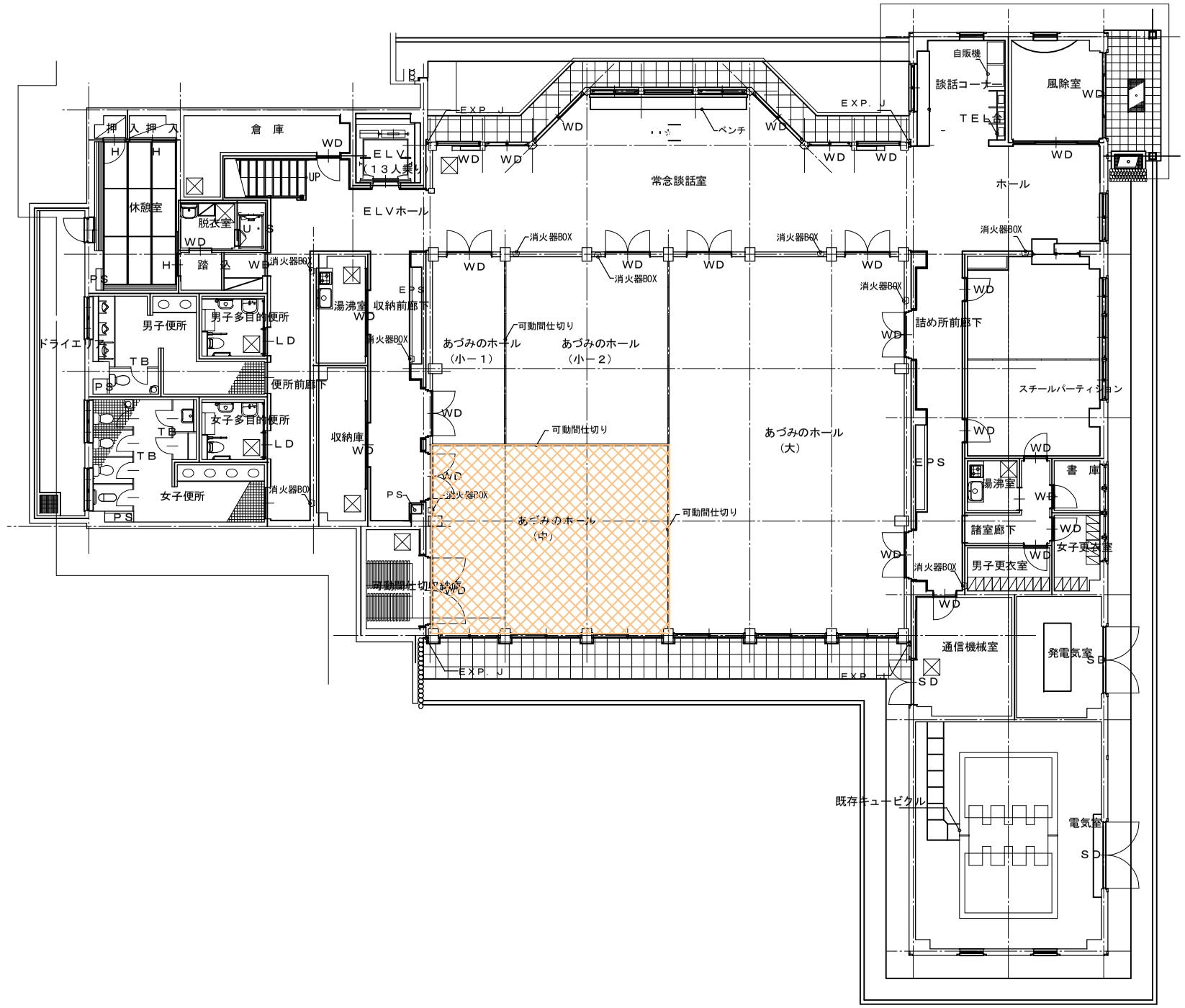
（　備　考　）１．用紙の大きさは、日本工業規格A列４横とする。
２．価格は取得価格を記載し、受託中に派生的に取得した物件については、見積額を記載すること。
３．経費区分は、別記様式第１備考４の区分により記載し、区分が明らかでないものは、摘要に取得の理由を記載すること。
４．第６第２項に基づき提出する場合は、その旨を付記すること。

別添－３

管理事務所図

凡例

：引継期間貸与部分

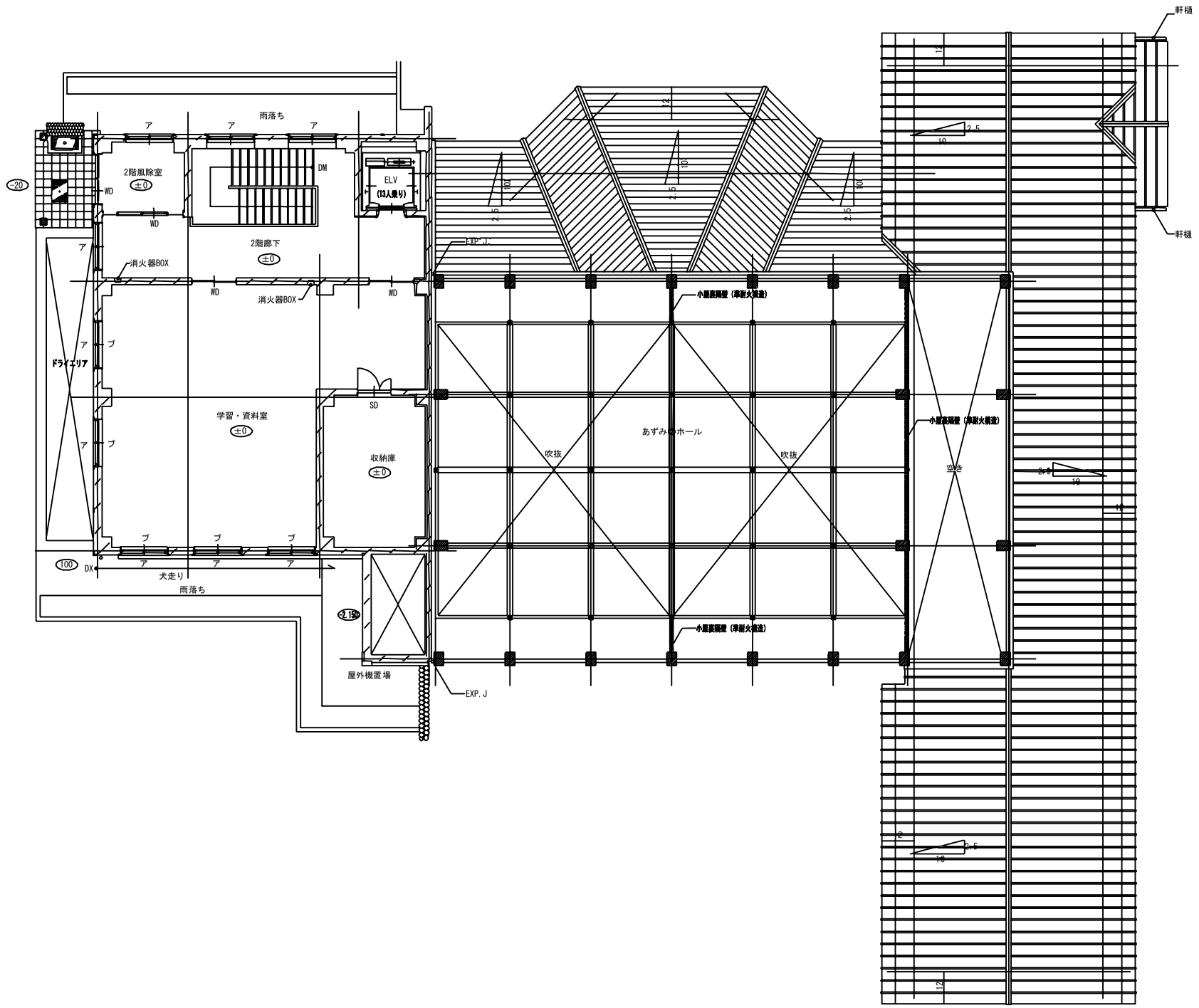


1:200

0 1 2 4 6 8 10m

堀金・穂高地区　管理事務所図（公園センター１階平面図）

別添P29

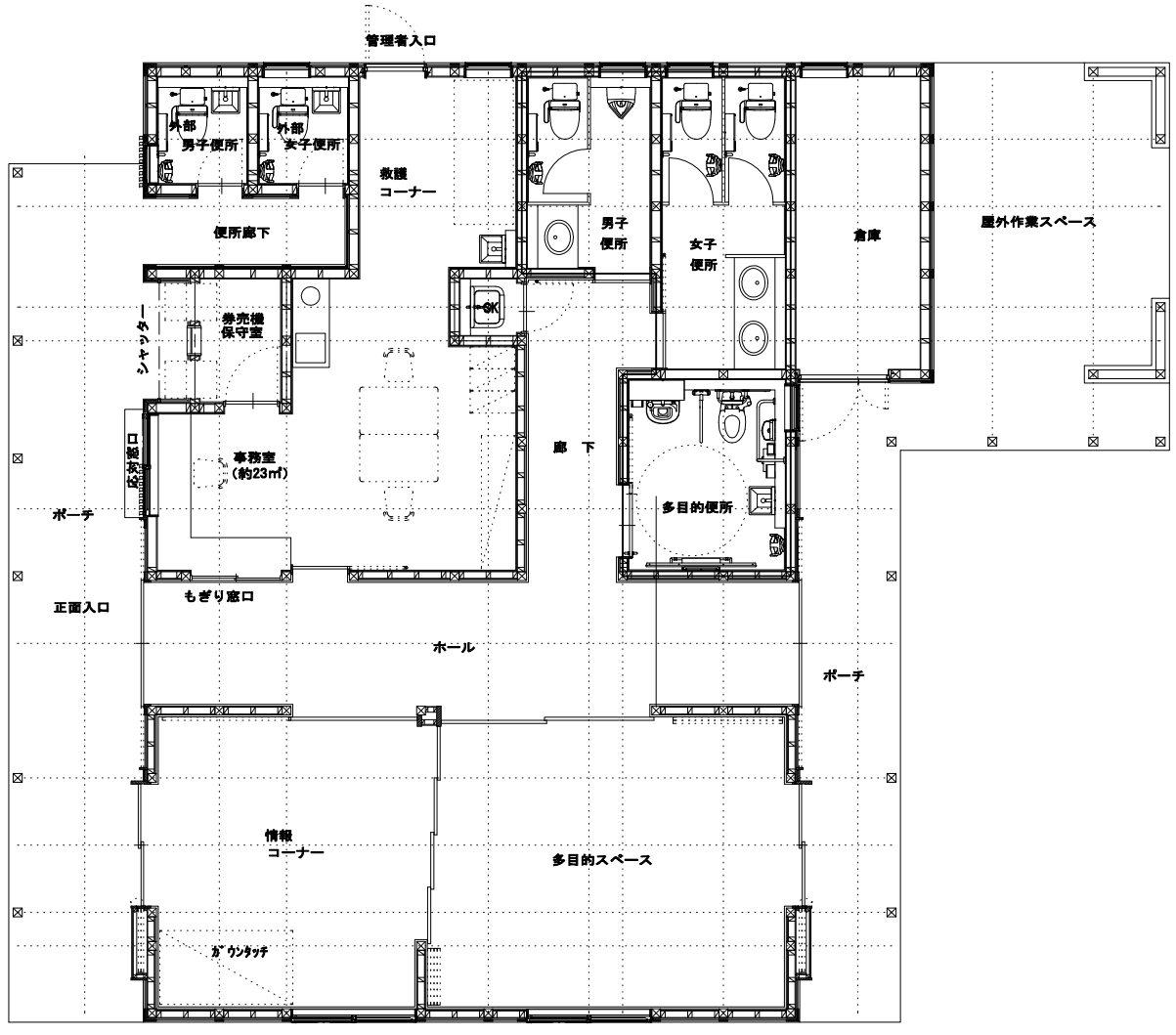


堀金・穂高地区　管理事務所図（公園センター２階平面図）

1:200

0 1 2 4 6 8 10m

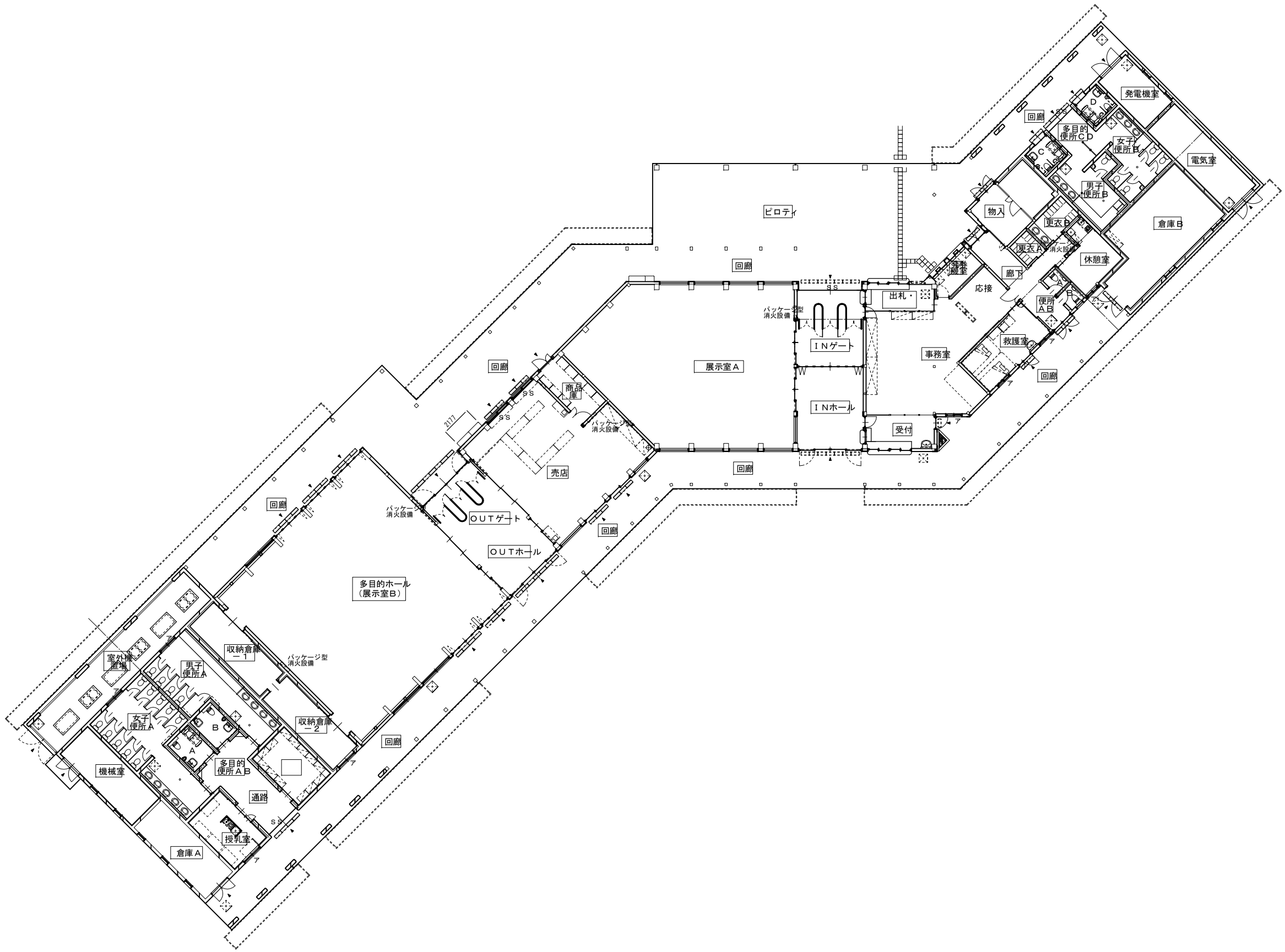
別添P30



堀金・穂高地区　管理事務所図（里山文化ゾーン管理棟平面図）

1:100

0 0.5 1 2 3 4 5m



1:300

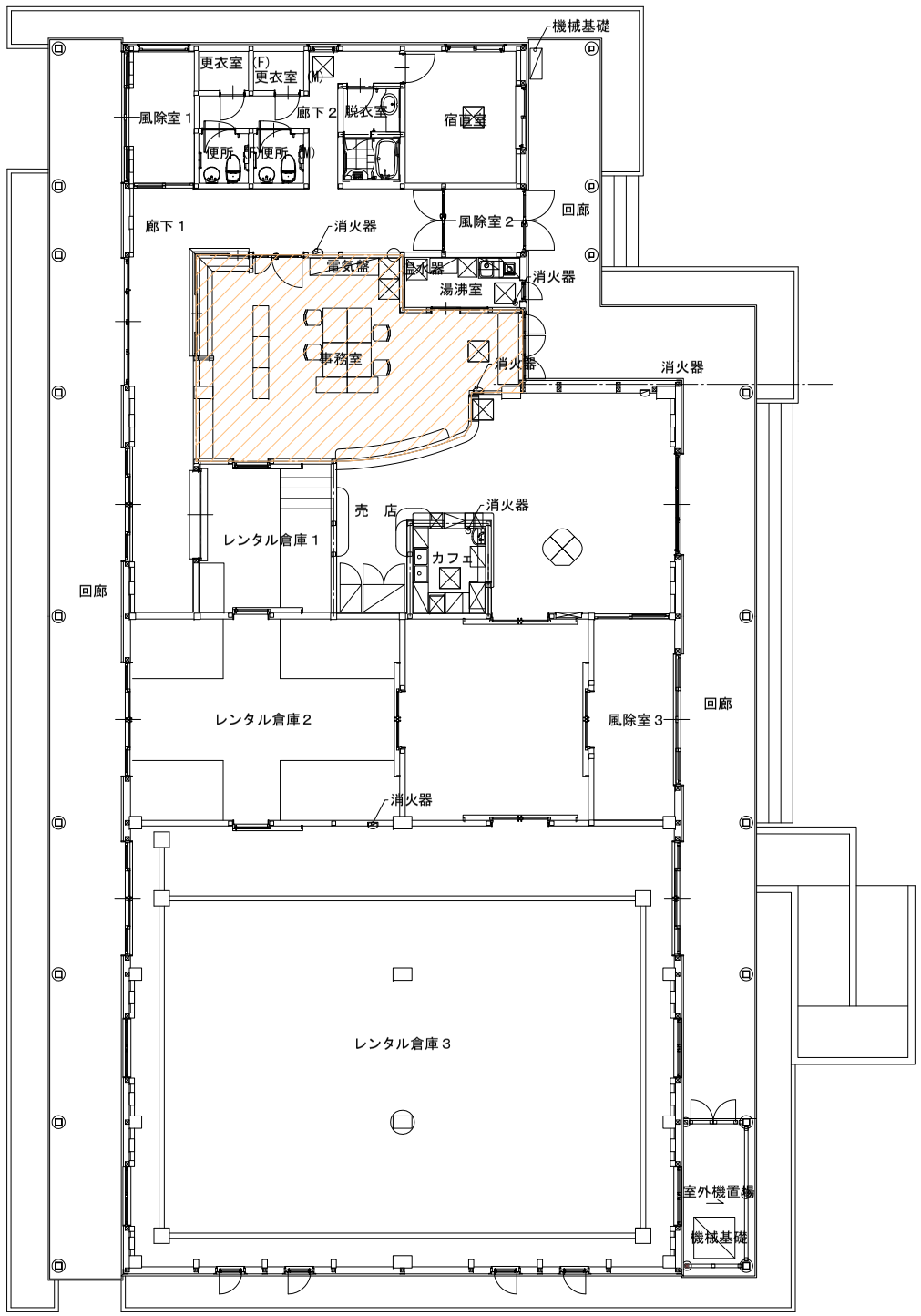
0 1.5 3 6 9 12 15m

大町・松川地区　管理事務所図（インフォメーションセンター平面図）

別添P33

凡例

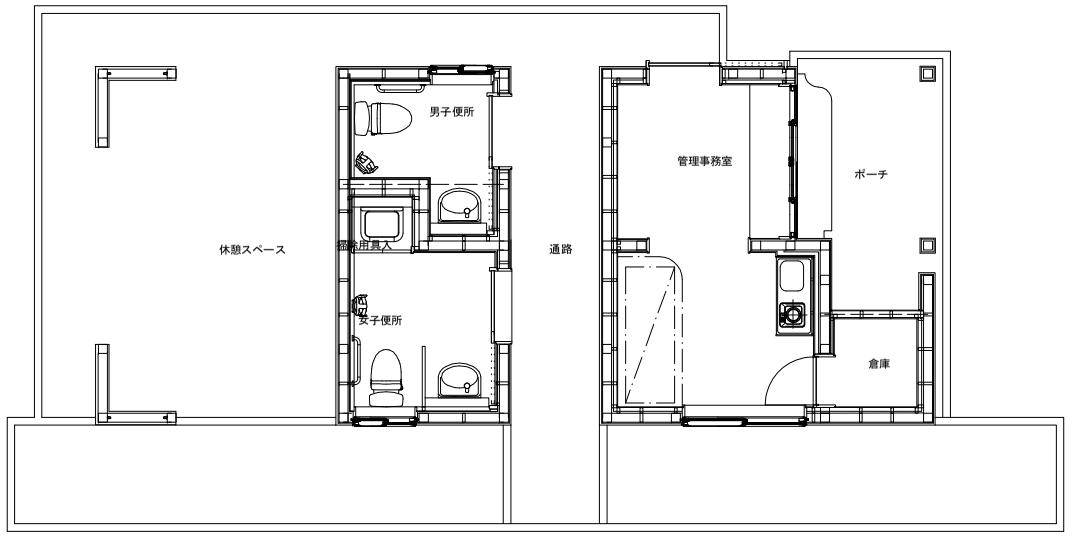
：引継期間貸与部分



1:200

0 1 2 4 6 8 10m

大町・松川地区　管理事務所図（レンタル棟）



1:100

0 0.5 1 2 3 4 5m

大町・松川地区 管理事務所図（スポーツと遊びの森エリア管理棟平面図）

別添－４

行為の禁止等に関する取扱要領

国営アルプスあづみの公園における行為の禁止等に関する取扱要領

（目的）

第１条　この要領は、国営アルプスあづみの公園（以下「公園」という。）における行為の禁止等について法令で定めるもののほかに、行為の内容に応じた取扱方針を定め、もって安全で快適な公園利用に資することを目的とする。

（定義）

第２条　この要領において「公園内」とは、都市公園法（以下「法」という。）の定めるところにより「国営アルプスあづみの公園」として公告された区域をいう。

２　この要領において「職員等」とは次の各号に掲げる者をいう。

一　国営アルプスあづみの公園事務所（以下「公園事務所」という。）の職員

二　国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務事業者（以下「公園管理センター」という。）の職員

三　公園管理センターとの契約により、指揮監督を受けて公園の利用上の指導等の業務を行うもの。

３　この要領において「利用者」とは、勤務中の職員等を除く公園内に入る全ての者をいう。

（禁止する行為）

第３条　公園内における行為のうち、次の各号に掲げるものは、法第１１条に準ずる行為とみなし、その行為を禁止する。

一　動物、昆虫等を採取し持ち帰る行為（職員等の指導のもとで行う行為を除く）

二　指定された場所以外におけるガスコンロ、石油コンロ並びに花火等の火気を使用する行為

三　自転車、一輪車、スケートボード（インラインスケート、キックボード、ローラースケートを含む）等を使用する行為（職員等の指導のもとで行う行為を除く）

四　灰皿が設置されている場所以外での喫煙

五　他の利用者の快適性を明らかに損なう音響を発生する行為

六　ゴミを放置する行為

七　野生動物にエサを与える行為

八　他の利用者の安全又は公園施設の正常な利用に支障を及ぼす行為

（場所の指定等）

第４条　都市公園法施行令（以下「令」という。）第１８条に定める「公園管理者が指定した場所」は、次の各号に定める場所とする。

一　第３項関係（たき火）
　１）堀金・穂高地区　バーベキューコーナー（ただし、直火は不可）
　２）大町・松川地区　デイキャンプ場（ただし、直火は不可）
　３）その他、公園事務所長が行催事毎に指定する場所
二　第４項関係（立入禁止区域）
　管理用施設、修景施設及び必要に応じ公園事務所長が指定する立入禁止区域で標識等により明示される区域
三　第５項関係（車両乗入れ）
　１）駐車場及びその進入路
　２）その他、公園事務所長が行催事毎に指定する場所

（許可申請）
第５条　公園内における行為のうち、法第１２条によるもののほか、次に掲げる行為をしようとするものは、あらかじめ公園事務所長の許可を受けるものとする。また、許可を受ける行為において、仮設工作物等を設ける場合は、あわせて法第７条に基づく占用の許可を受けるものとする。
一　アンケート調査又は動植物等の調査
二　公園内の一定の場所を独占的に使用する行催事
三　開催日時を事前に告知することにより参加者を公募して行う行催事
四　ステージ、テント、マイクロホン、机、椅子等を公園内に設置して行うもの
五　公園内に標識又は横断幕等を掲示して行うもの
六　写真又は映画等を営利目的で撮影するもの
七　会費等を徴収して写真又は映画等の撮影を行うもの
八　駐車場及びその進入路以外の場所への自動車の乗り入れを行うもの

（利用指導）
第６条　職員等はその職務に応じ、法令及びこの要領に定める禁止行為又は許可条件に違反する行為を発見したときは、必要の都度入園の制限又は適切な利用指導をおこなうものとする。

（許可基準）
第７条　法第１２条の規程による許可の申請に関しては、次の各号に掲げるものに該当するものは許可しないものとする。
一　営利を目的とした物品の販売又は領布
二　公園利用に直接関係のない集会
三　著しく公共性に欠け、又は排他的な催し
四　営利のみを目的とした集会
五　公共性に欠ける募金又は署名活動
六　公園利用又は公園管理に関係のない調査

七　休園日又は開園時間外の利用（ただし、公園のＰＲ効果が高いと認められるものを除く）
八　次の各号のーに該当し明らかに公園利用の快適性を損なうもの
イ　公園施設の損傷又は汚損
ロ　公園の風致又は美観の侵害
ハ　他の利用者に危害を与え又は不便を感じさせること
九　前各号に定めるもののほか、公園事務所長が公園の利用又は管理上から不都合と認めるもの

（許可条件）
第８条　公園内の行為について許可をする場合は、次に掲げる条件を付すものとする。
一　他の利用者に迷惑をかけないように留意すること。
（一）他の利用者の安全を守るよう、必要な措置を講ずること。
（二）公園を損傷したり汚損するなど、公園利用に支障を来す恐れのある行為をしないこと。
（三）公園の風致及び美観、その他の公園としての機能を害しないこと
二　許可を受けた事項を変更する時は、簡易なものを除き公園事務所長の許可を得ること
三　許可の期間が満了した時は、直ちに原状に回復すること。ただし、原状に回復することが不適当な場合は、公園事務所又は公園管理センターの指示に従い、必要な措置を講ずること。
四　事故が発生した、又はその恐れがあると判断される場合は、速やかに公園事務所または公園管理センターに報告するとともに、利用者の安全を確保し申請者の責任において速やかに対処すること
五　公園施設を損傷し、汚損し又は滅失した場合は、速やかに公園事務所又は公園管理センターに報告するとともに、その指示のもと、これを修理し、もしくは原状に回復、又は賠償すること。
六　次に示すような場合、許可を取り消したり必要な措置を命ずる場合がある。
（一）申請内容に誤りがあったり、不正な方法により許可を受けた場合
（二）許可条件を守らない場合
（三）公園の保全又は他の利用者の公園利用に著しい障害が生じた場合
（四）公園の運営上又は公益上やむを得ない必要が生じた場合
（五）許可を受けた行為が公園のイメージを著しく損なうことが判明した場合
七　都市公園法及び関係法令を遵守するとともに、公園事務所または公園管理センターの指示に従うこと
八　ロケーションについては、画像、映像等に「国営アルプスあづみの公園」の名称を入れること

（持ち込み禁止物件等）

第９条　次の各号に掲げる物件の公園内への持ち込みは、法第１１条に準ずる行為とみなし禁止する。ただし、職員等の指導のもとで使用する場合を除く。

一　自転車、一輪車

二　銃及び刀剣類（モデルガン、木刀、竹刀を含む）

三　ブーメラン、弓矢、パチンコ、ラジコン飛行機等

四　捕鳥網、植物・昆虫採集道具、釣り道具等

五　野球用具類（バット（木製及び金属製）、硬球）及びゴルフ用具類

六　花火、火薬、大量のガス、油脂類及び火を使用する器具類（定められた場所で使用する場合）

七　ローラースケート、スケードボード（インラインスケート、キックボードを含む）

八　大型テント、ビーチパラソル（大町・松川地区デイキャンプ場を除く）

九　ボート、カヌー

十　その他、公園利用の妨げとなるおそれがあるもの

附則　この要領は平成２７年３月９日から施行する。

別添－５

閉園判断基準

閉園判断基準

国営公園の災害・異常気象時における閉園判断・連絡体制について各公園において、以下の災害・異常気象時において閉園を決定し、また状況に応じ地整あてに連絡を行う場合は下記の表に基づき実施する。地震については、気象庁の発表によるものとし、統一するものである。なお、震度計測地点は堀金村鳥川、観測気象台は長野地方気象台とする。

閉園判断	災害連絡	閉園判断基準
○	○	**【午前閉園の判断時間】** ８時３０分までに閉園判断をする
○	○	**【午後閉園の判断時間】** 残り開園時間が３時間未満の場合
△	○	**【地震】** 震度４以上
△	○	**【大雨】** 特になし
○	○	**【台風】** 気象台において「警戒区域に入る確率」が５０％以上
○		【強風及び暴風】 気象台において「警戒区域に入る確率」が５０％以上
○		**【大雪】** 豪雪やその他の理由で周辺道路に通行止めなどの著しい交通障害が予想、又は発生した場合等検討する
○		**【雷】** １）気象台による落雷注意報発令時に「頭上の落雷」を観測し、その状況が継続すると見込まれるとき。 ２）開園後に「頭上の落雷」を観測した場合は、来園者を避難させ状況の動向により判断する
○	○	**【大規模火災（園内火災）】** 発生箇所、規模、延焼の見込み、消化活動などの状況により総合して判断する。
		【備考】 途中開園が予想される場合の開園にあたっては、途中開園しても払い戻しが無いことを来園者に了解頂く

別添－６

危機管理マニュアル（抄）

国営アルプスあづみの公園
危機管理マニュアル
（堀金・穂高地区、大町・松川地区共通）

H25-27 国営アルプスあづみの公園運営管理業務

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

平成 27 年 4 月

目　次

１．緊急連絡網.....1
２．火災発生の場合.....3
３．台風・大雨等の場合.....5
４．雷発生の場合.....6
５．テロ（爆弾予告）の場合.....7
６．地震の場合.....8
７．クマ出没の場合.....9
８．事故・負傷者発生の場合.....10
９．公用車使用時の事故・負傷者発生の場合（園内外）.....11
10. 上記（２～９）によらない事象の場合.....12
11. 夜間及び休園日の緊急連絡体制（管理センター）.....13

【関係資料】
◆資料－１　事故速報
◆資料－２　支部状況報告様式【公園】
◆資料－３　事故情報記録
◆別紙マニュアル「帰宅困難者等の対応マニュアル」

帰宅困難者等の対応マニュアル（案）

平成２７年２月

H25-27 国営アルプスあづみの公園運営管理業務
アルプスあづみの公園マネジメント共同体

目次

１．目的
２．開設基準
３．運営体制
４．維持管理受託者の役割
５．災害時要援護者への対応
６．連絡調整
７．公園施設の状況確認
８．被害状況の報告
９．その他

※添付資料

●別紙－１
公園施設の受け入れ場所
●別紙－２
あづみの公園管理センター組織及び各班の所掌事務
●別紙－３
発災時チェックシート（第Ⅰ次）
発災時チェックシート（第Ⅱ次）
発災時チェックシート（第Ⅲ次）
●別紙－４
発災時被害状況報告書①【構造体等の点検結果】
発災時被害状況報告書②【基幹設備機能、活動支援空間、執務空間の点検結果】
●参考資料－１
収容人数計算書
●参考資料－２
大町市との災害時の協定書
●参考資料－３
備蓄食料調達計画

別添－７

クマ対策マニュアル（抄）

国営アルプスあづみの公園
ツキノワグマ対策マニュアル

平成２６年１２月

国営アルプスあづみの公園事務所

目　次

はじめに

ツキノワグマに対する安全対策の考え方

１．事前準備編
（１）クマ出没警戒期間
（２）進入予防対策とクマ捕獲体制の確保
（３）初動措置への備え
（４）注意喚起対策

２．警戒活動編　～クマの動向把握と進入予防環境の維持～
（１）クマの動向把握
（２）進入予防対策

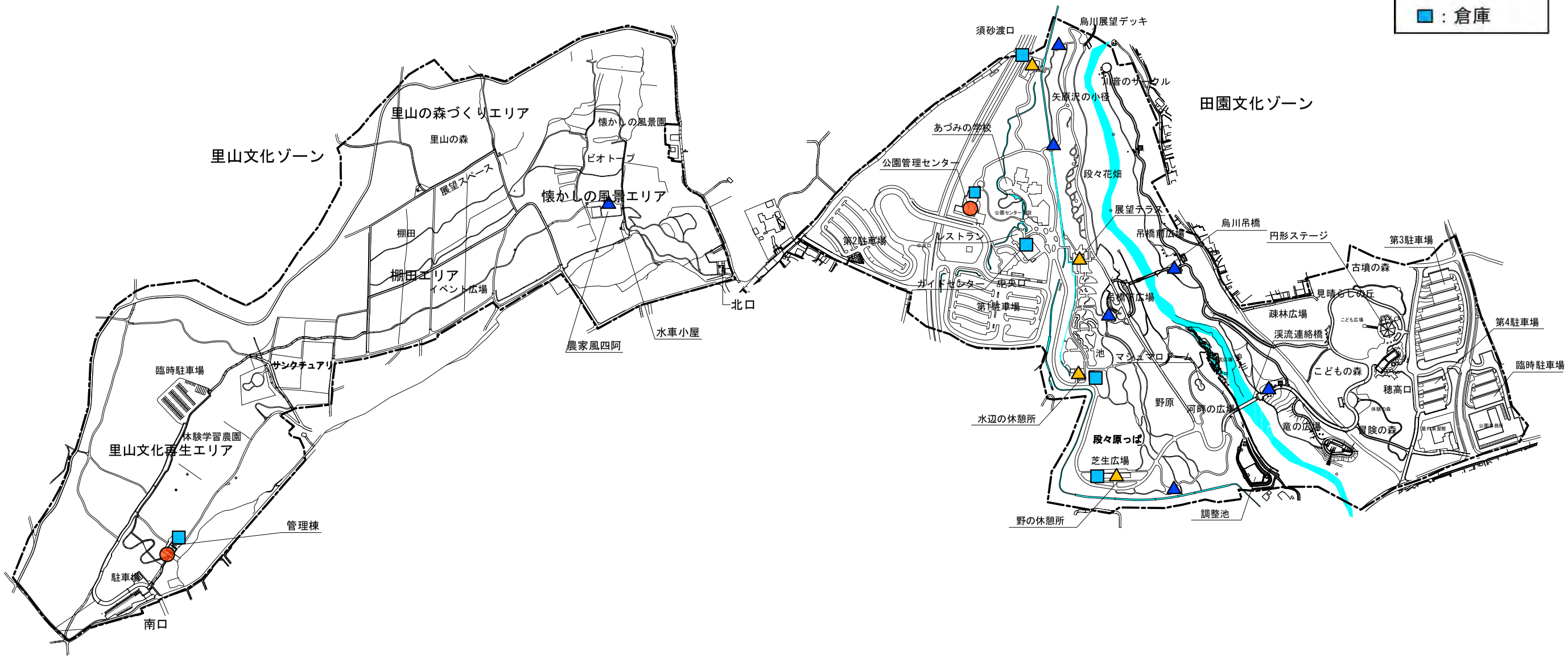
３．出没対応編　～クマの目撃情報があった場合の対応～
（１）巡視警戒レベルと安全対策
（２）対策本部の設置
（３）初動措置
（４）追い払い
（５）開園に関する判断と告知
（６）部分開園時の巡視態勢
（７）問題グマが発生した場合の対応
（８）関係機関への緊急連絡

【参考資料】
参考１．ツキノワグマの生態
参考２．あづみの公園におけるクマ捕獲・放獣の状況（HH、OM 別）
参考３．捕獲したクマへのネーミング
参考４．大型ほ乳類に対する公園外周柵の構造に関する主な検討経緯
参考５．クマの行動圏調査におけるトピック
参考６．他機関のクマ出没時の注意喚起資料、クマ対策マニュアル
参考７．平成 26（2014）年度 OM 地区クマ多発時の資料

別添－8

園内施設（設備等）位置図

別添P51



堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（管理棟・休憩棟・四阿等位置図）

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

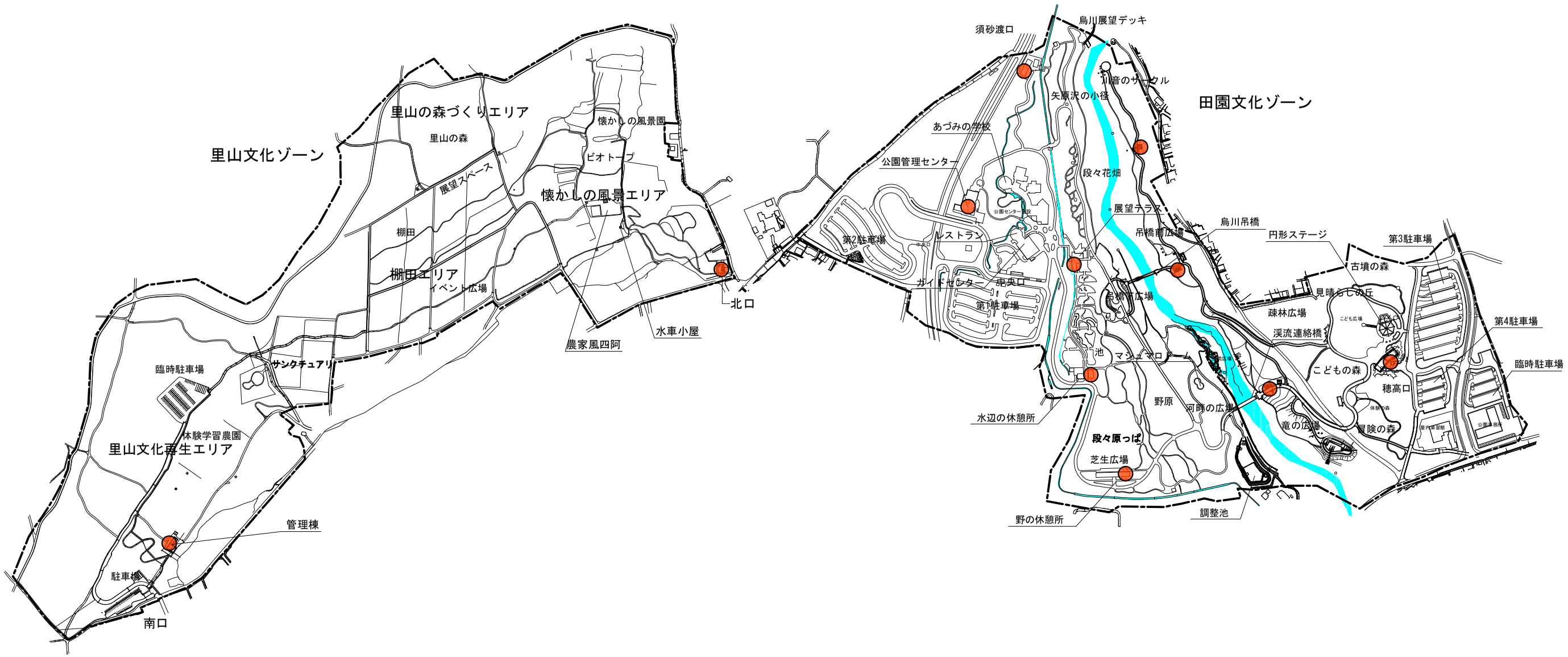
凡例
- ：管理棟
- ：休憩棟
- ：四阿
- ：車庫
- ：倉庫

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
サイクルハウス
駐車場
炊事棟
管理棟
休憩棟レストラン
スポーツと遊びの森入口
保全ゾーン
空中回廊
入口広場
くもの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
駐車場
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス大草原
アルプス広場
大草原の家
渡河施設
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
リフレッシュの森・渓流エリア
乳川川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　園内施設（設備等）位置図
（管理棟・休憩棟・四阿等位置図）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

凡例
●：便所



堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（便所位置図）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

別添P54

凡例
●：便所

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
ゲイトボール場
駐車場
炊事棟
管理棟
休憩棟レストラン
スポーツと遊びの森入口
保全ゾーン
空中回廊
入口広場
くもの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
駐車場
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
こもれび
アルプス大草原
アルプス広場
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
大草原の家
渡河施設
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　園内施設（設備等）位置図
（便所位置図）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

凡例
● : 空調設備

里山文化ゾーン
里山の森づくりエリア
里山の森
展望スペース
棚田
棚田エリア
イベント広場
懐かしの風景園
ビオトープ
懐かしの風景エリア
水車小屋
農家風四阿
北口
臨時駐車場
サンクチュアリ
体験学習農園
里山文化再生エリア
管理棟
駐車場
南口

田園文化ゾーン
須砂渡口
烏川展望デッキ
小音のサークル
矢原沢の小径
あづみの学校
公園管理センター
段々花畑
展望テラス
吊橋前広場
烏川吊橋
円形ステージ
第3駐車場
古墳の森
見晴らしの丘
疎林広場
こどもの広場
第4駐車場
渓流連絡橋
こどもの森
穂高口
臨時駐車場
レストラン
中央口
ガイドセンター
第2駐車場
第1駐車場
池
マレットゴルフ
野原
河畔の広場
水辺の休憩所
段々原っぱ
芝生広場
竜の広場
冒険の森
野の休憩所
調整池

堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（空調設備位置図）

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

別添P56

凡例
● : 空調設備

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
駐車場
管理棟
炊事棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
入口広場
インフォメーションセンター
駐車場
センターゾーン
保全ゾーン
空中回廊
くもの巣遊具
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
アルプス大展望
アルプス広場
大草原の家
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
渡河施設
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
乳川川遊び広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　園内施設（設備等）位置図
（空調設備位置図）

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

凡例
●：受変電設備
△：自家発電設備
□：キュービクル

里山文化ゾーン
里山の森づくりエリア
里山の森
展望スペース
棚田
棚田エリア
イベント広場
懐かしの風景園
ビオトープ
懐かしの風景エリア
水車小屋
農家風四阿
北口
臨時駐車場
サンクチュアリ
体験学習農園
里山文化再生エリア
管理棟
駐車場
南口

須砂渡口
烏川展望デッキ
川音のサークル
矢原沢の小径
田園文化ゾーン
あづみの学校
公園管理センター
段々花畑
展望テラス
烏川吊橋
円形ステージ
第3駐車場
古墳の森
見晴らしの丘
吊橋前広場
第2駐車場
レストラン
中央口
ガイドセンター
第1駐車場
疎林広場
こども広場
渓流連絡橋
第4駐車場
池
マンダラロード
こどもの森
穂高口
臨時駐車場
野原
河畔の広場
体験の森
竜の広場
冒険の森
水辺の休憩所
段々原っぱ
芝生広場
野の休憩所
調整池

堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（電気設備位置図）

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

別添P57

凡例
●：受変電設備
△：自家発電設備
□：キュービクル

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
駐車場
管理棟
炊事棟
休憩棟レストラン
スポーツと遊びの森入口
入口広場
インフォメーションセンター
駐車場
保全ゾーン
空中回廊
くもの巣遊具
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス大草原
アルプス広場
大草原の家
渡河施設
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　園内施設（設備等）位置図
（電気設備位置図）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

凡例
●：受水槽
▲：水飲み

里山文化ゾーン
里山の森づくりエリア
里山の森
展望スペース
棚田
棚田エリア
イベント広場
懐かしの風景園
ビオトープ
懐かしの風景エリア
農家風四阿
水車小屋
北口
臨時駐車場
サンクチュアリ
体験学習農園
里山文化再生エリア
管理棟
駐車場
南口

須砂渡口
烏川展望デッキ
川音のサークル
矢原沢の小径
田園文化ゾーン
あづみの学校
公園管理センター
段々花畑
展望テラス
烏川吊橋
吊橋前広場
円形ステージ
第3駐車場
古墳の森
見晴らしの丘
レストラン
第2駐車場
ガイドセンター
中央口
第1駐車場
疎林広場
こども広場
渓流連絡橋
第4駐車場
池
マレットゴルフ
こどもの森
穂高口
臨時駐車場
水辺の休憩所
野原
河畔の広場
竜の広場
冒険の森
段々原っぱ
芝生広場
野の休憩所
調整池

堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（水道設備位置図）

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

別添P60

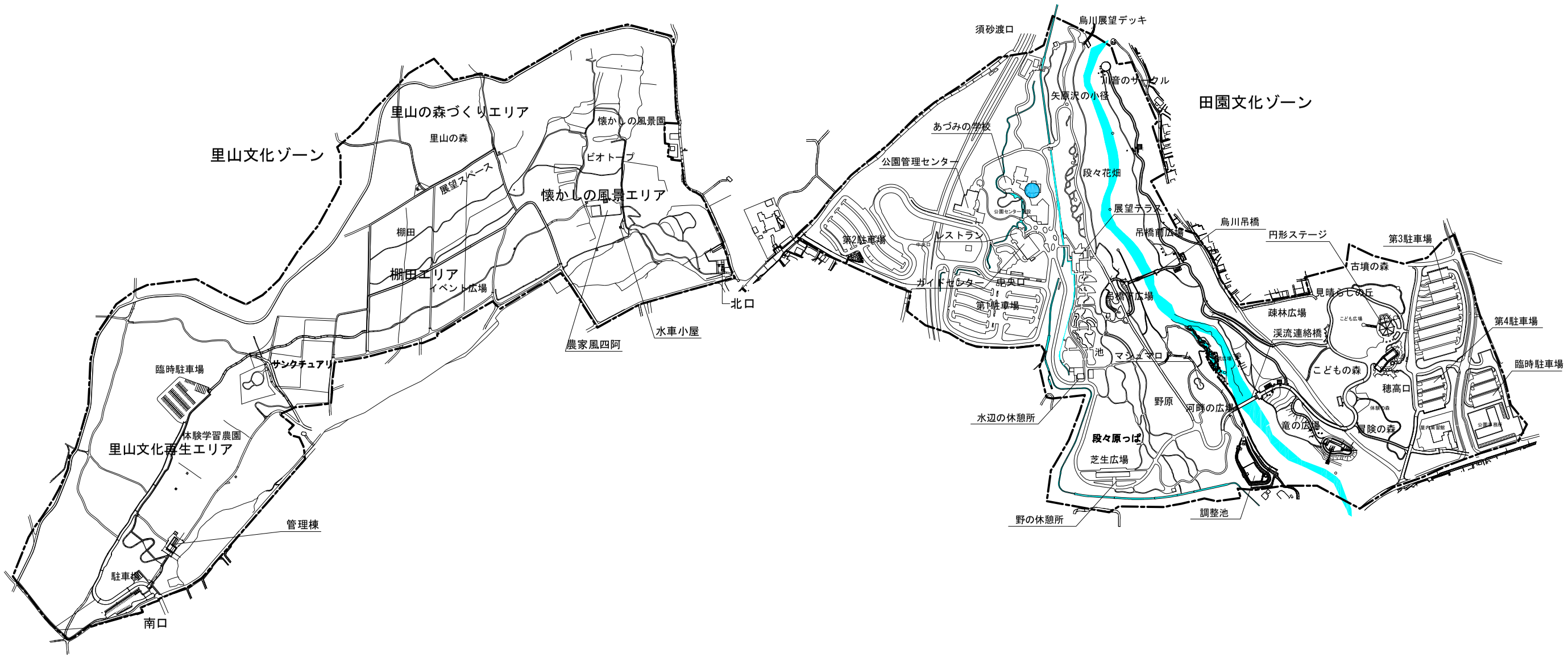
凡例
● : 受水槽
▲ : 水飲み

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
駐車場
管理棟
炊事棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
入口広場
インフォメーションセンター
駐車場
保全ゾーン
空中回廊
くもの巣遊具
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大草原
大草原の家
渡河施設
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
乳川・川遊び広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　園内施設（設備等）位置図
（水道設備位置図）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

凡例
● : 水循環設備



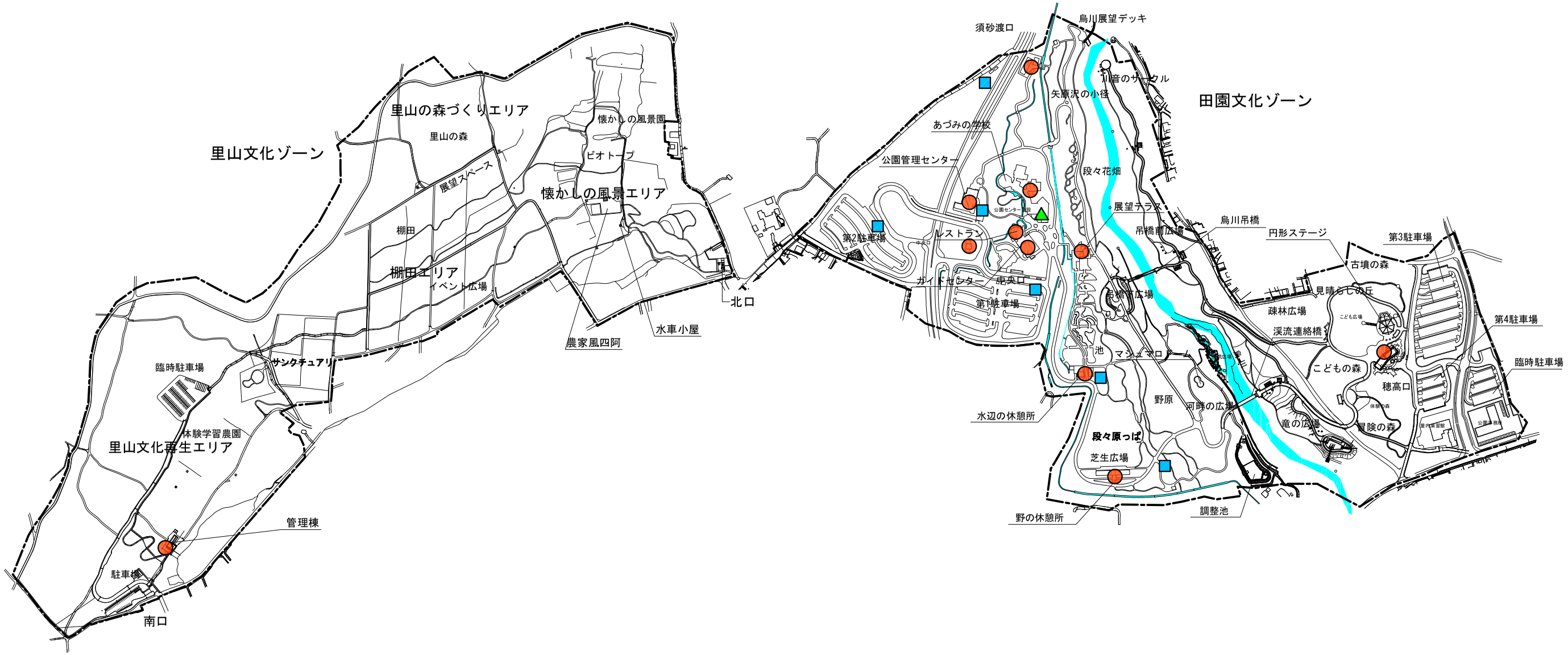
堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（水循環設備位置図）

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添P61

凡例
- ●：建物消防設備（消火器・火災報知機・消火栓）
- ▲：消防ポンプ
- ■：防火水槽



堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（消防設備位置図）

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添P62

別添P63

凡例
● : 建物消防設備
（消火器・火災報知機・消火栓）

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
サイクルハウス横
駐車場
管理棟
炊事棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
入口広場
インフォメーションセンター
駐車場
センターゾーン
保全ゾーン
空中回廊
くもの巣遊具
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
アルプス広場
アルプス大草原
大草原の家
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
渡河施設
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
乳川川遊び広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　園内施設（設備等）位置図
（消防設備位置図）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

凡例
●：1基型
●：2基型
●：3基型

里山文化ゾーン
里山の森づくりエリア
里山の森
展望スペース
棚田
棚田エリア
イベント広場
懐かしの風景園
ビオトープ
懐かしの風景エリア
水車小屋
農家風四阿
北口
臨時駐車場
サンクチュアリ
体験学習農園
里山文化再生エリア
管理棟
駐車場
南口

田園文化ゾーン
須砂渡口
烏川展望デッキ
川沿のサークル
矢原沢の小径
あづみの学校
公園管理センター
段々花畑
展望テラス
第2駐車場
レストラン
ガイドセンター
中央口
第1駐車場
吊橋前広場
烏川吊橋
円形ステージ
第3駐車場
古墳の森
見晴もりの丘
疎林広場
こども広場
第4駐車場
渓流連絡橋
池
マンサクロード
こどもの森
臨時駐車場
穂高口
野原
遊びの広場
体験学習農園
竜の広場
冒険の森
水辺の休憩所
段々原っぱ
芝生広場
野の休憩所
調整池

堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（放送設備位置図）

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

別添P64

凡例
●：1 基型
●：2 基型
●：3 基型

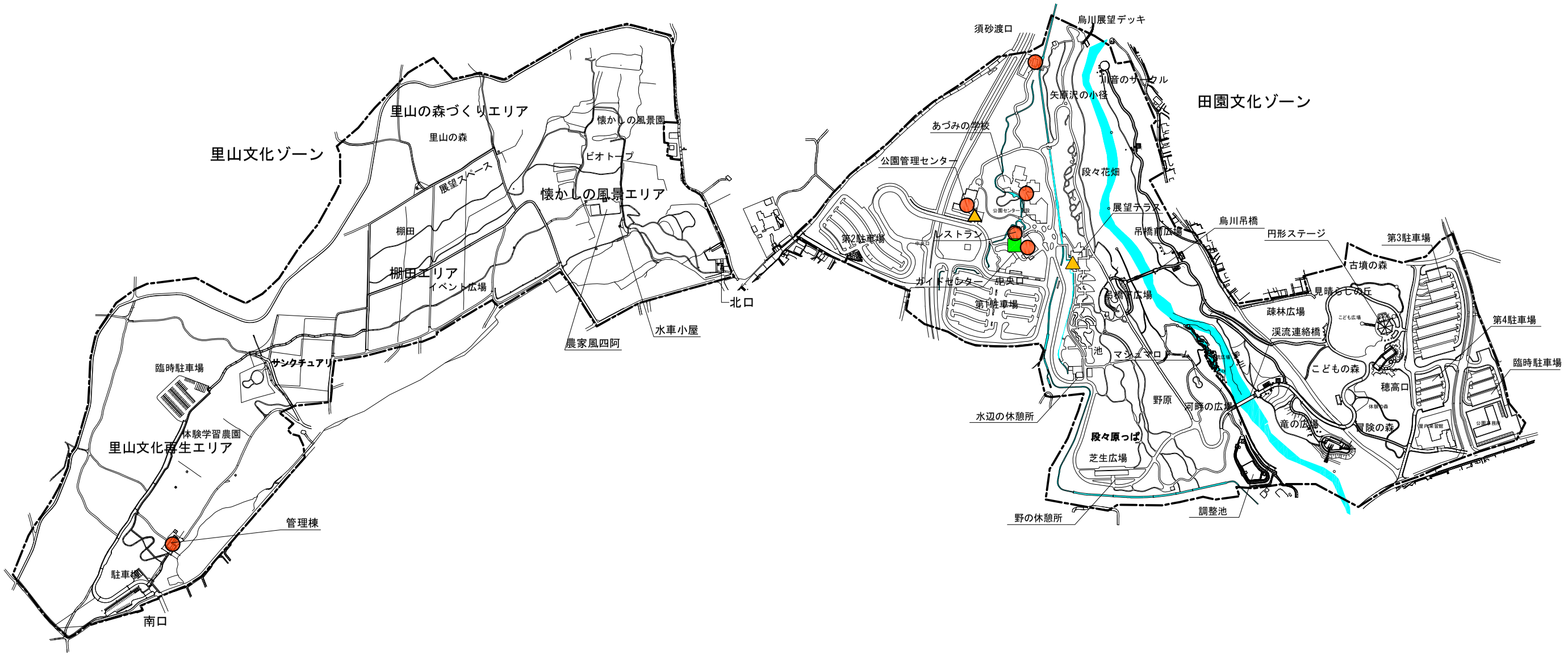
チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
サイクルセンター
駐車場
炊事棟
管理棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
入口広場
インフォメーションセンター
保全ゾーン
空中回廊
くもの巣遊具
そまびとの家
いきものの森
駐車場
センターゾーン
森の体験館
そまびとの森
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大噴水
渡河施設
大草原の家
清流の森
川
彩りの森
横溝堰
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　園内施設（設備等）位置図
（放送設備位置図）

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

別添P65

凡例
- ●：電話設備設置箇所（内線・外線）
- △：緊急電話設置箇所（内線）
- □：公衆電話設置箇所



堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（電話設備位置図）

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添P66

別添P67

凡例
●：電話設備設置箇所（内線・外線）
△：緊急電話設置箇所（内線）

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
ゲートボール場
駐車場
炊事棟
管理棟
休憩棟レストラン
スポーツと遊びの森入口
保全ゾーン
空中回廊
入口広場
くもの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
駐車場
そまびとの森
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大草原
渡河施設
大草原の家
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
乳川川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　園内施設（設備等）位置図
（電話設備位置図）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

別添P68

凡例
●：遊具

里山文化ゾーン
里山の森づくりエリア
里山の森
展望スペース
棚田
棚田エリア
イベント広場
懐かしの風景園
ビオトープ
懐かしの風景エリア
水車小屋
農家風四阿
北口
臨時駐車場
サンクチュアリ
体験学習農園
里山文化再生エリア
管理棟
駐車場
南口

須砂渡口
烏川展望デッキ
小音のサークル
矢原沢の小径
田園文化ゾーン
あづみの学校
公園管理センター
段々花畑
展望テラス
吊橋前広場
烏川吊橋
円形ステージ
マシュマロドーム
こどもの森遊具
第3駐車場
古墳の森
見晴らしの丘
疎林広場
渓流連絡橋
第4駐車場
臨時駐車場
こどもの森
穂高口
冒険の森
冒険の森遊具
竜の広場
レストラン
第2駐車場
中央口
ガイドセンター
第1駐車場
マシュマロドーム
池
野原
河畔の広場
水辺の休憩所
段々原っぱ
芝生広場
野の休憩所
調整池
サイバーホイール

堀金・穂高地区　園内施設（設備等）位置図
（遊具設置箇所位置図）

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

別添P69

凡例
●: 遊具

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
サイクルハウス
駐車場
管理棟
炊事棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
入口広場
インフォメーションセンター
駐車場
センターゾーン
あづみの苑地
保全ゾーン
空中回廊
空中回廊の付設遊具
もの巣遊具
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
林間レクリエーションゾーン
林間アスレチック
林間アスレチック
森のゲート
サイハートホイール
アルプス広場
アルプス大草原
大草原の家
大草原の家ネット遊具
彩りの森
横溝堰
渓流ピクニック広場
河畔探勝の森
河畔探勝エリア
蓄の沢橋
南口臨時駐車場
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
渡河施設
清流の森
乳川
乳川・川遊び広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　園内施設（設備等）位置図
（遊具設置箇所位置図）

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

別添－９

提供施設等の取扱いについて

別紙５「共通仕様書」第３３条１に基づく提供施設等については、下記により取り扱うものとする。

記

１．取り扱い

（１）事業者（以下「乙」という。）は、提供施設等を善良なる管理者の注意を持って使用しなければならない。

（２）乙は、提供施設等を業務委託契約書第●条の業務以外に使用してはならない。

（３）乙は、提供施設等を適正に維持管理しなければならない。

（４）乙は、提供施設等の修繕、模様替え等の行為（維持のための修繕等で軽微なものを除く。）をしようとするときは、国事務所（以下「甲」という。）の承認を受けなければならない。

（５）乙の責に帰すべき理由により提供施設等を滅失し又は棄損したときは、乙の負担において補てんし又は修理しなければならない。ただし、乙の故意又は重大な過失によらない場合は、この限りでない。

（６）乙は、業務委託契約が完了した場合、又は解除になった場合は、提供施設等を提供施設等返納書（別紙様式第１）により、直ちに甲に返納しなければならない。

２．物品の取り扱い

（１）乙は、物品の貸付を受けたときは、借受書（別紙様式第２）を甲に提出しなければならない。

（２）乙は、業務委託契約が完了した場合、又は解除になった場合は、返納書（別紙様式第３）により、直ちに甲に返納しなければならない。

３．報告及び検査

（１）乙は、毎月提供された機械器具のうち、別に定めるものについて提供施設等使用実績報告書（別紙様式第４） を翌月末日迄に甲に提出しなければならない。

（２）乙は、提供施設等を返納する場合、甲の行う検査に合格しなければならない。

（別紙様式第１）

平成　年　月　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

住所
氏名　　印

提　供　施　設　等　返　納　書

下記のとおり提供物件を返納致します。

件　　名		契約年月日	

物　件　名	規　　格	単　　位	数　　量	提供年月日	備　　考

（備考）　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

（別紙様式第２）

借　　受　　書

借　　受　　物　　品				
品　　目	規　　格	単　位	数　量	備　　考
借　受　期　間	平成　　年　　月　　日～平成　　年　　月　　日（　　日間）			
返　納　場　所				

上記物品を正に借り受けました。

　なお、国土交通省所管に属する物品の無償貸付及び譲与に関する省令第４条に定める貸付条件を遵守します。

平成　　年　　月　　日

物品管理官等

殿

借受人　住所

氏名　　印

注意事項

１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

（別紙様式第３）

返　　納　　書

平成　　年　　月　　日

物品管理官等

殿

氏名　　印

下記物品を返納しました。

借　受　物　品				
品　目	規　格	単　位	数　量	備　考
借　受　期　間	平成　年　月　日～平成　年　月　日（　日間）			
返　納　場　所				

受　　領　　書

平成　　年　　月　　日

上記物品を受領しました。

殿

物品管理官等

印

注意事項

１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

２．正副２部作成し、物品管理官等に提出するものとする。

（別紙様式第４）

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

（自　日）
年　　月分
（至　日）

借受人　　印
作成者氏名　　印

現場監督員の認印　　印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	摘　　要
				運転日数	運転時間			

（備考）1. 用紙の大きさは日本工業規格A列4横とする。
2. 主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
3. 主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
4. 運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

別添－10

取得した備品の取扱いについて

H28-31 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務委託費で取得した備品については、下記により取り扱うものとする。

記

１．取り扱い

（１）事業者（以下「乙」という。）は、委託費を充当して取得した備品を善良なる管理者の注意をもって管理しなければならない。

（２）前号の備品は、備品台帳に登載し管理しなければならない。

（３）乙は、各年度の業務を完了した時は、備品を業務請負契約書第〇条に基づく検査の結果、合格通知があった後、備品引渡書（様式第１）により、国事務所（以下「甲」という。）に引き渡さなければならない。ただし、当該業務に継続して使用する備品で備品継続使用承認申請書（様式第２）により甲の承諾を得た場合はこの限りでない。

（４）乙は、乙の責に帰すべき事由により備品を滅失又は棄損したときは、乙の負担において補てんし、又は修理しなければならない。ただし、乙の故意又は重大な過失によらない場合はこの限りではない。

２．処 分

（１）備品が、次の各号の一に該当すると認められる場合は、不用の決定をすることができる。

①備品の使用年数、能力等から勘案して当該備品を引き続き使用することが困難であると認められる場合。

②備品が乙の責に帰さない事由により、老朽化、損傷等により利用価値がなくなったと認められる場合。

③備品の修理用部品の補給が困難で、整備に多大の支障をきたすと認められる場合

（２）処分の方法

乙は、前号に該当する備品を売り払った場合は、その内容を証する書類を添えて甲に書面により報告し、甲の発行する納入告知書により国庫に納入するものとする。

また、売り払うことが不利（備品の売払価格が、当該備品の売り払いのために要する費用に満たないと認められる場合）又は、売り払うことができないものは、廃棄することができる。

また、廃棄した場合はその都度その旨を書面により甲に報告しなければならない。

（別紙様式第１）

（様式第１）

平成　　年　　月　　日

殿

住　所

氏　名　　印

備　品　引　渡　書

H28-31国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務にかかる別紙を引渡します。

（備　考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

（様式第２）

平成　　年　　月　　日

殿

住　所

氏　名　　印

備品継続使用承認申請書

H28-31国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務にかかる別紙について、

平成　　年　　月　　日まで継続して使用したく申請いたします。

（備　考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

別　　紙

取得年月日	品　　名	規　　格	数　　量	単　　価	価　　格	経　費　区　分	摘　　要

（備　考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列Ａ横とする。

別添P78

別添－11

情報セキュリティについて

（情報資産の取り扱い）

第１条　事業者は、情報資産（情報及び情報システム等）の機密性、完全性及び可能性を維持するよう、情報資産の取り扱いを適正に行わなければならない。

（秘密の保持）

第２条　事業者は、業務に関して知り得た情報を他に漏らしてはならない。また、契約が終了し、又は解除されたときも同様とする。

（安全確保の措置）

第３条　事業者は、業務に関して取り扱う情報資産について、漏えい、滅失及びき損の防止その他の情報資産の適正な管理のための必要な措置を講じなければならない。

（収集の制限）

第４条　事業者は、業務を処理するために情報を収集するときは、業務を処理するために必要な範囲内で適正かつ公正な手段により収集しなければならない。

（目的外利用及び第三者への提供の禁止）

第５条　事業者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、業務に関して知り得た情報を、本契約の目的外に利用し、又は第三者に提供してはならない。

（複写または複製の禁止）

第６条　事業者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、業務を行うため発注者から提供を受けた情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

（下請負の制限）

第７条　事業者は、発注者の承諾があるときを除き、業務について、第三者に委託してはならない。

（資料等の返還等）

第８条　事業者は、業務を行うため、発注者から提供を受け又は事業者自らが収集し、若しくは作成した情報が記録された資料等（電子媒体を含む）は、当該契約終了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡さなければならない。

（事故等の報告）

第９条　事業者は、第１条から第８条に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従わなければならない。

（体制の整備）

第１０条　事業者は、情報セキュリティを確保するための体制を整備し、責任者や従事させる者の名簿及び連絡体系図を発注者に提出しなければならない。

（管理者の調査）

第１１条　発注者は、事業者が業務を行うに当たり、取り扱っている情報資産の管理の状況について、必要に応じて調査することができ、事業者はそれに協力しなければならない。

（契約解除及び損害賠償）

第１２条　発注者は、事業者が本要領に違反していると認めたときは、本契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

別添－12

兼用工作物について

凡例
：一般県道豊科大天井岳線
：安曇野市道穂高 4226 号線
：安曇野市道穂高 4230 号線
：安曇野市道穂高 4235 号線
：安曇野市道 2 級 10 号線

里山文化ゾーン
里山の森づくりエリア
里山の森
展望スペース
棚田
棚田エリア
イベント広場
懐かしの風景園
ビオトープ
懐かしの風景エリア
水車小屋
農家風四阿
北口
臨時駐車場
サンクチュアリ
体験学習農園
里山文化再生エリア
管理棟
駐車場
南口

一般県道豊科大天井岳線
須砂渡口
烏川展望デッキ
小音のサークル
矢原沢の小径
田園文化ゾーン
あづみの学校
公園管理センター
段々花畑
展望テラス
烏川吊橋
円形ステージ
第3駐車場
古墳の森
見晴らしの丘
安曇野市道穂高4235号線
安曇野市道穂高4230号線
第2駐車場
レストラン
ガイドセンター
中央口
第1駐車場
吊橋前広場
疎林広場
こども広場
渓流連絡橋
第4駐車場
池
マレットゴルフ
こどもの森
穂高口
臨時駐車場
水辺の休憩所
野原
河畔の広場
段々原っぱ
芝生広場
竜の広場
冒険の森
野の休憩所
調整池
安曇野市道穂高4226号線
安曇野市道2級10号線

堀金・穂高地区 兼用工作物区域図(平成27年3月時点)

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

凡例
：横溝堰
：林道大洞線
：林道常盤線
：林道乳川線

林道大洞線
チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
スポーツと遊びの森
チャレンジルートB
レンタル棟
林道大洞線
駐車場
管理棟
炊事棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
保全ゾーン
空中回廊
入口広場
くもの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
駐車場
森の体験館
そまびとの森
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林道常盤線
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大草原
渡河施設
大草原の家
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
横溝堰
リフレッシュの森・渓流エリア
乳川川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
林道乳川線
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　兼用工作物区域図(平成27年3月時点)

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

別添－13

公用車運行管理規定

（趣旨）

第１条　この規定は法令に定めるもののほか、公用車の運用について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　公用車とは、国営アルプスあづみの公園事務所より、アルプスあづみの公園マネジメント共同体が貸与された自動車をいう。

（公用車使用の原則）

第３条　公用車は、運営維持管理業務の遂行に必要な業務以外の目的で使用してはならない。

（車両運行管理責任者）

第４条　１　公用車の運用にあたり車両運行管理責任者を置く。

２　車両運行管理責任者は、公用車を使用目的に応じて最も効率的に運用しなければならない。

３　車両運行管理責任者は、次に掲げる事項を処理しなければならない。

（１）　提供施設等使用実績報告書（別紙様式第４）の管理に関すること。

（２）　道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）第 48 条に規定する定期点検整備に関すること。

（３）　道路運送車両法第 58 条に規定する検査に関すること。

（４）　その他公用車の管理に関すること。

４　車両運行管理責任者は運営維持管理責任者とする。なお、車輌運行管理責任者に事故があるときは、「危機管理マニュアル（緊急連絡網」に準じて、その職務を代行する。

（車両運行管理責任者の責務）

第５条　車両運行管理責任者の責務は、次に掲げるとおりとする。

（１）　運転者に対し、運転者がしなければならない運転前の点検の実施等を確認し、安全な運転を確保するために必要な指示を与えること。

（２）　異常な気象、天災その他の理由により、安全な運転の確保に支障が生ずる恐れがあるときは、運転者に対する必要な指示その他安全な運転の確保を図るための措置を講ずること。

（３） 運転者に対して、過労、病気、その他の理由により正常な運転をすることができないおそれの有無を確認し、安全な運転を確保するために必要な指示を与えること。

（４） 運転者に対し、事故未然の防止を図るため、道路交通法その他関係法令の遵守など、交通安全等の研修を毎年度実施すること。

（５） 公用車による交通事故及び関係法令違反（以下「交通事故等」という。）が発生した時は、交通事故等の原因を分析し、運転者が交通事故等を起こさないよう指導教育し、交通事故等の防止の徹底を図ること。

（運転者の制限）

第６条　公用車の運転者は、次に掲げるとおりとする。

（１） 運転免許取得後３年以上の経験を有する者。

（２） 過去３年以内に交通違反等により免許の取消処分を受けていない者。

（３） その他、車両運行管理責任者が認めた者。

（運転者の責務）

第７条　運転者の責務は、次に掲げるとおりとする。

（１） 運転前に灯火装置の点灯、制御装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、点検をすること。

（２） 常に関係法令を遵守し、適切かつ安全な運行に努めること。

（３） 公用車を清潔に保つこと。

（４） 運転者は「公用車運行管理規定」及び「危機管理マニュアル」を携帯し、これを遵守すること。

（公用車の使用）

第８条　１　公用車を使用しようとする者は、あらかじめ車両運行管理責任者に申し出なければならない。

２　車両運行管理責任者は、前項の申し出があった場合には、公用車の使用状況を確認し、その使用を許可するものとする。

（運転日報）

第９条　運転者は運転日報（別紙様式１）に必要な事項を記録しなければならない。

（事故が発生した時の対応）

第１０条　１　運転者は事故が発生した場合には、「危機管理マニュアル」に従い、必要な措置を講ずること。

２　運転者は前項の必要な措置を講じた後、車両運行管理者に報告し、その後の指示を仰ぐこと。

３　車両運行管理責任者は、公用車の運行にあたって、事故発生時の報告を受けたときは、直ちに国営アルプスあづみの公園事務所工務課長に報告し、その後の指示を仰ぐこと。

（緊急時の統制）

第１１条　災害その他緊急の場合においては、車両運行管理責任者は公用車の使用を統制することができる。

附　則

この規定は、平成２５年４月１日より施行する。

別添－14

公園園内車輌運行要領

国営アルプスあづみの公園園内車輌運行要領

1　目的

お客様の安全や快適な利用を確保するとともに、事故を未然に防止し公園施設の保全を図ることを目的とする。

2　適用

本要領は、駐車場を除く開園区域（以下、「園内」という。）における国土交通省、アルプスあづみの公園マネジメント共同体、テナント等関連の業務用車輌及び臨時的に入園する全車輌に適用する。

3　共通事項

（1）　園内では、お客様の安全と快適を妨げない運転・駐停車・作業態度を心掛けるとともに、公園施設の保全に努めること。

（2）　園内は原則として左側通行、必要に応じて、人、原付バイク又は自転車による先導をつけ、走行速度は１０ｋｍ以下、走行経路は主要園路（幹線園路、準幹線園路）のみとし、細園路は走行しないこと。

（3）　園内はお客様及び歩行者を優先とし、クラクションは一切使用しないこと。また、一時停止・徐行運転に心掛けること。

（4）　園内に乗り入れる車輌は見苦しくないよう常に清掃管理すること。

（5）　駐停車中のアイドリングは行わないこと。

（6）　車輪に車止めを設置すること。

（7）　本要領に定める規定に違反した車輌は即刻退園を命じるとともに、再入園を禁止する。

4　維持管理及び工事関係車輌

（1）　維持管理車輌を除き、開園時間中園内への車輌乗り入れは原則禁止とする。止むを得ない場合は管理センター長の指示を得て、上記「共通事項」ルールを厳守することとする。

（2）　作業車輌の園内での駐停車場所は、公園担当職員の指定する場所又は事前に了解を得た場所とすること。なお、やむを得ない場合も利用者の障害にならない場所・景観を阻害しない場所等を選定すること。

5　売店・レストラン等納品車輌

（1）　食料品、菓子、雑貨等の納品は可能な限り平日に行うこと。

（２） 休日等の閉園時間中、混雑時の車輌乗り入れによる納品は行わないこと。追加の納品が必要な場合は所定の場所から台車等で運搬すること。

６　プレス・イベント関係車輌

（１） イベント関係のため、資機材等を搬入又は設営を行う車輌は、あらかじめ管理センターに計画書を提出し、車種・時間・方法・経路・駐停車場所等について打合せした後、管理センター長の許可を得ること。

（２） 園内への車輌乗り入れは最小限とする。資機材等の搬入等を終了した車輌は速やかに園内から移動すること。

７　緊急車両

消防・救急・警察等の緊急車両は、管理センター職員（巡視員）が現地まで案内誘導する。緊急車両の退園時も同様の扱いとする。

８　車輌通行許可証

（１） 臨時車輌入園許可証は管理センターにおいて管理し、入園時に貸し出し、退園時に管理センターに返却するものとする。

（２） 園内に乗り入れる車輌については、指定の車輌通行許可証をダッシュボード等の目に付くところへ掲示することとする。

平成２５年４月１日制定

別添ー15

建物に係る消防計画

国営アルプスあづみの公園
堀金・穂高地区
消　防　計　画　書

H25-27 国営アルプスあづみの公園運営管理業務

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

２０１４．５

目　次

第１章　総則 1

第１節　目的等 1

第２節　管理権限者と防火管理者の業務と権限 1

第３節　消防機関への報告、通報等 2

第４節　防火管理委員会の設置 3

第２章　予防管理対策 3

第１節　火災予防上の点検・検査 3

第２節　点検結果の結果等 3

第３節　火災予防措置 3

第４節　工事中の安全対策 5

第５節　放火防止対策 5

第３章　自衛消防活動対策 5

第４章　休日、夜間の防火管理体制 5

第５章　震災対策 6

第１節　震災事前措置 6

第２節　警戒宣言発令時の対策 6

第３節　震災対策 7

第４節　地震時の活動 8

第６章　防災教育及び自衛消防訓練 8

第１節　防災教育等 8

第２節　自衛消防訓練 9

第１章　総則

第１節　目的等

（目的）

第１条　本計画は、H25-27 国営アルプスあづみの公園運営管理業務アルプスあづみの公園マネジメント共同体（以下「アルプスあづみの公園マネジメント共同体」という。）が、国営アルプスあづみの公園管理センター堀金・穂高地区（以下「センター」という。）において、国営アルプスあづみの公園堀金･穂高地区における防火管理の徹底を期し、防火管理について必要な事項を定め、火災、地震、その他の災害の予防と人命の安全及び被害の予防及び軽減を図ることを目的とする。

（適用範囲）

第２条　この計画は、センター内に勤務し、出入りするすべての関係者に適用する。

第２節　管理権限者と防火管理者の業務と権限

（管理権限者）

第３条　管理権限者（以下「管理センター長」という。）は、センターの防火管理業務について、すべての権限責任を有する。

１．センター長は、管理的又は監督的な立場にあり、かつ、防火管理業務を適正に遂行できる権限を持つ者を防火管理者に選任して、防火管理業務を行わなければならない。

２．センター長は防火管理者が消防計画を作成あるは変更する場合、必要な指示を与えなればならない。

３．センター長は、建物の防火上の不備箇所や消防用設備等の不備欠陥が発見された場合、速やかに改修しなければならない。

（防火管理者）

第４条　防火管理者は、本消防計画においてすべての権限を持って、次の業務を行う。

１．自衛消防組織の編成と任務分担

２．火災予防上の自主検査の実施と維持管理

３．消防用設備等の点検とその立会い及び維持管理

４．防火、避難施設の維持管理

５．収容人員の適正管理

６．従業員等に対する防火上に必要な情報の周知徹底

７．消火、通報及び避難訓練の実施

８．消防機関との連絡

９．センター長への報告等

10．その他

第３節　消防機関への報告、通報等

（消防機関への報告、通報等）

第５条　防火管理者は、前条で報告又は提出した書類等の写しをその他防火管理業務に必要な書類等を一括して編纂し、保管する。

種別	届出等の時期	届出者等
防火管理者選任(解任)届	防火管理者を選任又は解任した時	センター長
消防計画作成(変更)届	消防計画を作成又は次の事項を変更した時 (1)管理権限者又は防火管理者の変更 (2)自衛消防組織の変更 (3)用途の変更、増築、改築、模様替えによる消防用設備等の変更 (4)防火管理業務の一部委託に関する事項の変更	防火管理者
禁止行為の解除承認	禁煙、裸火の使用又は危険物品の持ち込みが禁止されている場所で、これらの行為を行おうとするとき	センター長
消防訓練実施計画書	消防訓練を実施する 10 日前	防火管理者
消防用設備等点検結果報告（※）	半年に１回(総合点検終了後の消防用設備等点検結果報告書)、国営アルプスあづみの公園事務所と連携し報告を行う。	国営アルプスあづみの公園事務所（防火管理者の確認後）
防火対象物定期点検結果報告書	1 年に１回国営アルプスあづみの公園事務所と連携し報告を行う。	国営アルプスあづみの公園事務所
消防用設備等の設置届出	自動火災報知設備を増設、改設、移設したとき国営アルプスあづみの公園事務所と連携し設置届出を行う。	国営アルプスあづみの公園事務所

（※）消防用設備等の法定点検の実施

消防用設備等	点　検　実　施　月　日	
	機器点検	総合点検
消　　火　　器	年２回	
自動火災報知設備	年２回	年１回
誘　　導　　灯	年２回	
非常ベル・放送設備	年２回	年１回
配　　線	年２回	年１回

第４節　防火管理委員会の設置

(防火管理委員会)

第６条　防火管理業務の適正な運用を図るためセンターに防火管理委員会を置く。

１．防火管理委員会の構成は、別表１のとおりとする。

２．会議のメンバーは、基本的に防火管理委員会で構成する。

３．以下の場合は、会議を開催する。

⑴消防計画の変更に関すること。

⑵防火管理者等からの報告、提案によりセンター長が会議を開催する必要があると認めたとき。

⑶防火・避難施設、消防用設備等の点検・維持管理に関すること。

⑷自衛消防組織の実施細部に関すること。

⑸火災予防上必要な教育に関すること。

⑹その他

第２章　予防管理対策

第１節　火災予防上の点検・検査

(日常の火災予防)

第７条　防火管理者は、所定の区域ごとに防火責任者又は火元責任者（以下「防火責任者等」という。）を定め、日常の火災予防の徹底を図らなければならない。

第２節　点検結果の報告等

(点検結果の報告等)

第８条　自主点検を実施した際に、結果、不備及び欠陥部分の改修について、センター長に報告し、指示を受け改修計画を策定する。

第３節　火災予防措置

(火気の使用制限等)

第９条　防火管理者は、喫煙及び火気等の使用制限を行うものとする。

１．喫煙可能場所及び火気使用設備・器具が使用できる場所

⑴喫煙可能場所

喫煙できる場所は、下記の通りの灰皿設置箇所のみとする。

・公園管理センター
・ガイドセンター
・あづみの学校
・レストラン　あづみの
・展望テラス
・水辺の休憩所

・野の休憩所
・須砂渡事務所
・穂高口
⑵火気使用設備・器具が使用できる場所
・厨房及び給湯室
・アルプスあづみの公園事務所が許可をした場所
２．喫煙及び火気使用設備・器具の使用に関する注意事項は以下の通りとする。
⑴火気使用設備・器具は指定された場所で使用するとともに、本来の目的以外には使用しないこと。
⑵火気使用設備・器具を使用する際には、事前に器具等を点検してから使用すること。
⑶火気使用設備･器具を使用する際には､周囲を整理整頓し､可燃物に接近して使用しないこと。
⑷火気使用設備・器具を使用した後には、必ず安全点検を行い、確認すること。
⑸喫煙所以外では、喫煙しないこと。
⑹催物等において、一時的に火気を使用する場合は、防火管理者の承認とセンター長の承認を得て、アルプスあづみの公園事務所に協議し許可をとること。

(避難施設等における遵守事項)
第 10 条　防火管理者及び従業員等は避難施設及び防火施設の機能を有効に保持するため､以下の事項を遵守する。
１．避難口・廊下・階段及び避難経路等の避難施設
・避難の障害となる設備を設けない他、物品を置かないこと。
・床面は、避難に際してつまずき、すべり等を生じさせないように維持すること。
・避難口等に設ける戸は、容易に開錠し、かつ解放できるとともに、解放した戸が廊下等の幅員を避難上有効に確保できること。
２．火災が発生したときの延焼防止又は有効な消防活動を確保するための防火施設
・防火設備及び防火シャッターは、常時閉鎖出来るようにその機能を有効に保持し、かつ、閉鎖の障害となる物を置かないこと。
・防火設備に接近して、延焼の媒介となる可燃性物品を置かないこと。なお、容易に除去できない場合には、速やかに防火管理者に報告する。

(避難経路図の管理)
第 11 条　防火管理者は、避難経路図を作成し、管理権限者に提出するとともに、これを自衛消防隊員及び従業員に周知する。

(収容人員の管理)
第 12 条　防火管理者は、当該防火対象物の収容能力を把握し、過剰な人員が入場しないよう従業員に周知する。
１．一時的な催物等により、混雑が予想される場合には、避難通路の確保、避難誘導員の配置などの必要な措置を図る。

第４節　工事中の安全対策

（工事中の安全対策）

第 13 条　工事を行う場合は、防火管理者が、工事中の安全対策を策定する。

１．防火管理者は、作業員に対して以下の事項を遵守させる。

⑴溶接や溶断を行う場合は、事前に消火器等を準備させること。

⑵防火管理者が指定した場所以外では、喫煙を行わないこと。

⑶放火を防止するため、資機材等を整理整頓すること。

⑷その他防火管理者が指示すること。

第５節　放火防止対策

（放火防止対策）

第 14 条　防火管理者は、以下の事項に留意し、放火防止対策に努める。

１．建物の周囲及び廊下、階段室、トイレ等の可燃物を整理整頓すること。

２．物置及び倉庫等の鍵の管理と施錠を励行すること。

３．アルバイトやパート等の従業員の明確化を行い、不法侵入者の監視を行うこと。

４．監視カメラによる定期的な監視及び巡回による定期、不定期な監視を行い、死角を解消する。

５．火元責任者等及び最後に退社する者が、火気及び施錠の確認を行うこと。

６．駐車場内の車輌は、施錠すること。

７．建物内が無人の場合は、施錠すること。

第３章　自衛消防活動対策

（自衛消防隊の編成等）

第 15 条　火災その他災害が発生した場合に、被害を最小限に留めるため、自衛消防隊を編成する。

１．自衛消防隊の組織及び任務分担は、別表２及び別表３のとおりとする。

（自衛消防隊の活動範囲）

第 16 条　自衛消防隊の活動範囲は、国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区範囲内とする。

第４章　休日、夜間の防火管理体制

（休日、夜間の火災予防管理）

第 17 条　夜間等従業員の数が著しく少なくなる時間帯においては、あらかじめ退社時間前に巡回を行い、火元を確認し、火災予防の安全確保に努める。また、休日は、休日に入る前日の退社時間前に巡回し、火元を確認し火災予防に努める。

（休日、夜間における自衛消防活動）

第 18 条　休日、夜間等従業員の少ない時間における自衛消防活動は、第 16 条で定める任務分担に基づき、在館する隊員が以下の措置を行う。

１．通報連絡
２．初期消火
３．避難誘導
４．消防隊員への情報提供
５．緊急連絡網による関係者への連絡

第５章　震災対策

第１節　震災事前措置

第 19 条　地震時の災害を予防するために、以下の措置を行うように努める。

１．火気使用設備・器具の上部及び周囲に、転倒落下の恐れのある物品、燃えやすい物品を置かないこと。
２．火気使用設備・器具の自動消火装置等の作動状況を確認すること。
３．危険物等の落下、転倒、浸水等による発火防止の確認を行うこと。

第２節　警戒宣言発令時の対策

（警戒宣言発令時の自衛消防組織）

第 20 条　警戒宣言が発令されたときの自衛消防隊は、別表２及び別表３に定める任務を遂行する。

（休日及び夜間における対応）

第 21 条　センター長を中心に、在館者で別表２及び別表３に定める任務を分担して行う。

１．別に定める緊急連絡表により必要な要因を招集しなければならない。
２．警戒宣言の発令を知った時、なるべく自主的に参集するようにする。

（従業員に対する警戒宣言発令の伝達等）

第 22 条　警戒宣言が発令された場合、従業員及び作業員に対して、放送設備等を利用して速やかに伝達する。

１．自衛消防隊長は、避難誘導班に指定されている者を所定の配置をさせる。

（在館者に対する警戒宣言発令の伝達）

第 23 条　在館者等に対する警戒宣言発令の伝達は、避難誘導班の配置が完了したことを確認した後、放送設備により行う。

（誘導案内）

第 24 条　避難誘導班は、所定の位置につき、適切な誘導及び案内により混乱の防止に努める。

１．避難誘導は、混乱の防止を図るため、避難しなければならない階に近い階層から順次実施する。

（火気使用の中止等）

第 25 条　警戒宣言が発令されたときは、禁煙とし、火気使用設備・器具の使用も原則として中止する。

なお、やむを得ず火気を使用する際は、防火管理者の承認を得た後、消火体制を講じた上で最小限の使用とする。

１．危険物の取扱いは直ちに中止する。なお、やむを得ず取り扱う場合は、防火管理者の承認を得て、出火防止等の対策を講じる。

２．エレベーターは、地震時管制運転装置付き以外のものについて運転を停止する。

（従業員が行う被害防止措置）

第 26 条　警戒宣言が発令された場合、館内の被害を防止するため以下について定める措置を講じるように努める。

１．事務機器の転倒、落下防止

２．窓ガラス等の破損、散乱防止

３．避難通路の確保、非常口の開放等

４．初期消火の水等の確保

５．非常持出品の準備

第３節　震災対策

（震災時の初期対応）

第 27 条　地震が発生した場合は、身の安全を守ることを最優先かつ速やかに以下の初期対応に努める。

１．火気使用設備・器具の近くにいる従業員は、元栓・器具栓の閉止又は電気の遮断を行う。また、各火元責任者はその状況を確認し、防火管理者等に報告すること。

２．ボイラーの使用停止と燃料バルブ等の閉鎖を行う。

３．全従業員で周囲の機器や物品等の転倒、落下等の有無を確認し、異常があった場合は、防火管理者に報告すること。

４．防火管理者は、建物内等の火気使用設備・器具・危険物施設等について点検を実施し、その結果を防火管理者等に報告すること。なお、異常が認められた場合は、至急応急に処置すること。

５．防火管理者は、上記１～４による被害状況等を把握すること。

６．火気使用設備・器具は、安全が確認された後に使用すること。

第４節　地震時の活動

（地震時の活動）

第 28 条　地震時の活動は、第 28 条及び自衛消防活動による他、以下の事項を実施することに努める。

１．情報収集・伝達活動

通報連絡班は、テレビ、ラジオ等による地震情報の収集を行い、周辺の状況を把握すること。

２．救出・救護

・救出及び救護については、応急救護班が中心となり他の自衛消防隊員と協力して実施に努める。

・負傷者が発生した場合、応急手当を行うとともに負傷程度に応じ、応急救護所及び医療機関に搬送すること。

・地震の規模により消防隊等による搬出がかかる場合、救出資機材を活用して救出活動に努める。

３．避難誘導活動

・避難誘導班は、在館者等を落ち着かせ、自衛消防隊長から避難命令があるまで、照明器具等の落下に注意しながら柱周りや壁際等の安全な場所で待機させること。

・避難は、防災関係機関の避難命令又は自衛消防隊長の指示により行うこと。

・在館者等を広域避難場所まで避難誘導を行う場合、事前に順路、道路状況、地域の被害状況について説明をすること。

・避難誘導を行う場合は、先頭と最後尾に避難誘導班員を配置し、避難者の安全を十分注意しながら誘導すること。

・避難する際は、車輌等を使用せず全員徒歩により行うこと。

・避難する際は、分電盤を遮断すること。

・避難誘導は、避難誘導担当と協力して行うこと。

４．避難路の確保

安全防護班は、避難者の安全を確保するために、避難通路に落下、転倒、倒壊した物品の除去を行うように努める。

第６章　防災教育及び自衛消防訓練

第１節　防災教育等

第 29 条　防災教育は、以下の表に従い計画事項・計画内容・実施回数を定める。

計画事項	計画内容	実施回数
従業員等に対する教育	１．防火管理の周知徹底 ２．防火管理上の注意事項 ３．各従業員の防火管理に関する任務及び責任の周知徹底	年２回

	４．その他火災予防上必要な事項（火災予防及び消火に関する知識）	
新任者に対する教育	１．防火管理の周知徹底 ２．防火管理の遵守事項 ３．安全な作業に関する基本的事項 ４．消防計画の周知徹底 ５．その他火災予防上必要な事項（避難の要領等）	採用時１回

第２節　自衛消防訓練

（自衛消防訓練の種別等）

第 30 条　防火管理者は、計画的に自衛消防訓練を実施することに努める。

１．訓練指導者は、自衛消防隊長とし訓練時における事故防止及び安全対策の確立を図る。

２．訓練の種別は、消火訓練、避難誘導訓練とする。

項目	種別	実施予定時期
自衛消防訓練	１．消火訓練 ２．総合訓練 （通報・避難訓練）	９月、３月 （※レストラン含む）

（消防機関への通報）

第 31 条　防火管理者は、自衛消防訓練の実施結果を確認し、その結果を日常の防火管理体制及び次回に実施する自衛消防訓練に反映させるように努める。

別表１

アルプスあづみの公園　防火管理委員会構成名簿

役職名	役職	氏名	緊急連絡先
委員長	管理センター長		
副委員長	副管理センター長		
防火管理者	総務課長		

番号	役職	氏名	緊急連絡先
1	企画･広報担当課長補佐		
2	広報担当調査役		
3	総務係長		
4	指導係長		
5	企画・広報担当		
6	植物・施設管理担当		
7	展示施設等管理担当		

別表２

自衛消防隊の編成と任務（本部隊）【平常・休日夜間】

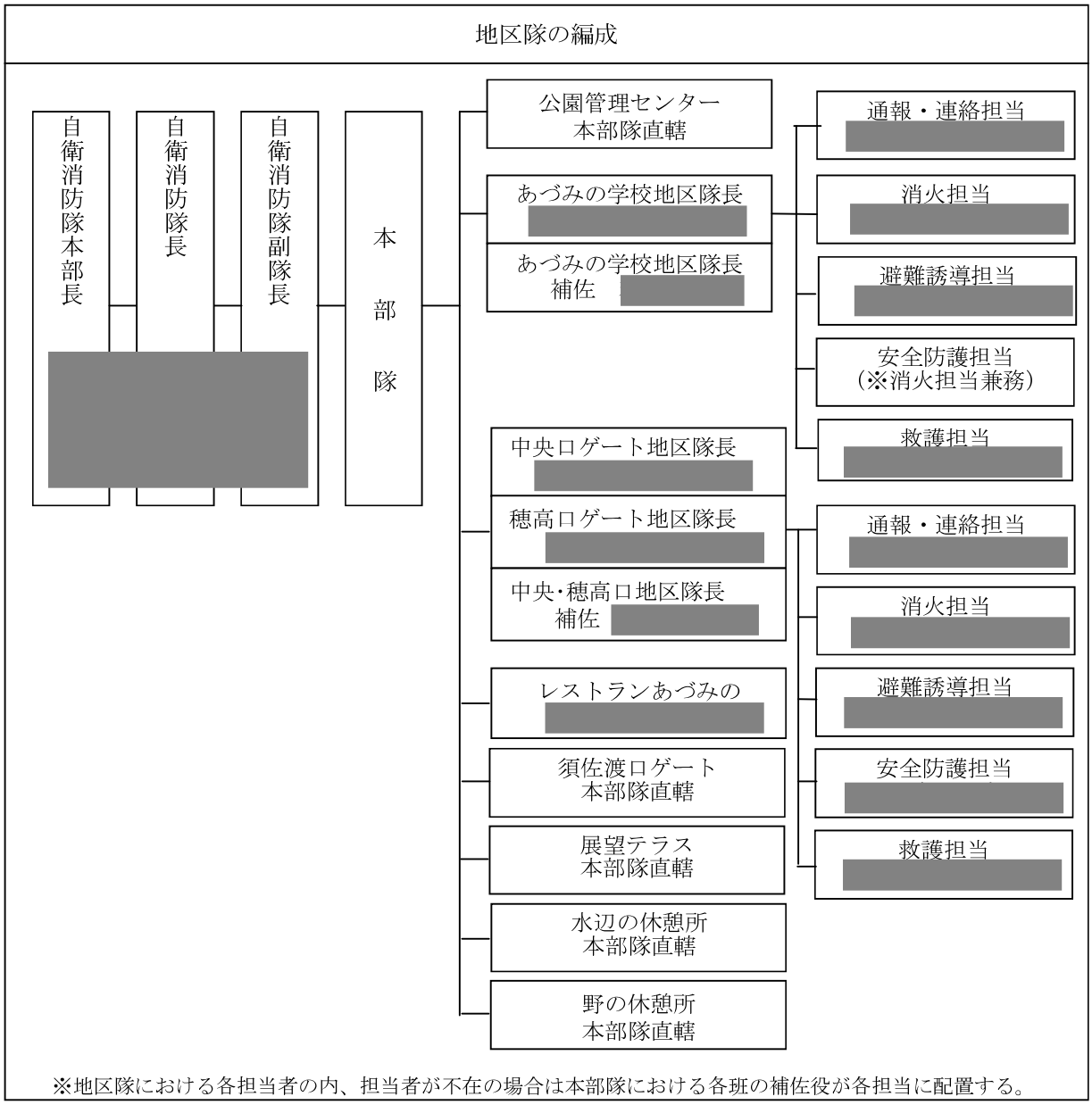
自衛消防隊本部長		（自衛消防隊に対する指揮、命令、監督等を行う）
自衛消防隊長		（自衛消防隊本部長が不在の場合は、その任務を代行する）
自衛消防隊副隊長		（隊長を補佐し、隊長が不在の場合はその任務を代行する）

本部隊の編成	火災（災害）時の任務	警戒宣言が発せられた時の任務
指揮・通報連絡班 班長 補佐 	1　隊長・副隊長の補佐 2　自衛消防本部の設置 3　地区隊への命令の伝達及び情報の収集 4　消防隊への情報の提供及び災害現場への誘導 5　その他指揮系統上必要な事項 6　消防機関への通報及び通報の確認 7　館内の非常放送及び指示命令の伝達 8　関係者への連絡（緊急連絡一覧による）	1　報道機関等により警戒宣言発令に関する情報を収集し、本部長に連絡する。 2　周辺地域の状況を把握する。 3　放送設備、掲示板、携帯拡声器により、在来者に対する周知を図る。 4　食料品、飲料水、医薬品等及び防災資材の確認をする。 5　在館者の調査 6　その他
消火・安全防護班 班長 補佐 補佐 	1　出火階に直行し、屋内消火栓による消火作業に従事 2　地区隊が行う消火作業への指揮・誘導 3　消防隊との連携及び補佐 4　火災発生地区へ直行し、防火シャッター、防火戸、防火ダンパー等の閉鎖 5　非常電源の確保、ボイラー等危険物施設の供給運転停止 6　エレベーターの非常時の措置	建物構造、防火・避難設備、電気、ガス、エレベーター、消防設備等危険物の点検及び保安の措置を講ずる。
避難誘導・応急救護班 班長 補佐 	1　出火場所及び周囲施設に直行し、避難開始の指示命令の伝達 2　非常口の開放及び開放の確認 3　避難上障害となる物品の除去 4　未避難者、要救助者の確認及び本部への報告 5　ロープ等による警戒区域の設定 6　応急救護所の設置 7　負傷者の応急処置 8　救急隊との連携、情報の提供	混乱防止を主体として、在館者及び退館者の案内及び避難誘導を行う。 館内への非常放送及び、指示命令伝達、関係者への連絡を行う。 また、救急資材等の確認をする。

別表３

自衛消防隊の編成と任務（地区隊）【平常・休日夜間】

地区隊長　担当区域の初動措置の指揮体制を図るとともに自衛消防隊(本部)への報告･連絡を行う。



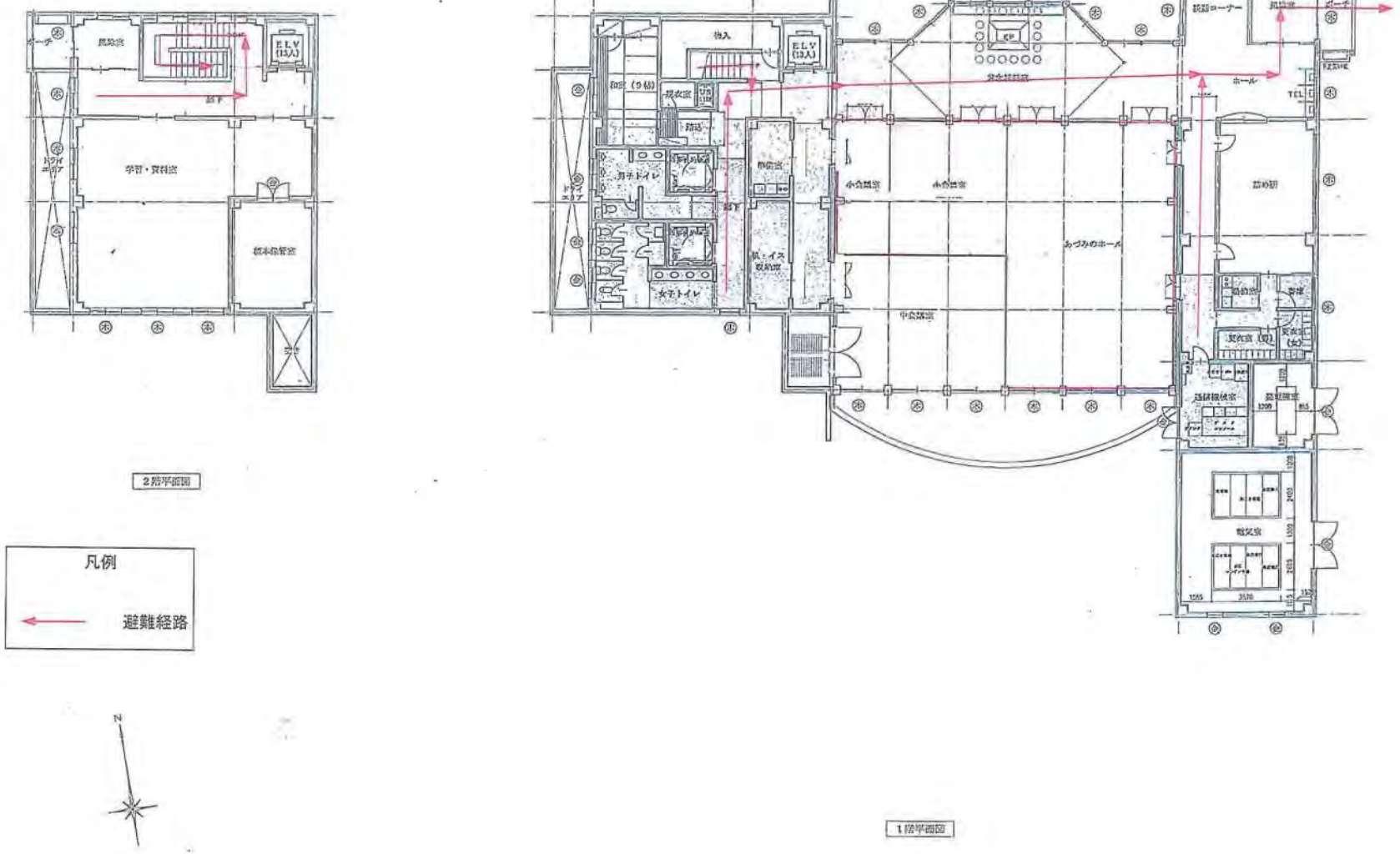
担当名	火災（災害）時の任務	警戒宣言が発せられた場合の任務
通報連絡担当	本部隊への指揮・連絡通報班に報告・連絡・相談及び隣接各室への連絡	適正な情報を収集する。
消火担当	消火器等による初期消火及び本部隊消火班の補助	担当区域の転倒、落下防止措置を講ずる
避難誘導担当	出火時における避難者の誘導	本部の指揮により、避難誘導を行う
安全防護担当	水損防止、電気、ガス等の安全措置及び防火戸、防火シャッターの操作	消火担当の任務に同じ
救護担当	負傷者に対する応急処置	危険個所の補強、整備を行う

国営アルプスあづみの公園内　避難経路図



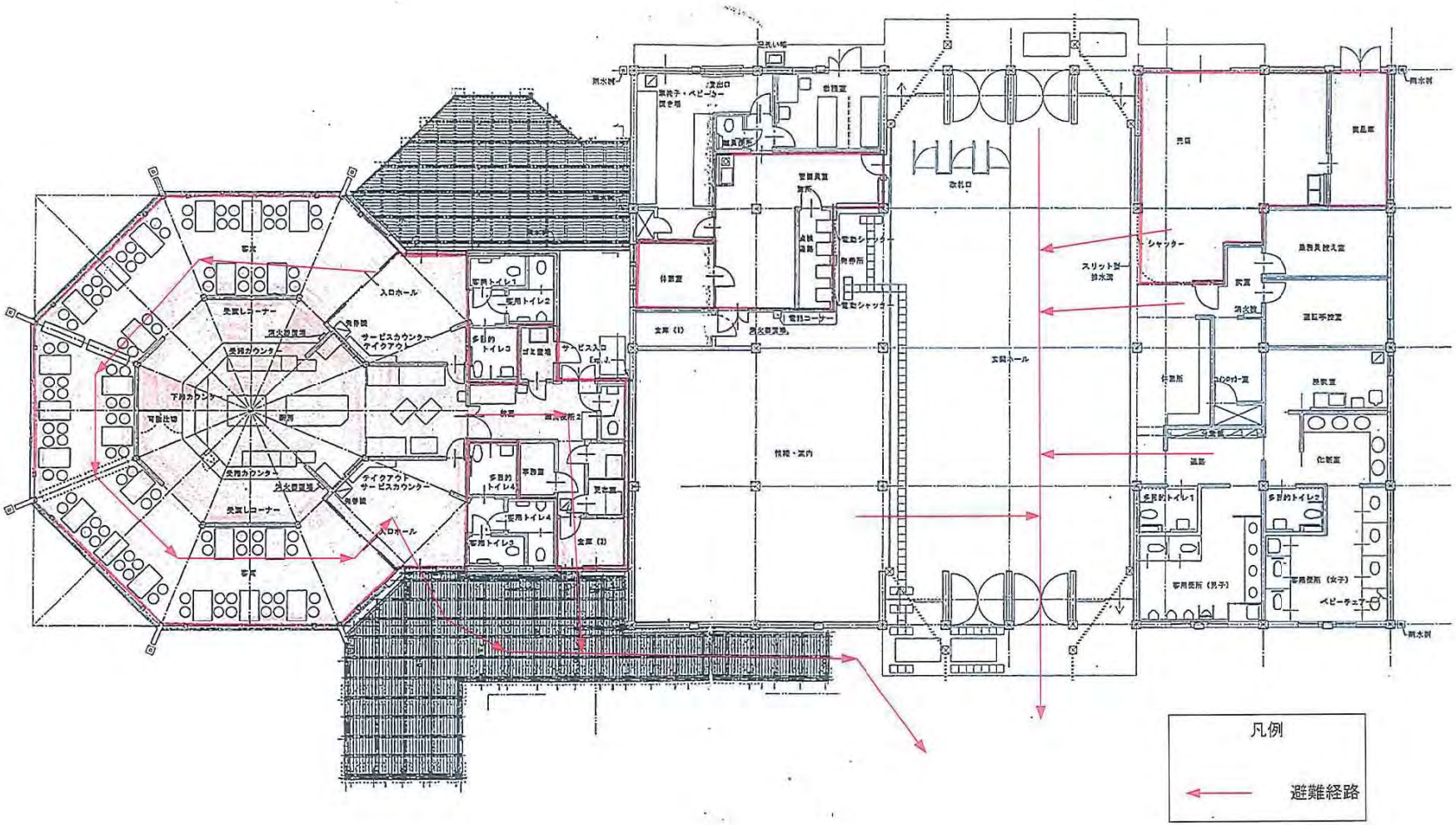
別添P104

公園管理センター　避難経路図



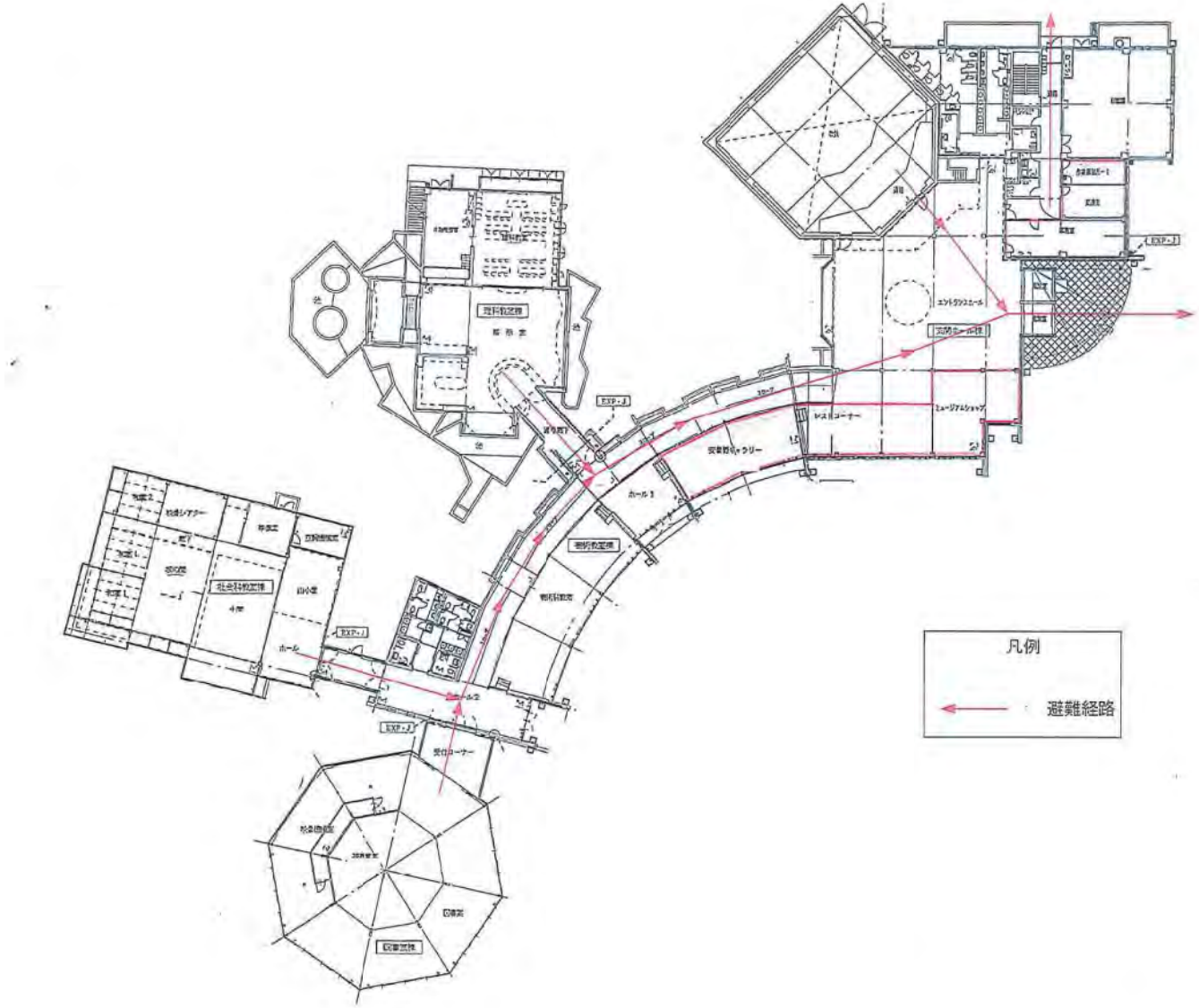
別添P105

ガイドセンター・レストラン　避難経路図



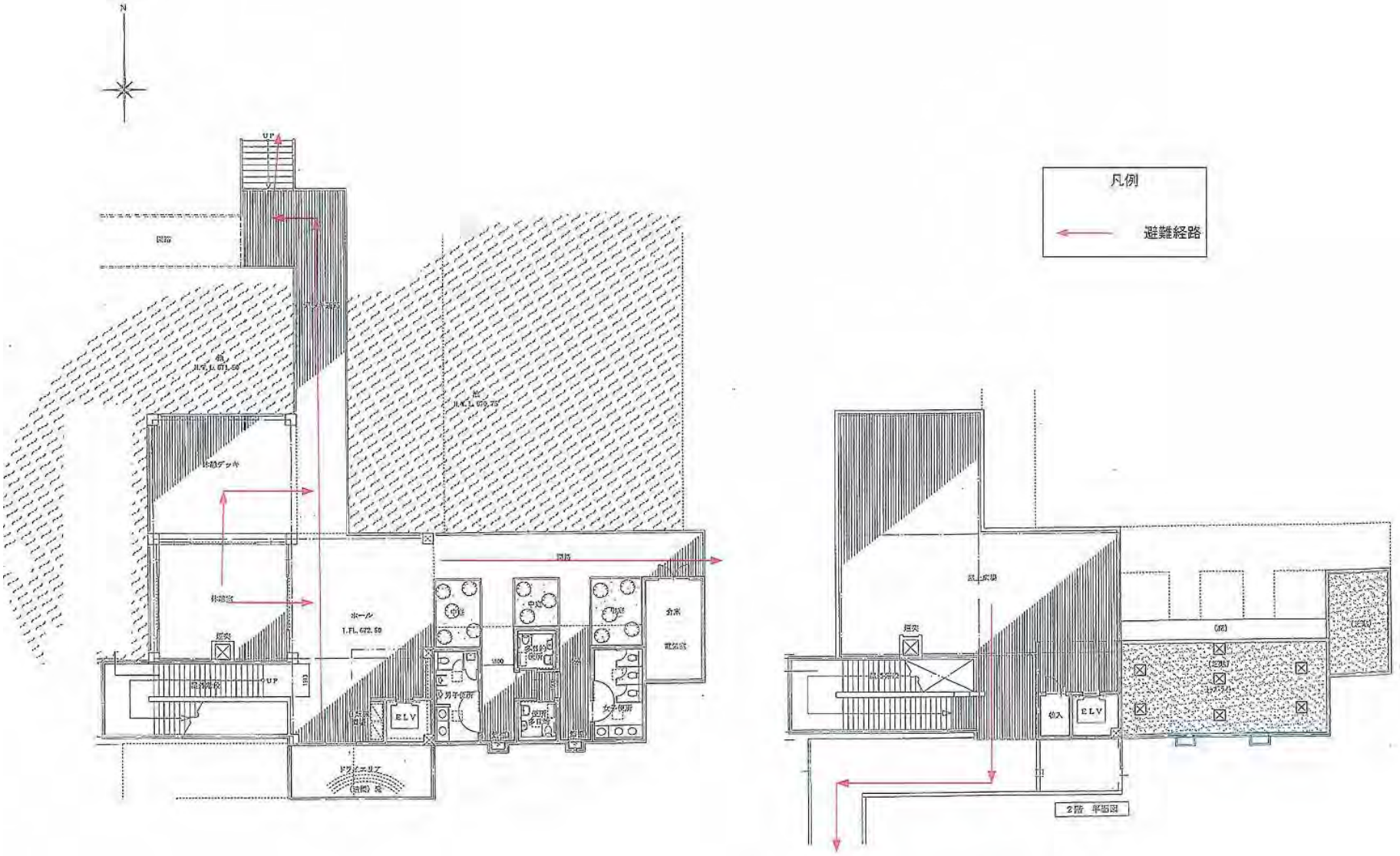
別添P106

あづみの学校（テーマ展示館）　避難経路図



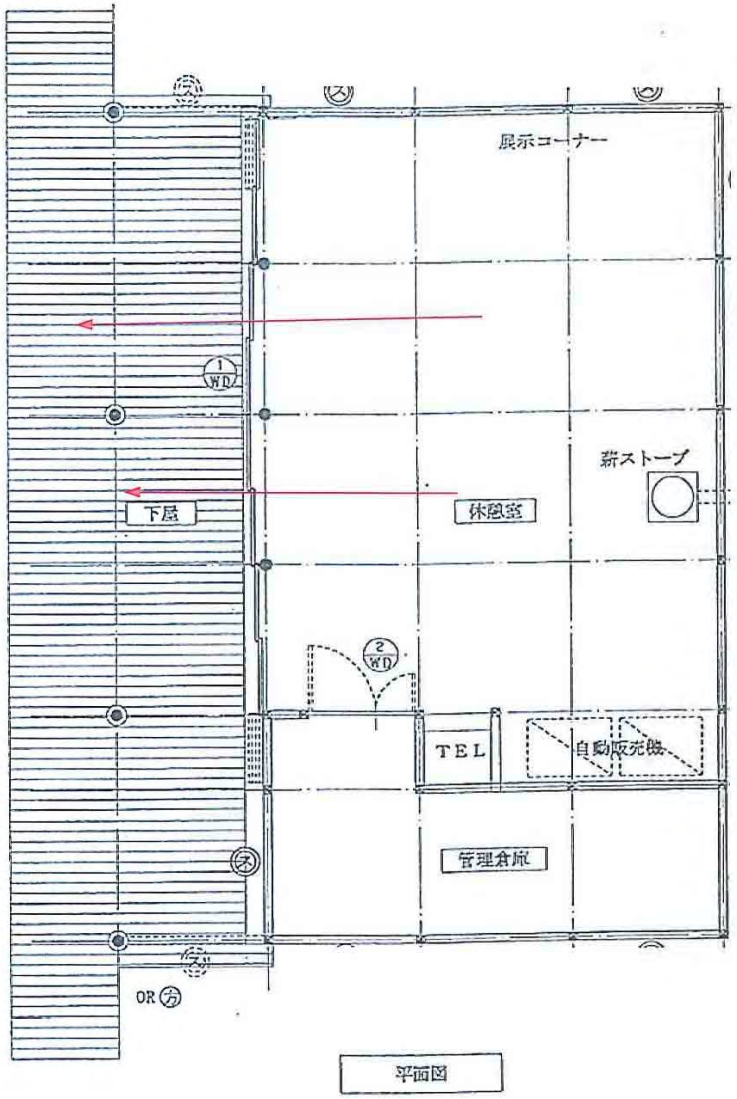
別添P107

展望テラス　避難経路図



別添P108

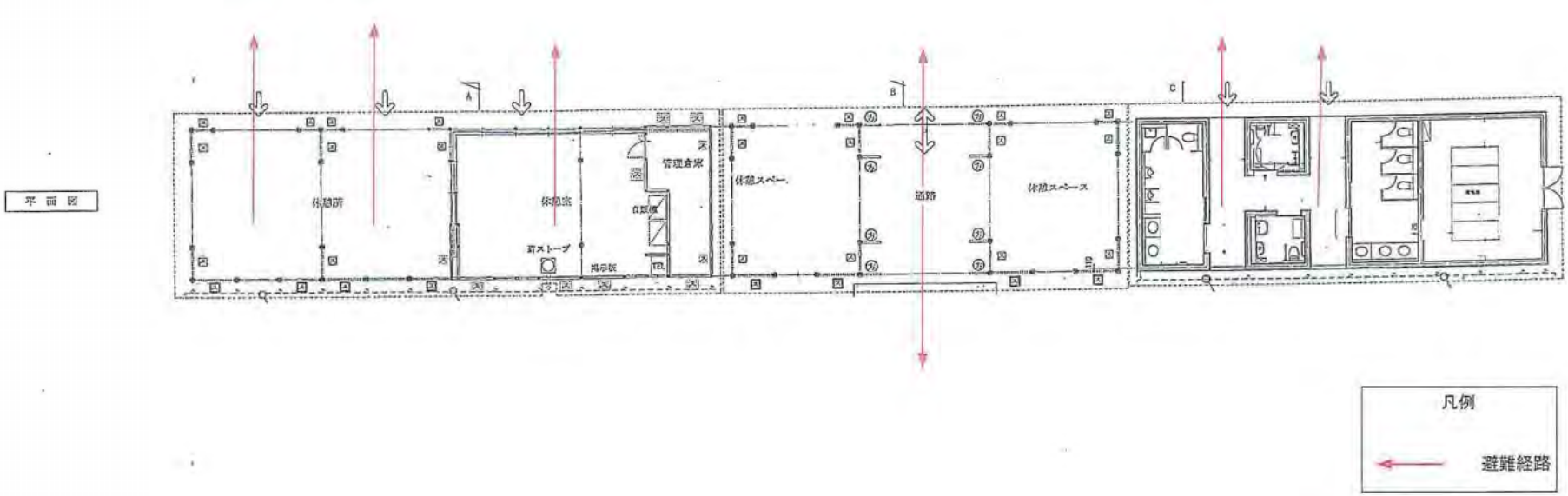
水辺の休憩所　避難経路図





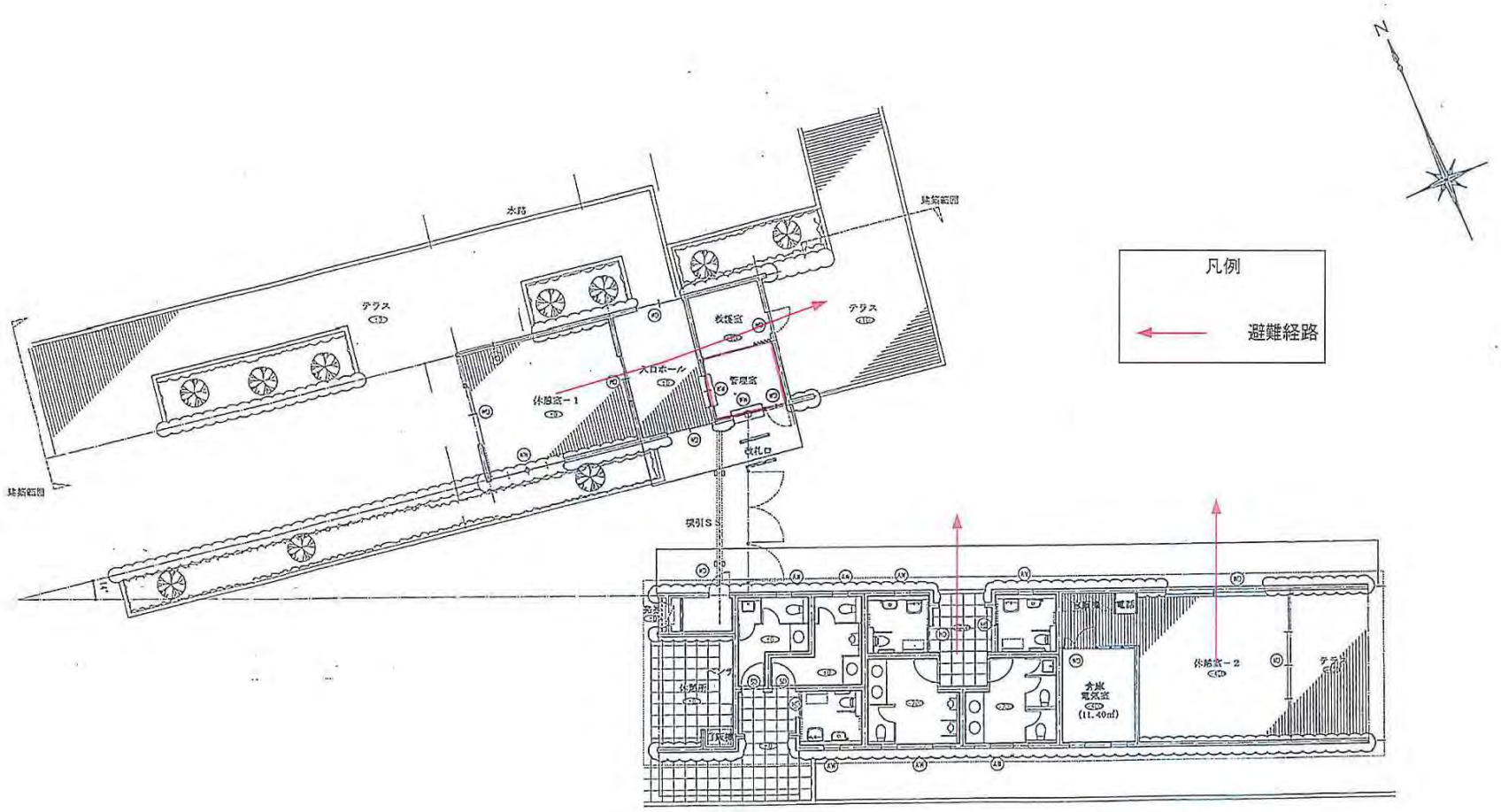
別添P109

野の休憩所　避難経路図



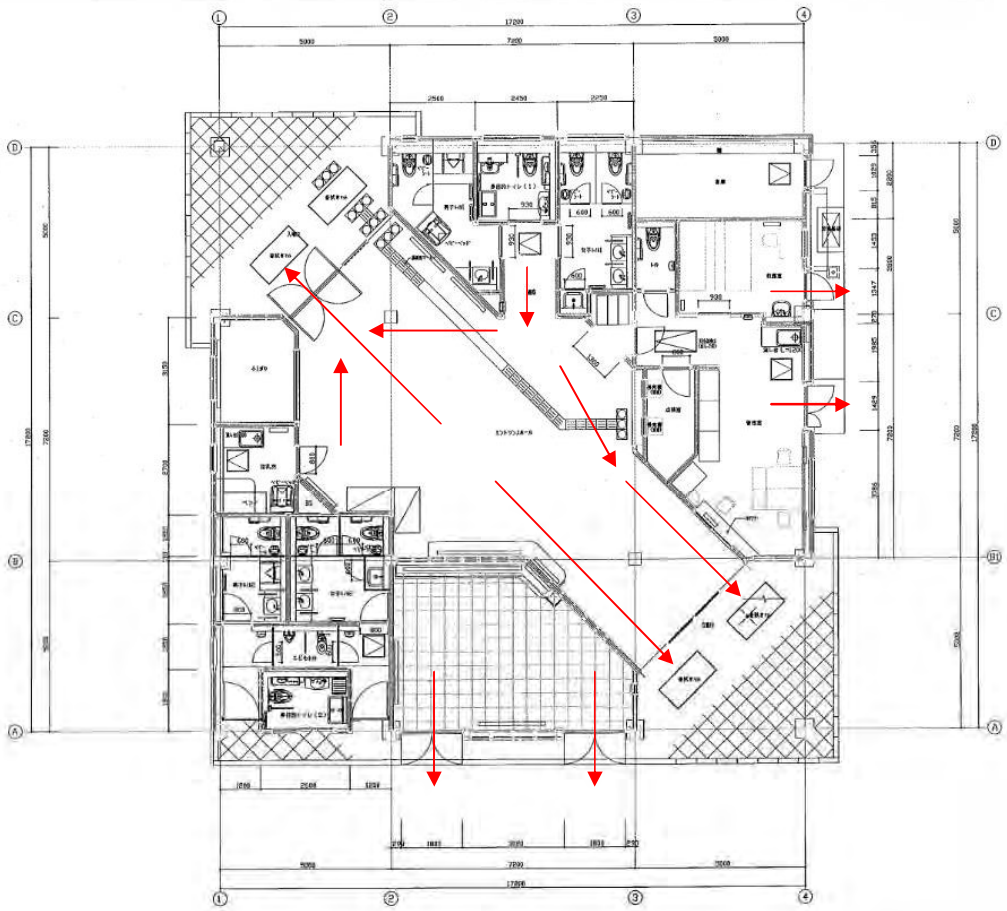
別添P110

須砂渡口ゲート　避難経路図



別添P111

穂高口ゲート　避難経路図



凡例

避難経路

別添P112

-

国営アルプスあづみの公園
大町・松川地区
消　防　計　画　書

H25-27 国営アルプスあづみの公園運営管理業務

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

２０１４．１．１

アルプスあづみの公園管理センター（大町・松川地区）消防計画書

第一章　総則

（目　的）

第１条　この計画は、アルプスあづみの公園管理センター大町・松川地区（以下「センター」という。）が、国営アルプスあづみの公園大町・松川地区における防火管理の徹底を期し、もって火災その他の災害による物的、人的被害を防止することを目的とする。

（諸規定との関係）

第２条　前条の目的を達成するための防火管理について必要な事項は、別に定めるところによるものとする。

第二章　防火管理機構

（防火対策委員会）

第３条　防火についての決議機関として、防火対策委員会を設けるものとする。

（委員会の結成）

第４条　委員長には管理センター長が当たり、委員は大町・松川地区分室長及び係長をもって構成するものとする。

（委員会の任務）

第５条　防火対策委員会の任務は、次の各号に掲げるものとする。

一　消防計画及びこれらの実践についての審議

二　防火に関する諸規定の制定

三　消防用施設等の改善強化

四　防火思想の普及及び高揚

五　防火管理業務の効果の検討（平常時、火災発生時）

六　その他防火に関する根本的対策

（委員会の開催）

第６条　委員会の開催は、定例会と緊急会の二種とする。

定例会は、春秋の予防週間前に行い、緊急会は、防火上緊急の重要事態が生じた時は、その都度委員長が招集するものとする。

（委員会の運営）

第７条　防火対策委員会の運営について、必要な事項は委員会の承認を得て、別に定めるものとする。

（予防管理組織）

第８条　常時の火災予防について、徹底を期するため防火管理者を置き、その下に防火担当責任者及び火元責任者を置くものとする。

又、建築物検査班、火気使用施設検査班、電気設備検査班、消火設備検査班、ガス危険物検査班を置くものとする。

２　前項による責任者及びその任務は、別表１及び別表２に定めるところのよるものとする。

（自衛消防組織）

第９条　火災その他の事故発生に備えるため、センターに自衛消防隊を組織する。なお、この自衛消防隊の長は、分室長とし別表３により編成するものとする。

第三章　火災予防

（点検、検査）

第 10 条　第８条に定める責任者は、当該個所で使用する火気の日常点検を行うものとする。

２　火元責任者は、火気点検の結果、改善等を要する事項を発見した場合は、速やかにその処理を行い、又防火担当責任者に報告するものとする。

３　建築物検査班、火気使用施設検査班、電気設備検査班、消火設備検査班、ガス危険物検査班の班長は、当該職務に必要な設備器具の点検を行うものとする。

４　防火管理者は、前項に定める点検の結果、重要と認める事項については、改善意見を添えて分室長に報告するものとする。

（建物及び施設変更）

第 11 条　構内外において建築物を建築し、又、特殊な作業を実施しようとする場合等は、防火管理者に連絡するものとする。

（火気使用規制）

第 12 条　防火管理者は、構内の諸設備について、火災警報発令下、各責任者に伝達するものとする。

２　防火管理者及び他の責任者は、前項の伝達があったときは、火気使用の中止又は危険な場所への立入禁止を命ずるものとする。

第四章　災害防衛

（防　衛）

第 13 条　構内外に火災発生又はその他の災害が発生したときは、災害を最小限に留めるため、第９条に定める自衛消防組織の編成により担当任務の遂行にあたるものとする。

２　通報連絡及び避難誘導に当たる者は、消防署の消防隊が到着の際、人命救助の要否等、火災の状況を説明するものとする。

第五章　教育訓練・防火教育

（教育訓練）

第 14 条　防火管理者は、職員に対して、別表３に定める内容により、防火に関する教育訓練を実施するものとする。

（防火教育）

第 15 条　職員は、前条による教育を積極的に受け入れるとともに、防火管理の万全を期するものとする。

（自衛消防訓練）

第 16 条　防火管理者をはじめ職員は、有事に際し、被害を最小限度に留めるため、自衛消防訓練により技術の練磨を図るよう努力するものとする。

２　訓練の種類は、消火訓練、避難誘導訓練とする。

第六章　消防機関との連絡

（関係機関との連絡）

第 17 条　防火管理者は、次に掲げる事項について消防機関と連絡を密にして、より防火管理の適正を期するよう努力するものとする。

１　消防計画の作成

２　公園内施設、消火栓、非常時の経路の図面提出

３　教育訓練指導及び査察の要請

４　建物、諸設備の使用変更時の事前連絡及び法令に基づく諸手続の促進

５　その他の防火活動についての必要事項

（検査の立会い）

第 18 条　消防職員の立入り検査に際しては、防火管理者又は、防火管理者が指定した職員が立会うものとする。

別表１

【防火対象物の用途その他必要な事項】

施設名	構造	階数	建築面積	延床面積	建築年	使用開始年	１.消火器	２.避難器具
インフォメーションセンター	木造	地下１階	1849.32 ㎡	1236.96 ㎡	平成 17 年	平成 21 年		
レンタル棟	木造	地上１階	666.15 ㎡	541.35 ㎡	平成 17 年	平成 21 年		
休憩棟	木造	地上１階	541.13 ㎡	586.67 ㎡	平成 17 年	平成 21 年		
炊事棟	木造	地上１階	109.80 ㎡	109.80 ㎡	平成 17 年	平成 21 年		
森の体験舎	木造	地上２階	747.68 ㎡	883.68 ㎡	平成 19 年	平成 21 年		
大草原の家	木造	地上２階	966.83 ㎡	982.70 ㎡	平成 20 年	平成 21 年		
森のゲート	木造	地上１階	276.50 ㎡	254.99 ㎡	平成 21 年	平成 21 年		

別添P117

別表２

【防火管理体制】

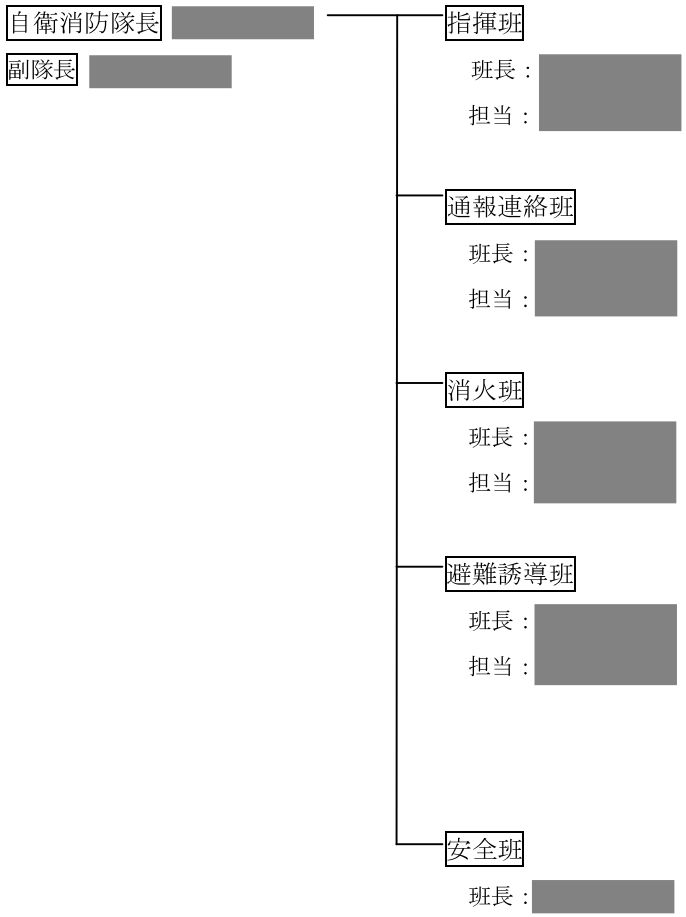
防火管理者 [redacted]　　防火担当責任者 [redacted]

火元責任者	担当場所	業務内容
[redacted]	インフォメーションセンター	・火気使用時における火災予防措置及び終業時の火気点検
	レンタル棟	〃
	休憩棟	〃
	炊事棟	〃
	森の体験舎	〃
	大草原の家	〃
	管理ゲート	〃

区　分	担当者	役　割
・建築物検査班	[redacted]	建築物等の防火設備整理の状況の検査にあたる。
・火気使用施設検査班		炊事場、暖房器具、喫煙所等の火気使用箇所の点検にあたる。
・電気設備検査班		電気配線、電気機械の点検整備にあたる。
・消火設備検査班		消火設備の点検にあたる。
・ガス危険物検査班		ガス危険物等の点検整備にあたる。

別添P118

【自衛消防隊】



業務内容

・自衛消防隊長の全般の指揮及び火災の推移に応じて各種情報を収集して、隊長の判断を補佐する。また非常放送等を通じて全園に必要な指示を行う。

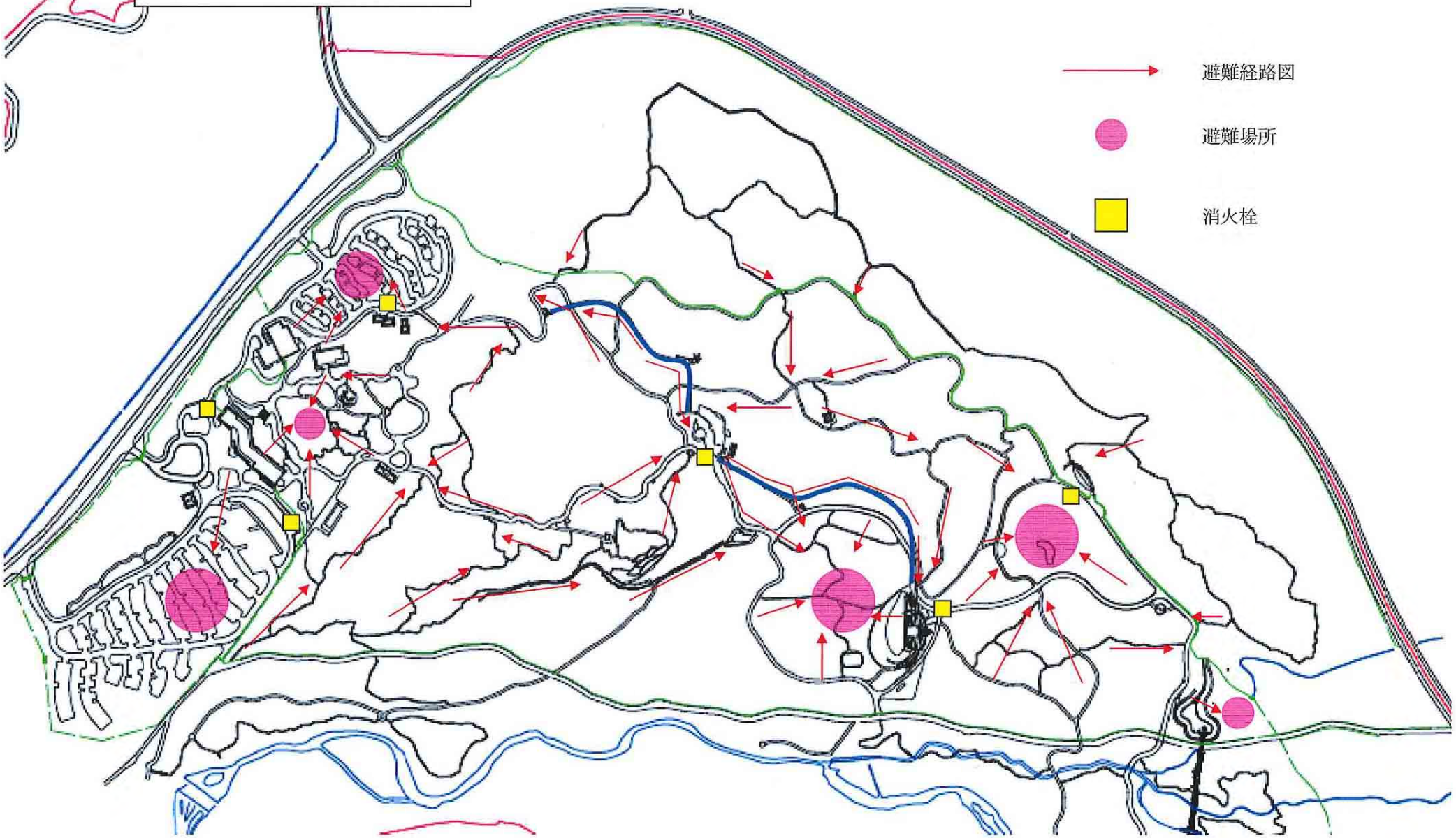
・指揮班の指示にもと、119 の通報及びその確認ならびに指示。部外、部内関係先への必要事項の通報、連絡、火災情報の収集等にあたる。
・119 の通報後、必要な情報を指揮班または通報連絡班に伝達するとともに、他の班に対する連絡、支援等を必要時応じて行う。
・消化器、水バケツ、屋内消火栓、特殊消火設備等を火災状況に応じて、積極的に使用して初期消火を行うとともに、消防隊の消火作業に協力する。

・火災を覚知すれば、躊躇することなく直ちにその状況に応じて最適避難経路を判断し、笛の使用や大声を出すなどして、リーダーシップを発揮し、安全な場所に誘導する。

・電気、ガス、危険物施設、火気使用設備、空調、排煙各設備等の安全措置、防火区画、たて穴区画等の防火戸の閉鎖等の措置を行う。

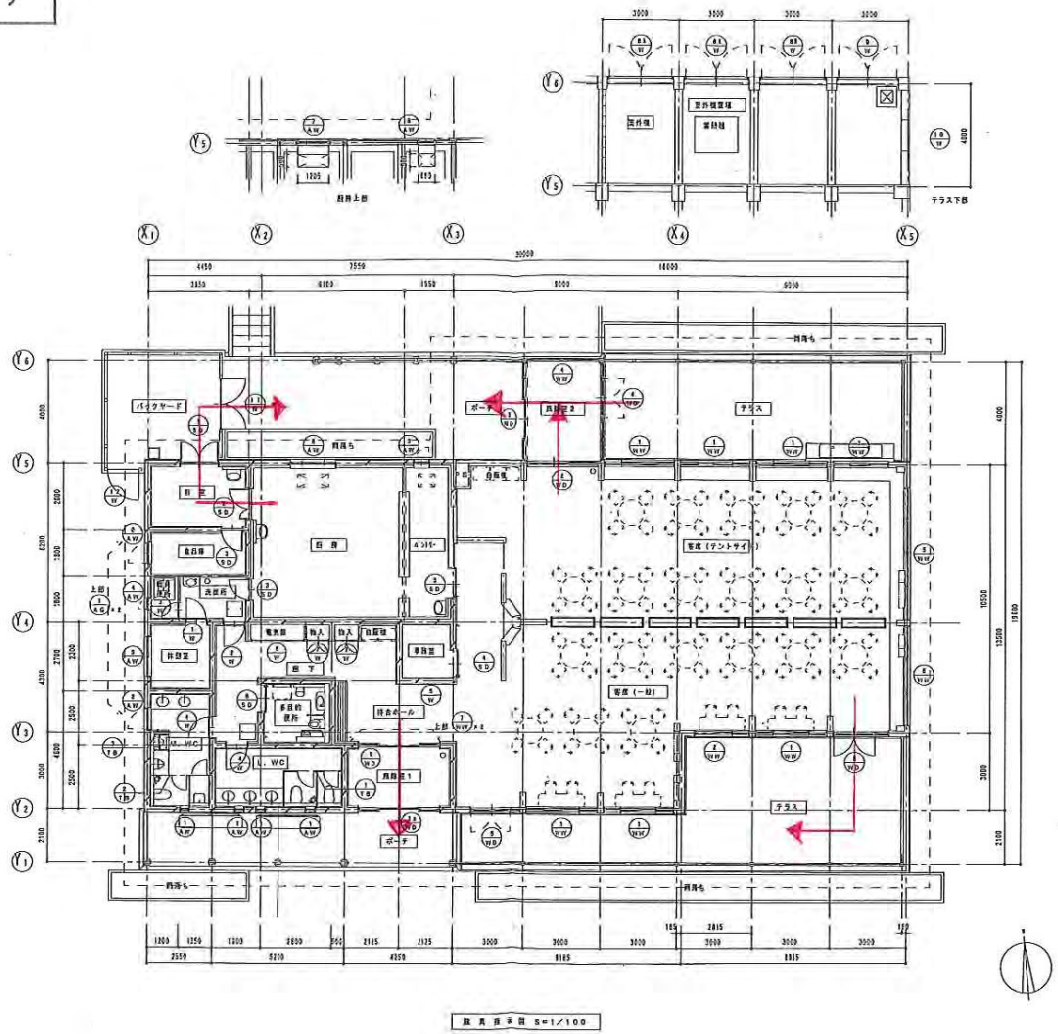
別添P119

避難経路図



別添P120

休憩棟（レストラン）

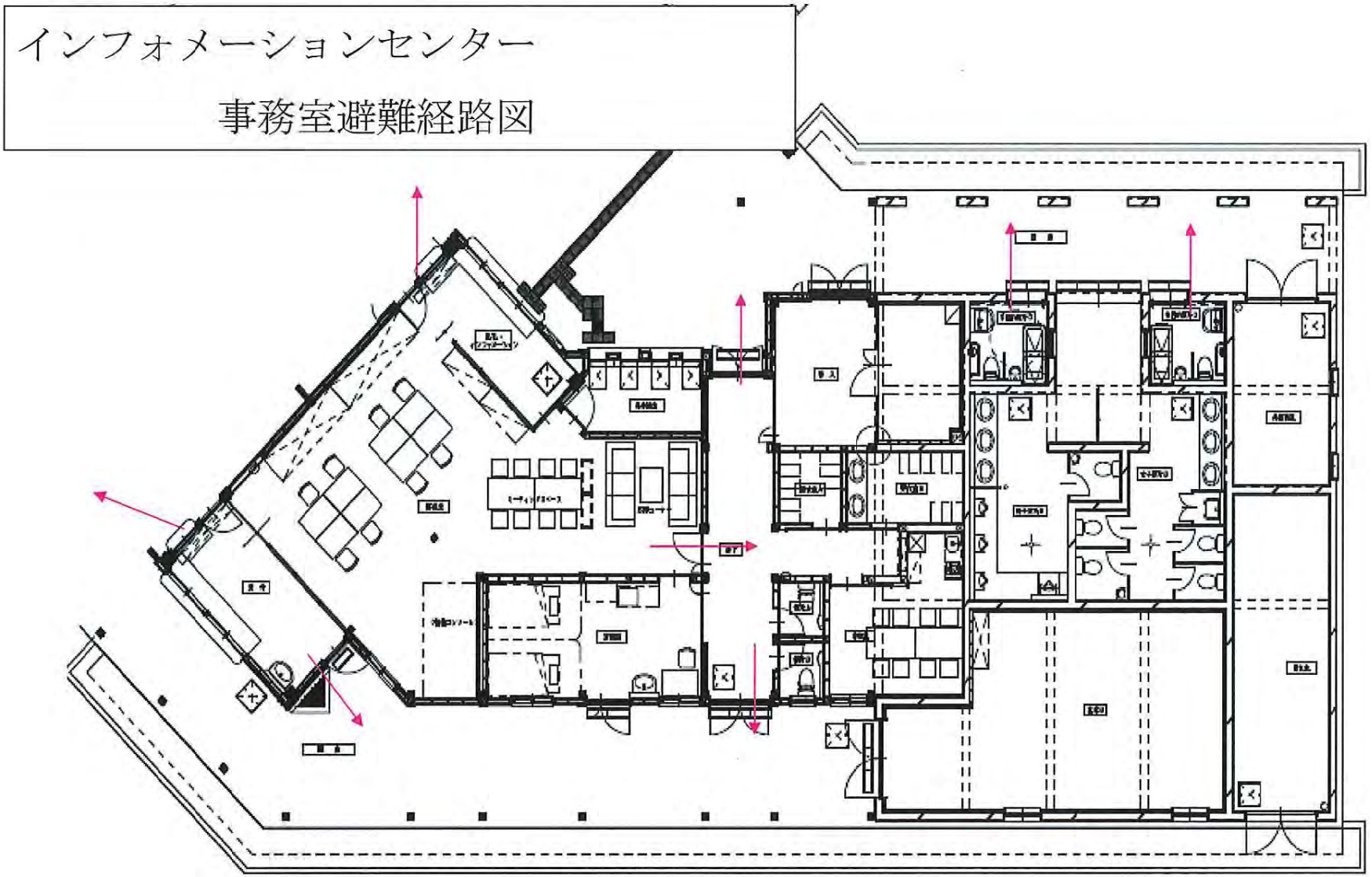


建具指示図 S=1/100

完成図	
工事名	大町・松川地区防災無線新設工事
図面名	建具指示図
縮尺	A1 1/100 A3 1/200
図面番号	102 の 26
着手年月日	平成16年10月20日
完成年月日	平成17年11月 9日
設計者名	八千代エンジニヤリング 株式会社
施工者名	株式会社 アスピア

別添P121

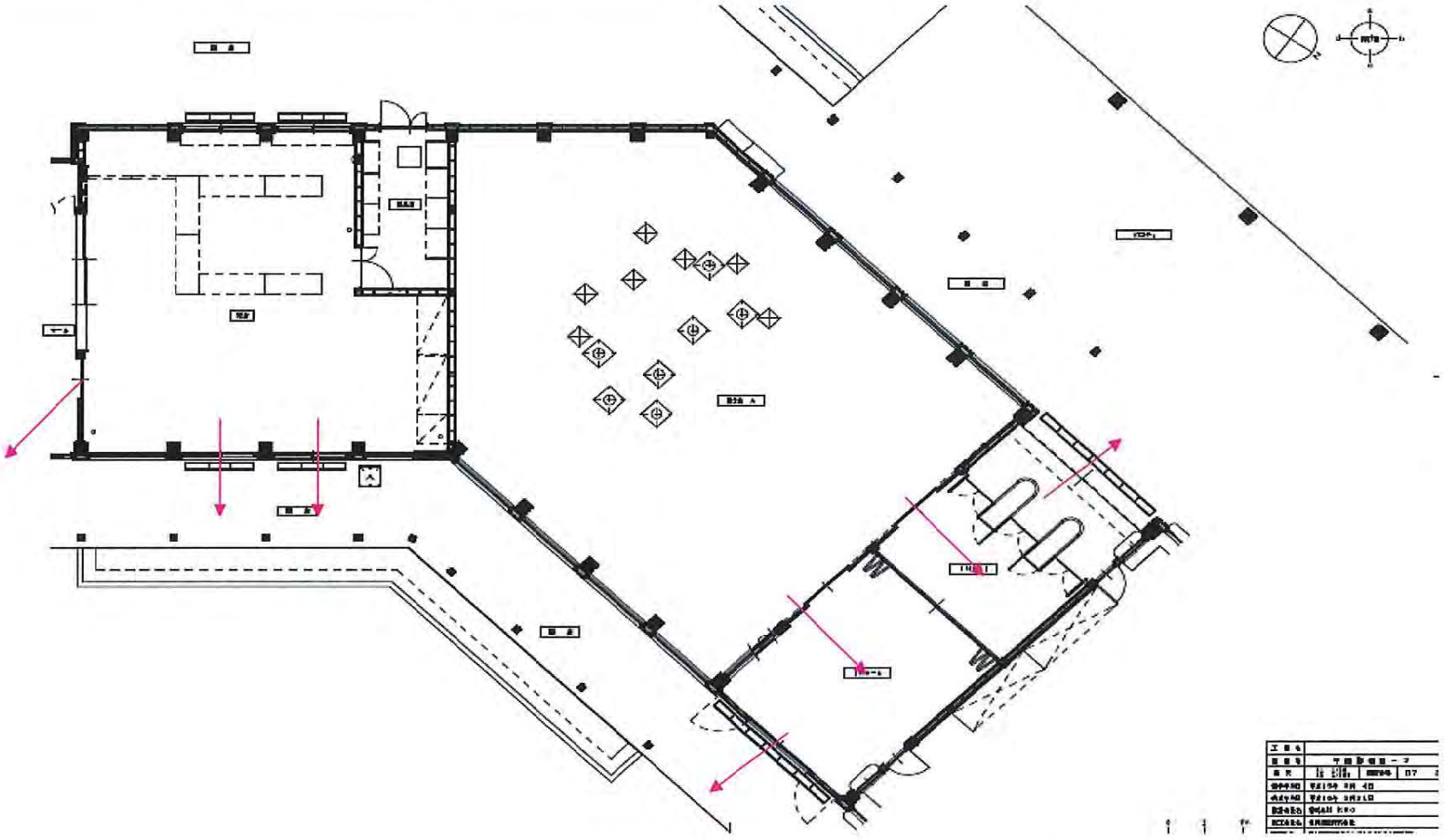
インフォメーションセンター
事務室避難経路図



別添P122

インフォメーションセンター

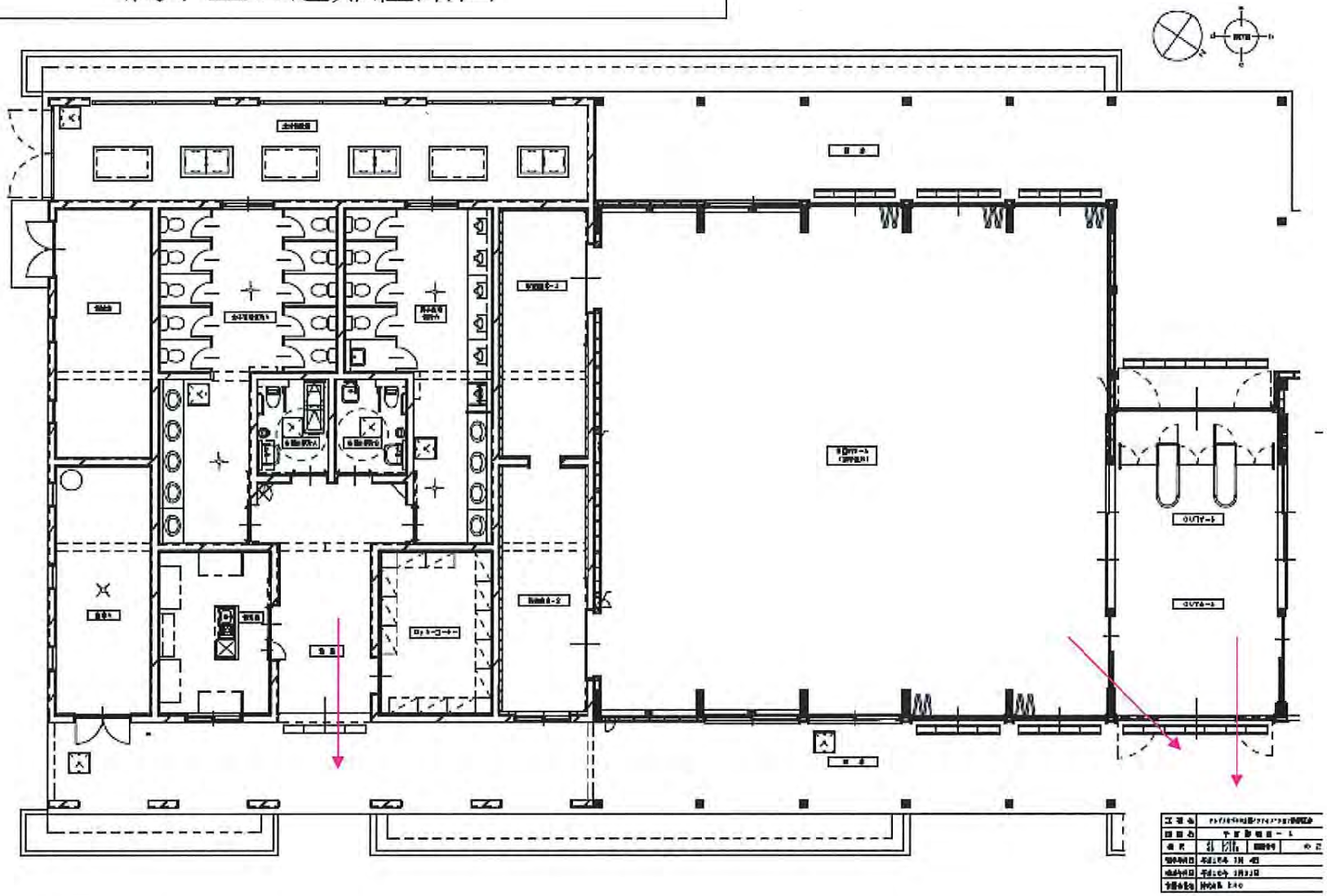
展示室Ａ、売店避難経路図



別添P123

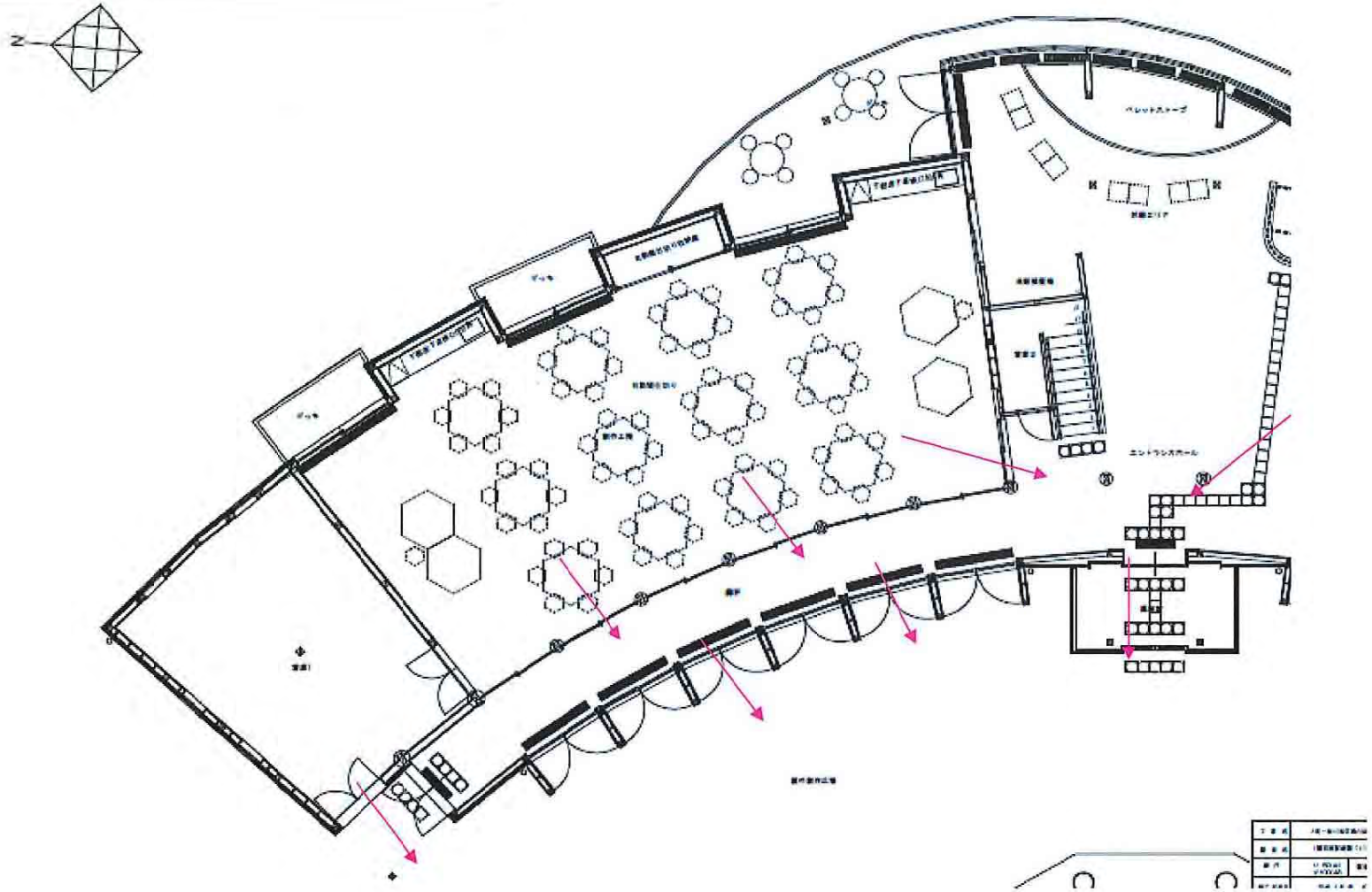
インフォメーションセンター

展示室Ｂ避難経路図



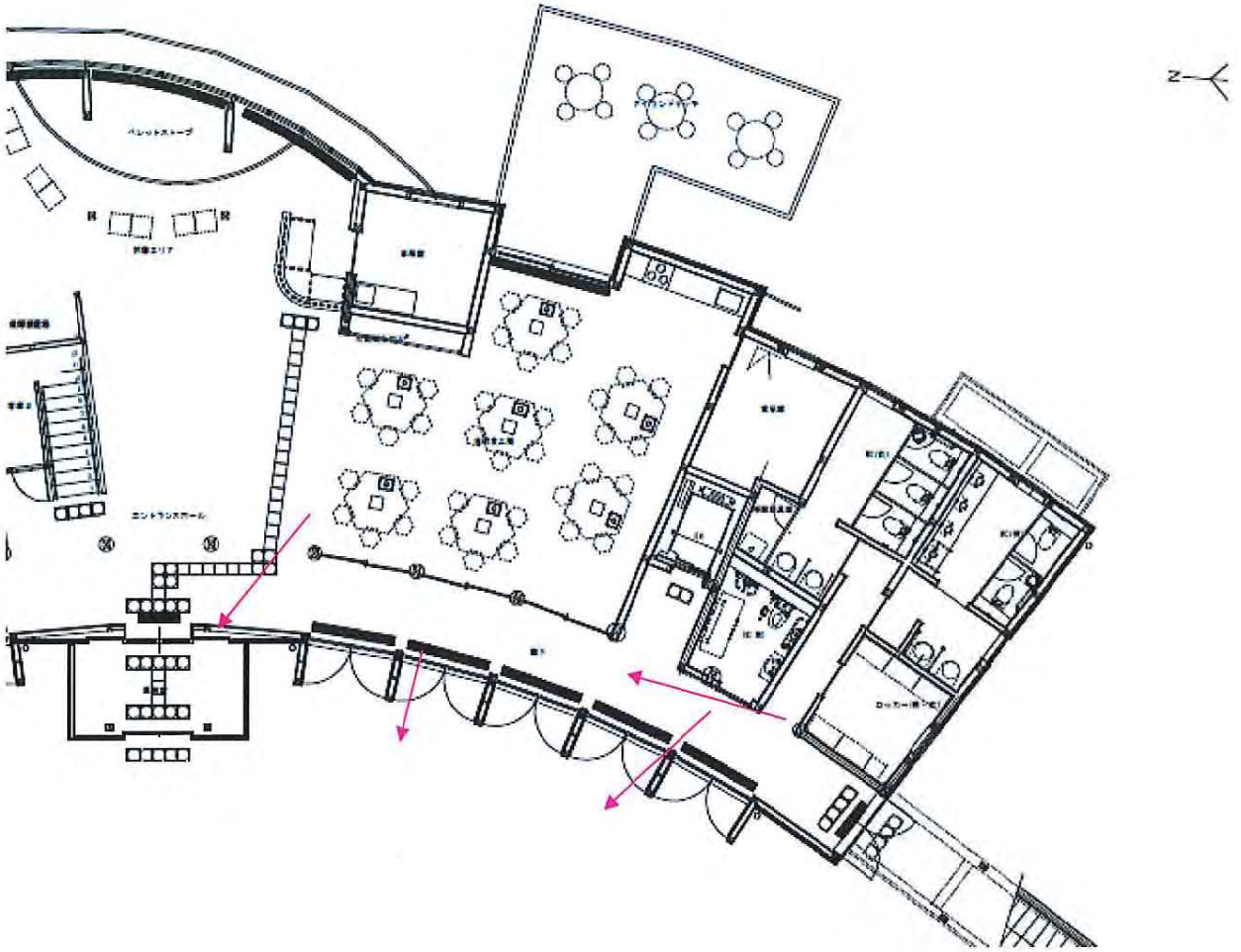
別添P124

森の体験舎　創作教室避難図



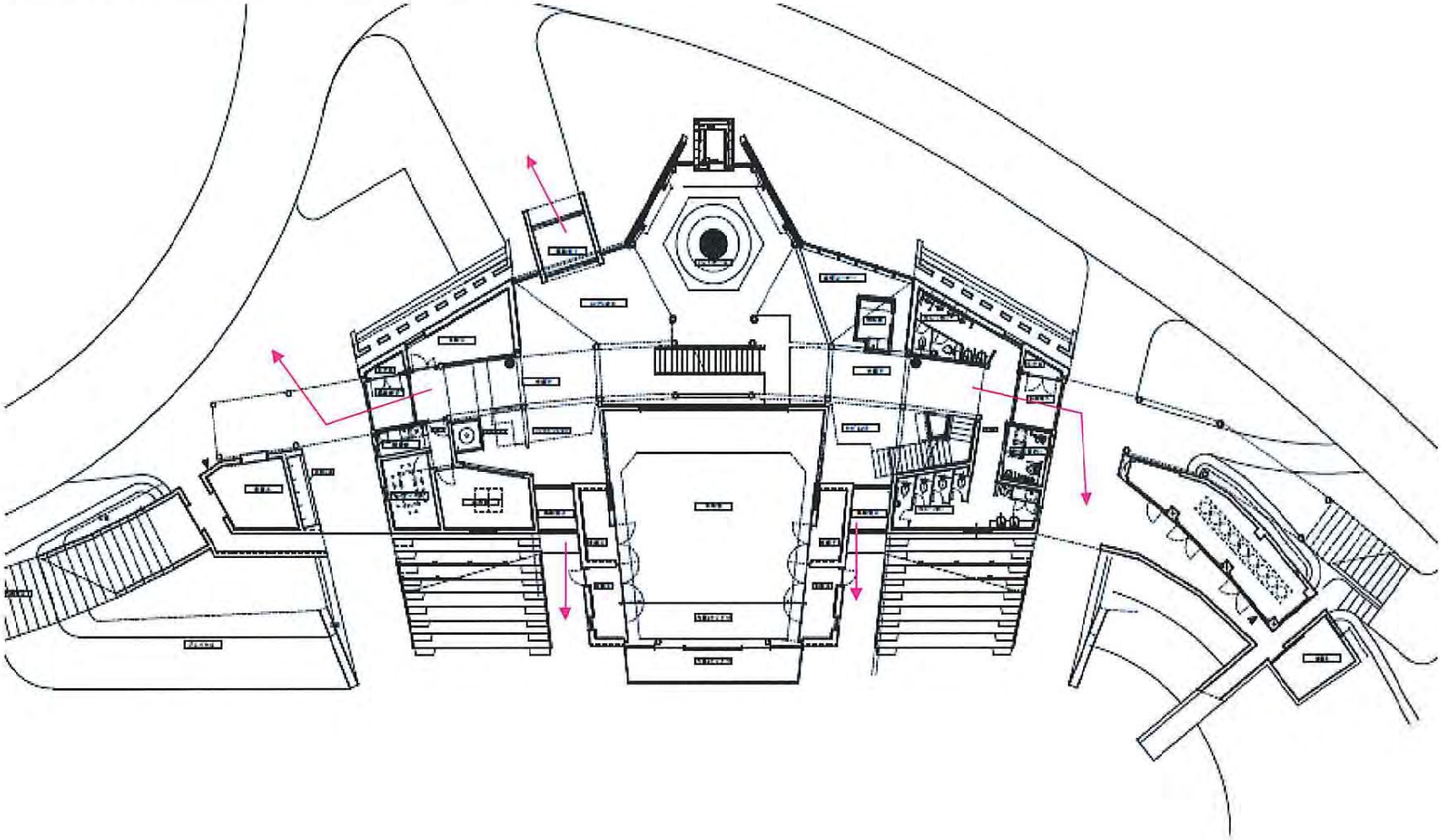
別添P125

森の体験舎　自然食教室避難図



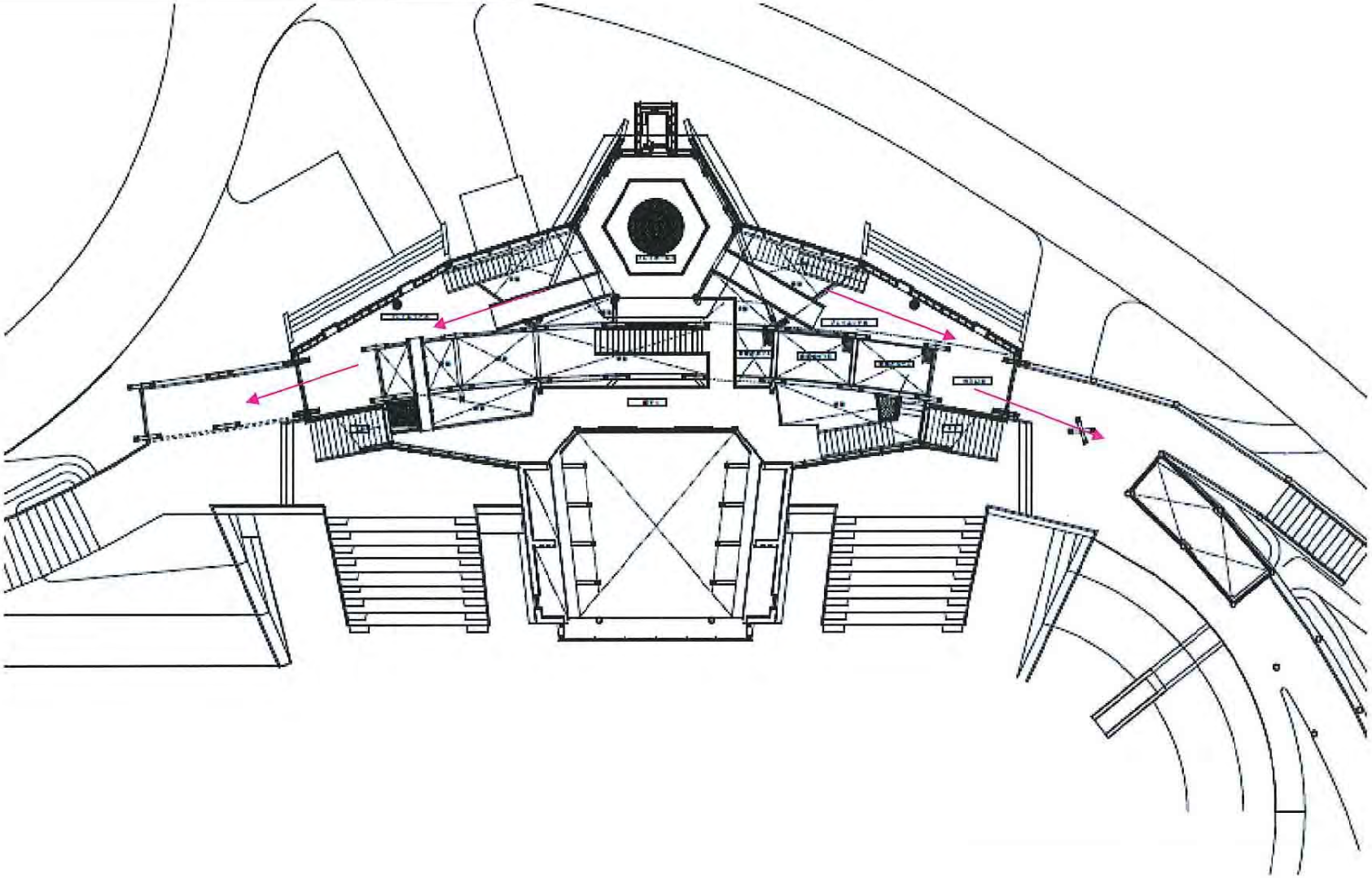
別添P126

大草原の家　１階避難経路



別添P127

大草原の家　２階避難経路



別添P128

別添－16

継続必要性の高いイベント対応

	イベント名	時期	連携対応（平成２６年度）
大型主催イベント	あづみの公園早春賦音楽祭	５月	安曇野市、安曇野市教育委員会、早春賦愛唱会、FM 長野　ほか
	アルプスあづみのセンチュリーライド	５月	アルプスあづみのセンチュリーライド 2014 実行委員会
	北アルプス山麓ツーデーウォーキング	９月	松川村観光協会、大町市観光協会、信濃毎日新聞社、JA 大北
	北アルプスフェア	１０月	大町市、松川村、大町市観光協会、松川村観光協会、大町商工会議所、松川村商工会、JA 大北、信濃毎日新聞　ほか
	イルミネーションイベント	１１月～１月	長野県、長野県教育委員会、信州・長野観光協会、松本市、大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村　ほか

※各イベント内容（平成 26 年度実施）については次頁以降参照

※上記の他、地域と連携した小規模なイベントについては、調査職員等及び関係団体等と協議の上、継続の可否を決定すること。

安曇野へ響け！みんなの歌声！

第10回記念 あづみの公園 早春賦音楽祭

SOUSHUNFU MUSIC FESTIVAL

国営アルプスあづみの公園 開園10周年

4/26(土) 新規エリア オープン



無料入園日

2014. 5.4 みどりの日 日・祝

雨天決行

10:00～16:00

※公園開園時間 9:30～17:00

♪特別ゲスト

沖縄出身 シンガーソングライター ★ユキヒロ

沖縄の風 in 安曇野

♪HEIWAの鐘 他

会場 国営アルプスあづみの公園【堀金・穂高地区】

日本の春の名歌"早春賦"のふるさと「安曇野」を舞台に、今年も早春賦音楽祭を開催します。
北アルプス山麓の開放感とくつろぎある信州安曇野で、楽しく歌って、体いっぱいに感じましょう！

早春賦音楽祭って？

厳しさに耐え、春待つ思いを歌った日本の代表的名歌"早春賦"の故郷にちなんで開催します。音楽を愛好する皆さんが一堂に集い、演奏、鑑賞し、心をあわせて歌い合う場を創造します。「絆」を結び、「心」を繋ぐ"早春賦の心"を共有し、若い芽のすこやかな成長を願うと共に、美しい安曇野の地域文化向上を目指しています。

A ステージ ガイドセンター広場 10:00～16:00（オープニング演奏 9:30～）

第10回 オープニング
★"さぁ!早春賦" 早春賦大合唱 他
★アルプホルン
★松本音楽団 他
★公募ステージ



D ステージ 展望テラス 1階 10:30～15:30

★音楽フリー広場
★ゲストによる さわやかふれあい ステージ 他



G ステージ 新規エリア 円形ステージ 10:30～15:30

新規オープン 第10回記念ステージ
★和太鼓フェスティバル







B ステージ 水辺の休憩所 10:30～15:30

★公募ステージ 他



E ステージ あづみの学校 玄関ホール 10:30～15:30

★公募ステージ
★シンセサイザー奏
★ユキヒロ 早春賦ライブ



C ステージ 野の休憩所 12:30～15:30

★第10回記念 吹奏楽の祭典
★市内吹奏楽団による演奏 他
★市内中学校・高等学校 吹奏楽部による演奏
★フィナーレステージ



F ステージ あづみの学校 多目的ホール 13:30～15:30

★FM長野公開録音ステージ

・小中学校重唱・合唱大会 優秀校の演奏
・出演者の皆さんと共に "音楽交流広場" 他

♪ゲストステージ
★湯澤 かよこ



ウェルカムステージ ★中央口 ★穂高口
フリーステージ（随時演奏） ★段々原っぱ ★竜の広場

各ステージを廻るスタンプラリーも開催！！
スタンプを全部集めるとプチプレゼントをもらえるよ！



※都合により内容を変更する場合がございます。また、荒天時は内容及び場所を変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

あづみの公園早春賦音楽祭〈園内マップ〉



園内各ステージを廻る
スタンプラリー同時開催!
全部集めてプチプレゼント!!

今年の安曇野は早春賦がいっぱい!

4/29 火祝 第31回 早春賦まつり ◎11:00〜 場所 穂高川右岸（早春賦歌碑前）
第13回 早春賦まつりコンサート ◎13:30〜 場所 あづみ野コンサートホール

5/4 日祝 第10回 あづみの公園早春賦音楽祭 ◎10:00〜 場所 国営アルプスあづみの公園【堀金・穂高地区】
第23回中信地区小中学校単唱・合唱大会優秀演奏校他出場！小中学生のさわやかな歌声をお楽しみに！

5/25 日 第29回 安曇野早春賦音楽祭 =本ステージ= ◎13:30〜 場所 安曇野市穂高交流学習センター みらい



第23回 重唱・合唱大会優秀校の歌声

●島内小学校／信州大学附属松本中学校／穂高東中学校 他予定
（※本ステージ参加）●大町北小学校／芳川小学校／菅野中学校／聖南中学校 他予定

無料シャトルバス運行コース

- 豊科駅 ⇄ 臨時P 堀金支所 ⇄ 国営アルプスあづみの公園 中央口
- 穂高駅 ⇄ 臨時P 穂高プール ⇄ 国営アルプスあづみの公園 穂高口
- 国営アルプスあづみの公園 穂高口 ⇄ 中央口

当日は無料シャトルバスをご利用下さい。



交通のご案内
- お車で/長野自動車道安曇野インターチェンジより約20分
- JR大糸線/豊科駅または穂高駅よりタクシーで約15分

●お問い合わせ アルプスあづみの公園 堀金・穂高管理センター TEL.0263(71)5511
●イベント情報をチェック! http://www.azumino.go.jp あづみの 検索

◎主催／あづみの公園早春賦音楽祭実行委員会
（安曇野市、安曇野市教育委員会、早春賦愛唱会、アルプスあづみの公園管理センター）
◎共催／国土交通省関東地方整備局国営アルプスあづみの公園事務所、長野エフエム放送
◆協力／早春賦まつり実行委員会、(一社)安曇野市観光協会、長野県音楽教育学会、アルプス讃歌実行委員会、ウェルカム合唱団、NPO法人安曇野風土舎、長野県童謡唱歌をうたう会、唱歌と童謡を愛する会、鐘の鳴る丘歌う会（予定）
◆後援／長野県、長野県教育委員会、松本市、塩尻市、大町市、池田町、松川村、信濃毎日新聞社、中日新聞社、市民タイムス、民友信州、大糸タイムス社、毎日新聞松本支局、朝日新聞松本支局、読売新聞松本支局、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、あづみ野テレビ、テレビ松本ケーブルビジョン、あづみ野エフエム、FMまつもと、(一社)日本童謡協会

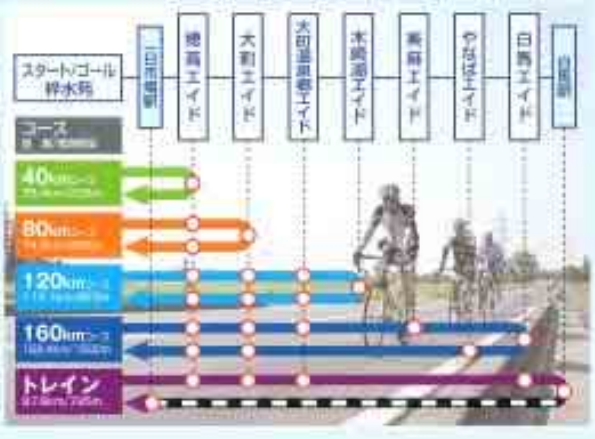


SPECIALIZED PRESENTS

Alps Azumino Century Ride 2014

5/24〔受付〕SAT・25〔大会〕SUN　定員/1,700名

■5:40~17:00 ■スタート/ゴール 松本市 梓水苑





■主　催：アルプスあづみのセンチュリーライド2014実行委員会
■共　催：国土交通省国営アルプスあづみの公園事務所
■特別協賛：スペシャライズド・ジャパン合同会社
■プロデュース：鈴木 康友

http://www.aacr.jp/


信州 なかの 北安曇
国営アルプスあづみの公園大町・松川地区
及び周辺エリア
里山探検ウォーキング
わくわくサマーキャンプ
2014. 8. 23 (sat)・24 (sun) 1泊2日
200名大募集!!
※2名様以上でお申込み下さい
収穫体験もできる!!
公園でキャンプ!!
星空観察も楽しんじゃおう!!
参加費
大人 (高校生以上) 8,000円
子供 (小中学生) 5,000円
幼児 (3歳以上) 2,000円
主催：北アルプス山麓ツーデーウォーキング実行委員会
協力：JA大北・コールマンジャパン (株)
Coleman

Schedule

1 day

快適生活研究家
田中ケンが作る
本格アウトドア料理が楽しめる！！

■公園内に設置したチェックポイント巡る
約 5km のウォーキング■

11：30～ 受付開始（入口広場）※昼食は、各自済ましての参加
12：30～ スケジュール・注意事項等説明
13：00～ **ウォーキング開始**
・ミッション（クイズ）をクリアしながらのウォーキング
・ミッションをクリアすることで次の目的地が判明
＊全てをクリアすると公園オリジナル記念品が貰えます。
15：30 **ウォーキング終了**
15：30～ **テント設営**（参加者で設営）、設営後は自由時間
＊すずむし荘・薬師の湯の半額券配布
→入浴希望の方は各自で車にて移動
（JR 利用者は主催者対応）
18：00～ **夕食**（主催者準備）
＊タッチオーブン等で作った本格アウトドア料理
夕食後は自由時間



20：00～ 体験教室

＊星空観察会
講師：縣 秀彦
（国立天文台天文情報センター普及室長
信濃大町観光大使）
＊（雨天時）
オリジナル傘のプラネタリウムづくり



■ profile ■
縣 秀彦（あがた ひでひこ）
1961 年長野県生まれ。東京大学附属中高教諭などを経て現職。専門は天文教育（教育学博士）。「天文学入門」、「天文学者はロマンティストか？」、「宇宙の地図帳」など著作物多数。

21：00 体験教室終了、自由時間
22：00 就寝

2 day

トマトやもろこしの
収穫体験ができる！！

■公園及び大町市・松川村周辺を巡る
10km ～ 15 kmのウォーキング■

6：00 **起床**
7：00～ **朝食**（主催者準備）
＊キャンプ料理
8：00～ テント撤去等 片づけ
移動（自動車）：渓流ゾーン近くの臨時駐車場へ
9：00～ **集合**（渓流ピクニック広場）
スケジュール・注意事項等説明後 公園出発
10：30～ **西山城址跡 到着**
11：00～ **西山城址跡 出発**
西山城址跡 → 各営農組合圃場
12：00～ **圃場にて昼食**（主催者準備）
13：00～ **収穫体験**（各営農組合圃場）
・新鮮な野菜・果物 5 点～ 6 点
（もろこし・トマトなど）のお土産付き
13：30～ **各営農組合圃場 出発**
各営農組合圃場 → 公園
14：30（予定） **公園着、解散**





■ profile ■
快適生活研究家 田中ケン
「アウトドアを取り入れることで、生活はもっと快適になる」を信念に“快適生活研究家”として各メディアで活動中。２００８年には自身のプロデュースによるキャンプ場「out side BASE」を群馬県北軽井沢にオープン。

＊テント・寝袋・マットは各自ご用意ください
＊ただし、希望者にはレンタル（参加費とは別途）あり
テント 3,500 円（5 人まで利用可）／寝袋 500 円／マット 500 円※数に限りがあります
＊雨天決行（ただし、台風等参加者に危険が及ぶ場合は中止）
＊雨天の場合は、公園内の施設に分散して宿泊していただきます



■お申込み方法■
下記申込書にご記入の上、郵送もしくは FAX にてお申込み下さい。
申込締切日：7 月 31 日（木） ※定員になり次第受付終了
申込者へのご案内は締め切り後発送 させていただきます。

■お問合せ■
○国営アルプスあづみの公園 大町・松川地区管理センター
○住所：〒398-0004 長野県大町市常盤 7791-4
○TEL：0261-21-1212 / FAX：0261-21-1214
○URL：http://www.azumino.go.jp/

キリトリ

【申込書】

住 所	〒			TEL ／			
代表者氏名	フリガナ	歳	男 ・ 女	FAX ／			
氏 名	フリガナ	歳	男 ・ 女	氏 名	フリガナ	歳	男 ・ 女
氏 名	フリガナ	歳	男 ・ 女	氏 名	フリガナ	歳	男 ・ 女

レンタル品	テント／ 個	寝 袋／ 個	マット／ 個	来園方法	

※個人情報については、主催事務局が責任を持って管理・保護に努めます。事務局以外の第三者に対し、本人の同意を得ずに個人情報を開示することはありません。

国営アルプスあづみの公園 大町・松川 地区

北アルプスフェア2014

平成26年 10/4(土)・5(日)の2日間! 9:30~17:00 入園無料!

大町市制施行60周年・合併10年
松川村制施行125周年
国営アルプスあづみの公園大町・松川地区開園5周年

イルミネーション甲子園作品展示

あなたのイラストがイルミネーションに。イルミネーション甲子園の来園者投票を行います。優秀作品は実物化され、光の森のページェントにて飾られます。作品募集中!(9/30〆切) ※詳細はHPをご覧ください
◇会場:インフォメーションセンター展示室

あづみの公園縦断小学生クイズ アニバーサリーイベント!

「知力・体力・地元愛」を合い言葉に、一組で早押し、パラマキなど様々なクイズに挑戦。優勝目指して勝ち進め!

10/4(土)低学年の部/10/5(日)高学年の部
◇集合:アルプス大草原 10:00受付開始 10:30開会
◇参加条件:小学生3人一組(低学年・高学年の混成チームは不可)
◇参加費:無料 ◇協賛:北陸コカ・コーラボトリング株式会社

ゆるキャラまつり

地域のゆるキャラ大集合!

10/4(土)
◇時間:12:15~12:45
◇会場:アルプス大草原



地元中学校吹奏楽交流演奏会

10/5(日)
◇時間:13:30~14:30 ◇会場:アルプス大草原
◇出演:大町市立第一中学校、大町市立仁科台中学校

園児の手形でつくる未来への並木道

大町市・松川村の保育園・幼稚園児による共同制作。手形を葉に見立てた木々が空中回廊を彩ります。
◇展示場所:空中回廊

秋の大収穫祭! 食べりや大北!!

旬の農産物、地域の名産品などが大集合!

10/4(土)・5(日) ◇会場:入口広場

フルーツバイキング

10/4(土)・5(日)
◇時間:10:00~(なくなり次第終了)
◇会場:休憩棟レストラン
◇料金:500円

そばの振る舞い

10/4(土)
◇時間:11:00~(300食)
◇会場:森の休憩舎
◇協力:そば処しみず

キノコ汁の振る舞い

10/5(日)
◇時間:11:00~(300食)
◇会場:森の休憩舎
◇協力:川西宮上馬場営農組合

豚の丸焼きの振る舞い

10/5(日)
◇時間:15:00~(250食)
◇会場:アルプス大草原

ロープで木登り ツリーイング

10/4(土)・5(日)
◇時間:
①10:00~
②11:00~
③13:00~
④15:00~
◇会場:入口広場
◇対象:4歳以上
◇定員:各回15名
◇参加費:1,000円
※雨天中止

丸太んピック

10/4(土)
◇時間:9:30~11:30、13:30~15:30
◇会場:入口広場
◇種目:
①丸太橋渡り/ゆらゆら、ぐらぐら、丸太の橋を渡ろう!
②丸太でドン/重さを当てよう!
③丸太ワー/呂~く積み上げて!
④年輪当て/年輪を数えて木の年齢を当てよう!
⑤丸太切り/のこぎりギコギコ丸太切り
※全種目制覇で限定缶バッジをプレゼント!!
◇参加費:無料 ◇協力:大北森林組合

ピクニックフリーマーケット

10/4(土)・5(日)
◇時間:10:00~16:00 ◇会場:アルプス大草原
◇協力:フリマネット信州 ※雨天中止

ピクニックライブ

10/4(土)
◇時間:13:00~15:00
◇会場:アルプス大草原
◇出演:FUKU、(6)太鼓バンド、seiko、キヤラメロ

安曇野市無形民俗文化財「獅子舞」披露

10/4(土)
◇時間:11:30~12:00
◇会場:アルプス大草原
◇協力:土居獅子舞保存会

りんごキャンドルづくり

10/4(土)・5(日)
◇時間:10:00~15:00
(最終受付14:00)
◇会場:インフォメーションセンター
◇参加費:1,000円/人
(赤・青の2色作成)
※参加費の一部は東日本大震災被災地支援のネットワーク「安曇野ひかりプロジェクト」へ寄付されます

りんごまつり

10/5(日)
◇会場:入口広場
①りんご即売会
②大北地域のりんご紹介
③ステージイベント
10:00 りんごレシピの紹介と試食会
11:00 りんごDEゲーム(競歩めなど)
13:00 りんご皮むき選手権
14:00 りんごジュース飲み比べクイズ

主催:北アルプスフェア実行委員会


国営アルプスあづみの公園
ALPS AZUMINO NATIONAL GOVERNMENT PARK
堀金・穂高地区
Winter Illumination Event
光の森のページェント
ドリーム
Dream
開催中！1月12日(月・祝)まで！
※休園日：毎週月曜日、12/31、1/1※ただし、12/27※は開園
※月曜日が休日の場合は開園し、直後の平日が休園・1月の期間中は金曜日と土日祝日
16:00~21:00
16時以降中央口をご利用ください。
35万球のイルミネーション
光と花火のショー開催！
Illumination & Fireworks Show
雨天時中止
開催日／12/13(土)・14(日)・27(土)・28(日)
時　間／各日20:00~(5分程度)
場　所／池 ※池の周りからご覧いただけます
※荒天時中止　※混雑が予想されるため早めにお越しください。
空飛ぶ光のショー開催！
Illumination & Kite Performance
LEDを装着したカイトによる空中イルミネーションショー！
イルミネーション上空に、光るカイトが出現！
開催日／12/24(祝)・25(土)　時間／18:00~随時
場所／池周辺 ※風の状況で変更する場合がございます
※荒天時中止
Countdown Event
カウントダウンイベント！
12/31 開催！
18:00開園(25:00閉園)
※元日は10時より開園となります。
信州プロレス参上！
~10団つのプロレスショップ!~
22:30~
地元松川村『響岳太鼓』
~大迫力!年またぎ!~
23:45~
TROPICAL CHRISTMAS
トロピカル クリスマス
あづみの学校
理科教室特別企画
テンキウナギによる
イルミネーションや、
水族館でも人気のサンタエビ、
体が光って見える熱帯魚など
おもしろい展示が目白押し！
Illumination Workshop
イルミネーションワークショップ
illumination
Workshop
クリスマスを彩る
楽しい作品を作っちゃおう！
開催日／12/20(土)~28(日)
◇クリスマスキャンドルづくり
◇スノードームづくり
◇万華鏡づくり
参加費／500円　場所／あづみの学校内
受付／当日受付 16:00~20:00
JR豊科駅から公園中央口まで無料シャトルバスを運行！
○運行日／12/20(土)・21(日)・23(祝)・24(月)・25(木)
○運行時間／[JR豊科駅 乗り場：「小柴屋前」]始発16:00~最終20:00　[公園中央口]最終21:00　※臨時運行
穂高口からイルミ会場まで無料シャトルバスを運行！
混雑が予想される12/13(土)・14(日)・20(土)・21(日)・23(祝)・27(土)・28(日)は
穂高口(第3・第4駐車場)がご利用いただけます。
光の森のページェント
イルミネーションスタンプラリー
両期区のイルミネーション会場で
どちらのイルミネーションが気に入ったか投票してください。
抽選でペア宿泊券や1日リフト券など豪華プレゼントが当たる！
Dream
VS
Magical Party

国営アルプスあづみの公園
ALPS AZUMINO NATIONAL GOVERNMENT PARK

大町・松川地区

光の森のページェント

魔法であやつるイルミネーション

Magical Party

マジカルパーティー

開催中 ～2015.1.12.mon.

点灯時間 16:00～21:00

休園日：毎週月曜日、12/31、1/1
※ただし、12/22(月)は開園、翌日(火)が休園に、祝日の場合は開園し、翌日の平日が休園
1月の開催日は金曜日と土日祝日







ナイトクラフト

12月「ミニクリスマスツリーづくり」・1月「オーナメントづくり」
期間中の土・日・祝 時間／16:00～19:30 場所／森の体験舎 参加費／100円

ナイト竹巻きパン

12/20㊏・21㊐・23㊋・時間／16:00～(材料がなくなり次第終了)
場所／森の体験舎 参加費／100円

焼きマシュマロの振る舞い

期間中の土・日・祝(12/20・21・23を除く) 時間／16:00～(先着100名様)
場所／森の体験舎 参加費／無料 協力／(株)エイワ

イルミネーションコンサート

時間／①16:30～17:00 ②18:30～19:00
場所／休憩棟レストラン 観覧／無料



FOUR LEAF CLOVER



西多摩社中

クリスマスマジック

魔法使いアッキーがあづみの公園で不思議を…
光を使ったマジックもお楽しみに!
園内のどこかで魔法使いが現れるかも?!



12/20㊏・21㊐・23㊋
時間／①16:30～②18:30～
場所／入口広場
観覧／無料
※天候・積雪等により会場が変更となる場合があります。

国営アルプスあづみの公園

堀金・穂高地区	大町・松川地区
〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川3134	〒399-0004 長野県大町市常盤7791-4
TEL.0263-71-5511	TEL.0261-21-1212
facebook.com/alpsazumino.HH	facebook.com/azumino.OM
twitter.com/alpsazumino_HH	twitter.com/@azumino_om

開園時間 9:30～21:00(点灯時間/16:00～21:00)
休園日 毎週月曜日(祝日の場合は開園、直後の平日休園)・12/31・1/1
入園料 大人410円(65歳以上210円)・小人(小中学生)80円・幼児無料
駐車場 【堀金・穂高地区】1,000台(大型バス・身障者専用あり)
【大町・松川地区】600台(大型バス・身障者専用あり)
交通 【堀金・穂高地区】/長野自動車道 安曇野ICより20分
JR大糸線 豊科駅または穂高駅よりタクシー15分
【大町・松川地区】/長野自動車道 安曇野ICより40分
JR大糸線 信濃大町駅または信濃松川駅よりタクシー15分～20分

http://www.azumino.go.jp



行催事について

１．国費の支出対象となる行催事について

１）国営アルプスあづみの公園維持管理基本方針に則していること
２）公園・緑化に関する意識の高揚や知識の普及に資するもの
３）歴史や自然に関する学術的なもの
４）その他公園のイメージアップや利用促進に資するもので国営公園内の行催事としてふさわしいもの

２．国費を充当できる支出項目について

国費を充当できる支出項目は、当公園の行催事としてふさわしいものであるとともに、公共性が高く、利用者全体に関わるもので、社会通念上理解の得られる範囲内での必要十分な経費に限られる。

なお具体には以下のとおりとする。

１）会場設営費
２）会場運営費（飲食費については不可）
３）資機材費（参加者が持ち帰らない工作物等材料費は可）
４）講師謝礼金
５）パンフレット類等広報物作成費

３．国費を充当できない支出項目について

国費の支出対象となる行催事であっても、以下の項目には国費を充当できない。

１）参加者に配付する参加賞
２）参加者が持ち帰る工作物等の材料費

ただし、いずれの場合にも国費以外の自主財源、または参加者からの参加費を充当することを妨げない。

４．主催行催事

国営アルプスあづみの公園主催の行催事（イベント、体験プログラム、展示など）を「主催行催事」という。なお、材料代等実費を公園利用者から徴収すること等ができるものも含み、その場合は予算書（支出項目内訳）により、調査職員等の承諾を得た上で実施するものとする。

具体的な内容については、本公園の開催実績、提案の内容を踏まえて、年間行事計画書に記載して実施するものとする。

【継続必要性の高い主催行催事】

・「あづみの公園早春賦音楽祭」（堀金・穂高地区）
・「アルプスあづみのセンチュリーライド」（堀金・穂高地区、大町・松川地区）
・「北アルプス山麓ツーデーウォーキング」（大町・松川地区）
・「北アルプスフェア」（大町・松川地区）
・「イルミネーションイベント」（堀金・穂高地区、大町・松川地区）

５．自主イベント

公園の利便性や魅力をより一層高めるため、関東地方整備局長の許可（都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条、第６条又は 12 条に基づく許可）を受けた上で、事業者の提案により土地使用料等を納めて独立採算により行う事業を自主事業といい、自主事業として実施する行催事を「自主イベント」という。

自主イベントに実施にあたっては、都市公園法施行令（昭和 31 年政令 290 号）第 20 条に基づき、占有した土地または建物の使用料を納めることが必要となる。ただし、公共性の高い行催事を公園管理者との共催により行う場合、使用料が不要となる場合がある。

具体的な内容については、提案の内容を踏まえて、年間行事計画書に記載するものとする。

６．持ち込みイベント

第 3 者が都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条、第６条又は 12 条に基づく許可を得た上で実施する行催事を「持ち込みイベント」という。

事業者は、実施に向け必要な調整を行わなければならない。

７．主催行催事の開催種類の数え方

１）原則当公園敷地内において、不特定多数の入園者が参加できる主催行催事を対象とする。事前申し込みによる制限はできるものとする。

２）内容が同一の主催行事を１種類と数える。名称又は実施場所、実施時期のみ異なり、内容が同一である主催行事は１種類と数える。

８．行催事の参加者数の数え方

１）参加者数は延べ人数とする。

２）ほぼ同じ内容で 1 日数回行う行催事は当該日の延べ人数とする。異なる日に実施した場合は、日毎の延べ人数とする。

３）展示については、観覧者数を把握できる場合に限り、行催事の参加者数に含めることができる。

９．行催事の協力体制について

行催事の協力体制については、これまで協力いただいた各自治体、各団体との協力、連携に留意すること。

別添－18

行催事実施計画書例

平成 26 年度　国営アルプスあづみの公園　堀金・穂高地区
秋の夜長コンサート実施計画書

１．開催趣旨

夏の暑さから解放された秋分の日に合わせて、秋の夜長を楽しめるコンサートを開催。地元で人気のあるアーティストによる、楽曲やトークを交えるとともに、子供たちが楽しめる企画も盛り込み、秋の利用促進を図ることを目的に実施する。

２．開 催 日：平成 26 年 9 月 23 日(火・祝)

３．開催時間：18：00～19：30　　＊公園の開園延長時間：17：00～20：00

４．実施場所：展望テラス１階

＊池の上にステージを設置。来園者はウッドデッキにて観覧。
＊雨天等荒天時はあづみの学校「玄関ホール」を使用。
＊開催場所は、15：00 の天候で判断。
＊夜間開園エリアについては別紙１参照

５．イベント内容

① 湯澤かよこコンサート　　18：00～18：40
② H2O赤塩正樹コンサート　18：50～19：30
③ 手持ち花火広場
④ 縁日ブース
（ヨーヨーすくい、スーパーボールすくい、綿菓子づくり体験、射的体験等を予定）
⑤ スズムシプレゼント（先着 100 名程度）

６．目標入園者数（17:00～20:00 の入園者数）1,500 名

７．安全管理

① 園内巡視は通常閉園時間（17 時）より時間を繰り上げて行い、来園者へ開園エリアへの誘導と告知を行うとともに安全確認を行う。
② 17 時以降の立入禁止区域と開園区域との境には、セーフティーコーン、バー及び立入禁止 POP を設置。また、巡視スタッフによる誘導を行う。
＊別紙 2「安全対策図面」参照
③ 立入禁止区域内のお客様に対しては、園内放送とともにスタッフによる 17 時以降の開園区域への誘導を行う。

④ 20 時の閉園に合わせて、園内放送を行い来園者へ退園を促すとともに、スタッフ誘導により閉園の確認作業を行う。

＊緊急連絡体制については、別紙 3「緊急連絡体制表」を参照

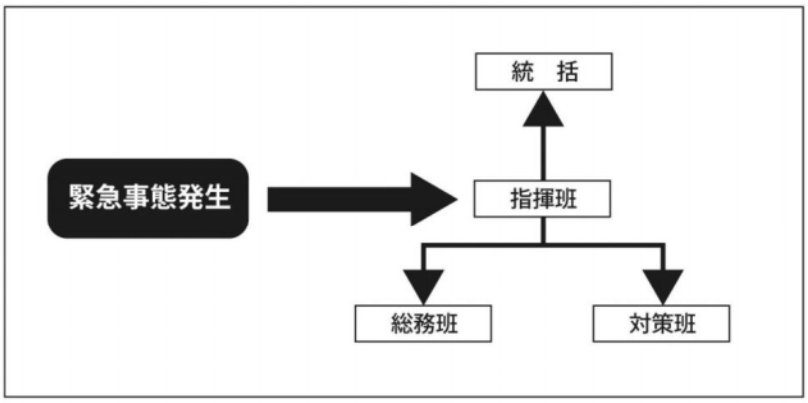
＊駐車場誘導計画、来園者誘導等は、別紙 2「安全対策図面」参照

【緊急連絡体制について】

＊別紙 3 緊急連絡体制表を参照

【緊急発生時の各班の担当業務】

１．組織表



２．各班の担当業務

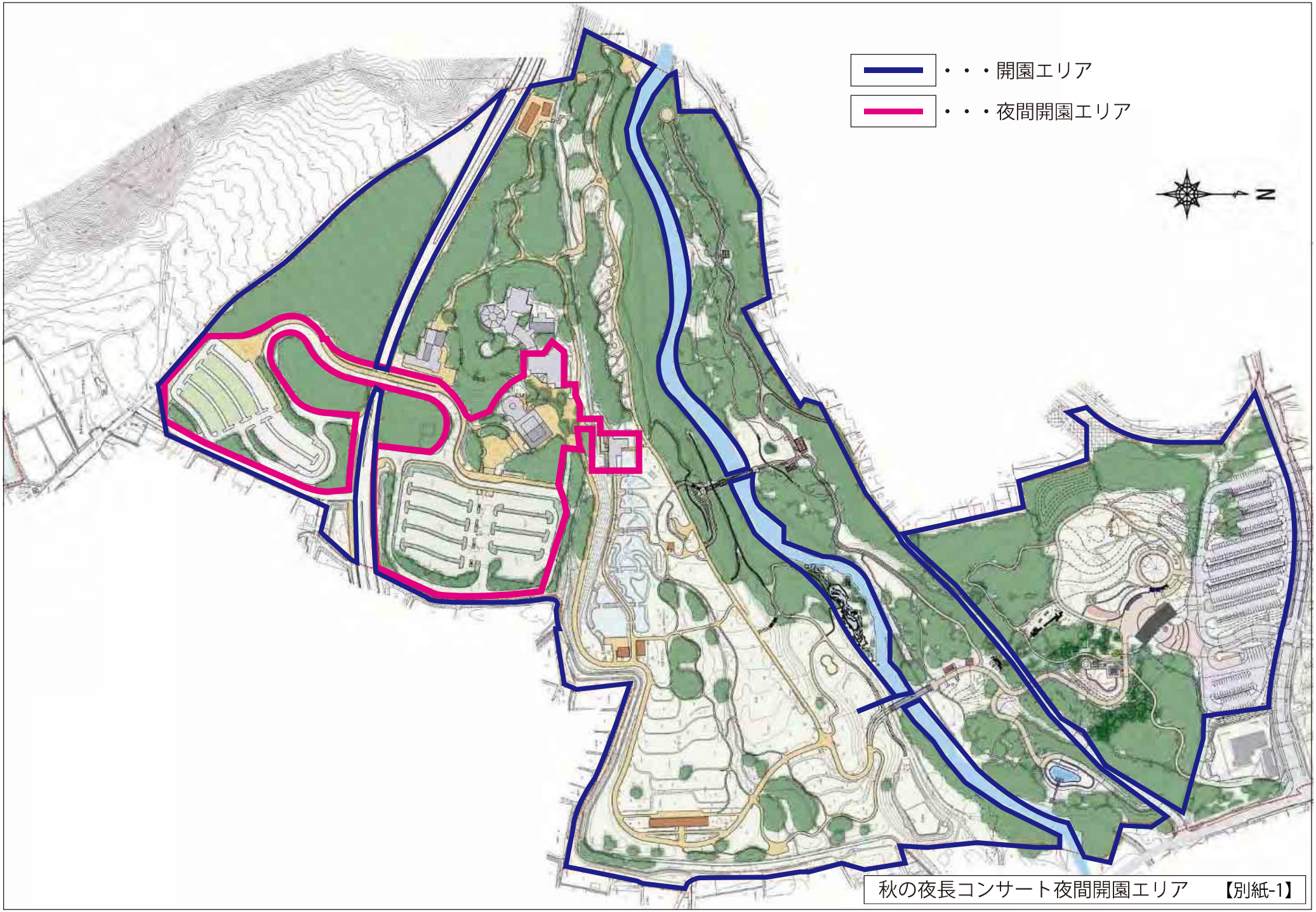
班名称	担当（基本）	業務内容
統括	管理センター長	・管理センターが行う対策全般を統括
指揮班	① ② ③	・各班からの情報、気象情報等各情報を収集し、公園事務所、センター長と協議の上、対応を指示。 ・統括不在の場合の業務代行
総務班	① ②	・管理センター機能の確保 ・救急物資等の準備・調達 ・参集職員の把握及びその他職員の安全確認 ・関係機関、各班、JV 各社への通報・情報の伝達 ・被災・避難情報、園外情報等の収集
対策班	① ② ③	・園内施設等の点検 ・被害状況の把握・調査等（人的・物的） ・来園者の避難誘導案内・救護活動 ・災害予防及び復旧対応 ・通信機器の確保

		・臨時閉園の対応

＊①②③：連絡の優先順位を示す

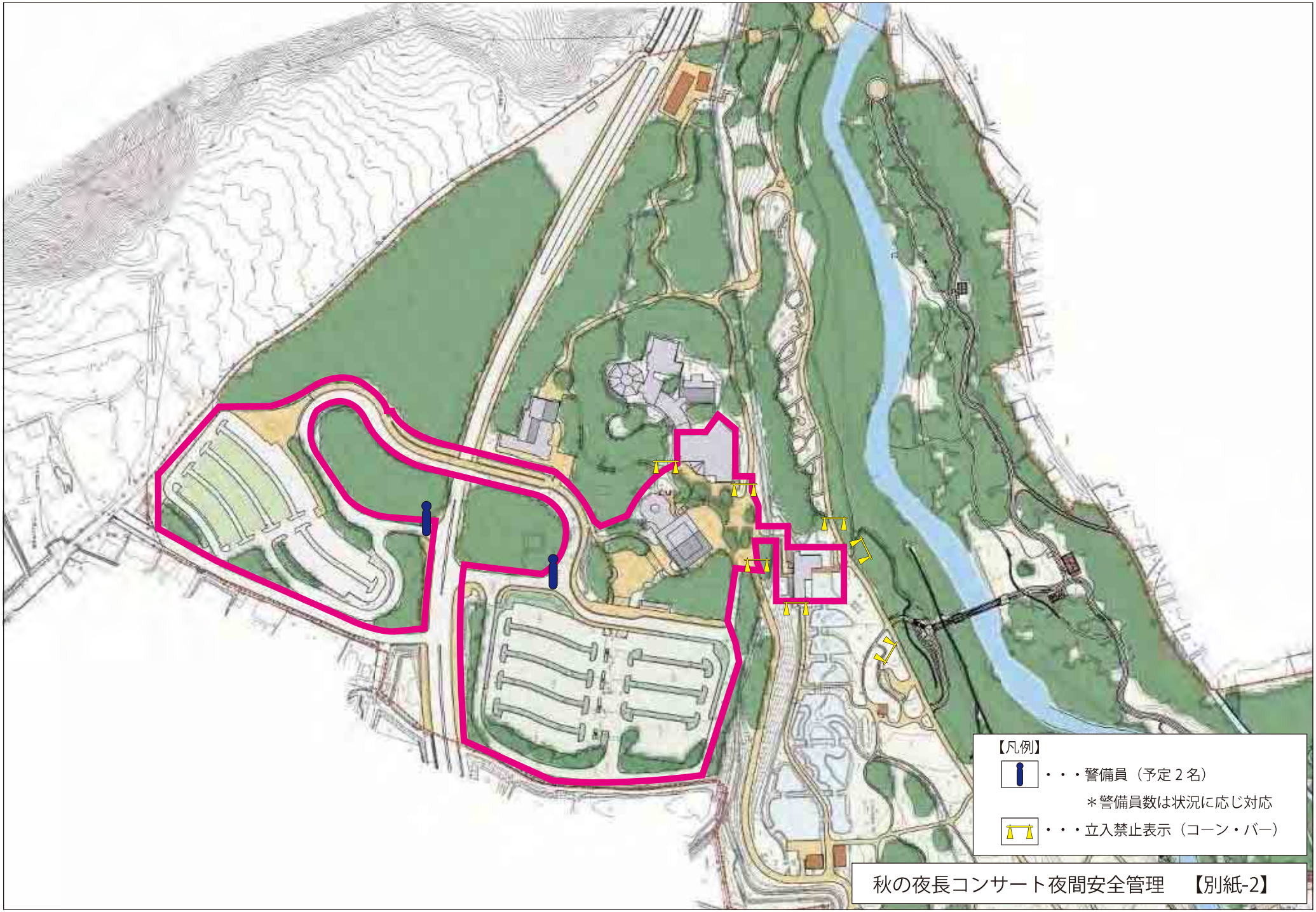
＊当日の勤務実態に応じ、適宜、指揮班担当者からの指示により変更する。

別添P144



秋の夜長コンサート夜間開園エリア　【別紙-1】

別添P145



秋の夜長コンサート夜間安全管理　【別紙-2】

別添－19

ボランティア活動（規約・活動内容）

アルプスあづみの公園管理センター
協働活動者登録制度設置運営要綱

（趣旨）

第1条　この要綱は、アルプスあづみの公園管理センター（以下「センター」という。）が、国土交通省より受託管理する国営アルプスあづみの公園（以下「公園」という。）を、信州・安曇野地方の文化、観光、自然、遊びなど、来園者への「もてなし」提供を行うため、地域住民等との協働による管理及び運営を推進していくことを目的として、協働活動者登録制度の設置及びその運営に関し必要な事項を定める。

（定義と分類）

第2条　この要綱において協働活動者（以下「活動者」という。）は、センターが実施する公園管理に関して理解と協力意欲のある者で、行動目的を共有し、かつ連携・協力により課題解決へ向けて活動する者をいう。

2　活動者は、個人にあっては「専門指導員・指導員」「協力員」「協働員」に、団体にあっては「協力団体」「協働団体」に分類する。各名称の定義は別紙1の活動者分類要領のとおりとする。

（活動内容等）

第3条　活動者が行う活動の内容は次の各号のとおりとする。

一　植物管理、清掃等の維持管理に関すること
二　来園者の利用案内・指導に関すること
三　自然の保全及び緑の普及に関すること
四　センター事業の企画及び運営強力に関すること
五　その他公園管理に必要な業務協力に関すること

2　アルプスあづみの公園管理センター長（以下「センター長」という。）は、前項各号に掲げる活動について、公園が運営するホームページ及びチラシ等により、作業内容、登録方法その他必要な事項を掲示もしくは提示して活動者を募集する。

（登録の手続等）

第4条　活動を希望する個人または団体は、本要綱を理解の上、協働活動者登録申請書（第1号様式）をセンター長に提出する。また、団体にあっては、会則（活動の目的、内容、実績等）、構成人数、財務状況等の活動状況がわかる資料（総会資料等）も併せて提出する。

2　協働活動者登録申請書にあっては、氏名、住所、連絡先等のほか、希望する活動分野（別紙2）についても記載する。

3　センター長は、第1項による申請があるときは、審査要領（別紙3）に基づき審査し、適当と認められるときは、申請者に協働活動者登録通知書（第2号様式）により通知するとともに、協働活動者登録簿に登録する。

4　前項により登録された活動者は、登録内容に変更があるときは、口頭によりセンター長に速やかに届け出るものとする。センター長は、この届出を受けた時は、登録簿の登録内容を変更するとともに、協働活動者登録内容変更通知書（第3号様式）により変更を通知する。

5　センター長は、前条第1項における専門活動にあっては、本条第1項の登録申請者の中から審査し、適するものにあっては、協働活動依頼書（様式第4号）により、具体的な活動内容及び活動時期等を定め依頼する。

（登録の有効期間）

第5条　登録の有効期間は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間とする。ただし、随時登録した場合は、登録した日から当該年度3月31日までとする。なお、第7条に規定する登録抹消事由に該当する場合はこの限りではない。

（協働活動者の責務）

第6条　活動者は、協働活動者要領（別紙4）に定めるほか、次の各号に定める責務を負う。

一　安全及び衛生の確保に配慮すること

二　公共の利益に反し又は反する恐れのある行為は行わないこと

三　危険の恐れのある行為又は他人の迷惑となる行為は行わないこと

四　営利的、政治的活動及び宗教的活動は行わないこと

五　その他センター長が必要と認め指示すること

（登録の抹消）

第7条　センター長は、次の各号に該当する事実が発生した場合は、登録を抹消することができる。

一　活動者から書面による登録取り消しの届け出があったとき

二　活動者の所在が不明となり、長期間連絡不能となったとき

三　活動者が前条に定める責務を遵守できないと認められるとき

四　活動者の信用を著しく傷つけたとき

五　その他センター長が特に必要と認めたとき

（活動の支援）

第8条　センターが活動者の活動に対し行う支援は、次の各号のとおりとする。

一　協働活動に必要な資材の提供及び用具の貸与

二　協働活動に関する情報の提供

三　有料公園区域への入園料の減免

四　必要とする協働活動等に関する研修

五　必要と認める活動者へのボランティア保険への付保

六　その他センター長が必要と認めたこと

（入園料減免の制限と協働登録証の発行）

第９条　有料公園区域内への入園料の減免は、協働活動および協働活動に付帯する行為がある場合に限るものとし、センターは活動者であることが認識できる協働活動者登録証を発行する。

２　活動者は、公園での活動に従事するときは、協働活動者登録証を携行し、着用する。

（自己責任の範囲）

第１０条　専門指導員・指導員、協力員にあっては、センターとの協働活動範囲にあって、活動者及び活動参加者に不慮の事故がある場合は、その責任はセンターに帰着する。ただし、自然災害や当事者および第三者の故意による事故はこの限りではない。

２　センターは、前項において発生した事故に対し、相互自らが加入する傷害、賠償責任保険の保険金等により適正に補償する。

３　協働員、協力団体、協働団体にあっては、工具や火を扱う活動等の事故に備える保険に協働活動者自らが加入する傷害、賠償責任保険の保険金等により適正に補償する。

４　協働員、協力団体、協働団体活動における責任は、イベント主催者が負うものとする。

５　センターとの協働活動範囲外により発生した活動の事故については、その責任をセンターは一切負わないものとする。

（協定書による責任・役割の確認）

第１１条　協働員、協働団体は、センターとの協定書（第５号様式）において、活動上必要な事項の責任・役割分担を定める。

（その他）

第１２条　この要綱に定めるもののほか必要な事項は、センター長が別に定める。

附　則

（施行期日）

この要綱は、平成２７年４月１日から施行する。

第1-1 号様式（第4条関係・個人用）

平成　年　月　日

アルプスあづみの公園管理センター
管理センター長　　殿

団体
（団体の場合のみ）
代表者　住所

氏 名　　印

協働活動者登録申請書

アルプスあづみの公園管理センター協働活動者登録制度設置運営要綱第4条第1項の規定により、次のとおり登録を申請します。

●活動者分類・名称（別紙1に基づく）

●協働活動分野（別紙2に基づく中分類）

〇主たる活動分野

〇従たる活動分野

●全参加者の氏名、住所、性別、生年月日、連絡先

氏　名	性別	生年月日	住　所	電話	FAX

第1-2 号様式（第4条関係・団体用）

平成　年　月　日

アルプスあづみの公園管理センター
管理センター長　　殿

団体
（団体の場合のみ）
代表者　住所

氏 名　　印

協働活動者登録申請書

アルプスあづみの公園管理センター協働活動者登録制度設置運営要綱第4条第1項の規定により、次のとおり登録を申請します。

●活動者分類・名称（別紙1に基づく）

●協働活動分野（別紙2に基づく中分類）

〇主たる活動分野

〇従たる活動分野

●全参加者の氏名、住所、性別、生年月日、連絡先 （別紙でも可）

氏　名	性別	生年月日	住　所	電話	FAX

第2号様式（第4条関係）

平成　年　月　日

様

アルプスあづみの公園管理センター
管理センター長　　印

協働活動者登録通知書

平成　年　月　日付けで申請のあった協働活動者登録については、次のとおり登録しましたので通知します。登録内容に変更が生じた場合には、速やかに届け出てください。

なお、この登録に基づいて協働活動を行うにあたっては、協働活動者登録制度設置運営要綱を遵守していただくとともに、専門有資格者にあっては、当センターから別途活動依頼書（第4号様式）を受けたのちに、担当職員と具体的な活動内容について協議していただきますのでよろしくお願い致します。

●団体名、代表者の住所氏名、連絡先

●活動者分類・名称

●協働活動分野

〇主たる活動分野

〇従たる活動分野

●参加者の氏名、住所、性別、生年月日、連絡先

氏　名	性別	生年月日	住　所	電話	FAX

※　登録した個人情報は、登録者本人（団体及びその構成員については代表者）の承諾がある場合を除き、第三者に提供することはありません。

第3号様式（第4条関係）

平成　　年　　月　　日

様

アルプスあづみの公園管理センター
管理センター長　　印

協働活動者登録内容変更通知書

協働活動者登録について、次のとおり登録内容を変更しましたので通知します。登録内容に変更が生じた場合には、速やかに届け出てください。

●団体名、代表者の住所氏名、連絡先

●活動者分類・名称

●協働活動分野

〇主たる活動分野

〇従たる活動分野

●全参加者の氏名、住所、性別、生年月日、連絡先 ［別紙でも可］

氏　名	性別	生年月日	住　所	電話	FAX

※　登録した個人情報は、登録者本人（団体及びその構成員については代表者）の承諾がある場合を除き、第三者に提供することはありません。

別紙１

アルプスあづみの公園管理センター
協働活動者分類要領

１　目的

この要領は、アルプスあづみの公園管理センター（以下「センター」という。）が定めるアルプスあづみの公園管理センター協働活動者登録制度設置運営要綱（以下登録要綱」」という。）において、協働活動者の登録分類について必要な事項を定めることを目的とする。

２　協働活動者の分類及び名称

この要領における個人及び団体の協働活動者とは、次に掲げるものに分類し、称する。

１）　個人

（1）専門指導員・指導員（パートナー、サポーター　・　研修活動者）

（2）協力員（ボランティア）

（3）協働員

２）　団体

（1）　協力団体

（2）　協働団体

３　協働活動者分類名称の定義

協働活動者の分類及び名称は、次に掲げる定義による。

１）　個人

（1）　専門指導員・指導員（パートナー、サポーター　・　研修活動者）

専門指導員とは、来園者及びほかの協働活動者等への実技指導及び実演、専門解説等において高度な専門知識、技能、活動分野でのすぐれた能力又は経験を有する者で、登録要綱の第１条の趣旨に賛同するとともに、定期的な活動に参加し、かつセンターが協働活動者として依頼する個人の者をいう。また、専門指導員の研修期間中の登録者を指導員とする。

（2）　協力員（ボランティア）

協力員とは、登録要綱第１条の趣旨に賛同するとともに、定期的な活動に参加し、協働活動者登として自発的に参加する個人の者をいう。

（3）　協働員

協働員とは、登録要綱第１条を踏まえ、自己責任を有するとともに、センターとの対等な関係による、相互の協定を締結し、国営アルプスあづみの公園を拠点として活動する個人の者をいう。

２）　団体

（1）　協力団体

協力団体とは、登録要綱第１条の趣旨に賛同し、かつセンターが協働活動

者として依頼する団体の者をいう。

(2)　協働団体

協働団体とは、前記協働員と同様な団体の者をいう。

4　協働活動者分類名称の登録

協働活動者登録にあたっては、前項の活動者分類に該当する名称を協働活動者登録申請書へ記入して、登録申請する。

5　協働活動者分類における報酬

協働活動者分類における報酬は、次に掲げるとおりとする。

1）　個人

(1)　専門指導員・指導員（パートナー、サポーター　・　研修活動者）

有償とする。報酬額は活動協力報酬、活動保険料のほか、センターが定める職員給与規定の通勤手当規定に準拠した交通費を支給する。なお、活動協力報酬額はセンターが別に定める基準による。またセンターの依頼に応じた場合、委託費を受ける。

(2)　協力員（ボランティア）

原則無償とする。

(3)　協働員

原則無償とする。ただし、センターとの協議により、参加料、指導料、物品提供等の自らの活動維持に向けた行為を行うことが出来る。センターの依頼に応じた場合、委託費を受ける。

2）　団体

(1)　協力団体

無償または、センターの依頼に応じた場合、委託費を受ける。委託費の場合には団体による一括扱いとする。

(2)　協働団体

前記、協働員と同様とする。ただし、委託費の場合には、団体による一括扱いとする。

6　協働活動者分類の活動範囲

専門指導員にあたっては、センターが依頼する協働活動のほか、自発的に参加する協働活動ができる。また、協働員、協働団体においても同様とする。ただし、自発的に参加する協動活動にあっては、無償とする。

附則

この要領は、平成　年　月　日から施行する。

別紙2

国営アルプスあづみの公園管理センターにおける協働の活動分野

1　協働の活動分野

アルプスあづみの公園管理センター第4条第2項に定める活動分野及び内容については下記のとおりとする。

活動分野			活動内容
大分類	中分類	小分類	
1．植物管理、清掃等の維持管理に関すること	1-1 植物・清掃	植物管理活動	花植え、除草作業などの活動
		施設管理活動	痛んだ施設の補修などの活動
		清掃等活動	ゴミ拾いなどの活動
		その他活動	上記以外の分野での維持管理に関する活動
2．来園者への利用案内・指導に関すること	2-1 観光	地域観光ガイド	玄関ジオラマ、インフォメーション等での観光情報・地域情報の提供
	2-2 社会	地域語り部	社会科教室等での昔の暮らしに関する語り、昔話の解説・講座
		歴史ガイド	園内の遺跡・古墳・堰遺構のガイド、周辺地域の歴史解説・講座
	2-3 自然	自然ガイド	理科教室等の天文、地形・地誌、自然誌、エコ実験等解説・実演・講座 自然解説板を使った野外での自然ガイドなど
	2-4 クラフト	創作クラフト	あづみの学校、森の体験舎等でのクラフト指導・講座
	2-5 食	食体験	食体験プログラム指導・講座
	2-6　作業	山仕事・農仕事	間伐、炭焼き、農作物の栽培・収穫
	2-6 健康・福祉	健康増進・レクレーション	健康増進・レクレーション活動に関する指導・講座
		福祉活動	障がい者や弱者支援の利用案内活動
		その他の利用案指導	上記以外の来園者への利用案内・指導に関する活動
3．自然の保全及び緑の普及に関すること	3-1 環境	緑化普及啓発	緑・花に関する普及・啓発活動、地域緑化活動
		自然調査研究	公園自然資源の保全、及び調査活動、エコアップ活動
		環境教育	地域への環境教育の指導・普及
		その他活動	上記以外の自然保全及び緑･花活動
4．センター事業の企画及び運営協力に関すること	4-1 イベント	歳時記行事	歳時記行事の企画・〇〇
		田園体験行事	農的体験イベントの企画・〇〇
		公園イベント	公園イベント協力事業の企画・〇〇、イベント情報発信
		活動記録	園内記録写真の撮影、通信紙の製作など
		その他運営協力	上記以外のセンター事業へ企画及び運営協力活動
5．その他公園管理に必要な業務協力に関すること	5-1 その他	その他公園協力	その他公園管理に必要な業務への協力活動

別紙3

協働活動者登録制度　審査要領

1　目的

この要項は、アルプスあづみの公園管理センター（以下「センター」という。）が、アルプスあづみの公園管理センター専門指導員登録制度設置運営要綱(以下「登録要綱」という。)に基づき、専門指導員登録申請を受理するにあたり、審査するための必要な事項を定める。

2　審査方法

審査は、センターにおいて、提出あった申請書類及び面談により、専門指導員としての欠格要件等の適否について行う。

3　審査基準

専門指導員としての欠格要件等の審査基準は次のとおりとする。これら基準を満たす者をもって専門指導員登録を行う。

1）　書類審査

(1)　登録要綱に基づく提出書類要件を満たしているか

(2)　協働活動遂行に必要な組織・人員を有しているか

(3)　過去に実務経験を有しているか（専門指導員・指導員のみ）

2）　面談審査

(1)　本協働活動の趣旨を理解しているか

(2)　自立性を高め、責任を持って行動できるか

(3)　センターとの対等な関係において、企画力、提案力等での積極的発言ができるか

(4)　公園のしくみを理解し、センターとの協働による責務が果たせるか

(5)　来園者などに対し、自らの情報及び技能等を積極的に提供できるか

(6)　来園者などに対し、公平・公正に接することができるか

(7)　来園者などへの適切な接遇能力を有しているか

(8)　専門指導員・指導員にあっては、来園者および他の協働活動者等への実技指導及び実演、専門解説等において高度な専門知識、技能、活動分野での優れた能力または経験を有しているか

4　審査結果の通知及び協働活動者登録

前項審査基準を満たす者で、専門指導員・専門指導員にあっては、センターが用意する協働活動条件を付した協働活動依頼書により通知する。この通知の承諾ある場合、再度、協働活動者登録通知書（第2号様式）により通知し、登録する。

協力員、協力団体、協働員、協働団体にあっては、協働活動者登録通知書により通知し、登録する。また、協働員、協働団体の活動にあっては、センターと「協働活動に関する協定書（第5号様式）」を締結し、活動する。

第4号様式（第4条関係）

平成　年　月　日

様

アルプスあづみの公園管理センター
管理センター長

アルプスあづみの公園管理センター
協働活動依頼書

下記のとおり、アルプスあづみの公園管理センターが国土交通省より受託管理する国営アルプスあづみの公園での協働活動を依頼したいので、よろしくお願いいたします。

記

1　活動依頼日時	依頼承諾した日から平成　年3月31日まで 時～　時又は　時～　時
2　活動依頼場所	国営アルプスあづみの公園地内および周辺地域
3　活動対象・人数	
4　活動趣旨・目的等	国営アルプスあづみの公園における協働活動は、アルプスあづみの公園管理センターとの協働により、公園が安曇野地方の表玄関として、来園者への地域文化や観光、自然、遊びなど地域の「もてなし」ある提供を行い、地域や公園への関心を深め、その活動を通じ地域貢献の一助になることを目的とするものです。
5　協働活動者名称	専門指導員（名称の定義は協働活動者分類要領による）
6　協働活動依頼内容	協働の活用分野における来園者および他の協働活動者等への実技指導、および実演、専門解説等のほか、センターが依頼する事項とします。
7　報酬額	活動一日あたり　円　半日あたり　円 交通費1日　円　計　円
8　その他	月あたりの活動回数は原則1回以上とします。ただし、特別の事由ある場合は、センターに申し出ることにより軽減できます。また、活動時間も同様としますが、場合により増やすこともあります。

第5号様式（第11条関係）

アルプスあづみの公園管理センター
協働活動に関する協定書

アルプスあづみの公園管理センター（以下「甲」という。）と〇〇〇〇〇〇（以下「乙」という。）は、国営アルプスあづみの公園における協働活動に関し、次のとおり協定を締結する。

（趣旨）

第1条　この協定書は、国営アルプスあづみの公園（以下「公園」という。）の管理運営業務における協働活動に関する協力体制について、必要な事項を定める。

（連携及び協力）

第2条　甲乙は、共に平等・対等の関係にあることを基本理念とし、相互にその活動に必要な連携・協力を行うものとする。

（協働活動の範囲）

第3条　甲が乙に協働要請する活動の範囲は、次のとおりとする。

一　公園の維持管理業務支援に関すること
二　公園利用者への案内サービス支援に関すること
三　公園利用者の遊び支援に関すること
四　公園等の展示及び解説支援に関すること
五　公園のイベント支援に関すること
六　公園の管理運営業務の補助的作業支援に関すること
七　その他、甲乙協議による相互支援に関すること

（活動の区域）

第4条　甲が乙に要請する活動区域は次のとおりとする。

一　国営アルプスあづみの公園内
二　甲が主催する園外活動箇所
三　その他、甲乙協議による活動箇所

（活動の遵守）

第5条　甲は乙に、活動にあたって、「アルプスあづみの公園管理センター協働活動者登録制度設置運営要綱」のほか関係する規約等を遵守させるものとする。

2　その他、乙は、活動における乙の会員の相互間及び公園利用者との良好な関係の維持に努めるとともに、甲の職員が公園の管理運営上必要な指示をするときは、それに従うものとする。

（入園料の減免と入園許可証）

第6条　甲は、乙の会員が協働活動及び活動のための事前調査に限って、有料公園区域内に入園するときは減免するものとする。

2　甲は、乙の各自に協働登録証を発行し、乙の登録者は、有料公園区域において活動に従事するときは常に携行、着用するものとする。

3　乙の登録者以外の者が、有料公園区域において協働活動する場合は、センター事務所にてその者の業務による入園許可書の発行を受け、活動従事に際しては着用させるものとする。

（事務手続き）

第7条　甲は、乙の事業の理解を深めるとともに、公園活動の企画・調整業務等に関し、協力支援のための乙の事務手続きを務めるものとする。

（保険と事故の責任）

第8条　協働において必要な傷害・賠償保険には、乙が自ら加入し、保険の写しを甲に提出する。

2　乙の事故に対する責任を甲は一切負わないこととする。

（研修・資格取得）

第9条　甲は、乙に対し、協働活動の内容により事前研修が必要な場合は、その責任において乙の教育を行うものとする。

2　甲は、乙及びその会員の資質向上に向けた研修等の支援活動を行うものとする。

3　具体的には、接遇講習、安全講習、救急救命講習とする。

4　協働員、協力団体、協働団体においては、資格取得が必要な（木工製材機械、チェーンソー、肩掛除草機など）場合には機械等の操作は資格取得者に限定して行う。また、乙は資格取得者の証明の写しを甲に提出する。

（活動場所・貸与物品）

第10条　甲は、乙に対し、甲乙協議のうえ、活動拠点となる敷地を割り当て、公園利用との調整を図る。大規模なイベント、施設の改修など特殊事情がある場合は、代替えの敷地の提供または活動休止について協議する。

2　甲は、乙に対し、甲乙協議のうえ、公園利用者と識別できるユニホーム等の利用サービス向上に向けた物品を貸与もしくは提供するものとする。

（用具等の使用）

第11条　乙は、第10条に定める以外に、公園の建物の一部、備品・道具類の使用に際しては、事前に甲に申し出ることとする。ただし、公園利用者が利用する物（イス、机等）にあってはこの限りではない。

2　乙は甲と協議し承諾を得て、活動拠点となる敷地に大型機材置き場、資材置き場を設けることができる。ただし、置き場における物は、乙が移動可能な機材・資材に限る。

3　大型電動工具・原動機付き器具など危険を伴うものは、甲が指定する者のみが扱えるものとする。乙は危険を伴う工具等を使用する者が取扱いの安全講習修了または資格保有を証明する書類の写しを甲に提出する。

4　乙は、参加者や公園利用者に対しては、器具類を使用させない。ただし、乙が危険を伴う工具等を使用する者が取扱いの安全講習修了または資格保有を証明する書類の写しを甲に提出する場合はこの限りでない。

5　乙は、機材・資材置き場をはじめ、割り当てられた活動場所内の安全管理を行い、必要な人止め柵や養生シートの設置を行う。甲は乙に割り当てた活動場所内の安全確認を定期的に行い必要な安全確保のための指導を行う。

（物資等の支弁）

第12条　乙が行う協働活動において、道具等の製作が必要な場合にあっては、製作のための物資・工具を乙に支弁する。また、甲が乙に製作要請による場合も同様とする。

2　公園内で発生する藁や木の実、間伐材で、国が発生材扱いとしない物資に関しては、乙の要請で乙の活動に資する材料は支弁する。また、甲は乙に提供することによる効果を吟味した上で物資を提供する。

（参加料の徴収）

第13条　乙が参加料を徴収する場合は、提供するプログラムへの対価として、乙の管理のもと徴収する。参加料の設定は材料代、講師料、運営雑費（資料代、お茶代等）の実費相当分とする。

2　乙は参加者名簿と参加料内訳を日報として甲に報告する。

（協議）

第14条　この協定に定めのない事項又はこの協定に定める事項に疑義の生じた事項については、甲乙協議のうえ、決定するものとする。

（有効期間）

第15条　この協定の有効期間は、この協定の締結の日から当年度末までとする。ただし、期間満了日の3月前までに、甲乙いずれからも解除又は変更の申し出がないときは、1年間延長されたものとみなし、以後もまた同様とする。

平成　　年　　月　　日

甲　　長野県安曇野市堀金烏川33－4
アルプスあづみの公園管理センター
管理センター長

乙

別添－20

参加している協議会等(H27年3月末時点加入協議会等)

協議会・委員会名	会費名	支出金額(円)
安曇野市観光協会	年会費	35,000
長野県学習旅行誘致推進協議会	負担金	50,000
大町市観光協会	年会費	40,000
あづみ野周遊バス	運行協力費	50,000
安曇野アートライン推進協議会	負担金	150,000
信州・長野県観光協会	年会費	50,000

別添－21

グラフィックマニュアル(抄)

Graphic Manual

国営アルプスあづみの公園

ALPS AZUMINO NATIONAL GOVERNMENT PARK

Graphic Manual

公園名を表す場合には、文字自体に公園のイメージを表現してデザインされた文字組み、ロゴタイプを使用します。
シンボルマークと同様にベーシックエレメントの重要な要素です。
公園名のロゴタイプには、和文と欧文があります。
それぞれに文字組みのバリエーションが設定されていますので、ロゴタイプの再現には、必ず清刷またはデジタルデータを使用してください。
なお、ロゴタイプのオブジェクトを構成するすべてのアウトラインはアタリケイですので、線の設定は行わないでください。

■和文一般表記
タテ組

国営
アルプスあづみの公園

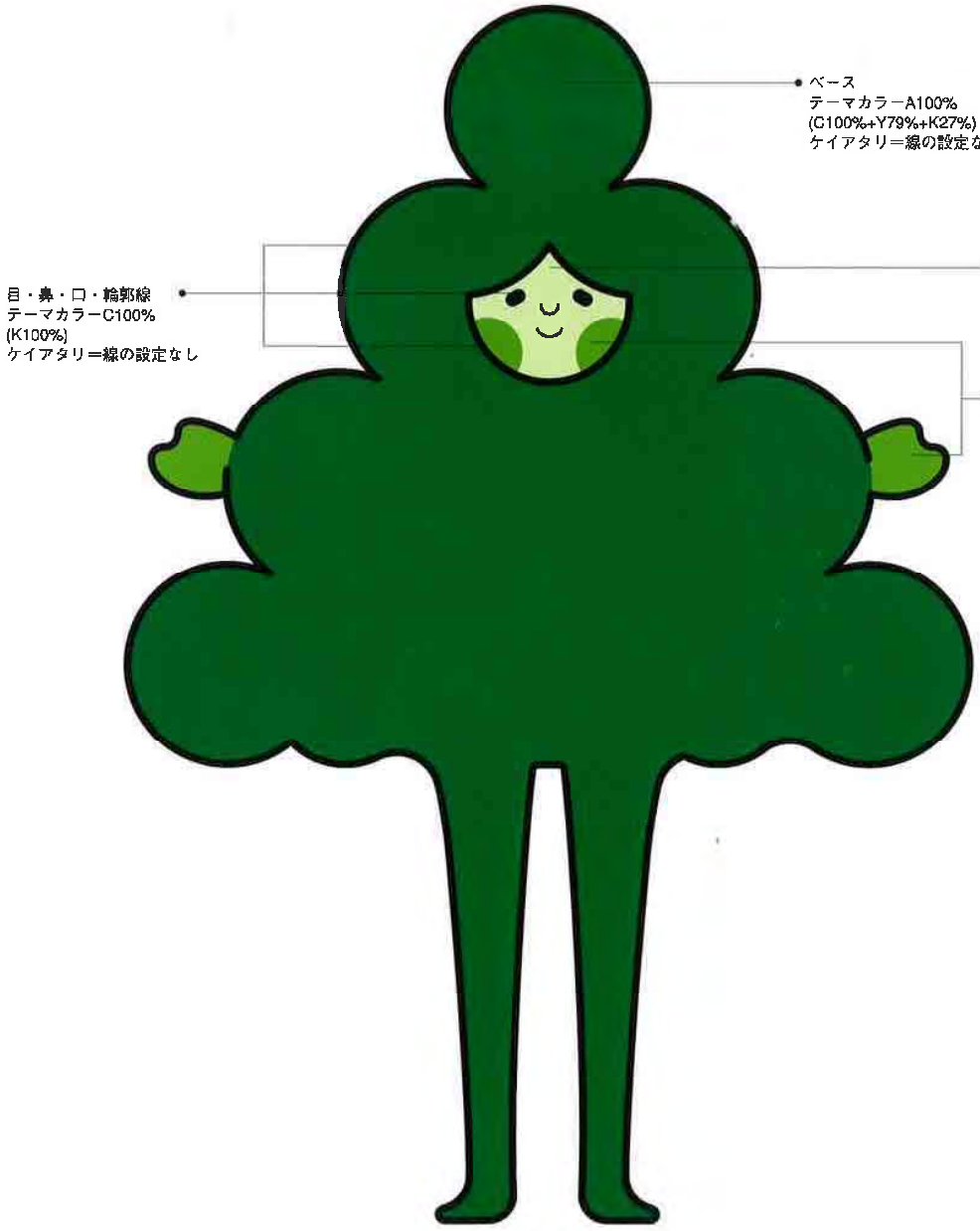
■和文一般表記ーヨコ組

国営アルプスあづみの公園

■和文欧文併記ー和文と欧文を併記する場合のロゴタイプです。

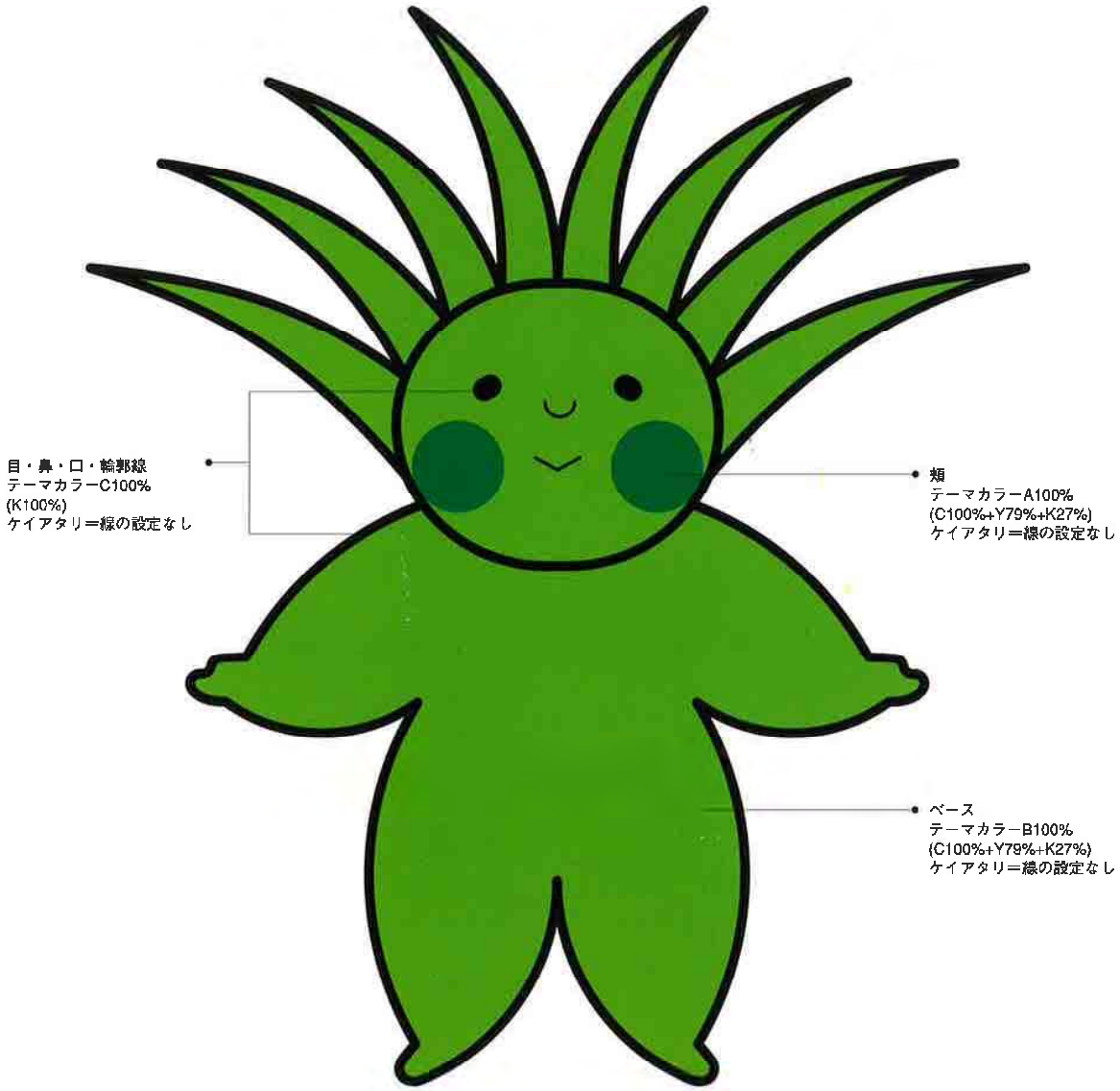
国営アルプスあづみの公園
ALPS AZUMINO NATIONAL GOVERNMENT PARK

■カラー：特色3C（PANTONE348C・PANTONE368C・黒）
またはプロセスカラー対応
プロセスカラー使用の場合は、それぞれの対応値を参照してください。
■メディア：清刷またはデジタルデータ（プロセスカラーによる塗りの適用あり。またはラインアート）



スポットカラー		プロセスカラー対応値			
		C	M	Y	K
テーマカラーA	PANTONE348C	100%		79%	27%
テーマカラーB	PANTONE368C	69%	5%	96%	
テーマカラーC	黒				100%

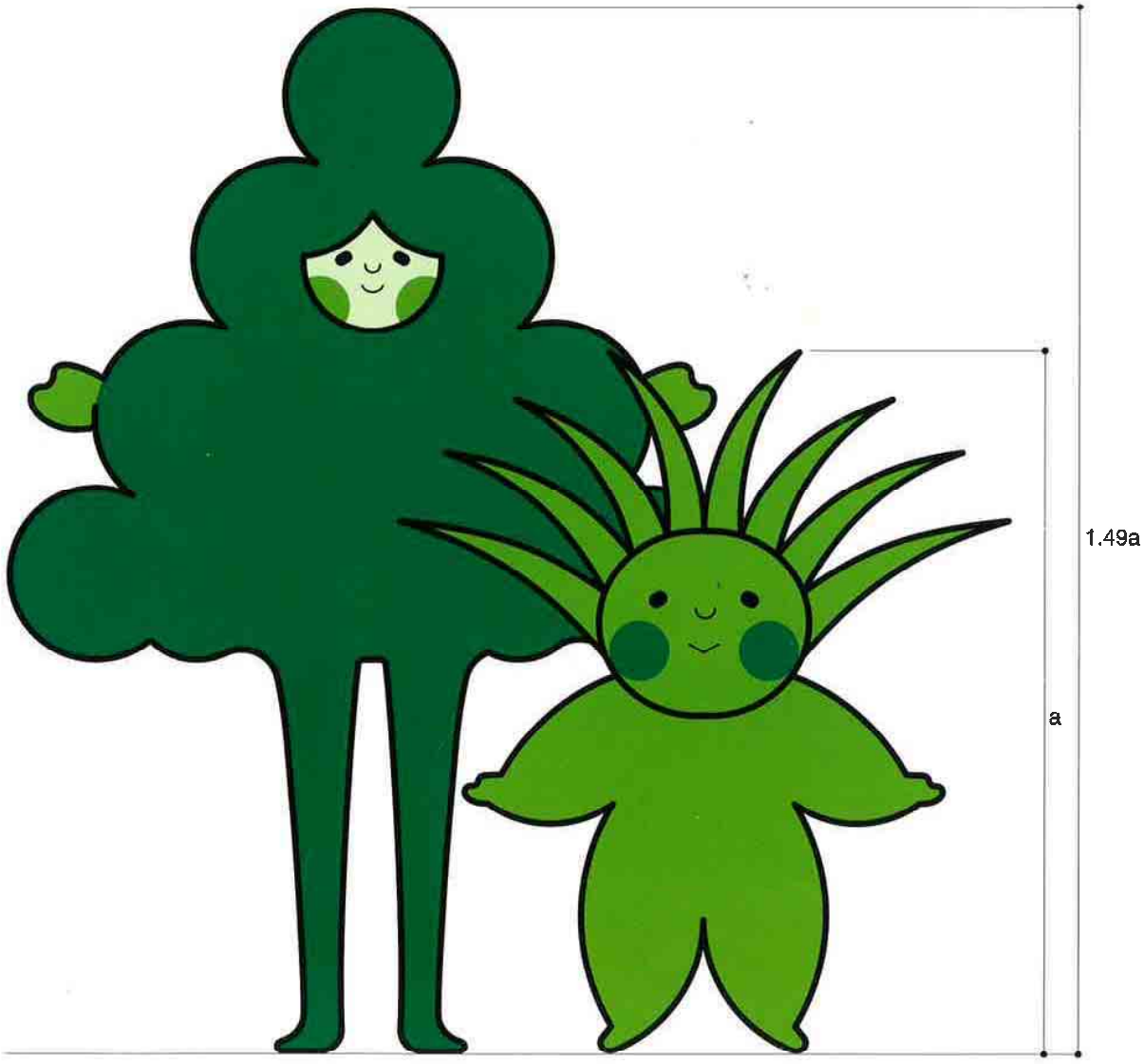
■カラー：特色3C（PANTONE348C・PANTONE368C・黒）
またはプロセスカラー対応
プロセスカラー使用の場合は、それぞれの対応値を参照してください。
■メディア：清刷またはデジタルデータ（プロセスカラーによる塗りの適用あり。またはラインアート）



スポットカラー		プロセスカラー対応値 C	M	Y	K
テーマカラーA	PANTONE348C	100%		79%	27%
テーマカラーB	PANTONE368C	69%	5%	96%	
テーマカラーC	黒				100%

別添P167

キャラクター［木］とキャラクター［草］を並列で表記する際には、以下の比率により、輪郭線の幅が統一されます。
清刷、デジタルデータ（プロセスカラー、グレートーン、ラインアート）では、下図の比率が保持されています。
なお、下図組み合わせ以外にも様々なレイアウトが可能です。
各アートワークに応じて調整してください。



別添P168

別添－22

マスコミ取材報告様式

マスコミ取材等報告書

問合せ日時（方法）	相手		対応者		問い合わせ内容	再度取材の有無	報道予定	局内関係者への連絡状況
	報道機関名 連絡先	氏名	役職	氏名				

別添－23

ペット対応

堀金・穂高地区

ペット同伴のお客様へ

国営アルプスあづみの公園

本日は、ご来園いただき誠にありがとうございます。

ペットの同伴入園については、下記のルールを守り、他のお客様のご迷惑にならないようご協力をお願いいたします。

記

１．園内では、必ずひもやロープでつなぎ、放し飼いは行わないでください。
２．排泄物の処理は、飼い主が責任を持って処理してください。
３．他の入園者に吠えたり、とびかかるなどの迷惑行為をさせないでください。
４．レストラン、売店、あづみの学校等へのペット同伴での入室はできません。
５．事故等があった場合は、飼い主の責任において処置していただきます。
６．園内では、係員の指示に従ってください。

大町・松川地区（夏季）

ペット同伴のお客様へ

国営アルプスあづみの公園

本日は、ご来園いただき誠にありがとうございます。

ペット同伴ご入園については、下記のルールをお守りいただきますようご協力お願いいたします。

記

１．園内では、必ずリード等でつなぎ、放し飼いにしないでください。
（駐車場も公園内になりますので、リードをはずさないでください）
２．排泄物の処理は、責任を持って処理してください。
３．他の入園者に吠えたり、飛び掛かるなどの行為をさせないでください。
４．インフォメーションセンター展示室、売店、休憩棟（レストラン）、レンタル棟、森の体験舎、大草原の家、森のゲートへのペット同伴での入館はできません。
建物付近のドックパーキングをお使いください。
５．事故等があった場合は、飼い主の責任において処置をお願いします。
６．園内では係員の指示に従ってください。
７．ロードトレインのペットの乗車は出来ませんので、ご了承下さい。

大町・松川地区（冬季）

ペット同伴のお客様へ

国営アルプスあづみの公園

本日は、ご来園いただき誠にありがとうございます。

ペット同伴ご入園については、下記のルールをお守りいただきますようご協力お願いいたします。

記

１．園内では、必ずリード等でつなぎ、放し飼いにしないでください。
（駐車場も公園内になりますので、リードをはずさないでください）
２．排泄物の処理は、責任を持って処理してください。
３．他の入園者に吠えたり、飛び掛かるなどの行為をさせないでください。
４．インフォメーションセンター展示室、売店、休憩棟（レストラン）、レンタル棟、森の体験舎、大草原の家、森のゲートへのペット同伴での入館はできません。
建物付近のドックパーキングをお使いください。
５．事故等があった場合は、飼い主の責任において処置をお願いします。
６．園内では係員の指示に従ってください。

別添－24

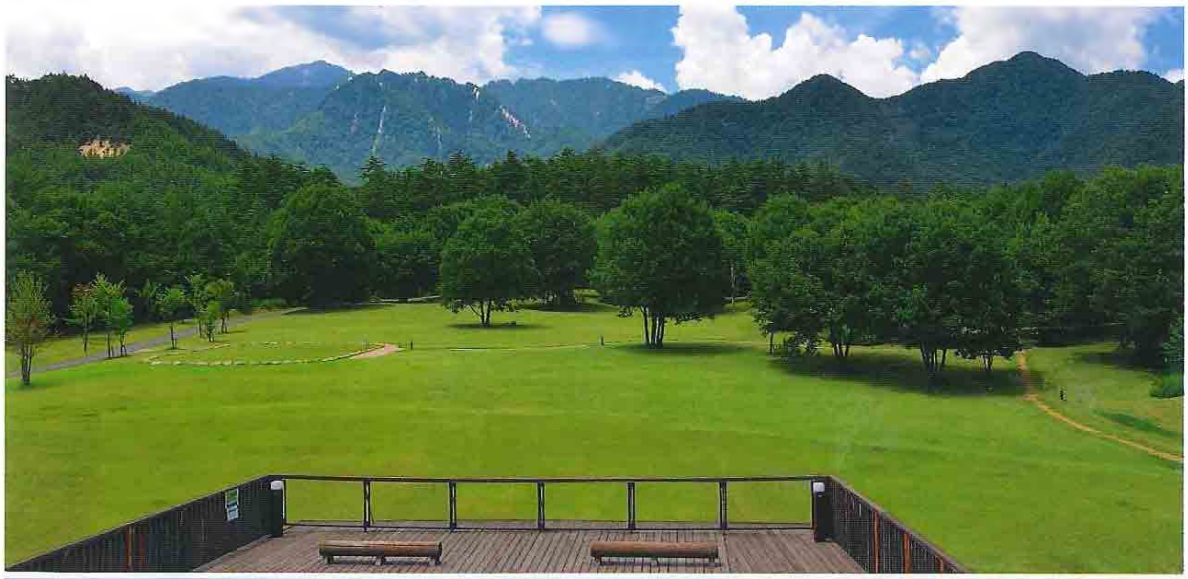
団体利用の手引き

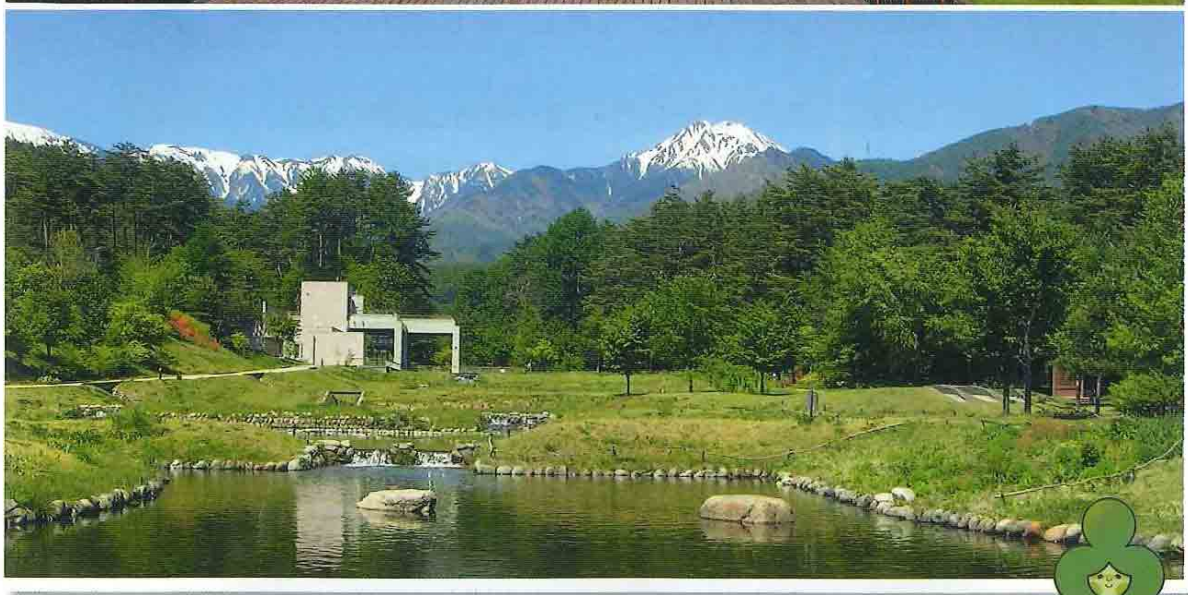
信州・安曇野

国営アルプスあづみの公園

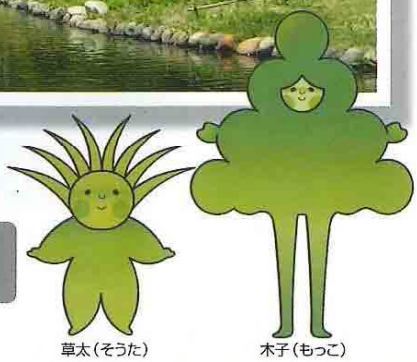
ALPS AZUMINO NATIONAL GOVERNMENT PARK

信州あづみのの自然や文化を楽しく学べる





団体利用の手引



2014年4月

概要
園内マップ
体験学習プログラム
団体利用案内



国営アルプスあづみの公園

国営アルプスあづみの公園では、堀金・穂高地区「あづみの学校（テーマ展示館）」や大町・松川地区「森の体験舎」、および野外で実施できる様々な体験学習プログラムを用意しています。
安曇野の自然・文化・歴史風土についてじっくりと体験していただけるものや、面白さや不思議さを発見するものなど、ご希望に応じたプログラムが選べます。
皆様のご利用をスタッフ一同お待ちしております。







もくじ

CONTENTS

国営アルプスあづみの公園

概　要 …… 1～2

たのしく学べる自然再発見!!

園内マップ【堀金・穂高地区】 …… 3～4
園内マップ【大町・松川地区】 …… 5～6

ワクワク、ドキドキがいっぱい!!

体験学習プログラム【堀金・穂高地区】 …… 7～8
体験学習プログラム【大町・松川地区】 …… 9～10

事前にお申込み下さい

団体でご利用になる皆様へ …… 11
団体入園申込書 …… 12



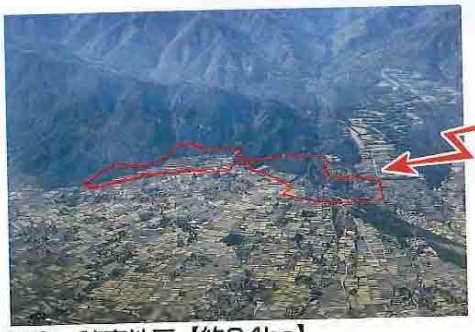
国営アルプスあづみの公園は、「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間活動の実現」を基本テーマとして、多彩なレクリエーションニーズに対応する大規模な都市公園です。堀金・穂高地区（約94ha）と大町・松川地区（約255ha）の2地区からなっており、計画面積は353haです。平成2年に国営公園として事業化され、平成10年に起工式を行い、整備を進めており、平成16年7月に堀金・穂高地区が、平成21年7月には大町・松川地区が一部開園しました。現在、堀金・穂高地区の一部約44ha(※1)と大町・松川地区の一部約104haが開園しています。

※1…堀金・穂高地区の面積には、平成26年4月26日に開園する第二期開園予定地（17ha）分を含みます。

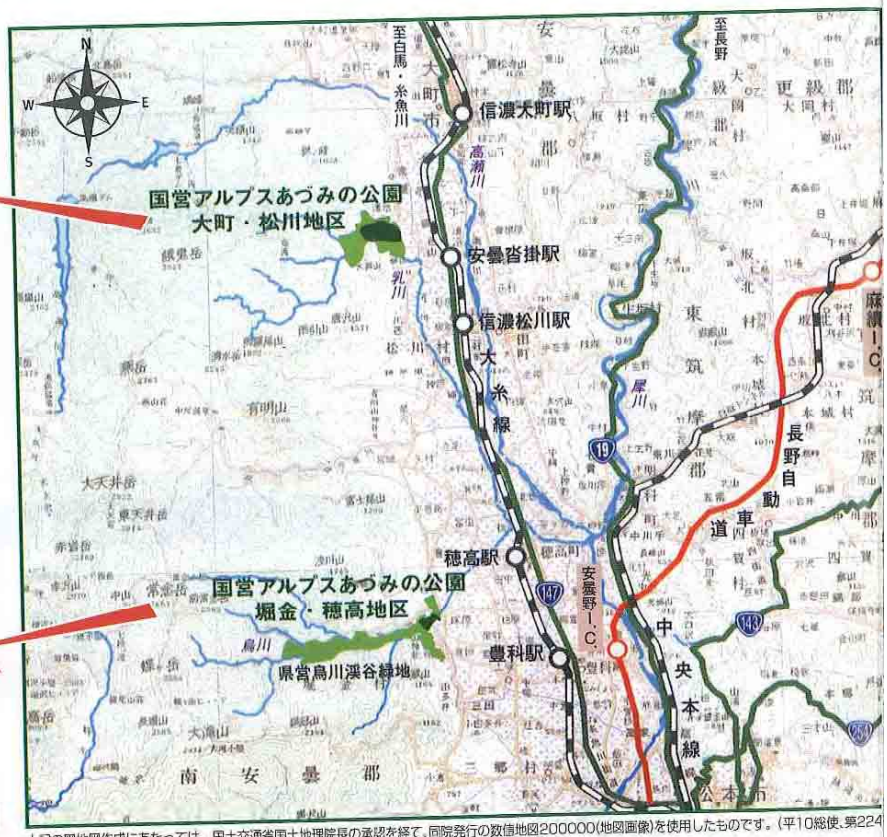




大町・松川地区【約255ha】
大町市の中心より南西約5Km、JR大糸線安曇沓掛駅の西約1.2Kmに位置しています。乳川を中心としたゆるやかな扇状地エリア。



堀金・穂高地区【約94ha】
松本市街より北西約15Km、長野自動車道安曇野I.Cの西約7Kmに位置しています。烏川を中心とする扇状地と古城山～角蔵山東側山麓のエリア。
西側に県営烏川渓谷緑地が隣接しています。



上記の図地図作成にあたっては、国土交通省国土地理院長の承認を経て、同院発行の数値地図200000(地図画像)を使用したものです。（平10総使、第224



大町・松川地区　開園情報（開園面積、約104ha）



公園入口の「インフォメーションセンター」は、公園や周辺地域の情報提供および環境学習のきっかけとなる展示機能をもった施設です。森の自然をアートの視点で紹介する「森の美術館」や、安曇野の自然の姿を伝える「キューブシアター」など、園内の自然の恵みを一同に集めて紹介しています。

園内には、全長約560m高さ最大9mの「空中回廊」が木々の間を通り抜け、いつもは手が届かない木々の葉っぱに触れたり、森の生き物の目線で公園を見下ろしたり、「聞く」「見る」など五感を使って森を感じることができます。

園内中央に位置する「森の体験舎」では、マツボックリやどんぐりなどの森の恵みを使ったクラフト体験ができる他、おやきや五平餅など、地元の季節の料理を体験できます。

入口近くにあるデイキャンプ場では、森の中でバーベキューを楽しむことができます。またデイキャンプに必要な用具のレンタルや食材の販売があり、手ぶらで立ち寄ることができます。（冬季閉鎖・要事前予約）

園内には、多様な生息環境となっている森林を保全しながら、よりよい環境に育てあげていく保全ゾーンがあり、多様な環境の保全に努めています。また保全ゾーンの観察を通じて、森林環境について学ぶことができます。

堀金・穂高地区　開園情報（開園面積、約44ha）

公園の玄関口である「ガイドセンター」は、総合インフォメーションとして機能し、公園情報はもちろん、安曇野の自然・文化・観光・産業などの情報を入手することができます。まず、こちらの「ガイドセンター」で安曇野全体の見どころをチェックしていただければ、公園内はもとより、安曇野をより一層お楽しみいただけます。木造校舎に見立てた「あづみの学校（テーマ展示館）」は、安曇野地域の自然・歴史・文化を紹介する施設です。

園内には、樹林地、池、小川、原っぱなどがあり、北アルプスや安曇平を眺望できる展望テラスや休憩所があり、いつでもきれいなトイレも完備しています。芝生の上でお弁当を食べたりなど、自由にのびのびと過ごすことができます。

「あづみの学校（テーマ展示館）」には、玄関ホールに北アルプス・安曇平のジオラマ模型と、まるで熱気球に乗っているような気分で安曇野の四季折々の風景や歳時記の様子を2面の大型スクリーンでご覧頂ける映像施設「観覧室」と、安曇野の清流に棲む魚たちを間近に観察できる「理科教室」があります。また、安曇野地域に今も残る古民家（曽根原家住宅）をモチーフにつくられ、昭和30年代の暮らしを再現した懐かしい空間「社会科教室」や「そば打ち体験室」、季節ごとの自然の素材を使ったクラフト体験ができる「芸術教室」があります。その他、雨天等の控え室としてご利用できる多目的ホールを備えています。

園内には、26ヶ所に設置された解説板をガイドマップを見ながら散策することができます。この解説板は、安曇野の自然や歴史について風景や園内に保存された遺構を目直にしながら学習することができます。

北地区では河岸段丘と烏川を目直に散策のできる園路や石切跡の小径、安曇野の昔ばなしにちなんだ遊具が楽しめる子供の森、見晴らしの丘があり公園散策をしながら常念岳・蝶ヶ岳の山並を眺望する風景を楽しむことができます。



国営アルプスあづみの公園
ALPS AZUMINO NATIONAL GOVERNMENT PARK

堀金・穂高地区

北アルプス 常念岳（2,857m）

円形ステージ
早春賦音楽祭のステージやイベントスペースとして利用できます。

古墳の森
穂高古墳群のひとつ「狐塚3号古墳」。1911年の発掘調査では、直刀や馬具等が発掘された古墳。

石切跡の小径
江戸時代の石切を活かし、大きな花崗岩が並ぶ小径。四季を通し園内散策におススメのポイントです。

展望テラス

園内の写真スポットのひとつ。眼下に広がる段々の池や、安曇野エリアが一望できます。

こどもの森

安曇野に伝わる民話「八面大王」や「デーラボッチャ」等をモチーフにしたアスレチックが楽しめる森です。

冒険の森
ツリーデッキやロープ渡りなど、木々の間をロープなどでつないだ冒険心をかきたてる遊具の森。

至須砂渡 To Susado
495 県道豊科大天井岳線 Toyoshima Daitenjodake Road
烏川展望デッキ Karasugawa Panoramic View Deck
川音のサークル Circle of River Sound
石切跡の小径 Path of Stone Pit Trace
矢原沢の小径 Yabarazawa Path
須砂渡口（通常閉鎖） Susadoguchi Gate
段々花畑 Terraced Flower Garden
吊橋下前広場 Open Space in Front of Suspension Bridge
烏川吊橋 Karasugawa Suspension Bridge
吊橋下広場 Open Space under Suspension Bridge
烏川
渓流広場 Open Space by Mountain Stream
展望テラス Panoramic View Terrace
あづみの学校 Exhibition Center
ガイドセンター Guide Center
レストラン "Azumino" Restaurant
中央口 Center Gate
公園管理センター Park Administration
池 Ponds
水辺の休憩所 Waterside Rest Spot
P 第1駐車場 No.1 Parking Lot
P 第2駐車場 No.2 Parking Lot
中央口



段々花畑
初夏から秋にかけて、キキョウやオミナエシ、ツリガネニンジンなど、四季折々の野草が楽しめます。園内の散策におススメのポイントです。

水辺の休憩所

北アルプスの常念岳が奇麗に望めるビューポイントのひとつ。四季折々の北アルプスの風景が楽しめます。

池（だんだん池）

北アルプスからの豊富な水が段々に広がる池に注ぎます。夏には水遊び場として開放し、ニジマスのつかみ取り等行います。

バーベキューコーナー

春から秋にかけて使用できるバーベキューコーナー。流し台とブースを完備。コンロの貸出も行っています。（使用無料）



園内解説案内板

1. 烏川幹線水路
2. 安曇野を形成した烏川扇状地
3. 矢原沢の跡
4. 分水のなごり
5. 石積みのある水路
6. 9号・10号古墳
7. よこせぎ（横堰）
8. 安曇野の風景
9. 安曇野の大地を潤した水路
10. 北アルプスの姿
11. 烏川の流れの変化と離山
12. 烏川をさかのぼる取水口
13. 払いマチ
14. 矢原沢の跡（小径）
15. 烏川吊橋
16. 地底世界から高山へ
17. いろいろな時代の用水の姿
18. 花崗岩と道祖神
19. 河岸段丘の様子
20. クヌギ林と天蚕
21. 栗尾道
22. E-6号・7号古墳
23. 牧堰
24. 離山遺跡
25. 穂高「牧」地区
26. 栗尾道の分岐～「観音大士」の石標～

園内花カレンダー（主な植物）



※天候などにより、開花時期がずれることがあります。

移動距離・所要時間



マップ凡例

- インフォメーション Information
- トイレ Toilet
- 救護所 First Aid
- 売店 Shop
- レストラン Restaurant
- 団体バス乗降所 Bus Stop
- タクシー Taxi
- 駐車場 Parking
- 多目的トイレ Multipurpose Lavatory
- 自動販売機 Vending Machine
- 喫煙所 Smoking Area
- 自動体外式除細動器 Automated External Defibrillator
- コインロッカー Locker
- ドッグパーキング Dog Parking
- 水飲場 Wartering Fountain

世代を超えて楽しめ



インフォメーションセンター

休憩棟レストラン
Rest House

レンタル棟
Rental Service House

インフォメーションセンター
Information Center

デイキャンプ場・タクシー
ロータリー入口

駐車場入口

冬期閉鎖

炊事棟
Kitchen House

デイキャンプ

デイキャンプ場
Day Camp Site

入口広場
Entrance Plaza

駐車場
Parking Lot

くもの巣遊具
Cobweb play equipment

あづみの苑地
Azumino Garden

河畔広場
Open Space by Stream

乳川
Chigawa River

あづまや
Azumaya



あづみの苑地



渓流ゾーン

N

0 50 100 200m

インフォメーション Information
トイレ Toilets
多目的トイレ All Purpose Toilets
救護所 First Aid
レストラン Restaurant
売　店 Shop
自動販売機 Vending Machines
喫煙所 Smoking Space
ドッグパーキング Dog Parking
駐車場 Parking
水飲場 Watering Fountain
エレベーター Elevator
無料コインロッカー Free Coin Locker
授乳室 Baby Rest Room
自動体外式除細動器 Automated External Defibrillator

別添P183

る“森遊び”フィールド

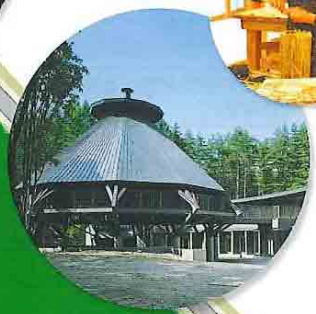
・遊んで・つくって・食べて 森遊び三昧

この公園は、森を活かし、
継承していくフィールド。
ここでの様々な森の体験は
自然と人との新しいつきあい方を
探る第一歩です。



空中回廊





森の体験舎

めのエリアです
れます
予約

廊
Trail

森の体験舎
Wood Experience House

そり遊びエリア

そまびとの森
Woodsman's Field

そまびとの家
Woodsman's House



チューブそり



林間アスレチック
Forest Kids Athletic
冬期閉鎖

森のゲート
Gateway to Wood

アルプス大草原
Alps Grand Field

冬期閉鎖

アルプス広場
Alps Recreation Ground

冬遊び広場
歩くスキー・スノーシュー

彩りの森
Colorful Wood

冬期閉鎖





大草原の家

大草原の家
Playing House

AED

渓流ピクニック広場
Mountain Stream Picnic
Open Space



大岩

休憩所
Rest House

冬期閉鎖

至 国道147号
〃 県道306号

団体用体験学習プログラムメニュー

No	プログラム名		内　　容
アウトドア体験（散策・環境教育）			
1	季節のクイズラリー		春夏秋冬と季節に応じて公園の自然や展示物を題材にしたクイズラリーが楽しめます。参加者にはオリジナルシールまたは花の種をプレゼントいたします。
2	わくわく自然観察会		自然案内人とともに園内の見ごろの草花、昆虫、野鳥などを観察しに出かけます。わくわくする発見が必ずあるでしょう。
3	安曇野の歴史探訪会		歴史案内人とともに園内に保存されている古墳や水路遺構を訪ね、地域の歴史を楽しく学んでいただけます。
4	環境教育活動	いきものごっこ&ゲーム活動	身近な自然を題材にした遊びや自然さがしを行います。クラスや親子で取り組む自然体験を提供します。
		公園のいきもの探し活動	地域の自然や昔の暮らしについて公園スタッフや地域の大人から話を聞いたり、自然の中で生き物探しをしながら、自然への関心を深める体験ができます。
		自然シミュレーション活動	地域の自然や歴史について、「生態系」「水の環境」の仕組みを体験を通して学べます。生態系や水環境への理解を深める体験ができます。
		ワークショップ活動	公園内の自然を調べる課題を提供します。公園スタッフから測量や生物調査の方法を学ぶ体験ができます。
5	雪遊び体験		〈季節限定〉専用コースでそり遊びが出来ます。あづみの学校にてそりの無料貸出をしています。 ※積雪状況により利用できない場合があります。
ネイチャークラフト体験			
6	木のキーホルダー		間伐材にお好きな絵を描き、オリジナルキーホルダーが出来上がります。
7	木のコースター		間伐材にお好きな絵を描き、お気に入りのコースターをつくります。
8	森のカスタネット		間伐材でつくられたカスタネットにお好きな絵を描き、オリジナルのカスタネットに仕上げます。学校の音楽会などにご利用いただけます。
9	ホーリーのふしぎパズル		パズルのキットに絵や模様を描き、オリジナルパズルをつくります。つくった後はパズルで遊べます。
10	木のぴっかぴか		型抜きした木片を艶が出るまで磨きあげ、ぴかぴか光るキーホルダーをつくります。
11	木の実DEアート		間伐材の土台に木、枝、木の実等を飾ったり、色を付け自由な発想のオブジェをつくります。
12	動くおもちゃ		間伐材を利用し、色を付けたり木の実で飾り、夢のある車を作ります。作り終えたら走らせて遊びましょう。
13	連凧づくりワークショップ		個々に凧をつくり、つなげて空へとばします。全員で一つのことを成し遂げた達成感が得られます。4～6月限定です。学校での事前キット提供で時間短縮もできます。
14	季節限定クラフト体験		季節に応じたクラフト体験を用意しています。内容についてはお問合せください。（少人数向けのプログラムとなります）
食　体　験			
15	安曇野の手業（そば打ち）		安曇野産のそば粉を使った「二八そば」を打ち、その場で召し上がっていただきます。
16	お小昼（おにぎり）		かまどを使って昔ながらの炊き方でおにぎりをつくります。農作業のおやつ（お小昼）を体験することが出来ます。
安曇野解説ガイド体験			
17	玄関ホールのショートガイド		北アルプスと安曇平の地形の生い立ちや山、川、古道などの特徴を解説します。
18	理科教室のショートガイド		烏川の上流から下流の様子を展示水槽と豊富な標本を見ていただきながら解説します。
19	雪の上の動物たち		理科教室の床に広がる足跡のパネルは何の動物の足跡でしょうか。クイズを出しながら、動物たちについて紹介します。
20	ひそかな山の楽しみ		常念岳の石室を舞台に近代登山の幕開けを紹介します。登山写真をはじめ石室にあるものやその背景を交え紹介します。
21	社会科教室のショートガイド		囲炉裏を囲みながら、安曇野の集落・敷地・民家の構造等を解説します。
22	安曇野の昔話（紙芝居）		「常念坊」「八面大王」「万水川の河童」など、安曇野に伝わる昔話を聞くことが出来ます。

※プログラム内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。クラフトや食体験では材料調達の事情から料金や素材を変更することがあります。詳細はス
※体験時間は目安です。また、プログラムによっては準備の時間をいただき、数回に分けての対応も可能です。
※先着予約の状況によっては、実施できないことがあります。

国営アルプスあづみの公園　「堀金・穂高地区」

体験時間	最大定員	最少定員	対　　象	指　導　員	体験場所（天候）	予約受付（期限）
60分	なし	なし	小学生以上～大人	同行しません	屋外体験	要予約（3日前迄）
60分	40名	10名	小学生以上～大人	1名/10名～30名程度		要予約（1か月前迄）
60分			（小学生未満保護者同伴）			
30～60分			幼児（親子）			
30～60分			小学生低学年			
60分			小学生中高学年			
60分			中学生			
90分程度	なし	なし	小学生以上～大人（小学生未満保護者同伴）	同行しません	積雪時のみ（スキーウェア着用）	要予約（3日前迄）
20分	30名	10名	5歳以上～小学生中学年（小学生未満は保護者同伴）	1名/10名～30名程度	芸術教室 屋内体験（状況により別室での体験となります）	要予約（1か月前迄）
30分						
30分						
40分						
60分			小学生高学年～大人			
60分	24名	10名				
60分						
30～90分	30名	10名	クラス・グループ（小学生以下は引率者必要）			
60～120分	各クラフト体験による			1名/概ね4名～10名程度		
90分	4組16名程度	1組4名程度	5歳以上～大人（小学生未満は保護者同伴）	1名/4名～16名	社会科教室 屋内体験	要予約（1か月前迄）
40分	20名	10名		1名/10名～20名程度		
10～20分	30名	10名	小学生～大人	1名/20名～30名程度	玄関ホール 屋内体験	要予約（1か月前迄）
10～20分	30名	10名	小学生～大人		理科教室 屋内体験	
10分	20名	10名	幼児～大人		理科教室 屋内体験	
10分	20名	10名	小学生～大人		石室 屋内体験	
10～20分	20名	10名	小学生～大人		社会科教室 屋内体験	
10分	20名	10名	幼児～大人		社会科教室 屋内体験	

でお気軽にお問い合わせください。

団体用体験学習プログラムメニュー

No	プログラム名		内　　容
アウトドア体験（散策・林業）			
1	自然観察ガイド（森の散策体験）		自然観察ガイドが、公園内の四季折々の動植物や史跡をご案内いたします。
2	森歩きオリエンテーリング（FWO）		地図とコンパスで園内のポイントを探すオリエンテーリングです。
3	林業体験	木道づくり	間伐材を活用した園路の整備を体験します。
		炭焼き	間伐材を活用した炭焼きを体験します。
4	山の神遺跡学習と火起し体験		園内の遺跡についての説明と火起しを体験していただきます。
5	スノーシュー・歩くスキー体験		〈冬季限定。積雪状況によります〉園内をスノーシューや歩くスキーで散策できます。用具は無料でお貸し出しいたします。
ネイチャークラフト体験			
6	サンド・アート		園内の間伐材と色とりどりの砂を使ったペンダントづくりです。
7	森のフレームづくり		園内の小枝を使って、フレームをつくります。フレームには、写真など好きなものをお飾りください。
8	小枝のクラフト		枝や木の実などの自然素材を使って、オリジナルオブジェをつくります。
9	縄文体験（石器づくり）		園内にある「山の神遺跡」にちなみ、滑石を削ってオリジナルの石器をつくります。
10	草木染め織りタペストリー		草木で染めた糸を組み合わせて、オリジナルのタペストリーをつくります。
11	葉っぱのタペストリー（5月～10月）		〈季節限定〉落ち葉を活用して、葉っぱに色を塗って布に写し、オリジナルタペストリーをつくります。
食体験			
12	灰焼きおやきづくり		信州名物の「おやき」を、昔ながらのつくり方で体験します。
13	竹巻きパンづくり		竹に地粉を使ったパン生地を巻きつけて焼きます。野外のおやつにぴったりです。
14	米粉ピザ焼き		地元の米粉と季節の野菜を使ったピザづくりです。
15	蒸かしまんじゅう（蒸おやき）		今も作られる「おやき」です。地元の食材を使い、笹の葉に巻いた公園オリジナルです。
16	五平餅づくり		長野県木曽地域名物の「五平餅」を自分でつくってみませんか。

※食品のアレルギーについては、お問い合わせください。食材の変更もご相談に応じます。
※食体験のキャンセル及び人数変更は、3日前までとなります。（以後、キャンセル料が発生しますので、ご注意ください）
※体験時間は目安です。また、プログラムによっては準備の時間約15分をいただき、数回に分けての対応も可能です。
※プログラム内容等が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。料金等詳細についてはスタッフまでお気軽にお問合せください。

国営アルプスあづみの公園　「大町・松川地区」

体験時間	最大定員	最少定員	対　象	指導員	体験場所（天候）	予約受付（期限）
60～90分	なし	なし	小学生以上～大人	1名/10～20名	屋外体験 （少雨OK） （雨天時は雨具使用）	要予約 （3週間前迄）
90～120分				同行しません		
60～120分	100名	15名	中学生以上～大人	1名/10～15名		要予約 （1ヶ月前迄）
120分	30名	15名				
60～90分	80名	10名	小学生以上～大人	1名/10～15名		
60～90分	30名	10名		1名/5～10名	屋外体験 （積雪期のみ）	要予約 （3週間前迄）
40～60分	80名	8名	5歳以上～大人	1名/～20名 ※10～20名増すごとに1名増員	森の体験舎 屋内体験 （雨天時もOK）	要予約 （3週間前迄）
60～90分	60名	8名	小学生以上～大人			
60～90分	60名	8名				
60～90分	80名	8名				
60～90分	40名	8名				
40～60分	80名	8名				
30～40分	50個	5個	小学生以上～大人	2名/5～15名 ※10名増すごとに1～2名増員	森の体験舎及び 大屋根屋内体験 （雨天時もOK）	要予約 （3週間前迄） キャンセルは3日前迄。 以降全額キャンセル料が発生します。
20～30分	80本	5本				
25～45分	30枚	5枚				
20～30分	80個	5個				
20～30分	50本	20本				

団体でご利用になる皆さまへ

当公園では、団体でご利用される皆様に、あらかじめご連絡いただくことをお願いしております。(不明な点につきましては、お気軽にお問い合わせください。

受付方法

◆団体入園申込用紙にご記入頂きFAXでお申込み頂くか、下記住所まで郵送してください。
◆お電話でお申し込みの場合は、団体入園希望の旨をお伝えください。
◆来園にてお申し込みの場合は、公園管理センターにて受付いたします。

アルプスあづみの公園 堀金・穂高管理センター　〒399-8295　長野県安曇野市堀金烏川33-4
FAX番号 **0263-71-5512**　電話番号 **0263-71-5511**

アルプスあづみの公園 大町・松川管理センター　〒398-0004　長野県大町市常盤7791-4
FAX番号 **0261-21-1214**　電話番号 **0261-21-1212**

※受付時間／開園日の9:30から閉園時間まで　※季節により閉園時間が異なります。

下見

団体来園のご予定があり、あらかじめ公園をご覧になる場合は、事前にアルプスあづみの公園管理センターへご連絡ください。 ※下見は5名様まで無料でご入園いただけます。当日は公園管理センターにて入園証を貸し出しいたします。

入園

入園券は公園ゲートで発券しております。団体入園の場合は各券売機近くの窓口にお越しください。

身障者の方の入園

身体障害者・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を入口で提示された方(付き添いの方を含む)は無料です。団体にてご入園の際は、別途申請用紙で対応しています。
※公園管理センターにお問い合わせ下さい。

雨天時等の昼食場所

雨天時の昼食場所を調整の上、準備します。事前にご相談ください。

体験学習プログラムの申込み

体験学習プログラム及びガイドについても、ご相談を受け付けています。興味のあるプログラムがありましたら、団体受付と併せてお問い合わせ下さい。
体験学習プログラム・ガイドについては7～10頁をご参照ください。
※体験学習プログラムについては、開始時間、内容等(ネイチャークラフト、食体験は、有料のものがあります。)で調整が必要なものもありますので、公園管理センターまでご相談下さい。
※食体験については3日前までに最終人数をお知らせ下さい。(キャンセル料が発生する場合があります。)

入園料金の後納

入園料金の後納を希望する場合、スタッフまでお問い合わせください。

ご利用のご案内

■開園時間

3/1～6/30及び9/1～10/31	9:30～17:00
7/1～8/31	9:30～18:00
11/1～2/末日	9:30～16:00

■休園日(12月31日・1月1日、毎週月曜日)

月曜日が休日の場合は直後の平日が休園日となります。
但し、ゴールデウイーク及び7/20～8/31(夏休み)及び月曜日が休日の場合は開園いたします。

■入園料(団体は小学生以上の有料入園者20名以上)

	一　般	団　体	年間パスポート
大 人	410円	290円	4,100円
小 人(小中学生)	80円	50円	800円
シルバー(65歳以上)	210円	－	2,100円
幼 児	無　料		

※団体及び年間パスポートご利用の方は窓口にお申し出ください。
※当日に限り、両地区の利用が可能です。年間パスポートは両地区共通です。
※シルバーは団体料金の適用はありません。
※園内にはペット同伴でのご利用ができない場所があります。

■駐車場(無　料)　※大型バスの駐車についてはお問い合わせ下さい。

[堀金・穂高地区]中央口／大型バス常設11台・身障者専用7台・普通車約700台
穂高口／大型バス常設6台・身障者専用8台・普通車約350台
[大町・松川地区]大型バス常設5台
身障者専用8台・普通車約600台

■貸出物品

◎スノーシュー(ストック含む)　◎ベビーカー　◎車イス　◎リヤカー(台車)　◎双眼鏡・ルーペ
※貸出物品は数に限りがありますので事前にご相談下さい。その他お問い合わせ下さい。

■弁当の予約受付

お弁当のご予約メニューについてはお問い合わせ時にご案内いたします。

公園からのお願い

持込み禁止物品

●バット(木製及び金属製)・硬球●ゴルフ用具●ローラースケート・スケートボード(インラインスケート・キックボードを含む)
●飛行可能な模型・エンジン付模型●大型テント・ビーチパラソル(デイキャンプ場を除く)●自転車・一輪車●銃及び刀剣類(モデルガン等を含む)
●花火・火薬●ボート・カヌー●その他、他のお客様の迷惑になるもの

禁止行為

①動植物の採取、持ち帰り(イベント時を除く)②ガスコンロ、石油コンロ(デイキャンプ場を除く)並びに花火等の火気の使用
③自転車、一輪車、スケートボード等の使用④灰皿の設置場所以外での喫煙⑤他の利用者の安全または公園施設の正常な利用に支障をきたすこと
⑥他の利用者の快適性を損なう音響の発生

国営アルプスあづみの公園

団体入園申込書

受付者（公園記入欄）	

申し込みはこちらまで　【公園管理センターFAX】
堀金・穂高地区〈FAX〉0263-71-5512
大町・松川地区〈FAX〉0261-21-1214

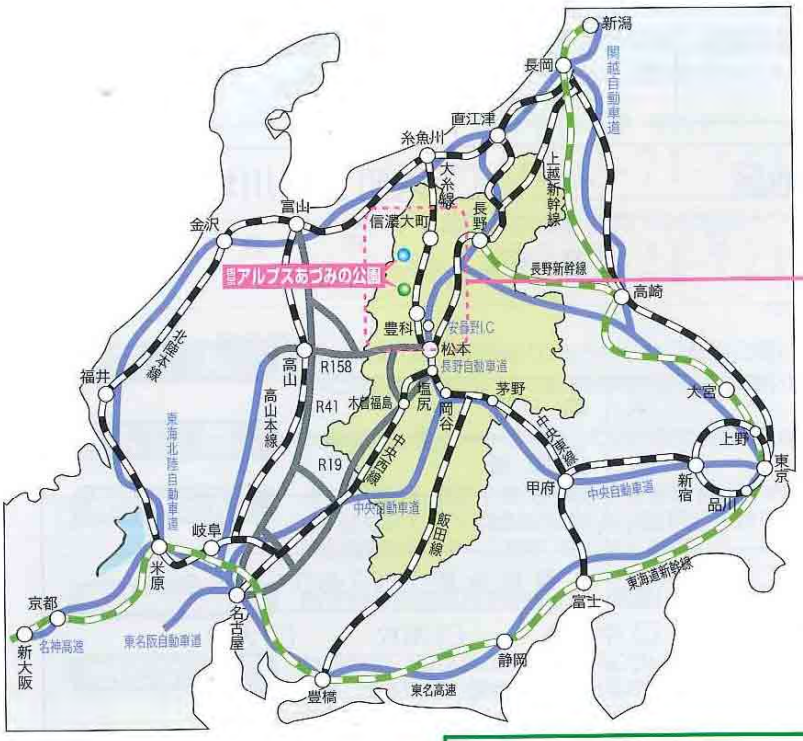
申込日	平成　年　月　日	受付日（公園記入欄）	平成　年　月　日

利用地区	☐ 堀金・穂高地区		☐ 大町・松川地区	
来園日（園内滞在予定時間）	第一希望	年　月　日（　）（　：　～　：　）	第二希望	年　月　日（　）（　：　～　：　）
団体名			学年等	
利用人数（予定）	大　人　人		幼　児　人	
	小　人（小中学生）　人		身障者　人	
	シルバー（65歳以上）　人		合　計　人	
内訳	身障者減免申請　☐ あり　☐ なし		入園料後納　☐ あり　☐ なし	
団体種別	☐ 幼稚園・保育園　☐ 小学校　☐ 中学校　☐ 高校　☐ 大学 ☐ 自治体等　☐ 旅行会社　☐ その他（　）			
担当者名	※所属等（部署・旅行会社名）			
住所	〒　—			
ご連絡先	TEL　—　—		FAX　—　—	
	当日連絡の取れる携帯電話　—　—			
	Eメール			

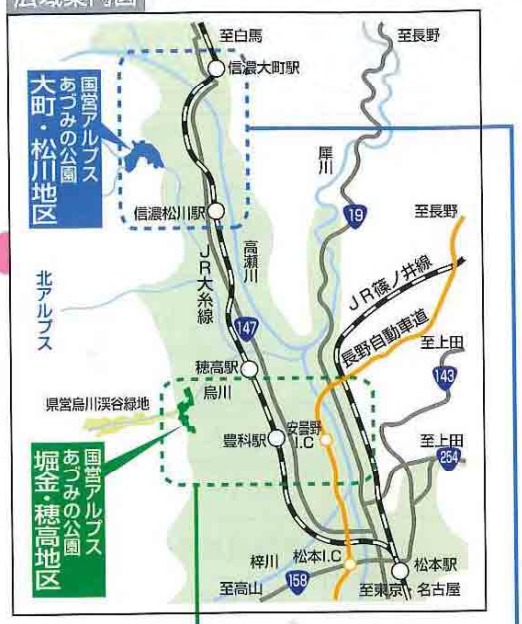
下見予定	☐ あり　☐ なし	〈　年　月　日（　）：人数　人〉 希望時間（　：　～　：　）
天候による利用	☐ 晴・雨天共に利用　☐ 晴天のみ利用　☐ 雨天のみ利用	
交通機関	☐ 貸切バス（駐車　台）　☐ 貸切バス（送迎のみ）　☐ 自家用車 ☐ その他（　）	
体験プログラム	晴天時	☐ あり　☐ なし　希望時間（　：　～　：　） 希望プログラム（　）
	雨天時	☐ あり　☐ なし　希望時間（　：　～　：　） 希望プログラム（　）
昼食	公園で食べる予定が　☐ あり（　）　☐ なし	
備考		

※この用紙をコピーしてご記入ください。　※申込書の詳しい内容については、担当者より確認・調整をさせていただきます。

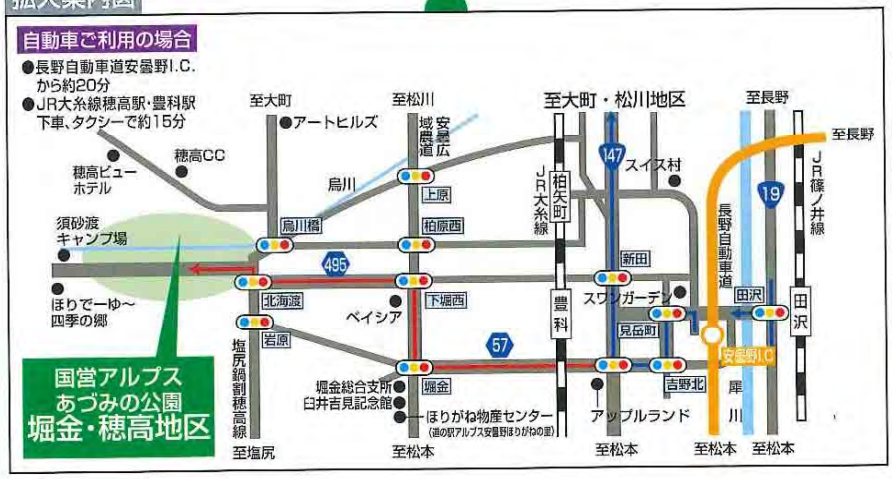
交通のご案内



広域案内図



拡大案内図



拡大案内図



[お問い合わせ]

アルプスあづみの公園 堀金・穂高管理センター

〒399-8295 長野県安曇野市堀金烏川 33-4 TEL 0263(71)5511 (代) FAX 0263(71)5512

アルプスあづみの公園 大町・松川管理センター

〒398-0004 長野県大町市常盤 7791-4 TEL 0261(21)1212 (代) FAX 0261(21)1214

URL http://www.azumino.go.jp/

2014.04.10000

別添－25

パスポート発行

公園の利用者に対し、当該公園に限り１年間有効な年間パスポート券を発行する。

【対　　象】一般入園料

【料　　金】大人 4,100 円、小・中学生 800 円（一般の入園料の 10 回分）
シルバー（65 歳以上）2,100 円

【有効期限】購入日より１年間有効

【発行方法】公園発券窓口において申込みを行う。
窓口では申込者の顔写真を撮影のうえ、氏名、有効期間、顔写真、登録番号を記載したカードに硬質フィルム・コーティングしたものを発行する。

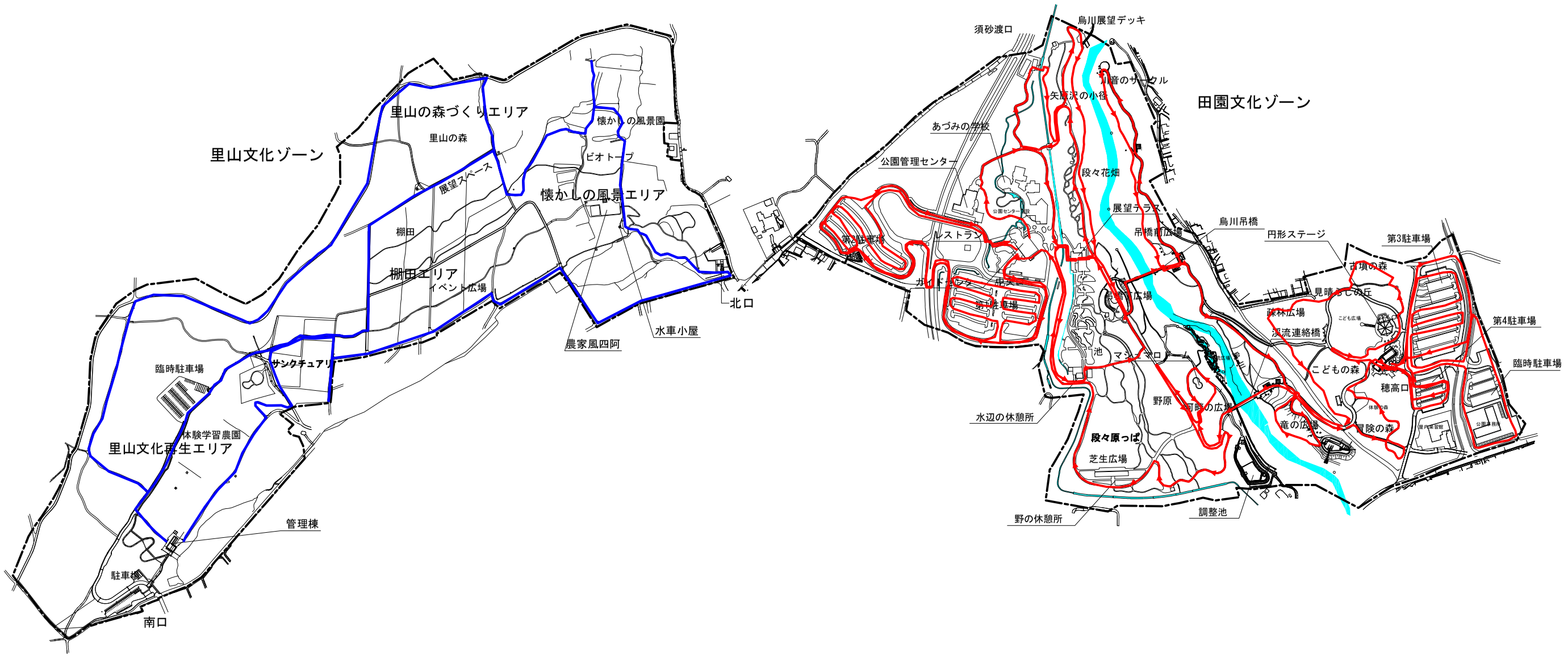
【チェック方法】入園ゲートにおいて、顔写真により本人であることを確認する。

【備　　考】年間パスポート券の発行に必要な機械費及び材料費については、公園運営維持管理業務の事業者が負担する。

別添－26

巡視ルート図

凡例
：園内巡視ルート
：園内巡視ルート
（新規開園区域）

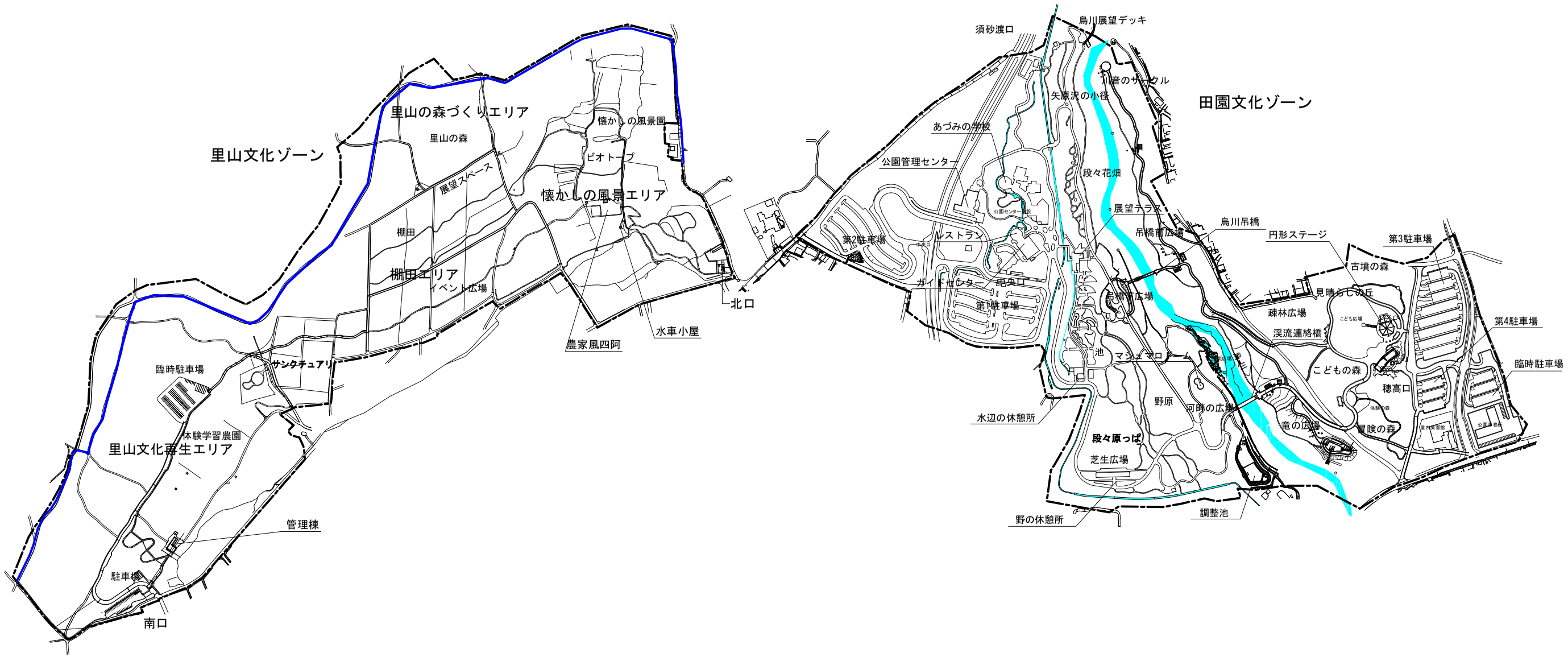


堀金・穂高地区　巡視ルート図（園内巡視）

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

凡例
：囲障巡視ルート



堀金・穂高地区　巡視ルート図（囲障巡視）

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添P196

凡例
：園内巡視ルート
：園内巡視ルート
（新規開園区域）

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
サイクルセンター
駐車場
炊事棟
管理棟
休憩棟レストラン
スポーツと遊びの森入口
保全ゾーン
空中回廊
入口広場
くもの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
駐車場
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
臨時駐車場
自然体験ゾーン
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大草原
渡河施設
大草原の家
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
リフレッシュの森・渓流エリア
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　巡視ルート図（園内巡視）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

別添P197

凡例
：囲障巡視ルート
：囲障巡視ルート
（新規開園区域含む）

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
駐車場
管理棟
炊事棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
保全ゾーン
空中回廊
入口広場
くもの巣遊具
インフォメーション
センター
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
駐車場
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス大草原
アルプス広場
渡河施設
大草原の家
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
リフレッシュの森・渓流エリア
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　巡視ルート図（囲障巡視）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

凡例
：電気柵巡視ルート
：電気柵巡視ルート
（H28 年度整備予定）

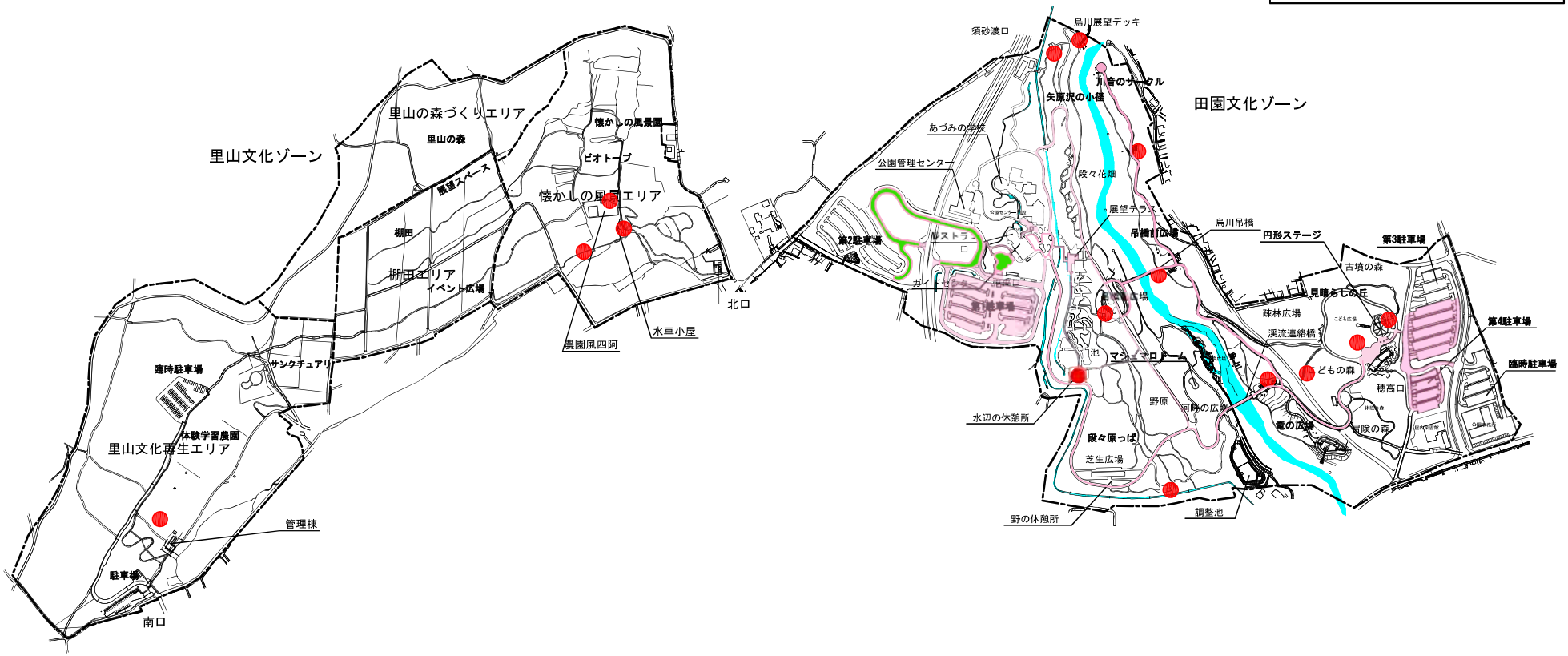
チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
駐車場
管理棟
炊事棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
保全ゾーン
空中回廊
入口広場
くもの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
駐車場
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大草原
渡河施設
大草原の家
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　巡視ルート図（電気柵巡視）

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

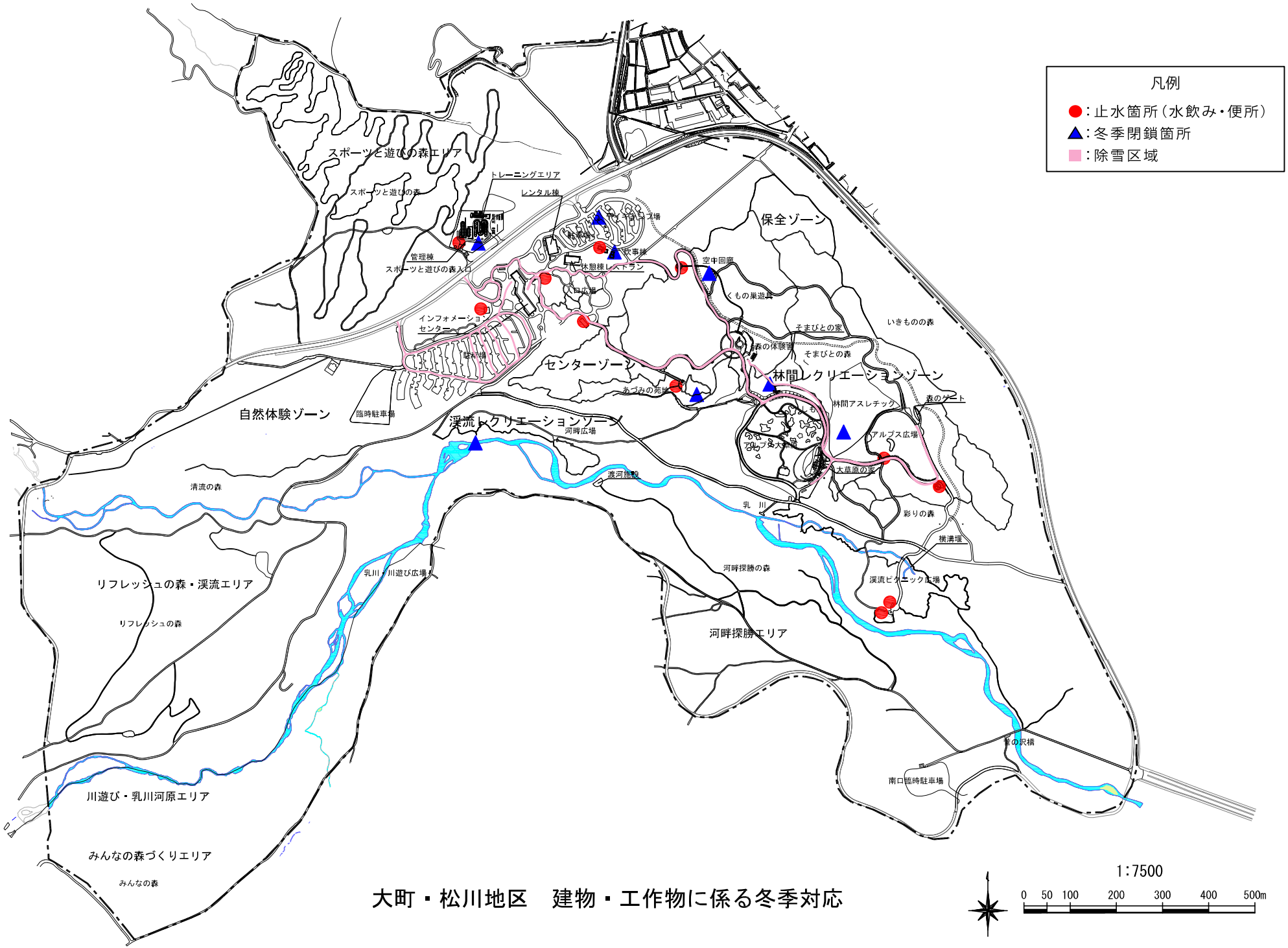
別添－27

建物・工作物に係る冬季対応（積雪、氷結対応等）



堀金・穂高地区　建物・工作物に係る冬季対応

別紙P800



大町・松川地区　建物・工作物に係る冬季対応

R1版P201

別添－28

遊具日常点検表（冒険の森遊具）

冒険の森（シートモッコ、ハンモック、ロープ渡り、スラッグライン、スライダー、丸太渡り、ブランコ）

点検項目	内　容	点検結果	備考、措置等
木材目割れ、ささくれ、腐朽、接合部材、設置場所状況	木材：目割れ、ささくれ、腐朽、破損、摩耗、汚れ 金属類の状況：摩耗、サビ、溶接部等 ネット・ロープ等：破損、摩耗、接合部の外れ・欠落 設置場所：石・枝等の障害物、地面の陥没、雑草の繁茂	異常あり 異常なし	

副センター長	管理課長

【 遊具日常点検表（月点検）】

平成 26年　　月　　日（　　）　　点検者＿＿＿＿＿＿＿＿

【記入要領】
異常無 空欄：健全であり、修繕の必要がない　→使用可　　異常有 B：部分的に異常があり、部分修繕が必要　→ 使用可
異常有 C：重要な箇所に部分的な異常があり、部分修繕が必要　→ 使用禁止　　異常有 D：主要部材・部品に異常があり、大規模な修繕又は更新が必要　→ 使用禁止

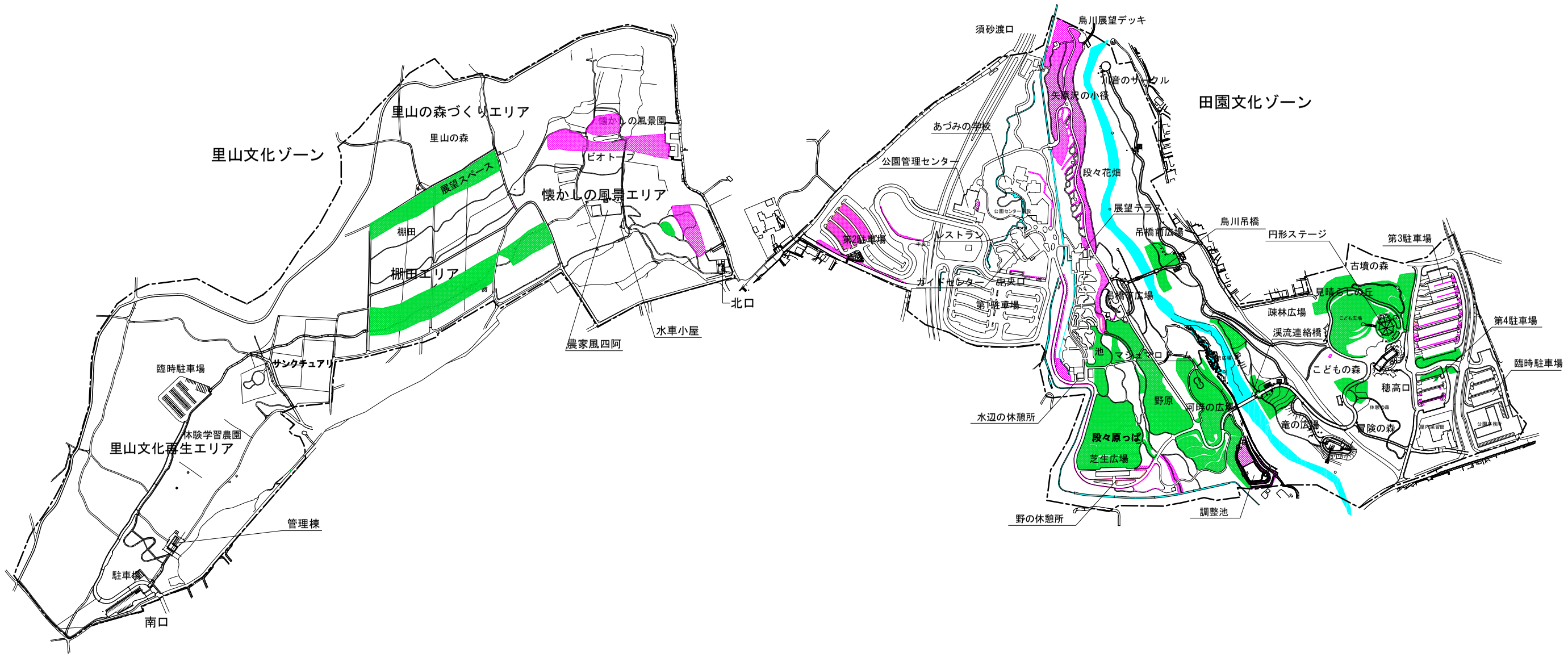
No.	遊具名	点検項目（異常有のみ記入）								異常個所の有無	使用禁止や異常個所の措置
		ボルト・ナット接合部の緩み欠落等 締手金具の破損等	木材目割れ ささくれ等	ワイヤーチェーンクリップシャックル自在バンドターンバックル等	滑車の特殊金具類の状況等	ネットロープベルト摩耗ねじれ等	木材の腐朽等	支柱踏丸太スタート台の亀裂劣化ぐらつき等	その他の状態等		
冒険の森　遊具（HH）											
1	ロープ渡り（1）									有・無	
2	スラックライン（1）									有・無	
3	ロープ渡り（2）									有・無	
4	スラックライン（2）									有・無	
5	ロープ渡り（3）									有・無	
6	スラックライン（3）									有・無	
7	丸太渡り（1）									有・無	
8	丸太渡り（2）									有・無	
9	スライダー（1）									有・無	
10	スライダー（2）									有・無	
11	ブランコ（1）									有・無	
12	ブランコ（2）									有・無	
冒険の森ハンモック（HH）											
1	オレンジハンモック（1）									有・無	
2	オレンジハンモック（2）									有・無	
3	ロープ幅広ハンモック（1）									有・無	
4	ロープ幅広ハンモック（2）									有・無	

備考：

※ボルトの緩み、丸太の亀み、歪みの点検は随時行なう。軽易で可能なものは巡視員が応急修繕を行う。異常発見時は担当職員に急報する。

別添-29

凡例
：Aランク
：Bランク



堀金・穂高地区　芝生管理区域図

1:7500

0 50 100 200 300 400 500m

別添P204

別添-29

凡例
：Aランク
：Bランク

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
駐車場
管理棟
スポーツと遊びの森入口
炊事棟
休憩棟レストラン
保全ゾーン
空中回廊
入口広場
くもの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
駐車場
センターゾーン
森の体験館
そまびとの森
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
渡河施設
大草原の家
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
リフレッシュの森・渓流エリア
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕾の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

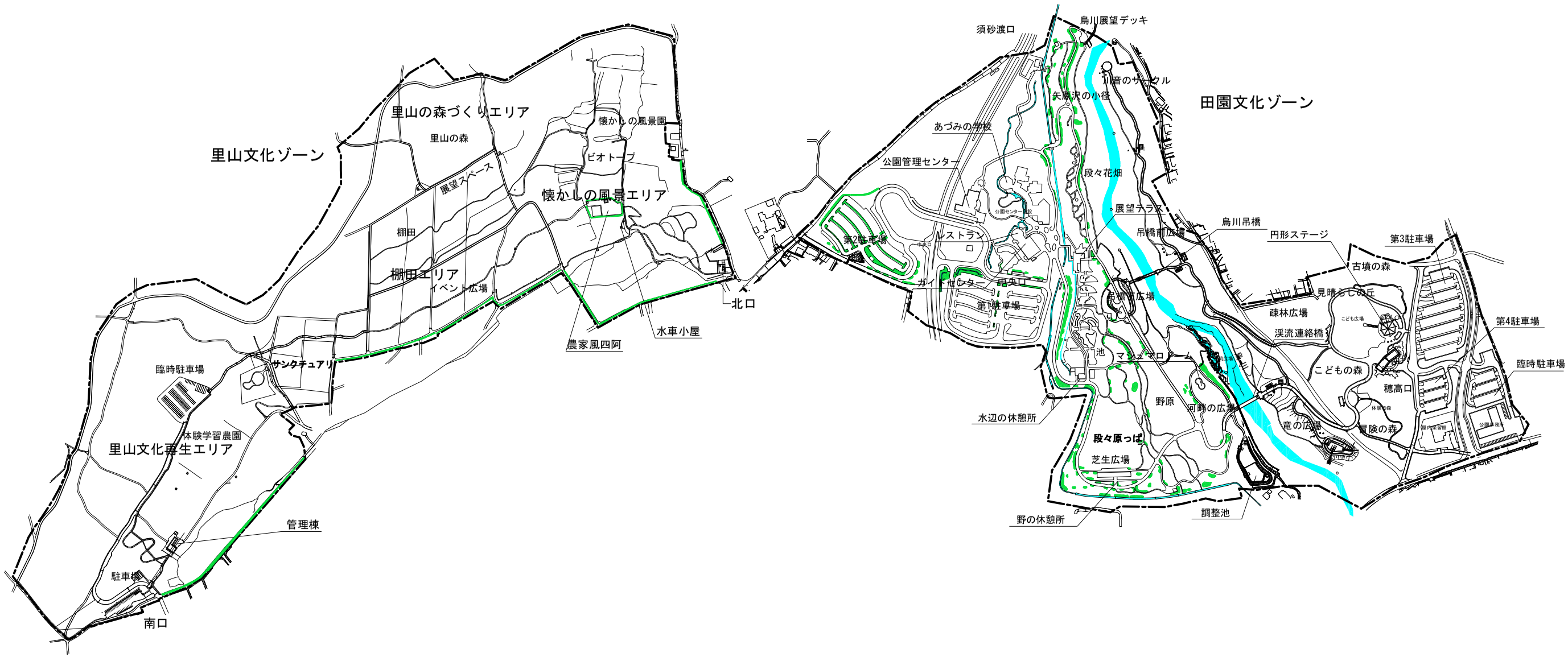
大町・松川地区　芝生管理区域図

1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

別添P205

別添-30

凡例
：中低木管理



堀金・穂高地区　中低木管理区域図

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添P206

別添-30

凡例
：中低木管理

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
サイクルハウス
駐車場
管理棟
炊事棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
入口広場
保全ゾーン
空中回廊
くもの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
駐車場
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大草原
渡河施設
大草原の家
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　中低木管理区域図

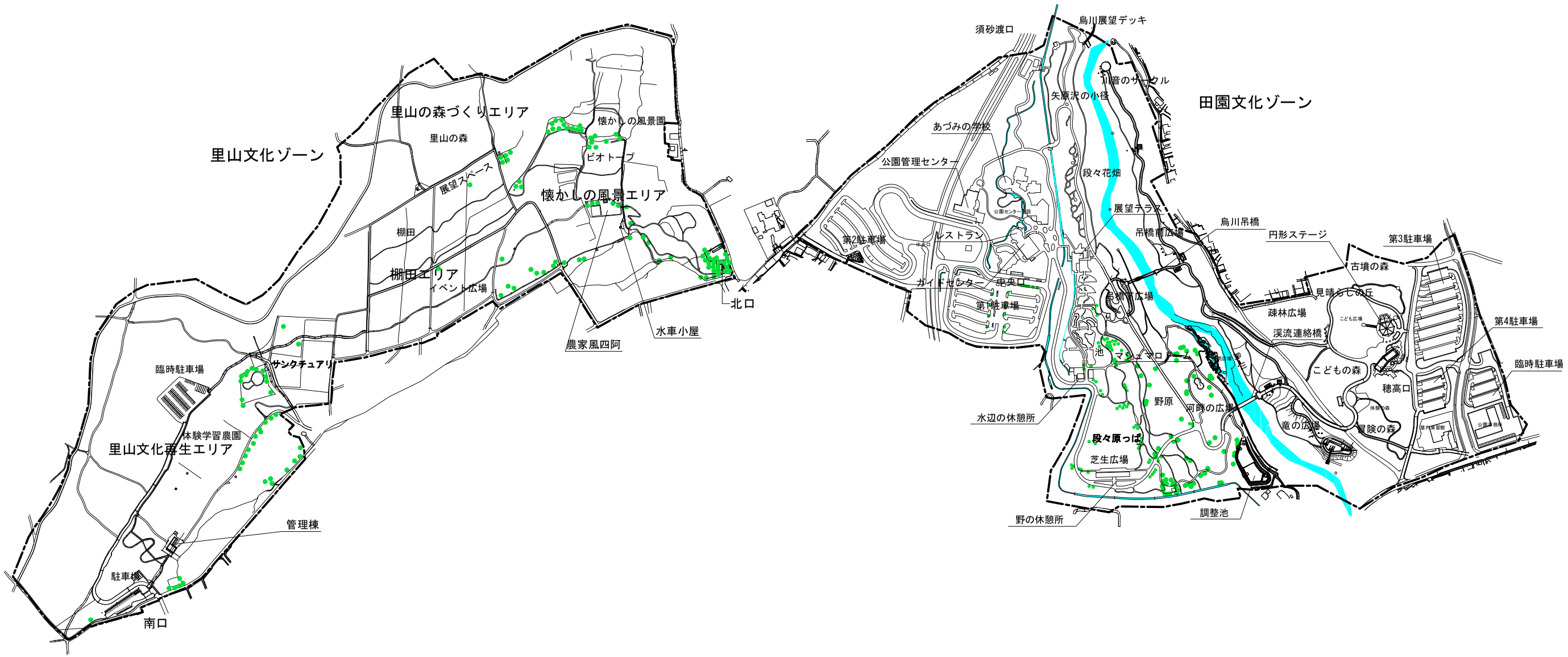
1:7500
0　50　100　200　300　400　500m

別添P207

別添-31

凡例

：高木管理



堀金・穂高地区　高木管理区域図

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添-31

凡例
：高木管理

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
スポーツと遊びの森
チャレンジルートB
トレーニングエリア
レンタル棟
駐車場
管理棟
スポーツと遊びの森入口
休憩棟レストラン
入口広場
インフォメーション
センター
駐車場
センターゾーン
保全ゾーン
空中回廊
くもの巣遊具
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
アルプス大草原
アルプス広場
大草原の家
彩りの森
横溝堰
渓流ピクニック広場
河畔探勝の森
河畔探勝エリア
乳　川
渡河施設
河畔広場
渓流レクリエーションゾーン
自然体験ゾーン
臨時駐車場
清流の森
乳川・川遊び広場
リフレッシュの森・渓流エリア
リフレッシュの森
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森
蕎の沢橋
南口臨時駐車場

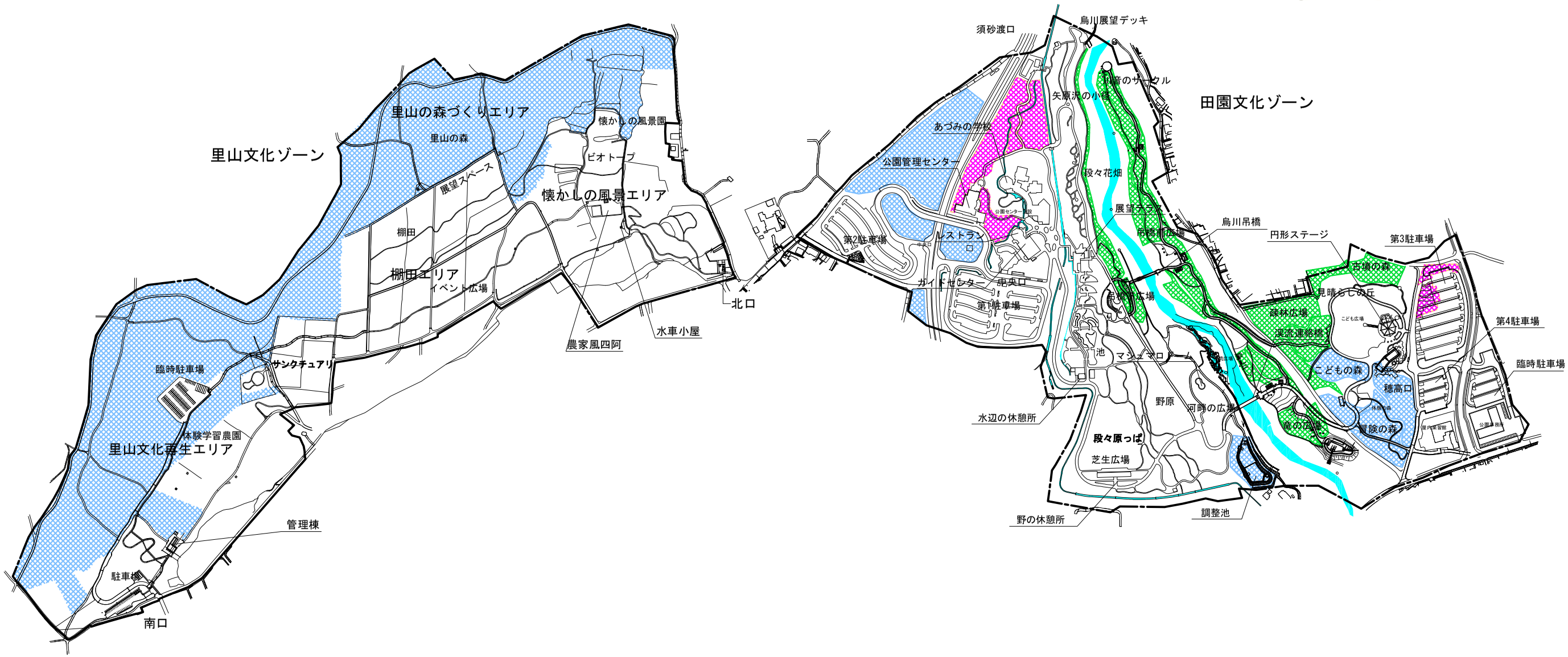
1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

大町・松川地区　高木管理区域図

別添P209

別添-32

凡例
：利用林地（重点）
：利用林地
：保全林地



堀金・穂高地区　林地管理区域図

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添-32

凡例
：利用林地（重点）
：利用林地
：保全林地

チャレンジルートA
オフロード周回コース
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
レンタル場
サイクル広場
駐車場
炊飯棟
休憩棟レストラン
スポーツと遊びの森入口
管理棟
保全ゾーン
空中回廊
入口広場
もの巣遊具
インフォメーションセンター
そまびとの家
いきものの森
駐車場
森の体験館
そまびとの森
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あそみの芝生
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大草原
渡河施設
大草原の家
彩りの森
横溝堰
リラレッチェの森・渓流エリア
乳出し川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
河畔探勝エリア
雷の沢橋
川遊び・乳出河原エリア
臨時駐車場
みんなの森つくりエリア

大町・松川地区　林地管理区域図

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

別添P211

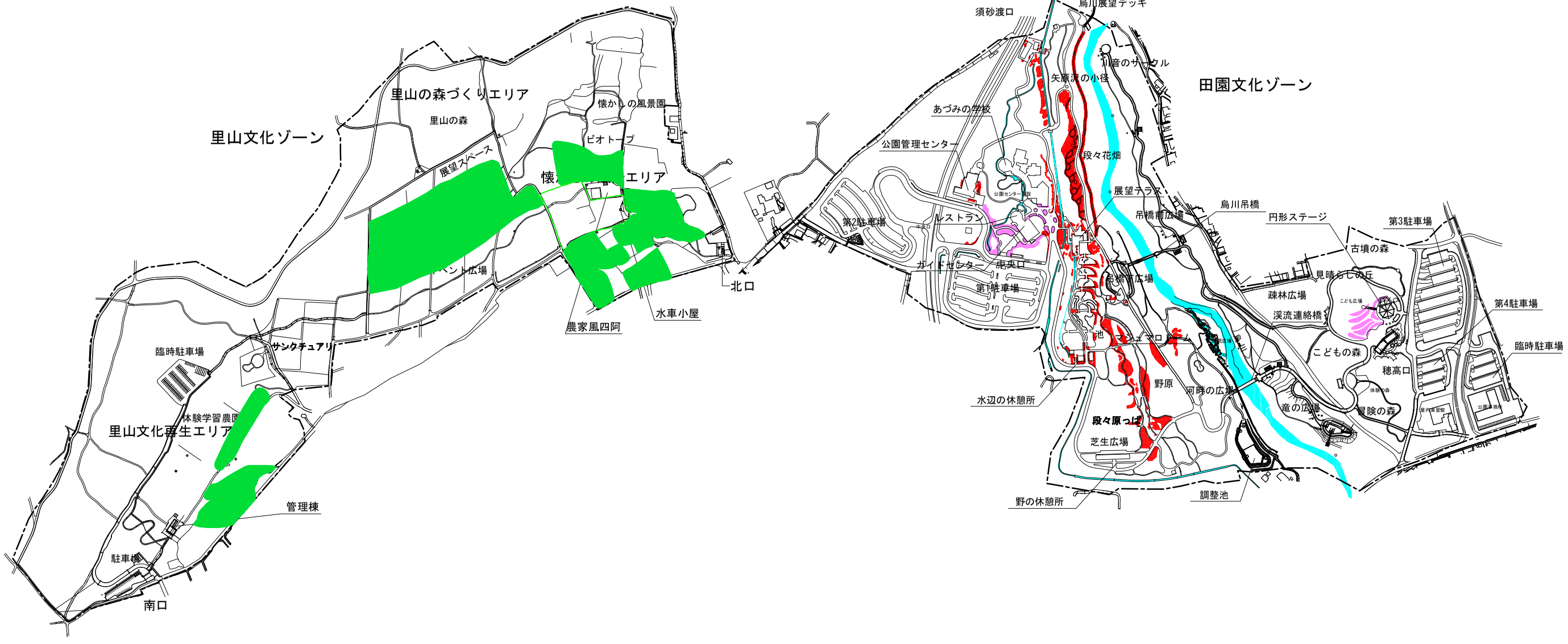
別添-33

凡例

：花畑

：草花

：花壇



堀金・穂高地区　草花管理区域図

1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添P212

別添-33

凡例

：花畑

：草花

：花壇

チャレンジルートA

オフロード周回コース

スポーツと遊びの森エリア

トレーニングエリア

チャレンジルートB

スポーツと遊びの森

レンタル棟

駐車場

管理棟

炊事棟

休憩棟レストラン

スポーツと遊びの森入口

入口広場

インフォメーションセンター

駐車場

保全ゾーン

空中回廊

くもの巣遊具

そまびとの家

いきものの森

森の体験館

そまびとの森

センターゾーン

林間レクリエーションゾーン

あづみの苑地

林間アスレチック

森のゲート

自然体験ゾーン

臨時駐車場

渓流レクリエーションゾーン

河畔広場

アルプス広場

アルプス大草原

渡河施設

大草原の家

清流の森

乳　川

彩りの森

横溝堰

リフレッシュの森・渓流エリア

乳川・川遊び広場

河畔探勝の森

渓流ピクニック広場

リフレッシュの森

河畔探勝エリア

蕎の沢橋

南口臨時駐車場

川遊び・乳川河原エリア

みんなの森づくりエリア

みんなの森

大町・松川地区　草花管理区域図

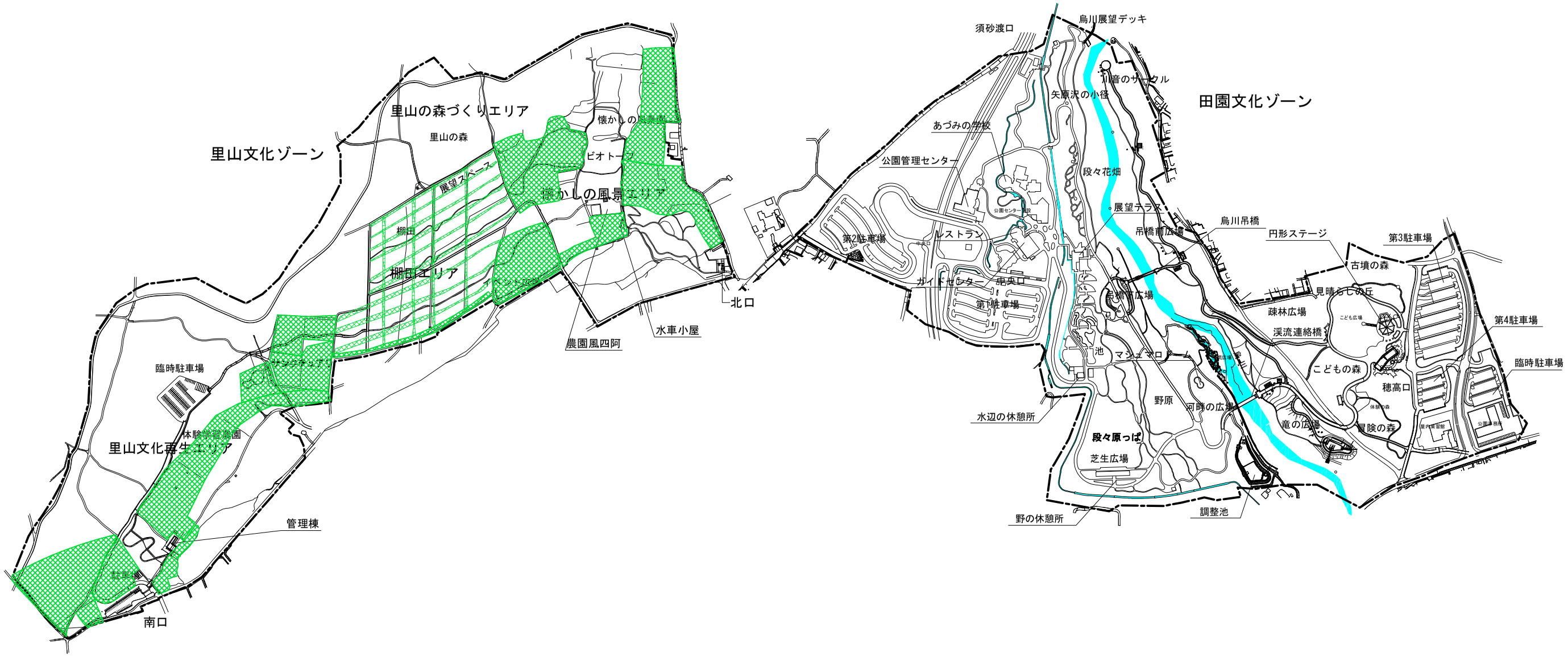
1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添P213

別添-34

凡例
: 草地管理



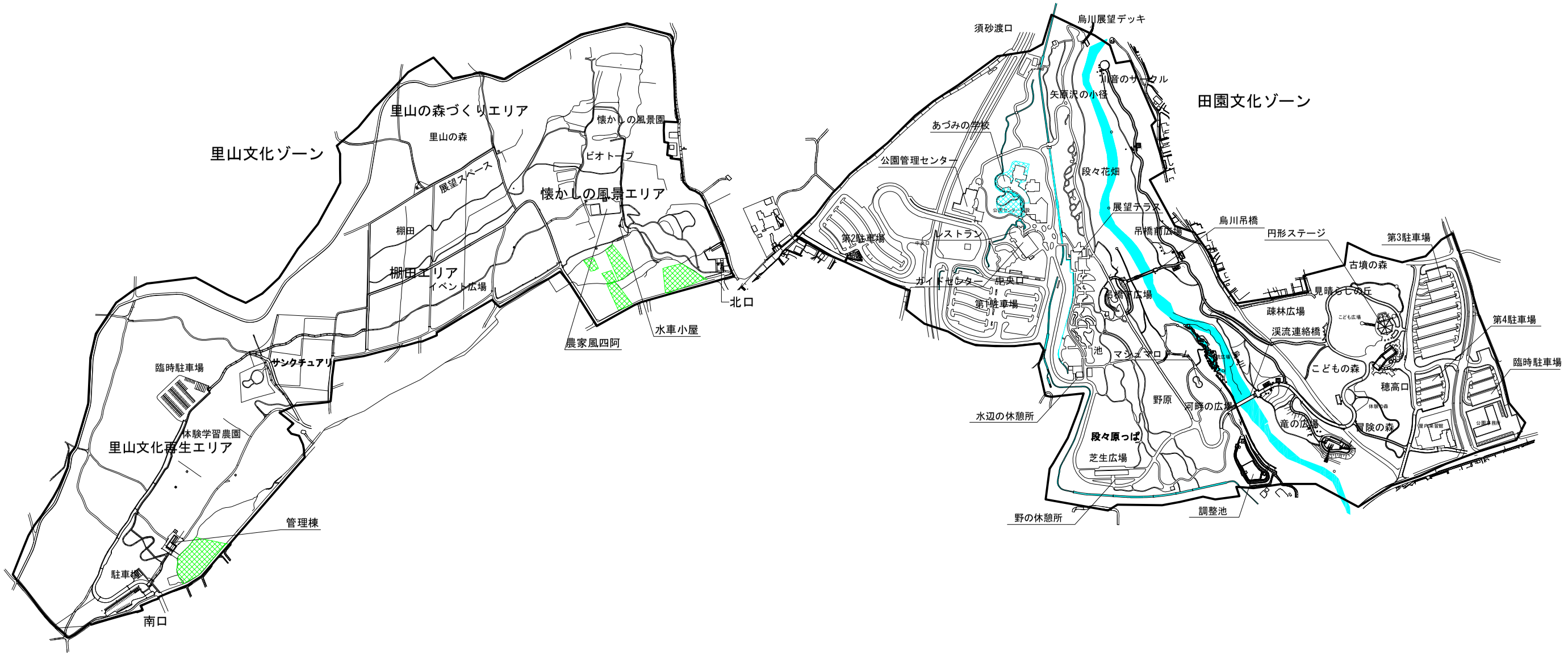
堀金・穂高地区　草地管理区域図

1:7500

0 50 100 200 300 400 500m

別添-35

凡例
：耕作地管理工
：特殊管理工



堀金・穂高地区　特殊管理区域図

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m

別添－36

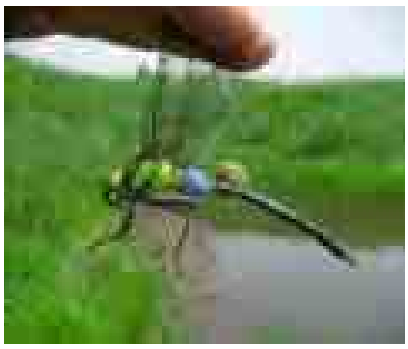
国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区

第３期地区 野草管理育成マニュアル（抄）

国営アルプスあづみの公園　堀金・穂高地区

第 3 期地区　野草管理育成マニュアル





目　　次

１．はじめに……………………………… １

２．エリア別目標……………………………… ７
岩原の土手草にまつわるあれこれー知っておきたい基礎知識ー ……… ９

３．エリア別管理スケジュール……………………………… 13

４．エリア別作業指針……………………………… 15
エリア１　懐かしの畦･花咲く草っ原の再現……………… 15
エリア２　カヤ場の再現……………………………… 24
エリア３　使い･育てて、活かす畦……………………… 26
エリア４　いきものが育つ「拠点」環境づくり…………… 30
エリア５　樹林と耕作環境つなぐ草地…………………… 44
その他　　境界植栽の管理……………………………… 48

５．作業種別指針……………………………… 49
５．１　作業種区分……………………………… 49
５．２　作業別指針及び留意事項……………………… 49
5.2.1　草刈……………………………… 49
5.2.2　刈屑の取り扱い（集草･処理） ……………… 51
5.2.3　野焼き……………………………… 55
５．３　作業実施時期・実施区域の詳細設定…………… 57
鑑賞等の活用価値の高い草花………………………… 59
彩りある古田の畦の見本……………………………… 72
昆虫類希少種の食草……………………………… 73
５．４　増殖……………………………… 74

別添－37

植栽草花一覧

堀金・穂高地区草花一覧（地被・草花・山野草）

種名	開花時期
カタクリ	3～5月
キクサギイチゲ	3～5月
アマドコロ	4～5月
イカリソウ	4～5月
ウマノアシダカ	4～5月
サクラソウ	4～5月
シラン	4～5月
ラショウモンカズラ	4～5月
バイカイカリソウ	4～5月
アヤメ	5～6月
シバザクラ	5～6月
ナルコユリ	5～6月
ヒメシャガ	5～6月
ミヤマナルコユリ	5～6月
シラネアオイ	5～7月
キリンソウ	5～8月
テカリダケキリンソウ	5～8月
クサフジ	5～9月
アスチルベ	6月
オオタカネバラ	6～7月
オカトラノオ	6～7月
タカネバラ	6～7月
ヤマホタルブクロ	6～7月
イブキジャコウソウ	6～8月
キバナノヤマオダマキ	6～8月
ヒオウギアヤメ	6～8月
ミヤマオダマキ	6～8月
ヤマオダマキ	6～8月
オニシモツケ	6～8月
ギボウシ	6～9月
ウスゲヤナギラン	7～8月
オオバギボウシ	7～8月
クガイソウ	7～8月
コバギボウシ	7～8月
コマクサ	7～8月
シコタンハコベ	7～8月
シコタンソウ	7～8月
シモツケソウ	7～8月
タカネナデシコ	7～8月
ニッコウキスゲ	7～8月
ミソハギ	7～8月
ミヤマアズマギク	7～8月
ミヤマキンポウゲ	7～8月
ヤブカンゾウ	7～8月
チダケサシ	7～8月
ヌマトラノオ	7～8月
キキョウ	7～9月
コオニユリ	7～9月
トモエソウ	7～9月
ユウスゲ	7～9月
カワラナデシコ	7～10月
ゲンノショウコ	7～10月
ユウガギク	7～10月
カライトソウ	8～9月
フジバカマ	8～9月
ヤマハコ	8～9月
ヤマルリトラノオ	8～9月
アキノキリンソウ	8～10月
オトコエシ	8～10月
オミナエシ	8～10月
サワヒヨドリ	8～10月
サラシナショウマ	8～10月
ツリガネニンジン	8～10月
ヒヨドリバナ	8～10月
マツムシソウ	8～10月
ワレモコウ	8～10月
ノコンギク	8～11月
ゴマナ	9～10月
ツメレンゲ	9～11月
リンドウ	9～11月
リュウノギク	10～11月
クサソテツ	

大町・松川地区草花一覧(あづみの苑地)

種名	開花時期
ラショウモンカズラ	4～6月
ムラサキツユクサ	4～8月
カキツバタ	5～6月
ガンコウラン	5～6月
アカモノ	5～7月
シラネアオイ	5～7月
ベニバナイチヤクソウ	5～7月
アケボノショウマ	5～9月
ウラシマツツジ	6～7月
クロマメノキ	6～7月
コメバツガザクラ	6～7月
ショウジョウバカマ	6～7月
タヌキラン	6～7月
ヒオウギアヤメ	6～7月
ミネズオウ	6～7月
ヤグルマソウ	6～7月
イブキジャコウソウ	6～8月
オニシモツケ	6～8月
グンナイフクロウ	6～8月
シモツケソウ	6～8月
チングルマ	6～8月
ニッコウキスゲ	6～8月
ハクサンコザクラ	6～8月
ミヤマオダマキ	6～8月
キツリフネ	6～9月
アオノツガザクラ	7～8月
イブキトラノオ	7～8月
カライトソウ	7～8月
ギンバイソウ	7～8月
クガイソウ	7～8月
コケモモ	7～8月
コマクサ	7～8月
シキンカラマツ	7～8月
シコタンソウ	7～8月
シナノナデシコ	7～8月
タカネナデシコ	7～8月
チシマギキョウ	7～8月
ハクサンフウロ	7～8月
ミヤマアズマギク	7～8月
ミヤマキンバイ	7～8月
ミヤマキンポウゲ	7～8月
ミヤマダイコンソウ	7～8月
ユウスゲ	7～8月
ウスゲヤナギラン	7～9月
トモエソウ	7～9月
ハンゴンソウ	7～9月
ヤマホトトギス	7～9月
オヤマリンドウ	8～9月
シロウマアサツキ	8～9月
ソバナ	8～9月
タマガワホトトギス	8～9月
タムラソウ	8～10月
ツリフネソウ	8～10月
ツリガネニンジン	8～10月
マツムシソウ	8～10月
アサギリソウ	9月
ダイモンジソウ	9～10月

別添－38

貴重種一覧

■ 植物

No.	門名	科名	種名	学名	地区		貴重種の選定根拠				
					OM地区	HH地区	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	シダ植物門	ミズニラ科	ミズニラ	*Isoetes japonica*		●			NT	EN	
2	種子植物門	イラクサ科	ホソバイラクサ	*Urtica angustifolia*		●					VU
3		ナデシコ科	タガソデソウ	*Cerastium pauciflorum var. amurense*		●			VU	NT	NT
4		キンポウゲ科	フクジュソウ	*Adonis ramosa*		●				NT	CR+EN
5			オウレン	*Coptis japonica*	●					EN	CR+EN
6			セリバオウレン	*Coptis japonica var.dissecta*	●	●				(EN)	
7		ボタン科	ヤマシャクヤク	*Paeonia japonica*	●	●			NT	VU	CR+EN
8		マメ科	ミヤマタニワタシ	*Vicia bifolia*	●	●				NT	
9		カエデ科	ハナノキ	*Acer pycnanthum*		●			VU	VU	
10		ミソハギ科	ミズマツバ	*Rotala pusilla*		●			VU	VU	
11		ツツジ科	アカヤシオ	*Rhododendron pentaphyllum var.nikoense*		●				NT	
12		リンドウ科	ホソバツルリンドウ	*Pterygocalyx volubilis*	●				VU	NT	
13		ムラサキ科	サワルリソウ	*Ancistrocarya japonica*	●	●				NT	
14		クマツヅラ科	コムラサキ	*Callicarpa dichotoma*		●				EN	
15		シソ科	ヤマジソ	*Mosla japonica*	●				NT	NT	EX
16		ゴマノハグサ科	サワトウガラシ	*Deinostema violaceum*		●				NT	
17			アブノメ	*Dopatrium junceum*	●					CR	
18			ウリクサ	*Lindernia crustacea*	●	●				VU	CR+EN
19		キキョウ科	キキョウ	*Platycodon grandiflorum*	●	●			VU	NT	VU
20		キク科	ミヤマヨメナ	*Miyamayomena savatieri*	●					VU	CR+EN
21		オモダカ科	アズミノヘラオモダカ	*Alisma canaliculatum var. azuminoense*					EN	CR	CR+EN
22		ユリ科	アマナ	*Tulipa edulis*		●				VU	NT
23		アヤメ科	カキツバタ	*Iris laevigata*		●			NT	NT	
24		ラン科	ギンラン	*Cephalanthera erecta*	●					NT	CR+EN
25			ヒメミヤマウズラ	*Goodyera repens*		●				NT	CR+EN
26			カモメラン	*Orchis cyclochila*	●				NT	EN	VU
27			コケイラン	*Oreorchis patens*	●					NT	CR+EN
計	20科27種				14	18	0	0	11	26	15

注1) 種名等及びその配列は基本的に「平成24年度版　河川水辺の国勢調査　生物リスト」(国土交通省水管理・国土保全局)に準拠した

注2) 地区：地区別確認状況　●−現地確認

注3) 貴重種の選定根拠

(1) 文化財保護法及び文化財保護条例で指定された天然記念物

(2) 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4 年法律第75 号)で指定された国内希少野生動植物種

(3)「環境省第4次レッドリスト（平成24・25年）」に記載された種 絶滅危惧IB類（EN)、絶滅危惧Ⅱ類（VU)、準絶滅危惧（NT）

(4)「長野県レッドリスト（植物編2014、動物編2005）」に記載された種 絶滅危惧IA類（CR)、絶滅危惧IB類（EN)、絶滅危惧Ⅱ類（VU)、準絶滅危惧（NT）

(5)「安曇野市版レッドデータブック2014」に記載された種 絶（EX)、滅絶滅危惧I類（CR+EN)、絶滅危惧Ⅱ類（VU)、準絶滅危惧（NT）

■ 昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	地区		貴重種の選定根拠				
					OM地区	HH地区	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	トンボ目	ヤンマ科	マダラヤンマ	*Aeshna mixta soneharai*	●				NT	NT	
2			クロスジギンヤンマ	*Anax nigrofasciatus nigrofasciatus*		●				NT	
3			ギンヤンマ	*Anax parthenope julius*		●				NT	
4	カメムシ目	コオイムシ科	コオイムシ	*Appasus japonicus*	●	●			NT		NT
5		タイコウチ科	タイコウチ	*Laccotrephes japonensis*		●				NT	NT
6	チョウ目	セセリチョウ科	ギンイチモンジセセリ	*Leptalina unicolor*	●				NT	NT	CR+EN
7			ミヤマチャバネセセリ	*Pelopidas jansonis*	●	●				VU	CR+EN
8			キマダラセセリ	*Potanthus flavus flavus*		●				NT	VU
9			スジグロチャバネセセリ	*Thymelicus leoninus leoninus*	●				NT	VU	NT
10		シジミチョウ科	クロミドリシジミ	*Favonius yuasai*	●					NT	NT
11			ミヤマシジミ	*Lycaeides argyrognomon praeterinsularis*	●	●			EN	NT	NT
12			オオルリシジミ	*Shijimiaeoides divinus barine*		●			CR	EN	CR+EN
13		タテハチョウ科	コヒョウモンモドキ	*Melitaea britomartis niphona*		●			EN	NT	CR+EN
14			オオムラサキ	*Sasakia charonda charonda*	●	●			NT	N	
15		アゲハチョウ科	ヒメギフチョウ本州亜種	*Luehdorfia puziloi inexpecta*	●	●			NT	N	NT
16		シロチョウ科	ヒメシロチョウ	*Leptidea amurensis*		●			EN	NT	CR+EN
17		マダラガ科	ベニモンマダラ	*Zygaena niphona niphona*		●			NT	NT	NT
18		ジャノメチョウ科	ヒメヒカゲ本州中部亜種	*Coenonympha oedippus annulifer*	●				CR	EN	CR+EN
19	ハエ目	アミカモドキ科	ニホンアミカモドキ	*Deuterophlebia nipponica*	●				VU	NT	NT
20	コウチュウ目	コガネムシ科	アカマダラハナムグリ	*Anthracophora rusticola*		●				VU	NT
21			クロカナブン	*Rhomborrhina polita*	●	●				VU	
22			トラハナムグリ	*Trichius japonicus*	●					VU	VU
23		ガムシ科	ガムシ	*Hydrophilus acuminatus*	●	●			NT	NT	NT
24		カミキリムシ科	ムモンベニカミキリ	*Amarysius sanguinipennis*	●					CR+EN	NT
25			ケブカマルクビカミキリ	*Atimia okayamensis*	●					NT	NT
26		ホタル科	ヒメボタル	*Luciola parvula*		●				NT	NT
27		ミズスマシ科	ミズスマシ	*Gyrinus japonicus*	●	●			VU	NT	VU
28		ゲンゴロウ科	クロゲンゴロウ	*Cybister brevis*	●				NT	NT	CR+EN
29			ゲンゴロウ	*Cybister japonicus*	●	●			VU	NT	NT
30			シマゲンゴロウ	*Hydaticus bowringii*	●				NT	VU	CR+EN
31		オサムシ科	クロカタビロオサムシ	*Calosoma maximowiczi*		●				VU	NT
計	5目	18科	31種		20	20	0	0	18	30	26

注1) 種名等及びその配列は基本的に「平成24年度版　河川水辺の国勢調査　生物リスト」(国土交通省水管理・国土保全局)に準拠した

注2) 地区：地区別確認状況　●−現地確認

注3) 貴重種の選定根拠

(1) 文化財保護法及び文化財保護条例で指定された天然記念物

(2) 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4 年法律第75 号)で指定された国内希少野生動植物種

(3)「環境省第4次レッドリスト(平成24・25年)」に記載された種 絶滅危惧IA類(CR)、絶滅危惧IB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)

(4)「長野県レッドリスト(植物編2014、動物編2005)」に記載された種 絶滅危惧IA類(CR)、絶滅危惧IB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、留意種(N)

(5)「安曇野市版レッドデータブック2014」に記載された種 絶滅危惧I類(CR+EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)

■ 猛禽類

No.	目名	科名	種名	学名	地区		貴重種の選定根拠				
					OM地区	HH地区	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	タカ目	タカ科	ミサゴ	*Pandion haliaetus*					NT	N	
2			ハチクマ	*Pernis apivorus*					NT	VU	NT
3			オジロワシ	*Haliaeetus albicilla*			天	内	VU		
4			オオタカ	*Accipiter gentilis*				内	NT	VU	NT
5			ツミ	*Accipiter gularis*						DD	
6			ハイタカ	*Accipiter nisus*					NT	VU	NT
7			ノスリ	*Buteo buteo*						NT	
8			サシバ	*Butastur indicus*					VU	VU	
9			クマタカ	*Spizaetus nipalensis*				内	EN	EN	CR+EN
10			イヌワシ	*Aquila chrysaetos*			天	内	EN	CR	CR+EN
11		ハヤブサ科	ハヤブサ	*Falco peregrinus*				内	VU	N	VU
12			チョウゲンボウ	*Falco tinnunculus*						N	
計		2科	12種		−	−	2	5	9	11	6

注1) 種名等及びその配列は基本的に「平成24年度版　河川水辺の国勢調査　生物リスト」(国土交通省水管理・国土保全局) に準拠した

注2) 地区：地区別確認状況　猛禽類データなし

注3) 貴重種の選定根拠

(1) 文化財保護法及び文化財保護条例で指定された天然記念物 (天)

(2) 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4 年法律第75 号)で指定された国内希少野生動植物種 (内)

(3) 「環境省第4次レッドリスト (平成24・25年) 」に記載された種 絶滅危惧IB類 (EN)、絶滅危惧Ⅱ類 (VU)、準絶滅危惧 (NT)

(4) 「長野県レッドリスト (植物編2014、動物編2005) 」に記載された種 絶滅危惧IA類 (CR)、絶滅危惧IB類 (EN)、絶滅危惧Ⅱ類 (VU)、準絶滅危惧 (NT)、情報不足 (DD)、留意種 (N)

(5)「安曇野市版レッドデータブック2014」に記載された種 絶滅危惧I類(CR+EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)

別添P224

■ 哺乳類

No.	目名	科名	種名	学名	地区		貴重種の選定根拠				
					OM地区	HH地区	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	モグラ目	トガリネズミ	アズミトガリネズミ	*Sorex hosonoi hosonoi*	●				NT	VU	VU
2			カワネズミ	*Chimarrogale himalayica platycephala*	●				LP	NT	NT
3	コウモリ目	ヒナコウモリ	ヤマコウモリ	*Nyctalus lasiopterus aviator*	●				VU	VU	NT
4			ニホンウサギコウモリ	*Plecotus auritus sacrimontis*	●					NT	NT
5			モモジロコウモリ	*Myotis macrodactylus*	●	●				NT	NT
6			ニホンコテングコウモリ	*Murina silvatica*	●					DD	DD
7			ニホンテングコウモリ	*Murina leucogaster hilgendorfi*	●	●				NT	DD
8	ネズミ目	ヤマネ	ヤマネ	*Glirulus japonicus*	▲	●	天			NT	NT
計	3目	3科	8種		8	3	1	0	3	8	8

注1) 種名等及びその配列は基本的に「平成24年度版　河川水辺の国勢調査　生物リスト」(国土交通省水管理・国土保全局)に準拠した

注2) 地区：地区別確認状況　●＝現地確認　▲＝ヒアリング確認

注3) 貴重種の選定根拠

(1) 文化財保護法及び文化財保護条例で指定された天然記念物(天)

(2) 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4 年法律第75 号)で指定された国内希少野生動植物種

(3)「環境省第4次レッドリスト(平成24・25年)」に記載された種 絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

(4)「長野県レッドリスト(植物編2014、動物編2005)」に記載された種 絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)

(5)「安曇野市版レッドデータブック2014」に記載された種 絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)

注4) 前回記載のテングコウモリは、選定根拠の分類に従いニホンテングコウモリ(亜種)の扱いとした

別添P225

■ 両生類

No.	目名	科名	種名	学名	地区		貴重種の選定根拠				
					OM地区	HH地区	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	サンショウ	イモリ科	アカハライモリ	*Cynops pyrrhogaster*		●					NT
2	カエル目	アカガエル科	ツチガエル	*Rana rugosa*	●	●				VU	VU
3		アオガエル科	モリアオガエル	*Rhacophors arboreus*	●					NT	
計	2目	3科	3種		2	2	0	0	0	2	2

注1) 種名等及びその配列は基本的に「平成24年度版　河川水辺の国勢調査　生物リスト」(国土交通省水管理・国土保全局)に準拠した

注2) 地区：地区別確認状況　●−現地確認

注3) 貴重種の選定根拠

(1) 文化財保護法及び文化財保護条例で指定された天然記念物

(2) 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4 年法律第75 号)で指定された国内希少野生動植物種

(3)「環境省第4次レッドリスト(平成24・25年)」に記載された種

(4)「長野県レッドリスト(植物編2014、動物編2005)」に記載された種 絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)

(5)「安曇野市版レッドデータブック2014」に記載された種 絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)

■ 魚類

No.	目名	科名	種名	学名	地区		貴重種の選定根拠				
					OM地区	HH地区	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	カサゴ目	カジカ科	カジカ(大卵型)	*Cottus pollux*	●	●			NT	NT	NT
			カジカ(小・中卵型)						EN		
計	1目	1科	1種		1	1	0	0	1	1	1

注1) 種名等及びその配列は基本的に「平成24年度版　河川水辺の国勢調査　生物リスト」(国土交通省水管理・国土保全局)に準拠した

注2) 地区:地区別確認状況　●=現地確認

注3) 貴重種の選定根拠

(1) 文化財保護法及び文化財保護条例で指定された天然記念物

(2) 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4 年法律第75 号)で指定された国内希少野生動植物種

(3)「環境省第4次レッドリスト(平成24・25年)」に記載された種 絶滅危惧IB類(EN)、準絶滅危惧(NT)

(4)「長野県レッドリスト(植物編2014、動物編2005)」に記載された種 準絶滅危惧(NT)

(5)「安曇野市版レッドデータブック2014」に記載された種 準絶滅危惧(NT)

別添－39

国営アルプスあづみの公園における

猛禽類保護のための配慮指針（抄）

国営アルプスあづみの公園における
猛禽類保護のための配慮指針

平成 12 年 3 月 14 日　第 1 版策定
平成 12 年 4 月　1 日　運用開始
平成 14 年 3 月 29 日　第 1 回改訂
平成 22 年 4 月　1 日　第 2 回改訂

目　　次　　頁

1　猛禽類調査の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

2　本配慮指針の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

3　本配慮指針の取扱いについて
（１）　本配慮指針の基本的枠組み・・・・・・・・・・・・・・　2
（２）　環境庁のマニュアルとの整合性・・・・・・・・・・・・　4
（３）　対象とする猛禽類・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
（４）　適用条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

4　配慮指針
（１）　工事中の配慮事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
（２）　工事後（供用後）の配慮事項・・・・・・・・・・・・・　14

5　配慮指針の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21

6　猛禽類調査の実施根拠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21

資料
①環境影響評価における猛禽類調査マニュアル
（長野県生活環境部、平成 7 年 12 月）・・・・・・・・・・　資- 1
②平成１０年度補足確認追跡調査その２業務集成文献・・・　資- 4
③ハチクマの食性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　資- 8
④クロスズメバチの増殖方法・・・・・・・・・・・・・・・・　資- 10
⑤猛禽類営巣誘導のための人工台座の設置方法・・・・・・・　資- 20
⑥これまでの猛禽類調査結果の概要(1996～2009)・・・・・　資- 21
⑦オオタカ、ノスリの巣の位置図(過去２年分の確認)・・・　資- 25

別添－40

収益施設管理運営対象区域図

凡例

：収益施設

里山文化ゾーン

里山の森づくりエリア

里山の森

展望スペース

棚田

棚田エリア

イベント広場

懐かしの風景エリア

懐かしの風景園

ビオトープ

水車小屋

農家風四阿

北口

臨時駐車場

サンクチュアリ

体験学習農園

里山文化再生エリア

管理棟

駐車場

南口

田園文化ゾーン

須砂渡口

烏川展望デッキ

小音のサークル

矢原沢の小径

あづみの学校

公園管理センター

段々花畑

展望テラス

吊橋前広場

烏川吊橋

円形ステージ

第3駐車場

古塚の森

見晴らしの丘

疎林広場

こどもの広場

渓流連絡橋

第4駐車場

臨時駐車場

こどもの森

穂高口

冒険の森

竜の広場

レストラン

中央口

第2駐車場

ガイドセンター

第1駐車場

池

マンダマロード

野原

河畔の広場

水辺の休憩所

段々原っぱ

芝生広場

野の休憩所

調整池

堀金・穂高地区　収益施設運営対象区域図

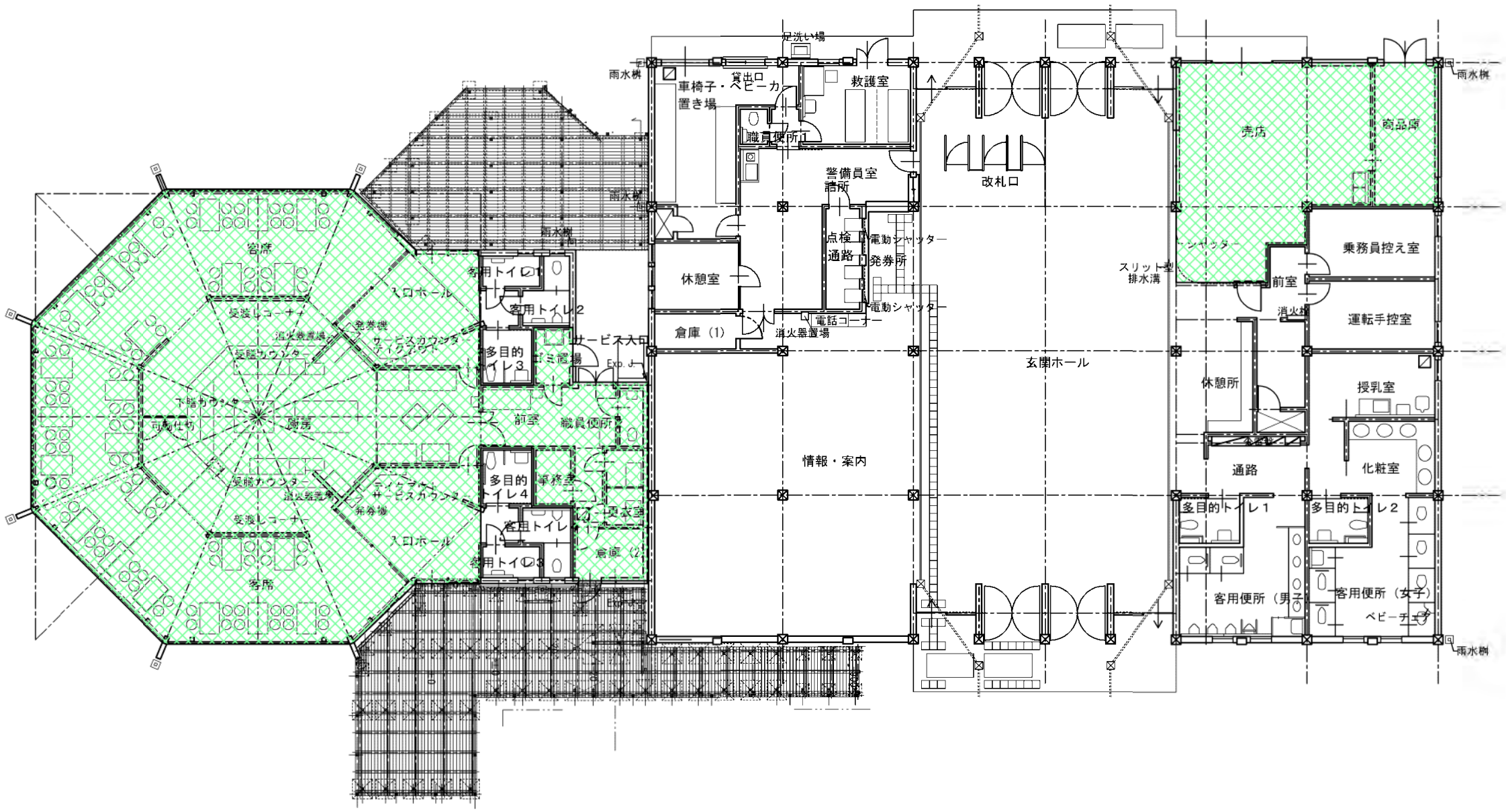
1:7500

0　50　100　200　300　400　500m

別添P231

凡例

：収益施設運営対象範囲



堀金・穂高地区　収益施設運営対象区域図
（ガイドセンター・レストラン区域図）

1:200

0 1 2 4 6 8 10m

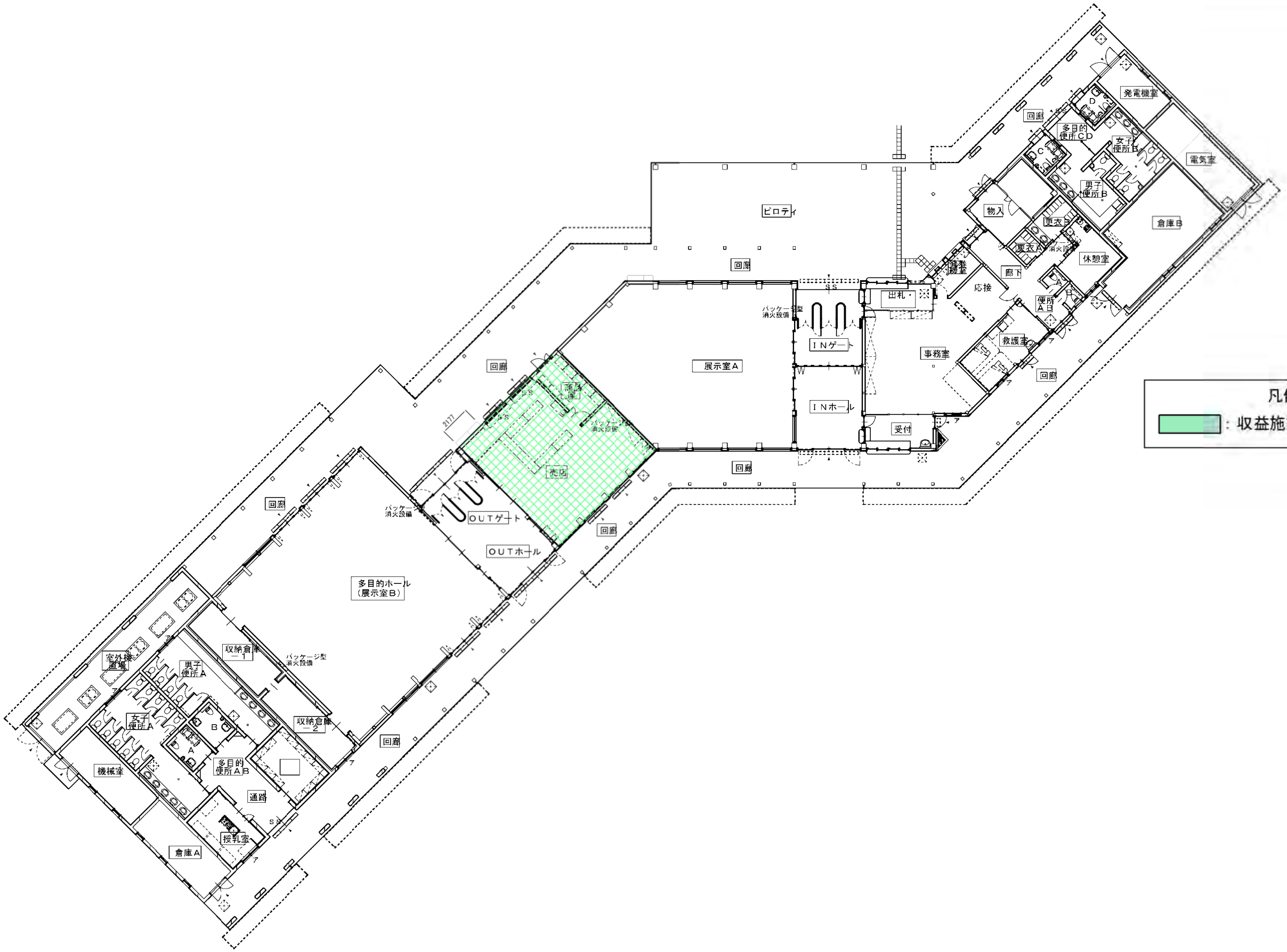
別添P232

凡例
：収益施設

チャレンジルートA
オフロード周回コース
レストラン
スポーツと遊びの森エリア
トレーニングエリア
チャレンジルートB
スポーツと遊びの森
レンタル棟
インフォメーションセンター売店
管理棟
スポーツと遊びの森入口
駐車場
炊事棟
休憩棟レストラン
入口広場
インフォメーションセンター
駐車場
保全ゾーン
空中回廊
くもの巣遊具
そまびとの家
いきものの森
森の体験館
そまびとの森
センターゾーン
林間レクリエーションゾーン
あづみの苑地
林間アスレチック
森のゲート
自然体験ゾーン
臨時駐車場
渓流レクリエーションゾーン
河畔広場
アルプス広場
アルプス大草原
大草原の家
渡河施設
清流の森
乳　川
彩りの森
横溝堰
リフレッシュの森・渓流エリア
乳川・川遊び広場
河畔探勝の森
渓流ピクニック広場
リフレッシュの森
河畔探勝エリア
蕎の沢橋
南口臨時駐車場
川遊び・乳川河原エリア
みんなの森づくりエリア
みんなの森

大町・松川地区　収益施設運営対象区域図

1:7500
0 50 100 200 300 400 500m



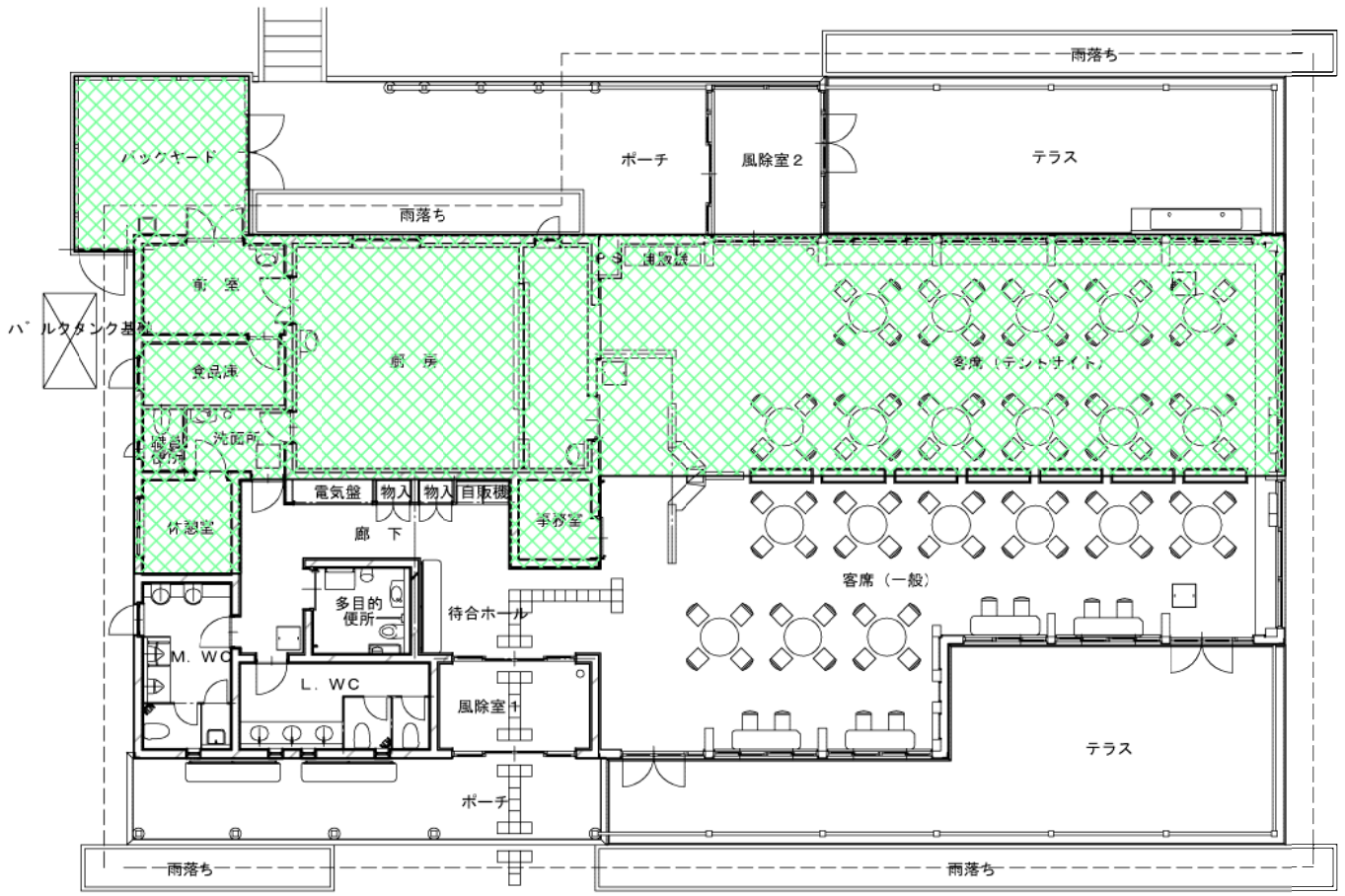
大町・松川地区　収益施設運営対象区域図
（インフォメーションセンター区域図）

1:300

0 1.5 3 6 9 12 15m

凡例

収益施設運営対象範囲



大町・松川地区　収益施設運営対象区域図
（休憩・レストラン棟区域図）

1:200

0 1 2 4 6 8 10m

別添P235

別添様式1

平成　　年　　月　　日

平成　年度 管理運営月報(　月分)

公園名	

担当者

連絡先

開園日数	当月	日	累計	日
入園者数	当月	人	累計	人
入館者数	当月	人	累計	人

管理所開所日数	当月	日	累計	日			
従事職員数	常勤	人日	非常	人日	人日	バイト	人日

	当月				累計			
問合せ件数	電話等	件	来所	件	電話等	件	来所	件
苦情件数	電話等	件	来所	件	電話等	件	来所	件
要望件数	電話等	件	来所	件	電話等	件	来所	件
賞賛件数	電話等	件	来所	件	電話等	件	来所	件

通報件数	警察	件	救急	件	消防	件

占用許可	当月		累計	
写真撮影	件	円	件	円
映画等の撮影	件	円	件	円
その他の占用	件	円	件	円

利用状況	当月		累計	
	件	人	件	人
	件	人	件	人
	件	人	件	人
	件	人	件	人
	件	人	件	人
	件	人	件	人

行催事実施状況	
日	実　施　内　容

自主事業の実施状況

特記事項

維持管理の実施状況			
直営		委託	
日	業務内容	日	業務内容

収益施設等の管理に関する勤務実績簿（案）

平成　　年度　　役職　　氏名

確認印 （総括責任者）	月日	業務内容	開始時刻	終了時刻	実働時間 （分）	備考
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		

平成25～27年度　国営アルプスあづみの公園　管理運営月報総括表(案)

別添様式2

項目	達成すべき質	地区	計画・実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
公園利用者数の確保	地区別の本公園の年間及び四半期ごとの有料区域の公園利用者数	堀金・穂高地区	計　画	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人
			実　施													
	【平成21年度～平成23年度の実績平均値以上】	大町・松川地区	計　画	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人
			実　施													
利用者満足度の向上	地区別の年間及び四半期ごとの公園の運営に関する「満足」の回答比率	堀金・穂高地区	計　画	○%			○%			○%			○%			○%
			実　施													
	【平成21年度～平成23年度実績平均値以上】	大町・松川地区	計　画	○%			○%			○%			○%			○%
			実　施													
地域特性を生かした植物管理	地区別の安曇野地方の地域特性を生かした植物管理に関する「満足」の回答比率	堀金・穂高地区	計　画	○%			○%			○%			○%			○%
			実　施													
	【平成23年度実績平均値以上】	大町・松川地区	計　画	○%			○%			○%			○%			○%
			実　施													
多様な利用プログラムの提供	地区別の年間の体験プログラムの開催種類	堀金・穂高地区	計　画	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種
			実　施													
	【平成21年度～平成23年度の実績平均値以上】	大町・松川地区	計　画	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種	○種
			実　施													
	地区別の年間の体験プログラムの延べ参加人数	堀金・穂高地区	計　画	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人
			実　施													
	【平成21年度～平成23年度の実績平均値以上】	大町・松川地区	計　画	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人
			実　施													
情報受発信の充実	マスコミによる報道件数	―	計　画	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件
	【平成21年度～平成23年度実績平均値以上】		実　施													
	ホームページの総アクセス件数	―	計　画	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件
	【平成21年度～平成23年度実績平均値以上】		実　施													

別添P239

管理四半期報(平成○年度　第○半期)

別添様式３

下記は記載例である

運営維持管理業務

実施予定						当期までの契約状況					
項(例示)			単位	数量	予定額	契約額	業務名等	金額	業務等の内容	実施期間	請負業者名等
植物管理			式	1	○○	○○					
	芝生管理		式	1	○○	○○					
		芝生管理	式	1	○○	○○					
							○○工事	○○	○○	H○.○月～○月	○○
							○○工事(第1回変更)	○○	○○	H○.○月～○月	○○
	低木管理		式	1	○○	○○					
		低木管理	式	1	○○	○○					
							○○工事	○○	○○	H○.○月～○月	○○
	高木管理		式	1	○○	○○					
		高木管理	式	1	○○	○○					
							○○工事	○○	○○	H○.○月～○月	○○
	草花管理		式	1	○○	○○					
		草花管理	式	1	○○	○○					
清掃			式	1	○○	○○	○○工事	○○	○○	H○.○月～○月	○○
	清掃		式	1	○○	○○					
		清掃	式	1	○○	○○					
							賃金等				
							諸材料購入				
体験学習施設管理			式	1	○○	○○					
	体験学習施設管理		式	1	○○	○○					
		体験学習施設管理	式	1	○○	○○					
							○○	○○	○○	H○.○月～○月	○○
工作物管理			式	1	○○	○○					
	○○管理		式	1	○○	○○					
		○○管理	式	1	○○	○○					
							○○	○○	○○	H○.○月～○月	○○
	○○設備管理		式	1	○○	○○					
		○○設備管理	式	1	○○	○○					
							○○	○○	○○	H○.○月～○月	○○

別添P240

	○○修繕		式	1	○○	○○					
		○○修繕	式	1	○○	○○					
							○○	○○	○○	H○.○月～○月	○○
諸掛											
	利用者指導		式	1	○○	○○					
		受付・行催事補助	式	1	○○	○○					
							○○	○○	○○	H○.○月～○月	○○
	広報宣伝		式	1	○○	○○					
		広報宣伝	式	1	○○	○○					
							○○	○○	○○	H○.○月～○月	○○
	行催事		式	1	○○	○○					
		行催事	式	1	○○	○○					
							○○	○○	○○	H○.○月～○月	○○
運営管理											
	運営管理										
		人件費	式	1	○○	○○					
							職員俸給・諸手当・保険料	○○		H○.○月～○月	
		庁費	式	1	○○	○○			○○		
							○○費・○○費	○○		H○.○月～○月	○○
業務費計			式	1	○○	○○					
諸雑費			式	1	○○	○○					
消費税相当額			式	1	○○	○○					
合計			式	1	○○	○○					

別添P241